
大橋川改修事業環境モニタリング

<平成 22 年モニタリング結果>

－ 参 考 資 料 －

平成 23 年 7 月

国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所

大橋川改修事業環境モニタリング
＜平成 22 年モニタリング結果＞
－参考資料－
目 次

1. 広域モニタリング	1
1.1 気象・水象の環境の現状	1
1.1.1 気象の概況（参考項目）	1
1.1.2 水象の概況（参考項目）	22
1.2 一次影響確認項目	38
1.2.1 塩分（連続観測）	38
1.2.2 水位（連続観測）	54
1.3 二次影響確認項目	68
1.3.1 水温（連続観測）	68
1.3.2 DO（連続観測）	84
1.3.3 底質（粒度組成）	97
1.3.4 水利用（地下水位）	101
1.4 参考項目	104
1.4.1 流量	104
1.4.2 塩分フラックス	116
1.4.3 底質（含有量）	130
1.4.4 植物プランクトン	139
1.4.5 マクロベントス	185
1.4.6 魚介類	214
(1.4.7 海草類調査（H23 年度から実施）)
1.4.8 河川水辺の国勢調査	365
1.4.9 シジミ資源量調査（島根県）	658
1.4.10 マス網・刺網調査（島根県）	739
1.4.11 ガンカモ調査（環境省）	748
2. 環境監視	754
2.1 ヤマトシジミとホトトギスガイの分布の環境監視	754
2.2 底生魚の稚魚の遡上状況の環境監視	759

1. 広域モニタリング

1.1 気象・水象の環境の現状

1.1.1 気象の概況（参考項目）

図 1.1.1 気象項目毎の時間変化図（平成 6～22 年：年別）

図 1.1.2 気象項目毎の毎正時観測値の月別平均・最大・最小の経年変化図

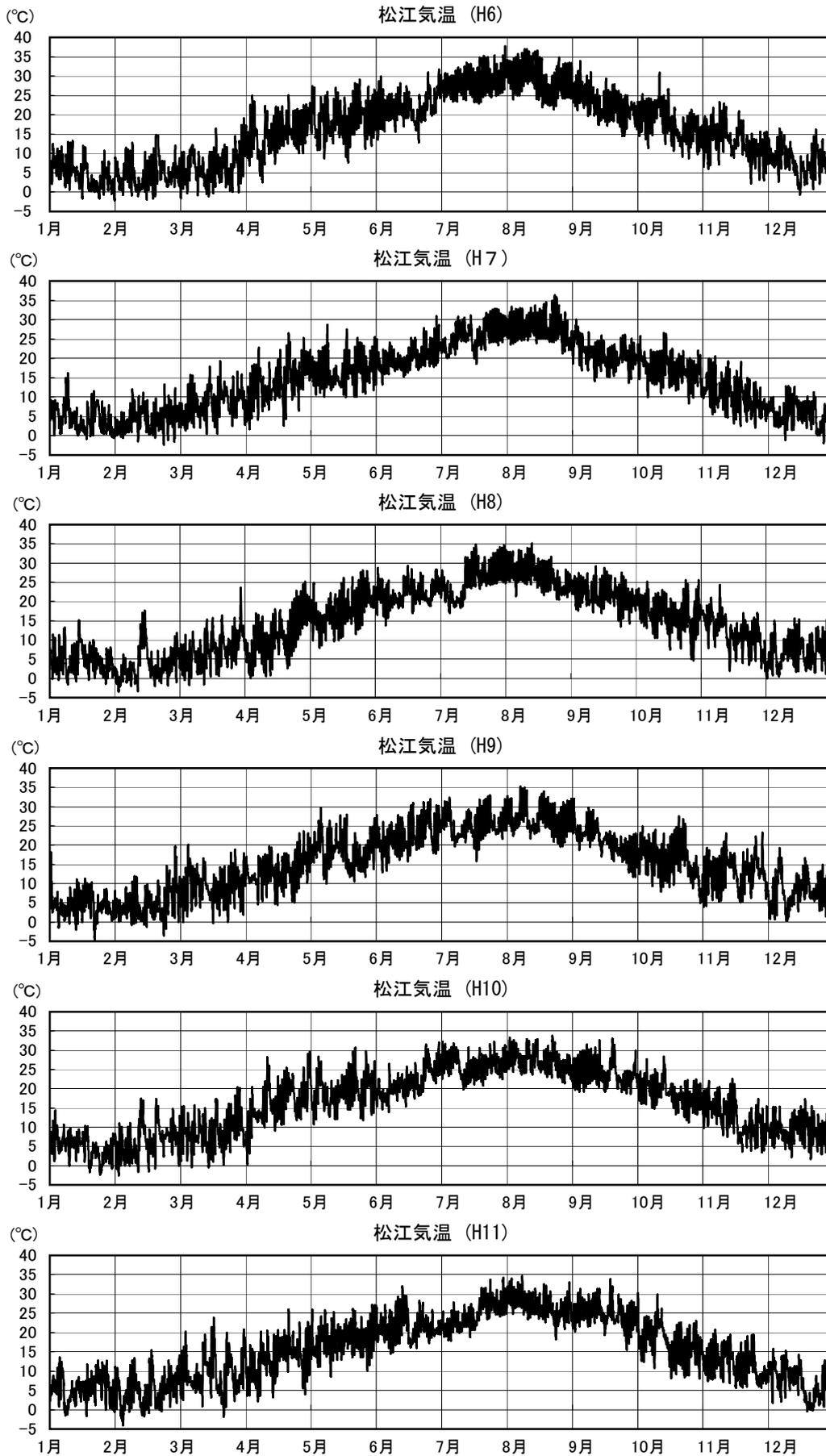


図1.1.1(1) 気象項目毎の時間変化図（平成6～22年：年別）

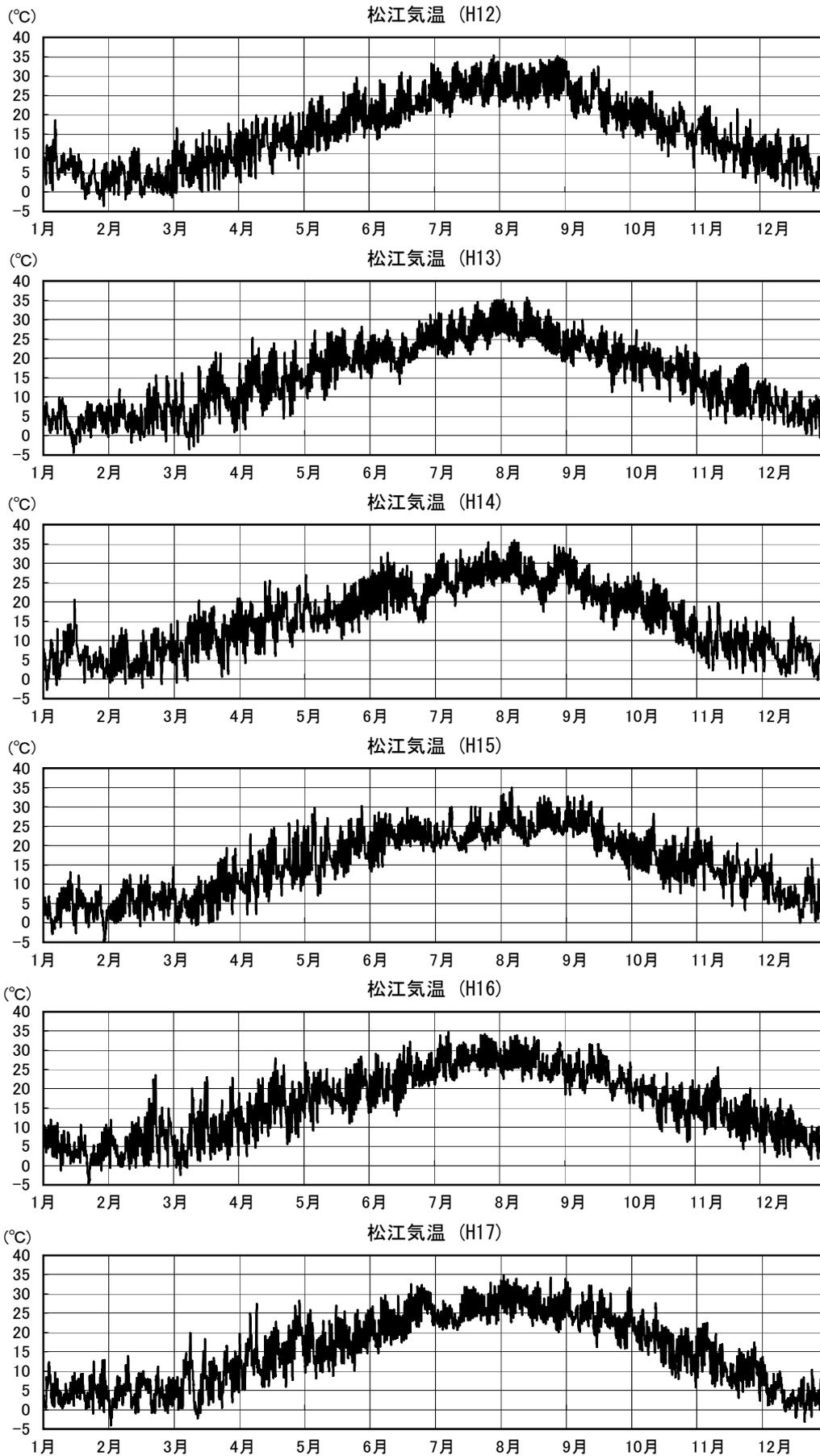


図1.1.1(2) 気象項目毎の時間変化図 (平成6~22年 : 年別)

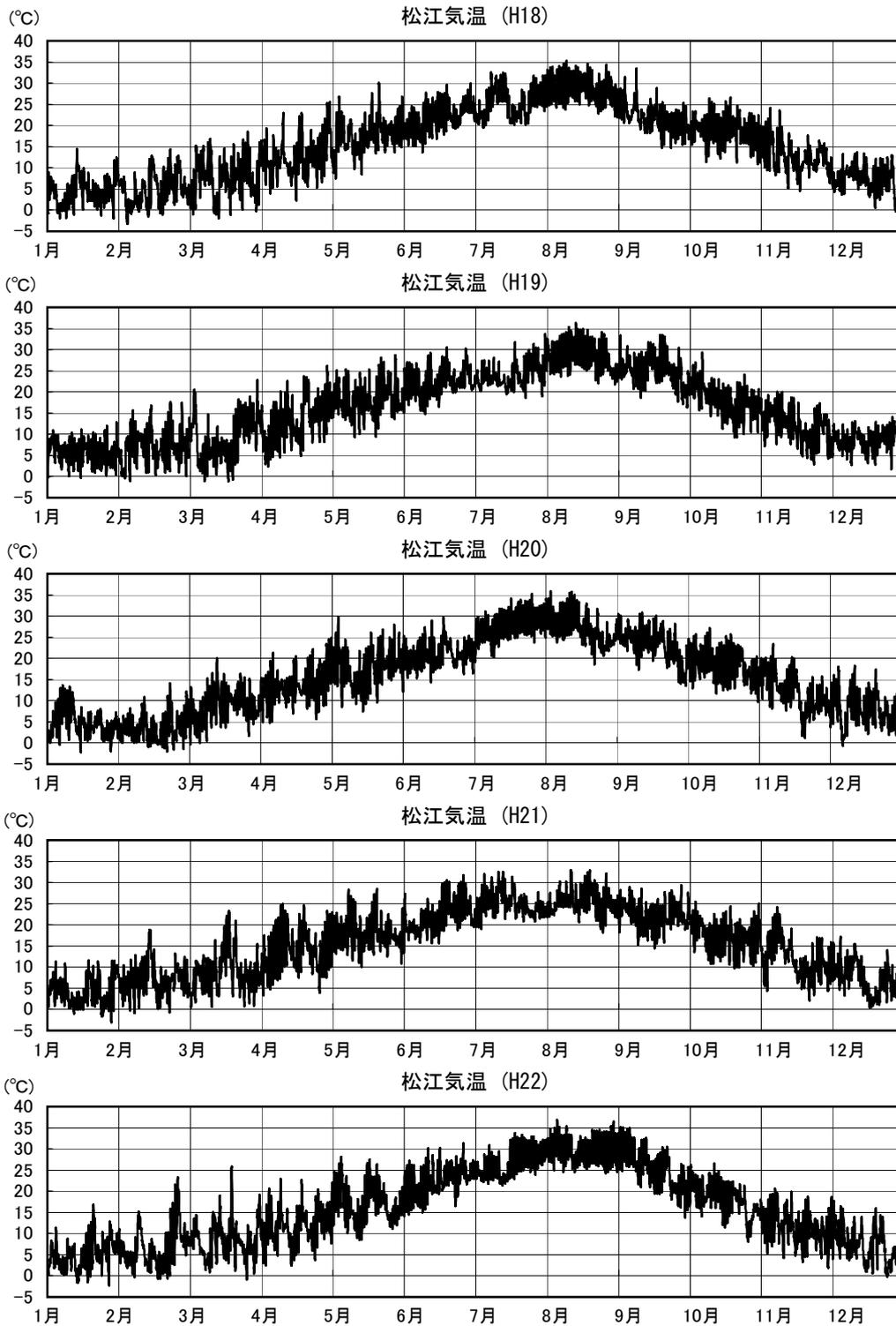
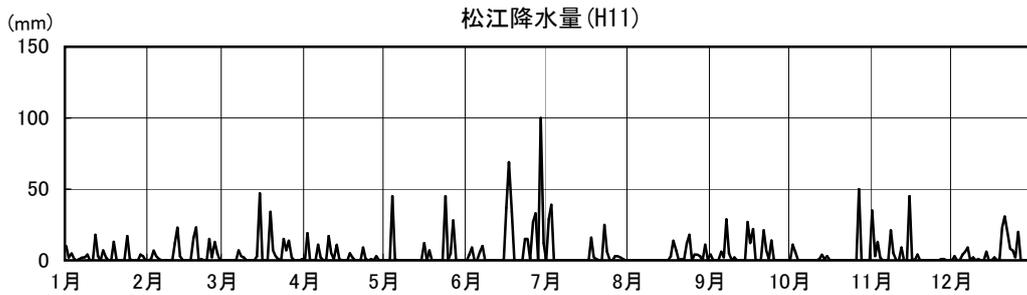
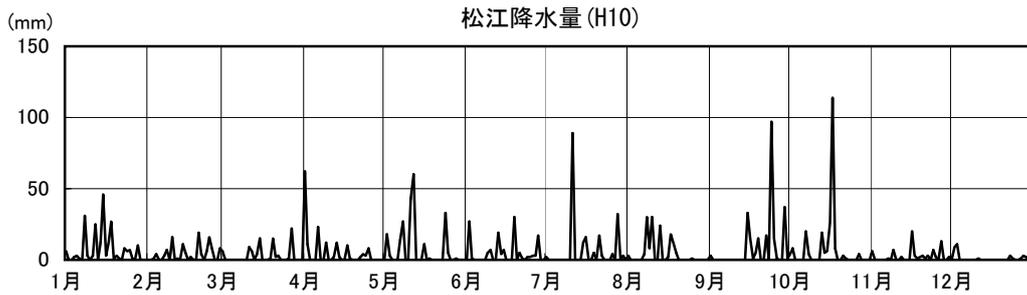
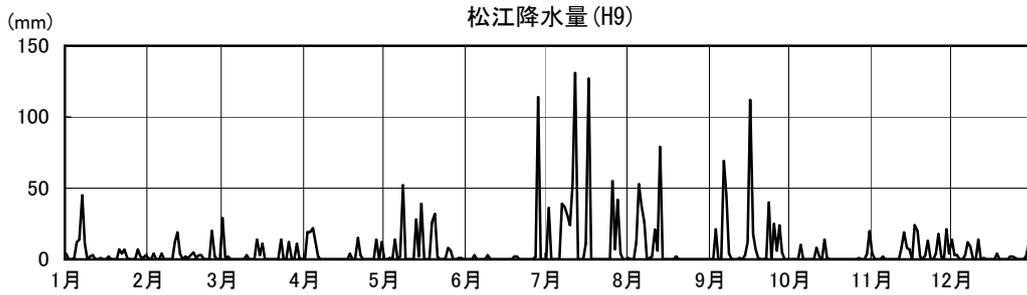
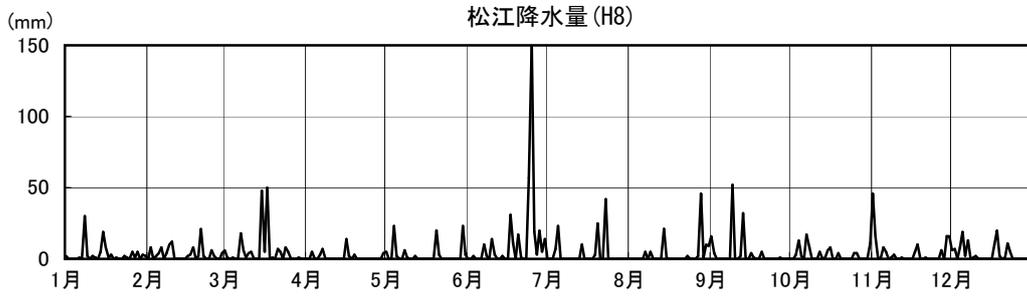
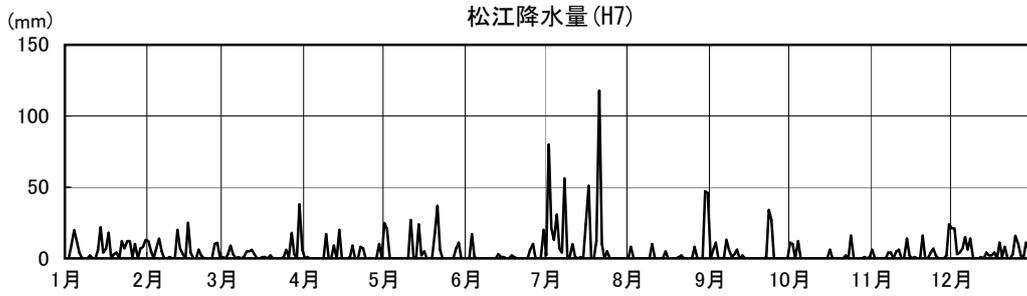
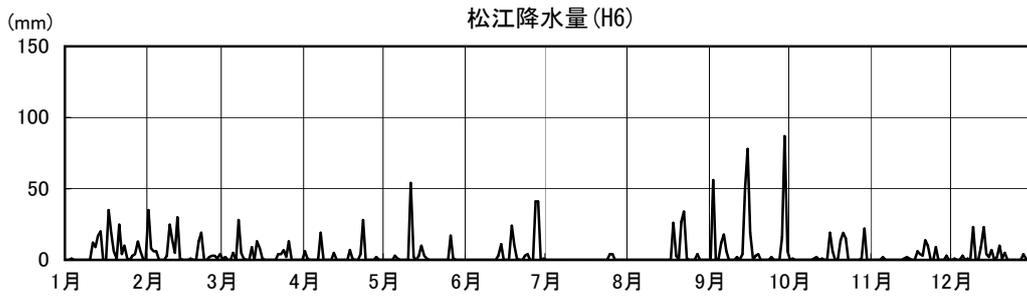
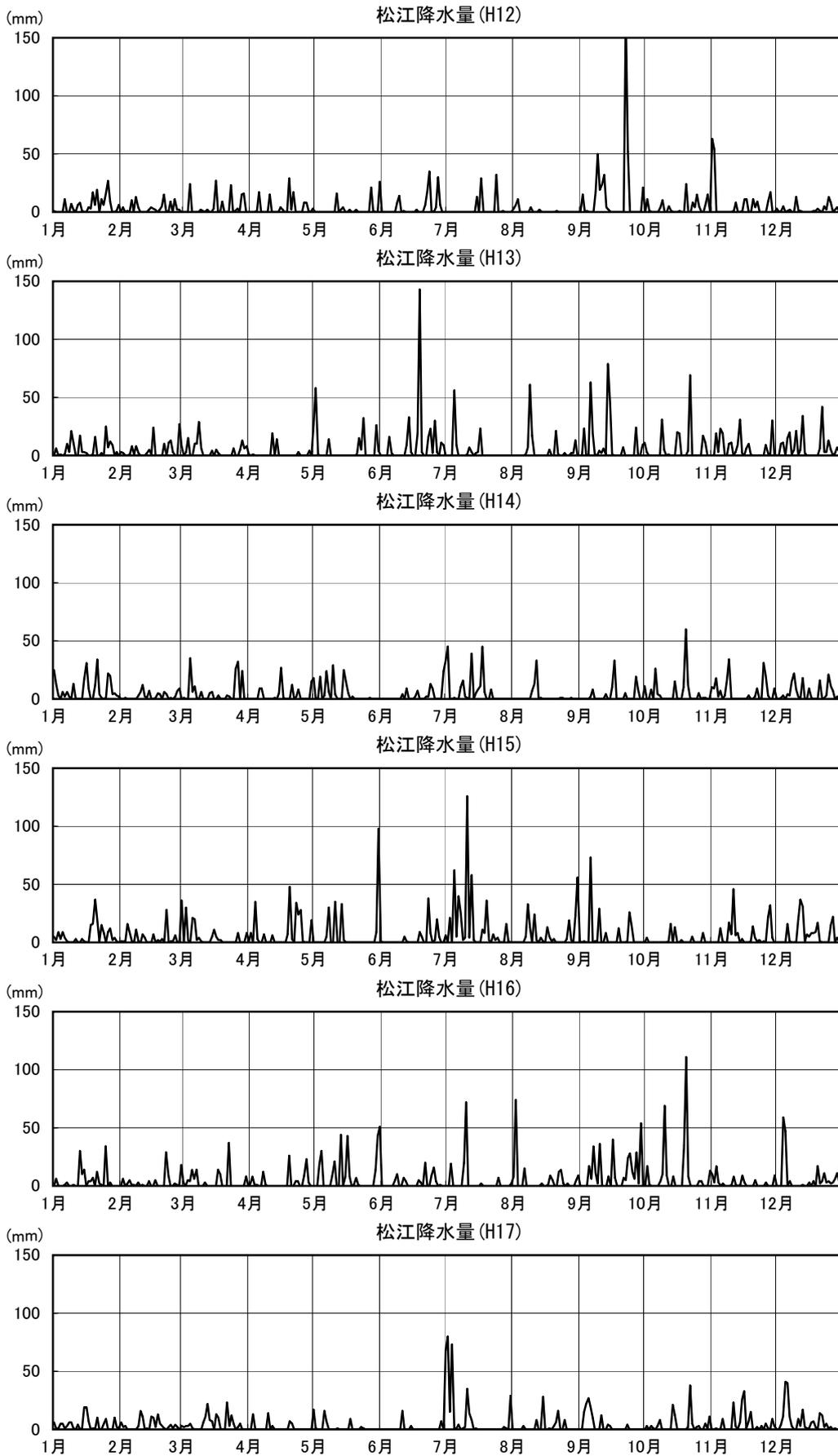


図1.1.1(3) 気象項目毎の時間変化図 (平成6~22年 : 年別)



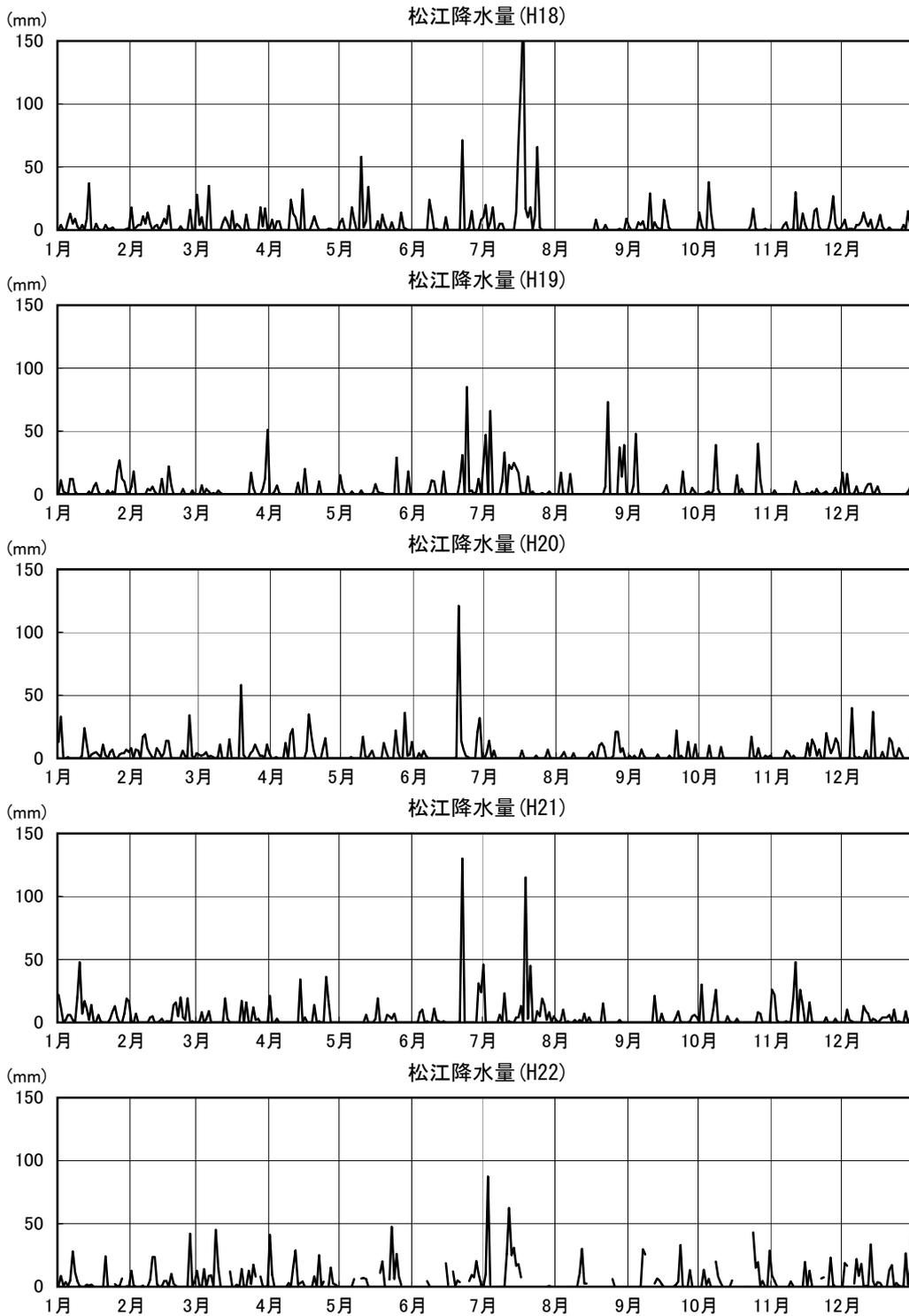
※日合計降水量で整理している

図1.1.1(4) 気象項目毎の時間変化図 (平成6~22年: 年別)



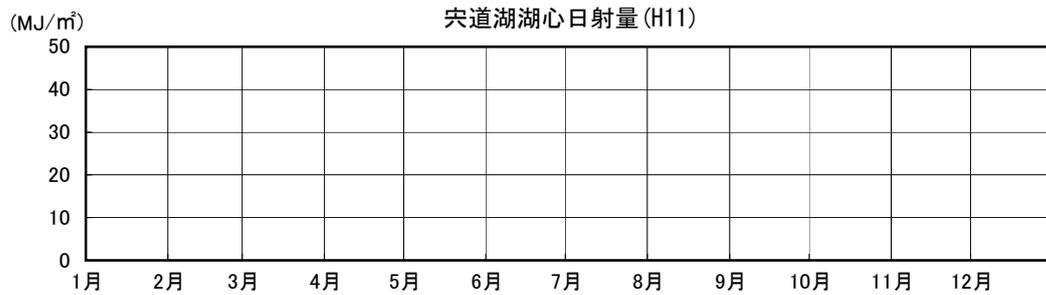
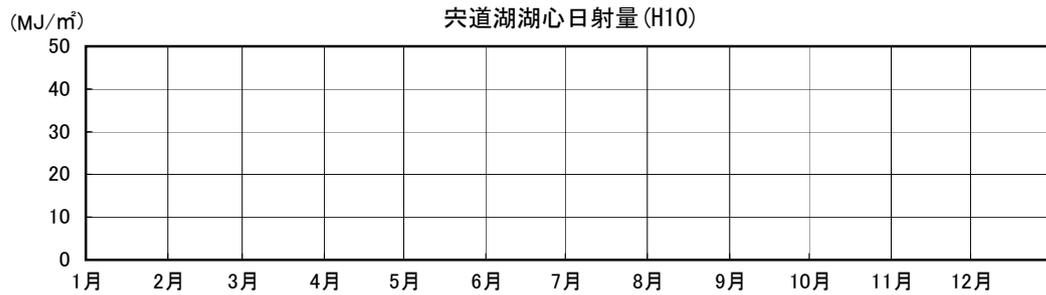
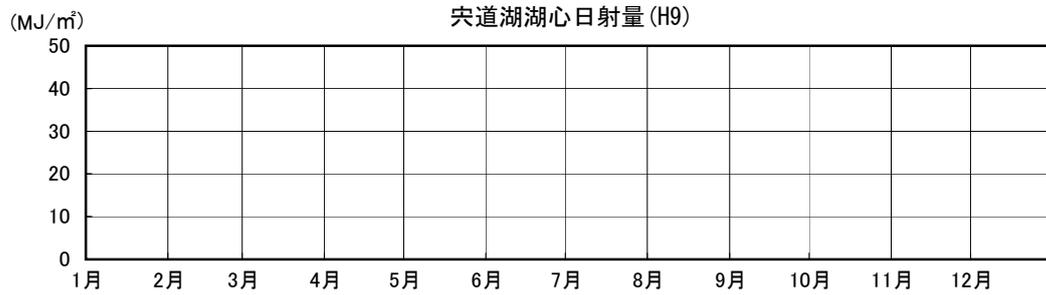
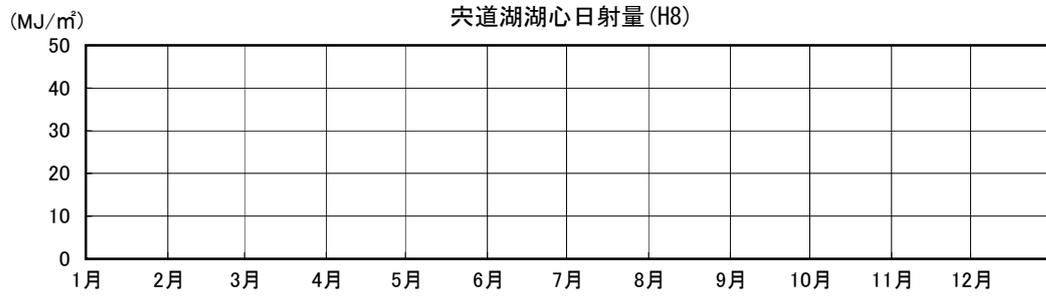
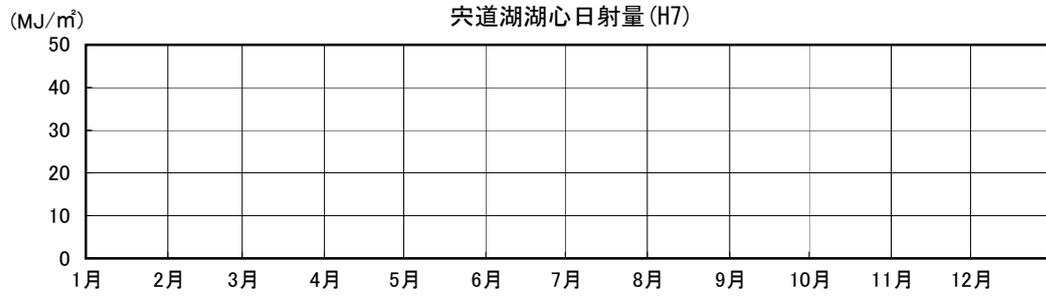
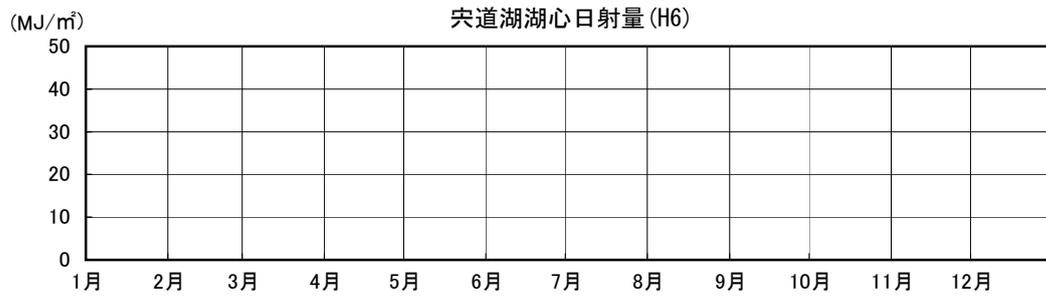
※日合計降水量で整理している

図1.1.1(5) 気象項目毎の時間変化図（平成6～22年：年別）



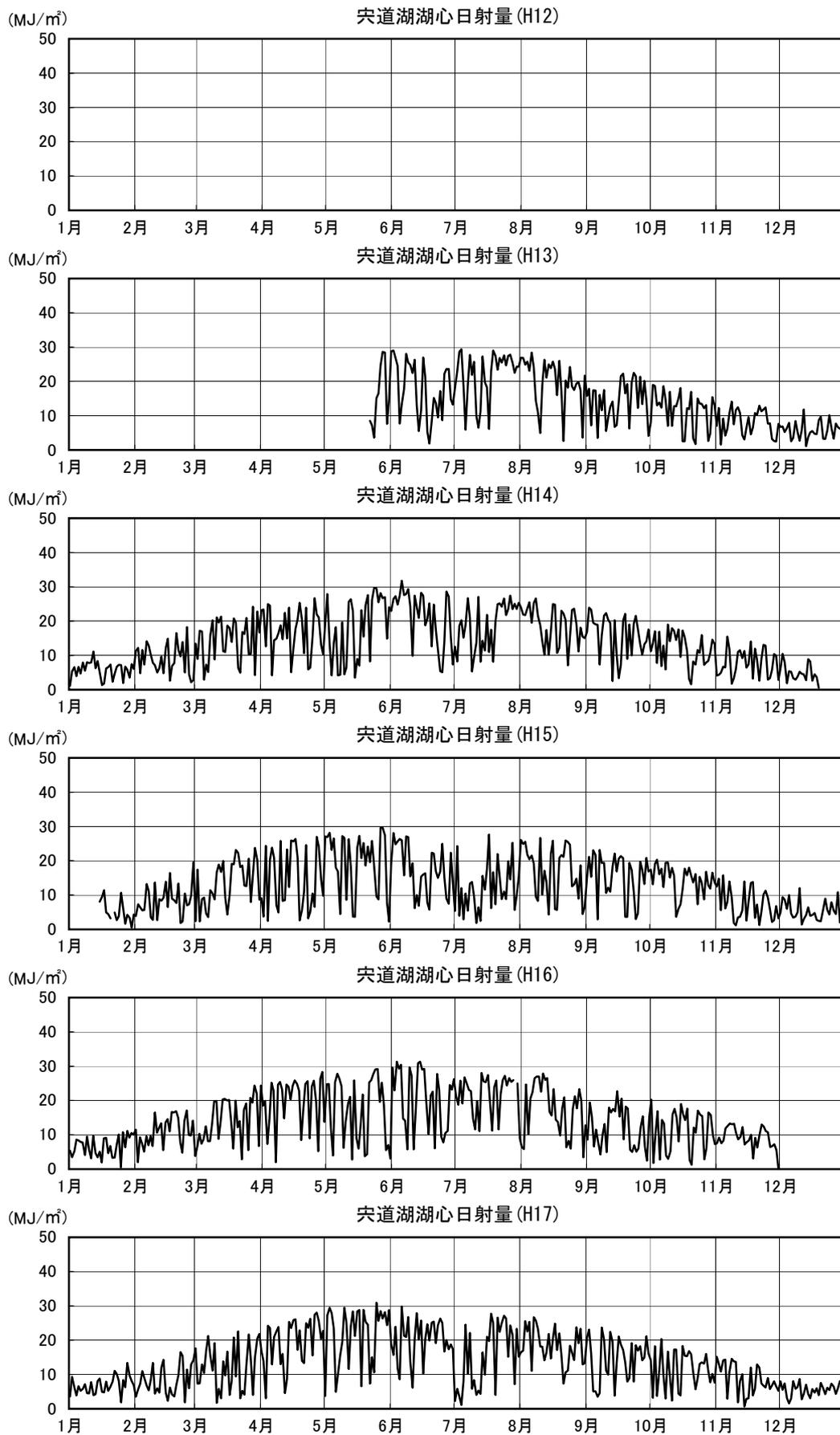
※日合計降水量で整理している

図1.1.1(6) 気象項目毎の時間変化図（平成6～22年：年別）



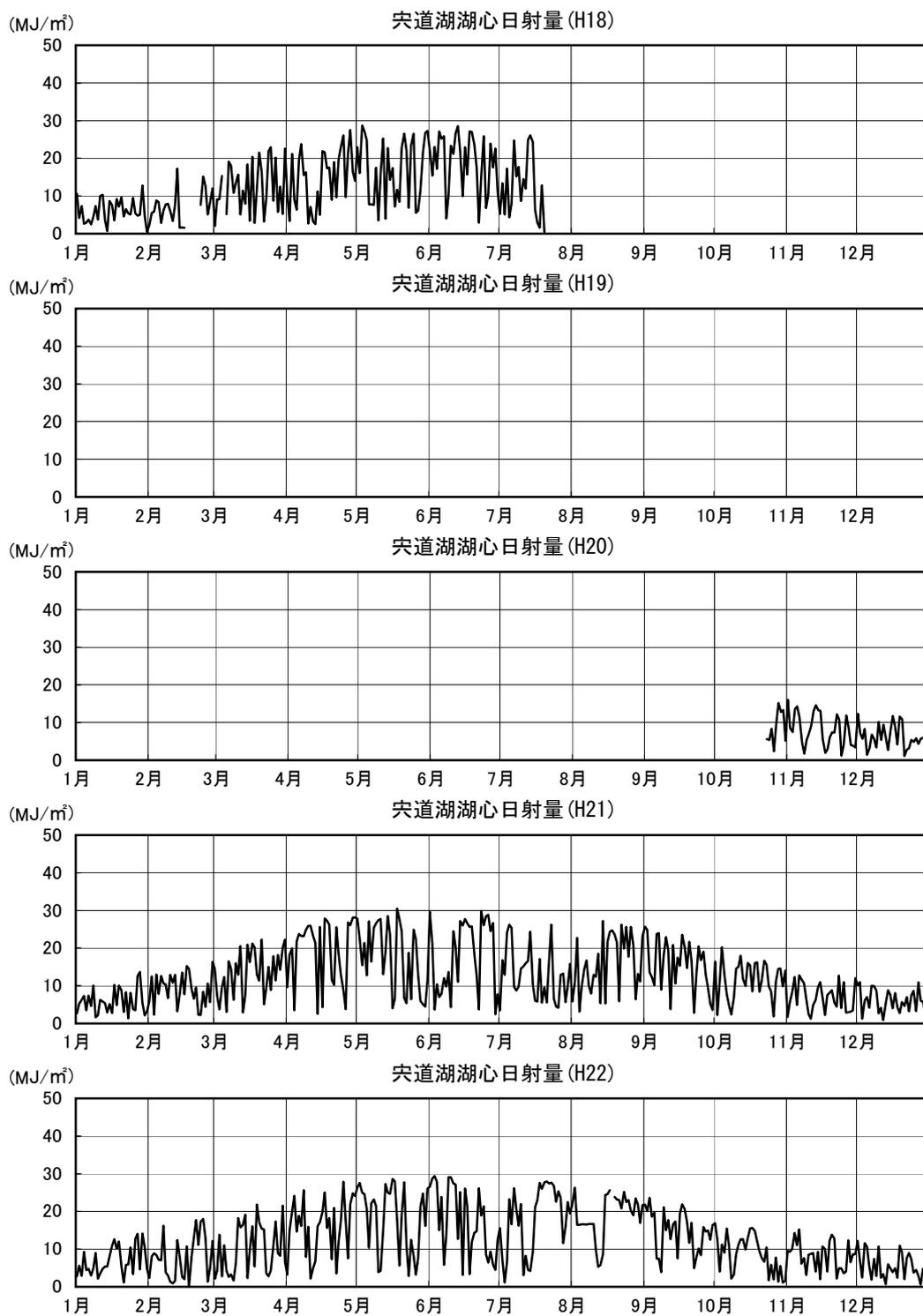
※日合計日射量で整理している

図1.1.1(7) 気象項目毎の時間変化図 (平成6~22年 : 年別)



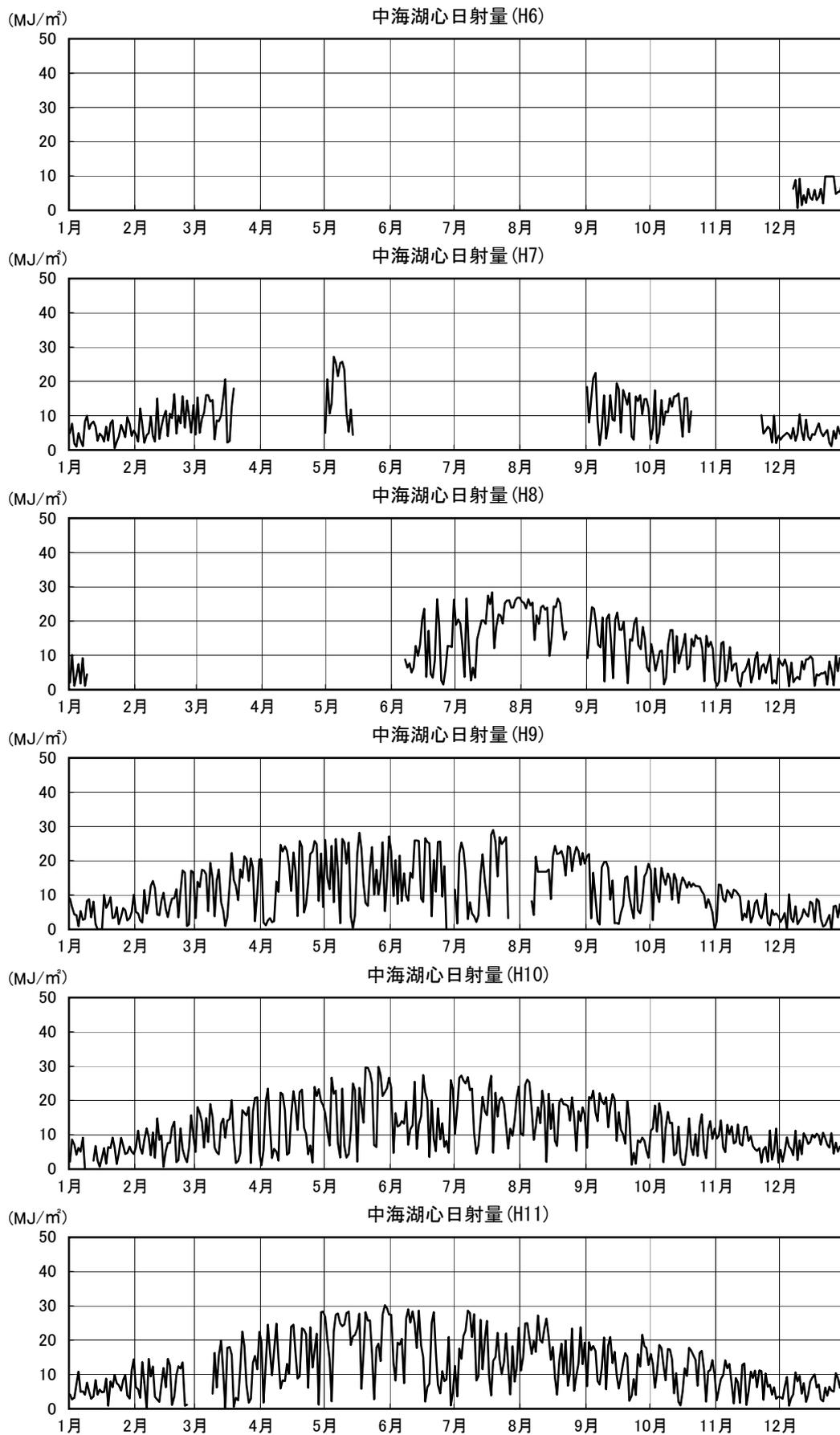
※日合計日射量で整理している

図1.1.1(8) 気象項目毎の時間変化図 (平成6~22年 : 年別)



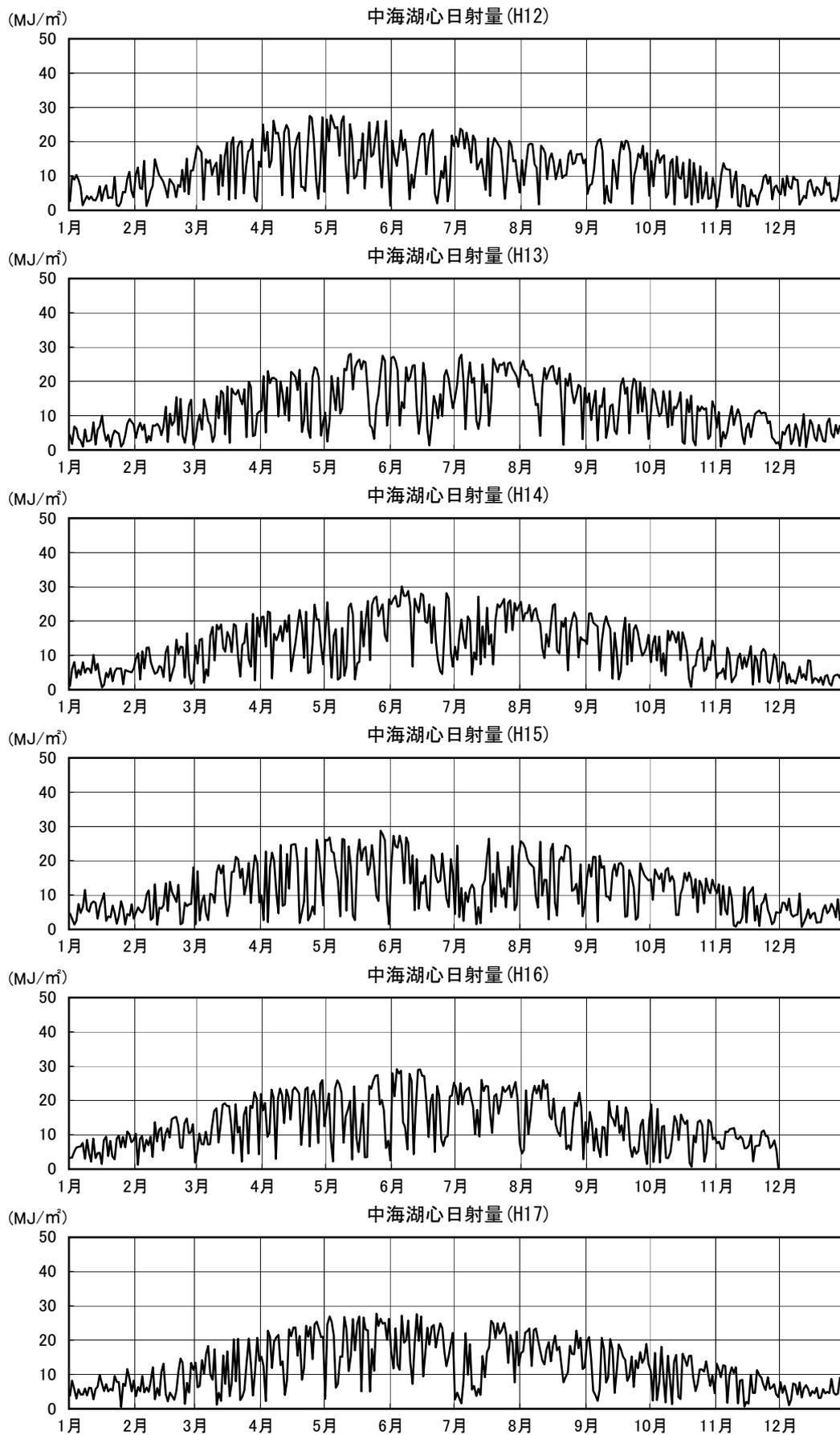
※日合計日射量で整理している

図1.1.1(9) 気象項目毎の時間変化図（平成6～22年：年別）



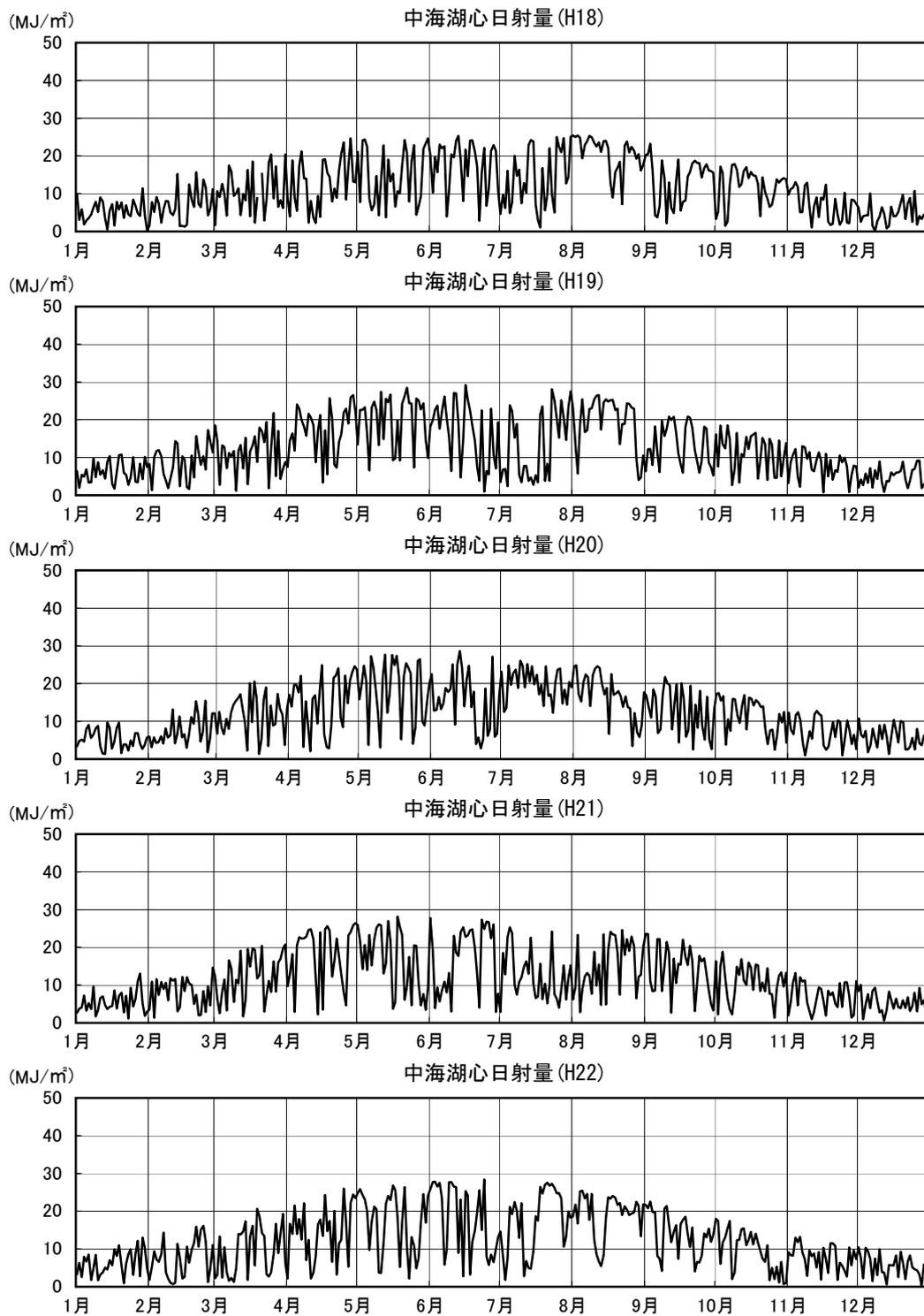
※日合計日射量で整理している

図1.1.1(10) 気象項目毎の時間変化図 (平成6~22年: 年別)



※日合計日射量で整理している

図1.1.1(11) 気象項目毎の時間変化図（平成6～22年：年別）



※日合計日射量で整理している

図1.1.1(12) 気象項目毎の時間変化図（平成6～22年：年別）

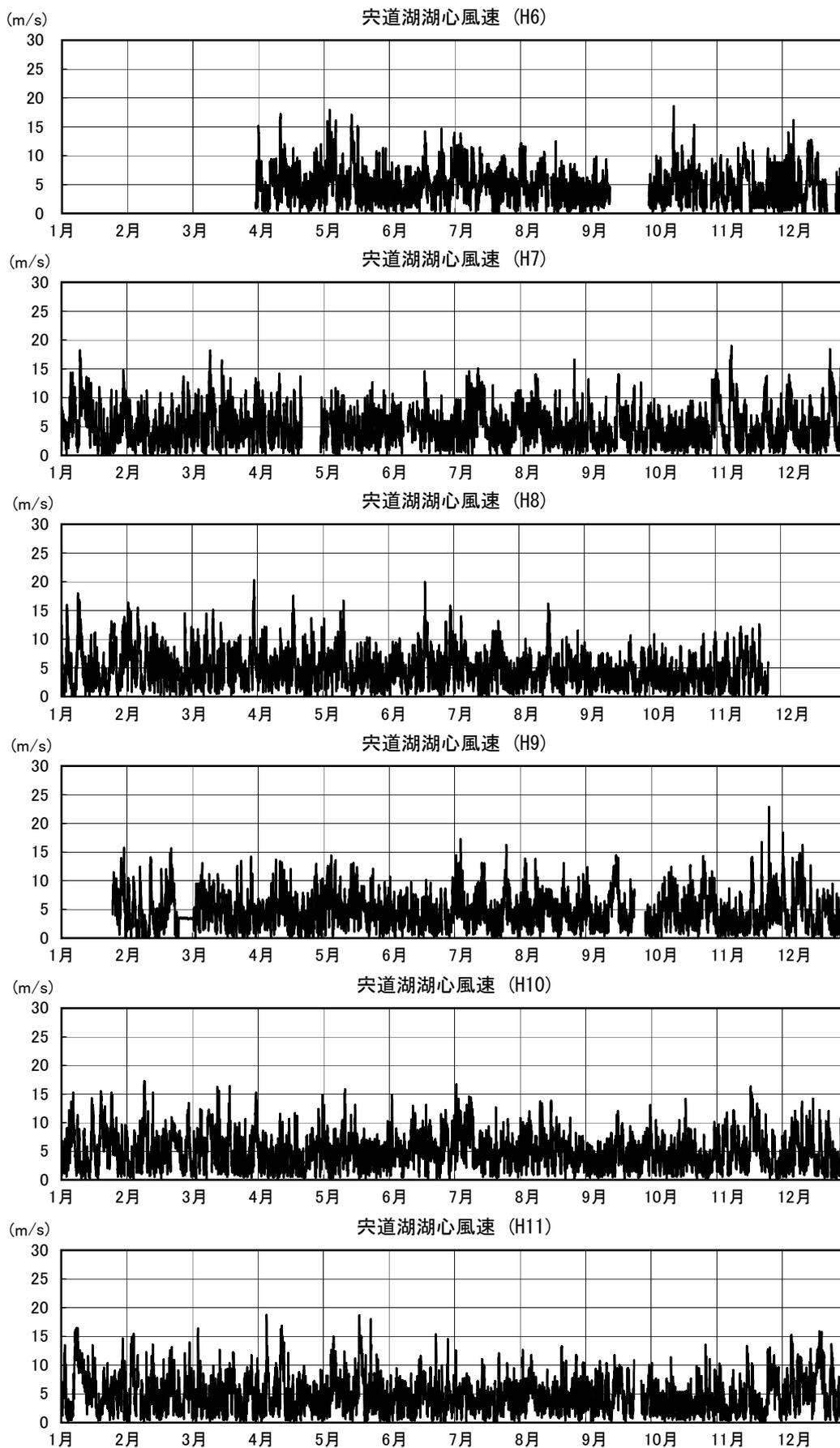


図1.1.1(13) 気象項目毎の時間変化図（平成6～22年：年別）

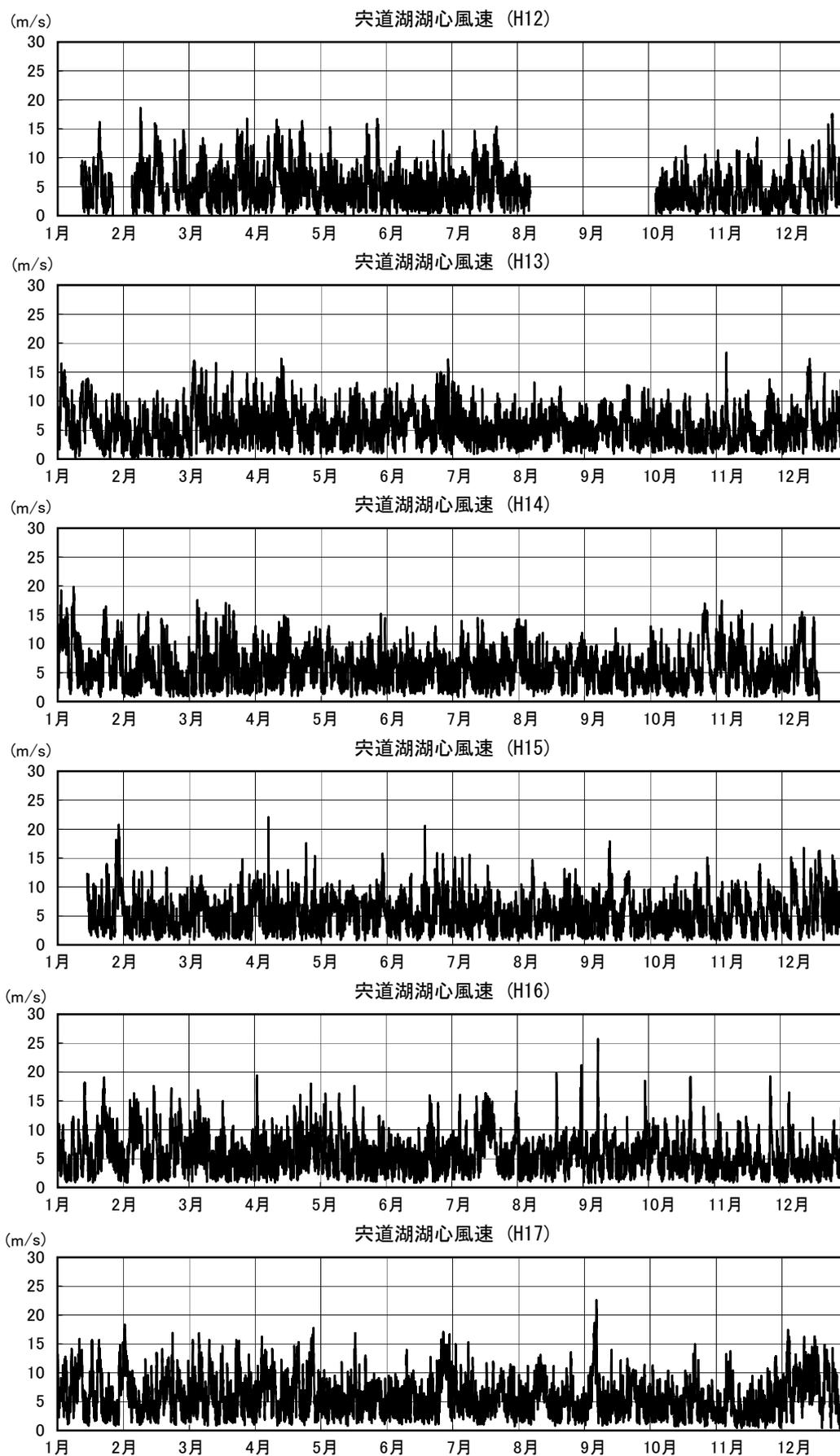


図1.1.1(14) 気象項目毎の時間変化図（平成6～22年：年別）

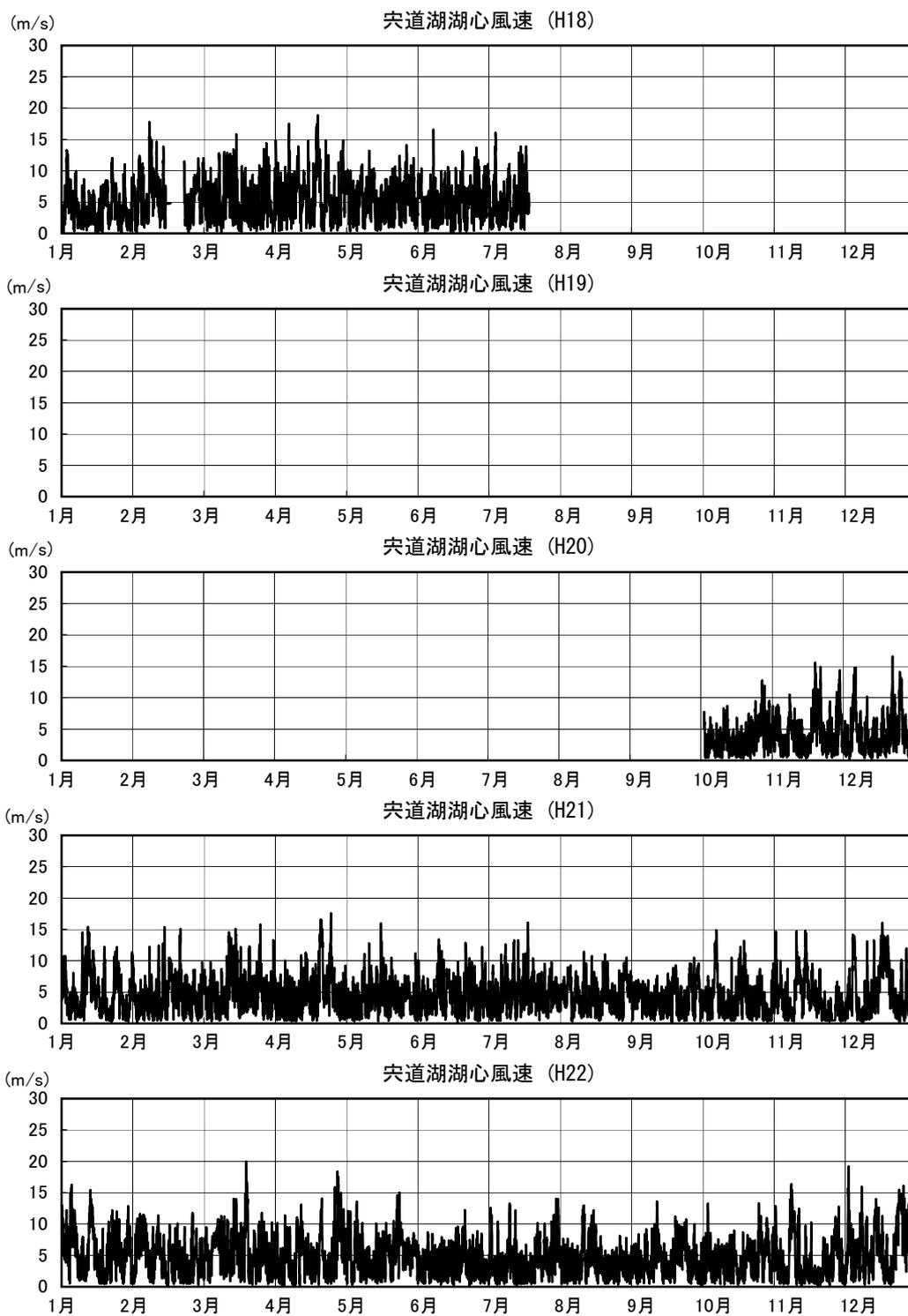


図1.1.1(15) 気象項目毎の時間変化図（平成6～22年：年別）

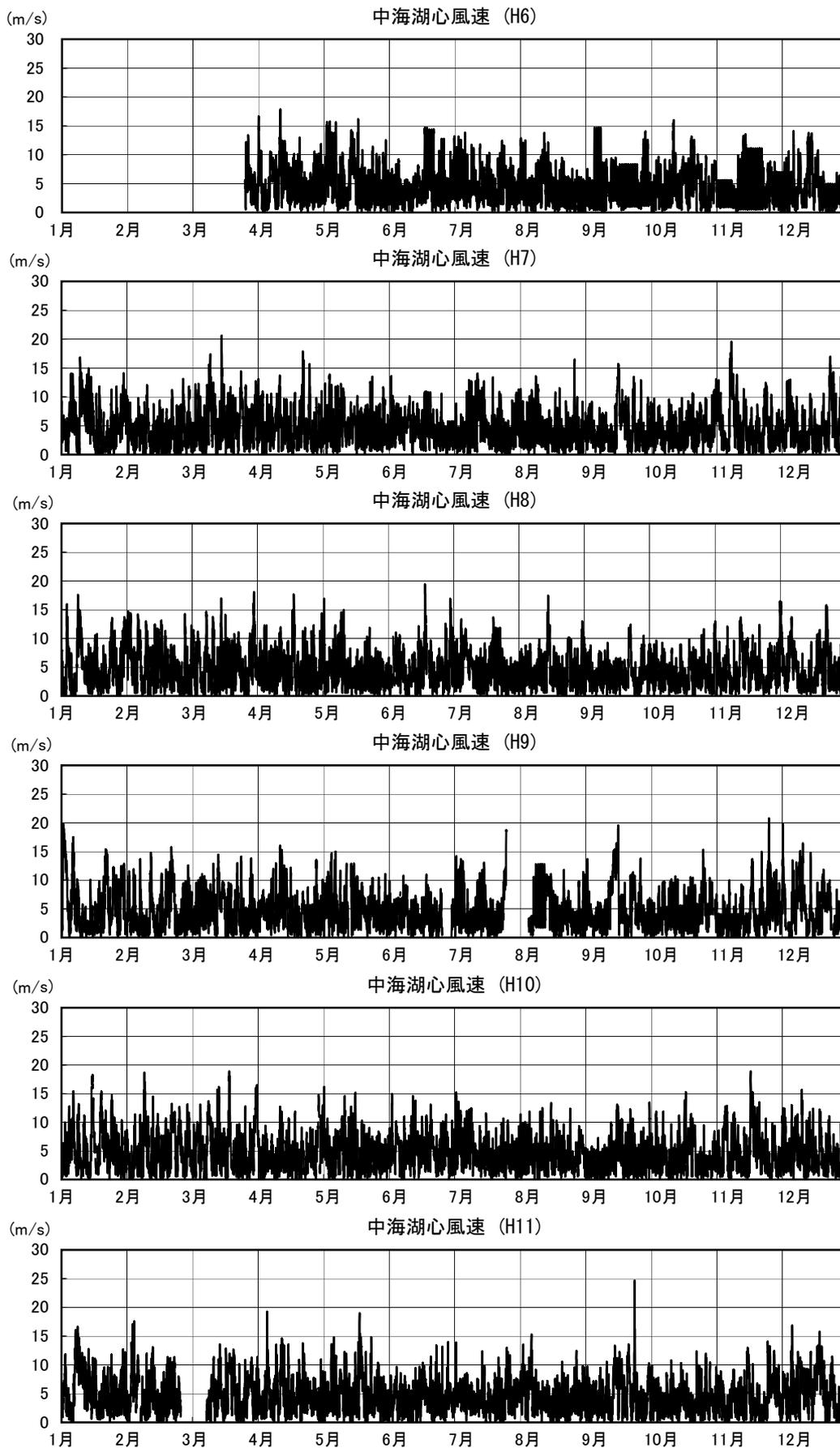


図1.1.1(16) 気象項目毎の時間変化図（平成6～22年：年別）

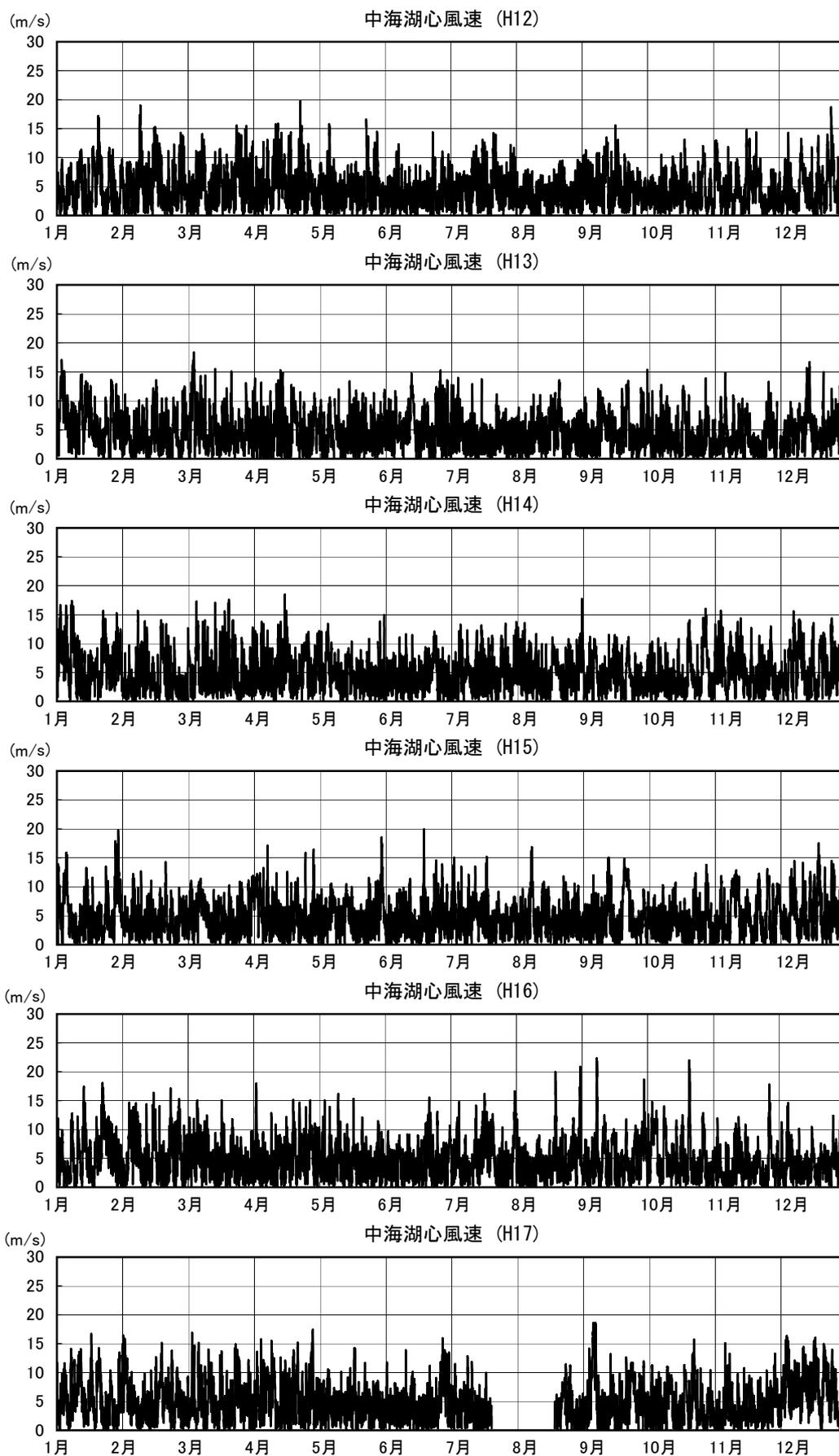


図1.1.1(17) 気象項目毎の時間変化図（平成6～22年：年別）

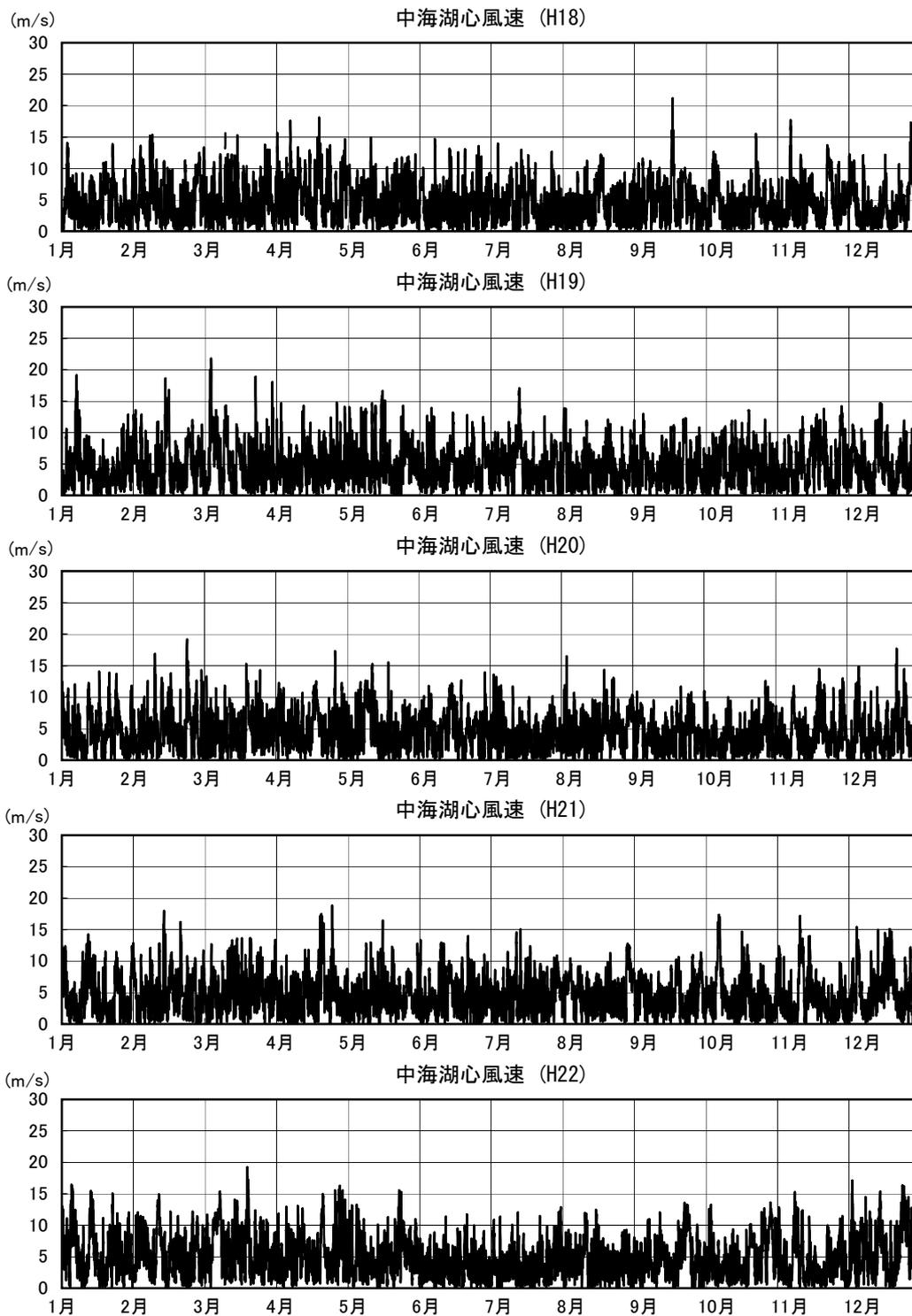


図1.1.1(18) 気象項目毎の時間変化図（平成6～22年：年別）

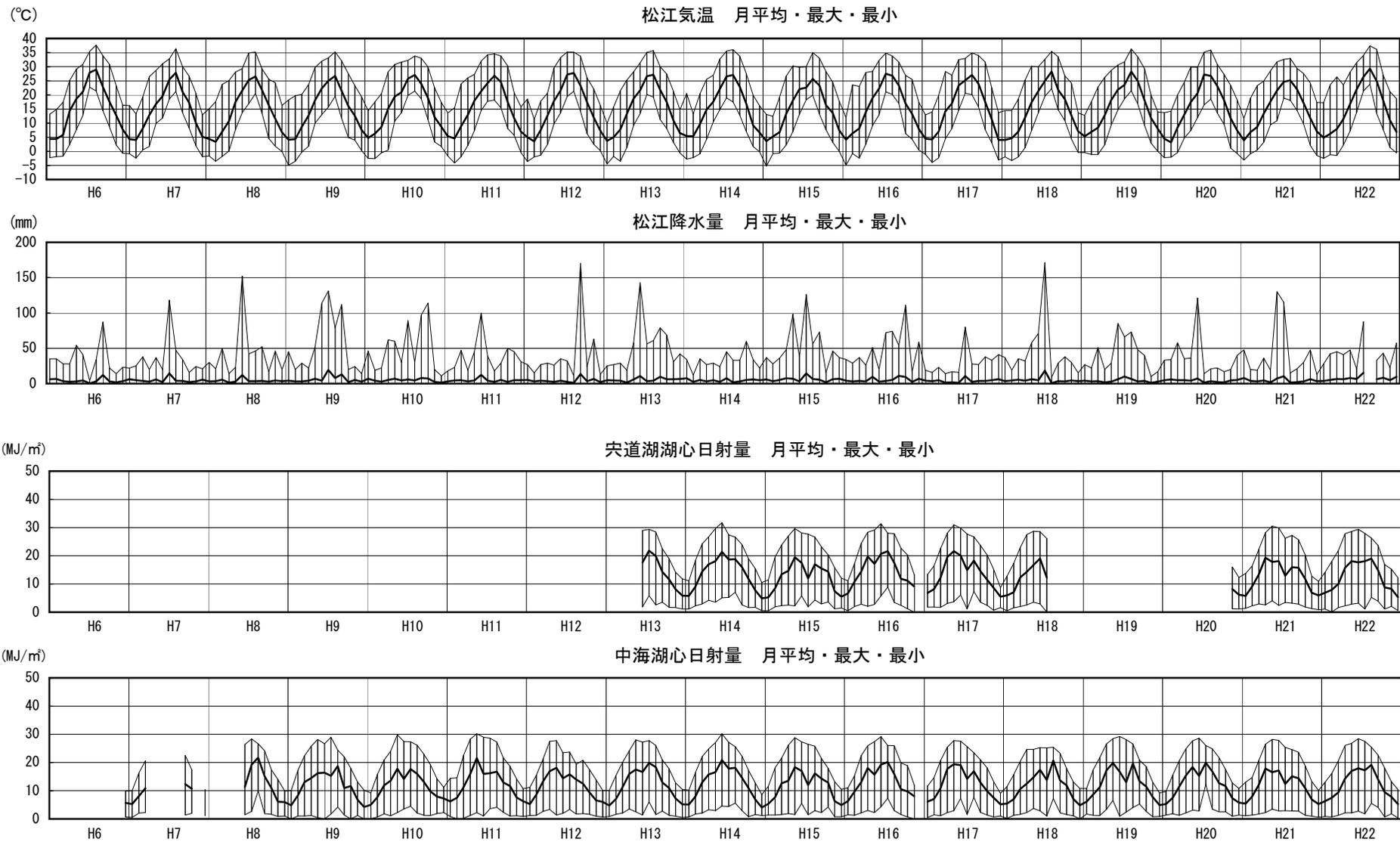


図1.1.2(1) 気象項目毎の毎正時観測値の月別平均・最大・最小の経年変化図

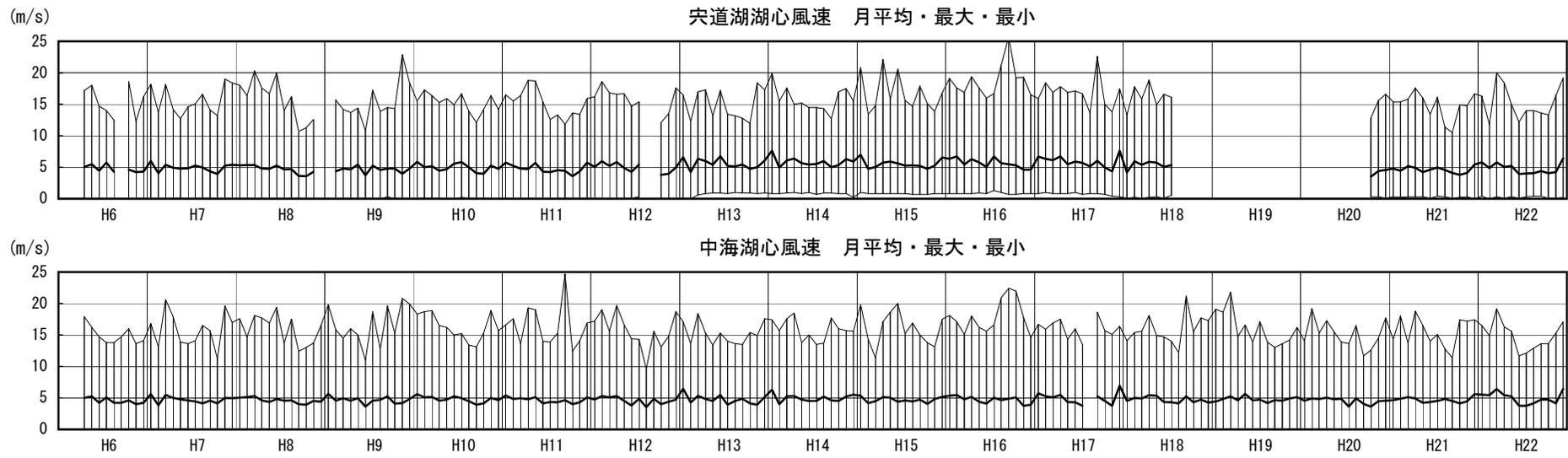


図1.1.2(2) 気象項目毎の毎正時観測値の月別平均・最大・最小の経年変化図

1.1.2 水象の概況（参考項目）

(1) 調査結果（流入河川水位・流量、外海潮位）

図 1.1.3 水位・流量（流入河川と河口）の時間変化図（平成 6～22 年：年別）

図 1.1.4 水位・流量（流入河川と河口）の毎正時観測値の月別平均・最大・最小の経年変化図

図 1.1.5 水位・流量（流入河川と河口）の毎正時観測値の月平均・月最大・月最小の現状変化幅（H06～H22）と評価対象年(H22)観測値の比較

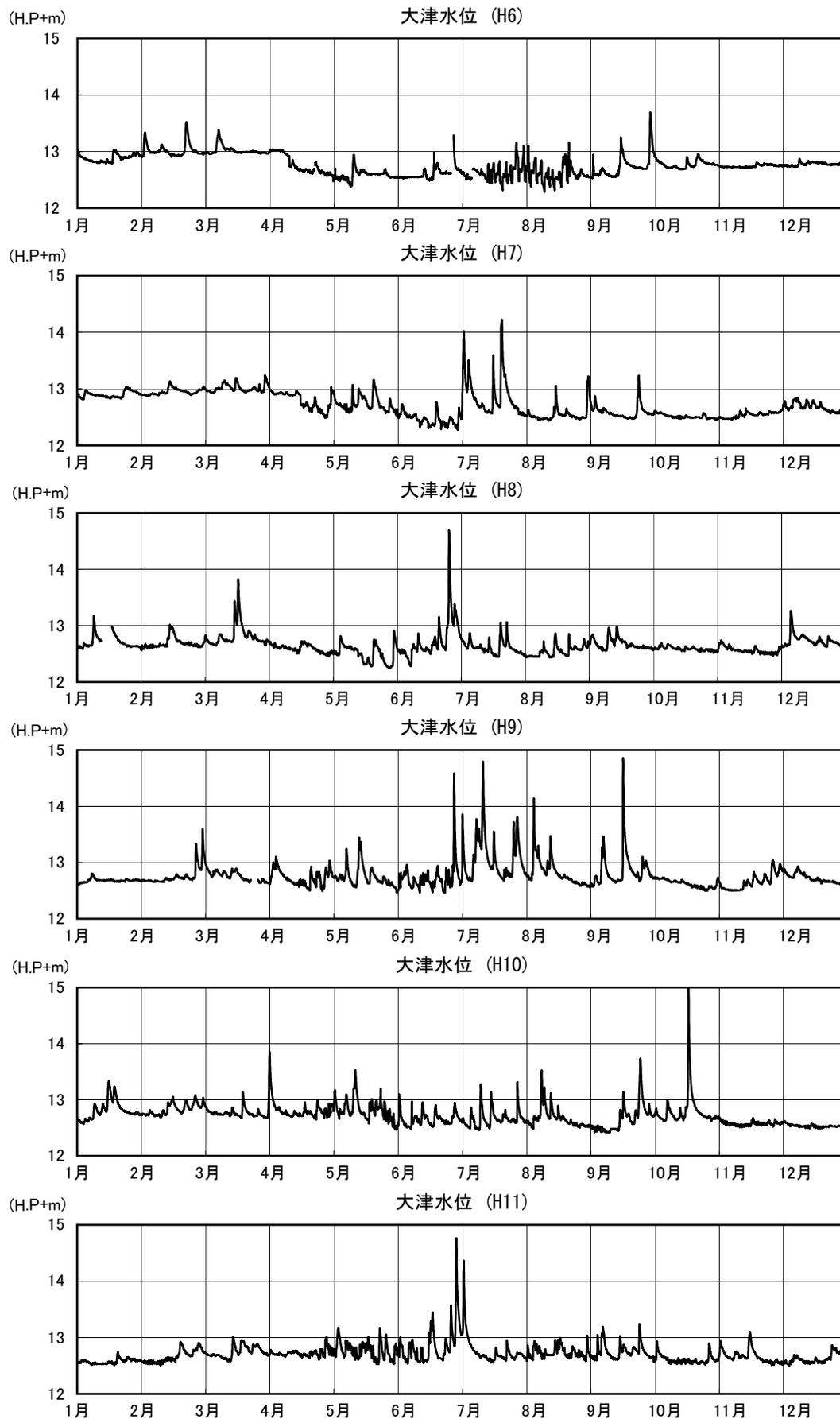


図1.1.3(1) 水位・流量（流入河川と河口）の時間変化図（平成6～22年：年別）

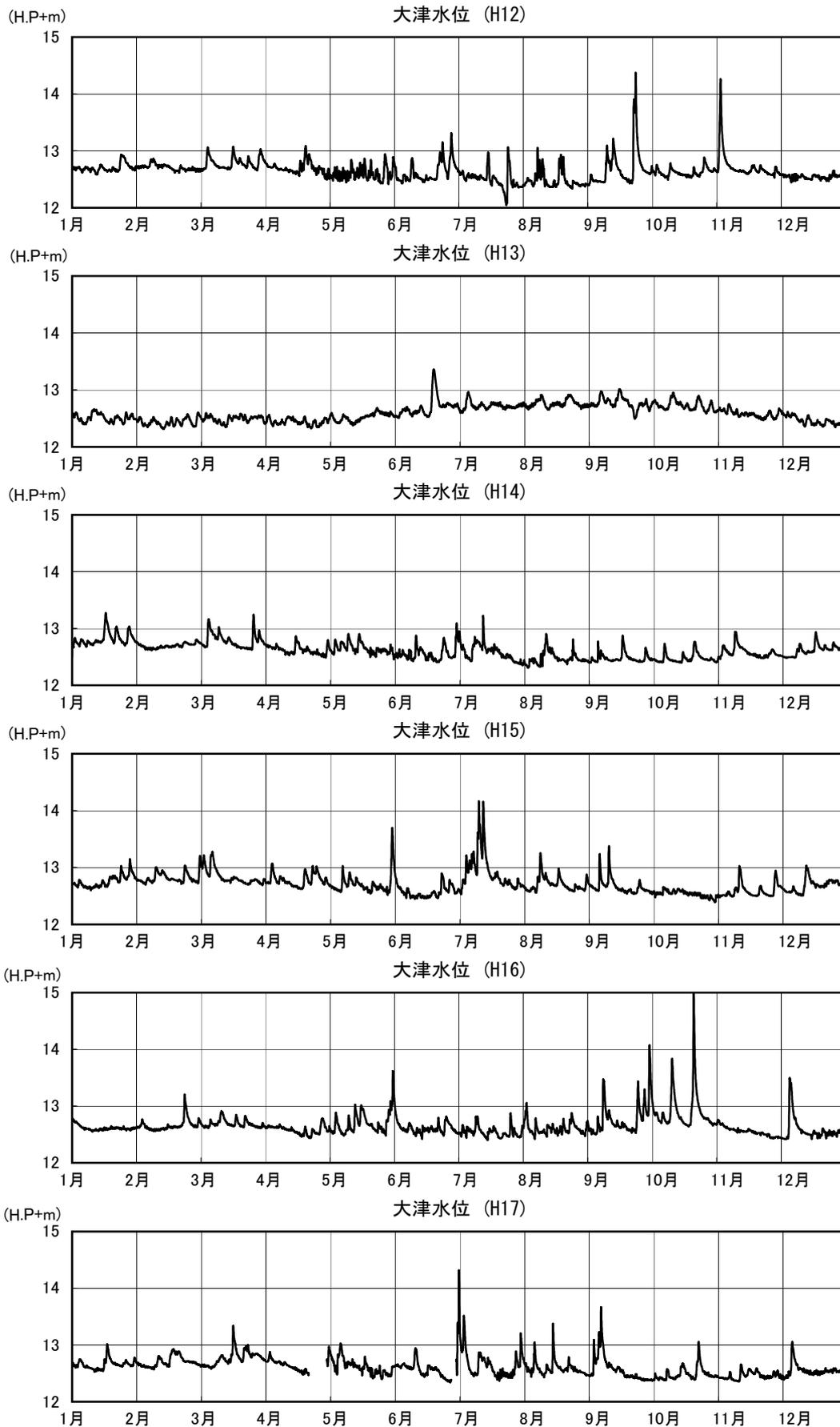


図1.1.3(2) 水位・流量（流入河川と河口）の時間変化図（平成6～22年：年別）

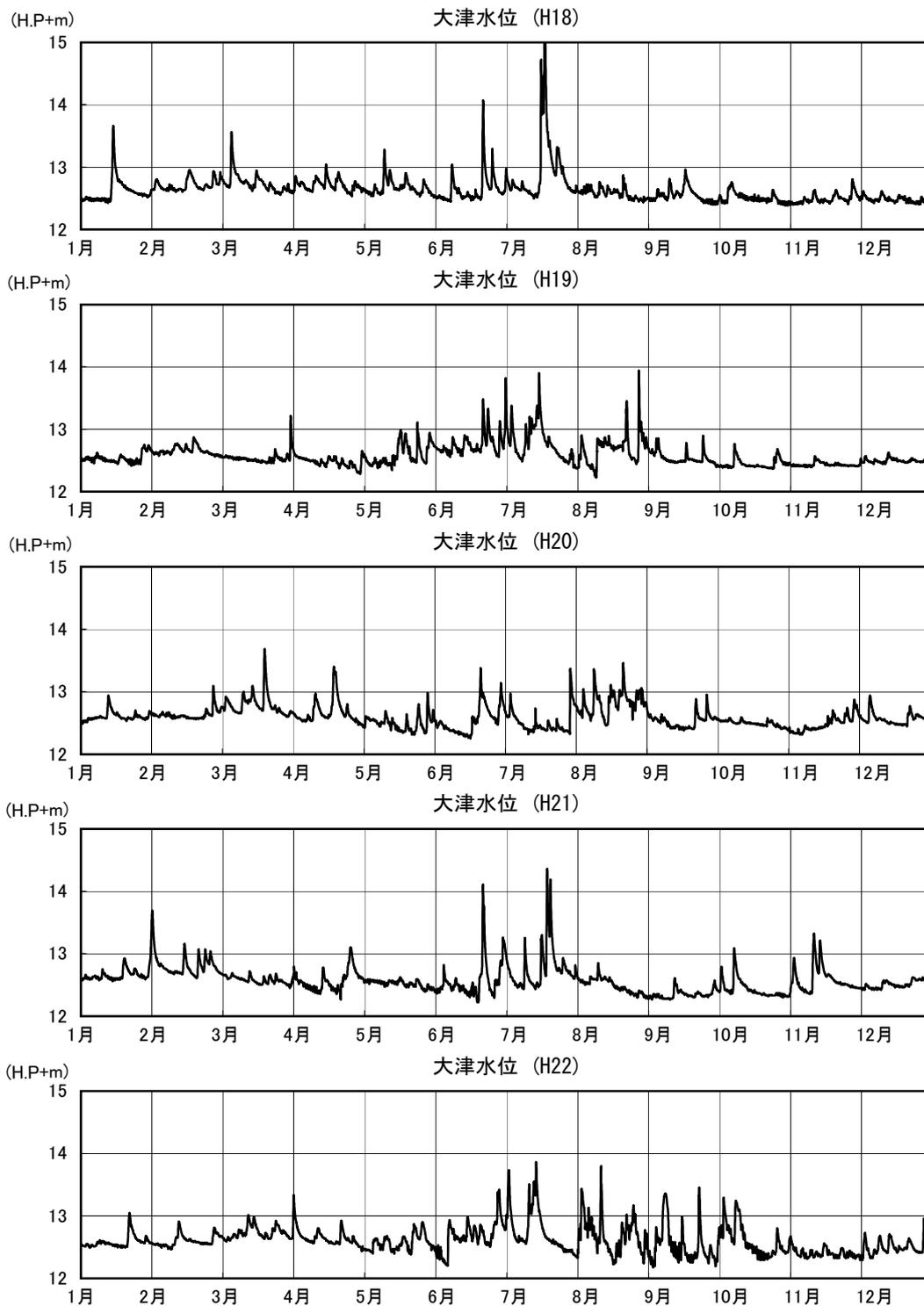


図1.1.3(3) 水位・流量（流入河川と河口）の時間変化図（平成6～22年：年別）

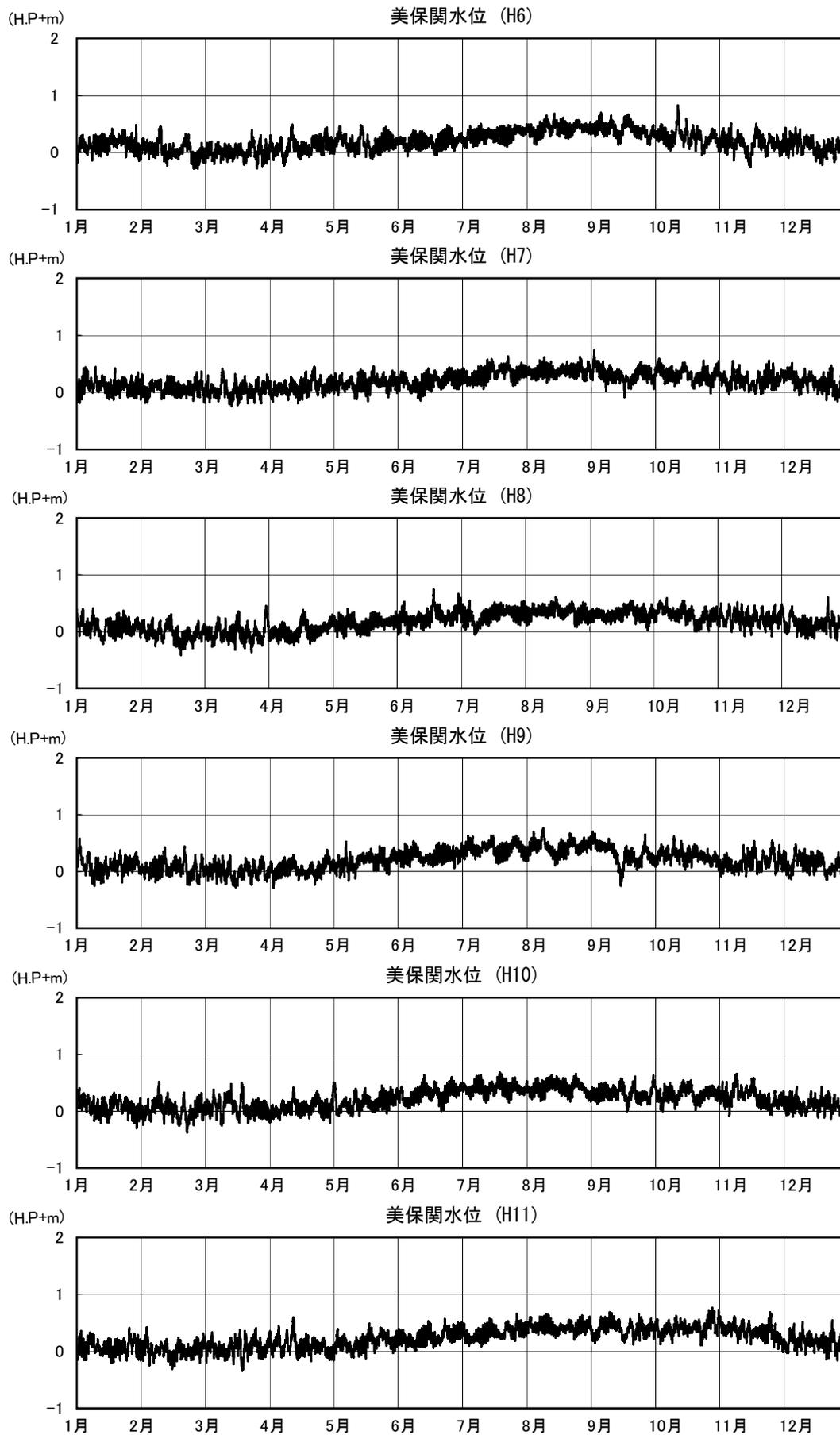


図1.1.3(4) 水位・流量（流入河川と河口）の時間変化図（平成6～22年：年別）

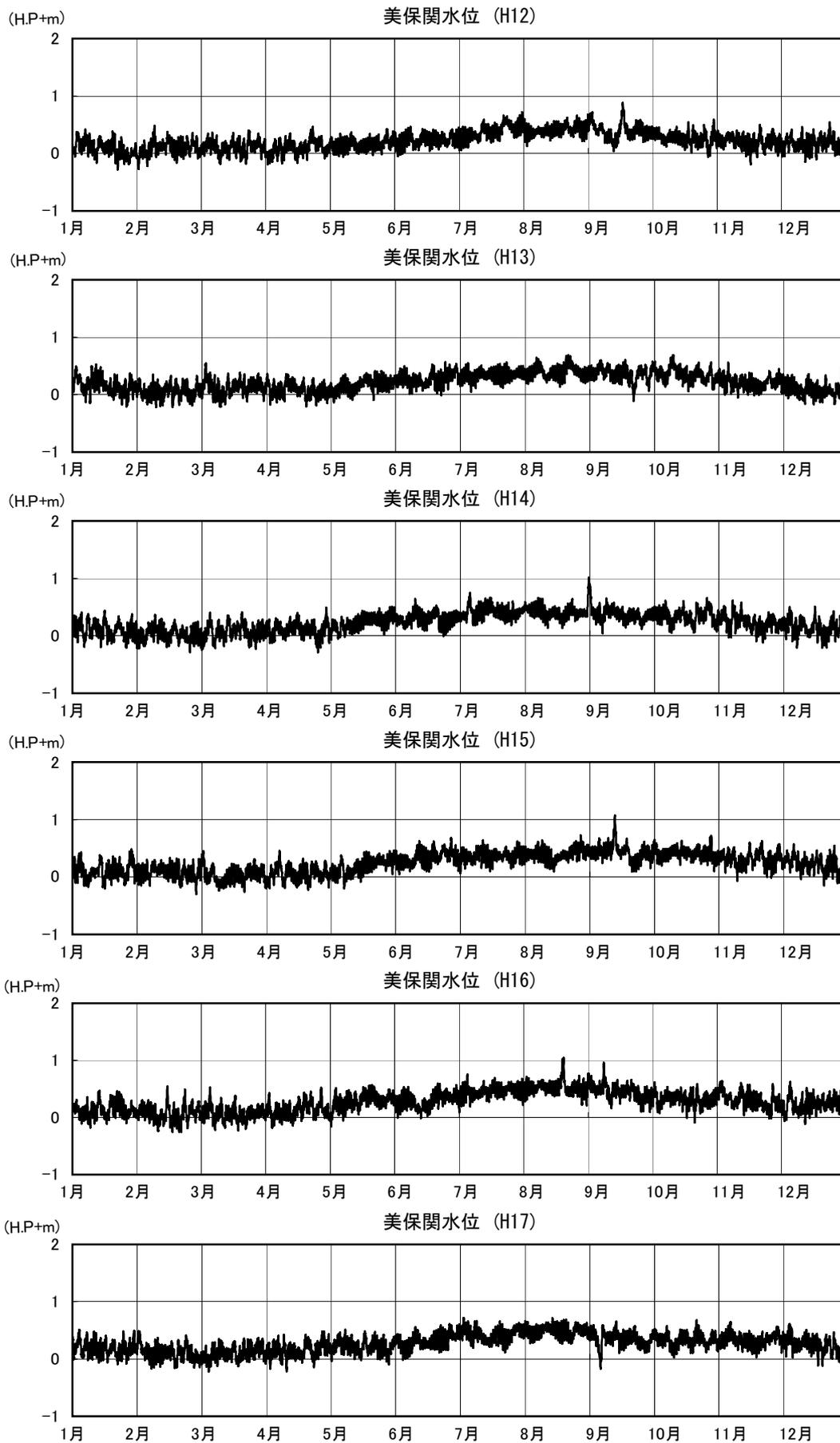


図1.1.3(5) 水位・流量（流入河川と河口）の時間変化図（平成6～22年：年別）

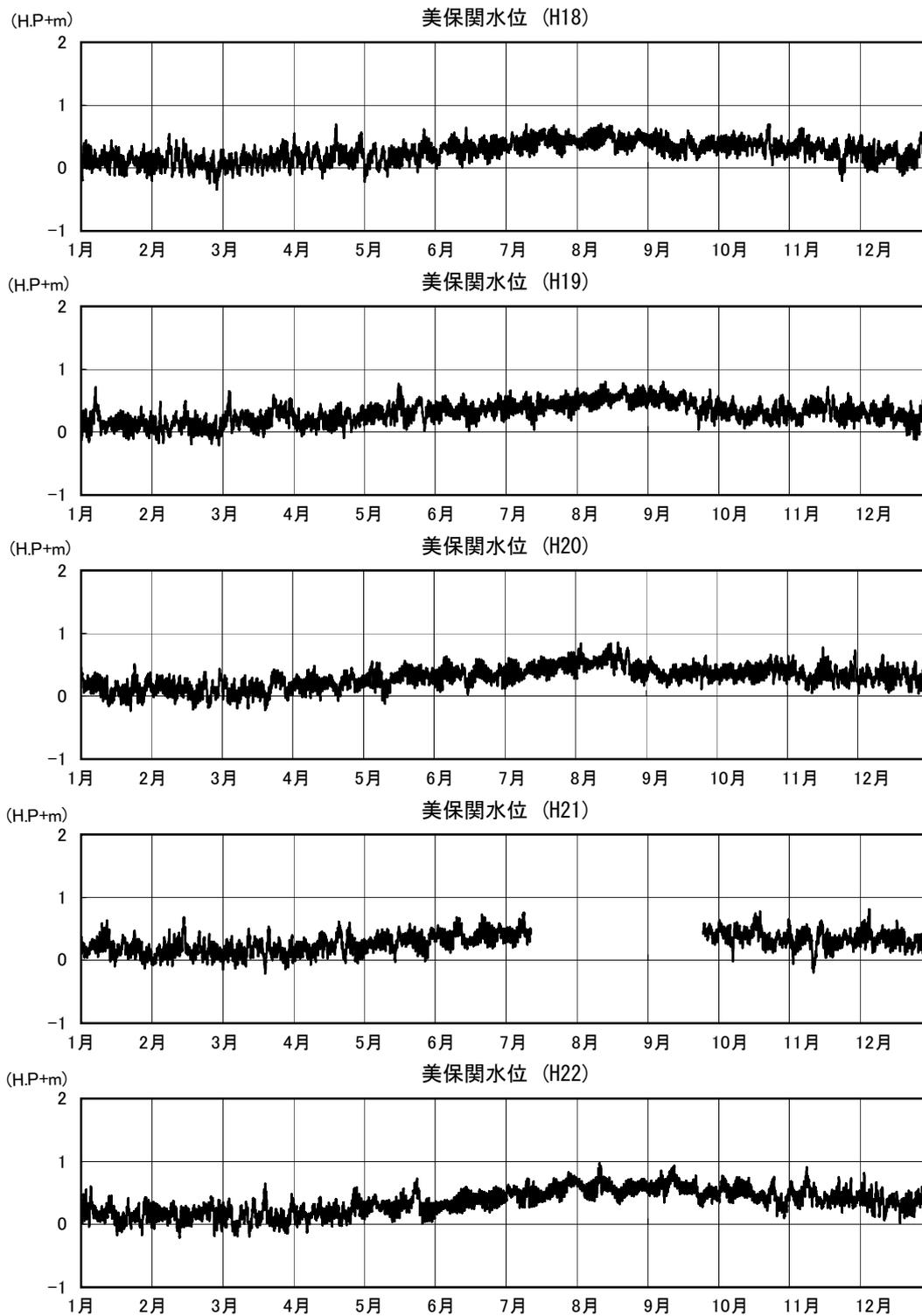


図1.1.3(6) 水位・流量（流入河川と河口）の時間変化図（平成6～22年：年別）

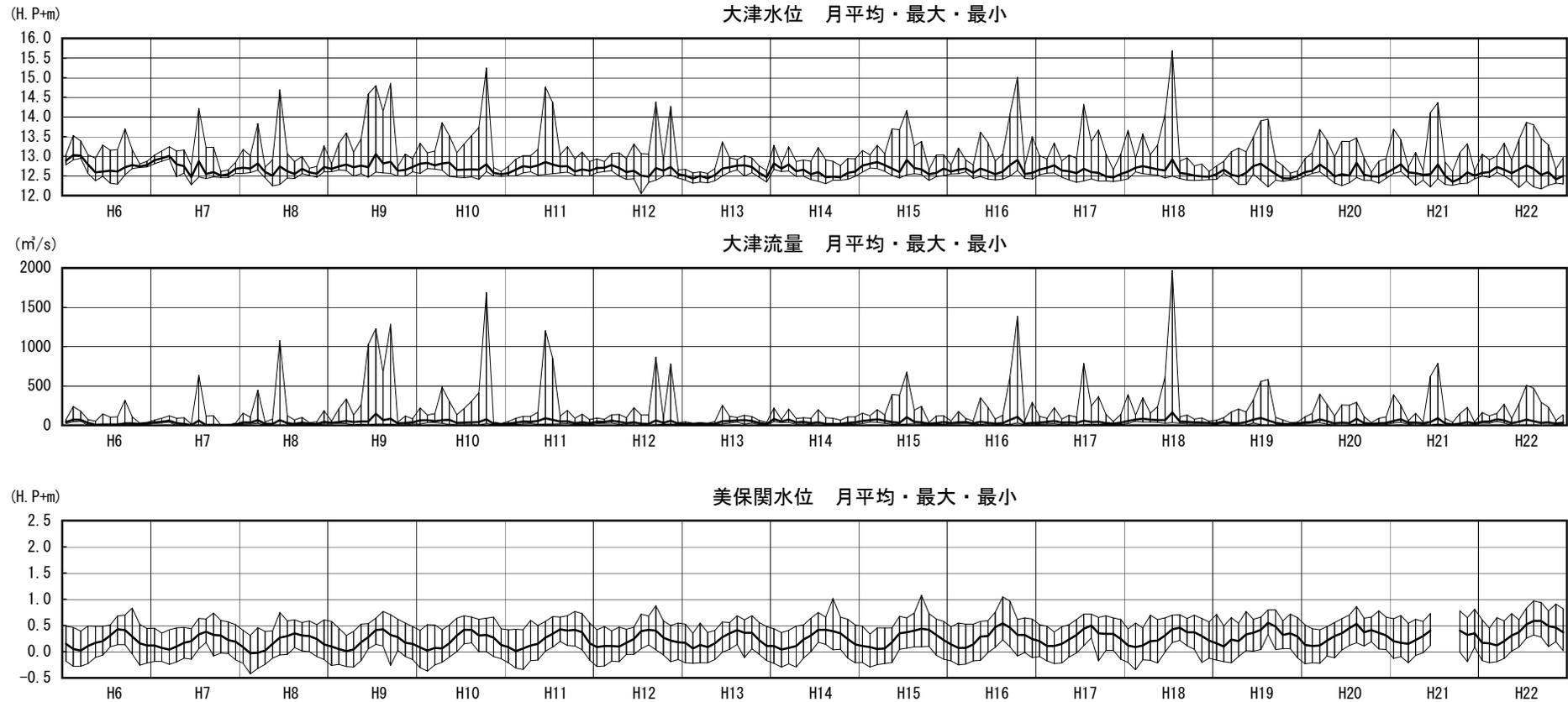


図1.1.4 水位・流量(流入河川と河口)の毎正時観測値の月別平均・最大・最小の経年変化図

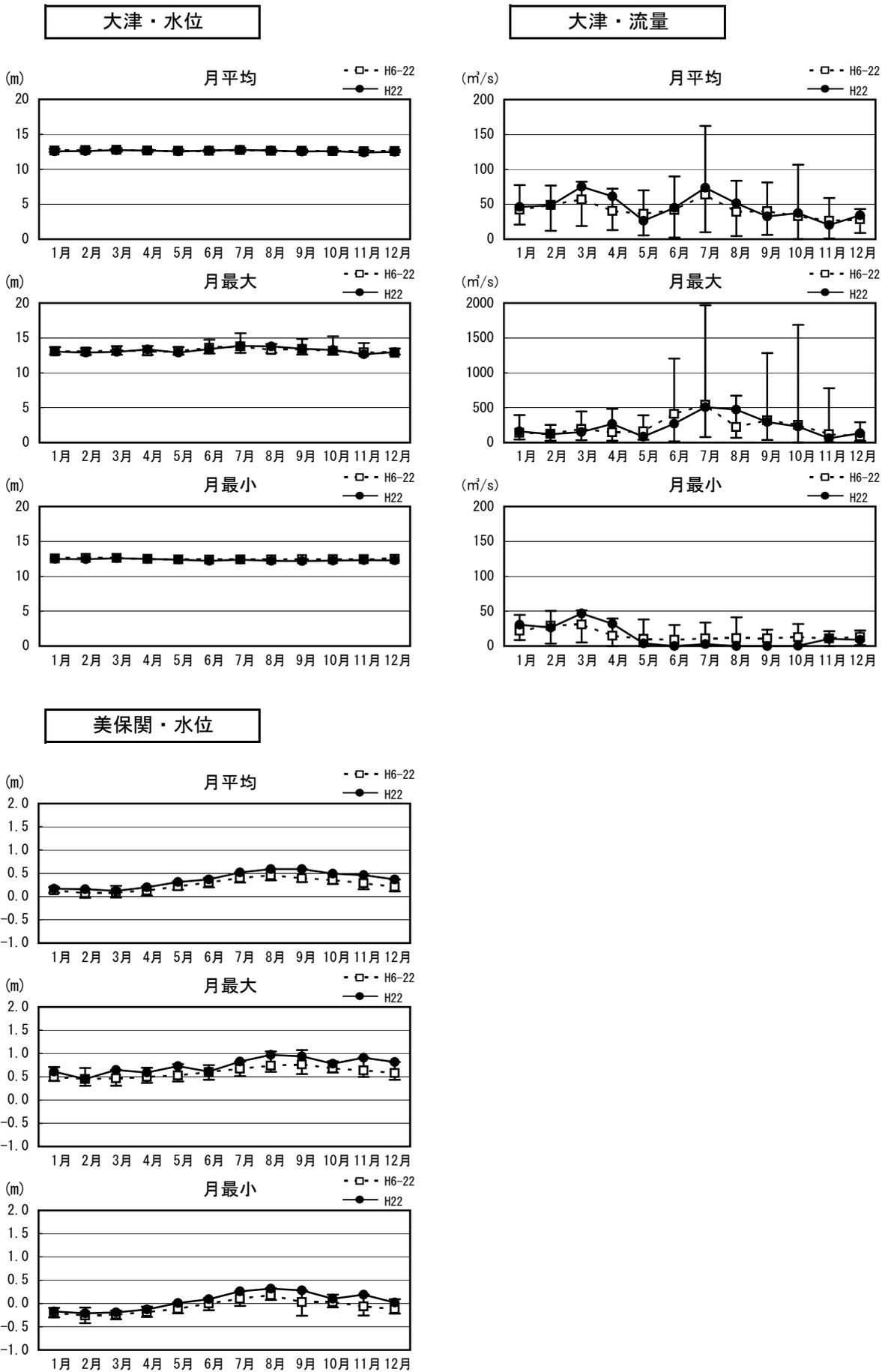


図1.1.5 水位・流量（流入河川と河口）の毎正時観測値の月平均・月最大・月最小の現状変化幅（H06～H22）と評価対象年（H22）観測値の比較

(2) 調査結果（流入河川水質）

図 1.1.6 流入河川水質（採水分析）の月変化図（平成 6～22 年：年別）

図 1.1.7 流入河川水質（採水分析）の月観測値の現状変化幅（H06～H22）と評価対象年（H22）
観測値の比較

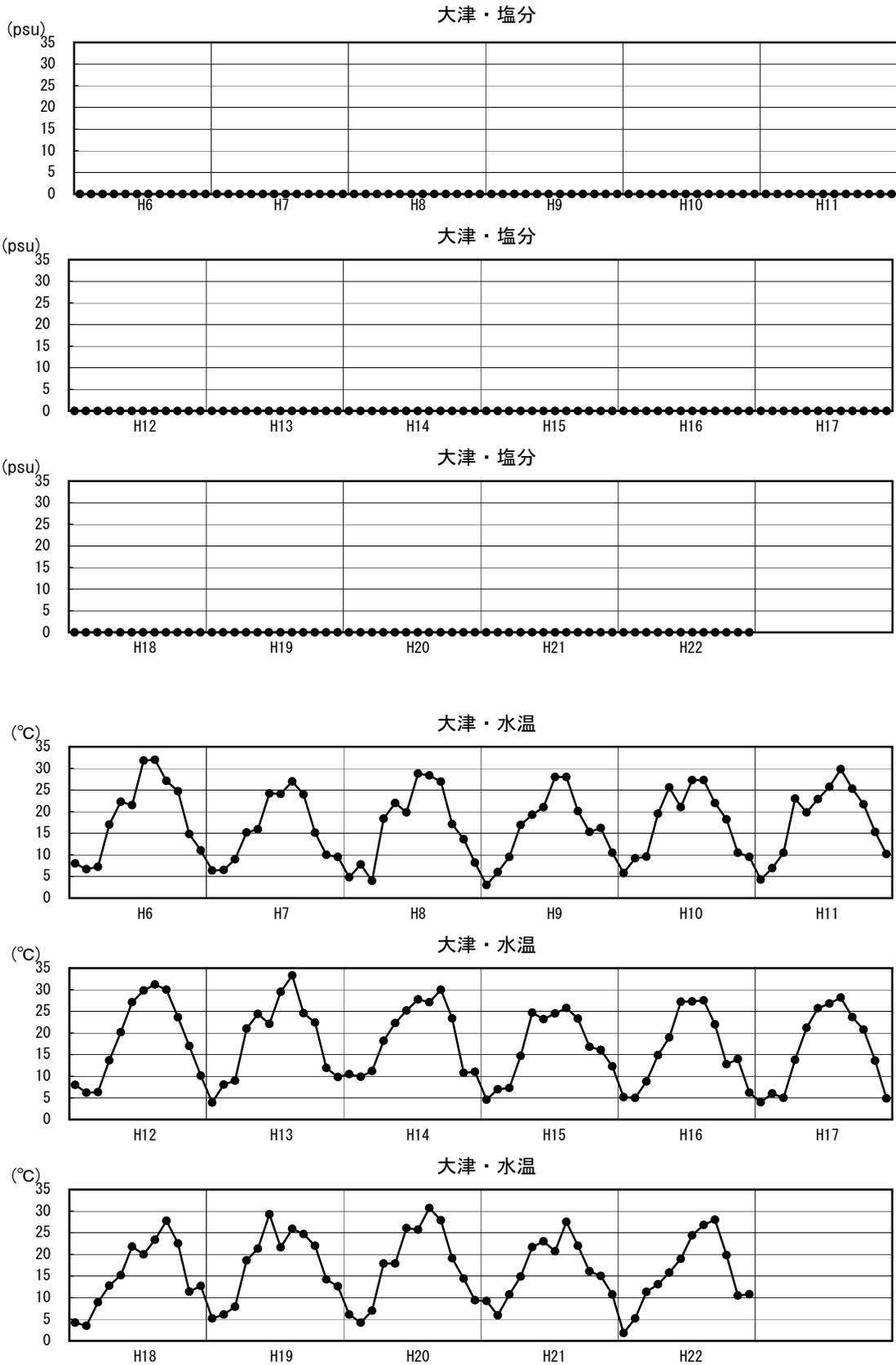


図1.1.6(1) 流入河川水質（採水分析）の月変化図（平成6～22年：年別）

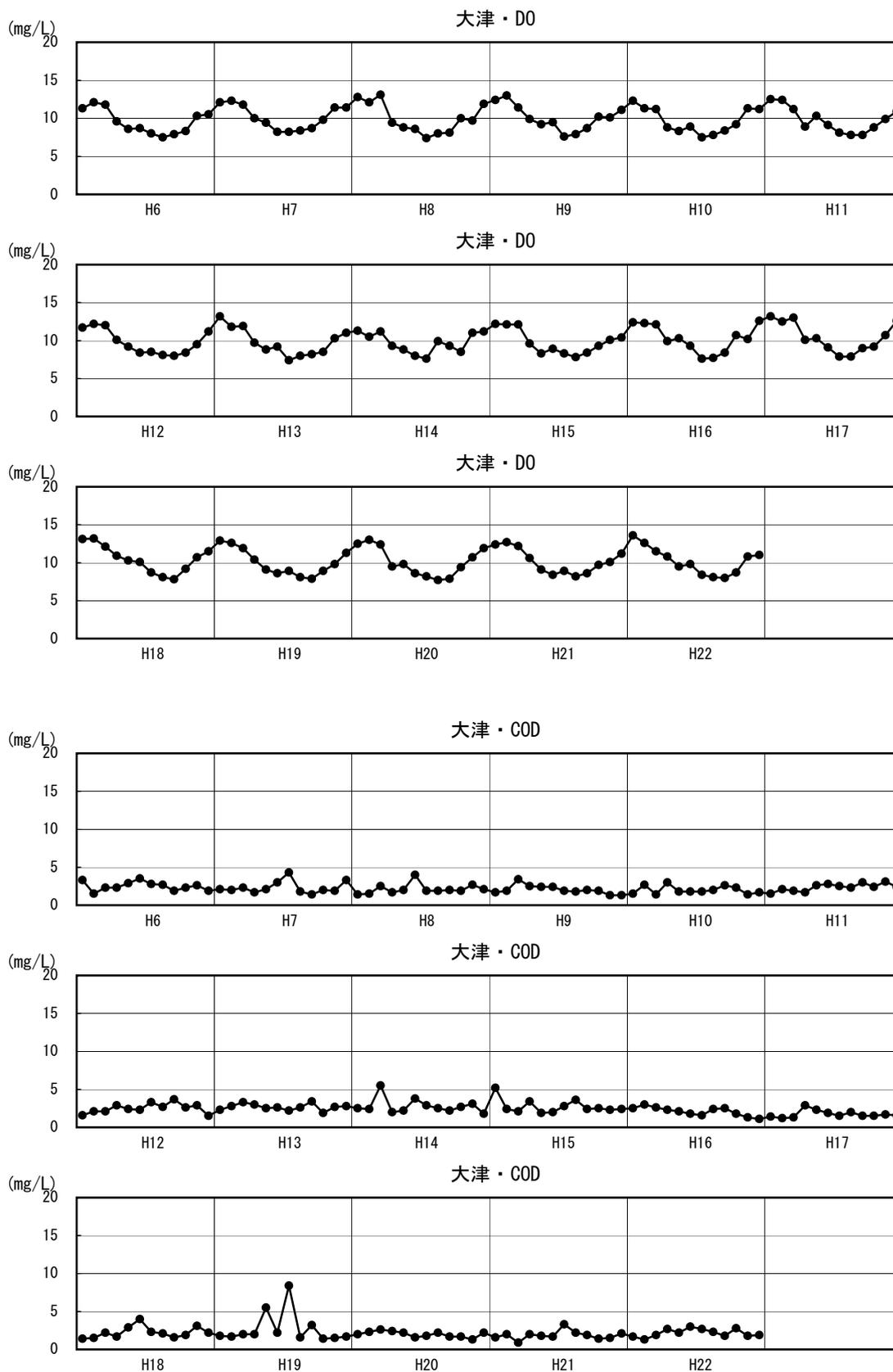


図1.1.6(2) 流入河川水質（採水分析）の月変化図（平成6～22年：年別）

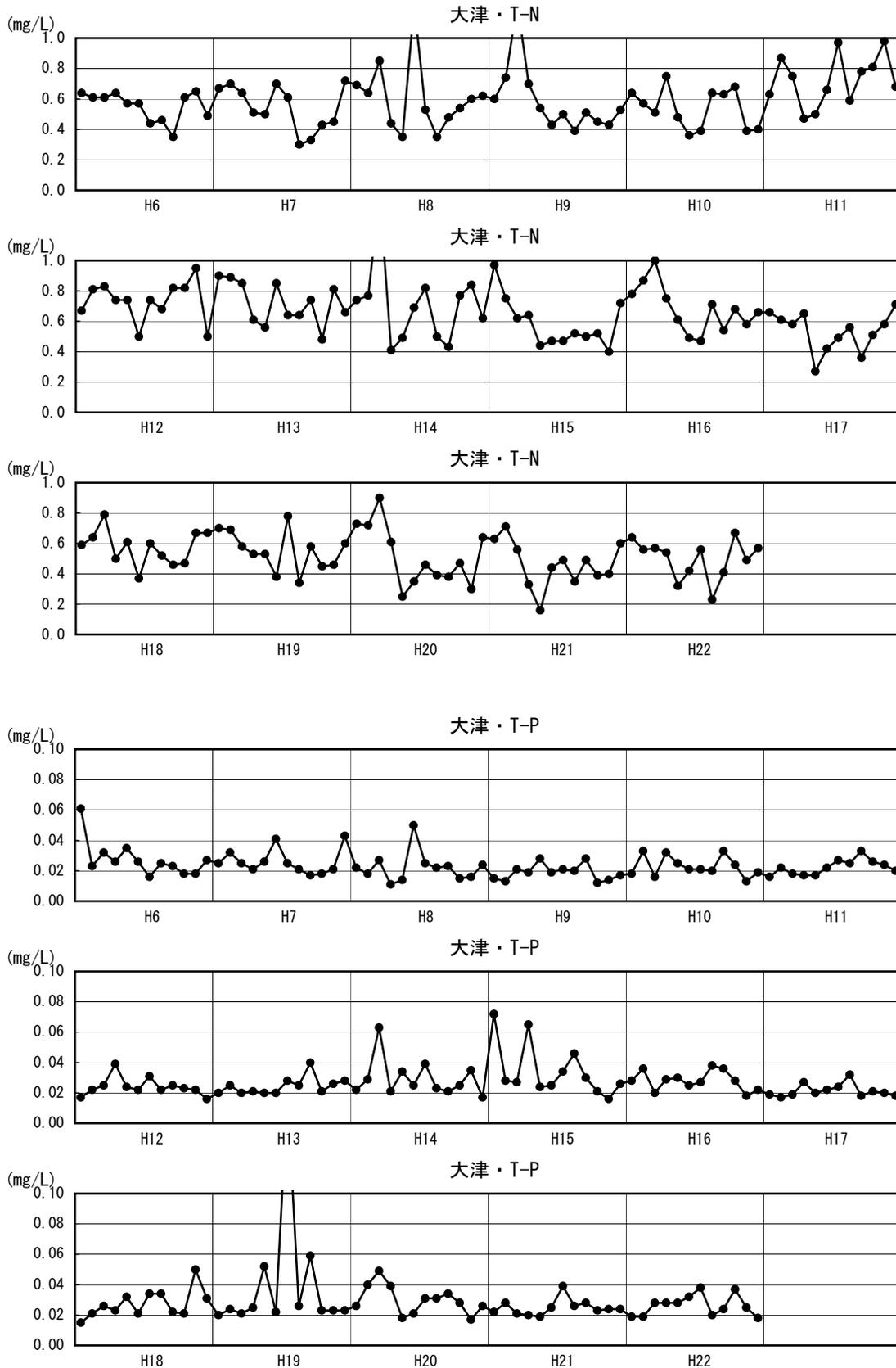


図1.1.6(3) 流入河川水質（採水分析）の月変化図（平成6～22年：年別）

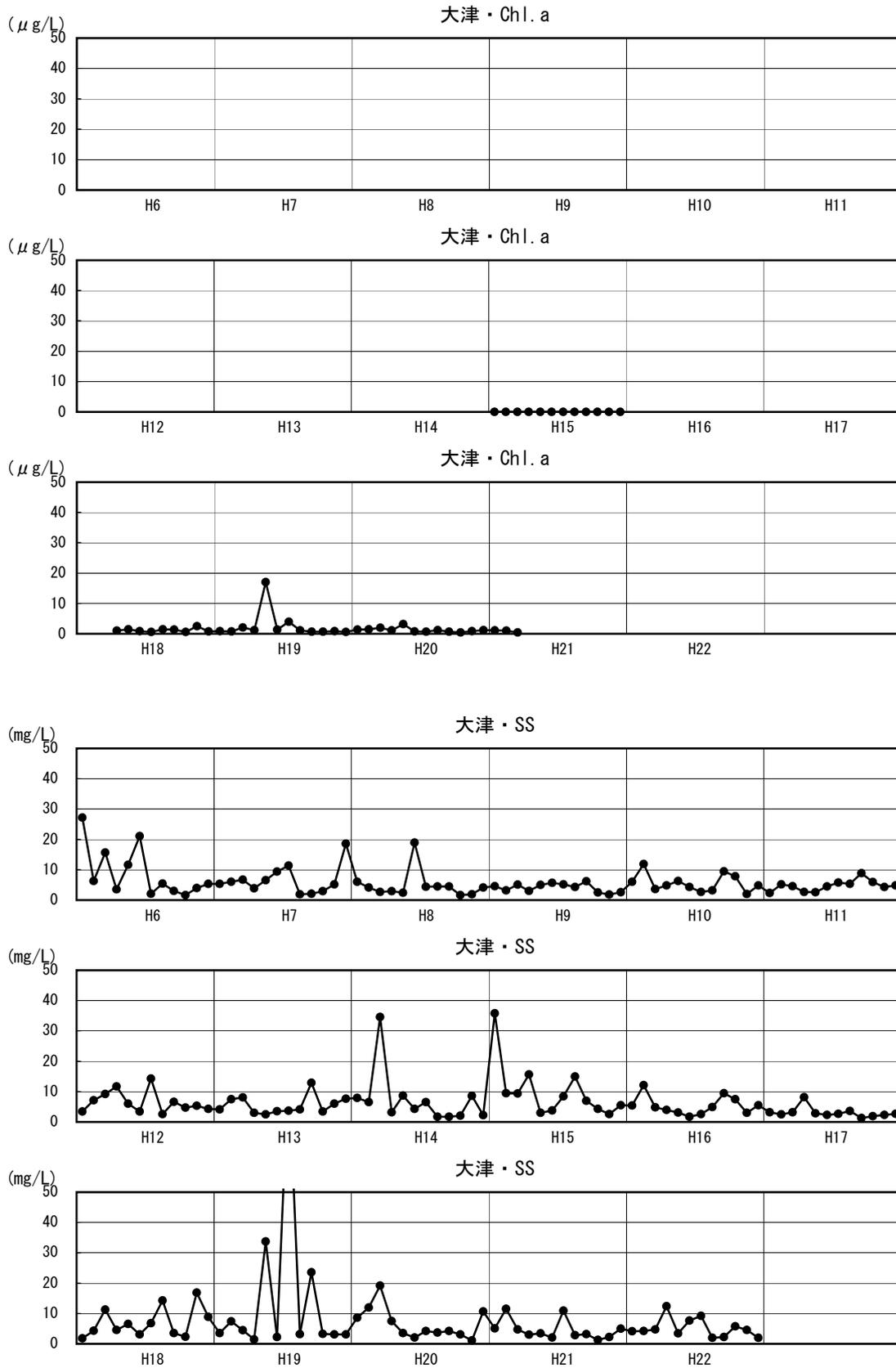


図1.1.6(4) 流入河川水質（採水分析）の月変化図（平成6～22年：年別）

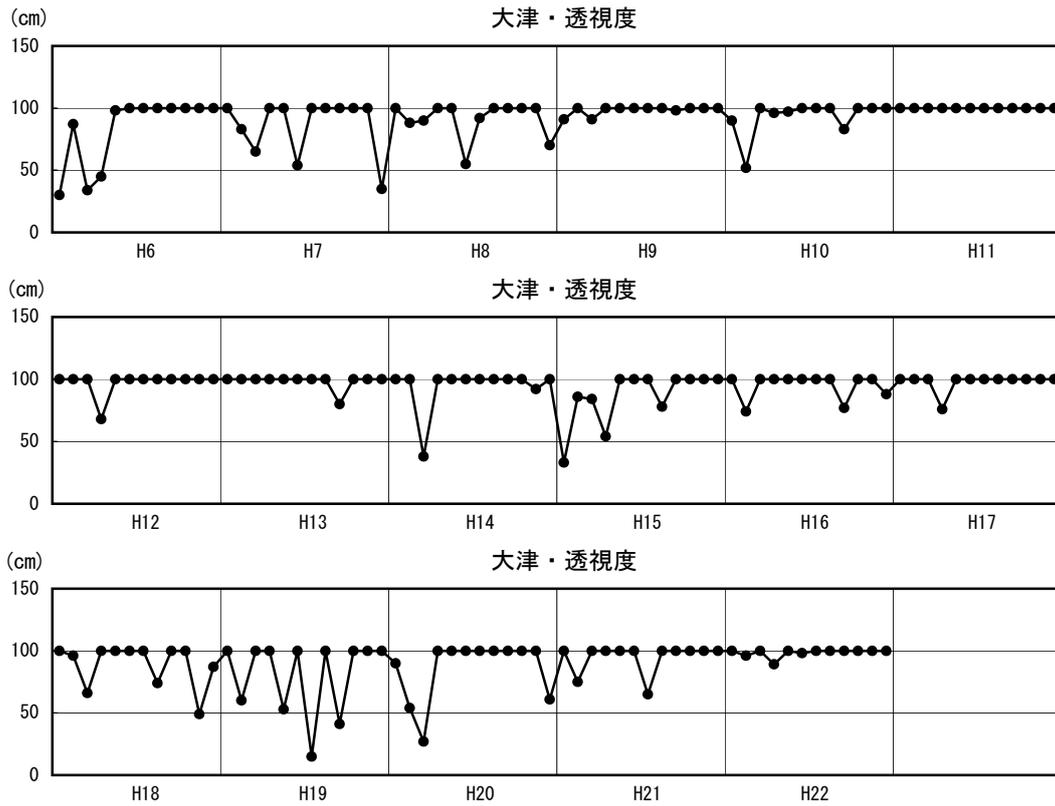


図1.1.6(5) 流入河川水質（採水分析）の月変化図（平成6～22年：年別）

大津・水質

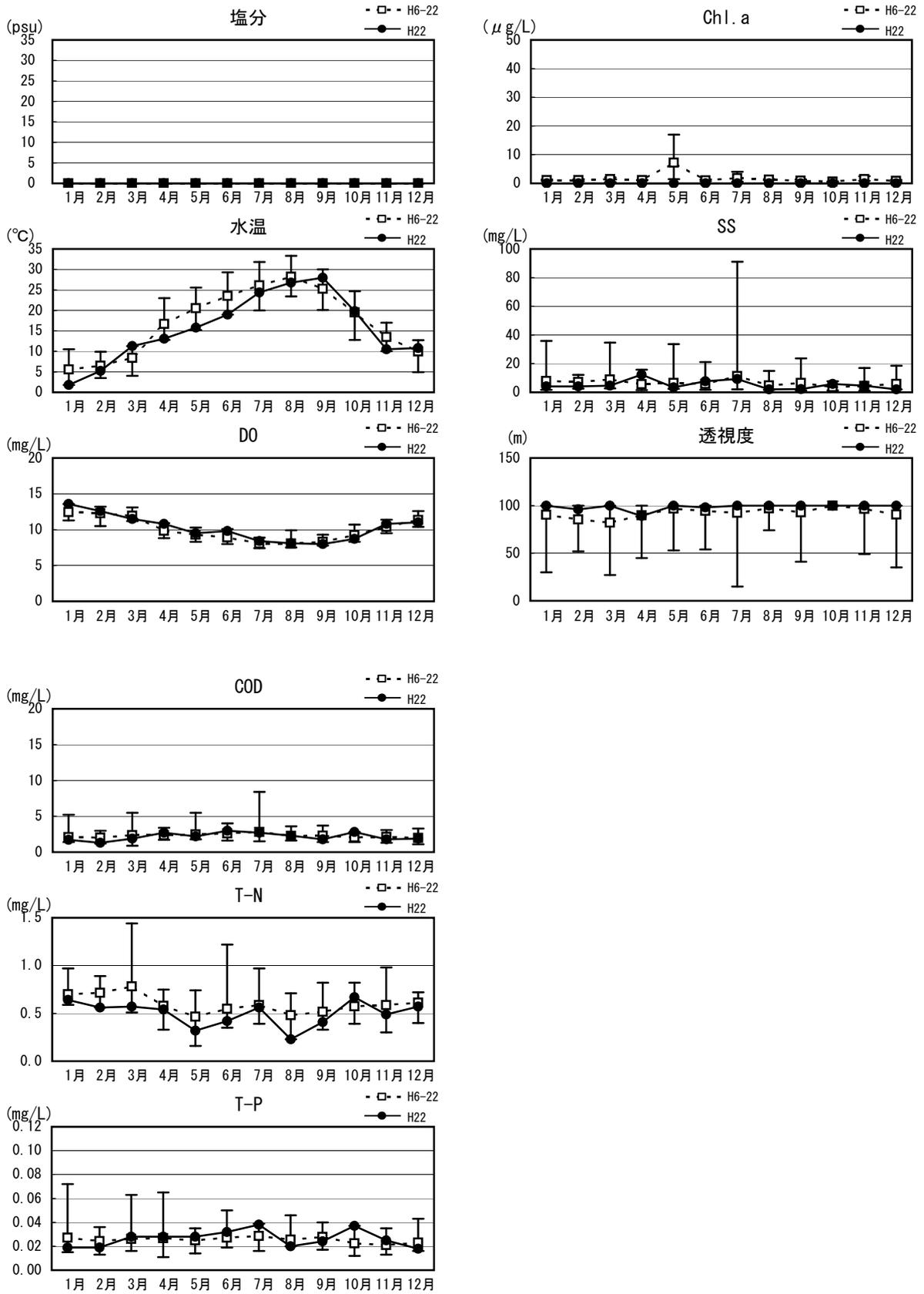


図1.1.7 湖内水質の月別観測値の現状変化幅 (H06~H22) と評価対象年 (H22) 観測値の比較

1.2 一次影響確認項目

1.2.1 塩分（連続観測）

図 1.2.1 湖内塩分（毎時）の時間変化図（平成 6～22 年：年別）

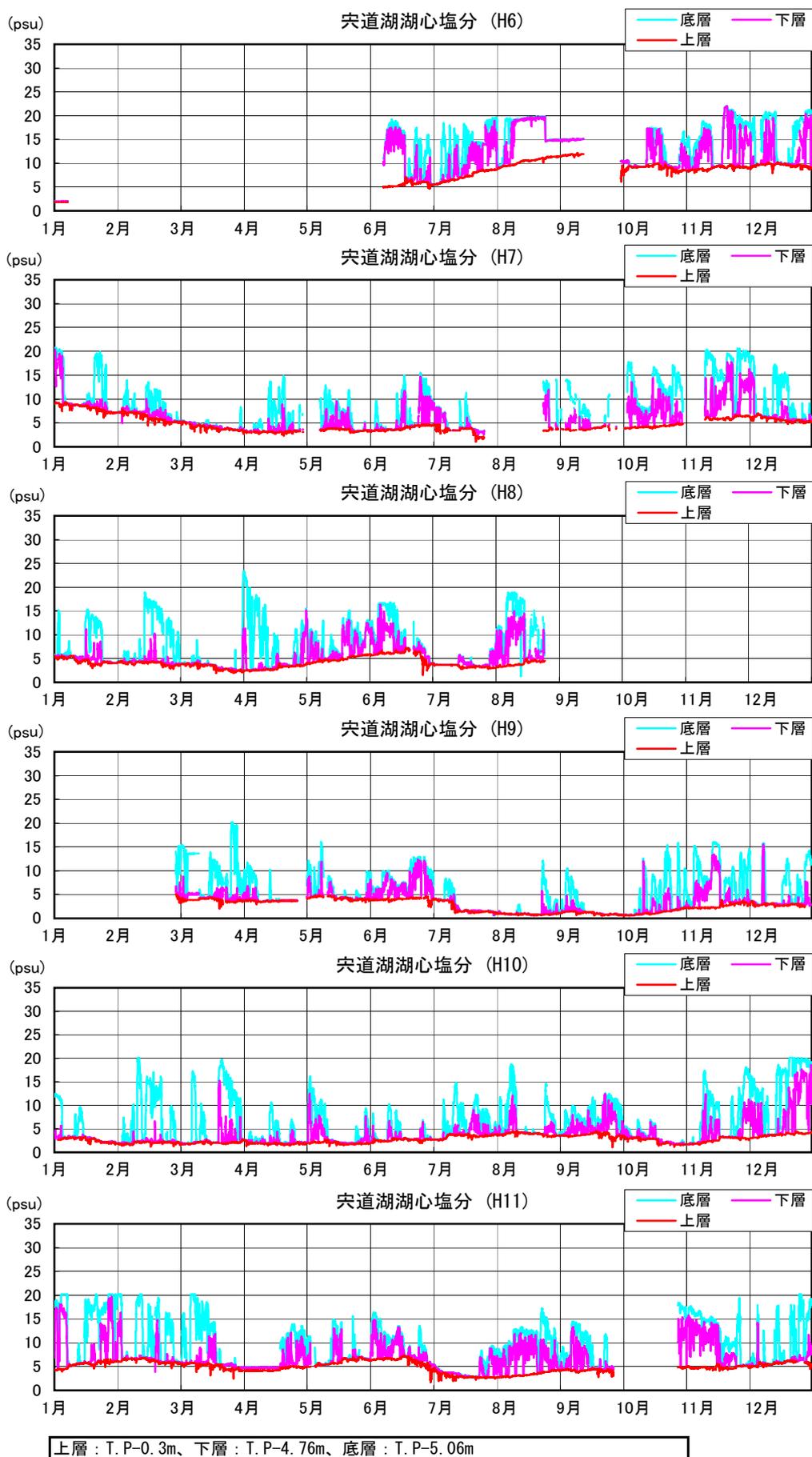


図1.2.1(1) 湖内塩分（毎時）の時間変化図（平成6～22年：年別）

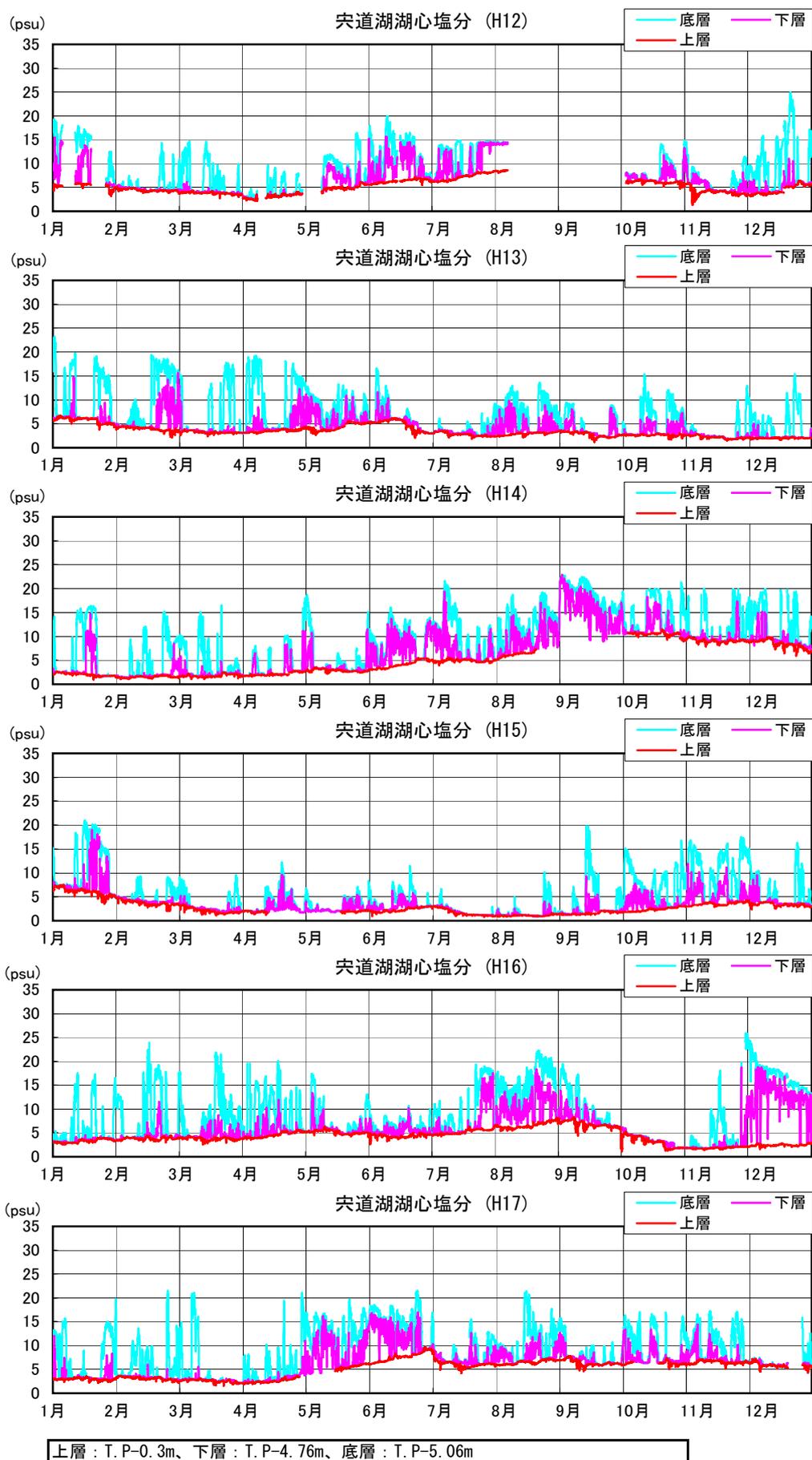
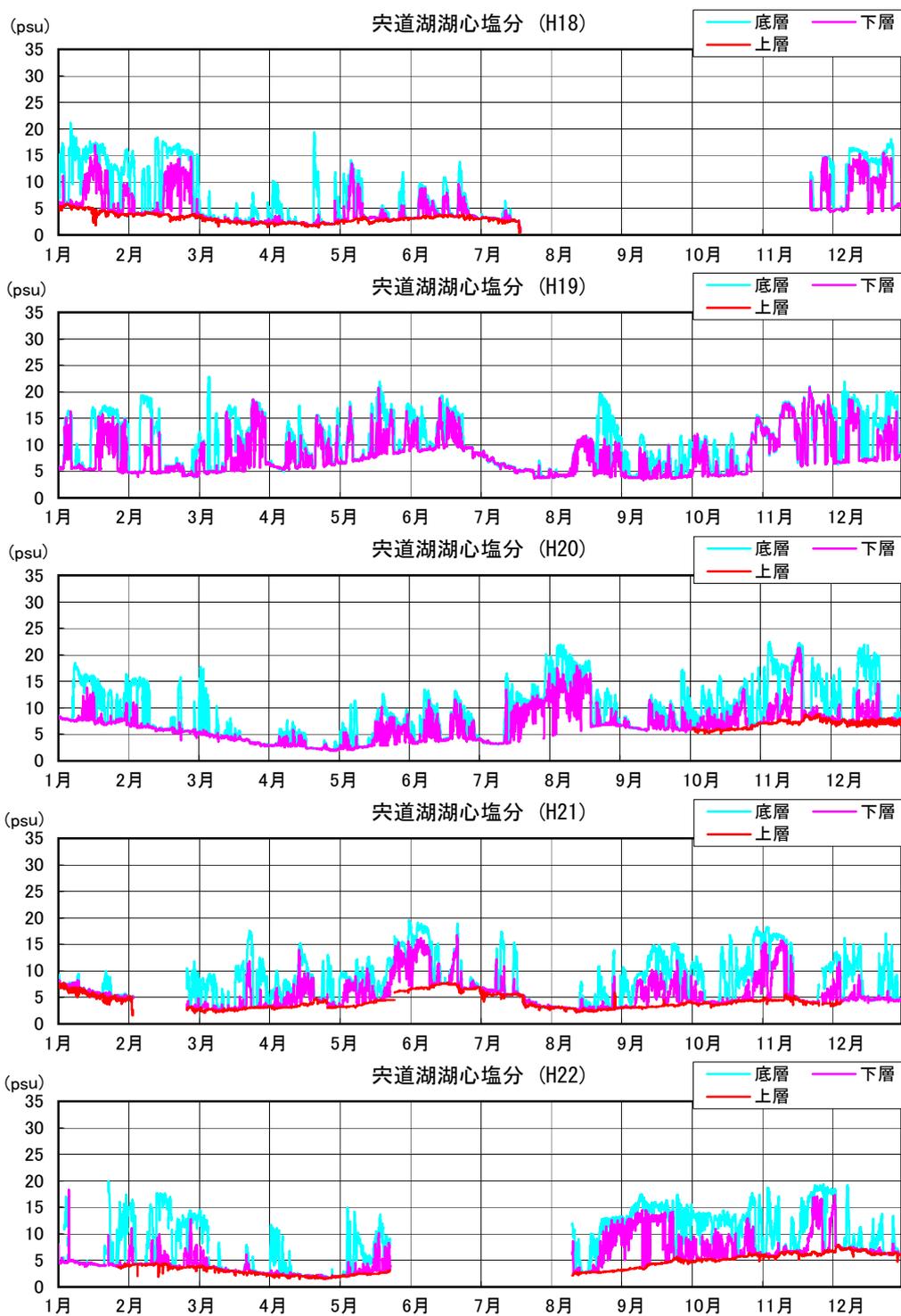


図1.2.1(2) 湖内塩分（毎時）の時間変化図（平成6～22年：年別）



上層 : T.P-0.3m、下層 : T.P-4.76m、底層 : T.P-5.06m

図1.2.1(3) 湖内塩分（毎時）の時間変化図（平成6～22年：年別）

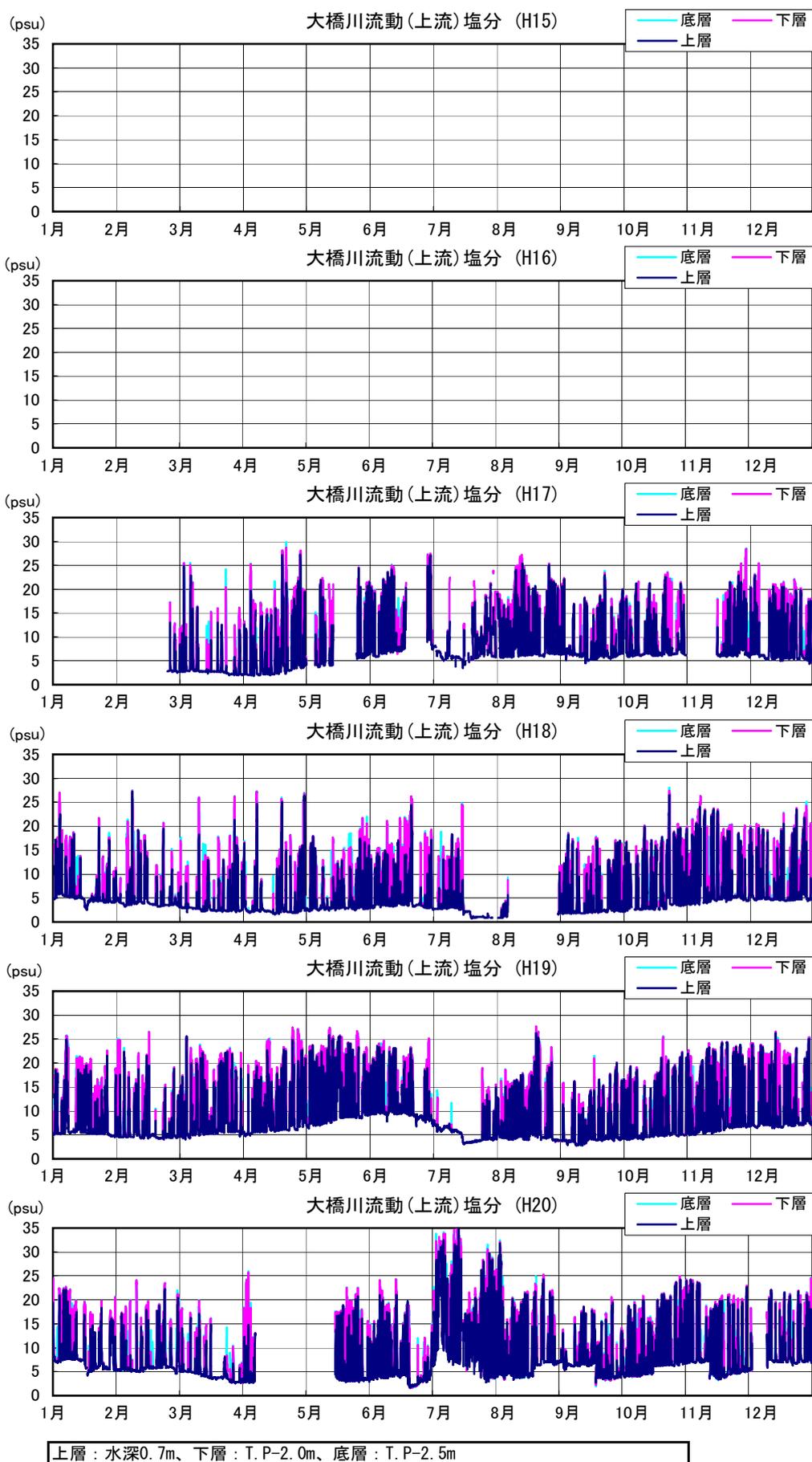
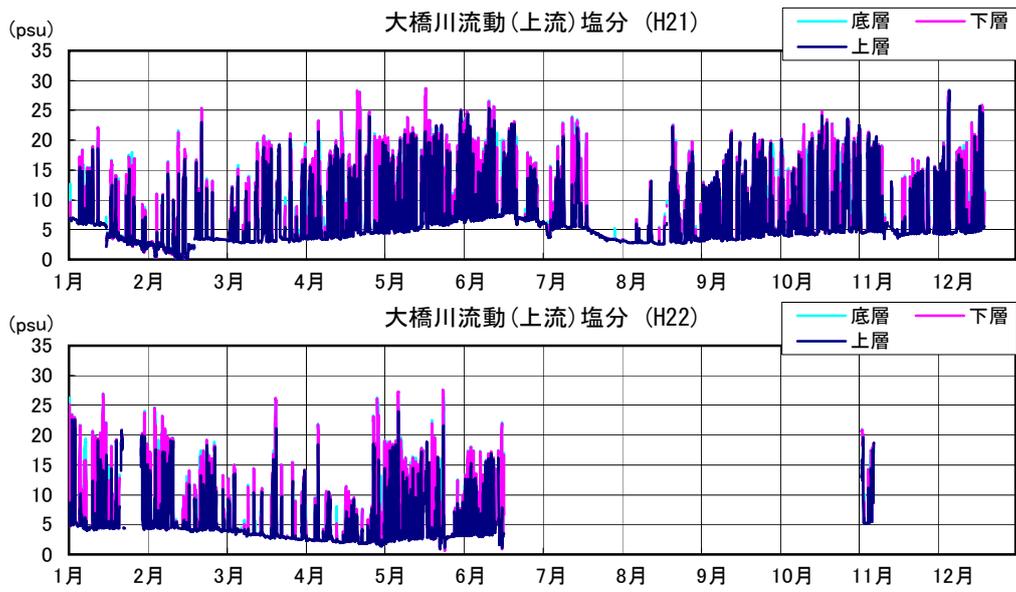


図1.2.1(4) 湖内塩分（毎時）の時間変化図（平成6～22年：年別）



上層：水深0.7m、下層：T.P-2.0m、底層：T.P-2.5m

図1.2.1(5) 湖内塩分（毎時）の時間変化図（平成6～22年：年別）

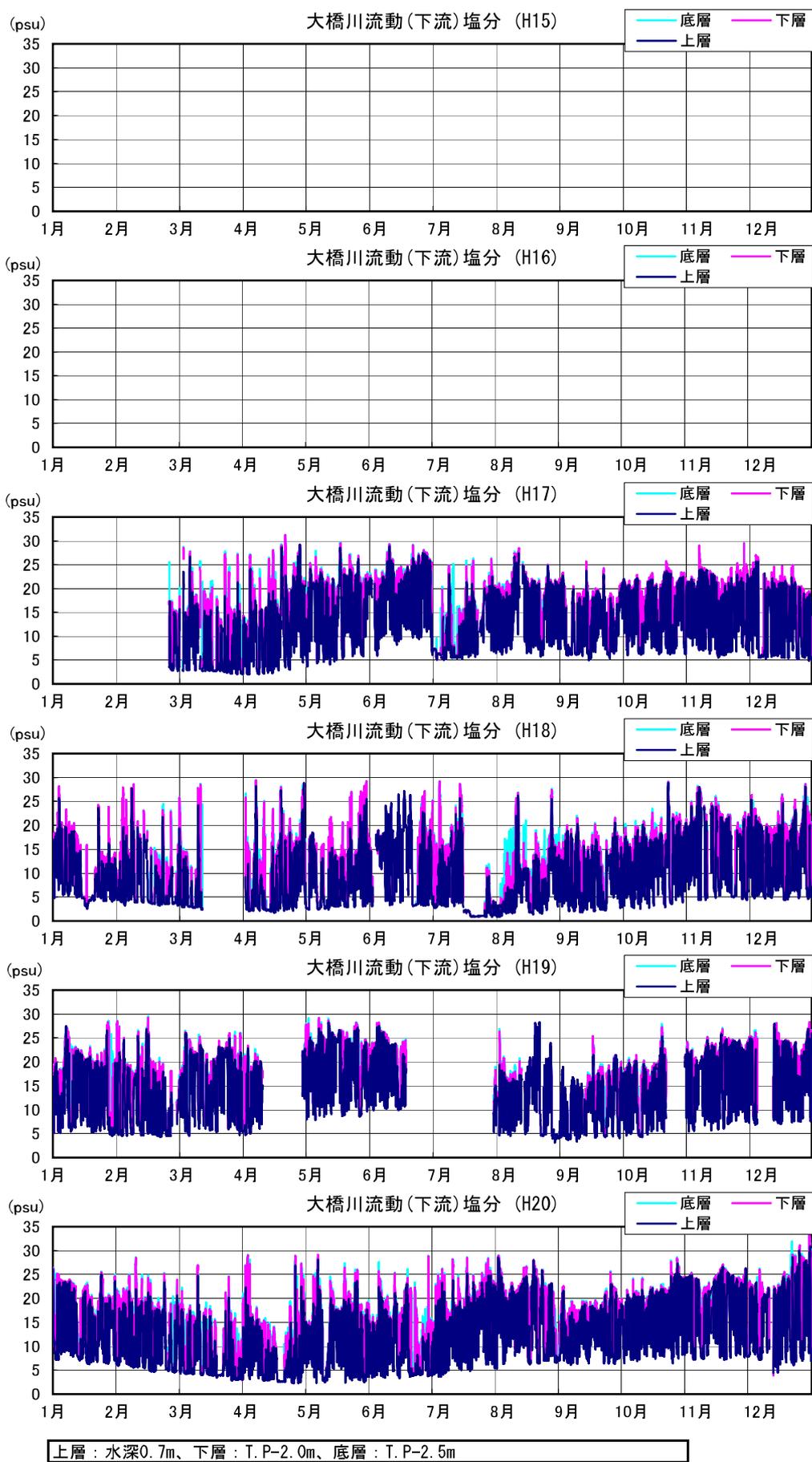
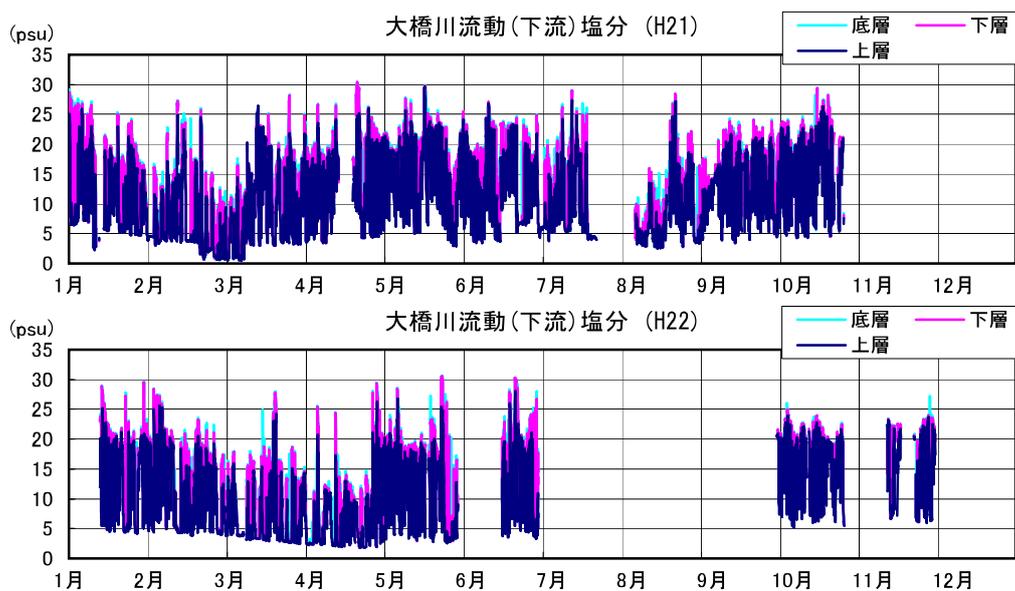


図1.2.1(6) 湖内塩分(毎時)の時間変化図(平成6~22年:年別)



上層：水深0.7m、下層：T.P-2.0m、底層：T.P-2.5m

図1.2.1(7) 湖内塩分（毎時）の時間変化図（平成6～22年：年別）

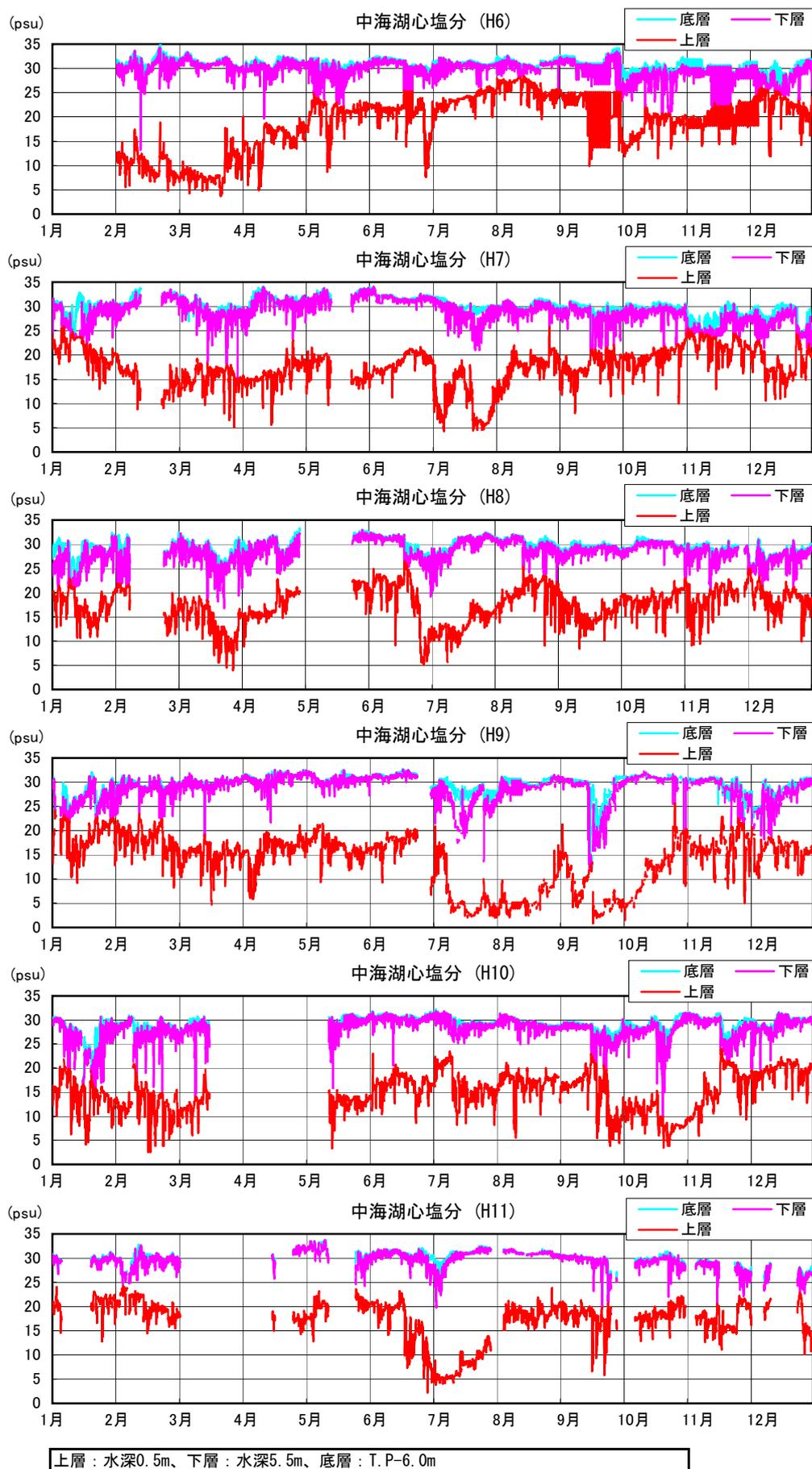


図1.2.1(8) 湖内塩分（毎時）の時間変化図（平成6～22年：年別）

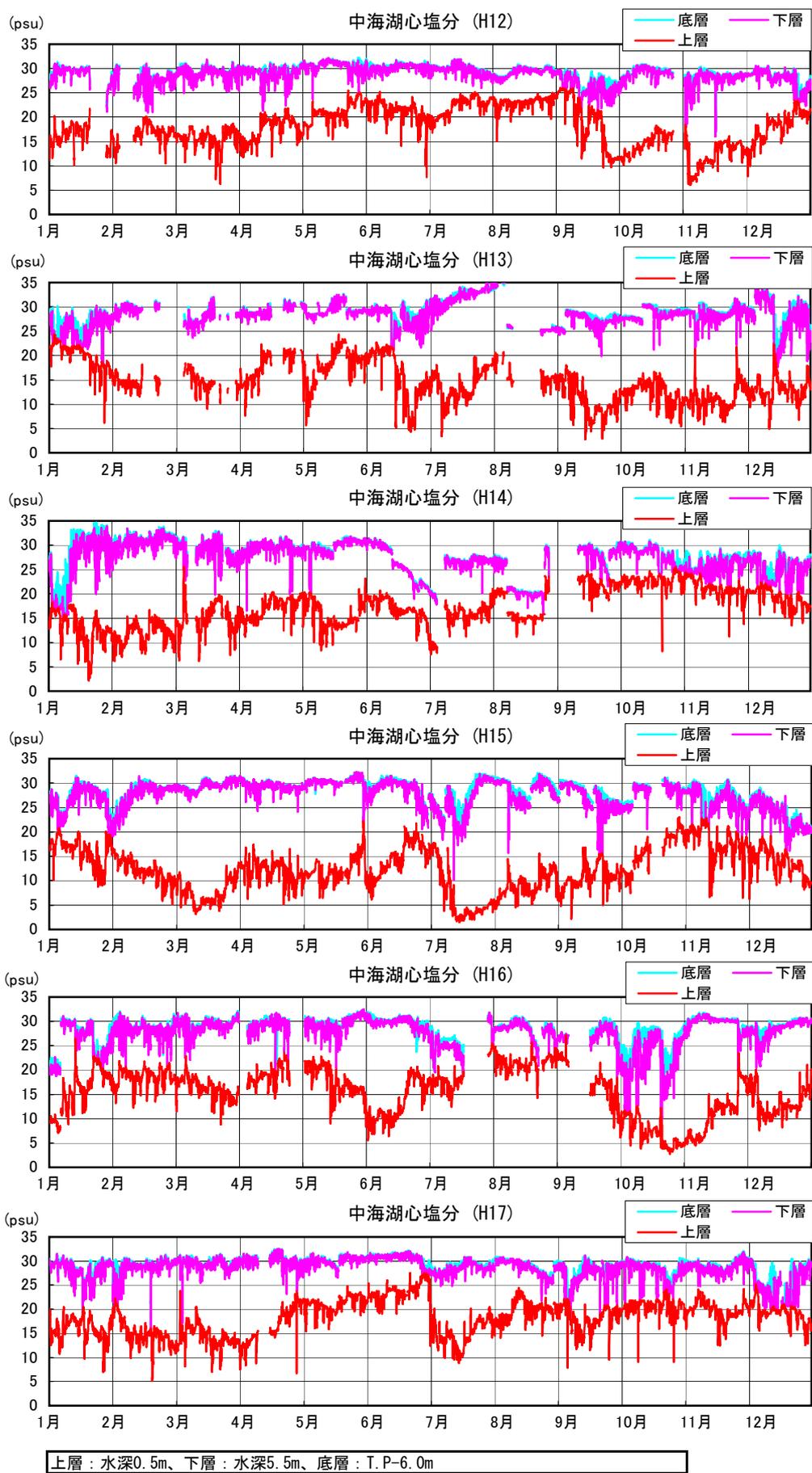
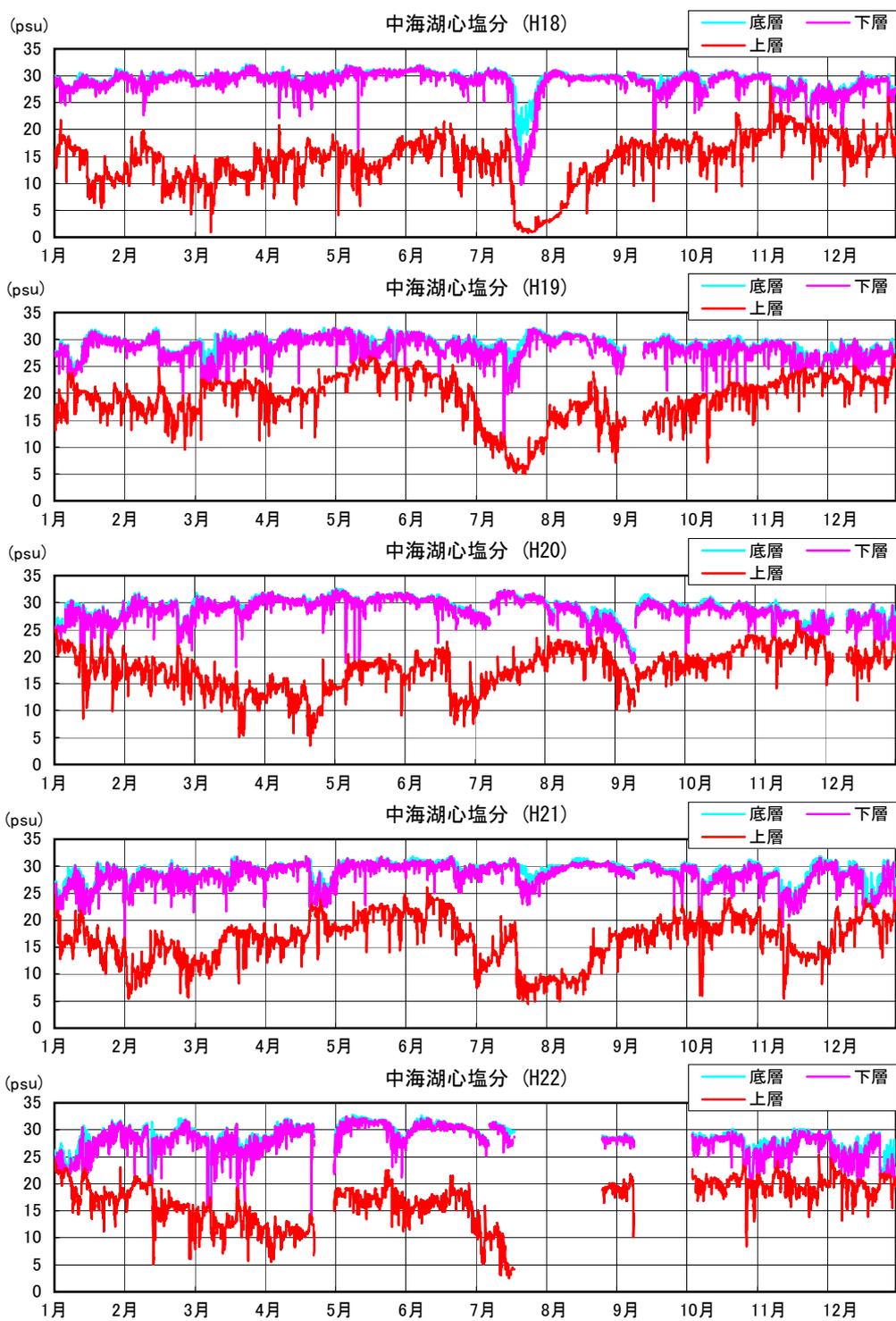


図1.2.1(9) 湖内塩分（毎時）の時間変化図（平成6～22年：年別）



上層：水深0.5m、下層：水深5.5m、底層：T.P-6.0m

図1.2.1(10) 湖内塩分（毎時）の時間変化図（平成6～22年：年別）

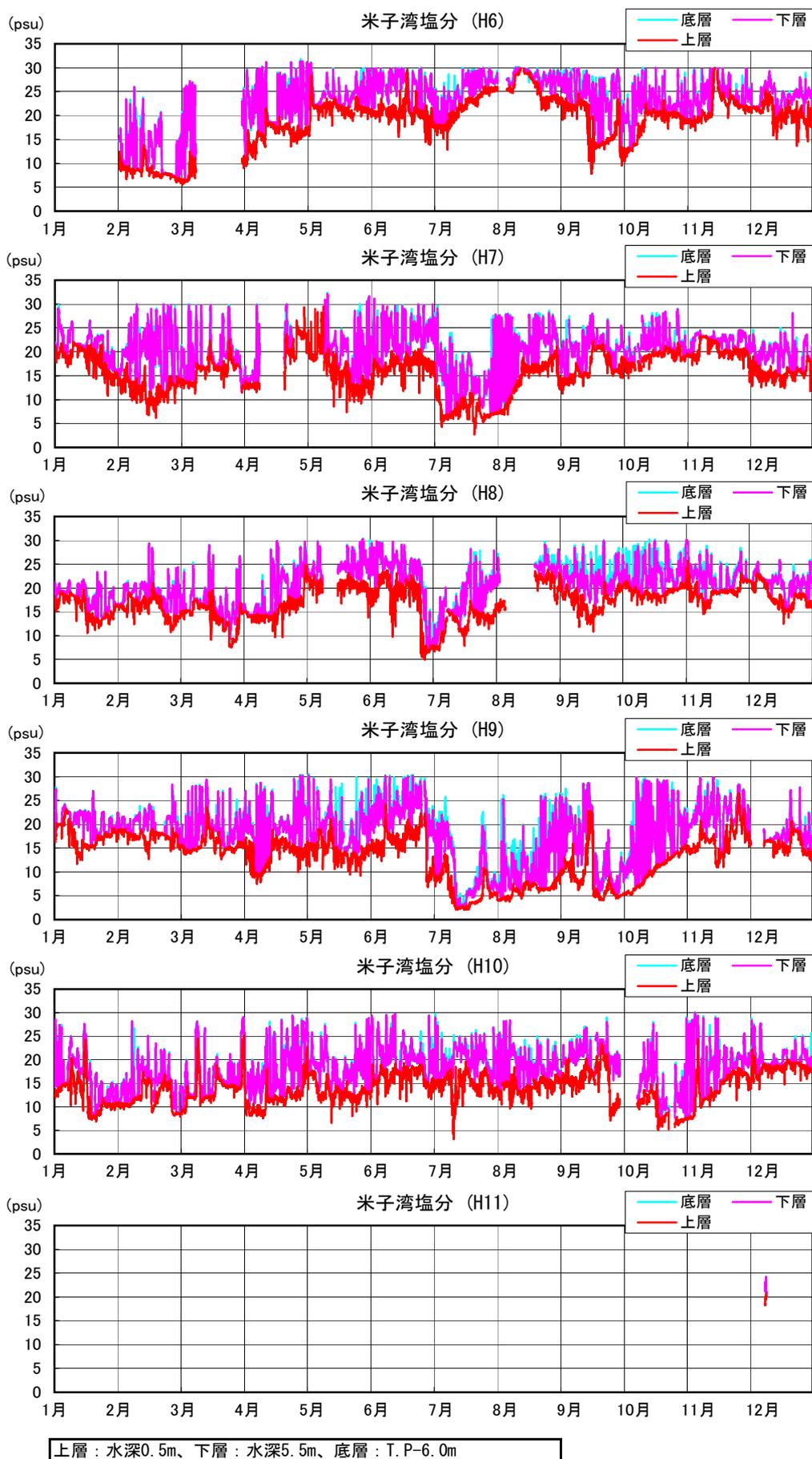


図1.2.1(11) 湖内塩分（毎時）の時間変化図（平成6～22年：年別）

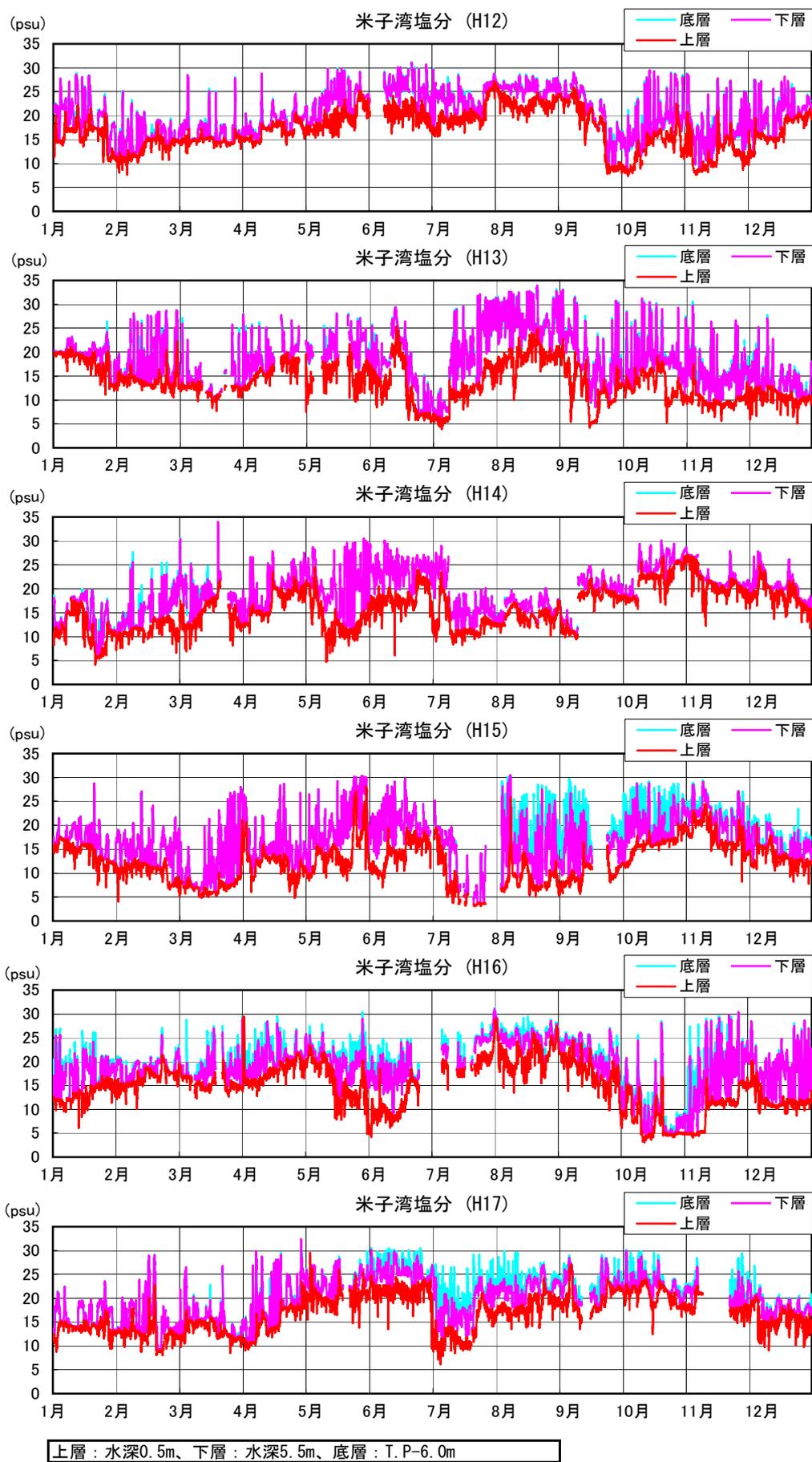
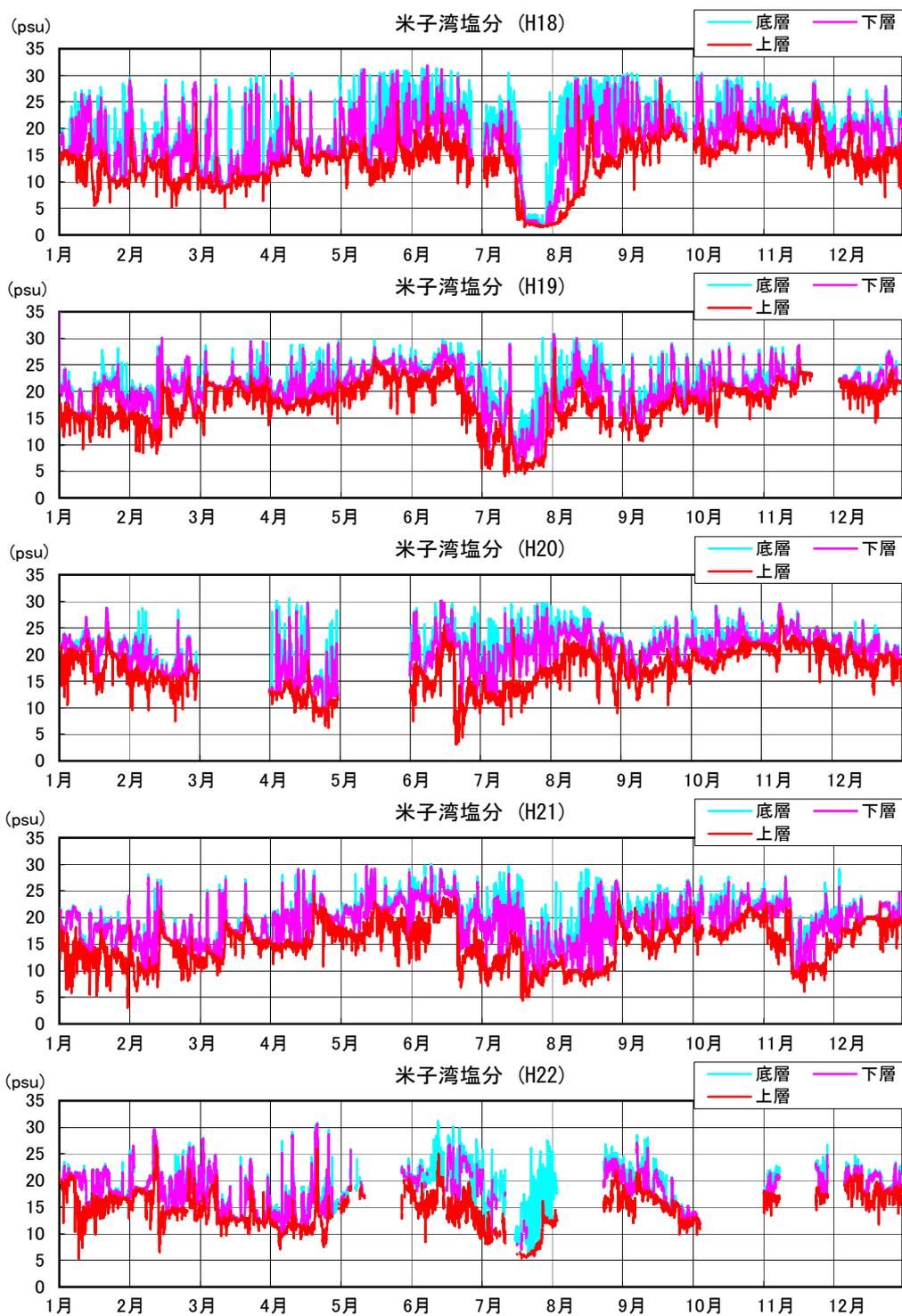


図1.2.1(12) 湖内塩分（毎時）の時間変化図（平成6～22年：年別）



上層：水深0.5m、下層：水深5.5m、底層：T.P-6.0m

図1.2.1(13) 湖内塩分（毎時）の時間変化図（平成6～22年：年別）

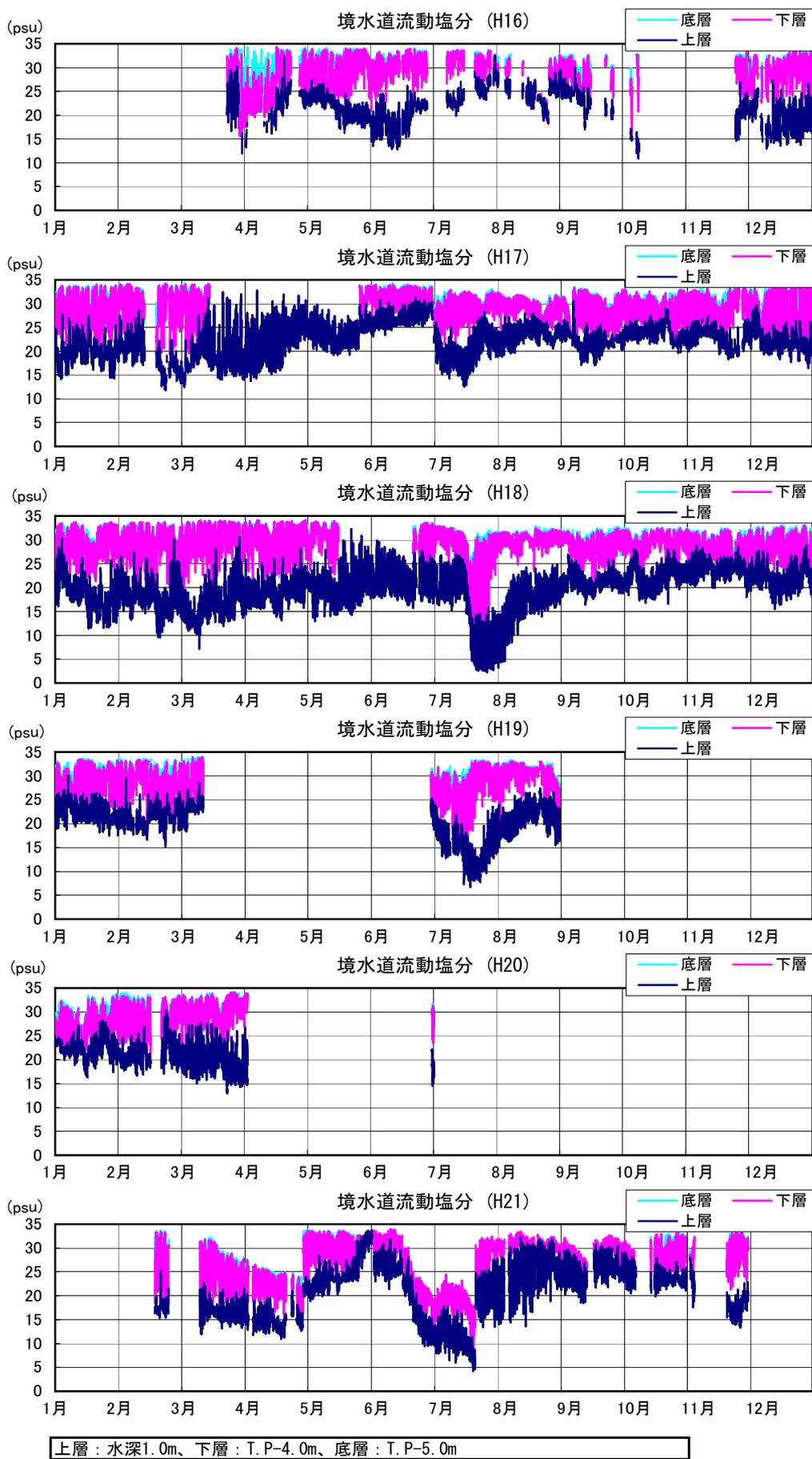
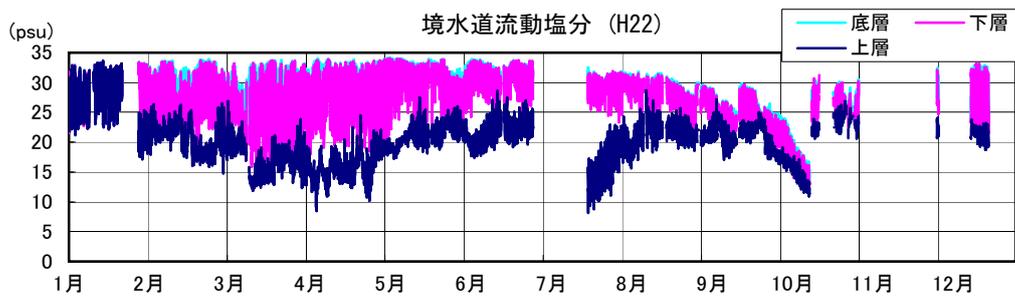


図1.2.1(14) 湖内塩分（毎時）の時間変化図（平成6～22年：年別）



上層：水深1.0m、下層：T.P-4.0m、底層：T.P-5.0m

図1.2.1(15) 湖内塩分（毎時）の時間変化図（平成6～22年：年別）

1.2.2 水位（連続観測）

図 1.2.2 湖内水位の時間変化図（平成 6～22 年：年別）

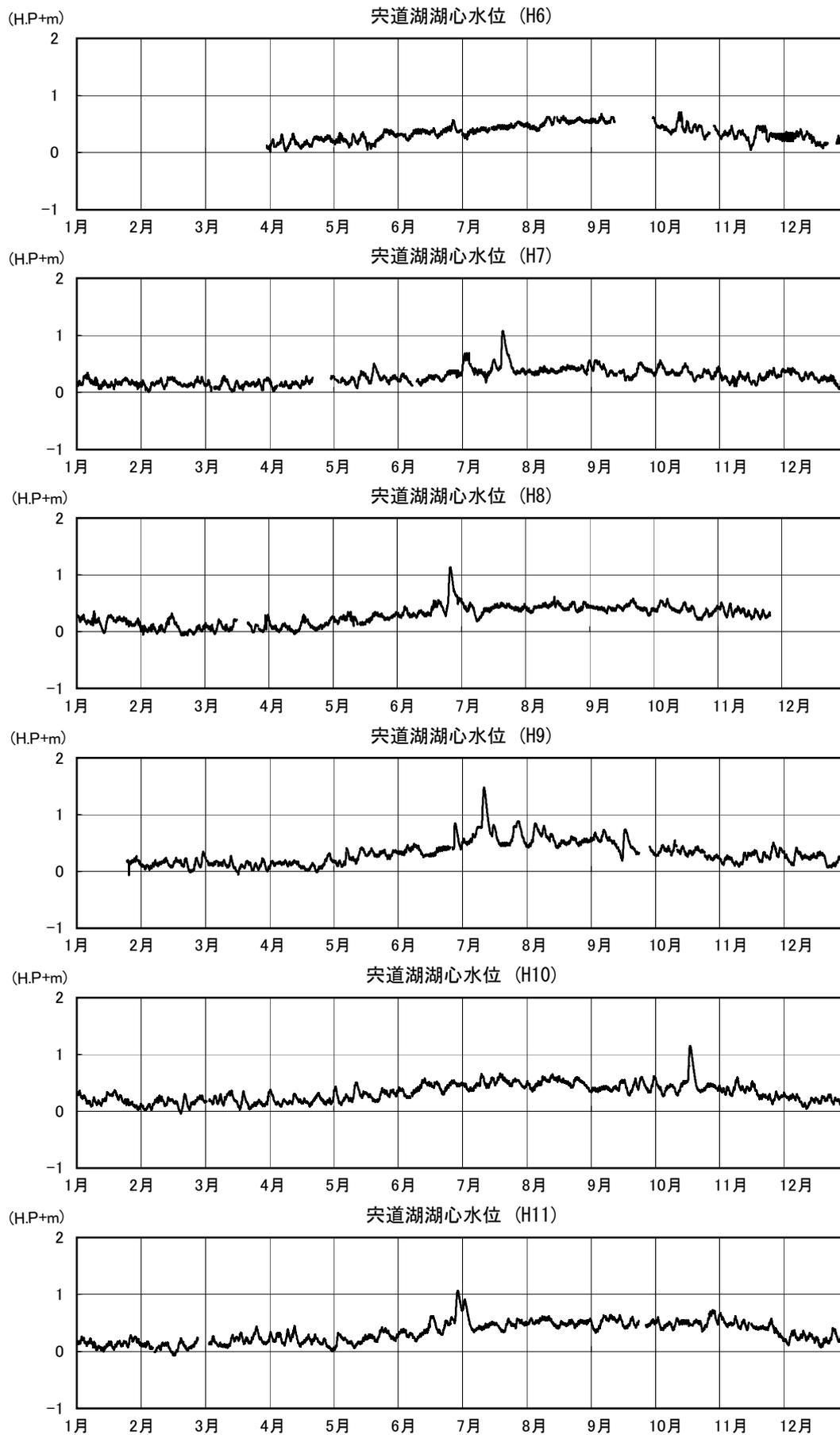


図1.2.2(1) 湖内水位の時間変化図（平成6～22年：年別）

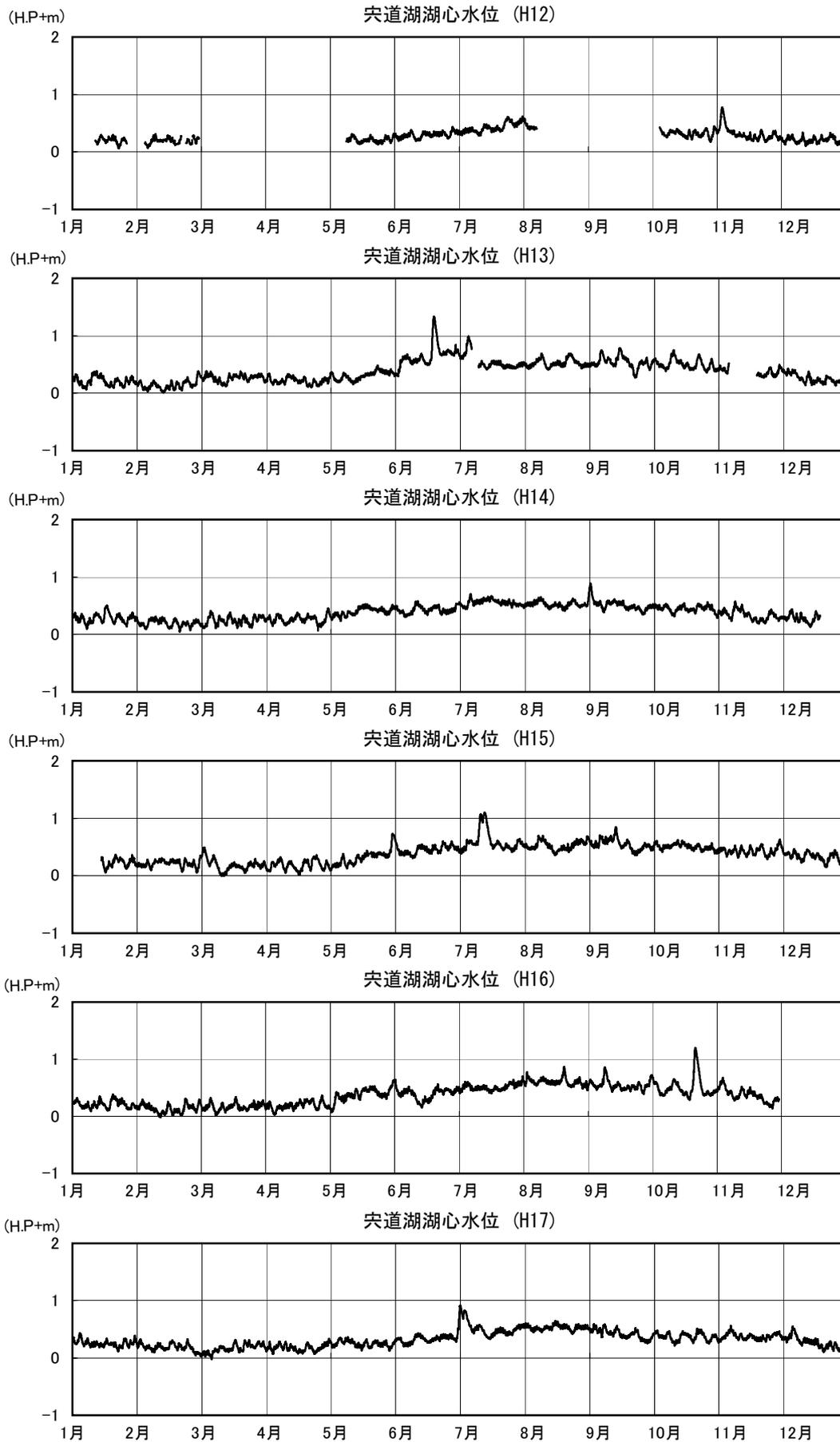
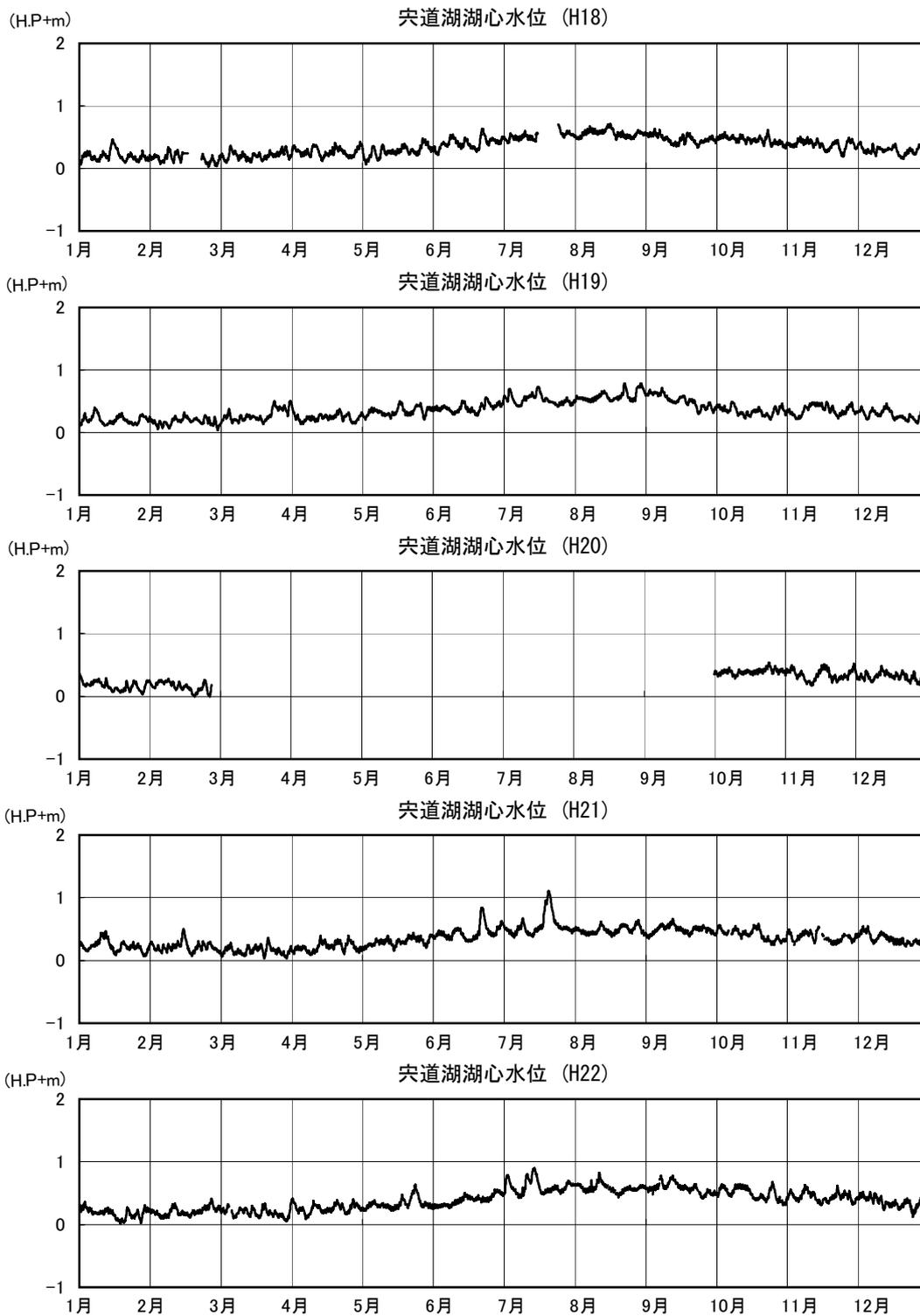


図1.2.2(2) 湖内水位の時間変化図（平成6～22年：年別）



※欠測期間H18年7/16-H20年9/30は来待の水位データで補填

図1.2.2(3) 湖内水位の時間変化図（平成6～22年：年別）

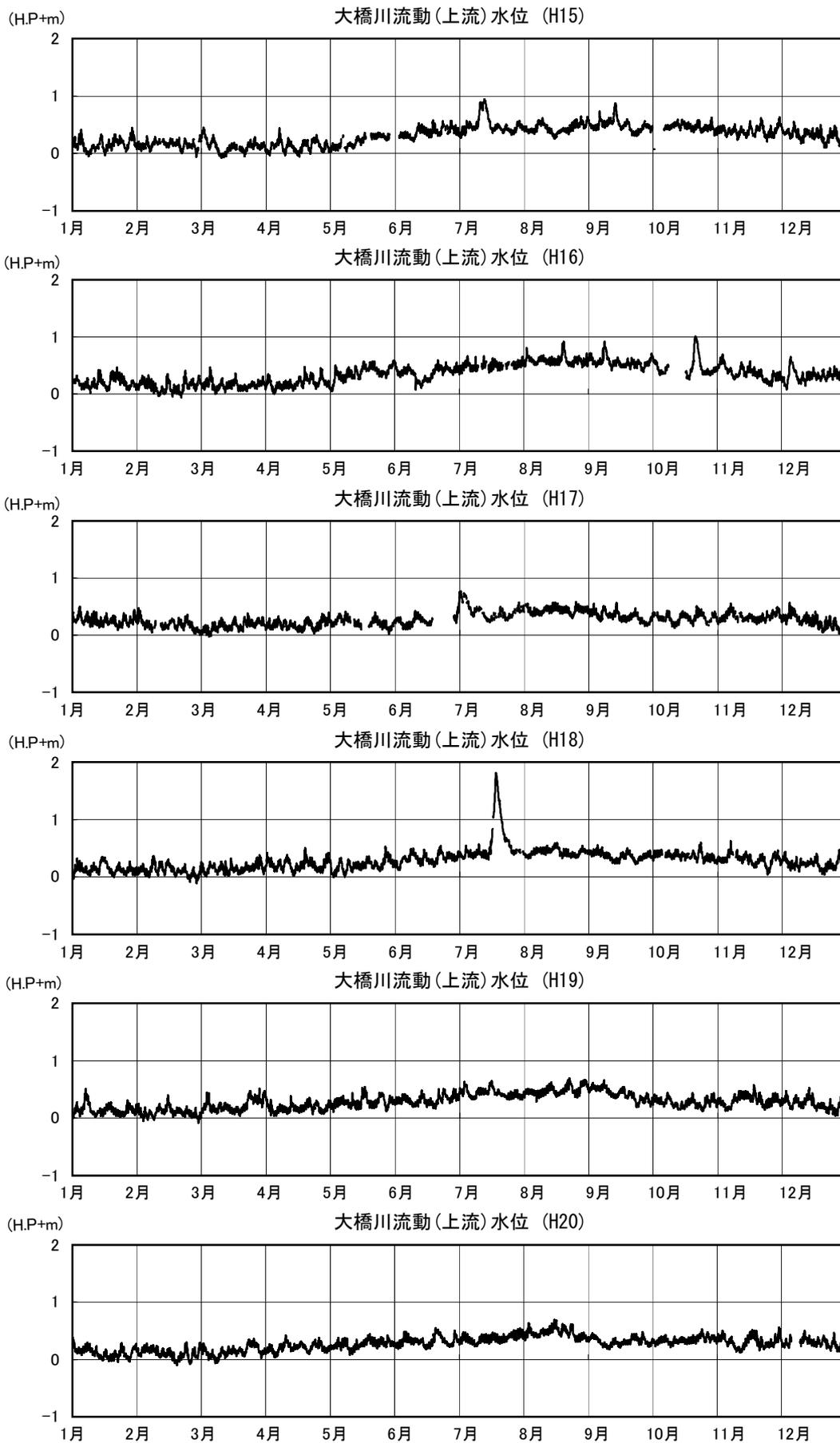


図1.2.2(4) 湖内水位の時間変化図 (平成6~22年: 年別)

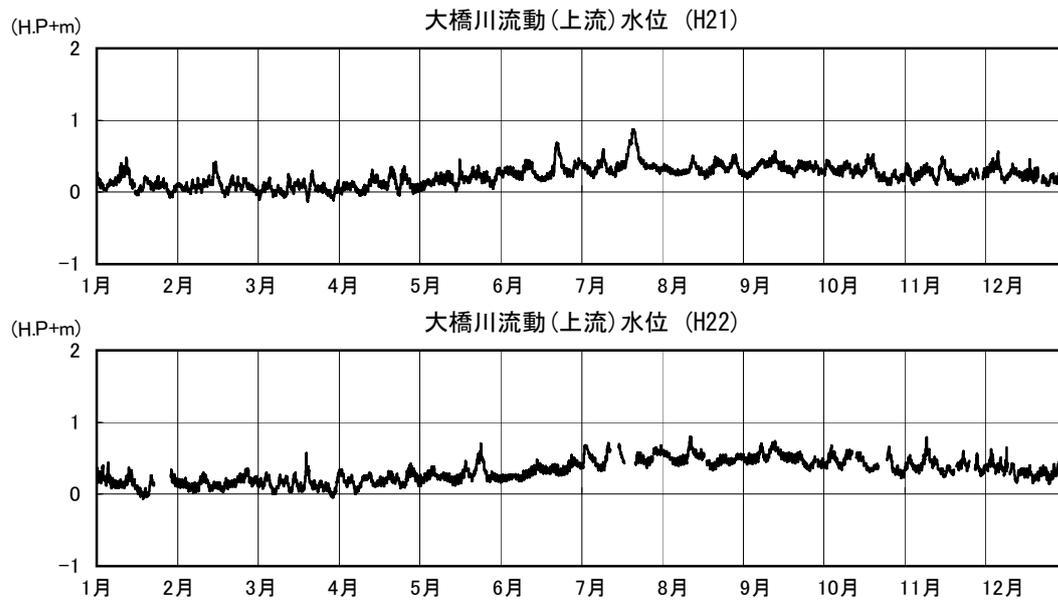


図1.2.2(5) 湖内水位の時間変化図（平成6～22年：年別）

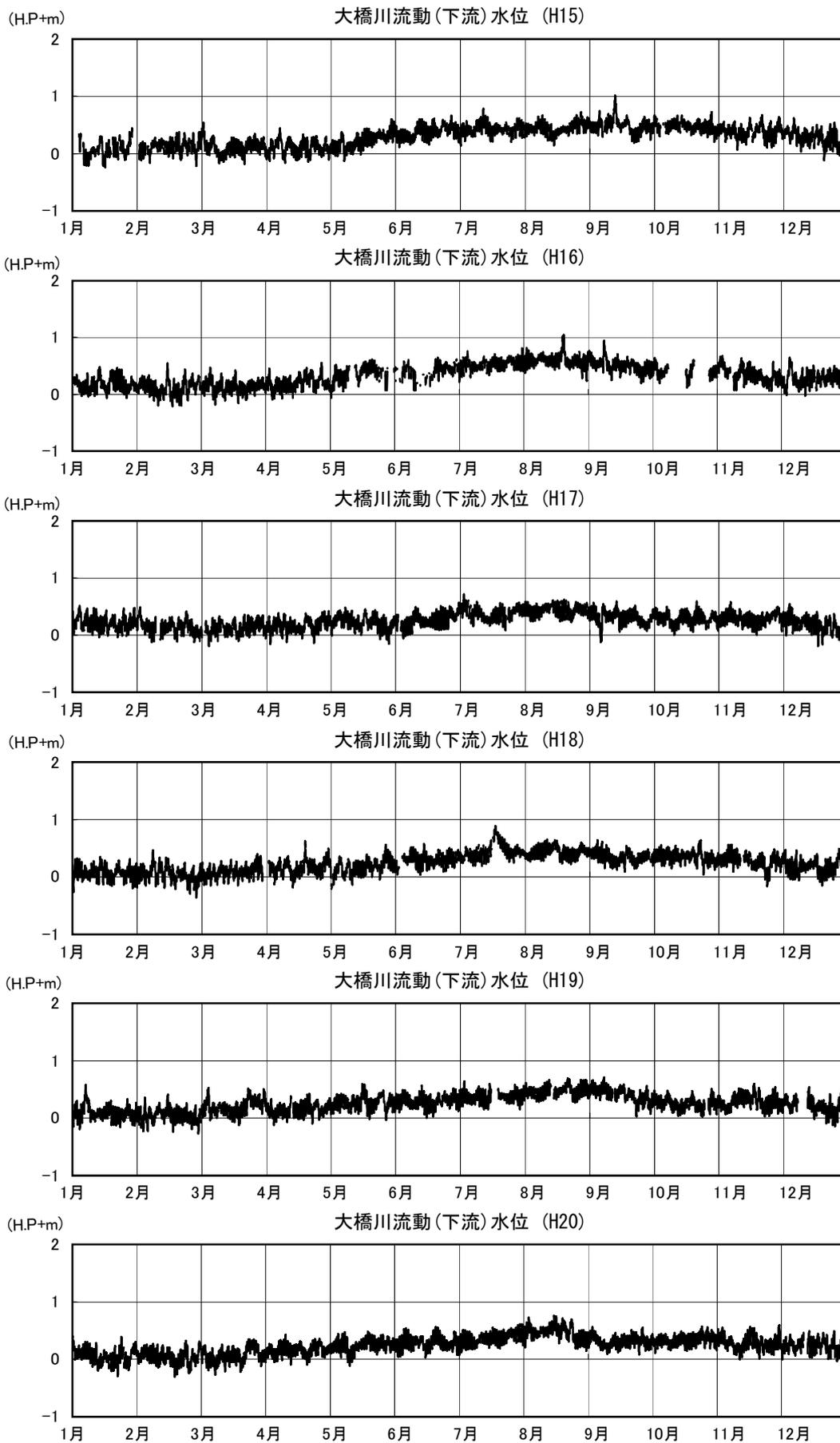


図1.2.2(6) 湖内水位の時間変化図 (平成6~22年:年別)

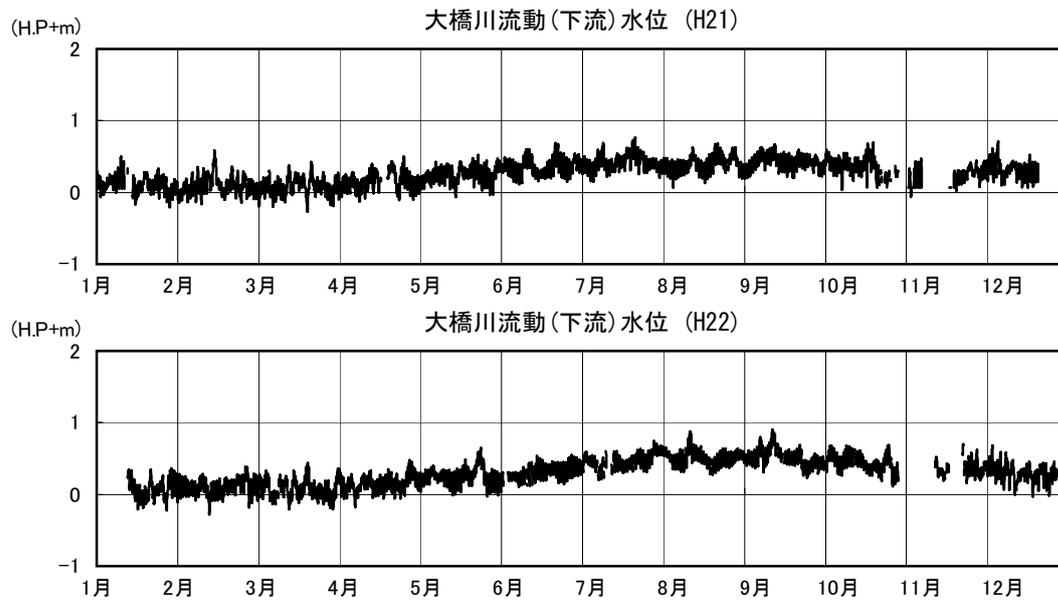


図1.2.2(7) 湖内水位の時間変化図（平成6～22年：年別）

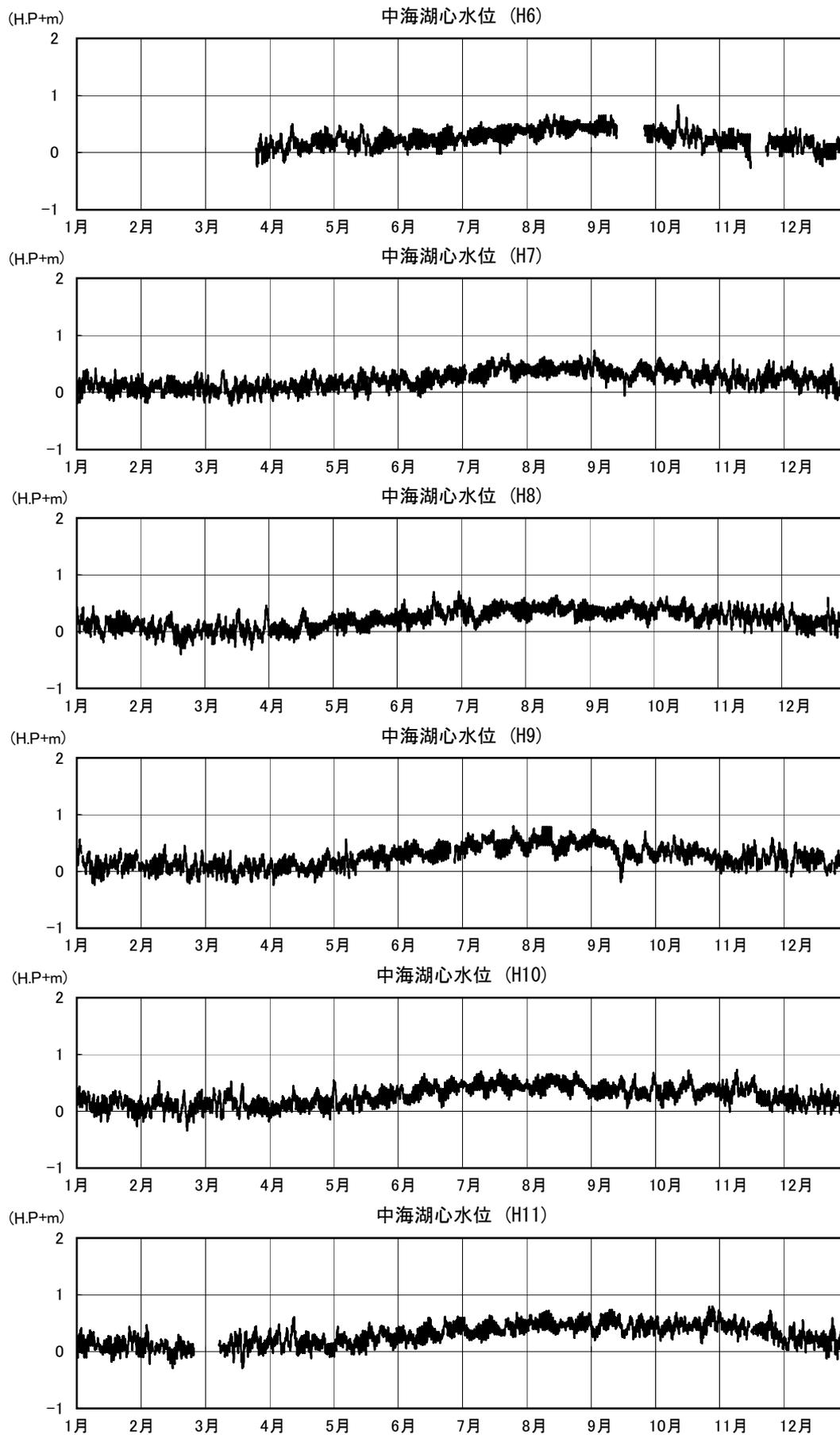


図1.2.2(8) 湖内水位の時間変化図（平成6～22年：年別）

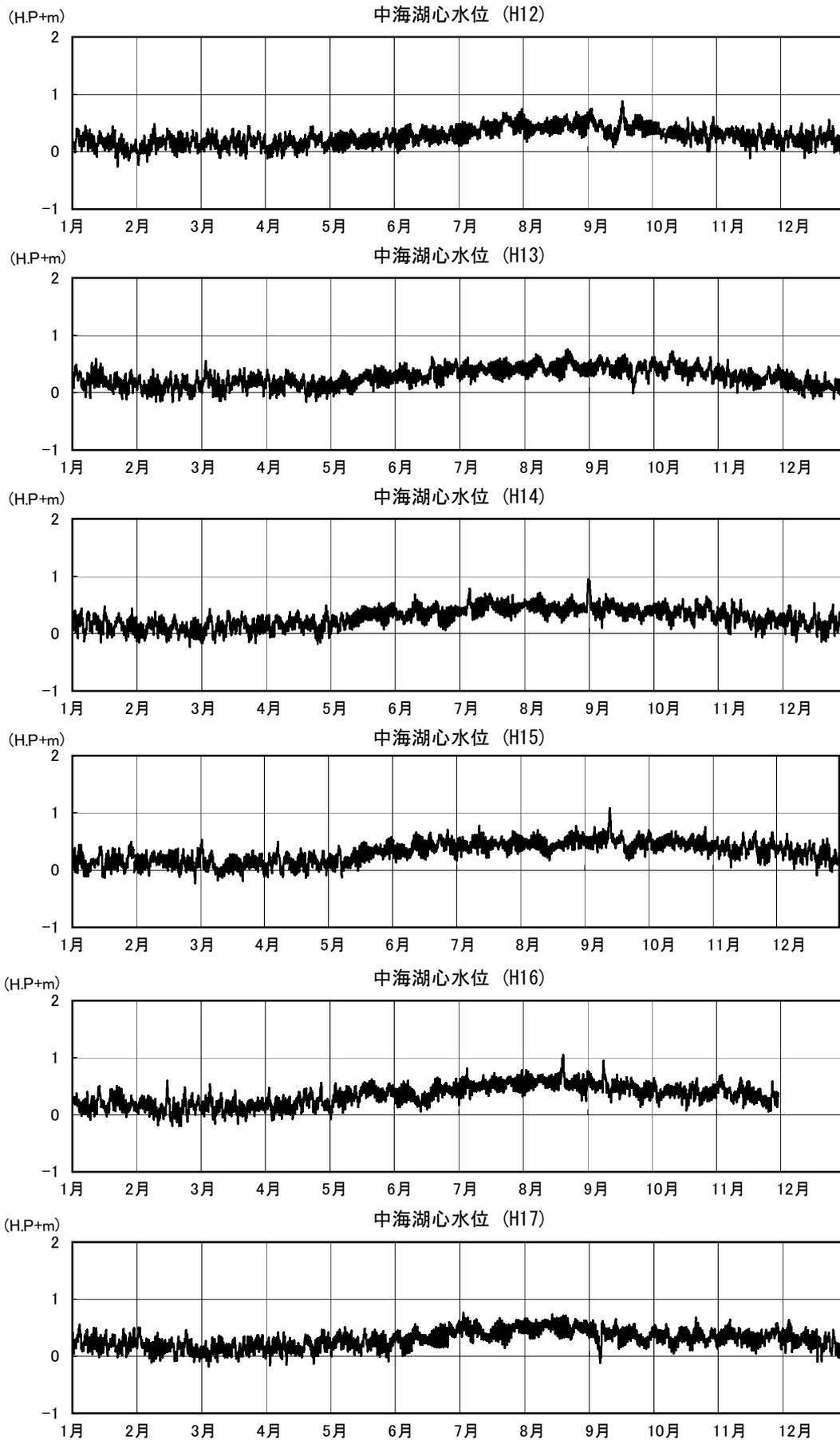


図1.2.2(9) 湖内水位の時間変化図（平成6～22年：年別）

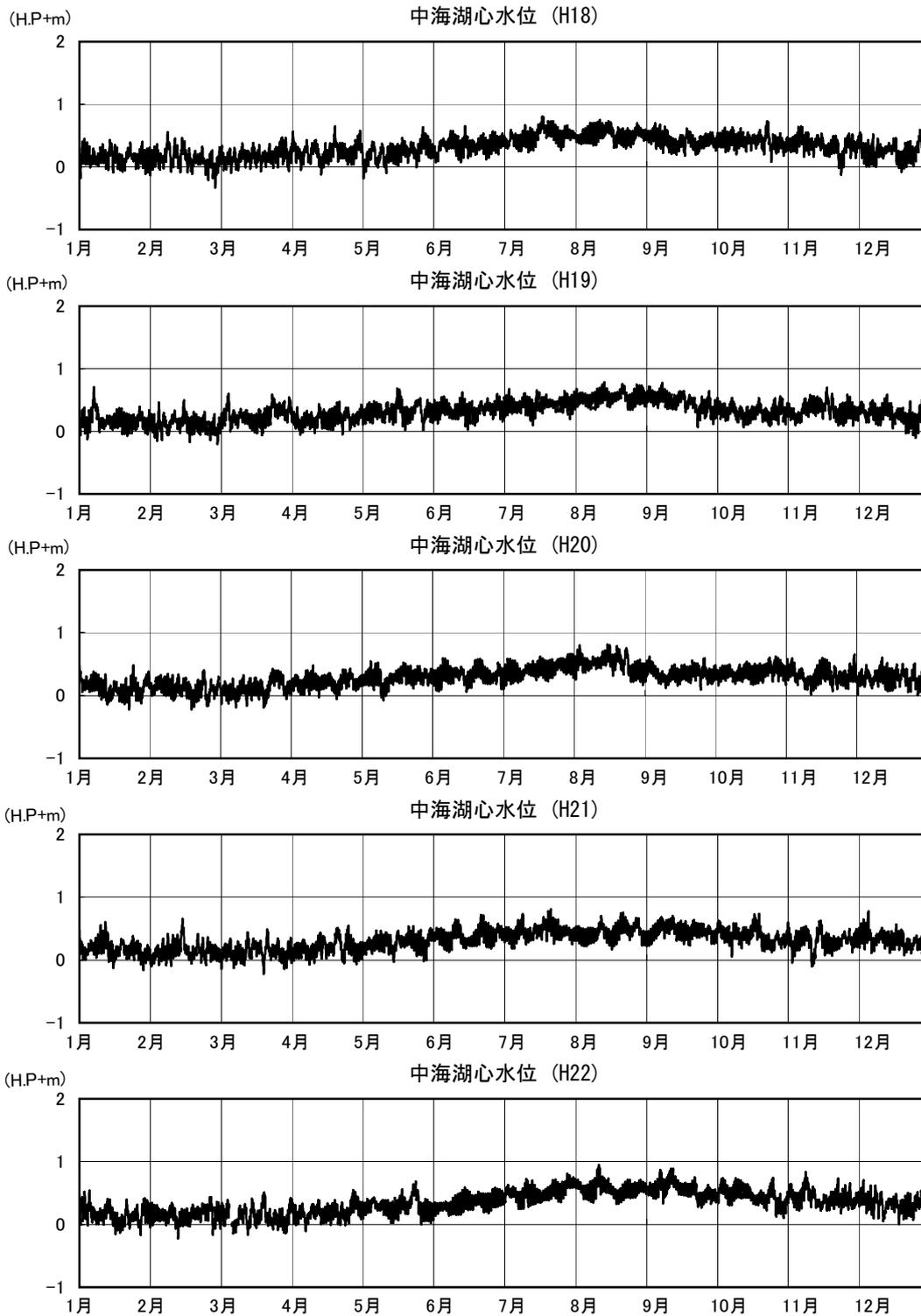


図1.2.2(10) 湖内水位の時間変化図（平成6～22年：年別）

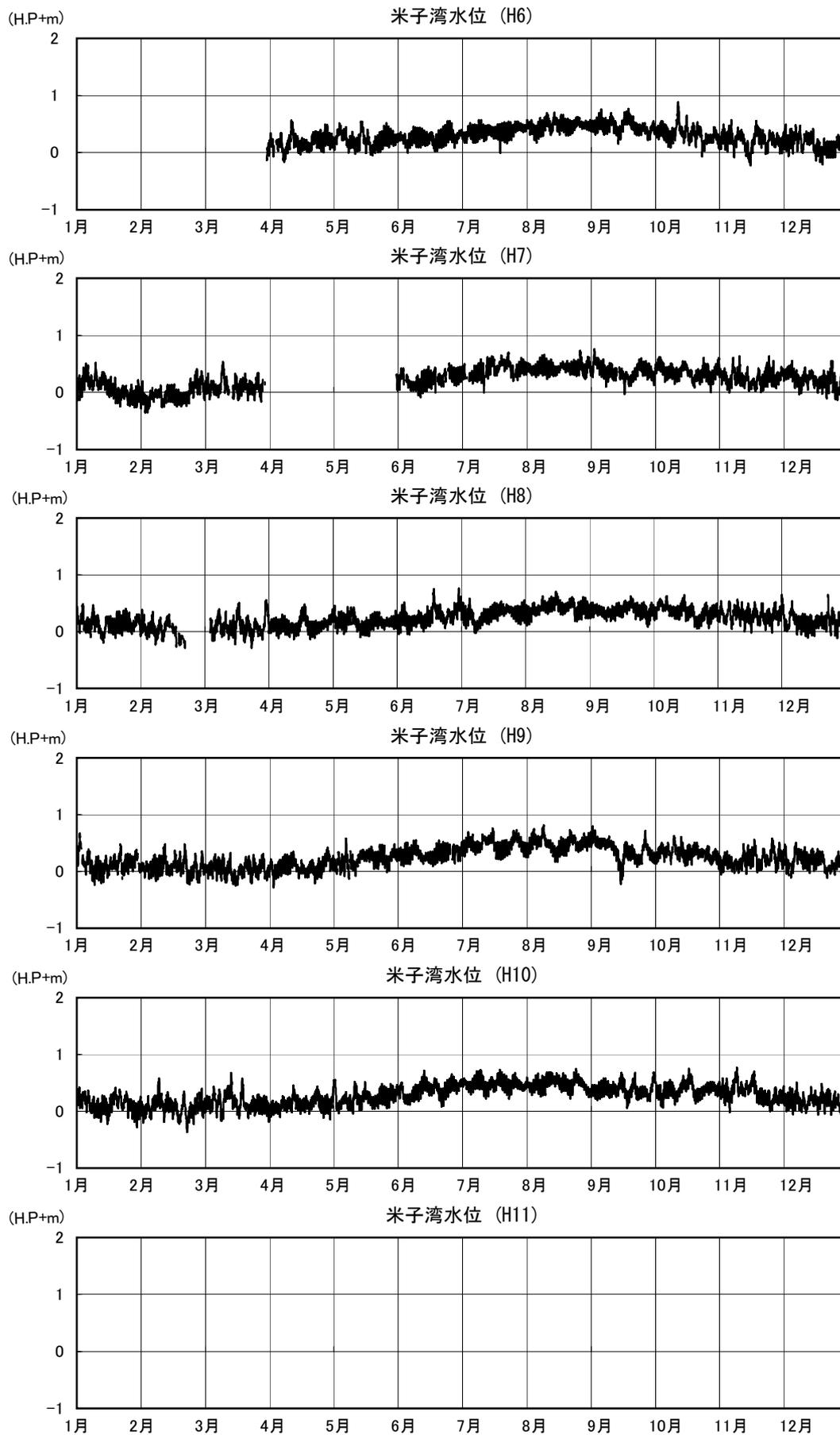


図1.2.2(11) 湖内水位の時間変化図（平成6～22年：年別）

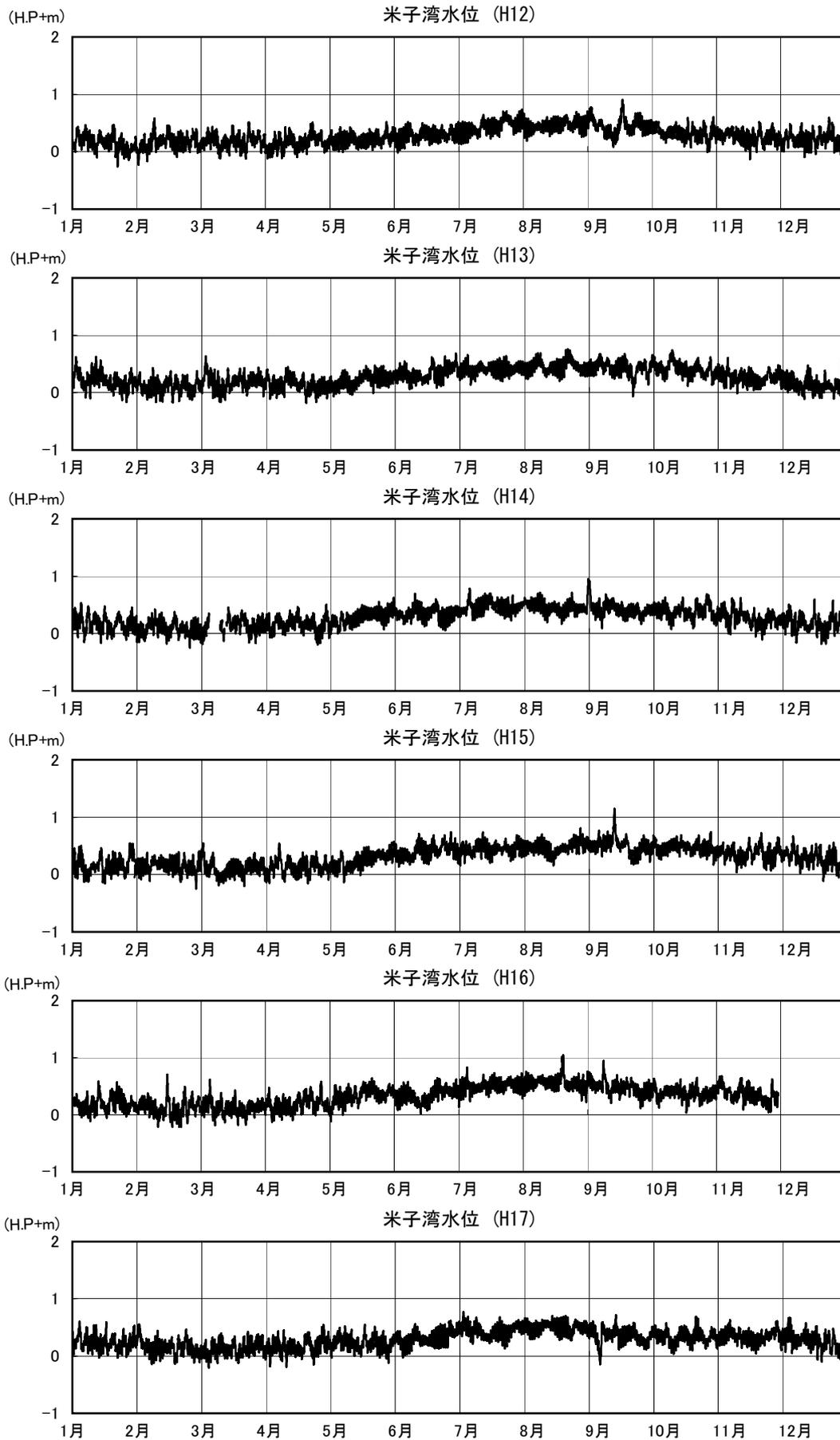


図1.2.2(12) 湖内水位の時間変化図（平成6～22年：年別）

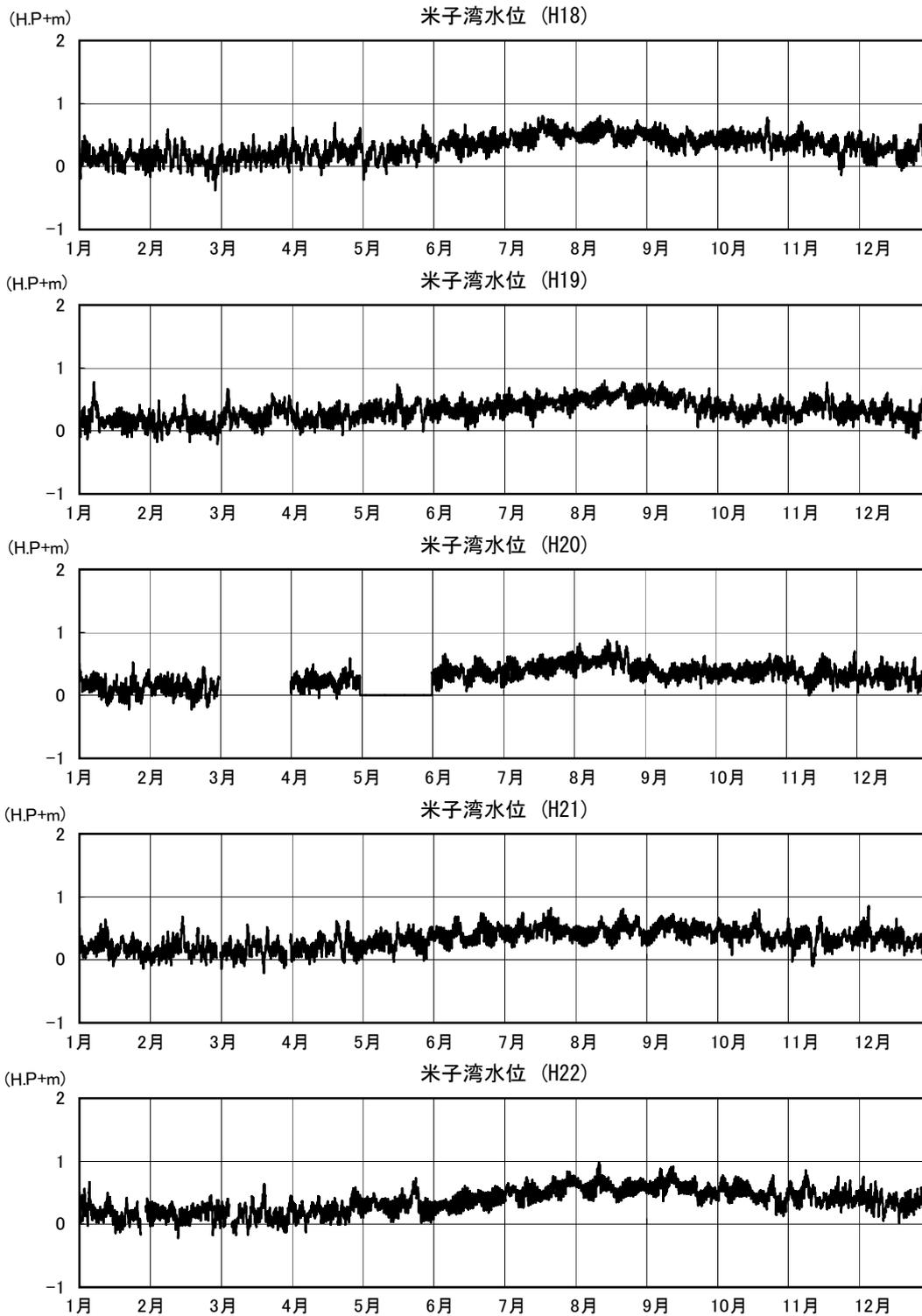


図1.2.2(13) 湖内水位の時間変化図（平成6～22年：年別）

1.3 二次影響確認項目

1.3.1 水温（連続観測）

図 1.3.1 湖内水温（毎時）の時間変化図（平成 6～22 年：年別）

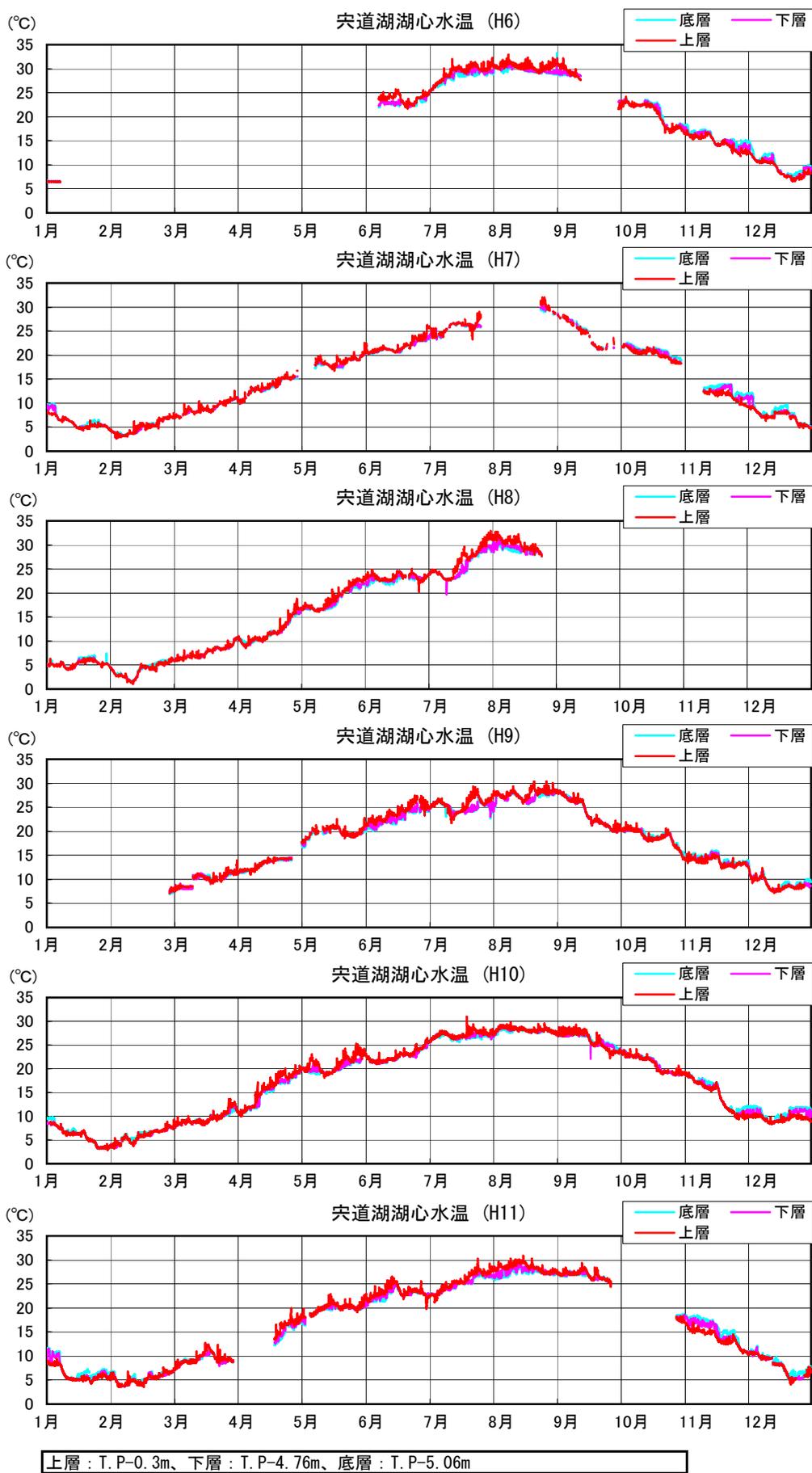


図1.3.1(1) 湖内水温（毎時）の時間変化図（平成6～22年：年別）

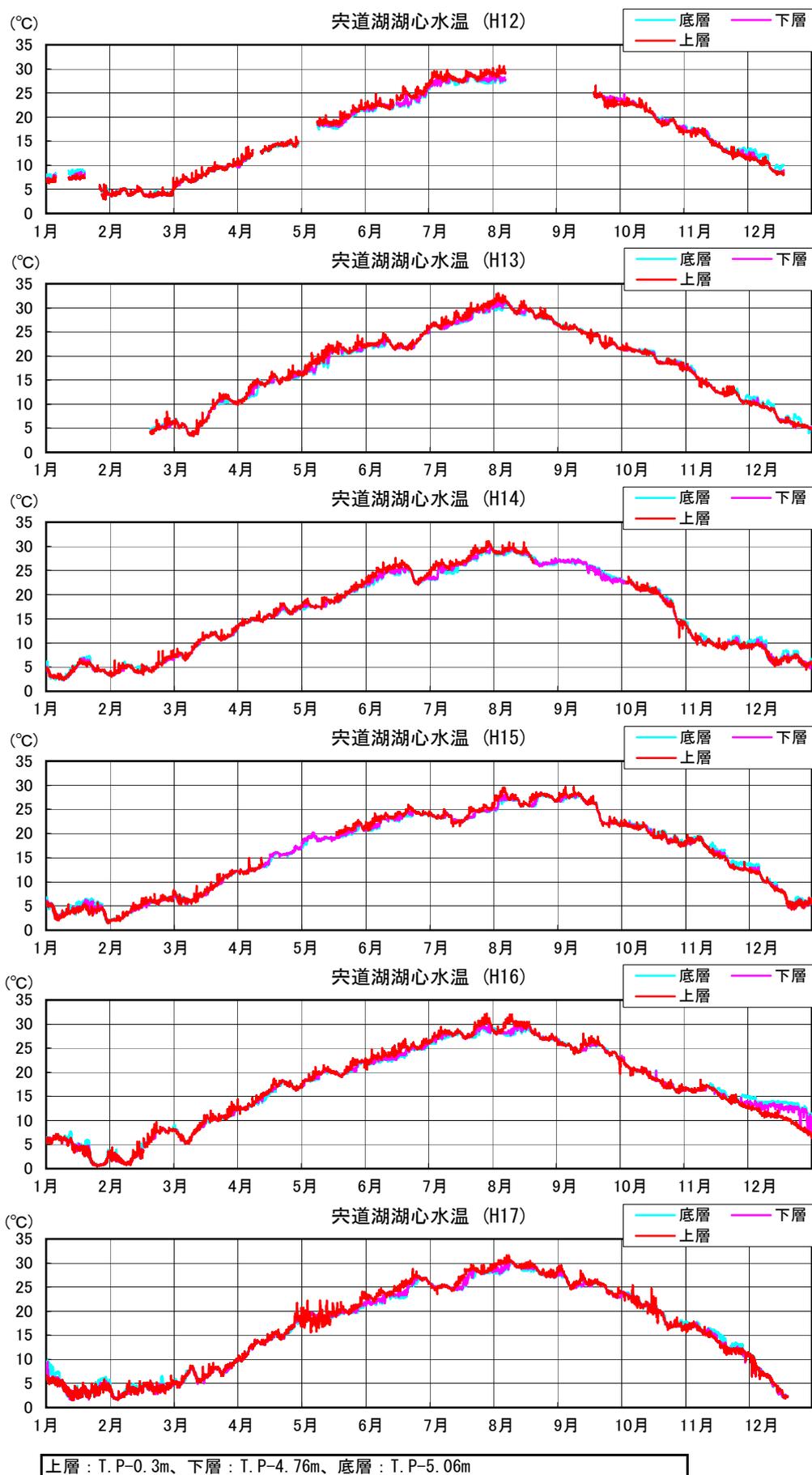
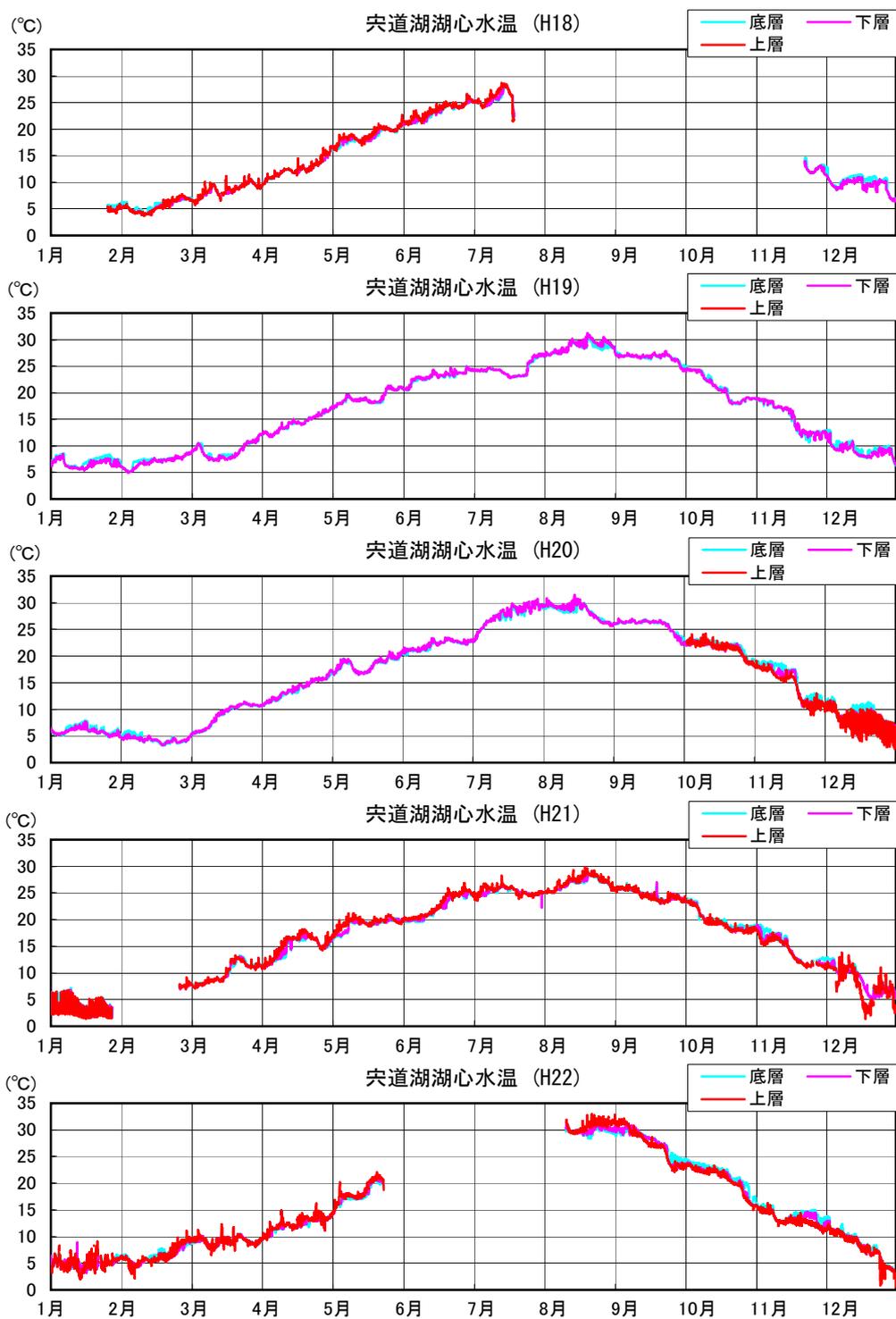


図1.3.1(2) 湖内水温（毎時）の時間変化図（平成6～22年：年別）



上層 : T.P-0.3m、下層 : T.P-4.76m、底層 : T.P-5.06m

図1.3.1(3) 湖内水温（毎時）の時間変化図（平成6～22年：年別）

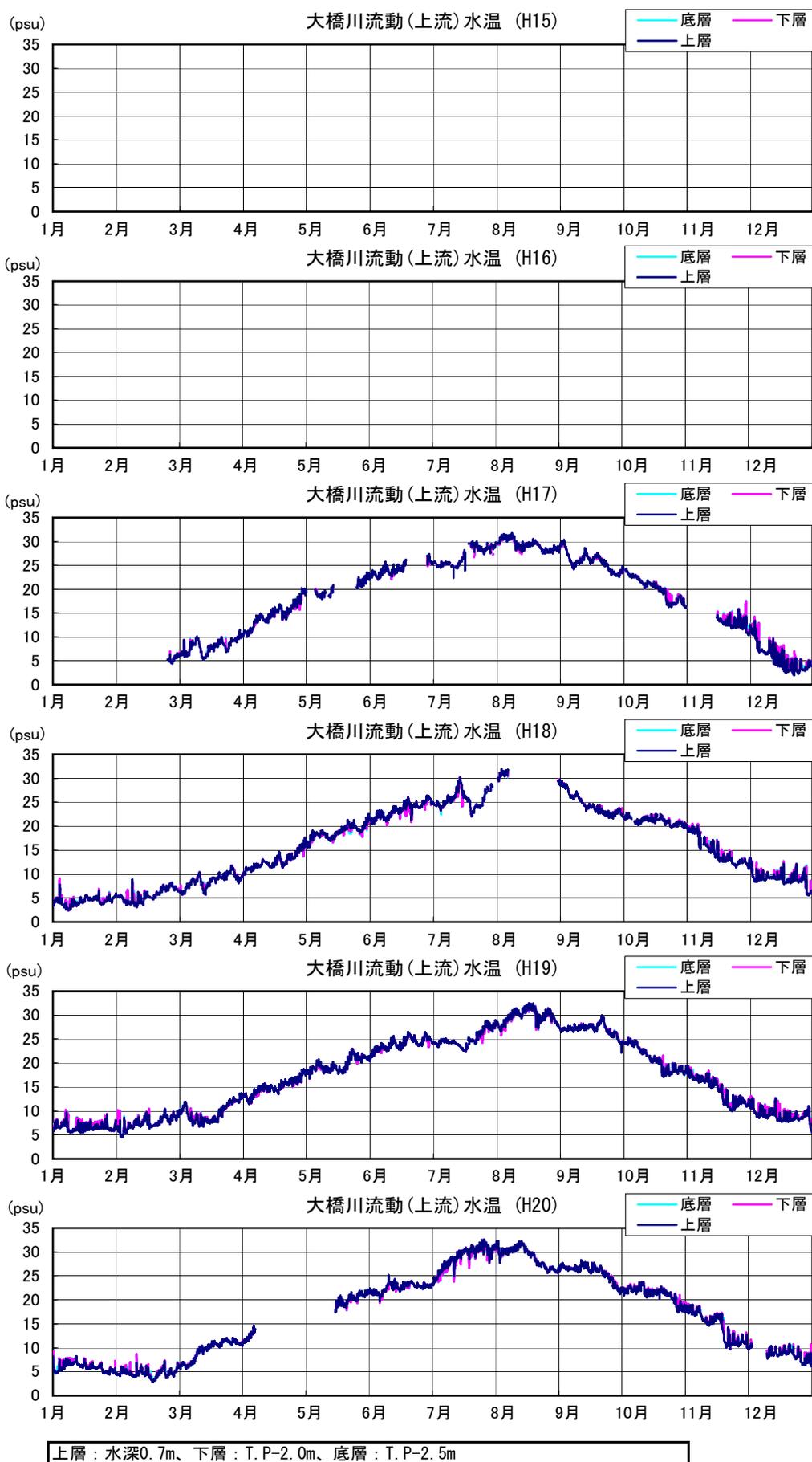


図1.3.1(4) 湖内水温(毎時)の時間変化図(平成6~22年:年別)



上層：水深0.7m、下層：T.P-2.0m、底層：T.P-2.5m

図1.3.1(5) 湖内水温（毎時）の時間変化図（平成6～22年：年別）

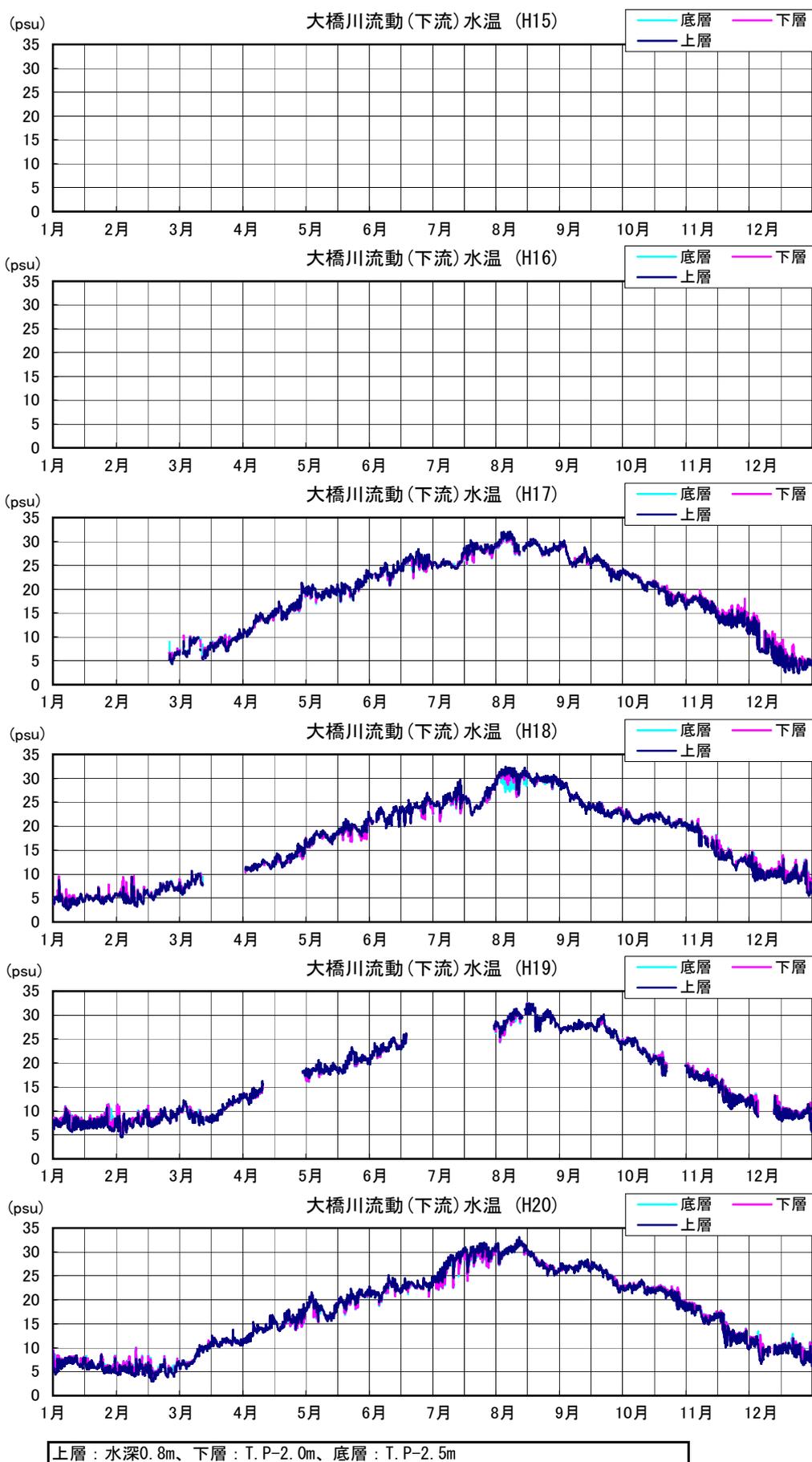
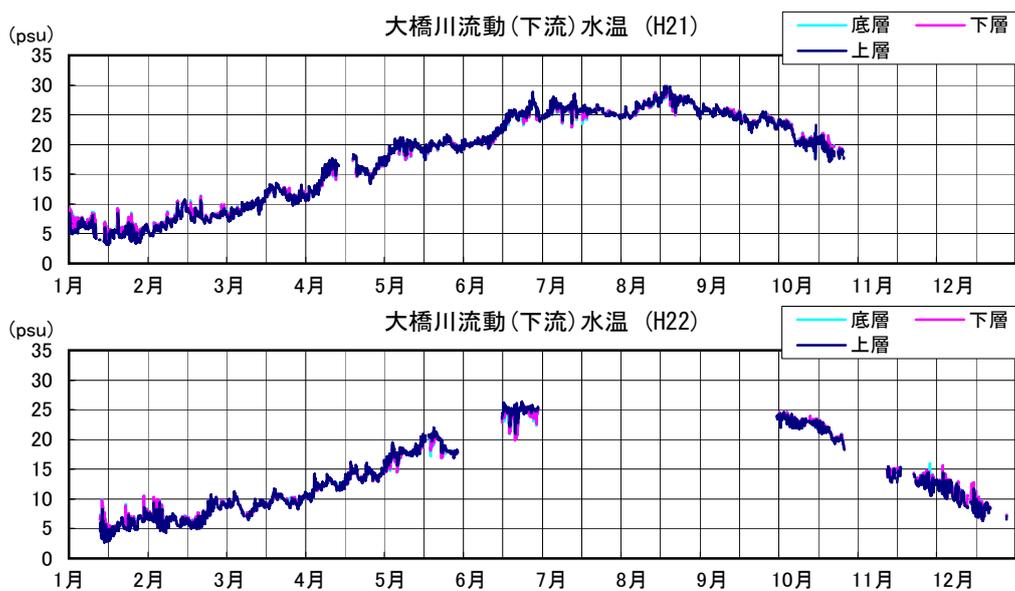


図1.3.1(6) 湖内水温(毎時)の時間変化図(平成6~22年:年別)



上層：水深0.8m、下層：T.P-2.0m、底層：T.P-2.5m

図1.3.1(7) 湖内水温（毎時）の時間変化図（平成6～22年：年別）

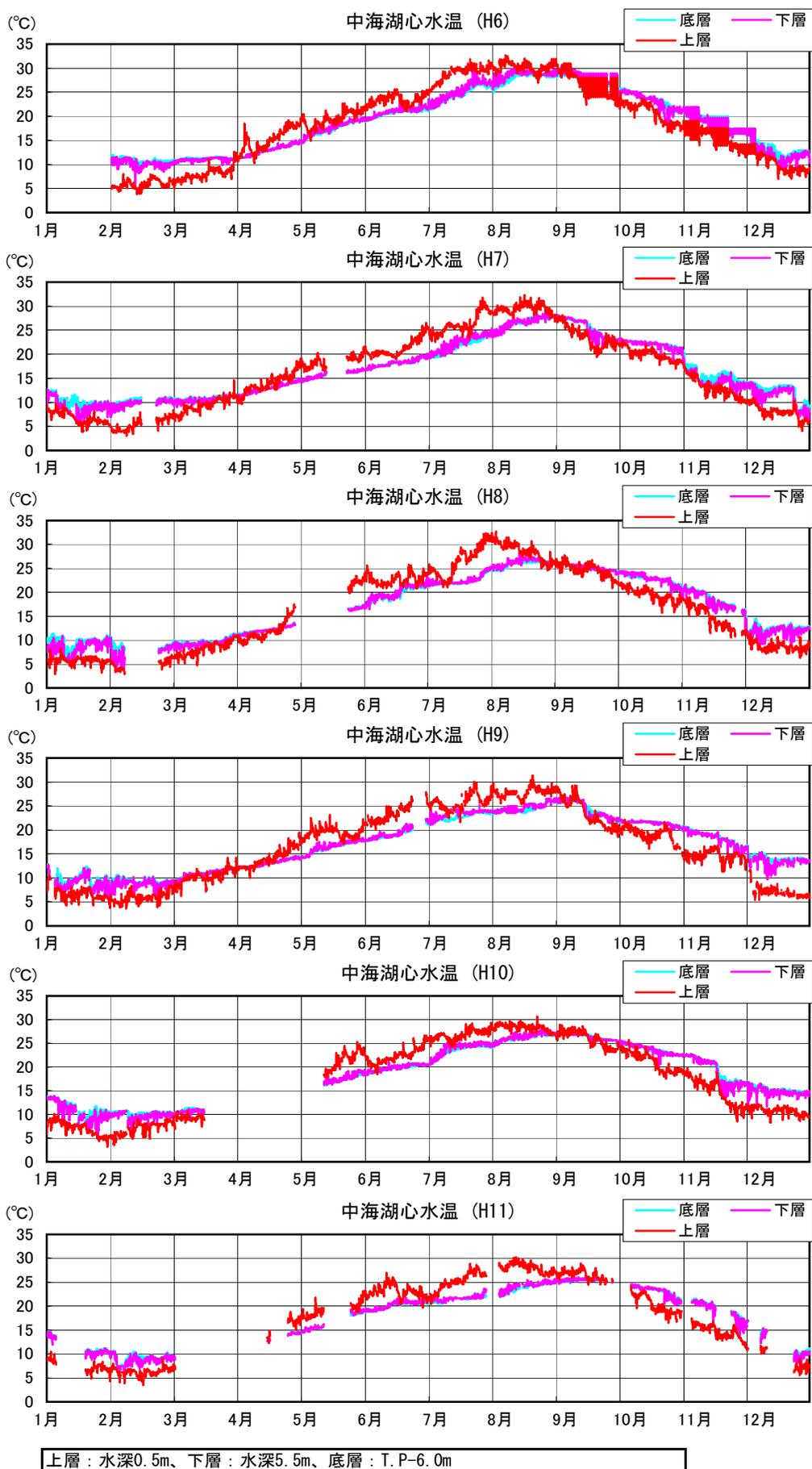


図1.3.1(8) 湖内水温（毎時）の時間変化図（平成6～22年：年別）

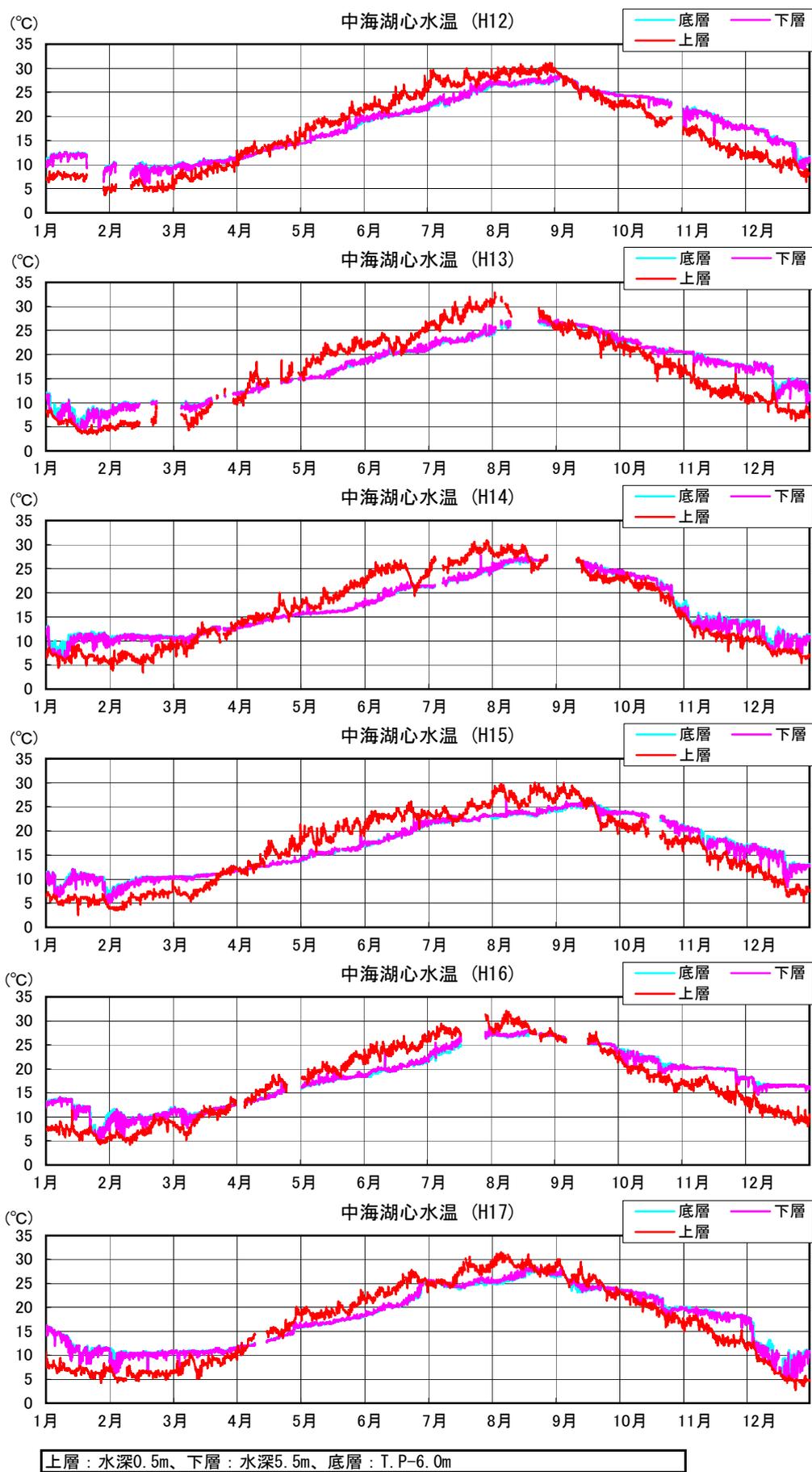
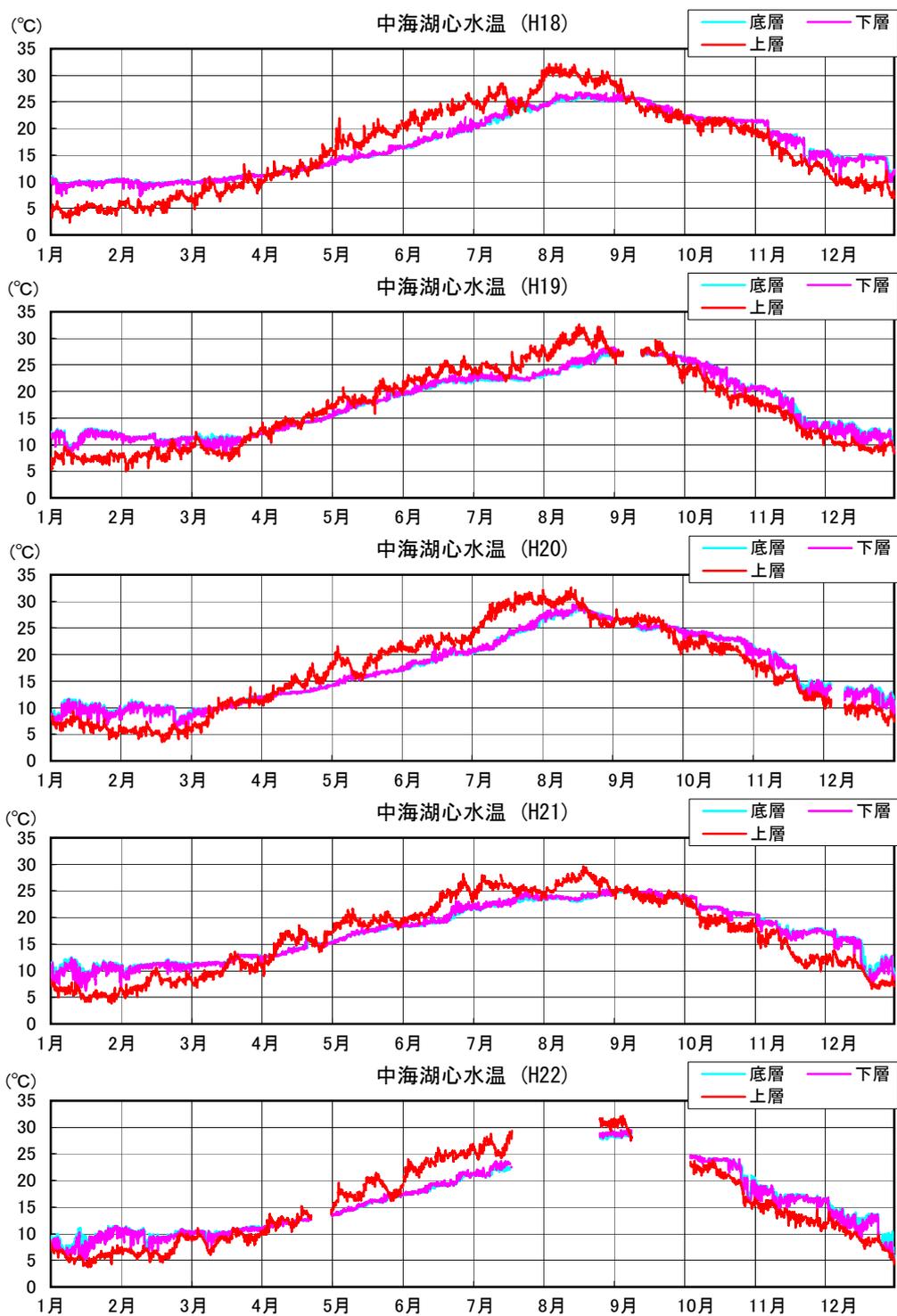


図1.3.1(9) 湖内水温（毎時）の時間変化図（平成6～22年：年別）



上層：水深0.5m、下層：水深5.5m、底層：T.P-6.0m

図1.3.1(10) 湖内水温（毎時）の時間変化図（平成6～22年：年別）

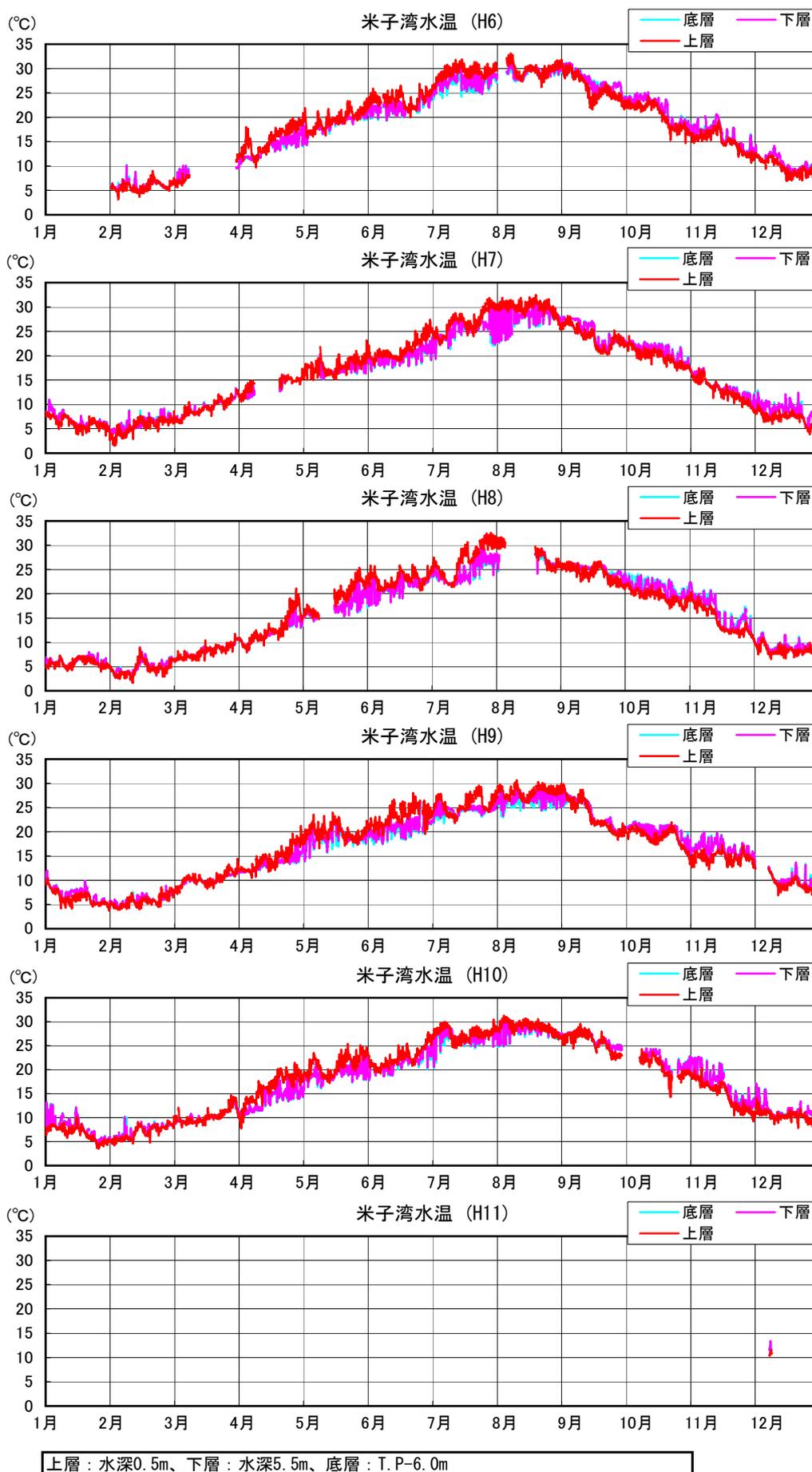


図1.3.1(11) 湖内水温（毎時）の時間変化図（平成6～22年：年別）

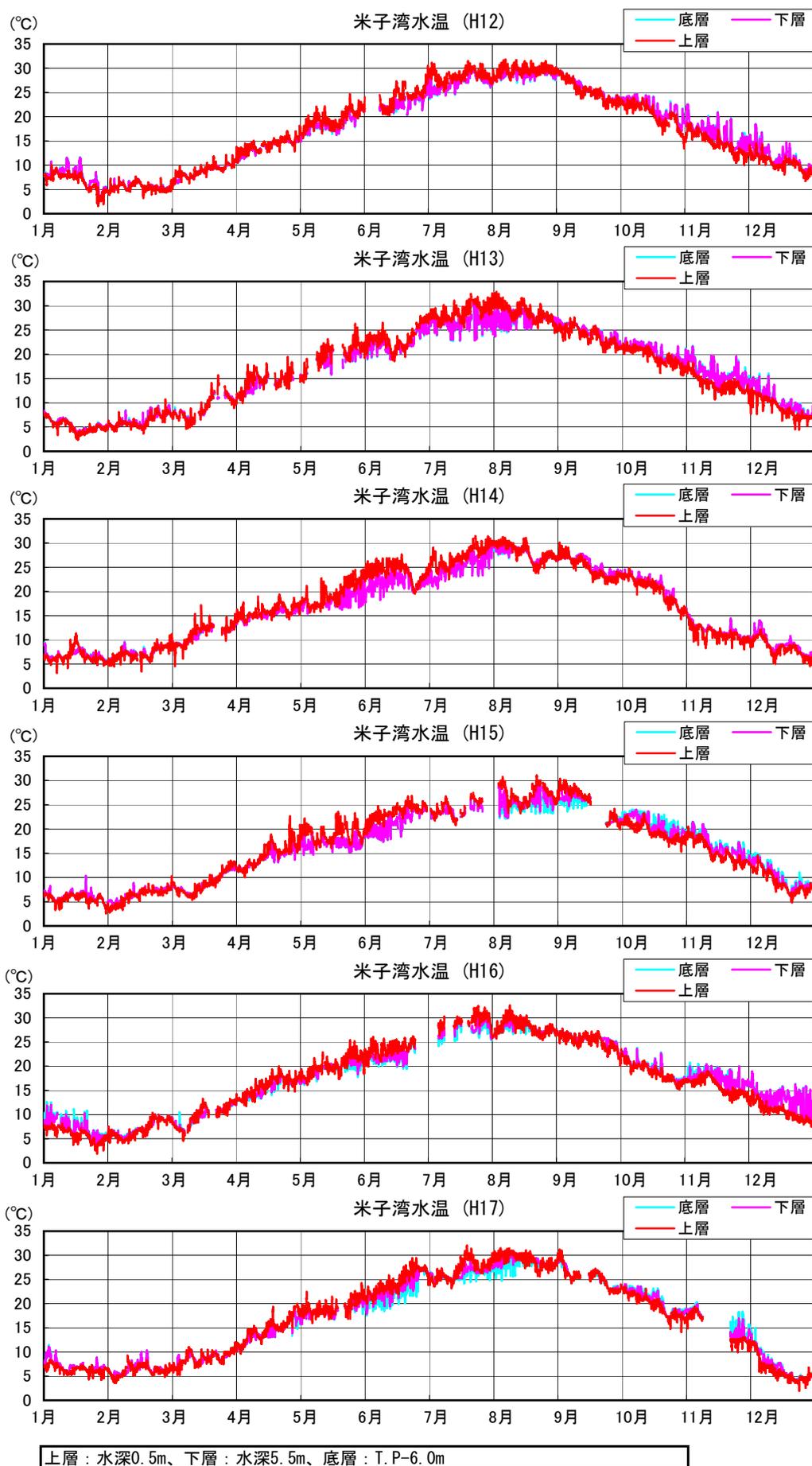
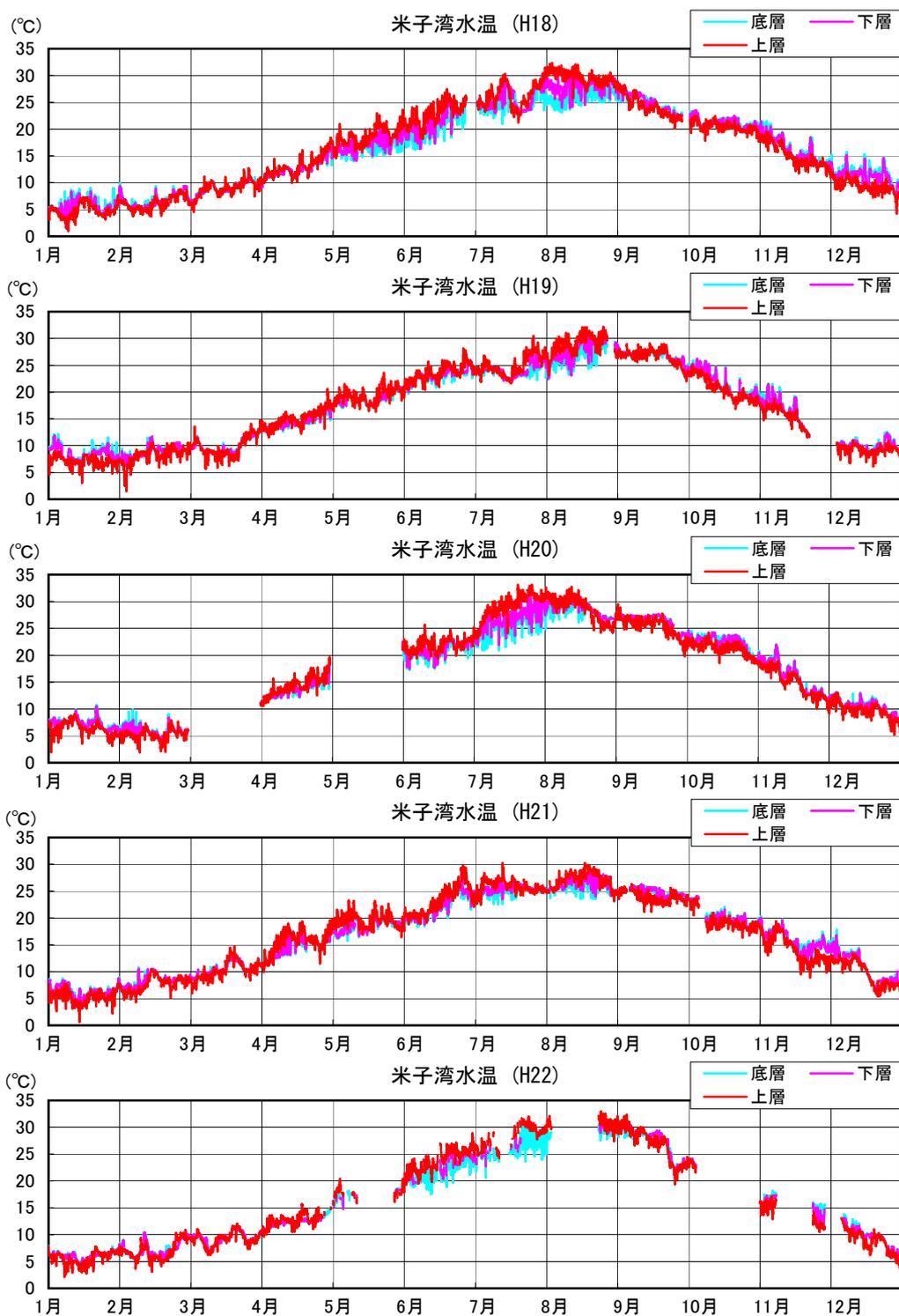


図1.3.1(12) 湖内水温（毎時）の時間変化図（平成6～22年：年別）



上層：水深0.5m、下層：水深5.5m、底層：I.P-6.0m

図1.3.1(13) 湖内水温（毎時）の時間変化図（平成6～22年：年別）

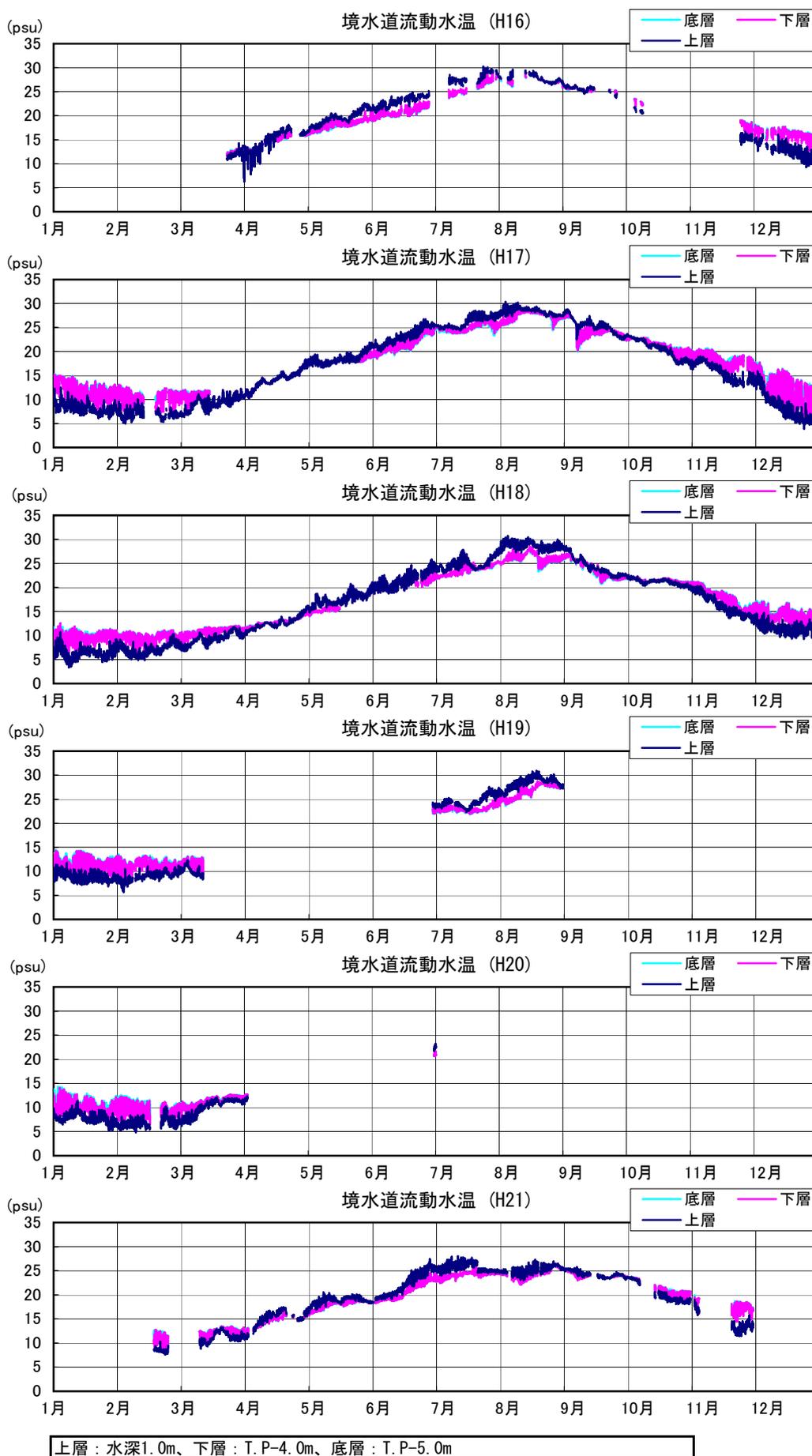
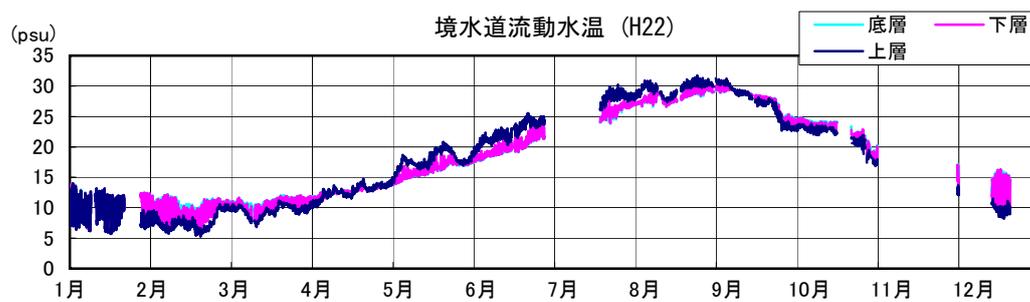


図1.3.1(14) 湖内水温（毎時）の時間変化図（平成6～22年：年別）



上層：水深1.0m、下層：T.P-4.0m、底層：T.P-5.0m

図1.3.1(15) 湖内水温（毎時）の時間変化図（平成6～22年：年別）

1.3.2 DO（連続観測）

図 1.3.2 湖内DO（毎時）の時間変化図（平成 6～22 年：年別）

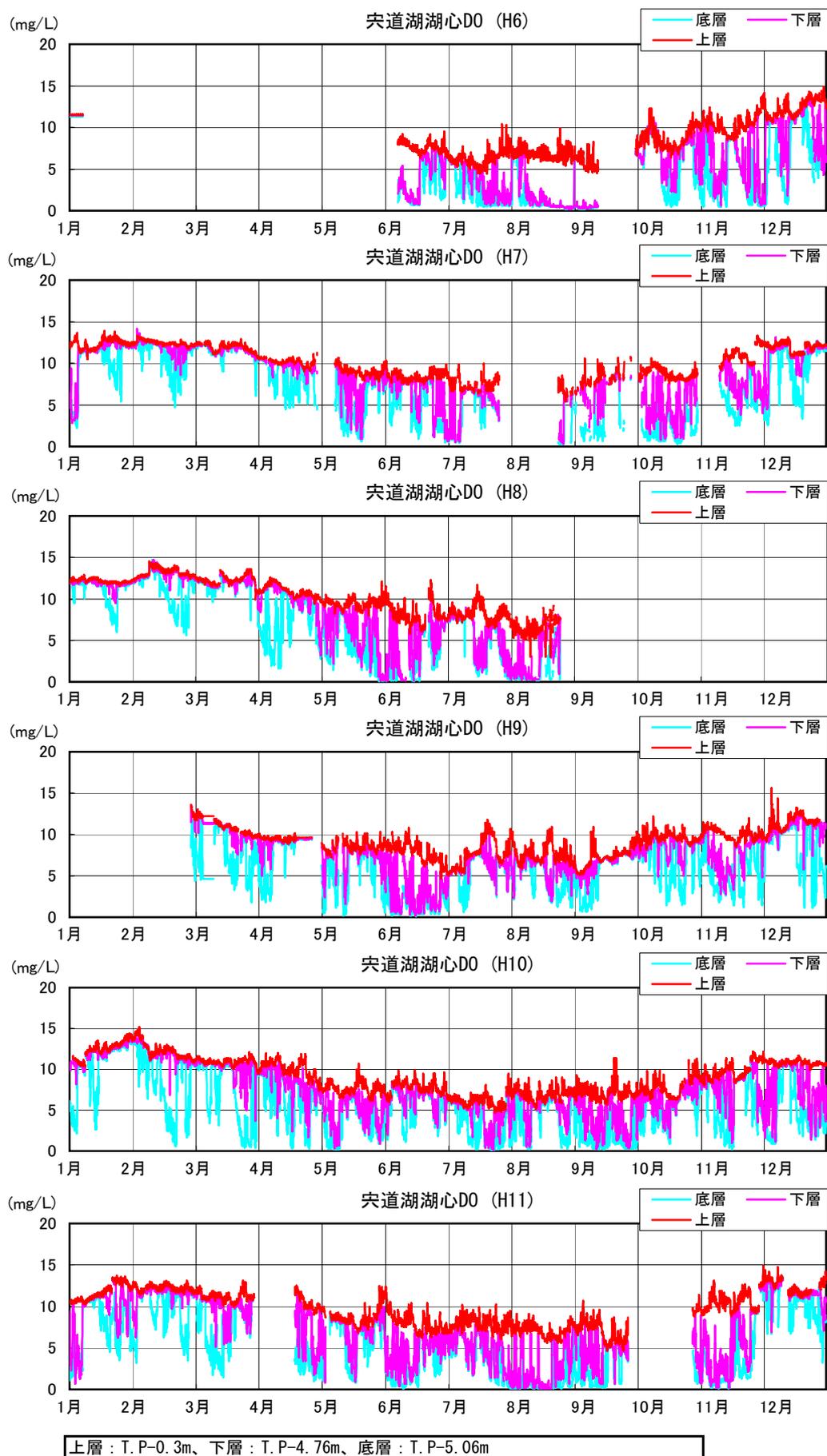


図1.3.2(1) 湖内D_O (毎時) の時間変化図 (平成6~22年 : 年別)

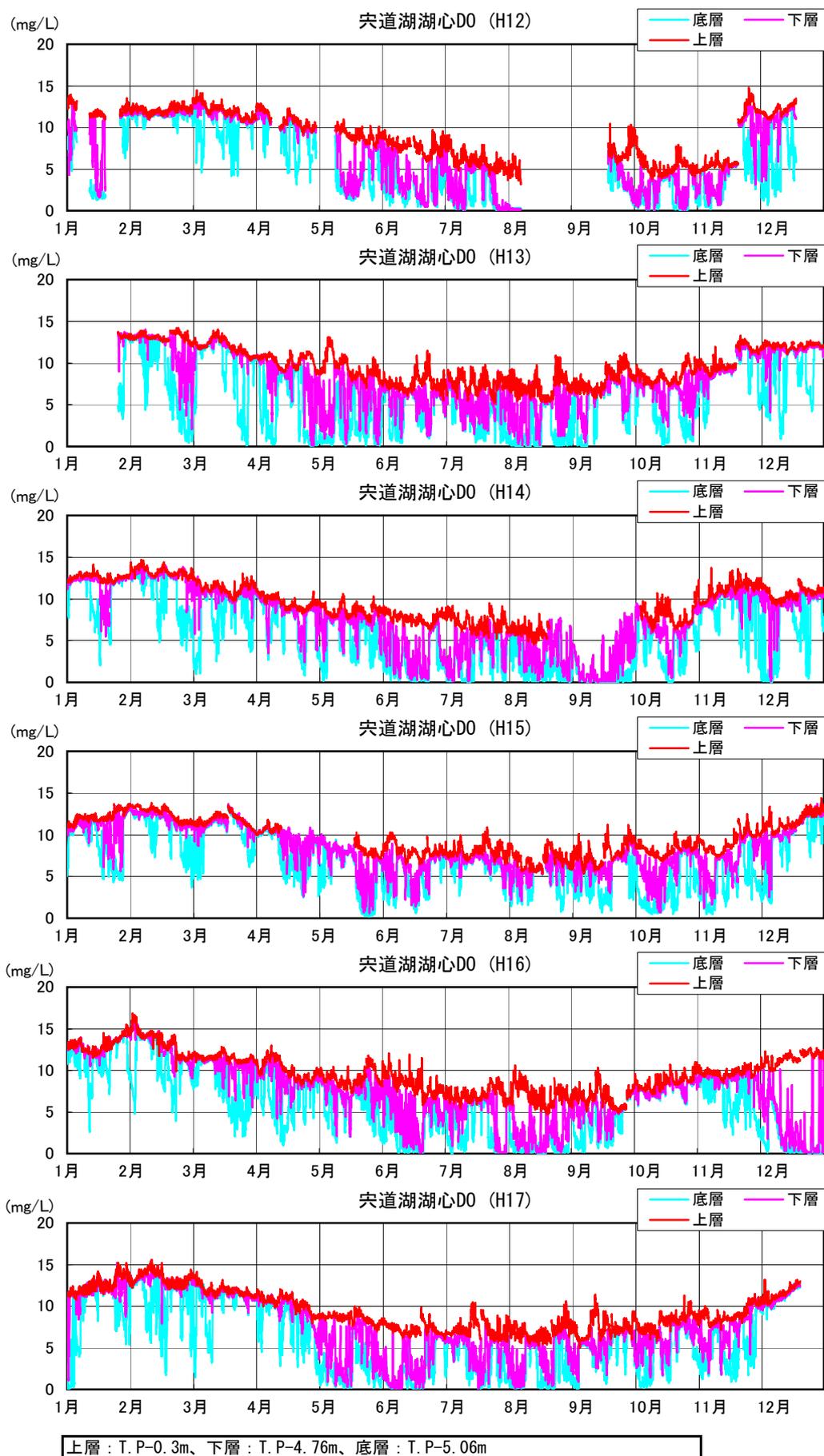
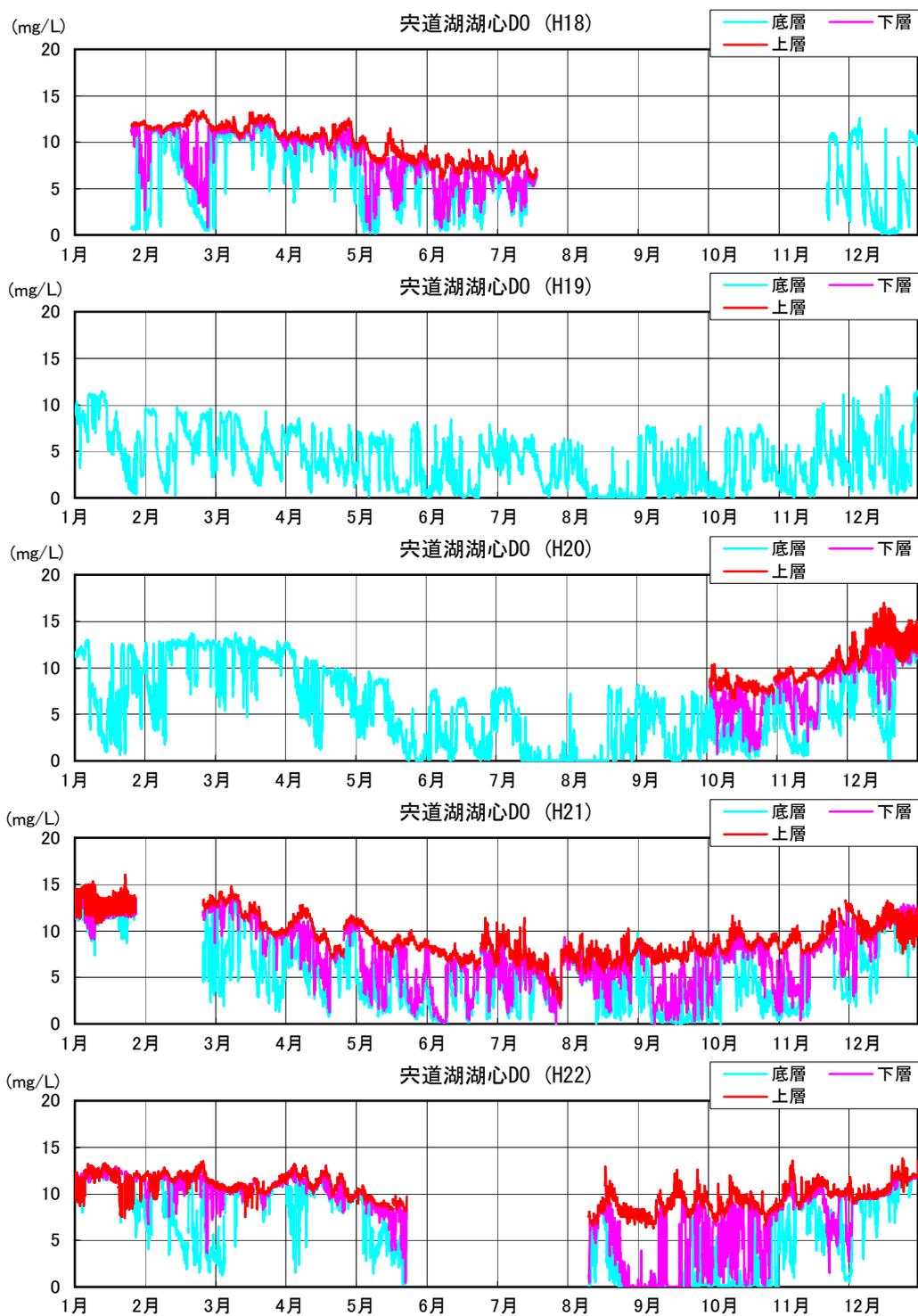


図1.3.2(2) 湖内D0（毎時）の時間変化図（平成6～22年：年別）



上層 : T.P-0.3m、下層 : T.P-4.76m、底層 : T.P-5.06m

図1.3.2(3) 湖内D O (毎時) の時間変化図 (平成6~22年 : 年別)

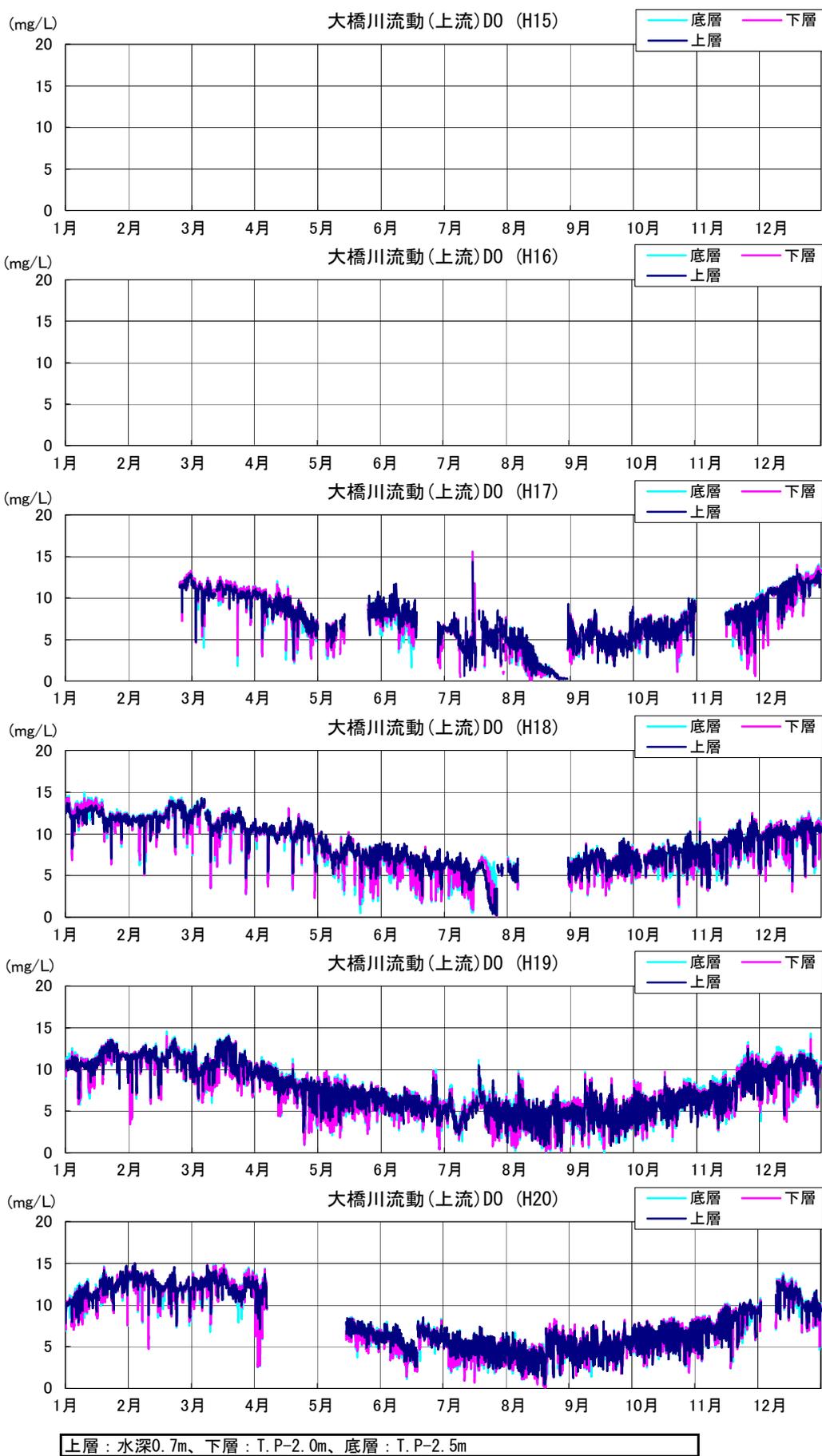
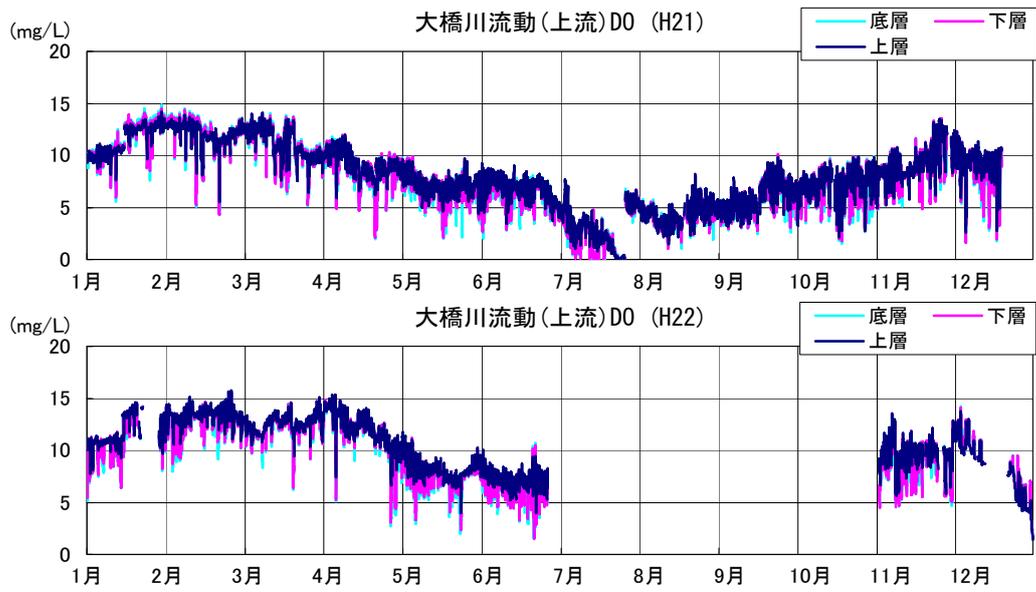


図1.3.2(4) 湖内D O (毎時) の時間変化図 (平成6~22年 : 年別)



上層：水深0.7m、下層：T.P-2.0m、底層：T.P-2.5m

図1.3.2(5) 湖内D0（毎時）の時間変化図（平成6～22年：年別）

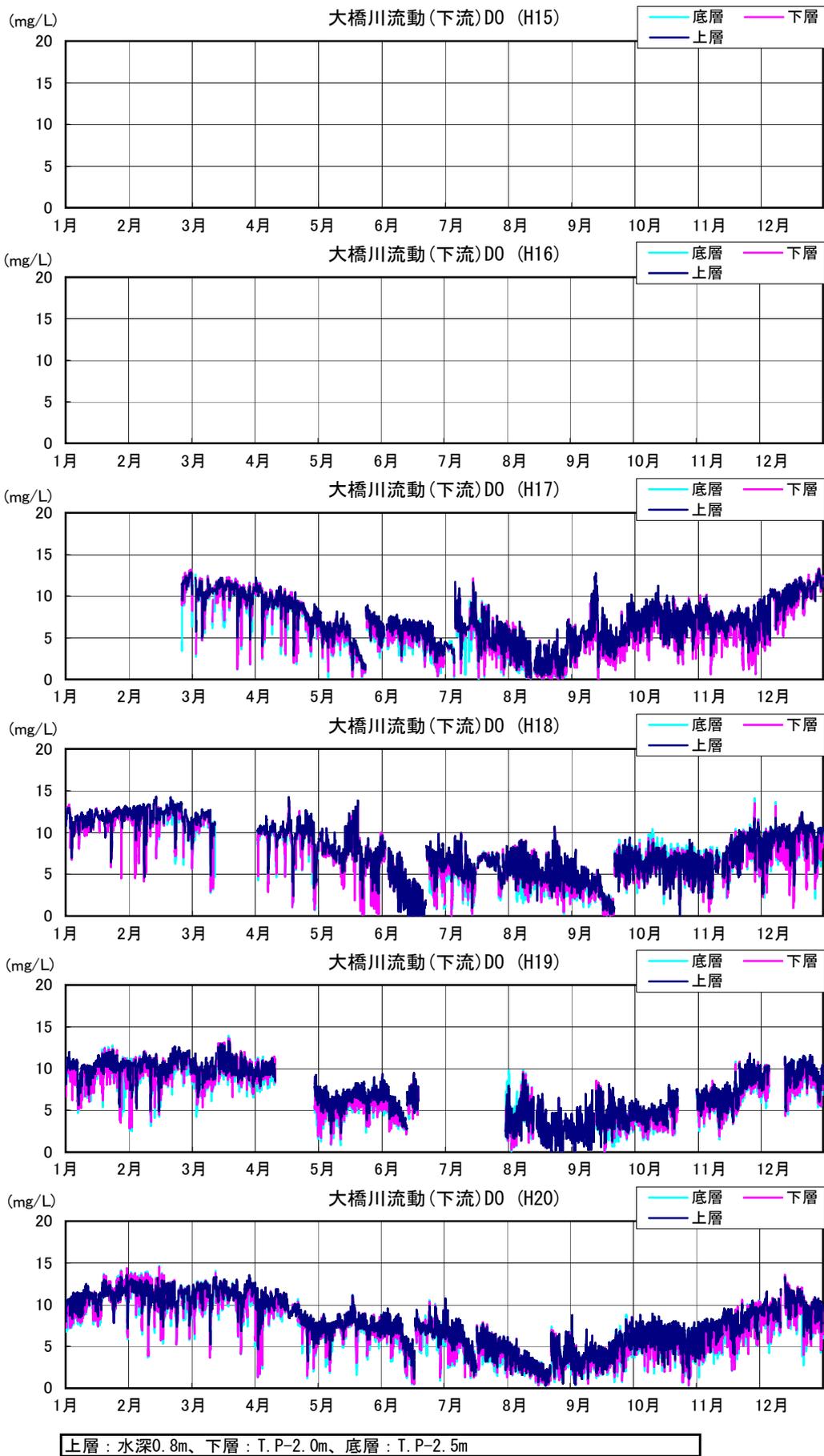
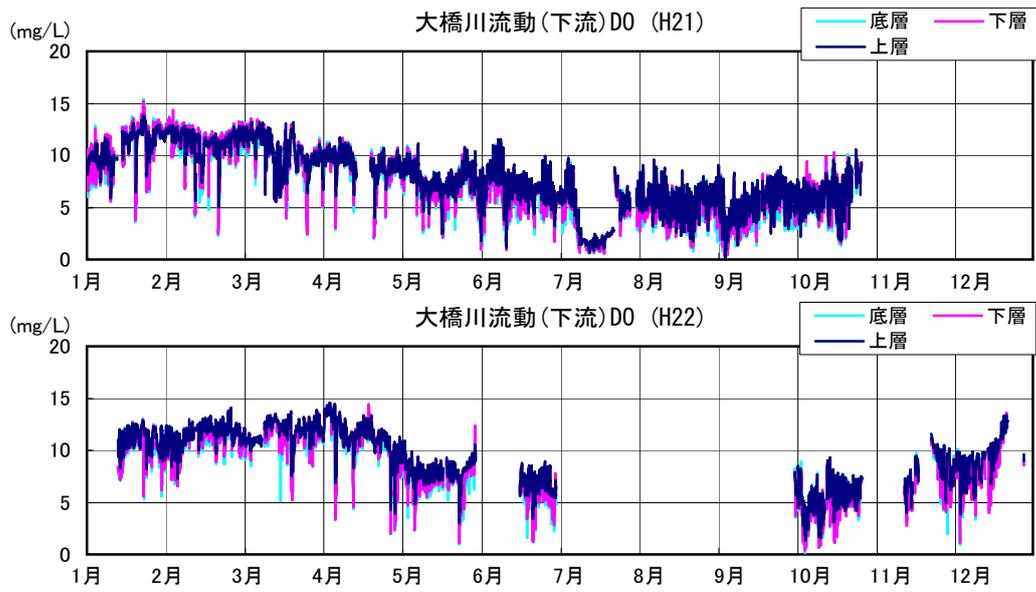


図1.3.2(6) 湖内D0（毎時）の時間変化図（平成6～22年：年別）



上層：水深0.8m、下層：T.P-2.0m、底層：T.P-2.5m

図1.3.2(7) 湖内D O (毎時) の時間変化図 (平成6~22年：年別)

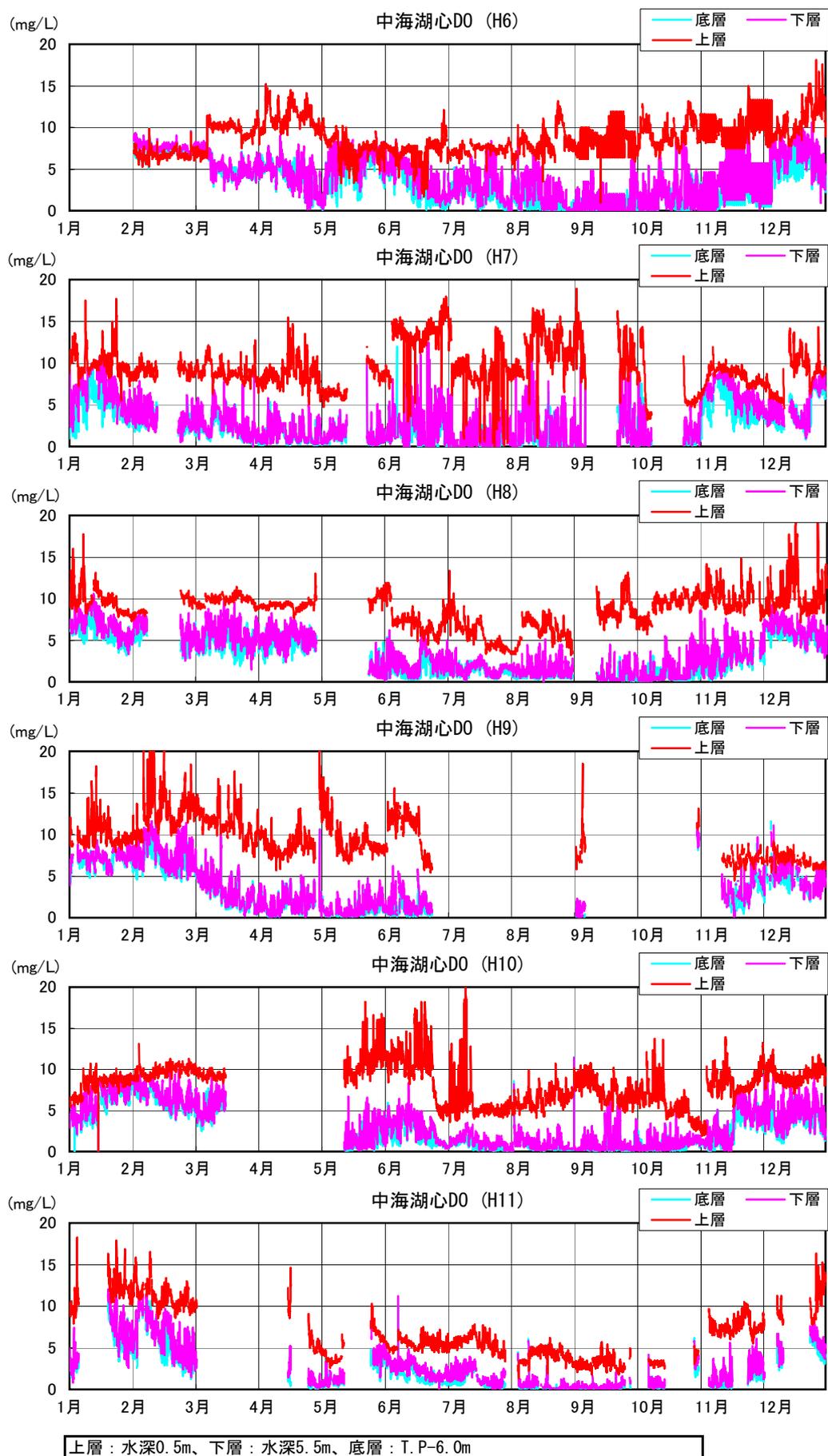


図1.3.2(8) 湖内D_O (毎時) の時間変化図 (平成6~22年: 年別)

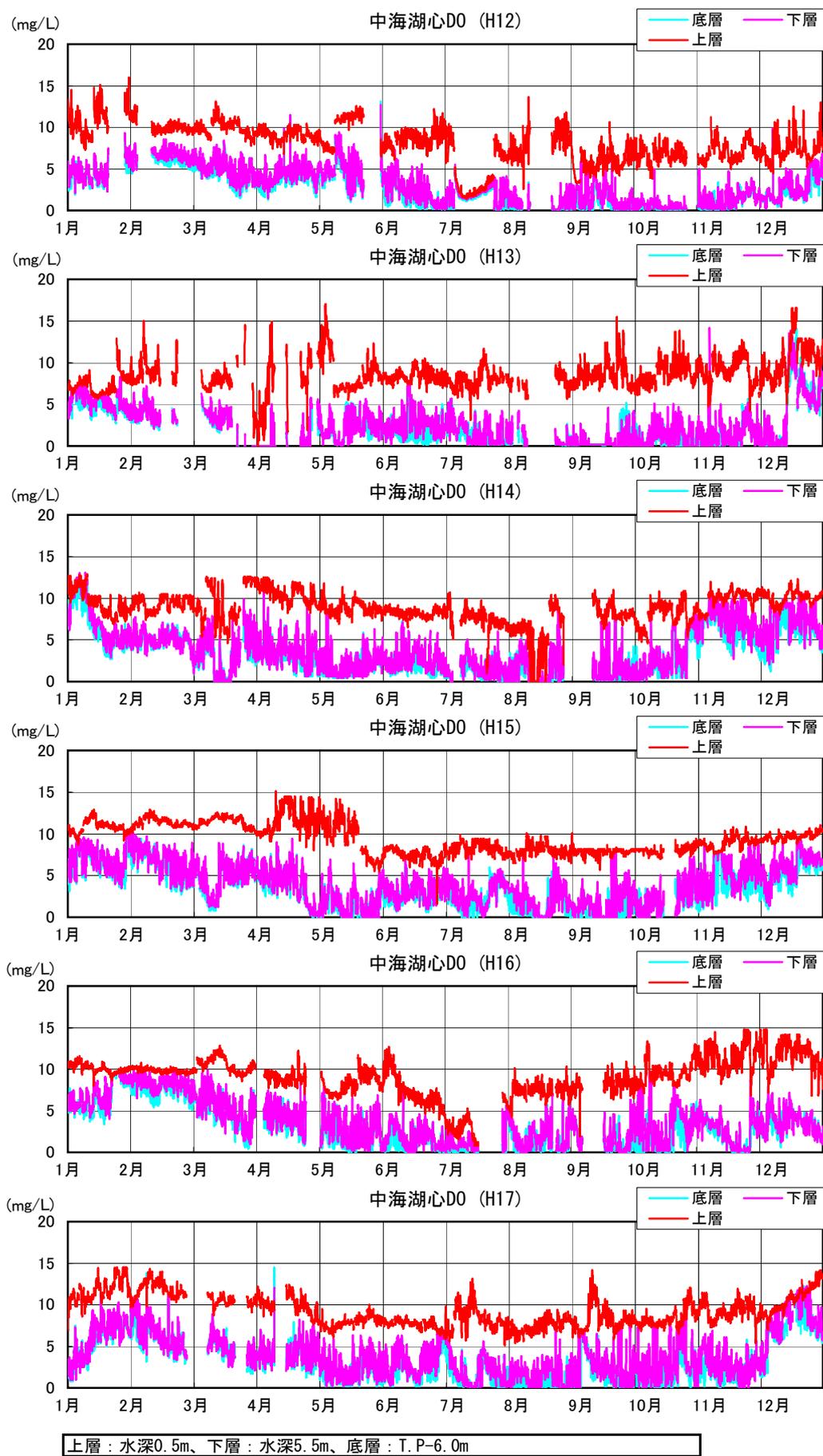
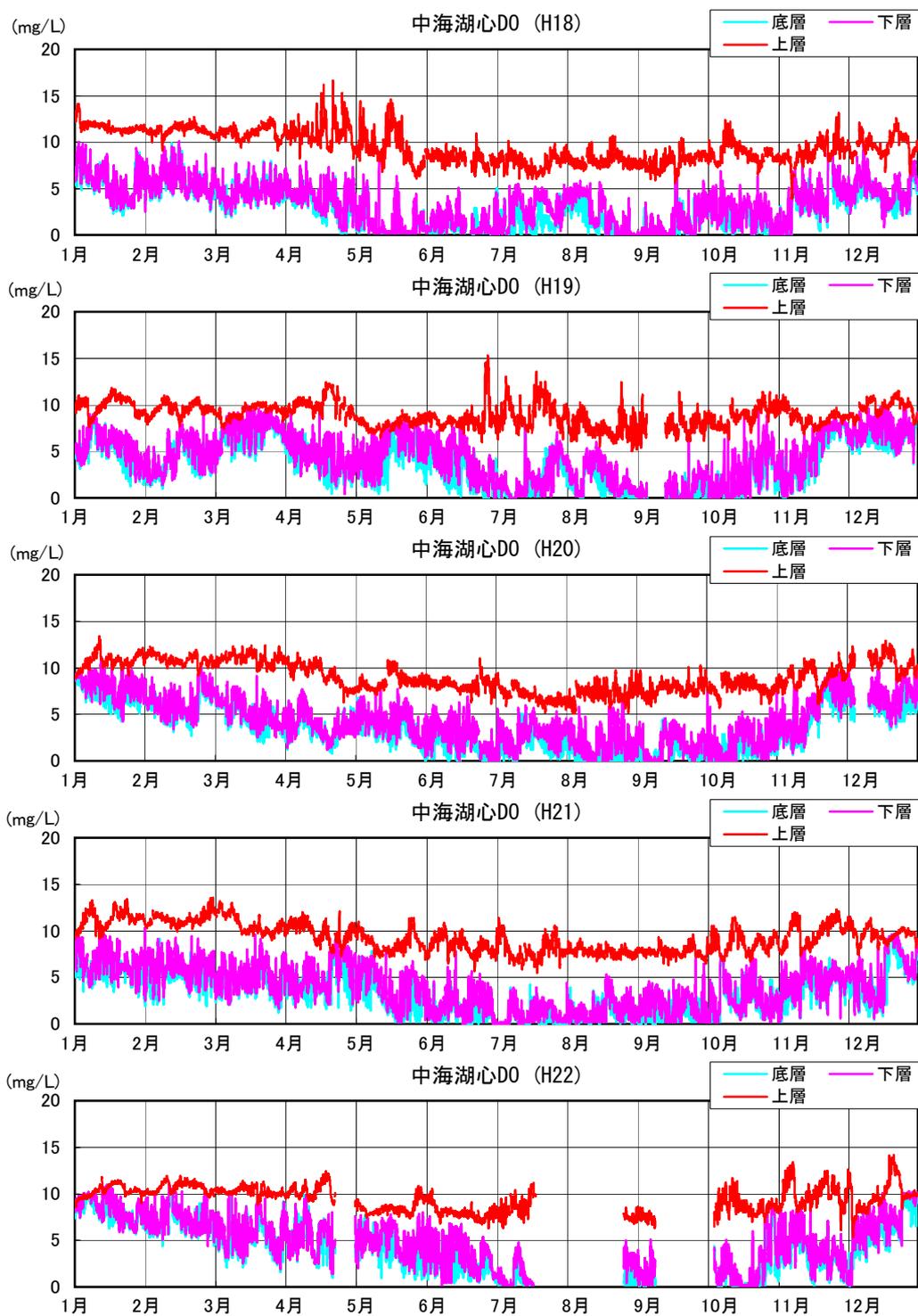


図1.3.2(9) 湖内D O (毎時) の時間変化図 (平成6~22年 : 年別)



上層：水深0.5m、下層：水深5.5m、底層：T.P-6.0m

図1.3.2(10) 湖内DO（毎時）の時間変化図（平成6～22年：年別）

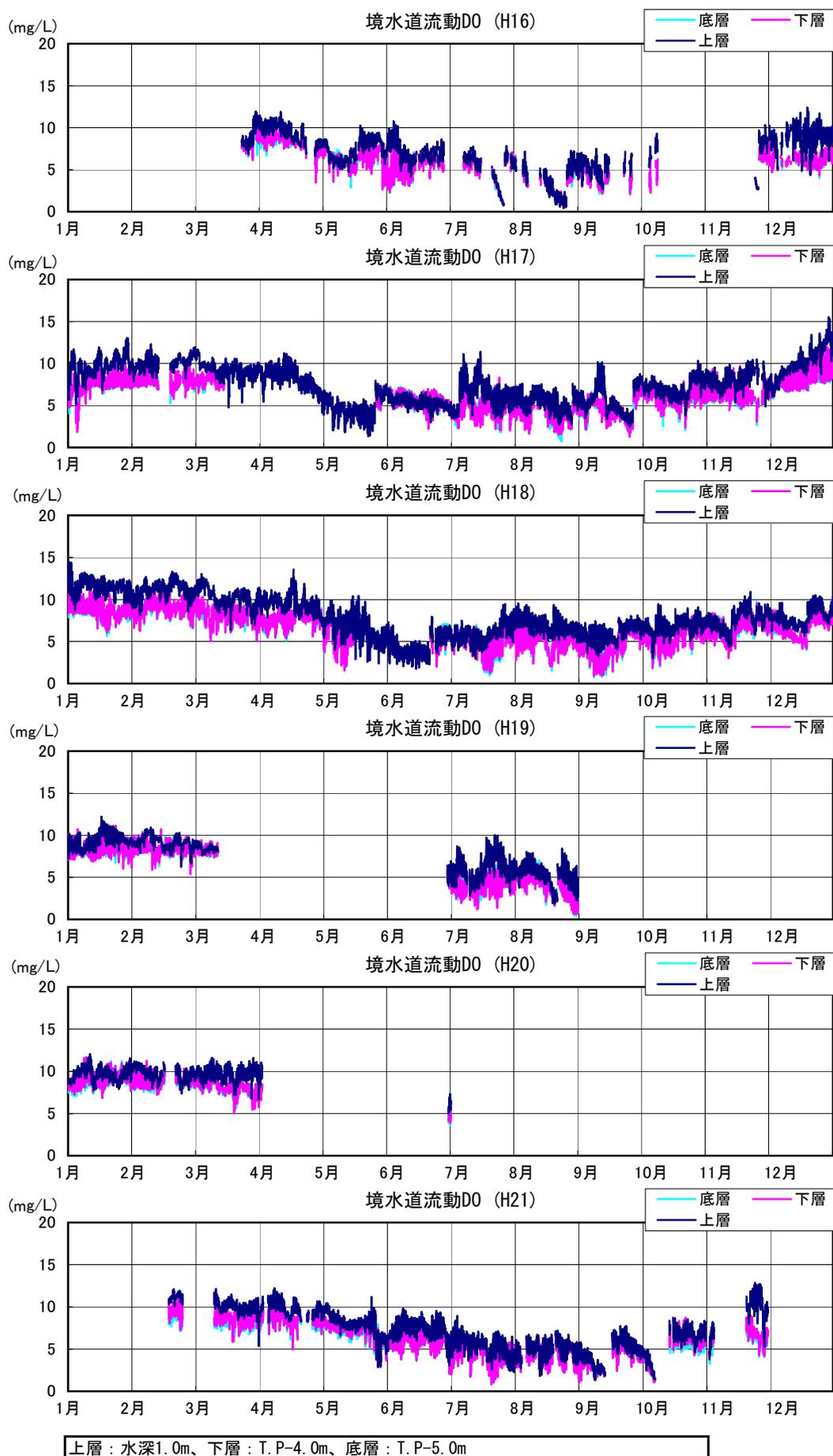
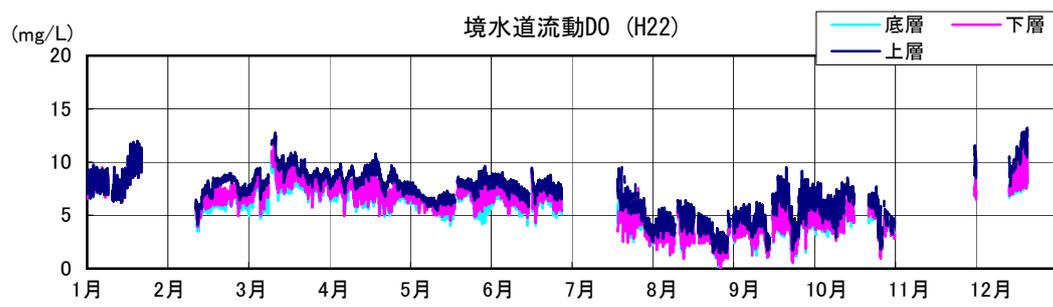


図1.3.2(14) 湖内D O (毎時) の時間変化図 (平成6~22年：年別)



上層：水深1.0m、下層：T.P-4.0m、底層：T.P-5.0m

図1.3.2(15) 湖内D O（毎時）の時間変化図（平成6～22年：年別）

1.3.3 底質（粒度組成）

図 1.3.3 湖内底質（粒度組成）の観測結果

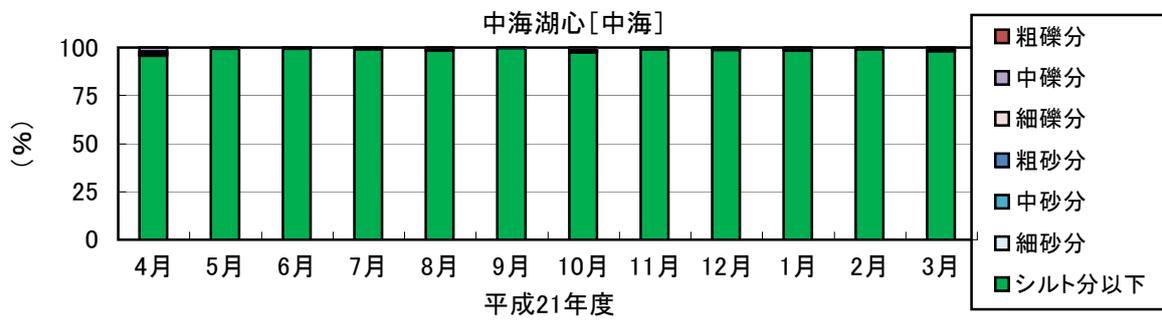
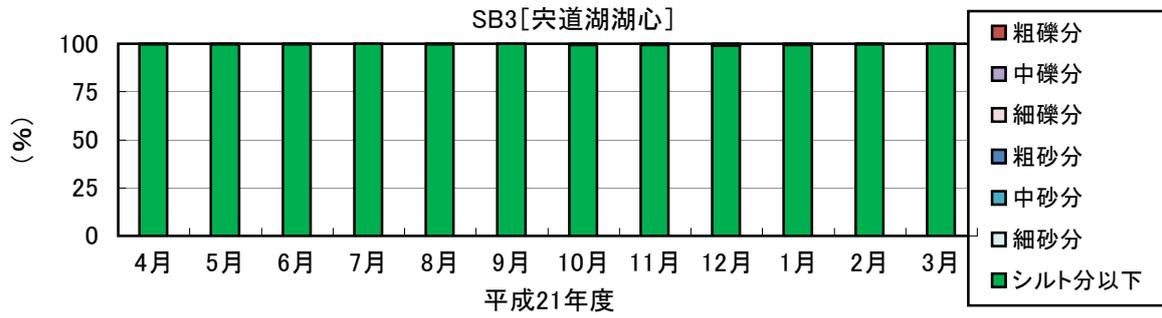


図1.3.3(1) 湖内底質（粒度分布）の観測結果

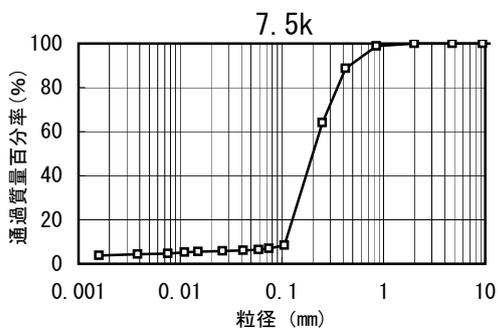
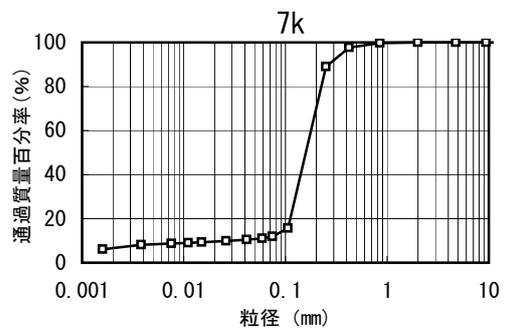
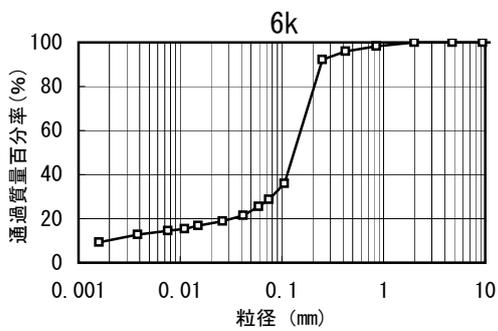
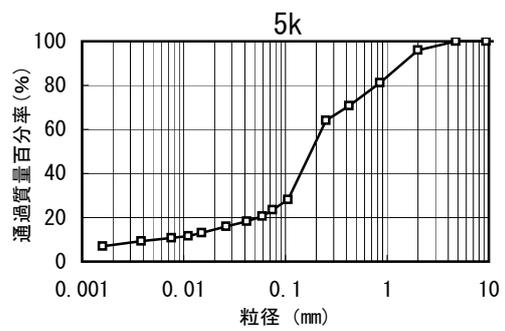
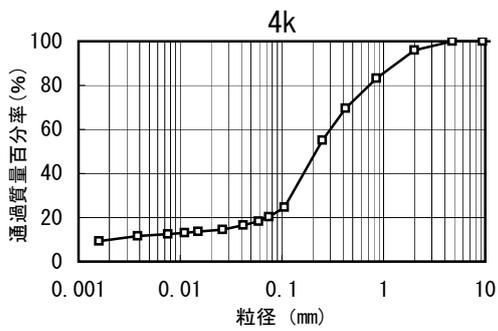
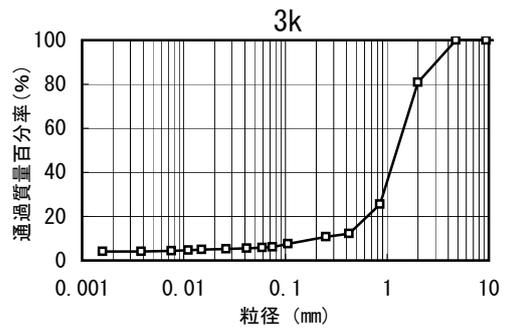
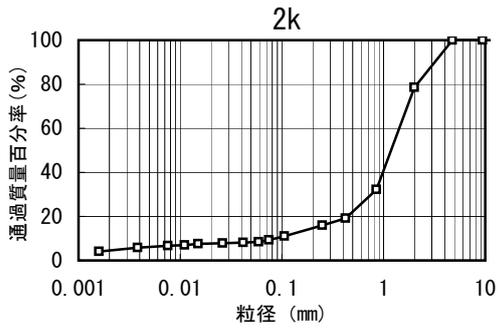
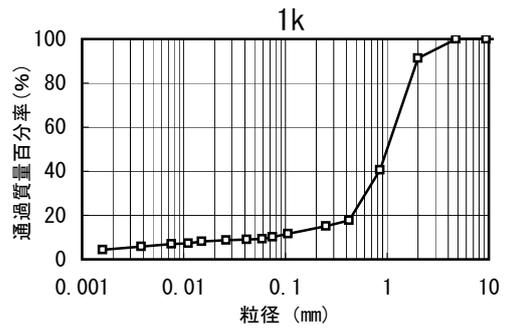
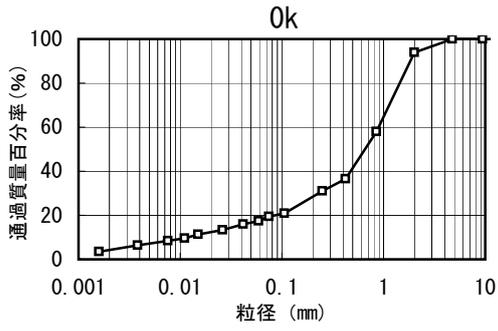


図1.3.3(2) 大橋川底質（粒度分布）の観測結果

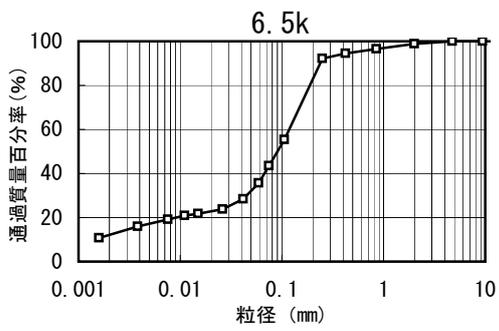
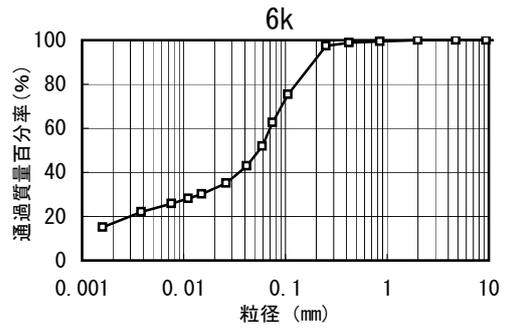
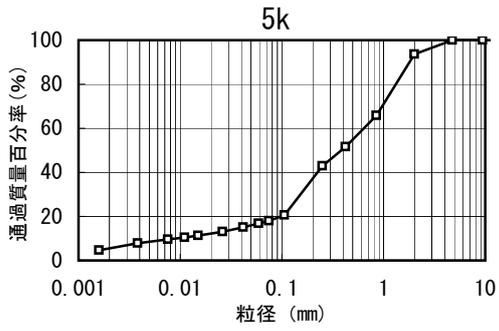
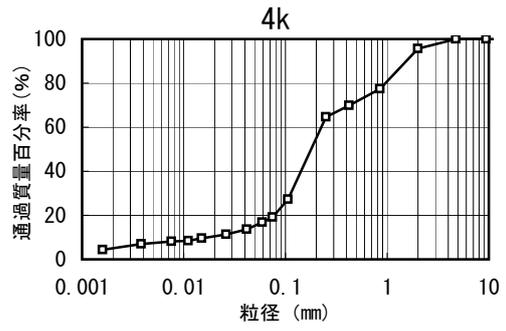
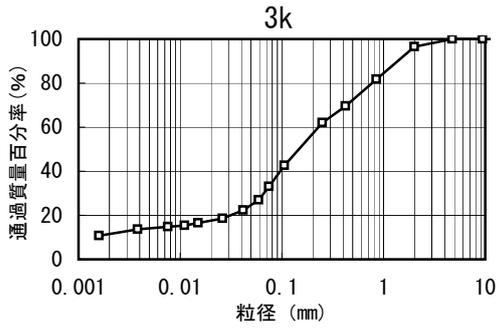


図1.3.3(3) 剣先川底質（粒度分布）の観測結果

1.3.4 水利用（地下水位）

図 1.3.4 弓ヶ浜半島沿岸水位の時間変化図（平成 6～22 年：年別）

図 1.3.5 弓ヶ浜半島内陸地下水位の時間変化図（平成 6～22 年：年別）

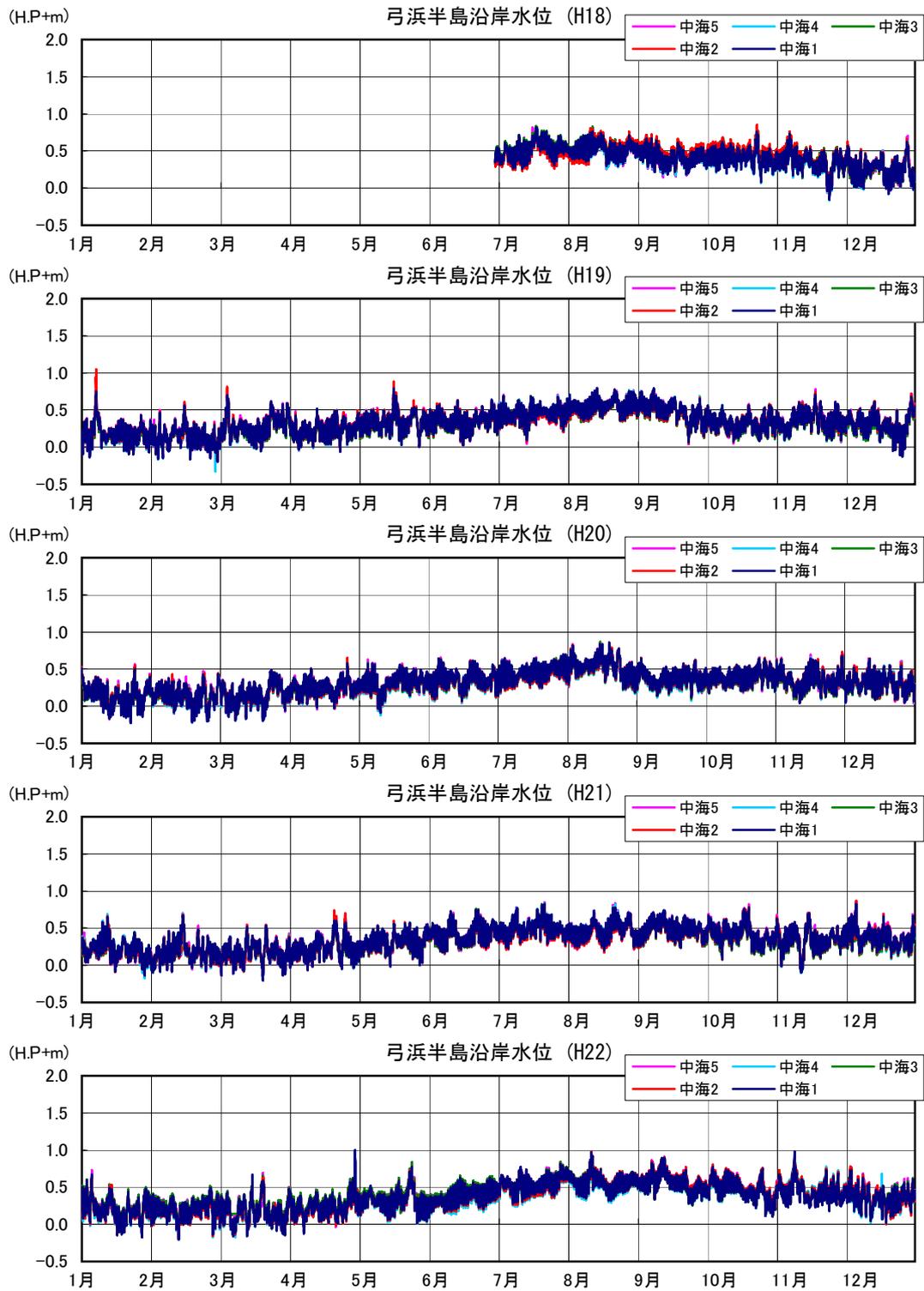


図1.3.4 弓浜半島沿岸水位の時間変化図(平成6~22年:年別)

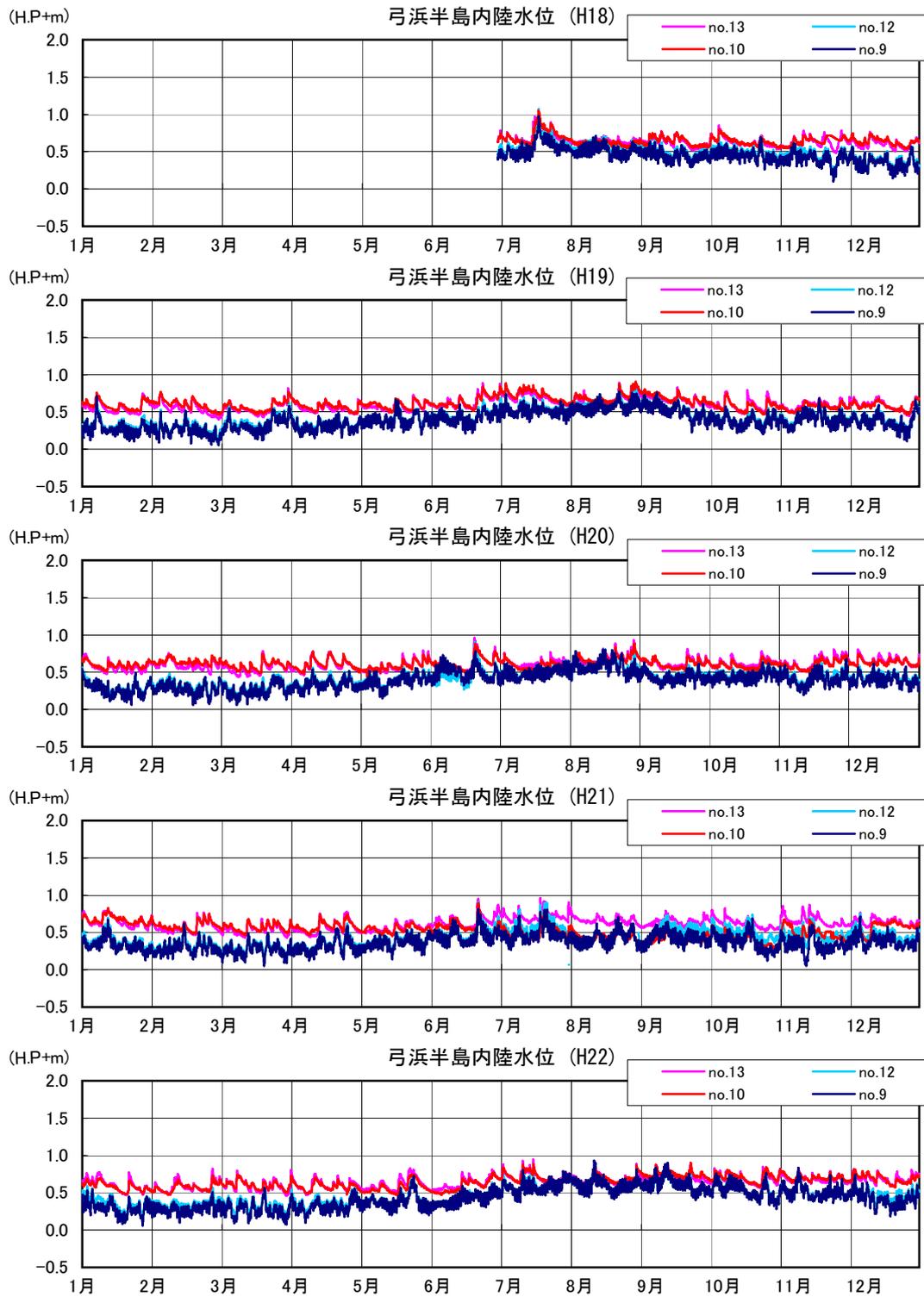


図1.3.5 弓浜半島内陸地下水位の時間変化図(平成6~22年:年別)

1.4 参考項目の環境の現状

1.4.1 流量

図 1.4.1 湖内河川流量の時間変化図（平成 6～22 年：年別）

図 1.4.2 湖内河川流量の毎正時観測値の月別平均・最大・最小の経年変化図

表 1.4.1 湖内河川流量の毎正時観測値の月平均・月最大・月最小の現状変化幅（H06～H22）
と評価対象年(H22)観測値の比較

図 1.4.3 湖内河川流量の毎正時観測値の月平均・月最大・月最小の現状変化幅（H06～H22）
と評価対象年(H22)観測値の比較

注) 流量は流下方向を正として整理しています。

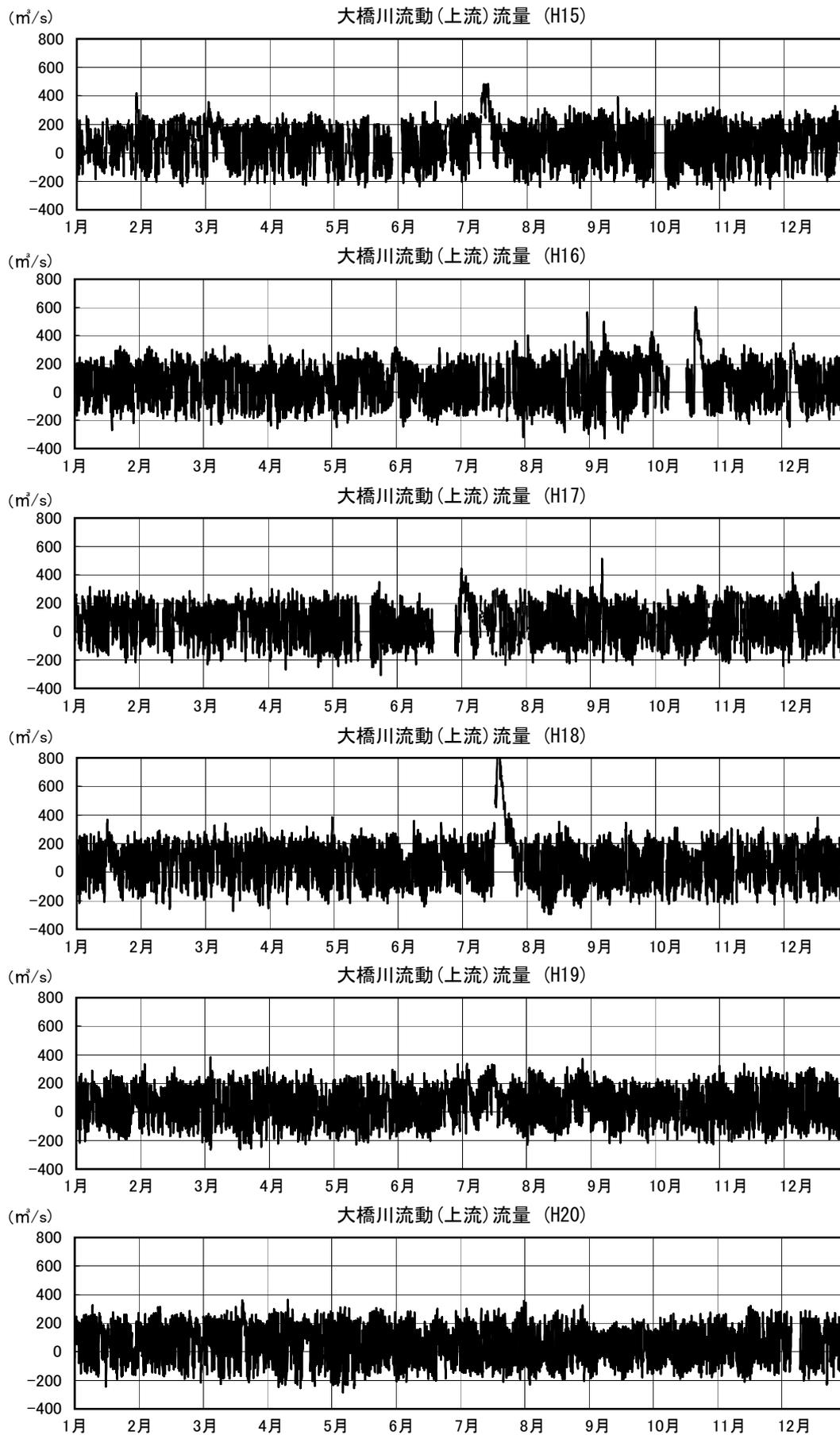


図1.4.1(1) 湖内河川流量の時間変化図（平成6～22年：年別）

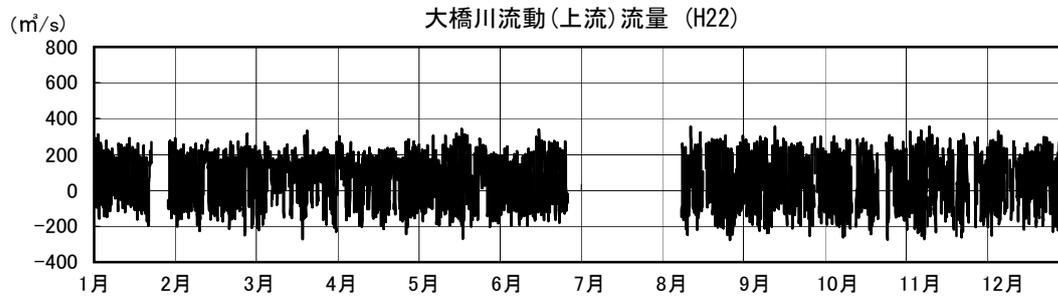
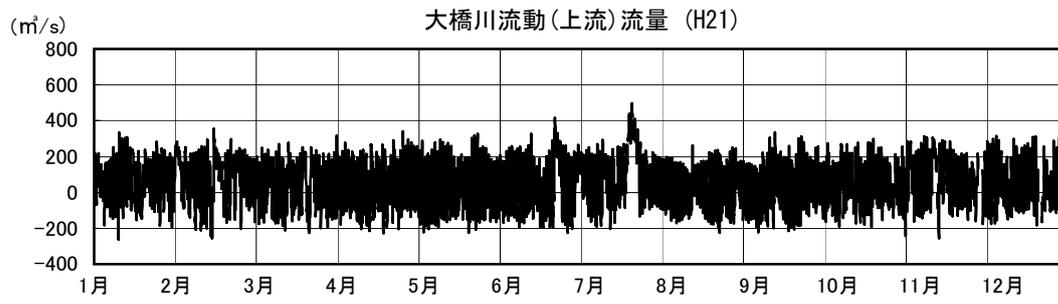


図1.4.1(2) 湖内河川流量の時間変化図 (平成6~22年: 年別)

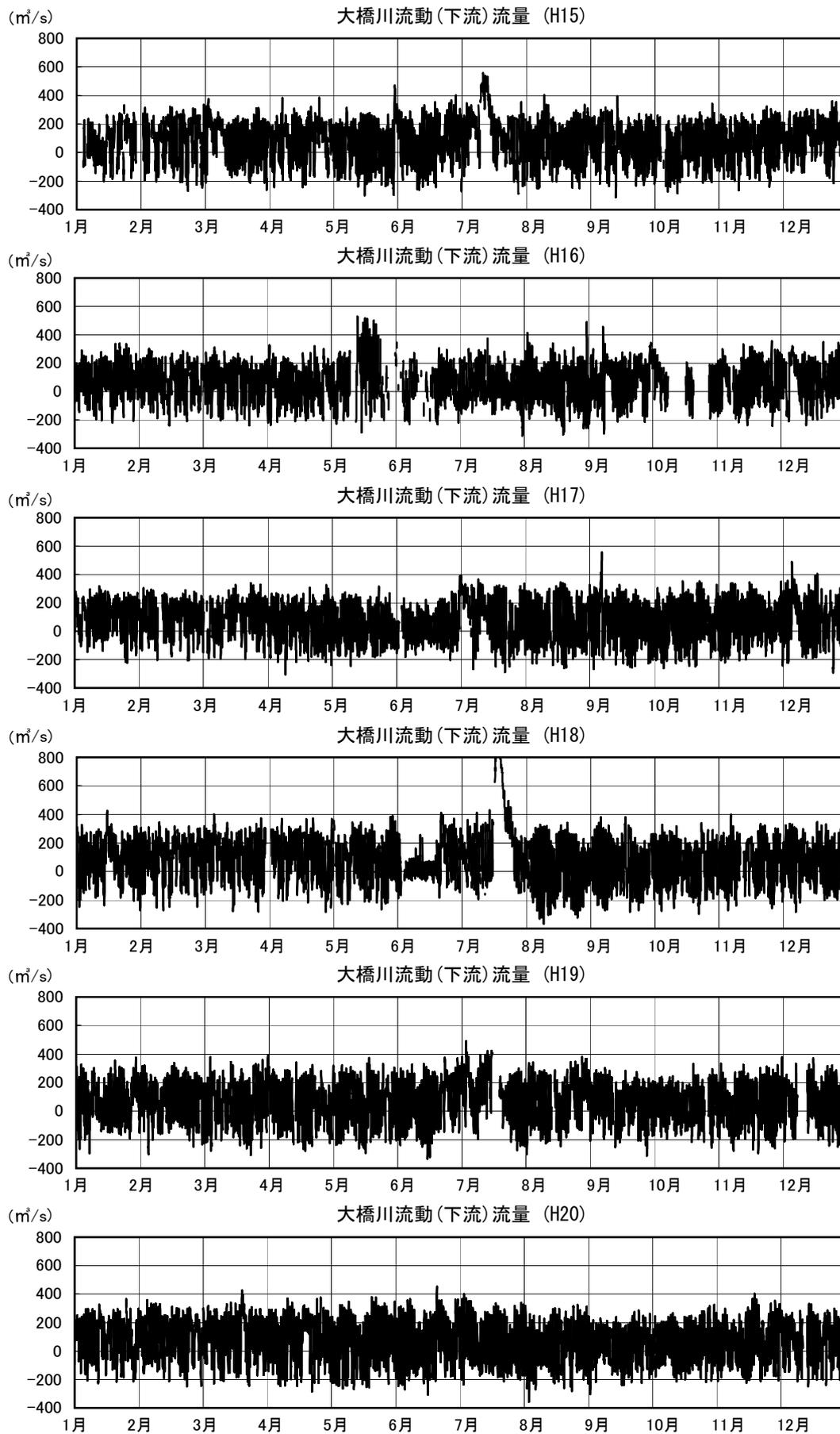


図1.4.1(3) 湖内河川流量の時間変化図 (平成6~22年:年別)

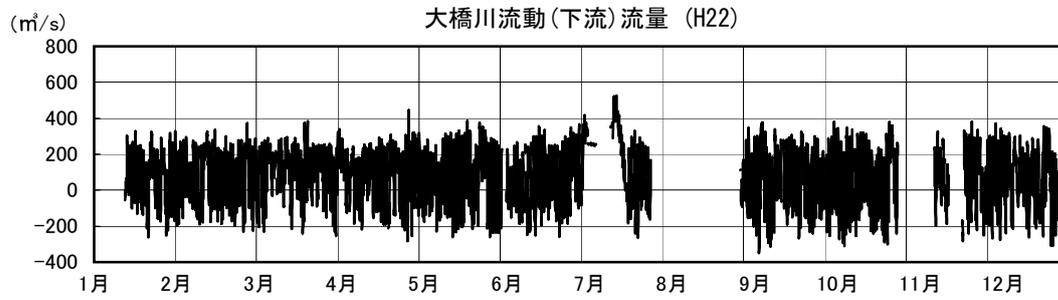
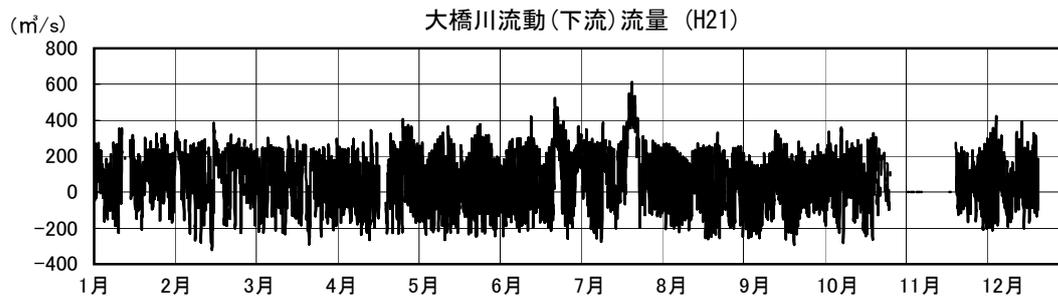


図1.4.1(4) 湖内河川流量の時間変化図 (平成6~22年: 年別)

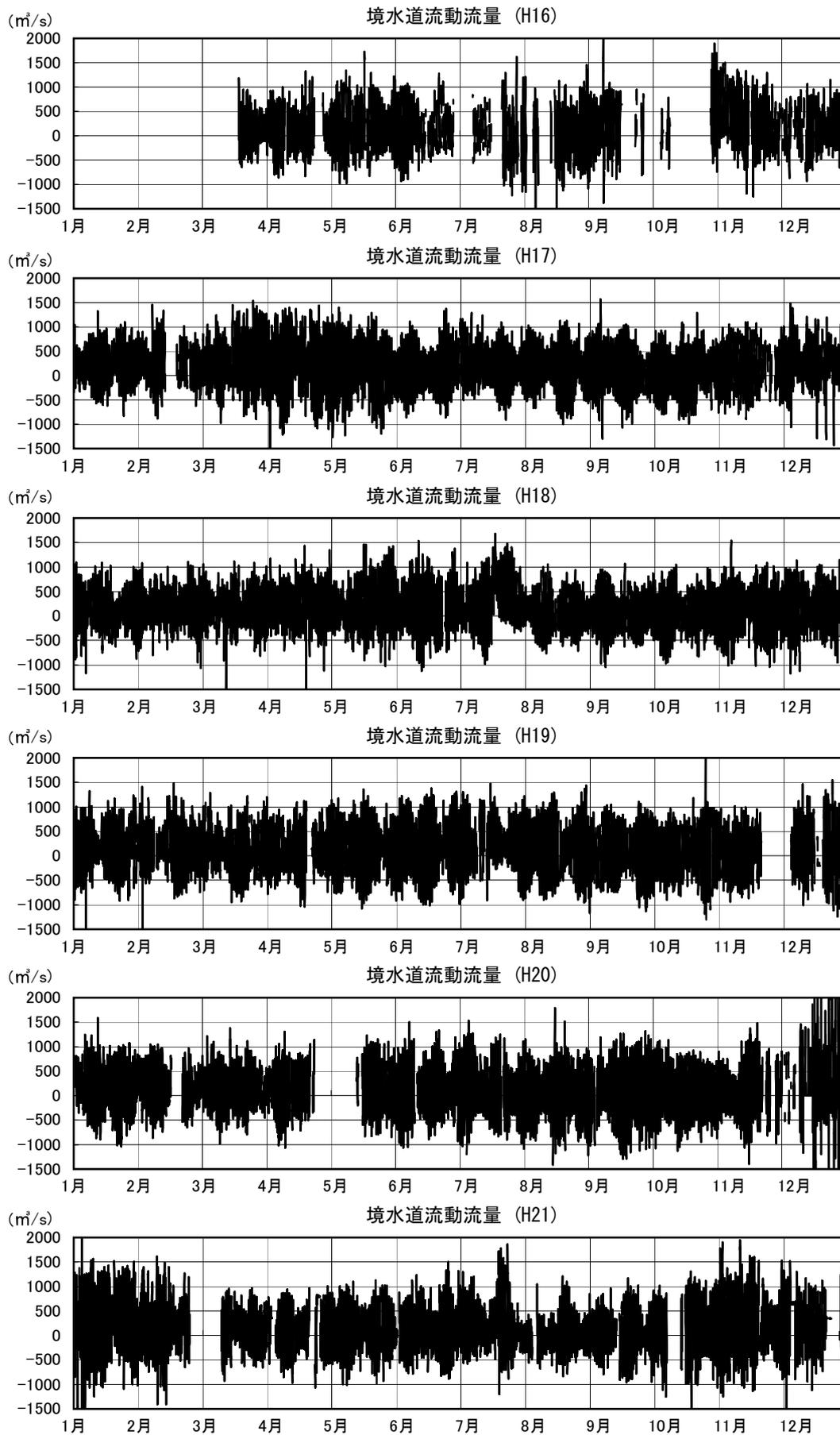


図1.4.1(5) 湖内河川流量の時間変化図（平成6～22年：年別）

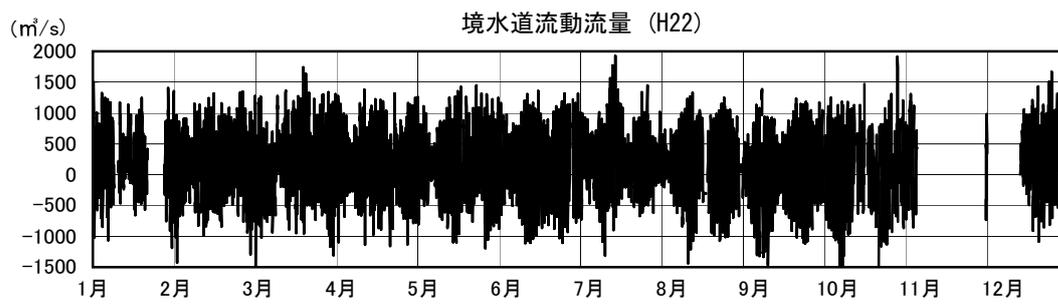


図1.4.1(6) 湖内河川流量の時間変化図 (平成6~22年: 年別)

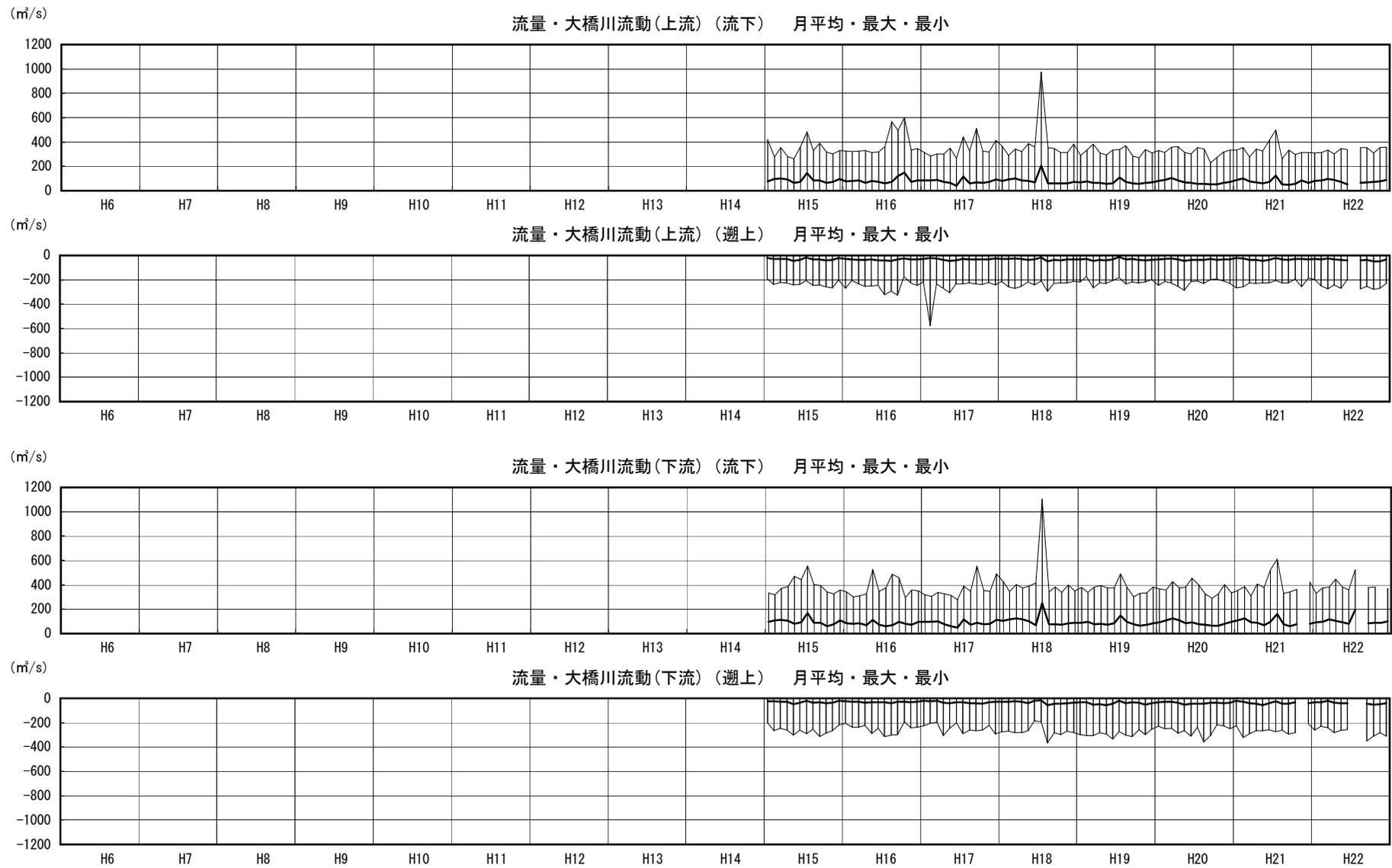


図1.4.2(1) 湖内河川流量の毎正時観測値の月別平均・最大・最小の経年変化図

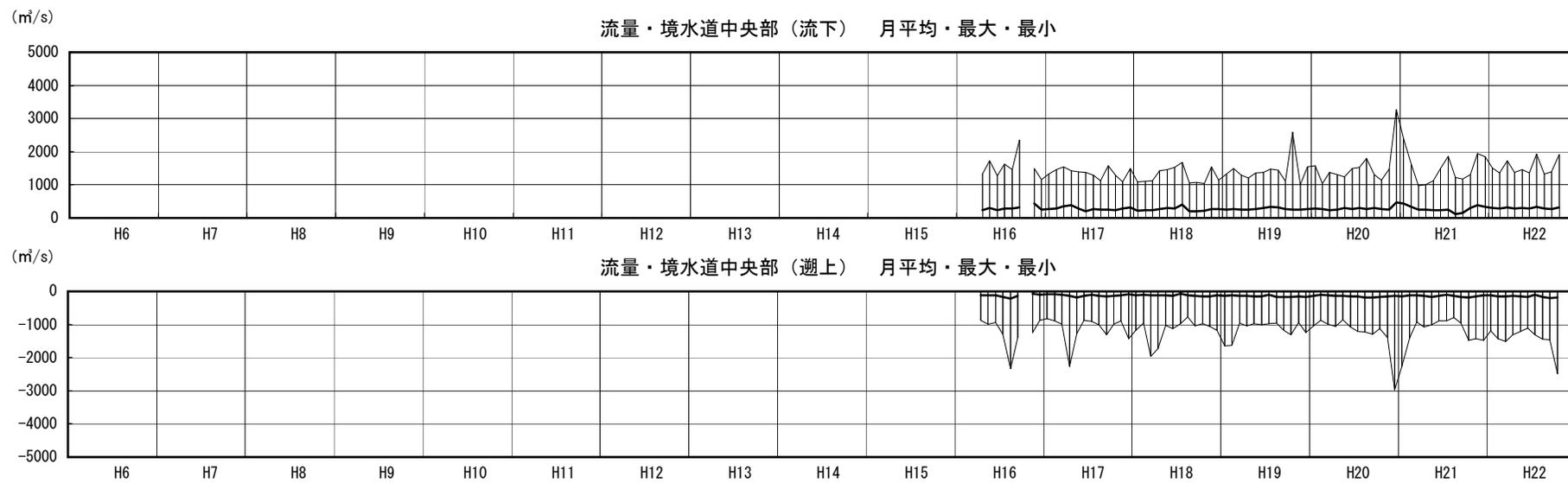
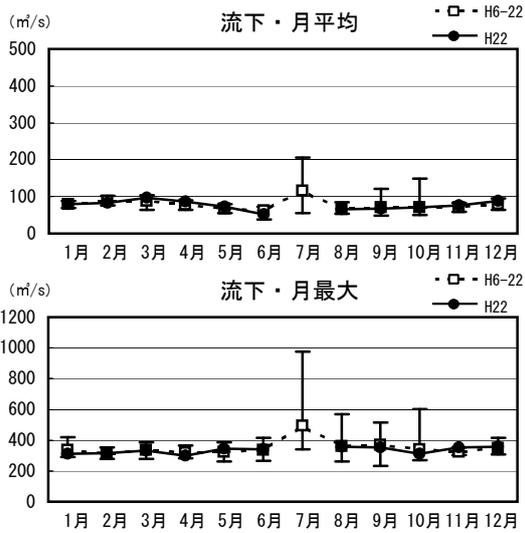


図1.4.2(2) 湖内河川流量の毎正時観測値の月別平均・最大・最小の経年変化図

表 1.4.1(1) 湖内河川流量の毎正時観測値の月平均・月最大・月最小の現状変化幅 (H06~H22) と評価対象年 (H22) 観測値の比較

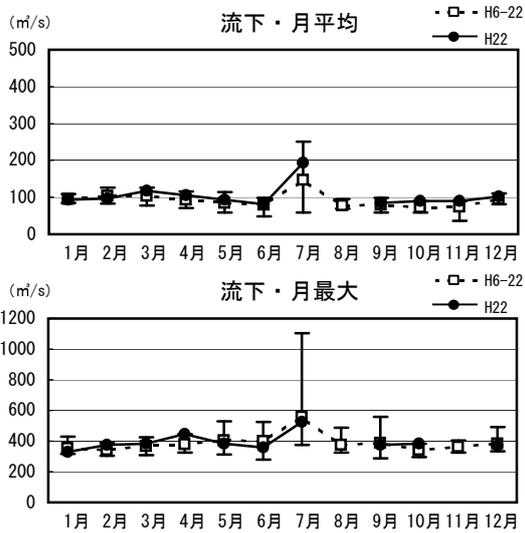
流量(m3/s)	平均値				最大値				
	現状変化幅(H06~H22)			評価年 (H22)	現状変化幅(H06~H22)			評価年 (H22)	
	平均	最大	最小		平均	最大	最小		
大橋川流動 上流 (流下)	1月	78.19	87.80	69.01	76.38	336.38	419.50	291.40	311.50
	2月	85.14	102.25	75.45	82.92	311.49	353.90	278.00	314.00
	3月	88.27	102.89	63.64	96.35	334.75	384.30	277.70	333.30
	4月	76.89	89.42	63.64	86.61	319.44	363.90	283.00	300.40
	5月	64.57	79.03	51.47	72.19	323.95	385.70	261.10	345.30
	6月	60.38	72.82	38.47	52.10	337.18	416.10	267.10	339.10
	7月	108.52	191.07	49.08		493.40	976.10	338.80	
	8月	64.04	83.24	53.99	59.20	362.68	568.00	261.10	356.20
	9月	69.96	120.71	47.83	64.26	368.51	513.10	230.80	354.50
	10月	68.56	146.37	50.74	68.49	338.48	601.80	268.30	309.40
	11月	68.49	81.57	57.30	71.77	323.74	353.50	301.50	353.50
	12月	78.28	94.30	64.46	86.39	348.15	413.90	308.60	357.30
	年間	74.81	83.39	68.02	68.06	522.01	976.10	357.30	357.30
大橋川流動 上流 (遡上)	1月	(26.32)	(20.37)	(30.80)	(24.45)	(226.88)	(188.20)	(271.20)	(197.10)
	2月	(26.86)	(20.10)	(32.75)	(32.75)	(271.21)	(174.80)	(574.40)	(249.30)
	3月	(29.45)	(22.27)	(43.82)	(22.27)	(243.04)	(220.40)	(273.30)	(273.30)
	4月	(34.45)	(28.85)	(38.03)	(33.38)	(244.33)	(225.80)	(268.80)	(242.00)
	5月	(39.09)	(30.58)	(44.76)	(36.17)	(253.53)	(218.10)	(307.70)	(269.70)
	6月	(35.45)	(31.90)	(39.47)	(37.82)	(224.66)	(196.80)	(244.50)	(196.80)
	7月	(22.83)	(13.69)	(36.92)		(223.77)	(180.00)	(322.40)	
	8月	(36.76)	(31.21)	(46.83)	(40.14)	(252.76)	(224.30)	(295.10)	(274.40)
	9月	(32.50)	(27.05)	(37.11)	(35.59)	(241.23)	(199.30)	(327.80)	(255.50)
	10月	(33.05)	(22.70)	(39.19)	(39.19)	(222.48)	(174.40)	(275.90)	(275.90)
	11月	(33.87)	(26.21)	(41.13)	(41.13)	(236.68)	(210.80)	(270.60)	(270.60)
	12月	(28.51)	(19.98)	(34.10)	(29.91)	(218.29)	(184.50)	(247.10)	(228.80)
	年間	(31.36)	(29.29)	(33.06)	(31.07)	(319.26)	(264.60)	(574.40)	(275.90)
大橋川流動 下流 (流下)	1月	92.97	103.03	84.96	93.24	355.38	427.70	317.20	328.30
	2月	100.27	123.92	81.12	96.09	341.11	386.10	302.80	373.10
	3月	101.20	123.83	77.95	117.98	365.50	426.80	309.80	383.20
	4月	91.71	110.18	69.43	104.60	378.70	445.60	324.50	445.60
	5月	81.08	96.57	59.09	92.98	402.49	528.50	313.90	383.90
	6月	74.21	97.90	43.64	72.41	398.99	524.20	278.10	357.80
	7月	137.25	227.55	56.13	165.89	556.94	1104.90	375.20	525.00
	8月	75.86	87.58	68.04		373.41	488.40	325.90	
	9月	77.28	98.01	59.01	81.22	388.05	557.70	288.90	376.90
	10月	71.27	88.45	56.40	88.45	341.23	382.20	295.00	382.20
	11月	72.91	84.35	35.89	84.01	361.10	404.40	325.60	
	12月	94.15	110.12	79.12	100.08	382.80	490.40	334.90	370.30
	年間	88.39	102.64	77.63	91.41	603.59	1104.90	453.40	525.00
大橋川流動 下流 (遡上)	1月	(25.91)	(19.54)	(32.85)	(32.85)	(239.81)	(202.00)	(296.70)	(260.90)
	2月	(27.05)	(19.14)	(32.49)	(32.49)	(261.21)	(206.60)	(320.30)	(230.90)
	3月	(29.66)	(17.96)	(52.01)	(22.03)	(256.41)	(197.80)	(307.20)	(240.50)
	4月	(35.50)	(27.99)	(43.00)	(35.80)	(272.91)	(222.40)	(305.80)	(281.10)
	5月	(44.43)	(25.28)	(57.02)	(41.93)	(274.13)	(247.60)	(301.40)	(260.40)
	6月	(34.24)	(18.97)	(44.93)	(38.40)	(256.91)	(187.20)	(335.30)	(257.50)
	7月	(24.22)	(14.43)	(42.91)	(18.13)	(267.93)	(193.90)	(315.90)	
	8月	(42.18)	(34.51)	(55.90)		(300.10)	(252.00)	(367.10)	
	9月	(36.94)	(26.89)	(44.93)	(44.78)	(302.83)	(266.10)	(351.30)	(351.30)
	10月	(37.93)	(24.91)	(52.27)	(52.27)	(263.46)	(192.20)	(309.60)	(309.60)
	11月	(35.21)	(18.03)	(51.25)	(35.55)	(257.99)	(220.80)	(297.40)	(283.30)
	12月	(32.04)	(18.13)	(40.82)	(38.60)	(256.68)	(211.20)	(308.80)	(308.80)
	年間	(33.34)	(28.35)	(39.36)	(32.74)	(333.33)	(305.80)	(367.10)	(351.30)
境水道流動 (流下)	1月	290.45	435.75	211.30	291.75	1538.78	2396.00	1096.60	1505.40
	2月	260.07	320.90	231.53	285.80	1345.93	1619.20	1045.20	1354.50
	3月	270.26	347.16	236.19	325.15	1339.25	1736.20	969.60	1736.20
	4月	274.66	393.39	230.56	290.82	1299.14	1433.50	1010.80	1378.30
	5月	278.22	303.95	227.40	303.95	1393.39	1729.40	1128.00	1452.10
	6月	247.68	296.03	206.44	261.89	1416.64	1529.10	1277.60	1360.50
	7月	283.32	389.86	165.34	320.75	1628.20	1930.40	1287.90	1930.40
	8月	230.76	306.33	109.65	277.13	1347.43	1792.10	1058.40	1326.80
	9月	236.71	290.33	150.81	265.52	1425.47	2347.50	1065.60	1390.60
	10月	246.57	271.77	208.99	271.77	1547.18	2587.90	1048.40	1914.40
	11月	291.32	394.32	222.16		1431.13	1949.70	1012.70	
	12月	302.58	385.27	200.88	362.87	1786.30	3274.90	1137.90	2054.40
	年間	251.54	273.34	163.79	271.45	2272.33	3274.90	1569.90	2054.40
境水道流動 (遡上)	1月	(117.35)	(78.24)	(151.11)	(102.46)	(1360.65)	(829.40)	(2265.90)	(1192.50)
	2月	(109.86)	(69.18)	(143.80)	(143.80)	(1196.60)	(872.60)	(1627.30)	(1422.50)
	3月	(118.62)	(95.54)	(154.52)	(154.52)	(1219.80)	(928.50)	(1957.50)	(1514.50)
	4月	(123.67)	(106.75)	(140.33)	(140.33)	(1334.81)	(866.90)	(2269.30)	(1309.20)
	5月	(140.22)	(109.46)	(174.57)	(147.52)	(1045.50)	(851.30)	(1268.80)	(1202.80)
	6月	(137.20)	(104.19)	(169.40)	(169.40)	(1000.56)	(869.10)	(1122.80)	(1107.10)
	7月	(102.19)	(74.52)	(135.46)	(102.50)	(1079.10)	(890.40)	(1311.10)	(1311.10)
	8月	(150.67)	(117.07)	(187.73)	(159.97)	(1215.43)	(766.20)	(2339.40)	(1439.80)
	9月	(155.82)	(108.96)	(203.99)	(203.99)	(1230.51)	(953.80)	(1467.40)	(1467.40)
	10月	(153.75)	(139.11)	(169.11)	(169.11)	(1392.35)	(968.00)	(2491.40)	(2491.40)
	11月	(126.22)	(65.53)	(156.74)		(1158.30)	(897.20)	(1423.60)	
	12月	(107.14)	(86.29)	(144.97)	(91.96)	(1463.44)	(872.10)	(2963.60)	(1088.40)
	年間	(121.11)	(73.16)	(139.90)	(132.13)	(2276.96)	(1651.60)	(2963.60)	(2491.40)

流量・大橋川流動(上流)



※流下方向を正として整理している。

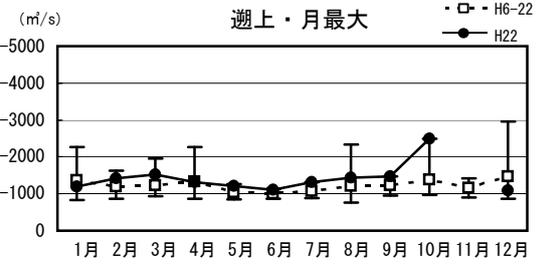
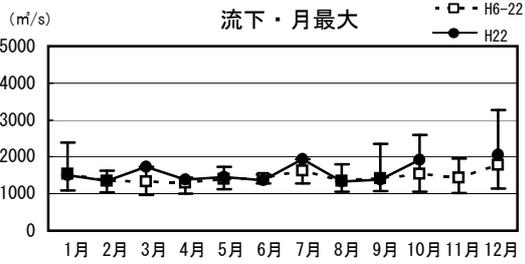
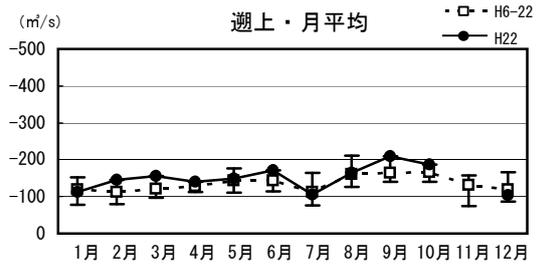
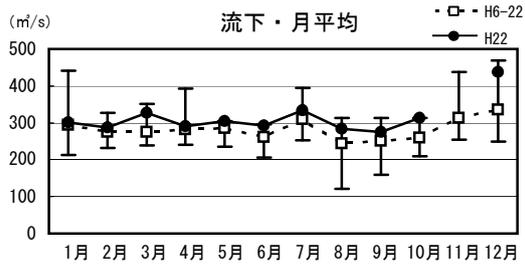
流量・大橋川流動(下流)



※流下方向を正として整理している。

図1.4.3(1) 湖内河川流量の毎正時観測値の月平均・月最大・月最小の現状変化幅 (H06~H22) と評価対象年(H22) 観測値の比較

流量・境水道流動



※流下方向を正として整理している。

図1.4.3(2) 湖内河川流量の毎正時観測値の月平均・月最大・月最小の現状変化幅 (H06~H22) と評価対象年 (H22) 観測値の比較

1.4.2 塩分フラックス

図 1.4.4 湖内河川塩分フラックスの時間変化図（平成 6～22 年：年別）

図 1.4.5 湖内河川塩分フラックスの毎正時観測値の月別平均・最大・最小の経年変化図

表 1.4.2 湖内河川塩分フラックスの毎正時観測値の月平均・月最大・月最小の現状変化幅
(H06～H22) と評価対象年(H22)観測値の比較

図 1.4.6 湖内河川塩分フラックスの毎正時観測値の月平均・月最大・月最小の現状変化幅
(H06～H22) と評価対象年(H22)観測値の比較

注) 塩分フラックスは流下方向を正として整理しています。

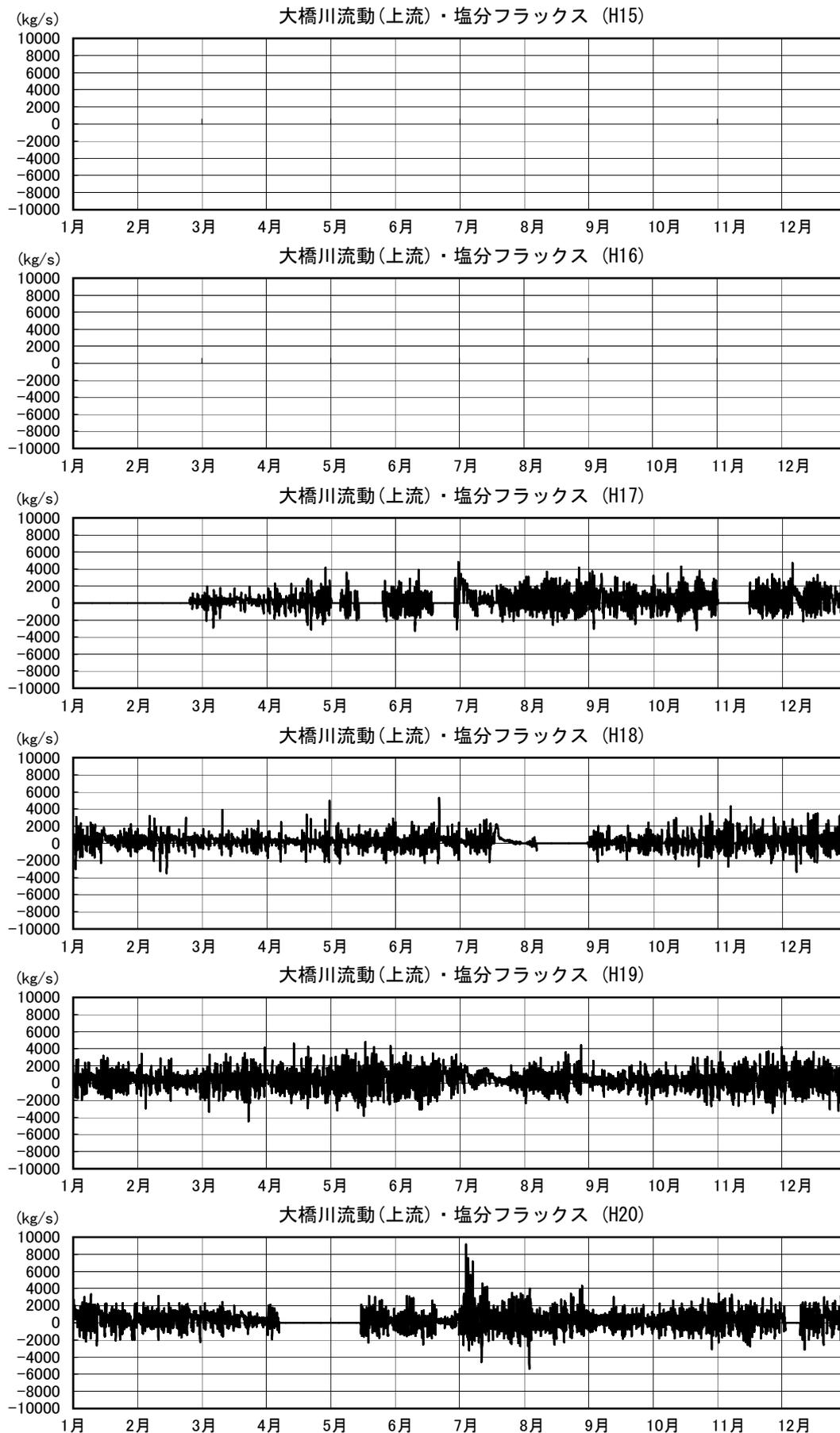


図1.4.4(1) 湖内河川塩分フラックスの時間変化図（平成6～22年：年別）

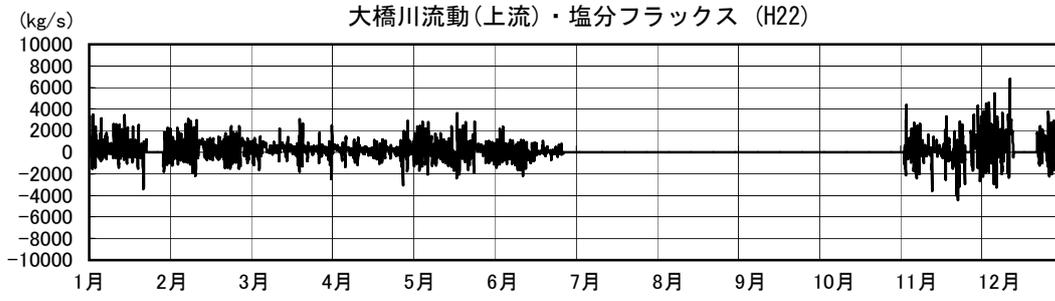
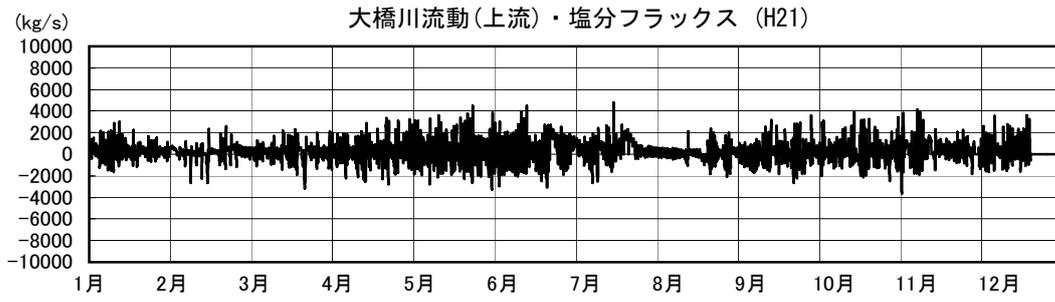


図1.4.4(2) 湖内河川塩分フラックスの時間変化図（平成6～22年：年別）

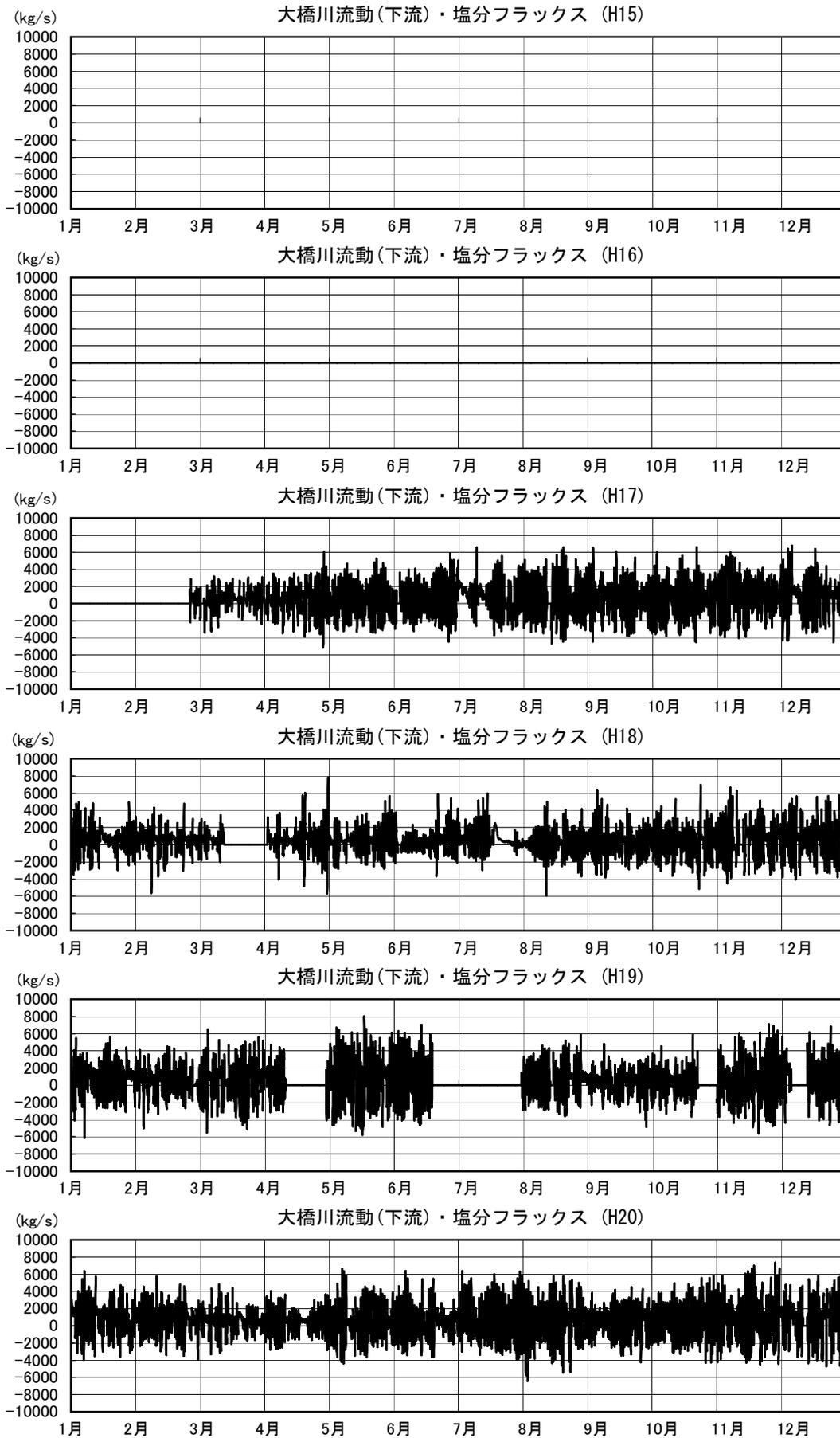


図1.4.4(3) 湖内河川塩分フラックスの時間変化図（平成6～22年：年別）

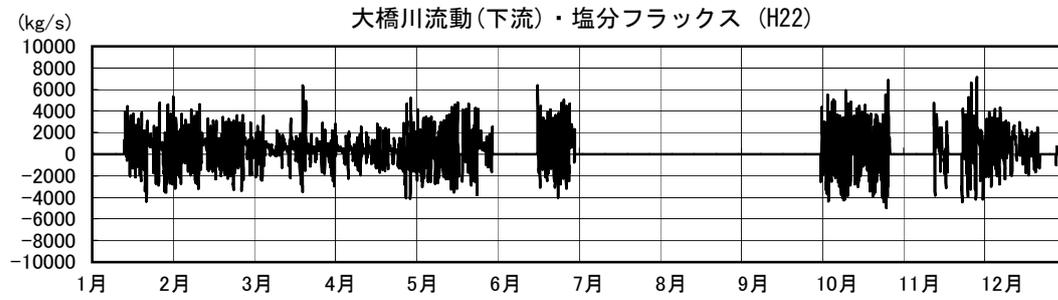
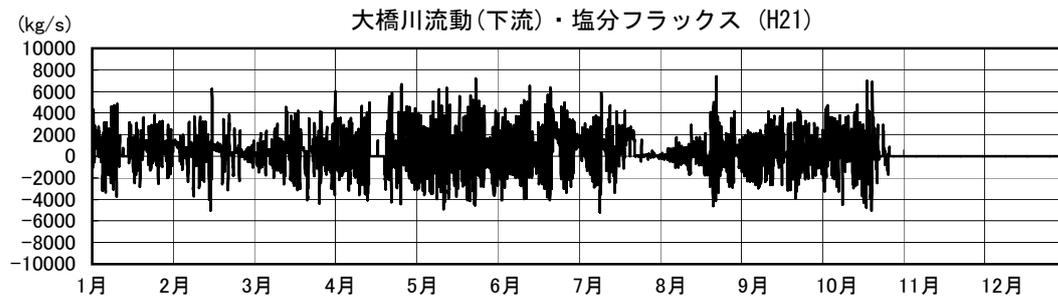


図1.4.4(4) 湖内河川塩分フラックスの時間変化図（平成6～22年：年別）

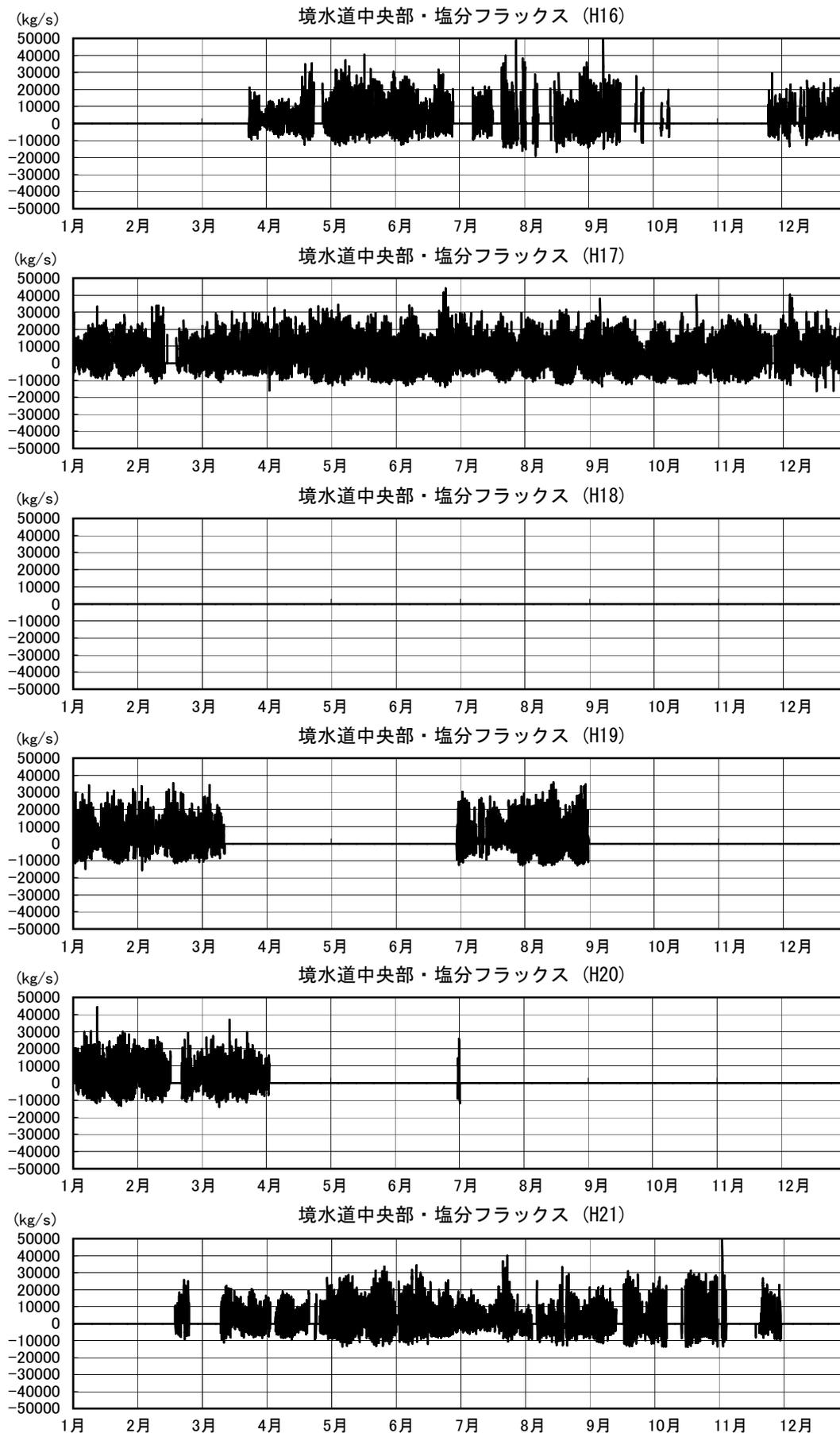


図1.4.4(5) 湖内河川塩分フラックスの時間変化図（平成6～22年：年別）

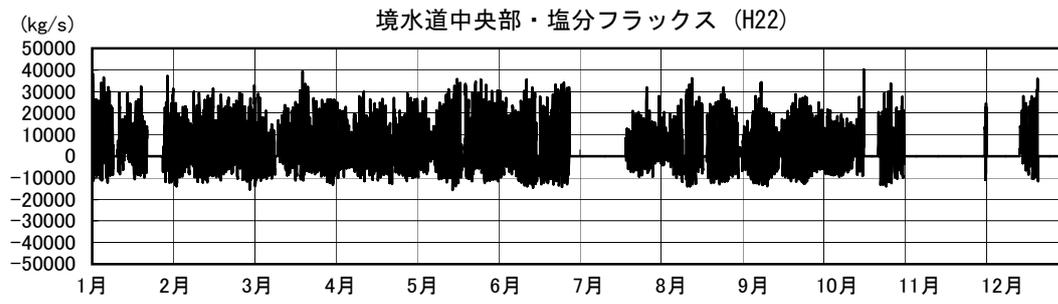


図1.4.4(6) 湖内河川塩分フラックスの時間変化図（平成6～22年：年別）

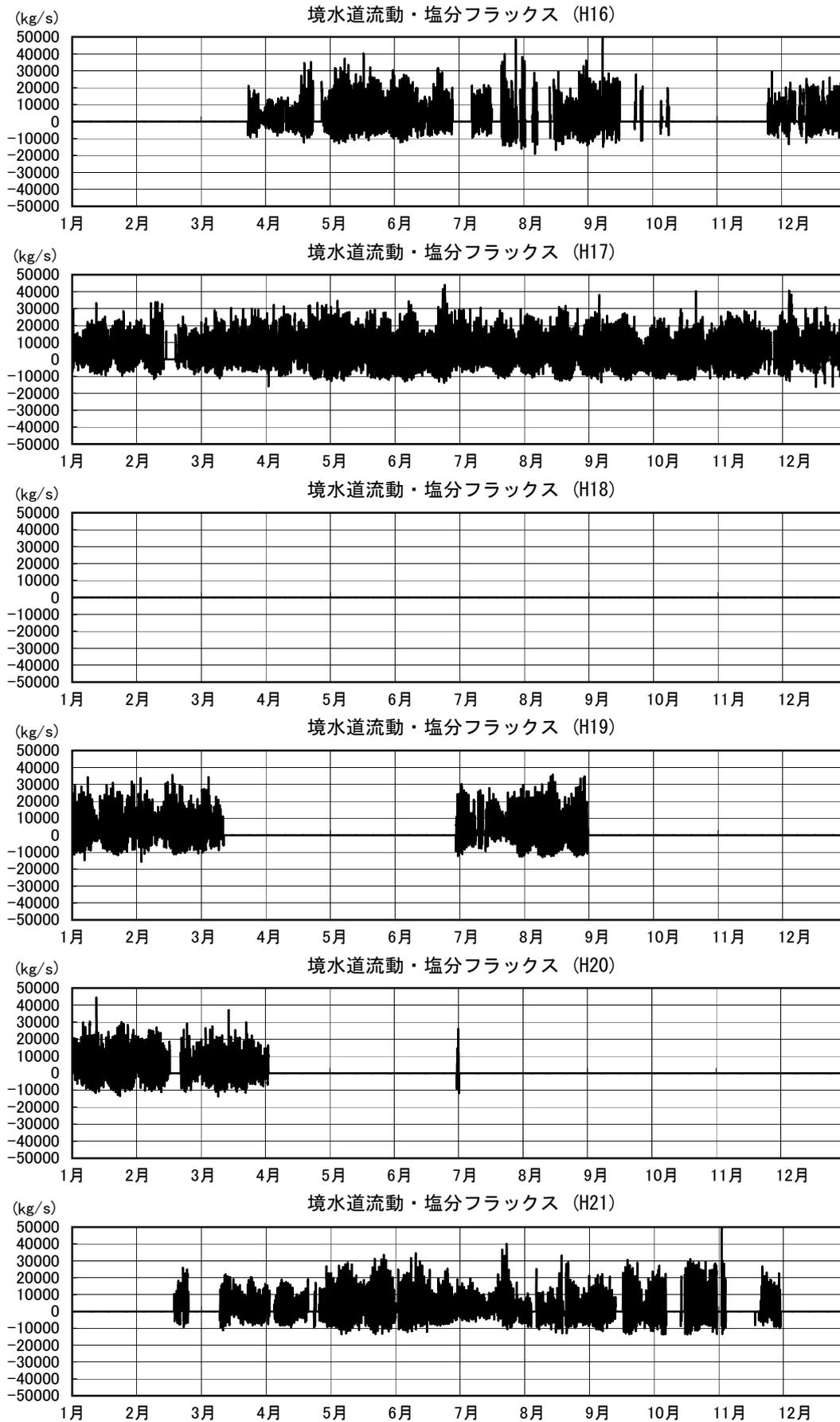


図1.4.4(5) 湖内河川塩分フラックスの時間変化図（平成6～22年：年別）

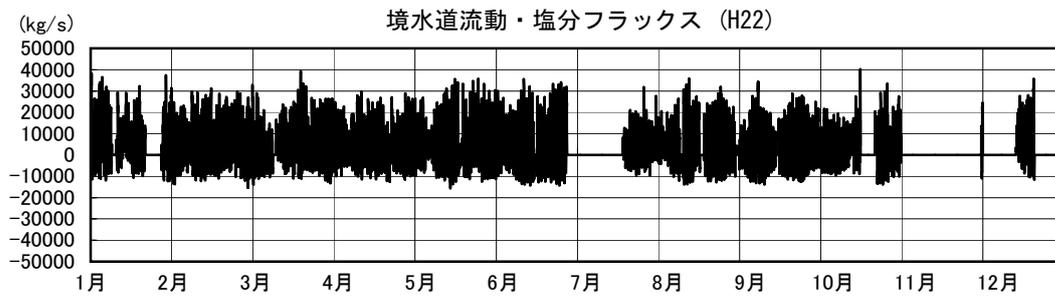


図1. 4. 4(6) 湖内河川塩分フラックスの時間変化図 (平成6~22年 : 年別)

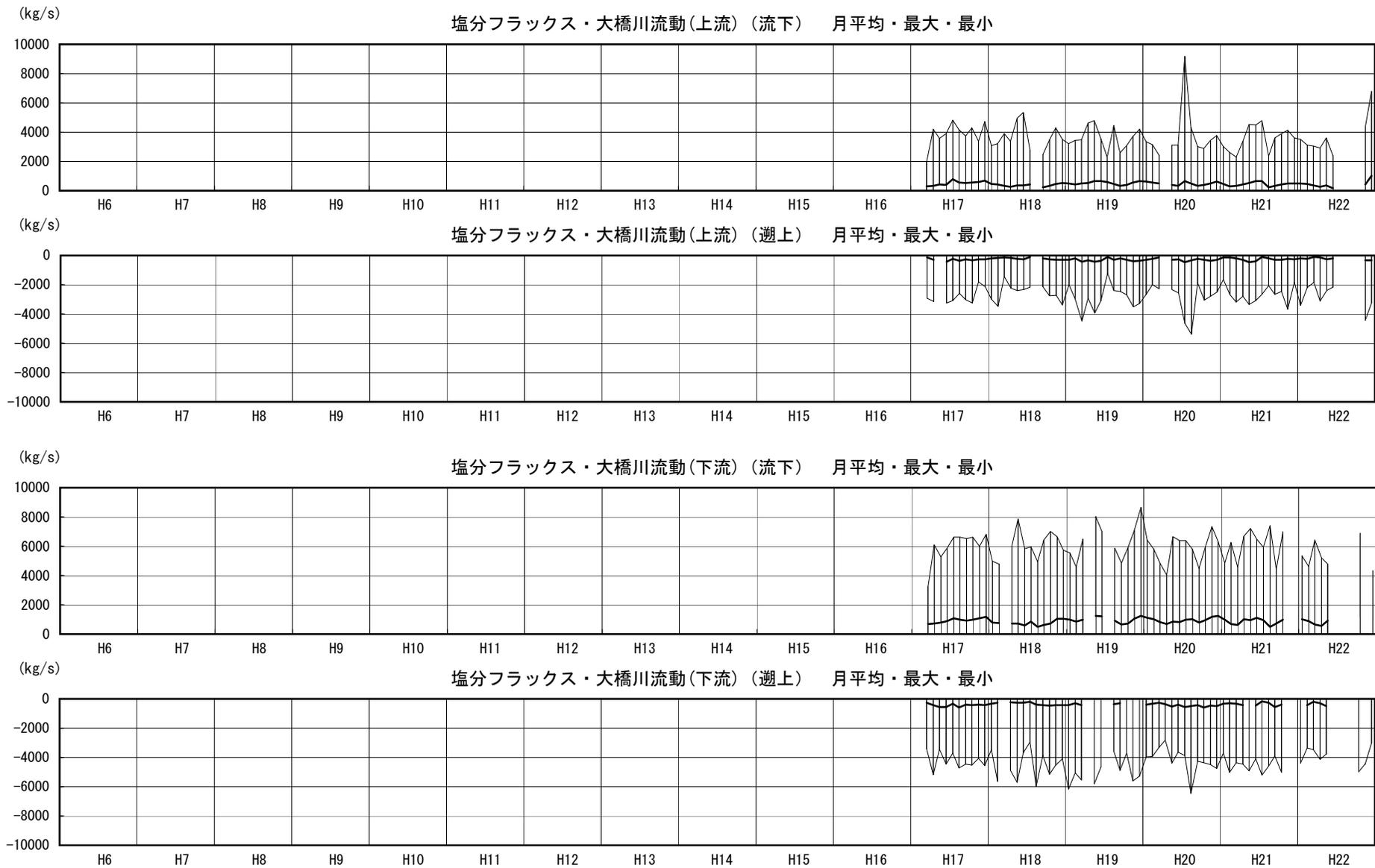


図1.4.5(1) 湖内河川塩分フラックスの毎正時観測値の月別平均・最大・最小の経年変化図

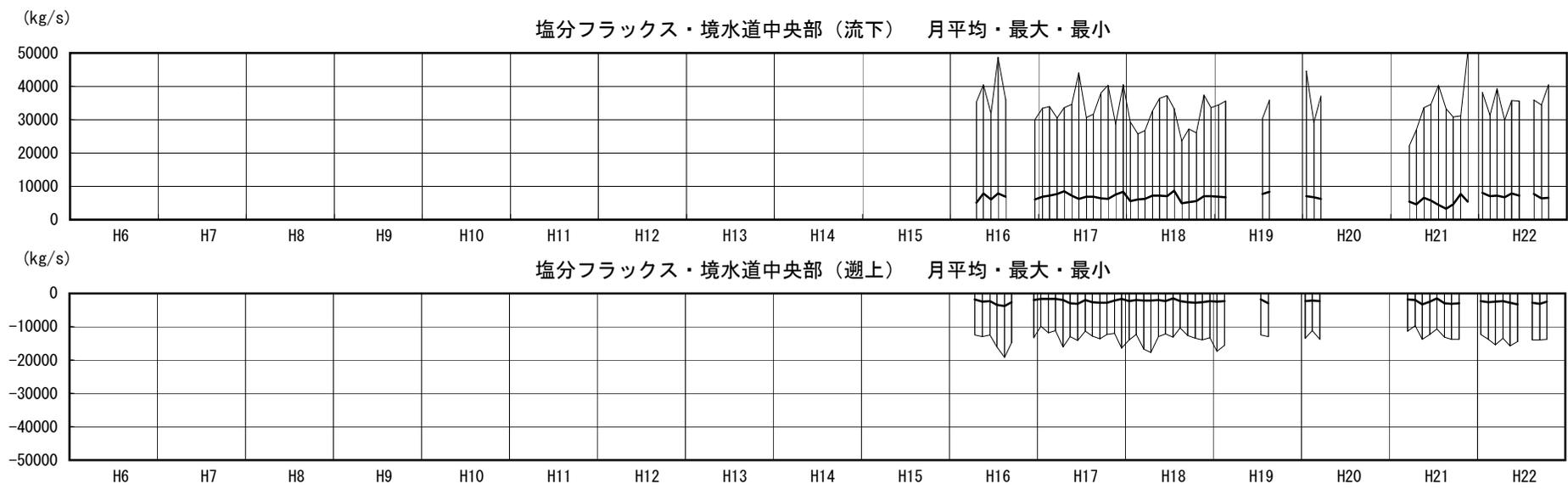
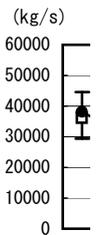
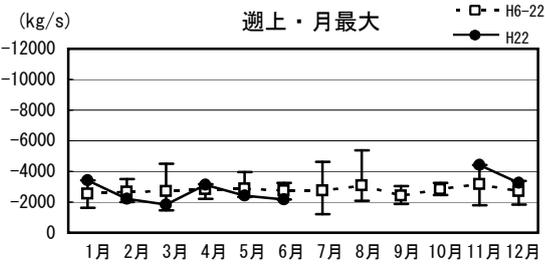
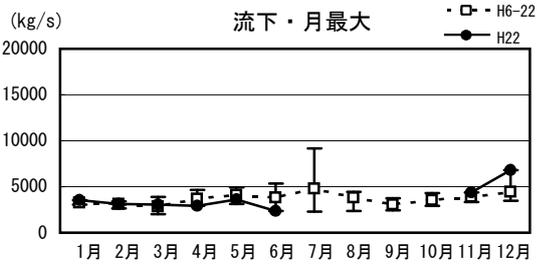
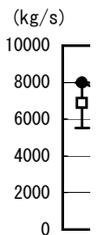
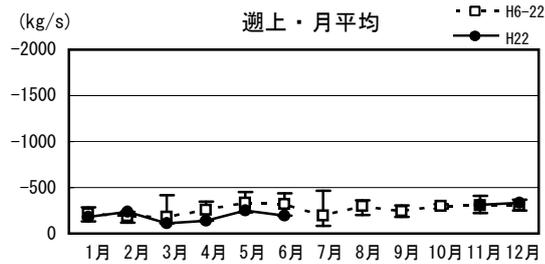
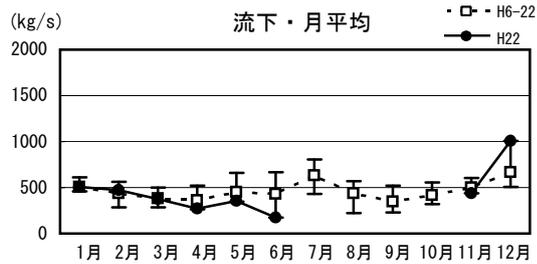


図1.4.5(2) 湖内河川塩分フラックスの毎正時観測値の月別平均・最大・最小の経年変化図

表 1.4.2(1) 湖内河川塩分フラックスの毎正時観測値の月平均・月最大・月最小の現状変化幅
(H06~H22) と評価対象年(H22) 観測値の比較

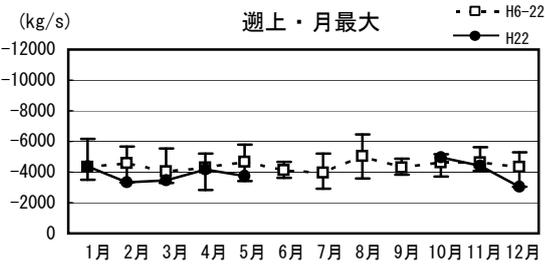
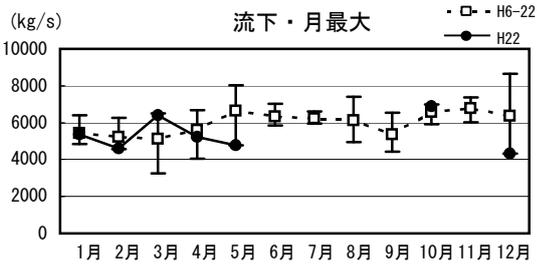
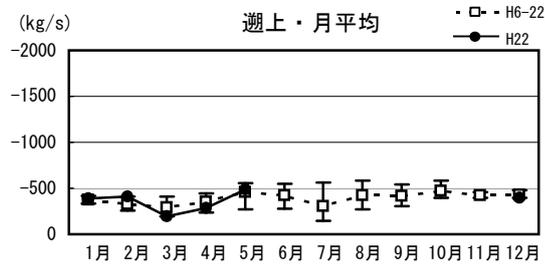
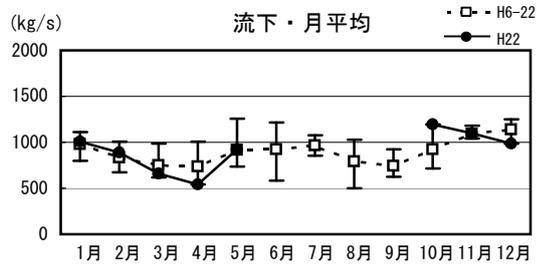
塩分フラックス(kg/s)	平均値				最大値				
	現状変化幅(H06~H22)			評価年 (H22)	現状変化幅(H06~H22)			評価年 (H22)	
	平均	最大	最小		平均	最大	最小		
大橋川流動 上流 (流下)	1月	502.58	612.02	455.19	482.55	3237.28	3518.04	3031.29	3518.04
	2月	438.52	561.82	286.07	472.81	3106.27	3433.66	2631.20	3105.60
	3月	380.72	498.65	283.69	361.58	2859.12	3915.52	1983.37	3048.99
	4月	359.29	521.84	266.40	268.10	3703.41	4624.07	2918.60	2918.60
	5月	436.76	659.05	348.00	349.33	4096.63	4951.79	3120.09	3619.34
	6月	428.99	664.19	168.01	168.01	3797.27	5346.47	2390.82	2390.82
	7月	581.07	657.55	407.53		4774.18	9166.92	2278.78	
	8月	421.22	513.73	210.42		3833.46	4448.16	2376.31	
	9月	342.07	517.88	229.57		3079.77	3723.50	2443.08	
	10月	402.44	513.72	296.84		3530.30	4292.62	2884.99	
	11月	483.72	577.99	406.78	406.78	3882.23	4352.88	3365.85	4352.88
	12月	651.20	942.40	496.45	942.40	4431.84	6791.01	3499.72	6791.01
	年間	404.21	518.39	287.63	287.63	5954.01	9166.92	4792.52	6791.01
大橋川流動 上流 (遡上)	1月	(216.30)	(135.33)	(282.58)	(181.99)	(2538.31)	(1641.22)	(3425.52)	(3425.52)
	2月	(188.32)	(116.98)	(236.00)	(236.00)	(2673.09)	(2003.57)	(3491.34)	(2205.62)
	3月	(182.22)	(113.98)	(412.33)	(113.98)	(2694.97)	(1457.72)	(4493.51)	(1848.81)
	4月	(251.39)	(137.68)	(341.71)	(137.68)	(2843.91)	(2217.89)	(3163.68)	(3104.17)
	5月	(340.39)	(227.35)	(448.82)	(255.01)	(2877.58)	(2330.50)	(3938.95)	(2404.51)
	6月	(312.00)	(181.39)	(412.29)	(181.39)	(2749.48)	(2177.29)	(3256.92)	(2177.29)
	7月	(180.06)	(83.12)	(451.55)		(2755.40)	(1210.46)	(4636.35)	
	8月	(282.80)	(172.30)	(342.26)		(3100.11)	(2062.79)	(5361.29)	
	9月	(238.30)	(182.00)	(296.54)		(2431.56)	(1878.70)	(3023.88)	
	10月	(282.37)	(259.52)	(304.39)		(2843.20)	(2464.58)	(3244.79)	
	11月	(291.45)	(206.90)	(405.58)	(260.71)	(3150.54)	(1798.30)	(4430.15)	(4430.15)
	12月	(299.96)	(250.08)	(366.55)	(317.03)	(2722.93)	(1839.72)	(3373.43)	(3252.04)
	年間	(228.76)	(140.32)	(307.73)	(140.32)	(4116.18)	(3256.92)	(5361.29)	(4430.15)
大橋川流動 下流 (流下)	1月	965.08	1100.63	792.39	1009.98	5428.91	6418.13	4837.16	5351.77
	2月	820.03	995.16	654.24	882.67	5207.76	6278.68	4584.30	4612.78
	3月	716.38	954.74	559.45	645.61	5115.97	6506.10	3235.49	6413.61
	4月	712.61	945.82	541.47	541.47	5613.30	6682.63	4032.20	5217.61
	5月	901.57	1249.74	705.62	892.42	6639.32	8036.65	4792.15	4792.15
	6月	896.73	1206.81	561.37		6320.07	7019.31	5833.80	
	7月	917.48	1017.87	751.62		6229.02	6617.41	5945.94	
	8月	755.88	1022.02	464.56		6138.91	7409.80	4960.35	
	9月	726.25	915.92	601.26		5346.79	6536.42	4439.94	
	10月	901.48	1128.04	711.58	1128.04	6559.35	7006.42	5921.50	6879.41
	11月	1051.17	1176.37	977.65	977.65	6779.55	7354.66	6011.37	
	12月	1108.68	1213.23	929.12	929.12	6372.62	8648.72	4328.87	4328.87
	年間	739.61	947.32	583.91	583.91	7495.68	8648.72	6812.23	6879.41
大橋川流動 下流 (遡上)	1月	(373.64)	(332.35)	(414.87)	(390.67)	(4339.18)	(3486.08)	(6151.93)	(4379.46)
	2月	(320.31)	(253.84)	(410.52)	(410.52)	(4601.88)	(3342.95)	(5653.94)	(3342.95)
	3月	(285.30)	(194.25)	(392.70)	(194.25)	(4021.65)	(3308.69)	(5551.30)	(3466.43)
	4月	(348.48)	(225.44)	(440.63)	(280.38)	(4301.31)	(2826.36)	(5190.29)	(4146.63)
	5月	(454.11)	(283.25)	(555.86)	(470.56)	(4669.81)	(3436.69)	(5797.03)	(3762.43)
	6月	(414.85)	(266.56)	(535.08)		(4105.74)	(3638.79)	(4651.25)	
	7月	(297.62)	(143.95)	(563.52)		(3938.23)	(2935.46)	(5218.45)	
	8月	(412.32)	(237.41)	(575.66)		(5061.40)	(3580.65)	(6453.67)	
	9月	(414.03)	(308.60)	(543.18)		(4272.32)	(3853.13)	(4878.18)	
	10月	(452.57)	(335.15)	(579.98)		(4621.16)	(3694.88)	(5149.13)	(4978.38)
	11月	(416.91)	(391.10)	(460.75)		(4621.67)	(4072.09)	(5611.85)	(4412.67)
	12月	(424.01)	(353.08)	(468.79)	(353.08)	(4336.06)	(3023.14)	(5277.75)	(3023.14)
	年間	(292.64)	(174.96)	(436.99)	(174.96)	(5659.27)	(4978.38)	(6453.67)	(4978.38)
境水道流動 (流下)	1月	6770.94	7700.38	5472.56	7700.38	35952.15	44524.74	29277.51	38216.07
	2月	6313.56	7070.52	5916.97	7070.52	31165.39	35538.30	25783.72	31315.42
	3月	6432.43	7589.65	5233.61	7005.56	31133.21	39377.95	22158.50	39377.95
	4月	6195.21	8510.05	3570.69	6744.64	31618.50	35281.07	26893.34	29800.94
	5月	7136.01	7714.08	6356.94	7714.08	36162.95	40436.82	33595.74	35678.76
	6月	6166.62	6926.53	5354.79	6840.53	36639.36	44054.36	31739.02	35633.05
	7月	6371.91	8553.67	4333.72		36640.52	48720.20	30387.83	
	8月	5873.83	8189.93	2930.41	7181.76	32747.93	36039.19	23682.69	35972.58
	9月	5655.89	6531.12	4152.27	6041.17	37723.55	58168.70	27256.43	34431.84
	10月	6052.15	7259.03	5216.05	5216.05	34502.27	40524.19	26038.27	40524.19
	11月	6221.06	7023.91	5119.24		38800.56	50350.70	28727.98	
	12月	6711.71	8287.03	4865.30		34716.45	40567.72	29959.46	
	年間	4207.89	6925.61	1600.55	5126.22	44413.08	58168.70	35945.87	40524.19
境水道流動 (遡上)	1月	(2128.18)	(1570.39)	(2394.13)	(2061.88)	(13380.02)	(9913.24)	(17360.90)	(12311.71)
	2月	(2053.40)	(1385.06)	(2583.22)	(2583.22)	(12932.24)	(11137.07)	(15613.62)	(13779.54)
	3月	(2014.82)	(1604.59)	(2421.26)	(2421.26)	(13668.10)	(11130.11)	(16663.58)	(15476.49)
	4月	(1958.68)	(1580.58)	(2366.65)	(2366.65)	(13818.46)	(9590.34)	(17649.09)	(13369.90)
	5月	(2572.10)	(1941.26)	(3163.56)	(2656.68)	(13640.29)	(12878.11)	(15688.12)	(15688.12)
	6月	(2510.83)	(1970.01)	(3180.16)	(3180.16)	(13059.24)	(12129.82)	(14406.03)	(14406.03)
	7月	(1766.31)	(1391.19)	(2429.21)		(12732.69)	(10592.00)	(16102.80)	
	8月	(2649.57)	(2184.53)	(2910.50)	(2591.76)	(13708.15)	(10370.29)	(19113.72)	(13908.95)
	9月	(2684.63)	(2087.62)	(3050.63)	(2963.45)	(13712.21)	(12566.11)	(14795.86)	(13861.15)
	10月	(2536.09)	(2074.94)	(2834.99)	(2074.94)	(13300.79)	(12241.16)	(13805.54)	(13768.65)
	11月	(2136.08)	(1806.80)	(2653.38)		(12893.24)	(11930.73)	(13855.76)	
	12月	(1850.30)	(1588.13)	(2275.48)		(14358.29)	(13319.75)	(16399.95)	
	年間	(1505.30)	(546.49)	(2200.20)	(1908.33)	(16254.29)	(13762.72)	(19113.72)	(15688.12)

塩分フラックス・大橋川流動(上流)



※流下方向を正として整理している。

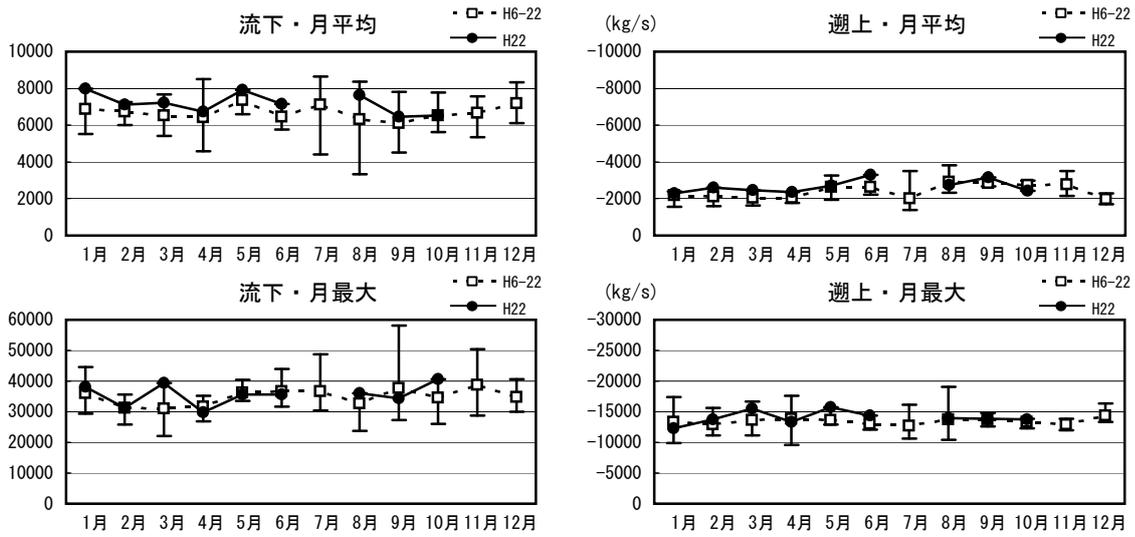
塩分フラックス・大橋川流動(下流)



※流下方向を正として整理している。

図1.4.6(1) 湖内河川塩分フラックスの毎正時観測値の月平均・月最大・月最小の現状変化幅 (H06~H22) と評価対象年(H22)観測値の比較

塩分フラックス・境水道中央部



※流下方向を正として整理している。

図1.4.6(2) 湖内河川塩分フラックスの毎正時観測値の月平均・月最大・月最小の現状変化幅 (H06~H22) と評価対象年 (H22) 観測値の比較

1.4.3 底質（含有量）

図 1.4.7 湖内底質（採泥分析）の経年変化図（平成 6～22 年：年別）

図 1.4.8 湖内底質（採泥分析）の現状変化幅（H06～H22）と評価対象年(H22)観測値の比較

表 1.4.3 湖内底質（採泥分析）の現状変化幅（H06～H22）と評価対象年(H22)観測値の比較

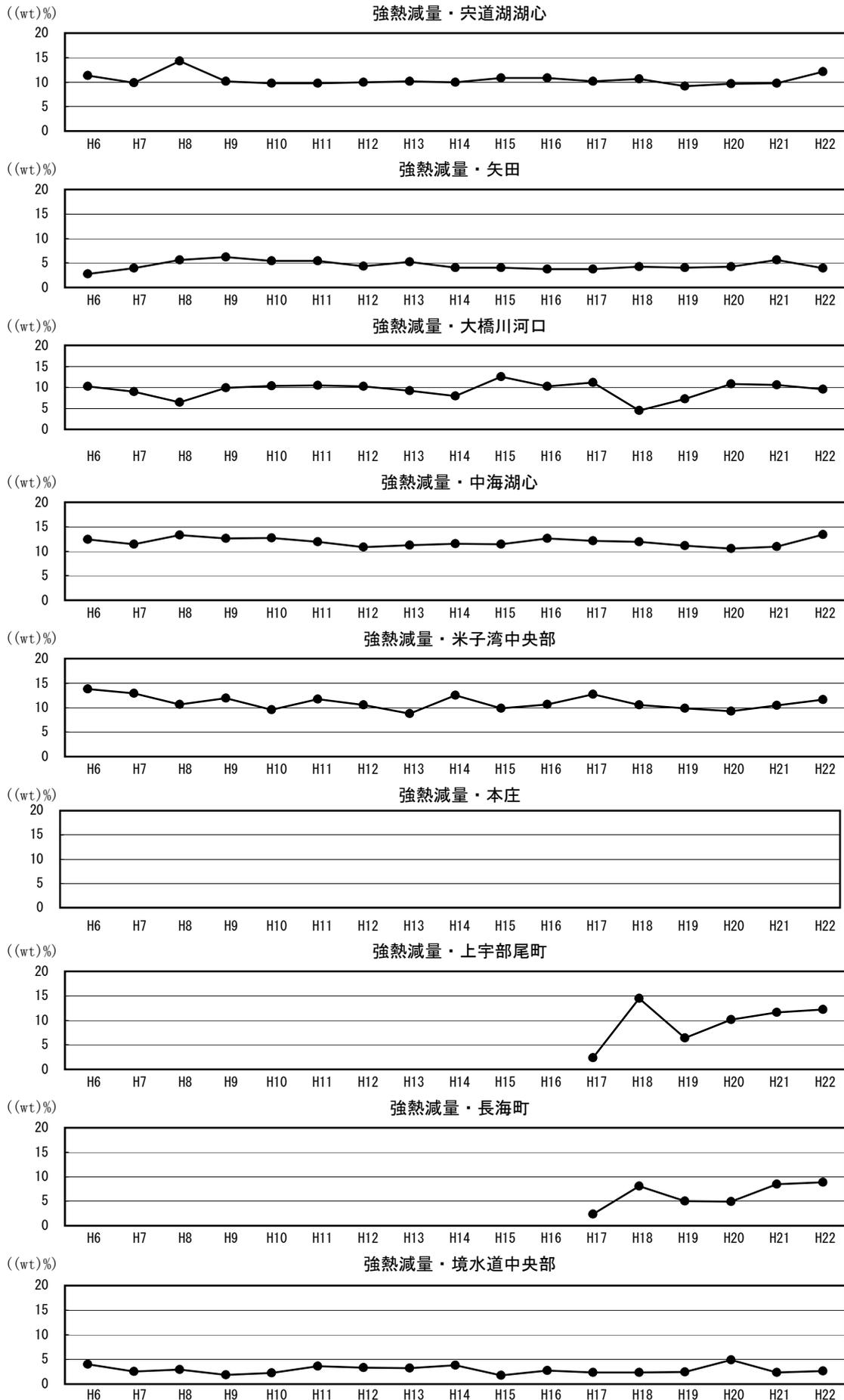


図1.4.7(1) 湖内底質（採泥分析）の経年変化図（平成6～22年：年別）

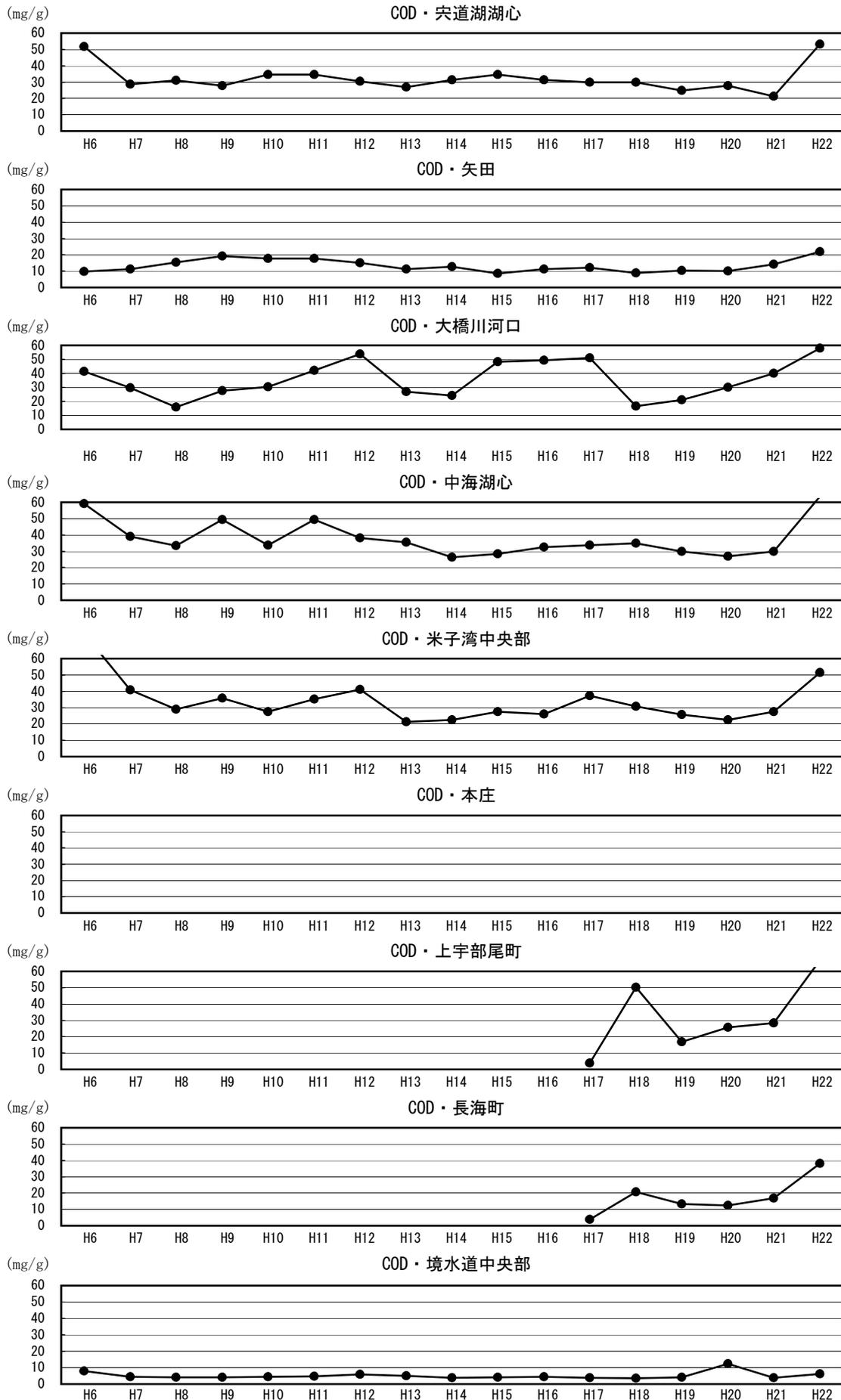


図1.4.7(2) 湖内底質(採泥分析)の経年変化図(平成6~22年:年別)

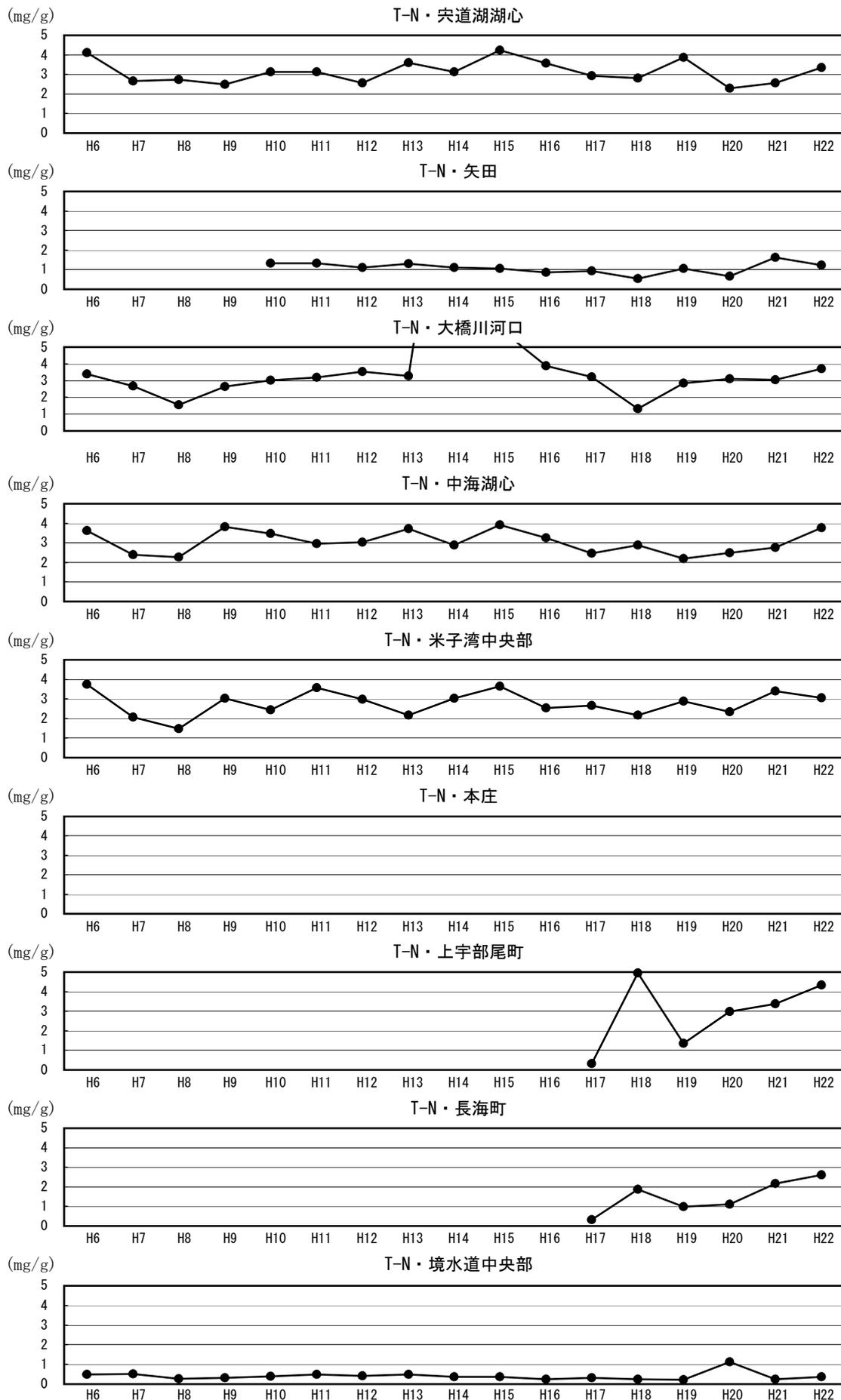


図1.4.7(3) 湖内底質（採泥分析）の経年変化図（平成6～22年：年別）

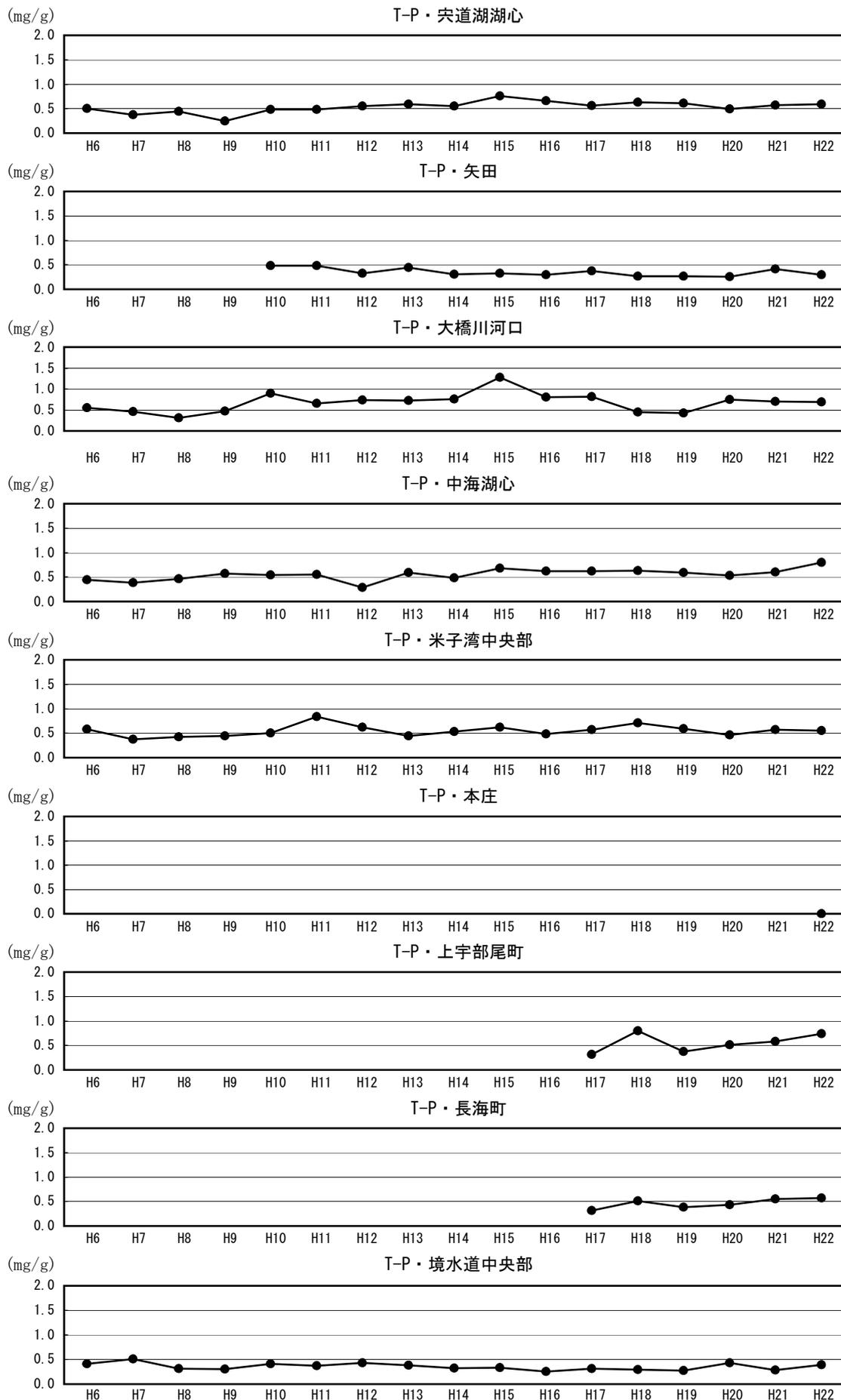


図1.4.7(4) 湖内底質（採泥分析）の経年変化図（平成6～22年：年別）

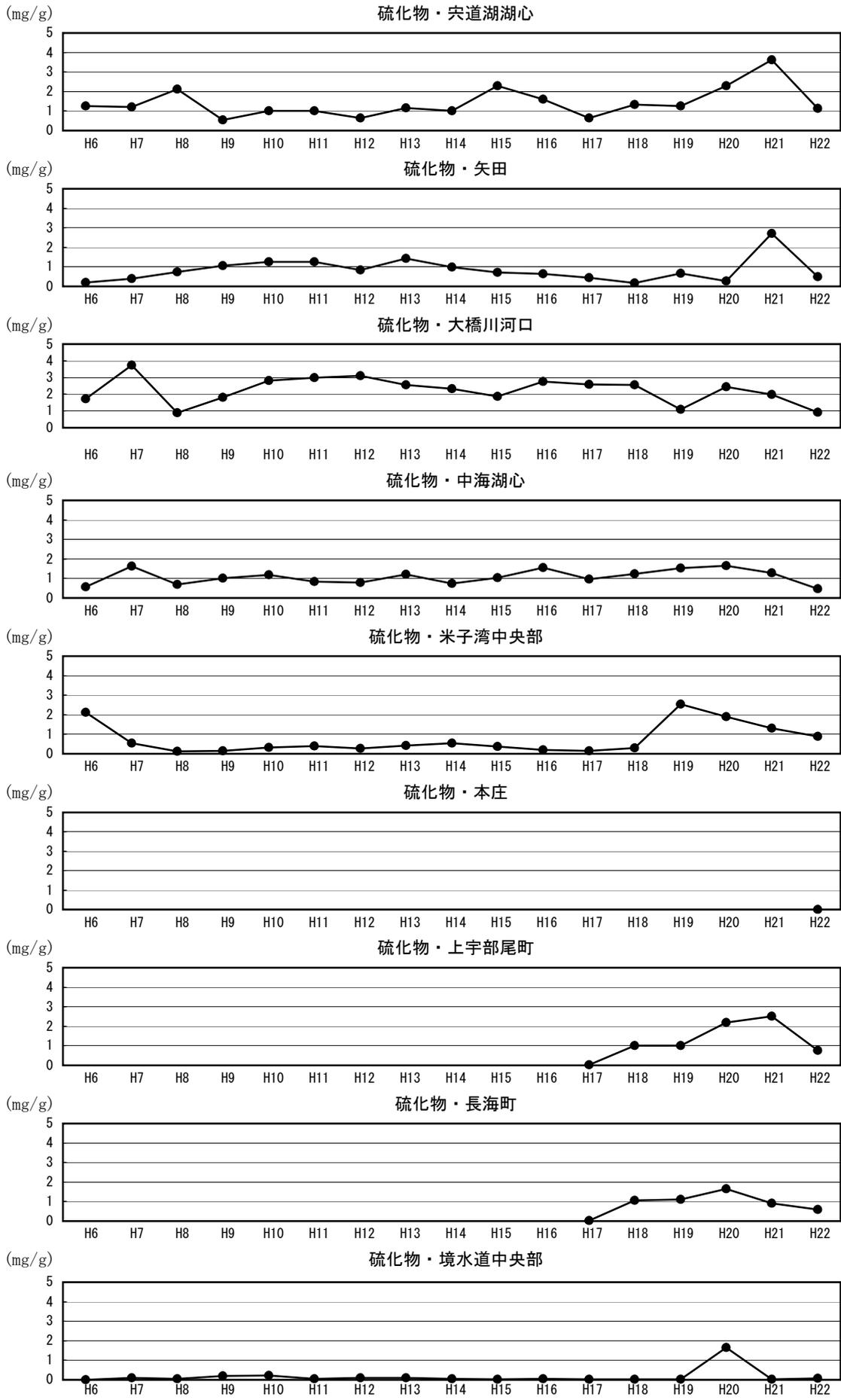


図1. 4. 7(5) 湖内底質（採泥分析）の経年変化図（平成6～22年：年別）

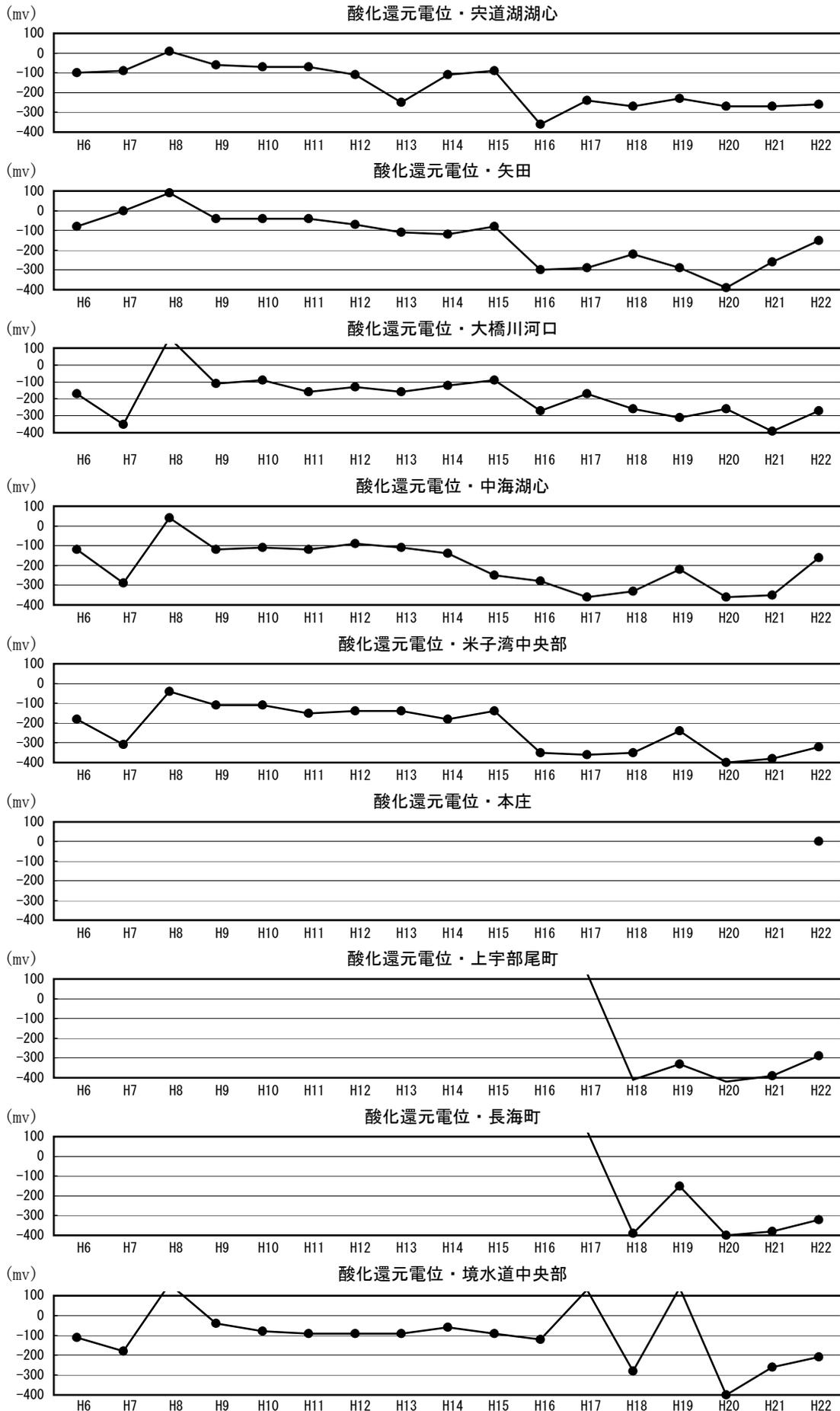


図1.4.7(6) 湖内底質(採泥分析)の経年変化図(平成6~22年:年別)

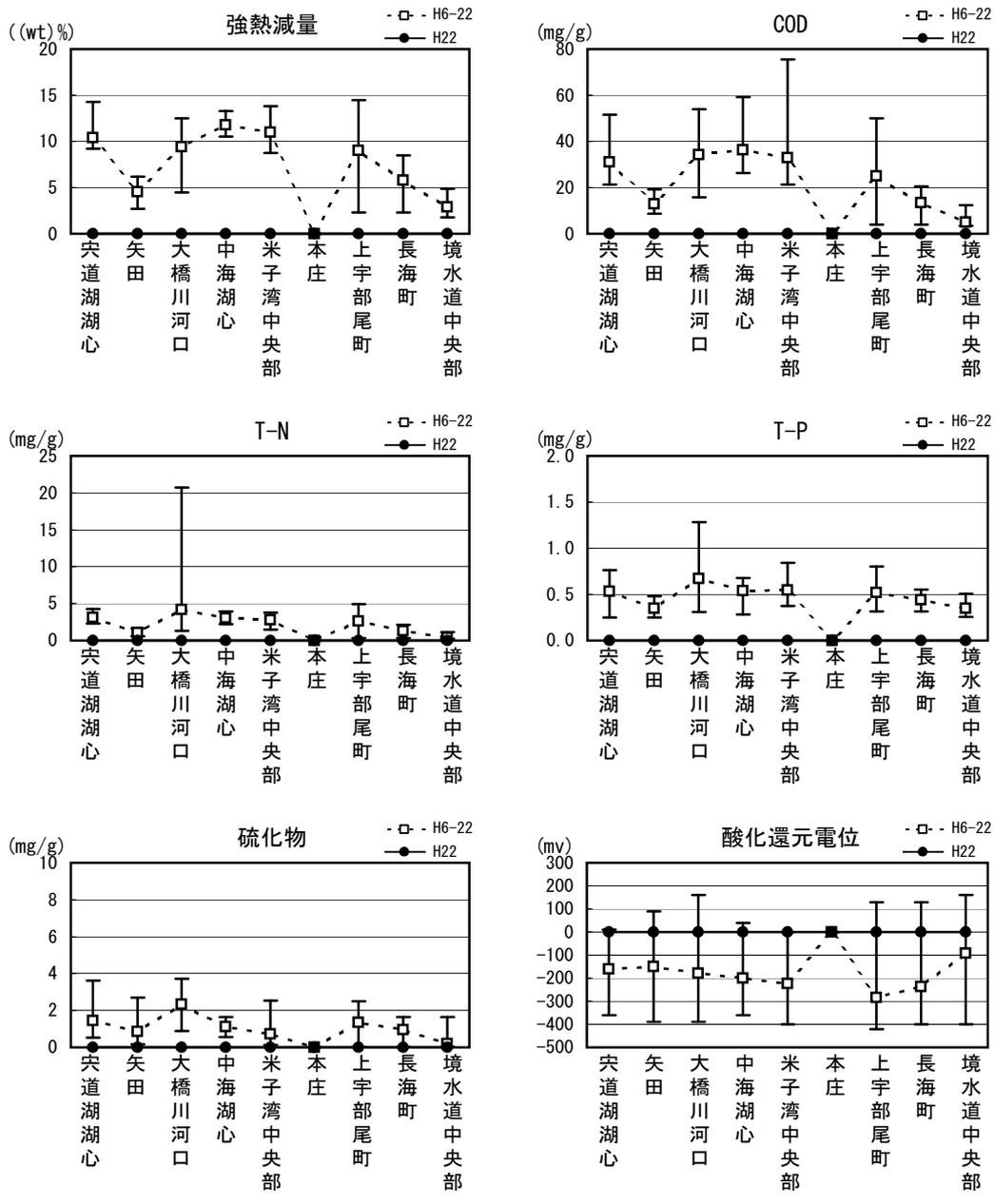


図1.4.8 湖内底質（採泥分析）の現状変化幅（H06～H22）と評価対象年（H22）観測値の比較

表 1.4.3 湖内底質（採泥分析）の現状変化幅（H06～H22）と評価対象年（H22）観測値の比較

底質		現状変化幅（H06～H22）			評価年 （H22）
		平均	最大	最小	
強熱源量	宍道湖湖心	10.38	14.30	9.19	
	矢田	4.54	6.18	2.73	
	大橋川河口	9.42	12.50	4.49	
	中海湖心	11.77	13.30	10.50	
	米子湾	10.97	13.80	8.78	
	本庄				
	上宇部尾町	8.99	14.50	2.32	
	長海町	5.77	8.48	2.32	
COD	境水道	2.91	4.88	1.75	
	宍道湖湖心	31.02	51.70	21.20	
	矢田	12.85	19.20	8.70	
	大橋川河口	34.26	53.90	15.90	
	中海湖心	36.25	59.20	26.20	
	米子湾	32.88	75.50	21.40	
	本庄				
	上宇部尾町	24.96	50.10	3.90	
TN	長海町	13.40	20.60	3.90	
	境水道	5.01	12.30	3.50	
	宍道湖湖心	3.11	4.24	2.30	
	矢田	1.08	1.62	0.55	
	大橋川河口	4.22	20.70	1.32	
	中海湖心	3.00	3.92	2.18	
	米子湾	2.76	3.75	1.47	
	本庄				
TP	上宇部尾町	2.60	4.95	0.31	
	長海町	1.29	2.17	0.31	
	境水道	0.41	1.12	0.22	
	宍道湖湖心	0.53	0.76	0.25	
	矢田	0.35	0.48	0.25	
	大橋川河口	0.67	1.28	0.31	
	中海湖心	0.54	0.68	0.29	
	米子湾	0.55	0.84	0.38	
硫化物	本庄				
	上宇部尾町	0.52	0.80	0.32	
	長海町	0.44	0.55	0.32	
	境水道	0.35	0.51	0.26	
	宍道湖湖心	1.43	3.61	0.53	
	矢田	0.86	2.71	0.17	
	大橋川河口	2.33	3.73	0.88	
	中海湖心	1.12	1.66	0.57	
酸化還元 電位	米子湾	0.72	2.53	0.12	
	本庄				
	上宇部尾町	1.35	2.51	0.02	
	長海町	0.95	1.66	0.02	
	境水道	0.18	1.66	0.02	
	宍道湖湖心	(161.25)	10.00	(360.00)	
	矢田	(149.33)	90.00	(390.00)	
	大橋川河口	(180.00)	160.00	(390.00)	
中海湖心	(200.63)	40.00	(360.00)		
米子湾	(223.75)	0.00	(400.00)		
本庄					
上宇部尾町	(284.00)	130.00	(420.00)		
長海町	(238.00)	130.00	(400.00)		
境水道	(91.25)	160.00	(400.00)		

1.4.4 植物プランクトン

- 表 1.4.4 プランクトン細胞数：宍道湖湖心 (S-3)
- 表 1.4.5 プランクトン細胞数：中海湖心 (N-6)
- 表 1.4.6 プランクトン細胞数：米子湾中央部
- 表 1.4.7 プランクトン細胞数：長海町 (NH-1)
- 表 1.4.8 プランクトン細胞数：上宇部尾町 (NH-2)
- 表 1.4.9 プランクトン炭素量：宍道湖湖心 (S-3)
- 表 1.4.10 プランクトン炭素量：中海湖心 (N-6)
- 表 1.4.11 プランクトン炭素量：米子湾中央部
- 表 1.4.12 プランクトン炭素量：長海町 (NH-1)
- 表 1.4.13 プランクトン炭素量：上宇部尾町 (NH-2)

表 1.4.8(3) プラントン細数: 上宇部尾町 (NH-2)

番号	門	綱	目	科	種名	調査地点 調査年 調査月																	
						上宇部尾町 (NH-2)																	
						平成22年																	
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月												
1	藍色植物門	藍藻綱	クロコウジ目	クロコウジ科	<i>Aphanocapsa</i> sp.								3.6										
2					<i>Coelosphaerium</i> sp.																		
3					<i>Merismopedia</i> sp.				10.1														
4					<i>Microcystis schizocylabe</i>																3.2	27.5	
5			ネンジュモ目	ネンジュモ科	<i>Anabaena</i> sp.																		
6				ユモ科	<i>Oscillatoria</i> sp.																		
7					<i>Phormidium</i> sp.																		
8	カワシシ植物門	カワシシ綱	-	-	CRYPTOPHYCEAE		2.4	1.1	379.8	2.4	62.4	18.0	15.8	2.2	22.5	9.5	101.0	16.0					
9	渦鞭毛藻植物門	渦鞭毛藻綱	プロトコケ目	プロトコケ科	<i>Proocentrum dentatum</i>																		
10					<i>Proocentrum minus</i>		22.8	0.8		0.1	3.6	17.8	54.0	16.6	1.4		0.2	7.1					
11					<i>Proocentrum triestrum</i>				0.1				0.1	0.6							3.5	0.2	
12			デリアノ目	デリアノ科	<i>Dinophysis acuminata</i>				0.1													0.1	0.1
13					<i>Oxyphysis oxytoxoides</i>				0.1													2.4	1.2
14			キムデイン目	キムデイン科	<i>Cochlodinium</i> sp.																23.3	18.3	
15					<i>Gymnodinium breve</i>																	0.3	
16					<i>Gymnodinium mikimotoi</i>																		
17					<i>Gymnodinium sanguineum</i>																		0.1
18					<i>Gymnodinium sp.(cf.sanguineum)</i>																		
19					<i>Gymnodinium</i> sp.																		12.2
20					<i>Gyrodinium</i> sp.																	0.3	
21				ホリウコ科	<i>Polykrinos</i> sp.								0.2	0.1								0.3	
22					<i>Gymnodiales</i>								0.1	0.1								0.4	0.1
23				キムデイン目	<i>Gymnodiales</i>		0.9	0.1	18.9		3.2	6.5	33.1	2.9	2.0	3.5	26.5	3.0					
24			ノボリ目	ノボリ科	<i>Noctiluca scintillans</i>				0.0														
25			ヘリデイン目	ヘリデイン科	<i>Carenum furca</i>																		
26				ユネコ科	<i>Anylax caecantha</i>																		1.1
27					<i>Gonyaulax verior</i>																		
28					<i>Gonyaulax</i> sp.																		0.1
29			ヘリデイン目	ヘリデイン科	<i>Protoperidinium bipes</i>				0.1		0.1		0.1										0.5
30					<i>Protoperidinium pellucidum</i>																		0.8
31					<i>Protoperidinium</i> sp.		0.7	0.3			0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.6				
32				カキテ目	<i>Scopimella spinifera</i>																		0.8
33					<i>Scopimella</i> sp.					0.1													
34					<i>Pardiniella</i>					1.6	0.6	0.6	1.4			1.0	1.0	2.1	1.5				
35	不等毛植物門	黄金色藻綱	ヘテロ目	ヘテロ科	<i>Aediniella spinifera</i>		0.3	0.2															
36					<i>Kephyrion</i> sp.																		
37					<i>Eria tripartita</i>				0.1	11.7													0.6
38			環藻綱	中心目	<i>Cyclotella</i> sp.				0.9	1.6													
39					<i>Skeletonema costatum</i>								0.1	20.5	0.1	0.1	7.9	0.9	81.4				
40					<i>Thalassiosira</i> sp.									0.1	0.1	1.5	1.5						
41					<i>Thalassiosira</i> sp.					0.9	16.6	9.0	24.0	0.4		3.6	0.7	7.5	1.0				0.5
42					<i>Leptocylindrus elanus</i>											0.2							0.2
43					<i>Leptocylindrus minus</i>												0.2						
44					<i>Dactylosolen</i> sp.																		
45					<i>Rhizosolenia fragilissima</i>											0.1							0.2
46					<i>Coccolodiscus grani</i>																		
47					<i>Coccolodiscus</i> sp.																		
48					<i>Bacteriastrium</i> sp.																		0.5
49					<i>Chaetoceros debile</i>																		
50					<i>Chaetoceros didymum</i>																		0.4
51					<i>Chaetoceros lorenzianum</i>																		
52					<i>Chaetoceros sociale</i>																		
53					<i>Chaetoceros</i> sp.									0.2									
54					<i>Ceratoluxia palatica</i>																		1.0
55					<i>Eucampia zodiacus</i>					0.1													
56					<i>Hemiaulus sinensis</i>																		0.9
57					<i>Ditylum brightwellii</i>																		6.8
58					<i>Asterionella galapagoensis</i>																		296.7
59					<i>Neodelphinella pelagica</i>																		8.5
60					<i>Thalassionema nitzschioides</i>										0.2	3.7	6.1						0.1
61					<i>Navicula</i> sp.																		0.2
62					<i>Cylindrocapsa closterium</i>																		1.0
63					<i>Nitzschia pungens</i>																		0.1
64					<i>Nitzschia</i> sp.					0.1													4.0
65					<i>Pinnacles</i>																		
66	カワシシ植物門	カワシシ綱	-	-	HAUTOPHYCEAE																		
67	カワシシ植物門	カワシシ綱	-	-	EUGLENOPHYCEAE		1.5				0.6	0.2				1.0	2.0	2.3					
68	カワシシ植物門	カワシシ綱	-	-	PRASINOPHYCEAE		2.7			0.8	2.4	3.6	2.2	4.3		1.5	17.0						
69	緑色植物門	緑藻綱	オオトモ目	オオトモ科	<i>Chlamydomonas</i> sp.																		
70					<i>Asterionella galapagoensis</i>																		
71					<i>Monoraphidium</i> sp.																		0.3
72					<i>Oocystis</i> sp.																		0.2
73					<i>Selenastrum minutum</i>																		0.8
74					<i>Dictyosphaerium puberulum</i> v. <i>minutum</i>																		
75					<i>Dictyosphaerium</i> sp.		45.6	2.4	363.6	288.0			0.6										
76					<i>Leocystis</i> sp.																		
77					<i>Scenedesmus</i> sp.																		
78					<i>Microcaecilia</i>																		
79							6.3	1.4	33.3	4.8	20.4	49.2	13.7	1.44	8.5	3.5	40.0	37.0					
80	</																						

1.4.5 マクロベントス

- 表 1.4.14 マクロベントス (個体数) : 宍道湖湖心 (S-3)
- 表 1.4.15 マクロベントス (個体数) : 中海湖心 (N-6)
- 表 1.4.16 マクロベントス (個体数) : 米子湾中央部
- 表 1.4.17 マクロベントス (個体数) : 長海町 (NH-1)
- 表 1.4.18 マクロベントス (個体数) : 上宇部尾町 (NH-2)
- 表 1.4.19 マクロベントス (湿重量) : 宍道湖湖心 (S-3)
- 表 1.4.20 マクロベントス (湿重量) : 中海湖心 (N-6)
- 表 1.4.21 マクロベントス (湿重量) : 米子湾中央部
- 表 1.4.22 マクロベントス (湿重量) : 米子湾中央部
- 表 1.4.23 マクロベントス (湿重量) : 上宇部尾町 (NH-2)

1.4.6 魚介類

- 表 1.4.24 魚介類個体数：宍道湖西岸沖
- 表 1.4.25 魚介類個体数：宍道湖東岸沖
- 表 1.4.26 魚介類個体数：大海崎町沖
- 表 1.4.27 魚介類個体数：長海町 (NH-1)
- 表 1.4.28 魚介類個体数：森山橋付近
- 表 1.4.29 魚介類個体数：遅江港沖
- 表 1.4.30 魚介類個体数：境水道中央部
- 表 1.4.31 魚介類湿重量：宍道湖西岸沖
- 表 1.4.32 魚介類湿重量：宍道湖東岸沖
- 表 1.4.33 魚介類湿重量：大海崎町沖
- 表 1.4.34 魚介類湿重量：長海町 (NH-1)
- 表 1.4.35 魚介類湿重量：森山橋付近
- 表 1.4.36 魚介類湿重量：遅江港沖
- 表 1.4.37 魚介類湿重量：境水道中央部

番号	綱	目	科	種名	調査地点 調査年 調査月	穴道湖西岸沖												穴道湖西岸沖											
						平成21年												平成22年											
						1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
124		カレイ目	ヒラメ	<i>Paralichthys olivaceus</i>	ヒラメ																								
125			カレイ	<i>Kareius bicoloratus</i>	イシガレイ																								
126				<i>Pleuronectes yokohamae</i>	マコガレイ																								
127			ササウシノシタ	<i>Pseudaesopis japonica</i>	セトウシノシタ																								
128			ウシノシタ	<i>Cynoglossus joyneri</i>	アカシタヒラメ																								
129		フグ目	カワハギ	<i>Ruderus erodes</i>	アミメハギ																								
130				<i>Thamiascus modestus</i>	ウマヅラハギ																								
131				<i>Stephanolepis cirrifer</i>	カワハギ																								
132			ハコフグ	<i>Ostracion immaculatus</i>	ハコフグ																								
133			フグ	<i>Takifugu pardalis</i>	ヒガンフグ																								
134				<i>Takifugu poecilonotus</i>	コモンフグ																								
135				<i>Takifugu stictionotus</i>	ゴマフグ																								
136				<i>Takifugu niphobles</i>	クサフグ						1													1					
137				<i>Takifugu rubripes</i>	トラフグ																								
138				<i>Lagocephalus wheeleri</i>	シロサハフグ																								
139			ハリセンボン	<i>Diodon holbrooki</i>	ハリセンボン																								
140	甲殻類	アミ目	アミ	<i>Neomysis japonica</i>	ニホンイサザアミ																								
141		エビ目	クルマエビ	<i>Panaeus japonicus</i>	クルマエビ																								
142				<i>Panaeus semisulcatus</i>	クマエビ																								
143				<i>Metapanaeus ensis</i>	ヨシエビ																								
144			サクラエビ	<i>Acetes japonicus</i>	アキアミ					39													26						
145			ヌマエビ	<i>Paratya compressa</i>	ミナミヌマエビ					1								1						1					
146			テナガエビ	<i>Palaeomon saucidens</i>	スジエビ	5		33	4	1	1	1					7		8	6	1	9		3					
147				<i>Palaeomon macrodactylus</i>	ユビナガスジエビ	36		136	25	51	7		262				5		8	36	281	2	10	2					
148				<i>Palaeomon serrifer</i>	スジエビモドキ																			1					
149				<i>Palaeomon artemani</i>	アシナガスジエビ																								
150				<i>Palaeomon orientis</i>	シラタエビ	9		8	6	4	8	39	146											8					
151				<i>Macrobrachium nipponense</i>	テナガエビ								37	39								1	24	2					
152			テッポウエビ	<i>Abheus brevicristatus</i>	テッポウエビ																		22	111.5					
153			エビジャコ	<i>Orangon affinis</i>	エビジャコ																								
154			アメリカザリガニ	<i>Procambarus clarkii</i>	アメリカザリガニ																								
155			ヒシガニ	<i>Platyambus valletus</i>	ヒシガニ																								
156			コブシガニ	<i>Philyra pisum</i>	マメコブシガニ			1																					
157			ガザミ	<i>Portunus trituberculatus</i>	ガザミ																								
158				<i>Poturus pelagicus</i>	タイワンガザミ																								
159				<i>Charybdis (Charybdis) japonica</i>	イシガニ																								
160			イワガニ	<i>Eriocheir japonica</i>	モクズガニ	11		12	3	1				2	1	1								11					
161				<i>Hemigrapsus penicillatus</i>	タカノケフサイソガニ																								
162			ヤドカリ	<i>Dardanus asperus</i>	アカボシヤドカリ																								
163			ホンヤドカリ	<i>Pagurus dubius</i>	ユビナガホンヤドカリ																								
164	軟体動物	新腹足目	ムシロガイ	<i>Reticunassa festiva</i>	アラムシロ																								
165			アツキガイ	<i>Rapana venosa</i>	アカニシ																								
166		盤足目	タマガイ	<i>Glossaulax didyma</i>	ツメタガイ																								
167		基眼目	モノアラガイ	<i>Limnaea auricularia</i>	モノアラガイ																								
168		コウイカ目	コウイカ	<i>Sepia (Acanthosepion) lycides Gray</i>	カミナリイカ																								
169				<i>Sepia (Platysepia) esculenta</i>	コウイカ																								
170				<i>Sepia (Doroteopion) habiensis</i>	ヒメコウイカ																								
171			ダンゴイカ	<i>Euprymna morsei</i>	ミミイカ																								
172				<i>Euprymna berryi</i>	ニヨリミミイカ																								
173			アカイカ	<i>Todarodes pacificus</i>	スルメイカ																								
174			ヤリイカ	<i>Sepioteuthis lessoniana</i>	アオリイカ																								
175				<i>Lololus (Nipponololus) japonica</i>	ジンドウイカ																								
176		八腕形目	マダコ	<i>Octopus vulgaris</i>	マダコ																								
177				<i>Octopus ocellatus</i>	イイダコ																								
総種類数						18		24	31	32	25	17	29	17	11		14		16		16	26	22	17	18	17	21		28
個体数						261		923	11,909	13,573	5,090	392	1,705	1,257	222		1,217		163		422	8,754	13,414	5,799	3,450	724	1,587		7,601

番号	綱	目	科	種名	調査地点 調査年 調査月	宍道湖西岸沖												宍道湖西岸沖																
						平成17年												平成18年																
						1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月					
65	スズキ目	スズキ	スズキ	<i>Lateolabrax japonicus</i>	スズキ				3,881.9	6,641.0	21,672.1	21,232.4	29,720.0	8,775.7	10,400.0	6,939.8	251.8				5,832.2	2,911.4	19,291.8	42,770.2	11,492.5	10,578.8	4,656.4	9,080.3	4,085.8					
66				<i>Lateolabrax latus</i>	ヒラスズキ											383.3																		
67				ハタ	<i>Epinephelus akaara</i>	キジハタ																												
68		サンフィッシュ		<i>Lepomis macrochirus</i>	ブルーギル																						0.8							
69				<i>Micropterus salmoides</i>	ブラックバス																								62.3					
70		テンジクダイ		<i>Auogon semilineatus</i>	ネンブツダイ																													
71				<i>Auogon lineatus</i>	テンジクダイ																													
72		アジ		<i>Seriola quinqueradiata</i>	ブリ																													
73				<i>Seriola dumerli</i>	カンパチ																													
74				<i>Trachurus japonicus</i>	マアジ																													
75				<i>Decapterus maruodai</i>	マルアジ																													
76		ヒイラギ		<i>Leiognathus nuchalis</i>	ヒイラギ					20.1		0.6	34.7		5.1					1.6						9.6	17.8							
77		クロサギ		<i>Gerrus eximius</i>	クロサギ											3.0																		
78		イサキ		<i>Plectorhynchus cinctus</i>	コショウダイ																													
79		タイ		<i>Fagus major</i>	マダイ																													
80				<i>Spargus sarba</i>	ヘダイ																													
81				<i>Acanthopagrus schlegelii</i>	クロダイ																													
82		キス		<i>Silago japonica</i>	シロギス																													
83		ウミタナゴ		<i>Ditrema viride</i>	アオタナゴ																													
84				<i>Ditrema temminckii</i>	ウミタナゴ																													
85		シマイサキ		<i>Rhynchoplates oxyrhynchus</i>	シマイサキ																													
86		インダイ		<i>Olegrathus fasciatus</i>	インダイ																													
87		メジナ		<i>Girella punctata</i>	メジナ																													
88		イボダイ		<i>Hyporhamphys japonica</i>	メダイ																													
89				<i>Pisognathus anomala</i>	イボダイ																													
90		スズキ目			<i>Zaorchias neglectus</i>	コモンイトギンボ																												
91					タウエガジ	<i>Eugrammus hexagrammus</i>	ムスジガジ																											
92					ニシキギンボ	<i>Pholis nebrose</i>	ギンボ																											
93					ハタハタ	<i>Arctostichus japonicus</i>	ハタハタ																											
94					イカナゴ	<i>Ammodytes personatus</i>	イカナゴ																											
95	イソギンボ					<i>Ombbranchius fascioloceps</i>	トサカギンボ																											
96						<i>Ombbranchius punctatus</i>	イダテンギンボ																											
97						<i>Ombbranchius sp.</i>	ナベカ属の1種																											
98	ネズミゴチ				<i>Ripomuscus curvicaornis</i>	ネズミゴチ																												
99	ハゼ					<i>Leucoposaron petraei</i>	シロウオ					0.5																						
100						<i>Luciogobius guttatus</i>	ミミズハゼ																											
101						<i>Chaenogobius annularis</i>	アゴハゼ																											
102						<i>Chasmichthys gulosus</i>	ドロメ																											
103						<i>Gymnogobius petachilensis</i>	スミウキゴリ								4,665.8																			
104						<i>Gymnogobius urotaenia</i>	ウキゴリ						5.4	20.4	0.5																			
105						<i>Gymnogobius sp.</i>	ウキゴリ属の1種(ウキゴリ類幼魚)																	1,656.2										
106						<i>Gymnogobius festuacanthus</i>	ニクハゼ																											
107						<i>Gymnogobius breunigii</i>	ビリンゴ																											
108						<i>Gymnogobius taranetzii</i>	シンジコハゼ		13.0	3.7		22.2	10.1	2,479.4	34.2	129.8	5.9	8.9					6.4	13.9	15.6	119.9	21.3	247.0	784.2	41.9		0.5		
109						<i>Glossogobius olivaceus</i>	ウロハゼ									0.3	71.3	31.8	0.8											3.0	10.8			
110						<i>Acanthogobius flavimanus</i>	マハゼ		909.0	42.9				2,526.2	1,520.6	2,349.7	1,430.3	2,448.5	855.7	8,138.2			298.7	50.9				4,724.6	442.8	829.3	102.9	477.9	52.1	128.8
111						<i>Acanthogobius lactipes</i>	アシシロハゼ		555.8	19.0		9.6	16,448.0	4,956.7	145.2	96.2	9.6	1.6	1.9	2.1				41.0			3.1	289.3	1,426.7	27.1	12.0	1.2	4.5	2.3
112						<i>Favonogobius gymnauchen</i>	ヒメハゼ																											
113						<i>Mupilogobius abei</i>	アベハゼ																											
114						<i>Acanthogobius pflaumi</i>	スジハゼ		0.6					1.0		1.4	0.7																	
115	<i>Rhinogobius giurinus</i>				ゴクラクハゼ																													
116	<i>Tridentiger trigonoccephalus</i>				アカオビシマハゼ																													
117	<i>Tridentiger bifasciatus</i>				シモアジシマハゼ		15.3	7.0		75.9	15,785.0	127.4	11.5	15.2	0.9	7.3	1.7	43.0			1.0	26.9	231.0	342.8	676.8	169.9	6.3	3.3		0.6				
118	<i>Tridentiger brevispinis</i>				ヌマチチブ		1.7			121.3	3,157.0	1,427.2	9.6	8.0									8.6	155.1	197.9	172.3			1.7	0.1	0.3	0.2		
119	<i>Tridentiger obscurus</i>				チチブ																													
120	アイゴ	<i>Siganus fuscescens</i>	アイゴ																															
121	カマス	<i>Sahydraena pinguis</i>	アカカマス																															
122	サバ	<i>Scomber japonicus</i>	マサバ																															
123	タイワンドジョウ	<i>Channa argus</i>	カムルチー																															

番号	綱	目	科	種名	調査地点 調査年	宍道湖西岸沖												宍道湖西岸沖											
						平成19年												平成20年											
						1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
65	スズキ目	スズキ	スズキ	<i>Lateolabrax japonicus</i>	スズキ	103.6	214.8	1,060.3		7,278.2		7,028.8		16,148.5	5,429.6				10,140.4	11,116.0	9,365.3	6,505.2	56,800.0	15,491.7	5,775.3	7,317.4			
66				<i>Lateolabrax latus</i>	ヒラスズキ																								
67		ハタ	<i>Epiplatys akaara</i>	キジハタ																									
68		サンフィッシュ	<i>Lepomis macrochirus</i>	ブルーギル			1.0												60.5										
69		テンジクダイ		<i>Micropterus salmoides</i>	ブラックバス																								
70				<i>Auogon semilineatus</i>	ネンブツダイ																								
71				<i>Auogon lineatus</i>	テンジクダイ																								
72		アジ		<i>Seriola quinqueradiata</i>	ブリ																								
73				<i>Seriola dumerli</i>	カンパチ																								
74				<i>Trachurus japonicus</i>	マアジ																								
75				<i>Decapterus maruodai</i>	マルアジ																								
76		ヒイラギ	<i>Leiognathus nuchalis</i>	ヒイラギ			14.4						11.0						2.6					34.5	1,417.7	2.2			
77		クロサギ	<i>Gerrus exilis</i>	クロサギ																									
78		イサキ	<i>Plectorhynchus cinctus</i>	コショウダイ												3.2													
79		タイ		<i>Fagus major</i>	マダイ																								
80				<i>Siganus asotus</i>	ヘダイ																								
81				<i>Acanthopagrus schlegelii</i>	クロダイ																								
82		キス	<i>Silago japonica</i>	シロギス																									
83		ウミタナゴ		<i>Ditrema viride</i>	アオタナゴ																								
84				<i>Ditrema temminckii</i>	ウミタナゴ																								
85		シマイサキ	<i>Rhynchoelates oxyrinchus</i>	シマイサキ																									
86		インダイ	<i>Oligorhynchus fasciatus</i>	インダイ																									
87		メジナ	<i>Girella punctata</i>	メジナ																									
88		イボダイ		<i>Hyporhamphys japonica</i>	メダイ																								
89				<i>Psenopsis anomala</i>	イボダイ																								
90		スズキ目	ゲンゲ		<i>Zaorchias neglectus</i>	コモンイトギンボ																							
91					<i>Eugrammus hexagrammus</i>	ムスジガジ																							
92			ニシキギンボ	<i>Pholis nebrose</i>	ギンボ																								
93			ハタハタ	<i>Arctoscopus japonicus</i>	ハタハタ																								
94			イカナゴ	<i>Ammodytes personatus</i>	イカナゴ																								
95			イソギンボ		<i>Ombraichthys fasciatus</i>	トサカギンボ																							
96					<i>Ombraichthys punctatus</i>	イダテンギンボ																					0.4		
97					<i>Ombraichthys sp.</i>	ナベカ属の1種																							
98			ネズツボ	<i>Ripomusculus curvicauda</i>	ネズミゴチ																								
99			ハゼ		<i>Leucophaea petraea</i>	シロウオ																							
100					<i>Luciogobius guttatus</i>	ミズハゼ																							
101					<i>Chaenogobius annularis</i>	アゴハゼ																							
102					<i>Chasmichthys fulvous</i>	ドロメ																							
103					<i>Gymnogobius petachilensis</i>	スマウキゴリ																							
104					<i>Gymnogobius urotaenia</i>	ウキゴリ															0.5	0.3							
105	<i>Gymnogobius sp.</i>				ウキゴリ属の1種(ウキゴリ類幼魚)																								
106	<i>Gymnogobius festuacanthus</i>				ニクハゼ																								
107	<i>Gymnogobius breunigii</i>				ビリンゴ										13.6														
108	<i>Gymnogobius taranetzii</i>				シンジコハゼ		1.1	4.8					1.1												2.7	0.5			
109	<i>Glossogobius olivaceus</i>				ウロハゼ							82.9				14.3				13.5		21.4	277.3	337.2			22.9		
110	<i>Acanthogobius flavimanus</i>				マハゼ		324.9	238.3	9.7				745.5		132.0	377.4	459.8		7.1		3.8	35.3	394.4	542.1	475.3	43.2	127.9		
111	<i>Acanthogobius lactipes</i>				アジシロハゼ		0.6	4.1	5.0		9,660.0	435.0				121.0	4.4	1.4	798.2	40.2	520.3	1,333.5	147.5	2.4	9.2	0.3			
112	<i>Favonigobius gymnauchen</i>				ヒメハゼ																								
113	<i>Mulligobius abei</i>				アベハゼ																								
114	<i>Acanthogobius pflaumi</i>				スジハゼ												0.9				4.3			3.8			1.2		
115	<i>Rhinogobius giurinus</i>				ゴクラクハゼ																								
116	<i>Tridentiger trigenocephalus</i>				アカオビシマハゼ																								
117	<i>Tridentiger bifasciatus</i>				シモフリシマハゼ						333.6		3.3			4.0			12.8		433.4	59.2	11.6	1.7			0.1	1.6	
118	<i>Tridentiger brevispinis</i>		ヌマチチブ		0.1	0.4	2.6		278.4							2.8		0.6		195.3	3.4	1.9	1.5	1.8		3.1	0.2		
119	<i>Tridentiger obscurus</i>		チチブ																										
120	アイゴ		<i>Siganus fuscocens</i>	アイゴ																									
121	カマス		<i>Sahydraena pinguis</i>	アカカマス																									
122	サバ		<i>Scomber japonicus</i>	マサバ																									
123	タイワンドジョウ		<i>Channa argus</i>	カムルチー																				3.7					

番号	綱	目	科	種名	調査地点 調査年 調査月	宍道湖西岸沖												宍道湖西岸沖											
						平成19年												平成20年											
						1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
124	カレイ目	カレイ目	ヒラメ	<i>Paralichthys olivaceus</i>	ヒラメ																								
125			カレイ	<i>Kareius bicoloratus</i>	インガレイ																								
126				<i>Pleuronectes yokohamae</i>	マコガレイ																								
127			ササウシノシタ	<i>Pseudasopia japonica</i>	セトウシノシタ																								
128		ウシノシタ	<i>Cynogobius jayakeri</i>	アカシタビラメ																									
129		フグ目	カワハギ		<i>Bolus erodes</i>	アミハギ																							
130					<i>Tamiasocus modestus</i>	ウマヅラハギ																							
131					<i>Stachanopsis cirrhifer</i>	カワハギ																							
132			ハコフグ	<i>Ostracion immaculatus</i>	ハコフグ																								
133			フグ		<i>Takifugu pardalis</i>	ヒガンフグ																							
134					<i>Takifugu poecilonotus</i>	コモンフグ																							
135					<i>Takifugu stictonotus</i>	ゴマフグ																							
136					<i>Takifugu niphobles</i>	クサフグ																							
137				<i>Takifugu rubripes</i>	トラフグ																								
138				<i>Lagocephalus wheeleri</i>	シロサバフグ																								
139	ハリセンボン			<i>Diodon holocanthus</i>	ハリセンボン																								
140	甲殻類		アミ目	アミ	<i>Neomysis japonica</i>	ニホンイサザアミ																							
141			エビ目	クルマエビ		<i>Parasquilla japonica</i>	クルマエビ																						
142					<i>Penaeus semisulcatus</i>	クマエビ																							
143					<i>Metapenaeus ensis</i>	ヨシエビ																							
144		サクラエビ		<i>Acetes japonicus</i>	アキアミ		0.2										0.4												
145		ヌマエビ		<i>Paratya compressa</i>	ミナミヌマエビ				0.1							0.5													
146		テナガエビ			<i>Palaeomon paucidens</i>	スジエビ			7.0	26.3							1.2		1.4	2.0				2.7	0.2				
147					<i>Palaeomon macrodactylus</i>	ユビナガスジエビ		0.3		0.5					8.6		5.4		5.6	1.4	5.9	2.7	0.9	1.9					
148					<i>Palaeomon serrifer</i>	スジエビモドキ																			0.3				
149					<i>Palaeomon ornansi</i>	アシナガスジエビ																							
150					<i>Palaeomon orientis</i>	シラタエビ		0.6		1.0						2.9		23.8		0.3		1.8	24.1	37.6	15.9	48.4			
151					<i>Macrobrachium nipponense</i>	テナガエビ							47.7					3.1					1.3		16.0	5.6			
152				テッポウエビ	<i>Alpheus brevicristatus</i>	テッポウエビ																							
153		エビジャコ		<i>Orangon affinis</i>	エビジャコ			0.1		0.4							1.1												
154		アメリカザリガニ		<i>Procambarus clarkii</i>	アメリカザリガニ																								
155		ヒシガニ		<i>Platylabus validus</i>	ヒシガニ																								
156		コフシガニ		<i>Philyra pisum</i>	マメコフシガニ																								
157		ガザミ		<i>Portunus trituberculatus</i>	ガザミ																								
158				<i>Poturus pelagicus</i>	タイワンガザミ																								
159				<i>Charybdis (Charybdis) japonica</i>	インガニ																								
160		イワガニ		<i>Eriocheir japonicus</i>	モクズガニ		385.8	1,183.0	677.2						89.6	1,679.1	69.8		86.3		103.0			803.7	1,173.2				
161				<i>Hemigrapsus penicillatus</i>	タカノケフサイソガニ																				488.1				
162		ヤドカリ		<i>Dardanus asperus</i>	アカボシヤドカリ																								
163		ホンヤドカリ		<i>Pagurus dubius</i>	ユビナガホンヤドカリ																								
164		軟体動物		新腹足目	ムシロガイ	<i>Reticularia festiva</i>	アラムシロ																						
165					アツキガイ	<i>Rapana venosa</i>	アカニシ																						
166				盤足目	タマガイ	<i>Glossaulax didyma</i>	ツメタガイ																						
167				基眼目	モノアラガイ	<i>Limnaea auricularia</i>	モノアラガイ																						
168				コウイカ目	コウイカ		<i>Sepia (Acanthosepion) lycidas Gray</i>	カミナリイカ																					
169							<i>Sepia (Platysepia) esculenta</i>	コウイカ																					
170							<i>Sepia (Doroteosipion) hobienis</i>	ヒメコウイカ																					
171					ダンゴイカ	<i>Euprymna morsei</i>	ミミイカ																						
172						<i>Euprymna berryi</i>	ニヨリミイカ																						
173						<i>Todarodes pacificus</i>	スルメイカ																						
174		ヤリイカ			<i>Sepioteuthis lessoniana</i>	アオリイカ																							
175				<i>Lololus (Nipponololus) japonica</i>	ジンドウイカ																								
176		八腕形目		マダコ		<i>Octopus vulgaris</i>	マダコ																						
177						<i>Octopus ocellatus</i>	イイダコ																						
総種類数						17	21	21		18		20		14		26		19		15	24	20	16	26	23	20	25	24	
個体数						3,503.1	5,986.7	8,550.1		32,542.0		34,578.0		26,884.9		15,072.7		3,616.7		9,897.2	19,770.6	15,881.1	13,798.2	15,542.1	108,643.3	45,531.3	16,955.0	10,838.3	

番号	綱	目	科	種名	調査地点 調査年 調査月	宍道湖西岸沖												宍道湖西岸沖												
						平成21年												平成22年												
						1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
1		エイ目	アカエイ	<i>Dasyatis akaii</i>	カワヤツメ																									
2				<i>Dasyatis akaii</i>	アカエイ					958.2	2,965.5		3,976.3										1,055.2							
3				<i>Gymura japonica</i>	ツバクロエイ																									
4		ウナギ目	ウナギ	<i>Anguilla japonica</i>	ウナギ				134.3	318.0	2,258.2	951.3	319.1	605.5							239.2	1,157.9	2,471.0	1,168.7	93.5		130.7			
5			ウミヘビ	<i>Ophichthus macrochynchus</i>	ダイナンウミヘビ																									
6				<i>Pseudonaphis zophiatus</i>	ホタテウミヘビ																									
7			アナゴ	<i>Gonger myriaster</i>	マアナゴ																									
8		ニシン目	ニシン	<i>Etrumeus teres</i>	ウルメイワシ																									
9				<i>Sardinops melanostictus</i>	マイワシ																									
10				<i>Sardinella zunasi</i>	サツバ					3,896.1	119.9	1,254.4	536.3								82.7	111.3	2,670.5	69.4	672.0	1,898.4	5.4			
11				<i>Olapea pallasi</i>	ニシン																									
12				<i>Konosius punctatus</i>	コノシロ					7,266.0	1,389.2	5,470.2	2,508.4	135.1	6,407.0	1,283.1					476.9	1,857.4	5,608.7	3,267.1	6,095.6	1,442.5				
13			カタクチイワシ	<i>Engraulis japonicus</i>	カタクチイワシ																									
14		コイ目	コイ	<i>Oxyrinus carpio</i>	コイ					20.8	6,680.0		2.2	63.4													992.4			
15				<i>Carassius curvieri</i>	ゲンゴロウブナ	219.8		147.3	168.2	47.9											501.8						1,056.1			
16				<i>Carassius auratus langsdorffii</i>	ギンブナ	951.9		248.4	2,199.8	2,163.5	275.0				1,071.3	265.0	491.4				3,187.3	1,163.1	2,770.3	2,399.3		76.7	590.1			
17				<i>Carassius sp.</i>	フナ属(フナ類の幼魚)	25.9		29.7	815.8	382.6				2.9	183.3	201.7	60.6				259.7		128.9	411.1	720.8		291.7			
18				<i>Tanakaia lanceolata</i>	ヤリタナゴ																									
19				<i>Acheilognathus tabira jordanii</i>	ミナミアカヒレタビラ																									
20				<i>Rhodesia ocellatus ocellatus</i>	タイリクバラタナゴ	0.9		2.6	3.2																					
21				<i>Ischiurus steenackeri</i>	ワタカ			395.1							403.3	520.3	411.6										196.5			
22				<i>Oesarrhynchus uncinostrius uncinostrius</i>	ハス																									
23				<i>Zacco platypus</i>	オイカワ				1.6		27.3				2.0													4.3		
24				<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	22.6		634.2	8.1			431.9	161.8	1,203.1	153.3	112.6					1,737.2		2,027.1	369.8	455.6	401.5	3,850.6	1,703.2	1,703.8	3,593.3
25				<i>Pseudorasbora parva</i>	モツゴ				2.2																					
26				<i>Sarcocheilichthys variegatus variegatus</i>	カワヒガイ				16.0																					
27				<i>Gnathopogon caesiiscens</i>	ホンモロコ	4.5		11.0	8.0												3.8		1.3					5.8		
28				<i>Pseudogobio esocinus esocinus</i>	カマツカ																									
29				<i>Squalius gracilis gracilis</i>	イトモロコ																									
30				<i>Squalius charakaensis subsp.</i>	コウライモロコ	17.8		19.0	75.8	16.6	2.7			5.9							26.0									
31		ナマズ目	ナマズ	<i>Silurus asotus</i>	ナマズ					0.1																				
32			ゴンズイ	<i>Pelteus lineatus</i>	ゴンズイ																									
33		サケ目	キュウリウオ	<i>Hypomesus transpacificus nipponensis</i>	ワカサギ						55.1	76.8	575.7	1,596.3													8.4			
34			アユ	<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>	アユ				691.1	3.0																				
35			シラウオ	<i>Silurichthys microdon</i>	シラウオ	150.9		1,432.8	67.3	3.8	0.9	3.5	0.4								63.4		41.3	60.5	5.2	0.8	0.4	0.3	4.0	3,550.0
36			サケ	<i>Oncorhynchus keta</i>	サケ																									
37				<i>Oncorhynchus masou masou</i>	サクラマス																									
38				<i>Oncorhynchus masou ishikawae</i>	サツキマス																									
39		ヒメ目	エソ	<i>Saurida elongata</i>	トカゲエソ																									
40		トゲウオ目	トゲウオ	<i>Gasterosteus aculeatus aculeatus</i>	イトヨ																									
41			ヨウジウオ	<i>Syngnathus schlegelii</i>	ヨウジウオ				311.9																					
42				<i>Hippichthys periclitus</i>	ガンテンイシヨウジ																							0.3		
43				<i>Hippocampus kuda</i>	サンゴダツ																									
44		ボラ目	ボラ	<i>Chelon affinis</i>	セスジボラ																							6.3	28.1	
45				<i>Muji cephalus cephalus</i>	ボラ	231.9		305.8	0.7	9.0			40.3	26.8	52.6						53.0				23.2	704.0				
46				<i>Chelon haematocheilus</i>	メナダ	34.4			0.7	9.0																				
47		トウゴロウイワシ目	トウゴロウイワシ	<i>Hypoatherina valencienni</i>	トウゴロウイワシ																									
48		ダツ目	サヨリ	<i>Hyporhamphus sajoi</i>	サヨリ				559.6	169.7	116.7	1,071.2	10.6	517.9	544.0										489.4	45.0	8.9	8.2	13.7	312.1
49				<i>Hyporhamphus intermedius</i>	クルマサヨリ				20.4	335.0	115.7														77.8				6.3	49.8
50			ダツ	<i>Strangelyra anastomella</i>	ダツ																									
51		カサゴ目	フサカサゴ	<i>Sebastes tertius</i>	ウツカリカサゴ																									
52				<i>Sebastes inermis</i>	メバル																									
53				<i>Sebastes schlegelii</i>	クロソイ																									
54				<i>Sebastes pauciceps pauciceps</i>	ムラソイ																									
55				<i>Sebastes pauciceps rufus</i>	オウゴンムラソイ																									
56			オニオコゼ	<i>Inimicus japonicus</i>	オニオコゼ																									
57			ハオコゼ	<i>Hypodytes rubripinnis</i>	ハオコゼ																									
58			ホウボウ	<i>Chelodichthys spinosus</i>	ホウボウ																									
59			コチ	<i>Platycephalus sp. 2</i>	マゴチ																									
60			アイナメ	<i>Hexagrammos agrammus</i>	クジメ																									
61				<i>Hexagrammos otakii</i>	アイナメ																									
62			カジカ	<i>Gottus kajiaka</i>	カマキリ																									
63				<i>Gottus pollux</i>	カジカ																									
64			クサウオ	<i>Liparis ovstoni</i>	クサウオ						1.0														4.1	0.1				

番号	綱	目	科	種名	調査地点 調査年	宍道湖西岸沖												宍道湖西岸沖																
						平成21年												平成22年																
						1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月					
65	スズキ目	スズキ	スズキ	<i>Lateolabrax japonicus</i>	スズキ	214.2		64.0	12,738.7	17,151.5	17,803.5	54,957.9	6,224.8	60,264.2	45,940.8		90,812.7		482.7		8,210.3	8,978.8	5,442.9	16,434.2	14,105.4	52,970.1	6,246.2		10,716.9					
66				<i>Lateolabrax latus</i>	ヒラスズキ									35.2																				
67				ハタ	<i>Epiplatys akaara</i>	キジハタ																												
68				サンフィッシュ	<i>Lepomis macrochirus</i>	ブルーギル			1.3																						0.9			
69				テンジクダイ	<i>Micropterus salmoides</i>	ブラックバス																												
70					<i>Auogon semilineatus</i>	ネンブツダイ																												
71					<i>Auogon lineatus</i>	テンジクダイ																												
72				アジ	<i>Seriola quinqueradiata</i>	ブリ																												
73					<i>Seriola dumerli</i>	カンパチ																												
74					<i>Trachurus japonicus</i>	マアジ																												
75					<i>Decapterus maruodai</i>	マルアジ																												
76				ヒイラギ	<i>Leiognathus nuchalis</i>	ヒイラギ				10.4	11.3	12.9																0.3	1,962.5					
77				クロサギ	<i>Gerris equulus</i>	クロサギ																												
78				イサキ	<i>Plectorhynchus cinctus</i>	コショウダイ																												
79				タイ	<i>Fagus major</i>	マダイ																												
80					<i>Spargus sarba</i>	ヘダイ																												
81					<i>Acanthopagrus schlegelii</i>	クロダイ																												
82				キス	<i>Silago japonica</i>	シロギス																												
83				ウミタナゴ	<i>Ditrema viride</i>	アオタナゴ																												
84					<i>Ditrema temminckii</i>	ウミタナゴ																												
85				シマイサキ	<i>Rhynogobius oxyrinchus</i>	シマイサキ																												
86				インダイ	<i>Oligocephalus fasciatus</i>	インダイ																												
87				メジナ	<i>Girella punctata</i>	メジナ																												
88				イボダイ	<i>Hyporhamphys japonica</i>	メダイ																												
89					<i>Pisces anomala</i>	イボダイ																												
90				スズキ目	ゲンゲ	<i>Zaorchias neglectus</i>	コモンイトギンボ																											
91						タウエガジ	<i>Eugrammus hexagrammus</i>	ムスジガジ																										
92						ニシキギンボ	<i>Pholis nebrosea</i>	ギンボ																										
93						ハタハタ	<i>Arctostichus japonicus</i>	ハタハタ																										
94						イカナゴ	<i>Ammodytes personatus</i>	イカナゴ																										
95						イソギンボ	<i>Ombraichthys fasciatus</i>	トサカギンボ																										
96							<i>Ombraichthys punctatus</i>	イダテンギンボ																										
97							<i>Ombraichthys sp.</i>	ナベカ属の1種																										
98						ネズツボ	<i>Ripomuscus curvicaudis</i>	ネズミゴチ																										
99						ハゼ	<i>Leucophaea petraea</i>	シロウオ																										
100							<i>Luciogobius guttatus</i>	ミミズハゼ																										
101							<i>Chaenogobius annularis</i>	アゴハゼ																										
102							<i>Chasmichthys fulvous</i>	ドロメ																										
103							<i>Gymnogobius petachilensis</i>	スマウキゴリ																										
104							<i>Gymnogobius urotaenia</i>	ウキゴリ																										
105	<i>Gymnogobius sp.</i>	ウキゴリ属の1種(ウキゴリ類幼魚)								2,698.0	12.1																							
106	<i>Gymnogobius heptacanthus</i>	ニクハゼ																																
107	<i>Gymnogobius breunigii</i>	ビリンゴ																																
108	<i>Gymnogobius taranetzii</i>	シンジコハゼ								90.0	138.2			1.9	0.6																			
109	<i>Glossogobius olivaceus</i>	ウロハゼ											30.9	98.3	436.7																			
110	<i>Acanthogobius flavimanus</i>	マハゼ					1,939.5	458.9	271.7	323.0	545.2	135.2	1,855.6	73.1	295.6		356.9		86.4	20.5	6.9	1,290.2	387.4	298.7	3.8	60.3		997.8						
111	<i>Acanthogobius lectipes</i>	アシシロハゼ					0.9	0.8	2,274.8	1,974.0	1,516.1	13.2	50.2	4.0			0.3		1.3	38.1	316.8	3,153.4	106.5	31.9	37.7	3.1			2.1					
112	<i>Favonigobius gymnauchen</i>	ヒメハゼ																																
113	<i>Mugilogobius abei</i>	アベハゼ																																
114	<i>Acanthogobius pflaumi</i>	スジハゼ							2.1	0.8			3.0		3.3					0.1										0.2				
115	<i>Rhinogobius giurinus</i>	ゴクラクハゼ																																
116	<i>Tridentiger trigonocephalus</i>	アカオビシマハゼ																																
117	<i>Tridentiger bifasciatus</i>	シモフリシマハゼ					9.0	168.8	400.4	194.0	17.0				5.5	1.1			1.9		77.6	40.4	147.4	0.8	0.3	7.1	2.4		3.5					
118	<i>Tridentiger brevispinis</i>	ヌマチチブ							4.2	375.2	54.0	5.8			2.5	0.6					84.8	0.8	5.8			19.4	3.5							
119	<i>Tridentiger obscurus</i>	チチブ																																
120	アイゴ	<i>Siganus fuscocens</i>	アイゴ																															
121	カマス	<i>Sahydraena pinguis</i>	アカカマス																															
122	サバ	<i>Scomber japonicus</i>	マサバ																															
123	タイワンドジョウ	<i>Channa argus</i>	カムルチー																															

番号	綱	目	科	種名	調査地点 調査年 調査月	内道湖東岸沖												内道湖東岸沖																	
						平成16年												平成17年																	
						1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月						
65	スズキ目	スズキ	スズキ	<i>Lateolabrax japonicus</i>	スズキ	87.8			4,369.1	7,569.1	13,900.4	51,494.0	17,206.3	14,956.7	8,496.7	6,614.7	8,344.0	157.2			3,695.9	3,483.6	16,928.1	21,010.7	17,955.5	58,870.0	11,900.0	13,978.1	30,504.0						
66				<i>Lateolabrax latius</i>	ヒラスズキ																							58.3							
67				ハタ	<i>Epinephelus akaara</i>	キジハタ																													
68				サンフィッシュ	<i>Lepomis macrochirus</i>	ブルーギル					3.1		0.4																		0.9				
69					<i>Micropterus salmoides</i>	ブラックバス																													
70					<i>Apoogon semilineatus</i>	ネンブツダイ																													
71					<i>Apoogon lineatus</i>	テンジクダイ																													
72					<i>Seriola quinqueradiata</i>	ブリ																													
73					<i>Seriola dumerilii</i>	カンバチ																													
74					<i>Trachurus japonicus</i>	マアジ																						2.6		15.1					
75					<i>Decapterus maruadsi</i>	マルアジ																													
76					<i>Leiognathus nuchalis</i>	ヒイラギ				3.3	5.1	164.0	16.2					79.2												6.3	5.6				
77					<i>Gerrus equinus</i>	クロサギ																													
78					<i>Plectorhynchus cinctus</i>	コシヨウダイ																													
79					<i>Fagus major</i>	マダイ																													
80					<i>Sparus sarba</i>	ヘダイ																													
81					<i>Acanthopagrus schlegelii</i>	クロダイ																													
82					<i>Sillago japonica</i>	シロギス																													
83					<i>Ditrema viride</i>	アオタナゴ																													
84					<i>Ditrema temminckii</i>	ウミタナゴ																													
85					<i>Rhyncopelates oxyrinchus</i>	シマイサキ																													
86					<i>Oplagnathus fasciatus</i>	インダイ																													
87					<i>Girella punctata</i>	メジナ																													
88					<i>Hyperocheilus japonica</i>	メダイ																													
89					<i>Psenopsis anomala</i>	イボダイ																													
90				スズキ目	ゲンゲ	ゲンゲ	<i>Zaerchias neglectus</i>	コモンイトギンボ																											
91							<i>Eugrammus hexagrammus</i>	ムスジガジ																											
92							<i>Pholis nebrose</i>	ギンボ																											
93							ハタハタ	<i>Arctoscopus japonicus</i>	ハタハタ																										
94							イカナゴ	<i>Armidytes personatus</i>	イカナゴ																										
95							イソギンボ	<i>Omodranchus fasciolocephalus</i>	トサカギンボ																										
96								<i>Omodranchus punctatus</i>	イダテンギンボ							0.2																			
97								<i>Omodranchus sp.</i>	ナベカ属の1種																										
98							ネズツボ	<i>Rapomucenus curvicensis</i>	ネズミゴチ																										
99							ハゼ	<i>Leucopsaron petersii</i>	シロウオ			2.6																							
100								<i>Luciogobius guttatus</i>	ミズハゼ			1.7																							
101								<i>Chaenogobius annularis</i>	アゴハゼ																										
102								<i>Chaenichtys gulosus</i>	ドロメ																										
103								<i>Gymnogobius petschilenis</i>	スマウキゴリ					1.4															4,088.5						
104								<i>Gymnogobius urotaenia</i>	ウキゴリ																					14.3	24.7				
105	<i>Gymnogobius sp.</i>	ウキゴリ属の1種(ウキゴリ類幼)																																	
106	<i>Gymnogobius heptacanthus</i>	ニクハゼ																												66.2					
107	<i>Gymnogobius breunigi</i>	ビリンゴ										2.2		7.6					7.6	18.5	5.0		0.8	3.7	140.7	986.5									
108	<i>Gymnogobius taranetzi</i>	シンジコハゼ						10.0	33.4	5.5	2.0	3.8								2.7															
109	<i>Glossogobius olivaceus</i>	ウロハゼ											23.1	48.3	21.4			12.8												166.5					
110	<i>Acanthogobius flavimanus</i>	マハゼ						1,069.1	147.9	42.2		13.7	119.7	99.6		6.5	93.7	412.4	1,621.5	721.5	115.7		25.0		772.9	754.3	15.6		94.6	286.2	4,483.9				
111	<i>Acanthogobius lactipes</i>	アシシロハゼ						4.7	5.4	11.3	30.8	125.4	178.7	30.1			0.5	0.7	0.6	90.5		12.0	416.1	462.9	33.6										
112	<i>Favonigobius gymnauchen</i>	ヒメハゼ																																	
113	<i>Mugilogobius abei</i>	アベハゼ																																	
114	<i>Acentrogobius pflaumii</i>	スジハゼ																																	
115	<i>Rhinogobius giurinus</i>	ゴクラクハゼ																																	
116	<i>Tridentiger trigonoccephalus</i>	アカオビシマハゼ																																	
117	<i>Tridentiger bifasciatus</i>	シモアジシマハゼ						6.4	2.5	7.2	49.4	1.9	6.3	0.5			8.7		12.6	34.0	39.3		700.3	40.4	52.2	4.5					9.6				
118	<i>Tridentiger brevispinis</i>	ヌマチチブ					21.8	4.5	7.2	70.9	11.6	28.4							11.4	8.5		48.5	2.6	28.0						3.3					
119	<i>Tridentiger obscurus</i>	チチブ																																	
120	アイゴ	<i>Siganus fuscescens</i>	アイゴ																																
121	カマス	<i>Solyraena pinus</i>	アカカマス																																
122	サバ	<i>Scomber japonicus</i>	マサバ																																
123	タイワンドジョウ	<i>Channa argus</i>	カムルチー																																

番号	綱	目	科	種名	調査地点 調査年 調査月	穴道湖東岸沖												穴道湖東岸沖												
						平成18年												平成19年												
						1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
65	スズキ目	スズキ	スズキ	<i>Lateolabrax japonicus</i>	スズキ				3.873.1	14,203.2	54,770.0	29,073.8	18,076.2	28,459.4	15,197.9	15,463.8	17,171.5	64.8		4,306.6		6,987.8		31,428.7		29,202.2		10,235.2		
66				<i>Lateolabrax litus</i>	ヒラスズキ											40.9	116.5													
67		ハタ	<i>Epinephelus akaara</i>	キジハタ																										
68		サンフィッシュ	<i>Lepomis macrochirus</i>	ブルーギル			4.1		0.4																					
69		テンジクダイ		<i>Micropterus salmoides</i>	ブラックバス																									
70				<i>Apoogon semilineatus</i>	ネンブツダイ																									
71				<i>Apoogon lineatus</i>	テンジクダイ																									
72		アジ		<i>Seriola quinqueradiata</i>	ブリ																									
73				<i>Seriola dumerilii</i>	カンバチ																									
74				<i>Trachurus japonicus</i>	マアジ																									
75				<i>Decapterus maruadsi</i>	マルアジ																									
76		ヒイラギ	<i>Leiognathus nuchalis</i>	ヒイラギ			11.6	51.2	53.5													14.4		16.6		1.0				
77		クロサギ	<i>Gerrus equinus</i>	クロサギ																										
78		イサキ	<i>Plectrohinchus cinctus</i>	コシヨウダイ																										
79		タイ		<i>Fagus major</i>	マダイ																									
80				<i>Sparus sarba</i>	ヘダイ																									
81				<i>Acanthopagrus schlegelii</i>	クロダイ																									
82		キス	<i>Sillago japonica</i>	シロギス																										
83		ウミタナゴ		<i>Ditrema viride</i>	アオタナゴ																									
84				<i>Ditrema temminckii</i>	ウミタナゴ																									
85		シマイサキ	<i>Rhynchoplates oxyrinchus</i>	シマイサキ																										
86		インダイ	<i>Oplagnathus fasciatus</i>	インダイ																										
87		メジナ	<i>Girella punctata</i>	メジナ																										
88		イボダイ		<i>Hyperocheilus japonica</i>	メダイ																									
89				<i>Psenopsis anomala</i>	イボダイ																									
90		スズキ目	ゲンゲ		<i>Zoarchias neglectus</i>	コモンイトギンボ																								
91					<i>Eugrammus hexagrammus</i>	ムスジガジ																								
92			ニシキギンボ	<i>Pholis nebrose</i>	ギンボ																									
93			ハタハタ	<i>Arctocephalus japonicus</i>	ハタハタ																									
94			イカナゴ	<i>Armidytes personatus</i>	イカナゴ																									
95			イソギンボ		<i>Ombraichthys fasciolocephalus</i>	トサカギンボ																								
96					<i>Ombraichthys punctatus</i>	イダテンギンボ																								
97					<i>Ombraichthys sp.</i>	ナベカ属の1種																								
98			ネズツボ	<i>Repinucus curvicensis</i>	ネズミゴチ																									
99			ハゼ		<i>Leucopsaron petersii</i>	シロウオ																								
100					<i>Luoiogobius guttatus</i>	ミズハゼ																								
101					<i>Chaenogobius annularis</i>	アゴハゼ																								
102					<i>Chaenichthys fulvous</i>	ドロメ																								
103					<i>Gymnogobius petschilensis</i>	スミウキゴリ			7.4																					
104					<i>Gymnogobius urotaenia</i>	ウキゴリ																								
105	<i>Gymnogobius sp.</i>				ウキゴリ属の1種(ウキゴリ類幼)						29.4																			
106	<i>Gymnogobius heptacanthus</i>				ニクハゼ																									
107	<i>Gymnogobius breunigi</i>				ビリンゴ			13.5				56.0	13.8																	
108	<i>Gymnogobius taranetzi</i>				シンジコハゼ			1.8		2.6														1.8						
109	<i>Glossogobius olivaceus</i>				ウロハゼ												1.5													
110	<i>Acanthogobius flavimanus</i>				マハゼ		484.9	94.9	56.4	28.6	35.3	1,841.1	3,462.1			31.3	42.3	561.7	1,139.5	28.9	16.4			217.2			12.9		61.1	
111	<i>Acanthogobius lactipes</i>				アシシロハゼ		1.9	5.2	5.7		9.3	92.1	6.7						0.3	2.6	10.7			186.1						
112	<i>Favonigobius gymnauchen</i>				ヒメハゼ																									
113	<i>Meligobius abei</i>				アベハゼ																									
114	<i>Acentrogobius pflaumii</i>				スジハゼ																									
115	<i>Rhinogobius giurinus</i>				ゴクラクハゼ																									
116	<i>Tridentiger trigonoccephalus</i>				アカオビシマハゼ																									
117	<i>Tridentiger bifasciatus</i>				シモアジシマハゼ		4.3	2.1	19.1	134.6	48.9	15.0								4.0	5.2	10.7			19.7					
118	<i>Tridentiger brevispinis</i>				ヌマチチブ		0.1					5.3								8.8	1.2	1.3			8.9					
119	<i>Tridentiger obscurus</i>		チチブ																											
120	アイゴ		<i>Siganus fuscescens</i>	アイゴ																										
121	カマス		<i>Solyraena pinus</i>	アカカマス																										
122	サバ		<i>Scomber japonicus</i>	マサバ																										
123	タイワンドジョウ		<i>Channa argus</i>	カムルチー																										

番号	綱	目	科	種名	調査地点 調査年 調査月	宍道湖東岸沖											
						平成22年											
						1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1		エイ目	アカエイ	<i>Dasyatis akajei</i>	カワヤツメ												
2				<i>Dasyatis akajei</i>	アカエイ					534.2	6,850.2	23,042.1	4,991.0	1,245.4			
3			ツバクロエイ	<i>Gymnura japonica</i>	ツバクロエイ												
4		ウナギ目	ウナギ	<i>Anguilla japonica</i>	ウナギ				36.4	747.2	92.3	122.8	4,670.5	447.7	7,604.6		430.5
5			ウミヘビ	<i>Ophichthus macrorhynchus</i>	ダイナンウミヘビ												
6				<i>Pseudonophis zaphtatus</i>	ホタテウミヘビ												
7			アナゴ	<i>Conger myriaster</i>	マアナゴ												
8		ニシン目	ニシン	<i>Etrumeus teres</i>	ウルメイワシ												
9				<i>Sardinops melanostictus</i>	マイワシ												
10				<i>Sardinella zunasi</i>	サツバ				698.9	1,078.1	1,786.2	20,750.0	9,200.0	6,720.0	477.0		10.7
11				<i>Clupea pallasii</i>	ニシン												
12				<i>Konosirus punctatus</i>	コノシロ				20,500.0		12,364.7		6,884.8	5,579.3	3,090.9		606.1
13			カタクチイワシ	<i>Engraulis japonicus</i>	カタクチイワシ												
14		コイ目	コイ	<i>Cyprinus carpio</i>	コイ							283.9					
15				<i>Carassius auratus</i>	ゲンゴロウブナ												197.0
16				<i>Carassius auratus langsdorfi</i>	ギンブナ			514.0	3,117.7	5,539.7	3,144.8	2,153.7		1,401.6	157.6		340.9
17				<i>Carassius sp.</i>	フナ属(フナ類の幼魚)				978.3	174.2				13.3			247.5
18				<i>Tanaka lanceolata</i>	ヤリタナゴ												
19				<i>Acheilognathus tabira jordani</i>	ミナミアカヒレタビラ												
20				<i>Rhodus ocellatus ocellatus</i>	タイリクバラタナゴ												
21				<i>Ichthyura steenackeri</i>	ワタカ												
22				<i>Opsarichthys uncirostris uncirostris</i>	ハス												
23				<i>Zacco platypus</i>	オイカワ												
24				<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ			28.6	4,318.6	3,433.1	496.6		2,223.8	2,558.5	683.2		3,612.2
25				<i>Pseudorasbora parva</i>	モンゴ												
26				<i>Sarcocheilichthys variegatus variegatus</i>	カワヒガイ												
27				<i>Gnathopogon caeruleus</i>	ホンモロコ												
28				<i>Pseudogobio esocinus esocinus</i>	カマトツカ												
29				<i>Squalius gracilis gracilis</i>	イトモロコ												
30				<i>Squalius chankaensis subsp.</i>	コウライモロコ			1.5									
31		ナマス目	ナマス	<i>Stizostedion</i>	ナマス												
32			ゴンズイ	<i>Plecoglossus lineatus</i>	ゴンズイ												19.1
33		サケ目	キュウリウオ	<i>Hypomesus transpacificus nipponensis</i>	ワカサギ					11.3	4.7						
34			アユ	<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>	アユ					8.9	50.2						
35			シラウオ	<i>Salangichthys microdon</i>	シラウオ			1,206.0	137.4	316.4							24.8
36			サケ	<i>Oncorhynchus keta</i>	サケ					8.8	2,270.7						
37				<i>Oncorhynchus masou masou</i>	サクラマス												
38				<i>Oncorhynchus masou shikawae</i>	サツキマス												
39		ヒメ目	エソ	<i>Saurida elongata</i>	トカゲエソ												
40		トゲウオ目	トゲウオ	<i>Gasterosteus aculeatus aculeatus</i>	イトヨ												
41			ヨウジウオ	<i>Syngnathus schlegelii</i>	ヨウジウオ												
42				<i>Hippichthys penicillatus</i>	ガンテンイシヨウジ												
43				<i>Hippocampus kuda</i>	サンゴダツ												
44		ボラ目	ボラ	<i>Otelnol affinis</i>	セスジボラ												20.4
45				<i>Mugil cephalus cephalus</i>	ボラ				211.1				513.8	239.6			36.9
46				<i>Otelnol haematocheilus</i>	メナダ												
47		トウゴロウイワシ目	トウゴロウイワシ	<i>Hypoatherina valenciennesi</i>	トウゴロウイワシ							14.2					1.3
48		ダツ目	サヨリ	<i>Hyporhamphus sajoi</i>	サヨリ				10,360.0	18,700.0	986.5	1.4					29.5
49				<i>Hyporhamphus intermedius</i>	クルマサヨリ				8.7								
50			ダツ	<i>Strangigera anastomella</i>	ダツ												
51		カサゴ目	フサカサゴ	<i>Sebastes tertius</i>	ウツカリカサゴ												
52				<i>Sebastes inermis</i>	メバル												
53				<i>Sebastes schlegelii</i>	クロソイ												
54				<i>Sebastes pauciceps pauciceps</i>	ムラソイ												
55				<i>Sebastes pauciceps nudus</i>	オウゴンムラソイ												
56			オニオコゼ	<i>Inimicus japonicus</i>	オニオコゼ												
57			ハオコゼ	<i>Hypodectes rubripinnis</i>	ハオコゼ												
58			ホウボウ	<i>Chelodactylus spheosus</i>	ホウボウ												
59			コチ	<i>Platycephalus sp. 2</i>	マゴチ								116.0				
60			アイナメ	<i>Hexagrammos agrammus</i>	クジメ												
61				<i>Hexagrammos otakii</i>	アイナメ												
62			カジカ	<i>Guttus kazika</i>	カマキリ												
63				<i>Guttus pollux</i>	カジカ												
64			クサウオ	<i>Liparis owstoni</i>	クサウオ												

番号	綱	目	科	種名	調査地点 調査年 調査月	宍道湖東岸沖																	
						平成22年																	
						1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月						
65	スズキ目	スズキ	スズキ	<i>Lateolabrax japonicus</i>	スズキ				47,009.4	76,820.0	56,626.8	110,640.5	138,791.1	67,520.0	12,195.8		63,120.0						
66				<i>Lateolabrax latus</i>	ヒラスズキ				139.2	59.2	670.7												
67				ハタ	<i>Epinephelus akaara</i>	キジハタ																	
68				サンフィッシュ	<i>Lepomis macrochirus</i>	ブルーギル													0.9				
69					<i>Micropterus salmoides</i>	ブラックバス										75.2	60.8						
70				テンジクダイ	<i>Apoogon semilineatus</i>	ネンブツダイ																	
71					<i>Apoogon lineatus</i>	テンジクダイ																	
72				アジ	<i>Seriola quinqueradiata</i>	ブリ																	
73					<i>Seriola dumerilii</i>	カンバチ																	
74					<i>Trachurus japonicus</i>	マアジ																	
75					<i>Decapterus maruadsi</i>	マルアジ																	
76				ヒイラギ	<i>Leiognathus nuchalis</i>	ヒイラギ					19.7	38.5						503.3					
77				クロサギ	<i>Gerris equinus</i>	クロサギ												4.3					
78				イサキ	<i>Plectorhynchus cinctus</i>	コシヨウダイ																	
79				タイ	<i>Pangas major</i>	マダイ																	
80					<i>Sparus sarba</i>	ヘダイ																	
81					<i>Acanthopagrus schlegelii</i>	クロダイ																	
82				キス	<i>Sillago japonica</i>	シロギス																	
83				ウミタナゴ	<i>Ditrema viride</i>	アオタナゴ																	
84					<i>Ditrema temminckii</i>	ウミタナゴ																	
85				シマイサキ	<i>Rhyncopelates oxyrinchus</i>	シマイサキ				110.3	1,928.2					330.2	6.0						
86				インダイ	<i>Oplagnathus fasciatus</i>	インダイ																	
87				メジナ	<i>Girella punctata</i>	メジナ																	
88				イボダイ	<i>Hyperocheilus japonica</i>	メダイ																	
89					<i>Psenopsis anomala</i>	イボダイ																	
90				スズキ目	ゲンゲ	ゲンゲ	<i>Zoarchias neglectus</i>	コモンイトギンボ															
91							<i>Eugrammus hexagrammus</i>	ムスジガジ															
92							ニシキギンボ	<i>Pholis nebrose</i>	ギンボ														
93							ハタハタ	<i>Arctoscopus japonicus</i>	ハタハタ														
94							イカナゴ	<i>Ammodytes personatus</i>	イカナゴ														
95							イソギンボ	<i>Ombraichthys fasciolocephalus</i>	トサカギンボ														
96								<i>Ombraichthys punctatus</i>	イダテンギンボ														
97								<i>Ombraichthys sp.</i>	ナベカ属の1種														
98							ネズミゴチ	<i>Rapomuscus curvirostris</i>	ネズミゴチ														
99							ハゼ	<i>Leucopsaron petersii</i>	シロウオ														
100								<i>Luciogobius guttatus</i>	ミズハゼ														
101								<i>Chaenogobius annularis</i>	アゴハゼ														
102								<i>Chaenichthys fulvous</i>	ドロメ														
103								<i>Gymnogobius petschilensis</i>	スミウキゴリ														
104								<i>Gymnogobius urotaenia</i>	ウキゴリ														
105	<i>Gymnogobius sp.</i>	ウキゴリ属の1種(ウキゴリ類幼)																					
106	<i>Gymnogobius heptacanthus</i>	ニクハゼ																					
107	<i>Gymnogobius breunigii</i>	ビリンゴ																					
108	<i>Gymnogobius taranetzi</i>	シンジコハゼ																					
109	<i>Glossogobius olivaceus</i>	ウロハゼ												33.8									
110	<i>Acanthogobius flavimanus</i>	マハゼ								68.3	109.9				5.1		53.1			759.6			
111	<i>Acanthogobius lactipes</i>	アシシロハゼ							0.9	1.6	1.6	4.6											
112	<i>Favonigobius gymnauchen</i>	ヒメハゼ																					
113	<i>Mugilogobius abei</i>	アベハゼ																					
114	<i>Acentrogobius pflaumii</i>	スジハゼ																					
115	<i>Rhinogobius giurinus</i>	ゴクラクハゼ																					
116	<i>Tridentiger trigonoccephalus</i>	アカオビシマハゼ																					
117	<i>Tridentiger bifasciatus</i>	シモアジシマハゼ							10.1	179.7		1.7											
118	<i>Tridentiger brevispinis</i>	ヌマチチブ								6.0													
119	<i>Tridentiger obscurus</i>	チチブ																					
120	アイゴ	<i>Siganus fuscescens</i>	アイゴ																				
121	カマス	<i>Solyraena pinus</i>	アカカマス																				
122	サバ	<i>Scomber japonicus</i>	マサバ																				
123	タイワンドジョウ	<i>Channa argus</i>	カムルチー																				

番号	綱	目	科	種名	調査地点 調査年 調査月	宍道湖東岸沖														
						平成22年														
						1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
124	カレイ目	ヒラメ	<i>Paralichthys olivaceus</i>	ヒラメ							222.7									
125			<i>Kareius bicoloratus</i>	イシガレイ																
126			<i>Pleuronectes yokohamae</i>	マコガレイ																
127			<i>Pseudoesopis japonica</i>	セトウシノシタ																
128		<i>Cynoglossus joyneri</i>	アカシタビラメ																	
129		フグ目	カワハギ	<i>Rudius erodes</i>	アミメハギ															
130				<i>Thamiascus modestus</i>	ウマヅラハギ															
131				<i>Steganoptis cirrhifer</i>	カワハギ															
132			ハコフグ	<i>Ostracion immaculatus</i>	ハコフグ															
133				<i>Takifugu pardalis</i>	ヒガンフグ				125.0	37.3										
134			<i>Takifugu poecilometus</i>	コモンフグ																
135			<i>Takifugu stictionotus</i>	ゴマフグ																
136			<i>Takifugu niphobles</i>	クサフグ																
137			<i>Takifugu rubripes</i>	トラフグ																
138			<i>Lagocephalus wheeleri</i>	シロサハフグ																
139			<i>Diodon holocanthus</i>	ハリセンボン																
140			甲殻類	アミ目	<i>Neomysis japonica</i>	ニホンイサザアミ														
141				エビ目	クルマエビ	<i>Panaeus japonicus</i>	クルマエビ													
142						<i>Panaeus semisulcatus</i>	クマエビ													
143	<i>Metapanaeus ensis</i>					ヨシエビ										615.0				
144	サクラエビ	<i>Acetes japonicus</i>			アキアミ															
145	ヌマエビ	<i>Paratya compressa</i>			ミナミヌマエビ															
146	テナガエビ	<i>Palaemon paucidens</i>			スジエビ															
147		<i>Palaemon macrodactylus</i>			ユビナガスジエビ															
148		<i>Palaemon serrifer</i>			スジエビモドキ															
149		<i>Palaemon ortmanni</i>			アシナガスジエビ															
150		<i>Palaemon orientis</i>			シラタエビ															
151		<i>Macrobrachium nipponense</i>			テナガエビ															
152	テッポウエビ	<i>Abheus brevicristatus</i>			テッポウエビ															
153	エビジャコ	<i>Orangex affinis</i>			エビジャコ															
154	アメリカザリガニ	<i>Procambarus clarkii</i>			アメリカザリガニ															
155	ヒシガニ	<i>Platyambus valletus</i>			ヒシガニ															
156	コブシガニ	<i>Philyra pisum</i>			マメコブシガニ															
157	ガザミ	<i>Portunus trituberculatus</i>			ガザミ															
158		<i>Poturus pelagicus</i>			タイワンガザミ															
159		<i>Charybdis (Charybdis) japonica</i>		イシガニ																
160	イワガニ	<i>Eriocheir japonicus</i>		モクズガニ						103.5										
161		<i>Hemigrapsus penicillatus</i>		タカノケフサイソガニ																
162	ヤドカリ	<i>Dardanus asperus</i>		アカボシヤドカリ																
163	ホンヤドカリ	<i>Pagurus dubius</i>		ユビナガホンヤドカリ																
164	軟体動物	新腹足目		<i>Reticunassa festiva</i>	アラムシロ															
165		アツキガイ		<i>Rapana venosa</i>	アカニシ															
166	盤足目	タマガイ		<i>Glossaulax didyma</i>	ツメタガイ															
167	基眼目	モノアラガイ		<i>Limnæa auricularia</i>	モノアラガイ															
168	コウイカ目	コウイカ		<i>Sepia (Acanthosepion) lycides Gray</i>	カミナリイカ															
169				<i>Sepia (Platysepia) esculenta</i>	コウイカ															
170			<i>Sepia (Doroteopion) habiensis</i>	ヒメコウイカ																
171		ダンゴイカ	<i>Euprymna morsei</i>	ミミイカ																
172			<i>Euprymna berryi</i>	ニヨリミイカ																
173		アカイカ	<i>Tadarodes pacificus</i>	スルメイカ																
174		ヤリイカ	<i>Sepioteuthis lessoniana</i>	アオリイカ																
175			<i>Lololus (Nipponololus) japonica</i>	ジンドウイカ																
176		八腕形目	マダコ	<i>Octopus vulgaris</i>	マダコ															
177				<i>Octopus ocellatus</i>	イイダコ															
総種類数							8.0	22.0	19.0	15.0	9.0	10.0	11.0	18.0		16.0				
個体数							1,768.7	88,037.6	111,927.9	83,570.5	156,758.8	167,409.4	86,483.9	26,837.1		69,994.0				

番号	綱	目	科	種名	調査地点 調査年 調査月	大海崎町沖												大海崎町沖												
						平成18年												平成19年												
						1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
65	スズキ目	スズキ	スズキ	<i>Lateolabrax japonicus</i>	スズキ			2,456.7	5,501.9	1,729.3	467.6	531.7	2,002.2	812.5	1,069.6	291.3	676.0	462.2	419.0	629.1		230.1		6,654.5		1,713.2		190.1		
66				<i>Lateolabrax latus</i>	ヒラスズキ											217.0	402.2	278.8											75.7	
67				ハタ	<i>Epiplatys akaara</i>	キジハタ																								
68				サンフィッシュ	<i>Lepomis macrochirus</i>	ブルーギル																							14.1	
69					<i>Micropterus salmoides</i>	ブラックバス																							51.0	
70				テンジクダイ	<i>Arogon semilineatus</i>	ネンブツダイ																								
71					<i>Arogon lineatus</i>	テンジクダイ																								
72				アジ	<i>Seriola quinqueradiata</i>	ブリ																								
73					<i>Seriola dumerli</i>	カンパチ																								
74					<i>Trachurus japonicus</i>	マアジ						29.0		494.8																
75					<i>Decapterus maruodai</i>	マルアジ																		1.3		151.0		10.4		
76				ヒイラギ	<i>Leiognathus nuchalis</i>	ヒイラギ					37.8												1.6		6.9		329.2			
77				クロサギ	<i>Gerris equinus</i>	クロサギ																							75.4	
78				イサキ	<i>Plectrohinchus cinctus</i>	コショウダイ																								
79				タイ	<i>Fagus major</i>	マダイ																								
80					<i>Sparus sarba</i>	ヘダイ																								
81					<i>Acanthopagrus schlegelii</i>	クロダイ																								
82				キス	<i>Silago japonica</i>	シロギス																					5.0			
83				ウミタナゴ	<i>Ditrema viride</i>	アオタナゴ					114.4																			
84					<i>Ditrema temmincki</i>	ウミタナゴ																								
85				シマイサキ	<i>Rhynopelates oxyrinchus</i>	シマイサキ																								
86				インダイ	<i>Olegrathus fasciatus</i>	インダイ												6.8												
87				メジナ	<i>Girella punctata</i>	メジナ																								
88				イボダイ	<i>Hyperoglyphe japonica</i>	メダイ																								
89					<i>Psenopsis anomala</i>	イボダイ																								
90				スズキ目	ゲンゲ	<i>Zaorchias neglectus</i>	コモンイトギンボ																							
91						タウエガジ	<i>Eugrammus hexagrammus</i>	ムスジガジ																						
92						ニシキギンボ	<i>Pholis nebrose</i>	ギンボ																						
93						ハタハタ	<i>Arctoscopus japonicus</i>	ハタハタ																						
94						イカナゴ	<i>Ammodytes personatus</i>	イカナゴ																						
95	イソギンボ	<i>Omobranchius fasciolocephalus</i>	トサカギンボ																											
96		<i>Omobranchius punctatus</i>	イダテンギンボ																											
97		<i>Omobranchius sp.</i>	ナベカ属の1種																											
98	ネズツボ	<i>Ripomucenus curvicornis</i>	ネズミゴチ																											
99	ハゼ	<i>Leucoposaron petersii</i>	シロウオ																		0.6									
100		<i>Luciogobius guttatus</i>	ミズハゼ																											
101		<i>Chaenogobius annularis</i>	アゴハゼ						4.5												1.9									
102		<i>Chasmichthys gulonius</i>	ドロメ																											
103		<i>Gymnogobius petachilensis</i>	スミウキゴリ						9.5																					
104		<i>Gymnogobius urotaenia</i>	ウキゴリ																											
105		<i>Gymnogobius sp.</i>	ウキゴリ属の1種(ウキゴリ類幼魚)								307.6											64.9								
106		<i>Gymnogobius heptacanthus</i>	ニクハゼ								3.5	2.9	176.9								1.4	4.8				24.9				
107		<i>Gymnogobius breunigii</i>	ピリンゴ						6.0		2.2		1,152.9	19.1	425.5						3.1	2.2	369.9			150.5				
108		<i>Gymnogobius taranetzii</i>	シンジコハゼ																											
109		<i>Glossogobius olivaceus</i>	ウロハゼ								69.4	104.2	159.3	57.5	94.8	2.2						7.8	298.5		138.5	19.5				
110		<i>Acanthogobius flavimanus</i>	マハゼ						736.8	677.1	314.4		191.9	1,517.9	21,570.0	835.9	195.4	1,041.8	1,186.1	1,080.7	3,594.1	56.5	31.8	10.6	665.4	1,551.5	438.7			
111		<i>Acanthogobius lactipes</i>	アジシロハゼ								6.7	1.9										10.6								
112		<i>Favonigobius gymnauchen</i>	ヒメハゼ																											
113		<i>Mupilogobius abei</i>	アベハゼ																											
114		<i>Acanthogobius pflaumi</i>	スジハゼ								4.5											0.3				1.9				
115		<i>Rhinogobius giurinus</i>	ゴクラクハゼ																											
116		<i>Tridentiger trigonocephalus</i>	アカオビシマハゼ																											
117		<i>Tridentiger bifasciatus</i>	シモフリシマハゼ								21.6	31.0		24.1	2.3	5.0					6.1	254.0		35.2	81.7	7.2				
118		<i>Tridentiger brevispinis</i>	ヌマチチブ																											
119	<i>Tridentiger obscurus</i>	チチブ								25.6				14.4																
120	アイゴ	<i>Siganus fuscocens</i>	アイゴ																											
121	カマス	<i>Sahydraena pinguis</i>	アカカマス																											
122	サバ	<i>Scomber japonicus</i>	マサバ																											
123	タイワンドジョウ	<i>Channa argus</i>	カムルチー																											

番号	綱	目	科	種名	調査地点 調査年 調査月	大海崎町沖																		
						平成22年																		
						1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月							
65	スズキ目	スズキ	スズキ	<i>Lateolabrax japonicus</i>	スズキ		5,592.4		17,825.3	976.1	620.6	1,541.1	3,878.6	1,028.5	1,941.8		523.4							
66				<i>Lateolabrax latus</i>	ヒラスズキ				540.8	191.1				690.0	154.7	114.0								
67				ハタ	<i>Epinephelus akaara</i>	キジハタ																		
68				サンフィッシュ	<i>Lepomis macrochirus</i>	ブルーギル																		
69					<i>Micropterus salmoides</i>	ブラックバス																		
70				テンジクダイ	<i>Auogon semilineatus</i>	ネンブツダイ																		
71					<i>Auogon lineatus</i>	テンジクダイ																		
72				アジ	<i>Seriola quinqueradiata</i>	ブリ																		
73					<i>Seriola dumerli</i>	カンバチ																		
74					<i>Trachurus japonicus</i>	マアジ							38.1	6,550.0	367.3			582.8		30.7				
75					<i>Decapterus maruodai</i>	マルアジ																		
76				ヒイラギ	<i>Leiognathus nuchalis</i>	ヒイラギ				10.4							673.0	41.1						
77				クロサギ	<i>Gerris equulus</i>	クロサギ														4.5				
78				イサキ	<i>Plectorhynchus cinctus</i>	コショウダイ																		
79				タイ	<i>Fagus major</i>	マダイ																		
80					<i>Sparus sarba</i>	ヘダイ								438.5										
81					<i>Acanthopagrus schlegelii</i>	クロダイ								6.1	81.7	112.3								
82				キス	<i>Silago japonica</i>	シロギス																		
83				ウミタナゴ	<i>Ditrema viride</i>	アオタナゴ									17.1									
84					<i>Ditrema temmincki</i>	ウミタナゴ																		
85				シマイサキ	<i>Rhynchoplates oxyrinchus</i>	シマイサキ					83.9	438.5				368.1	13.2			1.9				
86				インダイ	<i>Oleogathus fasciatus</i>	インダイ																		
87				メジナ	<i>Girella punctata</i>	メジナ														438.5				
88				イボダイ	<i>Hyporhamphys japonica</i>	メダイ																		
89					<i>Psenopsis anomala</i>	イボダイ																		
90				スズキ目	ゲンゲ	ゲンゲ	<i>Zaorchias neglectus</i>	コモンイトギンボ																
91							<i>Eugrammus hexagrammus</i>	ムスジガジ																
92							ニシキギンボ	<i>Pholis nebrose</i>	ギンボ					2.2										
93							ハタハタ	<i>Arctoscopus japonicus</i>	ハタハタ															
94							イカナゴ	<i>Ammodytes personatus</i>	イカナゴ															
95							イソギンボ	<i>Ombrebranchius fasciolocephalus</i>	トサカギンボ															
96								<i>Ombrebranchius punctatus</i>	イダテンギンボ															
97								<i>Ombrebranchius sp.</i>	ナベカ属の1種															
98							ネズツボ	<i>Ripomacrus curvicaornis</i>	ネズミゴチ															
99							ハゼ	<i>Leucoposaron petersii</i>	シロウオ															
100								<i>Luciogobius guttatus</i>	ミミズハゼ															
101								<i>Chaenogobius annularis</i>	アゴハゼ															
102								<i>Chasmichthys fulvous</i>	ドロメ															
103	<i>Gymnogobius petachilensis</i>	スマウキゴリ																						
104	<i>Gymnogobius urotaenia</i>	ウキゴリ																						
105	<i>Gymnogobius sp.</i>	ウキゴリ属の1種(ウキゴリ類幼魚)										0.2	176.1	0.4										
106	<i>Gymnogobius heptacanthus</i>	ニクハゼ							0.8	2.6	1.6	2.5	11.3	46.9	931.3	56.5								
107	<i>Gymnogobius breunigii</i>	ピリンゴ							5.5	2.8	2.2	71.0	10.0	253.6	28.4	8.1								
108	<i>Gymnogobius taranetzii</i>	シンジコハゼ																						
109	<i>Glossogobius olivaceus</i>	ウロハゼ											13.3	81.7	62.6	53.2	47.8				5.3			
110	<i>Acanthogobius flavimanus</i>	マハゼ							74.6	39.7		12.7	694.2	971.8	263.8	521.6					872.9			
111	<i>Acanthogobius lactipes</i>	アシシロハゼ								6.3	11.8	6.3												
112	<i>Favonigobius gymnauchen</i>	ヒメハゼ																						
113	<i>Mulligobius abei</i>	アベハゼ																						
114	<i>Acanthogobius pflaumi</i>	スジハゼ														1.0	1.2				1.4			
115	<i>Rhinogobius giurinus</i>	ゴクラクハゼ																						
116	<i>Tridentiger trigonocephalus</i>	アカオビシマハゼ																						
117	<i>Tridentiger bifasciatus</i>	シモフリシマハゼ							44.6	33.6	12.4	28.3	0.6	61.4	81.7					8.0				
118	<i>Tridentiger brevispinis</i>	ヌマチチブ																						
119	<i>Tridentiger obscurus</i>	チチブ									11.4	5.2		0.1	5.9									
120	アイゴ	<i>Siganus fuscescens</i>	アイゴ													35.5								
121	カマス	<i>Sahyraena pinguis</i>	アカカマス																26.2					
122	サバ	<i>Scomber japonicus</i>	マサバ																					
123	タイワンドジョウ	<i>Channa argus</i>	カムルチー																					

番号	綱	目	科	種名	調査地点 調査年 調査月	長海町 (NH-1)												長海町 (NH-1)											
						平成19年												平成20年											
						1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1		エイ目	アカエイ	<i>Dasatis alata</i>	カワヤツメ																								
2				<i>Dasatis alata</i>	アカエイ					5,322.7		12,000.0																	
3				<i>Gymura japonica</i>	ツバクロエイ																								
4		ウナギ目	ウナギ	<i>Anguilla japonica</i>	ウナギ					194.9																			
5				<i>Ophichthus macrorhynchus</i>	ダイナンウミヘビ																								
6				<i>Pseudonophis zophistius</i>	ホタテウミヘビ																								
7				<i>Gonger myriaster</i>	マアナゴ																								
8		ニシン目	ニシン	<i>Etrumeus teres</i>	ウルメイワシ																								
9				<i>Sardinops melanostictus</i>	マイワシ																								
10				<i>Sardinella aurasi</i>	サツバ					1,415.7		1,692.9																	
11				<i>Olapea pallasi</i>	ニシン																								
12				<i>Konosirus punctatus</i>	コノシロ																								
13				<i>Egragulus japonicus</i>	カタクチイワシ	679.9	101.1	33.7					180.5																
14		コイ目	コイ	<i>Oxyrinus carpio</i>	コイ																								
15				<i>Carassius cuvieri</i>	ゲンゴロウブナ																								
16				<i>Carassius auratus langsdorffi</i>	ギンブナ																								
17				<i>Carassius sp.</i>	フナ属(フナ類の幼魚)																								
18				<i>Tanaka lanceolata</i>	ヤリタナゴ																								
19				<i>Acheilognathus tabra jordani</i>	ミナミアカヒレタビラ																								
20				<i>Rhodeus ocellatus ocellatus</i>	タイリクバラタナゴ																								
21				<i>Ichikauis steenackeri</i>	ワタカ																								
22				<i>Ossariichthys uncinostrius uncinostrius</i>	ハス																								
23				<i>Zacco platypus</i>	オイカワ																								
24				<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ																								
25				<i>Pseudorasbora parva</i>	モツゴ																								
26				<i>Sarcocheilichthys variegatus variegatus</i>	カワヒガイ																								
27				<i>Gnathopogon caeruleus</i>	ホンモロコ																								
28				<i>Pseudogobio esocinus esocinus</i>	カマツカ																								
29				<i>Squalius gracilis gracilis</i>	イトモロコ																								
30				<i>Squalius charakaensis subsp.</i>	コウライモロコ																								
31		ナマズ目	ナマズ	<i>Silurus asotus</i>	ナマズ																								
32				<i>Plecotus lineatus</i>	ゴンズイ																								
33		サケ目	キュウリウオ	<i>Hypomesus transpacificus nipponensis</i>	ワカサギ																								
34				<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>	アユ																								
35				<i>Salangichthys microdon</i>	シラウオ																								
36				<i>Oncorhynchus keta</i>	サケ																								
37				<i>Oncorhynchus masou masou</i>	サクラマス																								
38				<i>Oncorhynchus masou ishikawae</i>	サツキマス																								
39		ヒメ目	エソ	<i>Saurida elongata</i>	トカゲエソ																								
40		トゲウオ目	トゲウオ	<i>Gasterosteus aculeatus aculeatus</i>	イトヨ																								
41				<i>Syngnathus schlegelii</i>	ヨウジウオ																								
42				<i>Hippichthys periclitus</i>	ガンテンイシヨウジ																								
43				<i>Hippocampus kuda</i>	サンゴタツ																								
44		ボラ目	ボラ	<i>Chelon affinis</i>	セスジボラ																								
45				<i>Muji cephalus cephalus</i>	ボラ																								
46				<i>Chelon haematocheilus</i>	メナダ																								
47		トウゴロウイワシ目	トウゴロウイワシ	<i>Hypoatherina valenciennesi</i>	トウゴロウイワシ																								
48		ダツ目	サヨリ	<i>Hyporhamphus sajoi</i>	サヨリ																								
49				<i>Hyporhamphus intermedius</i>	クルマサヨリ																								
50				<i>Strongylura anastomella</i>	ダツ																								
51		カサゴ目	フサカサゴ	<i>Sebastes tertius</i>	ウツカリカサゴ																								
52				<i>Sebastes inermis</i>	メバル																								
53				<i>Sebastes schlegelii</i>	クロソイ																								
54				<i>Sebastes pauciceps pauciceps</i>	ムラソイ																								
55				<i>Sebastes pauciceps rufus</i>	オウゴンムラソイ																								
56				<i>Inimicus japonicus</i>	オニオコゼ																								
57				<i>Hypodytes rubripinnis</i>	ハオコゼ																								
58				<i>Chelidonichthys spinosus</i>	ホウボウ																								
59				<i>Platycephalus sp. 2</i>	マゴチ																								
60				<i>Hexagrammos agrammus</i>	クジメ																								
61				<i>Hexagrammos otakii</i>	アイナメ																								
62				<i>Gottus kaka</i>	カマキリ																								
63				<i>Gottus pollux</i>	カジカ																								
64				<i>Liparis ovstoni</i>	クサウオ																								

番号	綱	目	科	種名	調査地点 調査年 調査月	長海町 (NH-1)												長海町 (NH-1)																	
						平成19年												平成20年																	
						1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月						
65	スズキ目	スズキ	スズキ	<i>Lateolabrax japonicus</i>	スズキ	32,600.0	40.8	1,738.9		317.9		306.0			489.6			942.3			898.6	2,461.6	97.3	1,857.5	247.4	300.6	320.3	882.2							
66					<i>Lateolabrax latus</i>	ヒラスズキ																													
67					ハタ	<i>Epinephelus akaara</i>	キジハタ																												
68					サンフィッシュ	<i>Lepomis macrochirus</i>	ブルーギル																												
69						<i>Micropterus salmoides</i>	ブラックバス																												
70					テンジクダイ	<i>Arogon senilneatus</i>	ネンブツダイ																												
71						<i>Arogon lineatus</i>	テンジクダイ																												
72					アジ	<i>Seriola quinqueradiata</i>	ブリ																												
73						<i>Seriola dumerli</i>	カンパチ																												
74						<i>Trachurus japonicus</i>	マアジ		81.4									17.4							16.9	832.0	523.0		209.4	577.3					
75						<i>Decapterus maruadai</i>	マルアジ																												
76					ヒイラギ	<i>Leiognathus nuchalis</i>	ヒイラギ					2.3		16.9			127.8			18.5				197.4	91.2	18.4	145.1	15.7	226.9	191.8					
77					クロサギ	<i>Gerrus equulus</i>	クロサギ																												
78					イサキ	<i>Plectorhynchus cinctus</i>	コシヨウダイ																												
79					タイ	<i>Fagus major</i>	マダイ																												
80						<i>Sparus sarba</i>	ヘダイ																												
81						<i>Acanthopagrus schlegelii</i>	クロダイ																												
82					キス	<i>Sillago japonica</i>	シロギス																												
83					ウミタナゴ	<i>Ditrema viride</i>	アオタナゴ																												
84						<i>Ditrema temmincki</i>	ウミタナゴ																												
85					シマイサキ	<i>Rhynopelates oxyrinchus</i>	シマイサキ																												
86					インダイ	<i>Olegrathus fasciatus</i>	インダイ																												
87					メジナ	<i>Girella punctata</i>	メジナ																												
88					イボダイ	<i>Hyperoglyphe japonica</i>	メダイ																												
89						<i>Pisces anomala</i>	イボダイ																												
90				スズキ目	ゲンゲ	ゲンゲ	<i>Zaorchias neglectus</i>	コモンイトギンボ																											
91								タウエガジ	<i>Eugrammus hexagrammus</i>	ムスジガジ	20.6																								
92								ニシキギンボ	<i>Pholis nebroea</i>	ギンボ																									
93								ハタハタ	<i>Arctoscopus japonicus</i>	ハタハタ																									
94								イカナゴ	<i>Ammodytes personatus</i>	イカナゴ																									
95								イソギンボ	<i>Ombbranchius fascioloceps</i>	トサカギンボ																									
96									<i>Ombbranchius punctatus</i>	イダテンギンボ																									
97									<i>Ombbranchius sp.</i>	ナベカ属の1種																									
98								ネズツボ	<i>Ripomucerus curvicensis</i>	ネズミゴチ																									
99								ハゼ	<i>Leucoparion petersii</i>	シロウオ																									
100									<i>Luciogobius guttatus</i>	ミズハゼ																									
101									<i>Ohaenogobius annularis</i>	アゴハゼ																									
102									<i>Chasmichthys fulvous</i>	ドロメ																									
103									<i>Gymnogobius petaschilensis</i>	スミウキゴリ																									
104			<i>Gymnogobius urotaenia</i>				ウキゴリ																												
105			<i>Gymnogobius sp.</i>				ウキゴリ属の1種(ウキゴリ類幼魚)																												
106			<i>Gymnogobius heptacanthus</i>				ニクハゼ																												
107			<i>Gymnogobius breunigii</i>				ビリンゴ			3.3																									
108			<i>Gymnogobius sarnetzi</i>				シンジコハゼ																												
109			<i>Glossogobius olivaceus</i>				ウロハゼ								30.8		48.2							36.1		79.1	166.7								
110			<i>Acanthogobius flavimanus</i>				マハゼ		4,935.2	1,764.5	335.9		10.2		5.7		179.2			1,656.7				15.6	52.3		44.6	164.6	16.5	62.2					
111			<i>Acanthogobius lactipes</i>				アシシロハゼ																												
112			<i>Favonigobius gymnauchen</i>				ヒメハゼ																												
113			<i>Mugilogobius abei</i>				アベハゼ																												
114			<i>Acanthogobius pflaumii</i>				スジハゼ																												
115			<i>Rhinogobius giurinus</i>				ゴクラクハゼ																												
116			<i>Tridentiger trigonocephalus</i>				アカオビシマハゼ																												
117			<i>Tridentiger bifasciatus</i>				シモフリシマハゼ						4.5		12.7								14.7	33.4	12.2		4.5								
118			<i>Tridentiger brevispinis</i>				ヌマチチブ																												
119			<i>Tridentiger obscurus</i>				チチブ																												
120		アイゴ	<i>Siganus fuscescens</i>				アイゴ																												
121		カマス	<i>Sahydraena pinguis</i>				アカカマス																							662.1	277.6				
122		サバ	<i>Scomber japonicus</i>				マサバ																												
123		タイワンドジョウ	<i>Channa argus</i>				カムルチー																												

番号	綱	目	科	種名	調査地点 調査年 調査月	長海町(NH-1)												長海町(NH-1)																
						平成21年												平成22年																
						1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月					
65	スズキ目	スズキ	スズキ	<i>Lateolabrax japonicus</i>	スズキ	66.3		81.4		634.4	108.9	641.7	561.7	366.0	52.0		135.3		356.6		3,096.3	1,755.6	4.3	328.0	444.5	189.7	118.5		2,488.5					
66				<i>Lateolabrax latus</i>	ヒラスズキ											950.4	326.5		95.1							156.6				167.5				
67				ハタ	<i>Epiplatys akaara</i>	キジハタ																												
68				サンフィッシュ	<i>Lepomis macrochirus</i>	ブルーギル																												
69				テンジクダイ	<i>Micropterus salmoides</i>	ブラックバス																												
70					<i>Apogon semilineatus</i>	ネンブツダイ																												
71					<i>Apogon lineatus</i>	テンジクダイ									20.2	7.4												14.3						
72				アジ	<i>Seriola quinqueradiata</i>	ブリ																												
73					<i>Seriola dumerli</i>	カンパチ																												
74					<i>Trachurus japonicus</i>	マアジ																												
75					<i>Decapterus maruodai</i>	マルアジ																						3.5	4,864.3	435.7	17.9	5.1	80.0	
76				ヒイラギ	<i>Leiognathus nuchalis</i>	ヒイラギ																												
77				クロサギ	<i>Gerrus equulus</i>	クロサギ																												
78				イサキ	<i>Plectorhynchus cinctus</i>	コショウダイ																												
79				タイ	<i>Fagus major</i>	マダイ																												
80					<i>Sparus sarba</i>	ヘダイ																												
81					<i>Acanthopagrus schiegeleri</i>	クロダイ																												
82				キス	<i>Sillago japonica</i>	シロギス																												
83				ウミタナゴ	<i>Ditrema viride</i>	アオタナゴ																												
84					<i>Ditrema temminckii</i>	ウミタナゴ																												
85				シマイサキ	<i>Rhynchoplates oxyrhynchus</i>	シマイサキ																												
86				インダイ	<i>Olegnathus fasciatus</i>	インダイ																												
87				メジナ	<i>Girella punctata</i>	メジナ																												
88				イボダイ	<i>Hyperoglyphe japonica</i>	メダイ																												
89					<i>Pisces anomala</i>	イボダイ																												
90				スズキ目	ゲンゲ	<i>Zaorchias neglectus</i>	コモンイトギンボ																											
91						タウエガジ	<i>Eugrammus hexagrammus</i>	ムスジガジ																										
92						ニシキギンボ	<i>Pholis nebrose</i>	ギンボ																										
93						ハタハタ	<i>Arctoscopus japonicus</i>	ハタハタ																										
94						イカナゴ	<i>Ammodytes personatus</i>	イカナゴ																										
95						イソギンボ	<i>Ombbranchius fascioloceps</i>	トサカギンボ																										
96							<i>Ombbranchius punctatus</i>	イダテンギンボ																										
97							<i>Ombbranchius sp.</i>	ナベカ属の1種																										
98						ネズツボ	<i>Rapomiscus curvirostris</i>	ネズミゴチ																										
99						ハゼ	<i>Leucoparion petersii</i>	シロウオ																										
100							<i>Luciogobius guttatus</i>	ミズハゼ																										
101							<i>Ohaenogobius annularis</i>	アゴハゼ																										
102							<i>Chasmichthys gulosus</i>	ドロメ																										
103							<i>Gymnogobius petaschleris</i>	スミウキゴリ																										
104							<i>Gymnogobius urotaenia</i>	ウキゴリ																										
105	<i>Gymnogobius sp.</i>	ウキゴリ属の1種(ウキゴリ類幼魚)																																
106	<i>Gymnogobius heptacanthus</i>	ニクハゼ																																
107	<i>Gymnogobius breunigii</i>	ビリンゴ																																
108	<i>Gymnogobius taranetzii</i>	シンジコハゼ																																
109	<i>Glossogobius olivaceus</i>	ウロハゼ																																
110	<i>Acanthogobius flavimanus</i>	マハゼ																																
111	<i>Acanthogobius lactipes</i>	アシシロハゼ																																
112	<i>Favonigobius gymnauchen</i>	ヒメハゼ																																
113	<i>Mugilogobius abei</i>	アベハゼ																																
114	<i>Acanthogobius pflaumii</i>	スジハゼ																																
115	<i>Rhinogobius giurinus</i>	ゴクラクハゼ																																
116	<i>Tridentiger trigonocephalus</i>	アカオビシマハゼ																																
117	<i>Tridentiger bifasciatus</i>	シモフリシマハゼ																																
118	<i>Tridentiger brevispinis</i>	ヌマチチブ																																
119	<i>Tridentiger obscurus</i>	チチブ																																
120	アイゴ	<i>Siganus fuscescens</i>	アイゴ																															
121	カマス	<i>Sahydraena pinguis</i>	アカカマス																															
122	サバ	<i>Scomber japonicus</i>	マサバ																															
123	タイワンドジョウ	<i>Channa argus</i>	カムルチー																															

番号	綱	目	科	種名	調査地点 調査年 調査月	長海町(NH-1)												長海町(NH-1)											
						平成21年												平成22年											
						1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
124	カレイ目	ヒラメ	<i>Paralichthys olivaceus</i>	ヒラメ																									
125		カレイ	<i>Kareius bicoloratus</i>	インガレイ							26.1	29.0																	
126			<i>Pleuronectes yokohamae</i>	マコガレイ																									
127		ササウシノシタ	<i>Pseudoscopia japonica</i>	セトウシノシタ																									
128		ウシノシタ	<i>Cynogobius joyneri</i>	アカシタビラメ																									
129		フグ目	カワハギ	<i>Roderus erodes</i>	アミハギ																								
130				<i>Thamnaconus modestus</i>	ウマヅラハギ																								
131				<i>Stephanolepis cirrifer</i>	カワハギ																								
132			ハコフグ	<i>Ostracion immaculatus</i>	ハコフグ																								
133			フグ	<i>Takifugu pardalis</i>	ヒガンフグ																								
134				<i>Takifugu poecilonotus</i>	コモンフグ																								
135				<i>Takifugu stictonotus</i>	ゴマフグ																								
136				<i>Takifugu niphobles</i>	クサフグ																								
137			<i>Takifugu rubripes</i>	トラフグ																									
138			<i>Lagocephalus wheeleri</i>	シロサハフグ																									
139			<i>Diodon holocanthus</i>	ハリセンボン																									
140	甲殻類		アミ目	<i>Neomysis japonica</i>	ニホンイサザアミ																								
141	エビ目		クルマエビ	<i>Penaeus japonicus</i>	クルマエビ																								
142			<i>Penaeus semisulcatus</i>	クマエビ																									
143			<i>Metapenaeus ensis</i>	ヨシエビ																									
144		サクラエビ	<i>Acetes japonicus</i>	アキアミ																									
145		ヌマエビ	<i>Paratya compressa</i>	ミナミヌマエビ																									
146		テナガエビ	<i>Palaemon paucidentis</i>	スジエビ																									
147			<i>Palaemon macrrodactylus</i>	ユビナガスジエビ																									
148			<i>Palaemon serrifer</i>	スジエビモドキ																									
149			<i>Palaemon ornansi</i>	アシナガスジエビ																									
150			<i>Palaemon orientis</i>	シラタエビ																									
151			<i>Macrobrachium nipponense</i>	テナガエビ																									
152		テッポウエビ	<i>Alpheus brevicristatus</i>	テッポウエビ																									
153		エビジャコ	<i>Orangon affinis</i>	エビジャコ																									
154		アメリカザリガニ	<i>Procambarus clarkii</i>	アメリカザリガニ																									
155		ヒシガニ	<i>Platylabus validus</i>	ヒシガニ																									
156		コブシガニ	<i>Philyra pisaum</i>	マメコブシガニ																									
157		ガザミ	<i>Portunus trituberculatus</i>	ガザミ																									
158			<i>Poturus pelagicus</i>	タイワンガザミ																									
159			<i>Charybdis (Charybdis) japonica</i>	インガニ																									
160		イワガニ	<i>Eriochelone japonica</i>	モクズガニ																									
161			<i>Hemigrapsus penicillatus</i>	タカノケフサイソガニ																									
162		ヤドカリ	<i>Dardanus asperus</i>	アカボシヤドカリ																									
163			<i>Pagurus dubius</i>	ユビナガホンヤドカリ																									
164	軟体動物	新腹足目	<i>Reticunassa festiva</i>	アラムシロ																									
165			<i>Rapana venosa</i>	アカニシ																									
166	盤足目	タマガイ	<i>Glossaulax didyma</i>	ツメタガイ																									
167	基眼目	モノアラガイ	<i>Limnaea auricularia</i>	モノアラガイ																									
168	コウイカ目	コウイカ	<i>Sepia (Acanthosepion) lycidas Gray</i>	カミナリイカ																									
169			<i>Sepia (Platysepia) esculenta</i>	コウイカ																									
170			<i>Sepia (Doroteosipion) hobiensis</i>	ヒメコウイカ																									
171		ダンゴイカ	<i>Euprymna morsei</i>	ミミイカ																									
172			<i>Euprymna berryi</i>	ニヨリミミイカ																									
173			<i>Todarodes pacificus</i>	スルメイカ																									
174			<i>Sepioteuthis lessoniana</i>	アオリイカ																									
175			<i>Lololus (Nipponotololus) japonica</i>	ジンドウイカ																									
176		八腕形目	マダコ	<i>Octopus vulgaris</i>	マダコ																								
177				<i>Octopus ocellatus</i>	イイダコ																								
総種類数						4		2	2	6	18	16	14	10	11		8		7		6	6	17	25	17	17	11		10
個体数						1,167.0		784.2	23,776.0	6,450.7	7,173.9	5,622.7	9,913.8	20,779.6	8,044.9		716.0		1,934.5		17,759.0	3,470.5	712.2	9,808.7	6,513.8	3,312.5	4,788.2		4,864.1

番号	綱	目	科	種名	調査地点 調査年 調査月	森山橋付近 平成20年												森山橋付近 平成21年											
						1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1		エイ目	アカエイ	<i>Dasyatis akiei</i>	カワヤツメ																								
2				<i>Dasyatis akiei</i>	アカエイ					158.6			62.5	121.4	845.1														
3				<i>Gymnura japonica</i>	ツバクロエイ																								
4		ウナギ目	ウナギ	<i>Anguilla japonica</i>	ウナギ										252.8														
5				<i>Ophichthus macrochynchus</i>	ダイナンウミヘビ																								
6				<i>Pseudonophis zophistius</i>	ホタテウミヘビ													149.6				117.8							
7				<i>Conger myriaster</i>	マアナゴ																								
8		ニシン目	ニシン	<i>Etmopus teres</i>	ウルメイワシ							14.9								7.8	227.1								
9				<i>Sardinops melanostictus</i>	マイワシ																704.2			70.1					
10				<i>Sardinella zunasi</i>	サツバ	4.1			3,982.7	248.9	799.4	2,307.7	58.9	793.5	295.5		7.3			1,114.3	100.0	127.5	334.4	643.0					
11				<i>Olupea pallasi</i>	ニシン																			61.3					
12				<i>Konosius punctatus</i>	コノシロ				7,582.8	17,650.0	777.2		553.8	737.7	607.1	225.7				9,002.1	10,205.4	1,277.8	897.3	161.3					
13				<i>Engraulis japonicus</i>	カタクチイワシ	7.4				4.8	330.1	885.8	136.0		79.6	91.5		27.6		7.4	33.6	42.9	359.8	44.2					
14		コイ目	コイ	<i>Oprinus carpio</i>	コイ																								
15				<i>Carassius auratus</i>	ゲンゴロウブナ																								
16				<i>Carassius auratus langsdorfi</i>	ギンブナ																								
17				<i>Carassius sp.</i>	フナ属(フナ類の幼魚)																								
18				<i>Tanaka lanceolata</i>	ヤリタナゴ																								
19				<i>Acheilognathus tabra jordani</i>	ミナミアカヒレタビラ																								
20				<i>Rhodes ocellatus ocellatus</i>	タイリクバラタナゴ																								
21				<i>Bathilaus steenackeri</i>	ワタカ																								
22				<i>Opsariichthys unirostris unirostris</i>	ハス																								
23				<i>Zacco platypus</i>	オイカワ																								
24				<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ					397.3				3.4															
25				<i>Pseudorasbora parva</i>	モツゴ																								
26				<i>Sarcocheilichthys variegatus variegatus</i>	カワヒガイ																								
27				<i>Gnathopogon caeruleus</i>	ホンモロコ																								
28				<i>Pseudogobio esocinus esocinus</i>	カマツカ																								
29				<i>Squalius gracilis gracilis</i>	イトモロコ																								
30				<i>Squalius etanakaensis subsp.</i>	コウライモロコ																								
31		ナマズ目	ナマズ	<i>Silurus asotus</i>	ナマズ																								
32			ゴンズイ	<i>Plotosus lineatus</i>	ゴンズイ																								
33		サケ目	キュウリウオ	<i>Hypomeus transpacificus nipponensis</i>	ワカサギ																								
34			アユ	<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>	アユ																								
35			シラウオ	<i>Silurichthys microdon</i>	シラウオ					450.4										80.0	91.6	16.2							
36			サケ	<i>Oncorhynchus keta</i>	サケ																								
37				<i>Oncorhynchus masou masou</i>	サクラマス																								
38				<i>Oncorhynchus masou ishikawae</i>	サツキマス																								
39		ヒメ目	エソ	<i>Saurida elongata</i>	トカゲエソ																								
40		トゲウオ目	トゲウオ	<i>Gasterosteus aculeatus aculeatus</i>	イトヨ																								
41			ヨウジウオ	<i>Syngnathus schlegelii</i>	ヨウジウオ																								
42				<i>Hippichthys penicillatus</i>	ガンテンシシヨウジ																								
43				<i>Hippocampus kuda</i>	サンゴタツ																								
44		ボラ目	ボラ	<i>Ochelon affinis</i>	セスジボラ																								
45				<i>Mugil cephalus cephalus</i>	ボラ	746.0								22.0															
46				<i>Ochelon haematocheilus</i>	メナダ																								
47		トウゴロウイワシ目	トウゴロウイワシ	<i>Hypochoerichthys walenciovei</i>	トウゴロウイワシ						20.9	41.6																	
48		ダツ目	サヨリ	<i>Hyporhamphus sajoi</i>	サヨリ					62.4	84.4										9.0			11.8					
49				<i>Hyporhamphus intermedius</i>	クルマサヨリ																								
50			ダツ	<i>Strongylura anastomella</i>	ダツ																	412.4		230.7					
51		カサゴ目	フサカサゴ	<i>Sebastes tertius</i>	ウツカリカサゴ																								
52				<i>Sebastes inermis</i>	メバル																								
53				<i>Sebastes schlegelii</i>	クロソイ					985.3																			
54				<i>Sebastes pauciceps pauciceps</i>	ムラソイ																								
55				<i>Sebastes pauciceps nudus</i>	オウゴンムラソイ																								
56			オニオコゼ	<i>Bimicus japonicus</i>	オニオコゼ																								
57			ハオコゼ	<i>Hypodytes rubripinnis</i>	ハオコゼ																								
58			ホウボウ	<i>Ochelonicthys spinosus</i>	ホウボウ																								
59			コチ	<i>Platycephalus sp. 2</i>	マゴチ																								
60			アイナメ	<i>Hexagrammos agrannus</i>	クジメ																								
61				<i>Hexagrammos otalii</i>	アイナメ																								
62			カジカ	<i>Cottus kazika</i>	カマキリ																								
63				<i>Cottus polux</i>	カジカ																								
64			クサウオ	<i>Liparis owstoni</i>	クサウオ																								

番号	綱	目	科	種名	調査地点 調査年 調査月	遅江港沖 平成16年												遅江港沖 平成17年												
						1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
65		スズキ目	スズキ	<i>Lateolabrax japonicus</i>	スズキ	1,538.9	793.1	194.7	3,876.3	477.4	1,459.2	95.2	55.4	169.1	725.5	131.6	3,927.7	3,232.5			2,128.5			274.1	492.5	957.6	598.4	56.2	487.1	798.7
66				<i>Lateolabrax latius</i>	ヒラスズキ																				1,466.1		220.2	68.4		
67			ハタ	<i>Epiplatys akaara</i>	キジハタ																									
68			サンフィッシュ	<i>Lepomis macrochirus</i>	ブルーギル																									
69				<i>Micropodus salmoides</i>	ブラックバス																									
70			テンジクダイ	<i>Apogon semilineatus</i>	ネンブツダイ																									
71				<i>Apogon lineatus</i>	テンジクダイ																									
72			アジ	<i>Seriola quinqueradiata</i>	ブリ																									
73				<i>Seriola dumerli</i>	カンパチ																									
74				<i>Trachurus japonicus</i>	マアジ					1,309.2	359.3	758.6	512.2	3,180.6	1,319.1							176.0	3,438.5	4,160.0	1,475.4	2,880.4	314.8			
75				<i>Decapterus maruadsi</i>	マルアジ																									
76			ヒイラギ	<i>Leiognathus nuchalis</i>	ヒイラギ							9.6			137.6		28.4											84.4		
77			クロサギ	<i>Girex equinus</i>	クロサギ																									
78			イサキ	<i>Plectorhynchus cinctus</i>	コショウダイ																									
79			タイ	<i>Pagrus major</i>	マダイ																									
80				<i>Saurus saba</i>	ヘダイ																									
81				<i>Acanthopagrus schlegelii</i>	クロダイ																									
82			キス	<i>Sillago japonica</i>	シロギス																					32.7				
83			ウミタナゴ	<i>Ditrema viride</i>	アオタナゴ				5,814.2	1,486.0	3,308.4	1,441.0	195.5	1,944.4	150.7	2,947.0	361.5				129.6	3,614.1	1,745.2	1,115.6	1,142.9	465.6	43.0	888.0	1,205.4	
84				<i>Ditrema temmincki</i>	ウミタナゴ				605.2							46.3								995.7						
85			シマイサキ	<i>Rhyncopteres oxyrinchus</i>	シマイサキ									489.9																
86			インダイ	<i>Oplegnathus fasciatus</i>	インダイ																									
87			メジナ	<i>Girella punctata</i>	メジナ																							40.2		
88			イボダイ	<i>Heterostichus japonica</i>	メダイ																									
89				<i>Pseudoscia anomala</i>	イボダイ																									
90		スズキ目	ゲンゲ	<i>Zoarchas neglectus</i>	コモノイトギンボ																									
91			タウエガジ	<i>Egragmus hexagrammus</i>	ムスジガジ																									
92			ニシキギンボ	<i>Pholis nebrose</i>	ギンボ																									
93			ハタハタ	<i>Arctoscopus japonicus</i>	ハタハタ																									
94			イカナゴ	<i>Annodytes personatus</i>	イカナゴ																									
95			イソギンボ	<i>Ombraichthys fasciolatoceps</i>	トサカギンボ																									
96				<i>Ombraichthys punctatus</i>	イダチギンボ																									
97				<i>Ombraichthys sp.</i>	ナベカ属の1種																									
98			ネズミボ	<i>Raponiscus curvicaudis</i>	ネズミボ																									
99			ハゼ	<i>Leucophaea petenisi</i>	シロウオ																									
100				<i>Luciogobius guttatus</i>	ミズハゼ																									
101				<i>Chaenogobius annularis</i>	アゴハゼ																									
102				<i>Chasmichthys gulonius</i>	ドロメ																									
103				<i>Gymnogobius petschilensis</i>	スミウキゴリ																									
104				<i>Gymnogobius urotaenia</i>	ウキゴリ																									
105				<i>Gymnogobius sp.</i>	ウキゴリ属の1種(ウキゴリ類幼)																									
106				<i>Gymnogobius heptacanthus</i>	ニクハゼ																									
107				<i>Gymnogobius breunigi</i>	ピリンゴ																									
108				<i>Gymnogobius taranetzi</i>	シンジコハゼ																									
109				<i>Glossogobius olivaceus</i>	ウロハゼ																									
110				<i>Acanthogobius flavimemus</i>	マハゼ																									
111				<i>Acanthogobius lectipes</i>	アシシロハゼ																									
112				<i>Favonigobius gymnauchen</i>	ヒメハゼ																									
113				<i>Mugilogobius abei</i>	アベハゼ																									
114				<i>Acentrogobius pflaumii</i>	スジハゼ																									
115				<i>Rhinogobius giurus</i>	ゴクラクハゼ																									
116				<i>Tridentiger trigonoccephalus</i>	アカオビシマハゼ																									
117				<i>Tridentiger bifasciatus</i>	シモフリシマハゼ																									
118				<i>Tridentiger brevipinnis</i>	スマチチブ																									
119				<i>Tridentiger obscurus</i>	チチブ																									
120			アイゴ	<i>Siganus fuscicornis</i>	アイゴ																									
121			カマス	<i>Sphyræna pinguis</i>	アカカマス																					61.7	47.2			
122			サバ	<i>Scomber japonicus</i>	マサバ																									
123			タイワンジョウ	<i>Channa argus</i>	カムルチー																									

番号	綱	目	科	種名	調査地点 調査年 調査月	遅江港沖												遅江港沖											
						平成18年												平成19年											
						1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
65		スズキ目	スズキ	<i>Lateolabrax japonicus</i>	スズキ	435.8	1,600.6	823.0	762.8	2,290.1	1,212.8	376.4	3,298.7	1,889.9	1,001.7	1,053.9	1,632.7	2,243.1	876.9	1,355.5		179.6		561.3		86.2		1,349.0	
66				<i>Lateolabrax latius</i>	ヒラスズキ			451.3		604.1																	592.5		
67			ハタ	<i>Epiplatys akaara</i>	キジハタ																								
68			サンフィッシュ	<i>Lepomis macrochirus</i>	ブルーギル																								
69				<i>Micropterus salmoides</i>	ブラックバス																								
70			テンジクダイ	<i>Apogon semilineatus</i>	ネンブツダイ																								
71				<i>Apogon lineatus</i>	テンジクダイ																								
72			アジ	<i>Seriola quinqueradiata</i>	ブリ																								
73				<i>Seriola dumerilii</i>	カンパチ																								
74				<i>Trachurus japonicus</i>	マアジ				282.2	60.4	8,720.0		310.3	944.4	249.7								804.1		413.2				
75				<i>Decapterus maruadsi</i>	マルアジ																								
76			ヒイラギ	<i>Leiognathus nuchalis</i>	ヒイラギ				101.5	378.3	62.3		34.8								61.6		18.1		45.3				
77			クロサギ	<i>Girex equulus</i>	クロサギ																								
78			イサキ	<i>Plectorhynchus cinctus</i>	コショウダイ																								
79			タイ	<i>Pagrus major</i>	マダイ																								
80				<i>Saurus saba</i>	ヘダイ																			5.3					
81				<i>Acanthopagrus schlegelii</i>	クロダイ																								
82			キス	<i>Sillago japonica</i>	シロキス																								
83			ウミタナゴ	<i>Ditrema viride</i>	アオタナゴ				2,552.9	2,408.7	507.4	261.4		119.1	58.0								1,245.9			526.2			
84				<i>Ditrema temminckii</i>	ウミタナゴ																					89.1	52.1		
85			シマイサキ	<i>Rhyncopteres oxyrhynchus</i>	シマイサキ				735.8																				
86			インダイ	<i>Oplegnathus fasciatus</i>	インダイ																								
87			メジナ	<i>Girella punctata</i>	メジナ																								
88			イボダイ	<i>Heterostichus japonica</i>	メダイ																								
89				<i>Pleurostichus anomalus</i>	イボダイ																								
90		スズキ目	ゲンゲ	<i>Zoarchas neglectus</i>	コモソイトギンボ																								
91			タウエガジ	<i>Egragmus hexagrammus</i>	ムスジガジ																								
92			ニシキギンボ	<i>Pholis nebrosea</i>	ギンボ																								
93			ハタハタ	<i>Arctoscopus japonicus</i>	ハタハタ																								
94			イカナゴ	<i>Annodontes personatus</i>	イカナゴ																								
95			イソギンボ	<i>Ombraichthys fasciolatoceps</i>	トサカギンボ																								
96				<i>Ombraichthys punctatus</i>	イダチギンボ																								
97				<i>Ombraichthys sp.</i>	ナベカ属の1種																								
98			ネズミゴ	<i>Reponiscus curvicaudis</i>	ネズミゴチ																								
99			ハゼ	<i>Leucophaea petersii</i>	シロウオ																								
100				<i>Leucophaea guttatus</i>	ミズハゼ																								
101				<i>Chaenogobius annularis</i>	アゴハゼ																								
102				<i>Chaenichthys gulonius</i>	ドロメ																								
103				<i>Gymnogobius petchii</i>	スミウキゴリ																								
104				<i>Gymnogobius urotaenia</i>	ウキゴリ																								
105				<i>Gymnogobius sp.</i>	ウキゴリ属の1種(ウキゴリ類幼)																								
106				<i>Gymnogobius heptacanthus</i>	ニクハゼ																								
107				<i>Gymnogobius breunigi</i>	ピリンゴ																								
108				<i>Gymnogobius taranetzi</i>	シンジコハゼ																								
109				<i>Glossogobius olivaceus</i>	ウロハゼ																								
110				<i>Acanthogobius flavimemus</i>	マハゼ				45.5	37.4																			
111				<i>Acanthogobius lectipes</i>	アシシロハゼ																								
112				<i>Favonigobius gymnauchen</i>	ヒメハゼ																								
113				<i>Mugilogobius abei</i>	アベハゼ																								
114				<i>Acentrogobius pflaumii</i>	スジハゼ																								
115				<i>Rhinogobius giurus</i>	ゴクラクハゼ																								
116				<i>Tridentiger trigonoccephalus</i>	アカオビシマハゼ																								
117				<i>Tridentiger bifasciatus</i>	シモフリシマハゼ																								
118				<i>Tridentiger brevispinis</i>	スマチチブ																								
119				<i>Tridentiger obscurus</i>	チチブ																								
120			アイゴ	<i>Siganus fuscicornis</i>	アイゴ																								
121			カマス	<i>Sphyræna pinguis</i>	アカカマス																								
122			サバ	<i>Scomber japonicus</i>	マサバ																								
123			タイワンドジョウ	<i>Channa argus</i>	カムルチー																								

番号	綱	目	科	種名	調査地点 調査年 調査月	運江港沖 平成20年												運江港沖 平成21年															
						1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月				
						65	スズキ目	スズキ	<i>Lateolabrax japonicus</i>	スズキ		4,745.0			1,195.3	5,646.7	323.0	4.9	322.8	376.9	471.2	289.5	728.3			336.7			2,422.5			581.8	443.3
66			<i>Lateolabrax latius</i>	ヒラスズキ																								289.4	123.1		265.4		
67		ハタ	<i>Epiplatys akaara</i>	キジハタ																													
68		サンフィッシュ	<i>Lepomis macrochirus</i>	ブルーギル																													
69			<i>Micropterus salmoides</i>	ブラックバス																													
70		テンジクダイ	<i>Anagrus semilineatus</i>	ネンブツダイ																													
71			<i>Anagrus lineatus</i>	テンジクダイ																													
72		アジ	<i>Seriola quinqueradiata</i>	ブリ																													
73			<i>Seriola dumerli</i>	カンパチ																													
74			<i>Trachurus japonicus</i>	マアジ						367.6	369.9	801.7	278.7	858.0	1,501.7	105.1									283.7	453.1	195.7	238.1	554.3	1,020.1	965.0		
75			<i>Decapterus maruadsi</i>	マルアジ																													
76		ヒイラギ	<i>Leiognathus nuchalis</i>	ヒイラギ											158.4	14.4										12.9	374.6	85.7		108.6			
77		クロサギ	<i>Gereis equinus</i>	クロサギ																													
78		イサキ	<i>Plectorhynchus siccus</i>	コショウダイ																													
79		タイ	<i>Pagrus major</i>	マダイ																													
80			<i>Saurus saba</i>	ヘダイ																													
81			<i>Acanthopagrus schlegelii</i>	クロダイ																													
82		キス	<i>Sillago japonica</i>	シロギス																					136.9								
83		ウミタナゴ	<i>Ditrema viride</i>	アオタナゴ					990.5	864.6	134.5	26.1	29.3	340.8	184.5	163.3									361.0		965.6	886.6	189.5	40.7	669.1	367.0	898.4
84			<i>Ditrema temmincki</i>	ウミタナゴ																													
85		シマイサキ	<i>Rhynchoplates oxyrinchus</i>	シマイサキ									118.9																				
86		インダイ	<i>Oplegnathus fasciatus</i>	インダイ																													
87		メジナ	<i>Girella punctata</i>	メジナ																													
88		イボダイ	<i>Heterostichus japonica</i>	メダイ																													
89			<i>Pleurogrammus anomala</i>	イボダイ																													
90	スズキ目	ゲンゲ	<i>Zoarchias neglectus</i>	コモロイトギンボ																													
91		タウエガジ	<i>Egranus hexagrammus</i>	ムスジガジ																													
92		ニシキギンボ	<i>Pholis nebrose</i>	ギンボ																													
93		ハタハタ	<i>Arctoscopus japonicus</i>	ハタハタ																													
94		イカナゴ	<i>Annodites personatus</i>	イカナゴ																													
95		イソギンボ	<i>Omodonichthys fasciolatoceps</i>	トサカギンボ																													
96			<i>Omodonichthys punctatus</i>	イダチギンボ																													
97			<i>Omodonichthys sp.</i>	ナベカ属の1種																													
98		ネズミボ	<i>Reponuciferus curvicaudis</i>	ネズミボ																													
99		ハゼ	<i>Leucopsaron petersi</i>	シロウオ																													
100			<i>Luciogobius guttatus</i>	ミミズハゼ																													
101			<i>Chaenogobius annularis</i>	アゴハゼ																													
102			<i>Chasmichthys gulonius</i>	ドロメ																													
103			<i>Gymnogobius petschilensis</i>	スミウキゴリ																													
104			<i>Gymnogobius urotaenia</i>	ウキゴリ																													
105			<i>Gymnogobius sp.</i>	ウキゴリ属の1種(ウキゴリ類幼)																													
106			<i>Gymnogobius heptacanthus</i>	ニクハゼ																													
107			<i>Gymnogobius breunigi</i>	ピリンゴ																													
108			<i>Gymnogobius taranetzi</i>	シンジコハゼ																													
109			<i>Glossogobius olivaceus</i>	ウロハゼ																													
110			<i>Acanthogobius flavimemus</i>	マハゼ																													
111			<i>Acanthogobius lactipes</i>	アシシロハゼ																					21.7								
112			<i>Favonigobius gymnauchen</i>	ヒメハゼ																													
113			<i>Mugilogobius abei</i>	アベハゼ																													
114			<i>Acentrogobius pflaumii</i>	スジハゼ																													
115			<i>Rhinogobius giurus</i>	ゴクラクハゼ																													
116			<i>Tridentiger trigonoccephalus</i>	アカオビシマハゼ																													
117			<i>Tridentiger bifasciatus</i>	シモフリシマハゼ																													
118			<i>Tridentiger brevispinis</i>	スマチチブ																													
119			<i>Tridentiger obscurus</i>	チチブ																													
120		アイゴ	<i>Siganus fuscocens</i>	アイゴ																													
121		カマス	<i>Sphyræna pinguis</i>	アカカマス																													
122		サバ	<i>Scomber japonicus</i>	マサバ																													
123		タイワンドジョウ	<i>Channa argus</i>	カムルチー																													

番号	綱	目	科	種名	調査地点 調査年 調査月	遅江港沖												
						平成22年												
						1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
65		スズキ目	スズキ	<i>Lateolabrax japonicus</i>			851.8			1,981.7	1,847.1	2,131.4	1,165.0	1,965.1	385.3	348.7		2,808.6
66				<i>Lateolabrax latus</i>			265.2			253.8	174.8		559.6		243.5			743.3
67			ハタ	<i>Epiplatys akaara</i>														
68			サンフィッシュ	<i>Lepomis macrochirus</i>														
69				<i>Micropterus salmoides</i>														
70			テンジクダイ	<i>Anagrus semilineatus</i>														
71				<i>Anagrus lineatus</i>														
72			アジ	<i>Seriola quinqueradiata</i>														
73				<i>Seriola dumerli</i>														
74				<i>Trachurus japonicus</i>						781.0	1,041.2	4,607.1	268.2	91.3	4,380.0			
75				<i>Decapterus maruadsi</i>														
76			ヒイラギ	<i>Leiognathus nuchalis</i>									312.8				94.1	
77			クロサギ	<i>Girex equulus</i>														
78			イサキ	<i>Plectorhynchus sinicus</i>														43.0
79			タイ	<i>Pagrus major</i>														
80				<i>Saurus sarba</i>														
81				<i>Acanthopagrus schlegelii</i>														
82			キス	<i>Sillago japonica</i>														
83			ウミタナゴ	<i>Ditrema viride</i>					1,531.8	1,776.7	139.1	183.9	173.0				37.5	
84				<i>Ditrema temmincki</i>										43.2				
85			シマイサキ	<i>Rhyncoplates oxyrinchus</i>														
86			イシダイ	<i>Oplegnathus fasciatus</i>														
87			メジナ	<i>Girella punctata</i>														
88			イボダイ	<i>Heterostichus japonica</i>														
89				<i>Pseudoscia anomala</i>														
90		スズキ目	ゲンゲ	<i>Zoarchas neglectus</i>														
91			タウエガジ	<i>Egrammus hexagrammus</i>														
92			ニシキギンボ	<i>Pholis nebrose</i>														
93			ハタハタ	<i>Arctoscopus japonicus</i>														
94			イカナゴ	<i>Ammodytes personatus</i>														
95			イソギンボ	<i>Ombraichthys fasciolatocephalus</i>														
96				<i>Ombraichthys punctatus</i>														
97				<i>Ombraichthys sp.</i>														
98			ネズミボ	<i>Reponiscus curvicauda</i>														
99			ハゼ	<i>Leucopsaron petersii</i>														
100				<i>Luciogobius guttatus</i>														
101				<i>Chaenogobius annularis</i>														
102				<i>Chasmichthys gulonius</i>														
103				<i>Gymnogobius petschikensis</i>														
104				<i>Gymnogobius urotaenia</i>														
105				<i>Gymnogobius sp.</i>														
106				<i>Gymnogobius heptacanthus</i>														
107				<i>Gymnogobius breunigi</i>														
108				<i>Gymnogobius taranetzii</i>														
109				<i>Glossogobius olivaceus</i>														
110				<i>Acanthogobius flavimemus</i>														
111				<i>Acanthogobius lectipes</i>														
112				<i>Favonigobius gymnauchen</i>														
113				<i>Mugilogobius abei</i>														
114				<i>Acentrogobius pflaumii</i>														
115				<i>Rhinogobius giurus</i>														
116				<i>Tridentiger trigonoccephalus</i>														
117				<i>Tridentiger bifasciatus</i>														
118				<i>Tridentiger brevipinnis</i>														
119				<i>Tridentiger obscurus</i>														
120			アイゴ	<i>Siganus fuscicornis</i>														110.6
121			カマス	<i>Sphyræna pinguis</i>											10.9			704.3
122			サバ	<i>Scomber japonicus</i>														
123			タイワンDJョウ	<i>Channa argus</i>														

番号	綱	目	科	種名	調査地点 調査年 調査月	遅江港沖																	
						平成22年																	
						1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月						
124		カレイ目	ヒラメ	<i>Paralichthys olivaceus</i>	ヒラメ											381.1							
125			カレイ	<i>Kereus bicoloratus</i>	イシガレイ																		
126				<i>Pleuronectes yokohamae</i>	マコガレイ																		
127			ササウシノシタ	<i>Pseudocapia japonica</i>	セトウシノシタ																		
128			ウシノシタ	<i>Gnaphosus journeyi</i>	アカシタヒラメ																		
129		フグ目	カワハギ	<i>Asterius erodes</i>	アミメハギ																		
130				<i>Thamnaconus modestus</i>	ウマヅラハギ																		
131				<i>Stephanolepis cirrifer</i>	カワハギ																		
132			ハコフグ	<i>Ostracion immaeulatus</i>	ハコフグ																		
133			フグ	<i>Takifugu pardalis</i>	ヒガンフグ																	58.8	
134				<i>Takifugu poecilonotus</i>	コモシフグ																33.1		
135				<i>Takifugu stictonotus</i>	ゴマフグ																		
136				<i>Takifugu niphobles</i>	クサフグ				127.5		238.0												
137				<i>Takifugu rubripes</i>	トラフグ																		
138				<i>Lagocephalus wheeleri</i>	シロサバフグ																		
139			ハリセンボン	<i>Diodon holocanthus</i>	ハリセンボン																		
140	甲殻類	アミ目	アミ	<i>Neomysis japonica</i>	ニホンイサザアミ																		
141		エビ目	クルマエビ	<i>Parasquilla japonica</i>	クルマエビ																		
142				<i>Parasquilla semiostrata</i>	クマエビ																		
143				<i>Metapenaeus ensis</i>	ヨシエビ											34.0							
144			サクラエビ	<i>Acetes japonicus</i>	アキアミ																		
145			ヌマエビ	<i>Paratya compressa</i>	ミナミヌマエビ																		
146			テナガエビ	<i>Palaeomon paucidentis</i>	スジエビ																		
147				<i>Palaeomon macrodactylus</i>	ユビナガスジエビ																		
148				<i>Palaeomon serrifer</i>	スジエビモドキ																		
149				<i>Palaeomon ornatus</i>	アシナガスジエビ																		
150				<i>Palaeomon orientis</i>	シラタエビ																		
151				<i>Macrobrachium nipponense</i>	テナガエビ																		
152			テッポウエビ	<i>Apheia brevirostratus</i>	テッポウエビ																		
153			エビシヤコ	<i>Orangon affinis</i>	エビシヤコ																		
154			アメリカザリガニ	<i>Procambarus clarkii</i>	アメリカザリガニ																		
155			ヒシガニ	<i>Platydemus validus</i>	ヒシガニ																		
156			コブシガニ	<i>Philyra pisum</i>	マメコブシガニ																		
157			ガザミ	<i>Portunus trituberculatus</i>	ガザミ																		
158				<i>Portunus pelagicus</i>	タイワンガザミ																		
159				<i>Charybdis (Charybdis) japonica</i>	イシガニ																		
160			イワガニ	<i>Eriocheir japonicus</i>	モクズガニ				183.7		220.3												
161				<i>Hemigrapsus penicillatus</i>	タカノケフサイソガニ																		
162			ヤドカリ	<i>Dardanus asperus</i>	アカボシヤドカリ																		
163			ホンヤドカリ	<i>Pagurus dubius</i>	ユビナガホンヤドカリ																		
164	軟体動物	新腹足目	ムシロガイ	<i>Reticularia festiva</i>	アラムシロ																		
165			アツキガイ	<i>Rapana venosa</i>	アカニシ																		
166		蟹足目	タマガイ	<i>Glossaulax didyme</i>	ツメタガイ																		
167		基眼目	モノアラガイ	<i>Limnaea auricularia</i>	モノアラガイ																		
168		コウイカ目	コウイカ	<i>Sepia (Acanthosepion) lycides Gray</i>	カミナリイカ																		
169				<i>Sepia (Platysepia) esculenta</i>	コウイカ																		
170				<i>Sepia (Dorotosepion) kobienis</i>	ヒメコウイカ																		
171			ダンコイカ	<i>Euprymna morsei</i>	ミミイカ																		
172				<i>Euprymna berryi</i>	ニヨリミミイカ																		
173			アカイカ	<i>Todarodes pacificus</i>	スルメイカ																		
174			ヤリイカ	<i>Sepioteuthis lessoniana</i>	アオリイカ																		
175				<i>Lololus (Nipponololus) japonica</i>	ジンドウイカ																		
176		八腕形目	マダコ	<i>Octopus vulgaris</i>	マダコ																		
177				<i>Octopus ocellatus</i>	イイダコ																		
総種類数							2		6	5	7	9	6	4	12							4	
個体数							1,117.0		4,289.2	6,228.0	4,778.4	7,053.5	3,178.2	5,822.5	6,866.7								3,439.6

番号	綱	目	科	種名	調査地点 調査年 調査月	境水道中央部												境水道中央部																					
						平成17年												平成18年																					
						1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月										
124	カレイ目	ヒラメ	<i>Paralichthys olivaceus</i>	ヒラメ							647.9			25.0			333.5	523.0	129.1									154.1			252.8	237.8		5,058.6					
125		カレイ	<i>Kareius bicoloratus</i>	インガレイ		838.6																						570.7											
126			<i>Pleuronectes yokohamae</i>	マコガレイ		116.2					91.8																	242.1			170.1								
127		ササウシノシタ	<i>Pseudoscapia japonica</i>	セトウシノシタ																																			
128		ウシノシタ	<i>Cynogobius jayneri</i>	アカシタビラメ																																			
129		フグ目	カワハギ	<i>Rodius erodes</i>	アミメハギ										5.3																		2.8						
130				<i>Thamnoconus modestus</i>	ウマヅラハギ																																		
131				<i>Staphanolepis cirrifer</i>	カワハギ					15.9			134.2			13.6	75.2																						
132			ハコフグ	<i>Ostracion immaculatus</i>	ハコフグ																													332.5					
133			フグ	<i>Takifugu pardalis</i>	ヒガンフグ		161.2			211.0																	89.2	30.8					76.5	111.5				74.3	30.1
134				<i>Takifugu poecilopterus</i>	コモフグ		1,823.4	510.6		217.6	23.3	88.6																			45.9	25.9				227.1	42.9		
135				<i>Takifugu stictopus</i>	ゴマフグ																																		
136				<i>Takifugu niphobles</i>	クサフグ						55.1								142.7			90.7	545.9									42.1				101.4			
137			<i>Takifugu rubripes</i>	トラフグ								22.0						308.8			78.0	78.9																	
138			<i>Lagocephalus wheeleri</i>	シロサハフグ																															127.8				
139		<i>Diodon holocanthus</i>	ハリセンボン																																				
140	甲殻類	アミ目	<i>Neomysis japonica</i>	ニホンイサザアミ																																			
141	エビ目	クルマエビ	<i>Penaeus japonicus</i>	クルマエビ																																			
142			<i>Penaeus semiculatus</i>	クマエビ																																			
143			<i>Metapenaeus ensis</i>	ヨシエビ																																			
144		サクラエビ	<i>Acetes japonicus</i>	アキアミ																																			
145		ヌマエビ	<i>Paratya compressa</i>	ミナミヌマエビ																																			
146		テナガエビ	<i>Palaemon paucidentis</i>	スジエビ																																			
147			<i>Palaemon macrrodactylus</i>	ユビナガスジエビ																																			
148			<i>Palaemon serrifer</i>	スジエビモドキ																																			
149			<i>Palaemon ornatus</i>	アシナガスジエビ		0.4																																	
150			<i>Palaemon orientis</i>	シラタエビ																																			
151			<i>Macrobrachium nipponense</i>	テナガエビ																																			
152		テッポウエビ	<i>Alpheus brevicristatus</i>	テッポウエビ																																			
153		エビジャコ	<i>Orangon affinis</i>	エビジャコ																																			
154		アメリカザリガニ	<i>Procambarus clarkii</i>	アメリカザリガニ																																			
155		ヒシガニ	<i>Platylabus validus</i>	ヒシガニ																																			
156		コブシガニ	<i>Philyra pisum</i>	マメコブシガニ																																			
157		ガザミ	<i>Portunus trituberculatus</i>	ガザミ																																			
158			<i>Poturus pelagicus</i>	タイワンガザミ							625.7			1,915.3	171.0	90.5	236.1	308.5											473.7	345.8	124.3	383.3	327.2						
159			<i>Charybdis (Charybdis) japonica</i>	インガニ						245.6			346.2	525.1		53.5														195.6	149.3	137.8	58.1						
160		イワガニ	<i>Eriocheir japonicus</i>	モクズガニ			42.5																																
161		<i>Hemigrapsus penicillatus</i>	タカノケフサイソガニ																																				
162	ヤドカリ	<i>Dardanus asperus</i>	アカボシヤドカリ																																				
163		<i>Pagurus dubius</i>	ユビナガホンヤドカリ																																				
164	軟体動物	新腹足目	<i>Reticularia festiva</i>	アラムシロ																																			
165			<i>Rapana venosa</i>	アカニシ																																			
166	盤足目	タマガイ	<i>Glossaulax didyma</i>	ツメタガイ																																			
167	基眼目	モノアラガイ	<i>Limnaea auricularia</i>	モノアラガイ																																			
168	コウイカ目	コウイカ	<i>Sepia (Acanthosepion) lycidas Gray</i>	カミナリイカ						1,544.8																													
169			<i>Sepia (Platysepia) esculenta</i>	コウイカ						209.0																													
170			<i>Sepia (Doroteosipion) hobensis</i>	ヒメコウイカ																																			
171		ダンゴイカ	<i>Euprymna morsei</i>	ミミイカ					26.0	25.0																													
172			<i>Euprymna berryi</i>	ニヨリミミイカ																																			
173			<i>Todarodes pacificus</i>	スルメイカ																																			
174			<i>Sepioteuthis lessoniana</i>	アオリイカ												69.7																							
175			<i>Lololus (Nipponotololus) japonica</i>	ジンドウイカ																																			
176		八腕形目	マダコ	<i>Octopus vulgaris</i>	マダコ																																		
177				<i>Octopus ocellatus</i>	イイダコ																																		
総種類数						16	7		14	14	15	7	13	15	16	13	14	9	9	8	8	9	12	8	13	8	22	13	8										
個体数						8,254.5	2,754.3		3,506.2	5,397.1	5,550.1	1,227.2	7,648.7	4,544.7	5,953.7	4,570.4	5,835.3	6,180.3	3,699.8	14,121.9	9,528.2	13,231.4	8,378.7	3,254.9	13,098.3	4,570.5	25,701.0	3,773.4	1,771.4										

番号	綱	目	科	種名	調査地点 調査年 調査月	境水道中央部												境水道中央部																		
						平成21年												平成22年																		
						1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月							
65	スズキ目	スズキ	スズキ	<i>Lateolabrax japonicus</i>	スズキ			1,069.7						123.3	1,287.8		951.5		1,259.3		3,425.0	4,251.3	1,986.3	3,976.9	175.2	2,344.2	254.8		1,972.3							
66				<i>Lateolabrax latus</i>	ヒラスズキ										356.8	375.3		1,256.9		1,274.1		162.4		790.8	508.4		547.7		238.6							
67				ハタ	<i>Epiplatys akaara</i>	キジハタ																														
68				サンフィッシュ	<i>Lepomis macrochirus</i>	ブルーギル																														
69				テンジクダイ	<i>Micropterus salmoides</i>	ブラックバス																														
70					<i>Apogon semilineatus</i>	ネンブツダイ																														
71				アジ	<i>Apogon lineatus</i>	テンジクダイ											11.7																			
72					<i>Seriola quinqueradiata</i>	ブリ											153.8	973.2						1,045.4	2,541.4											
73					<i>Seriola dumerli</i>	カンパチ											342.5																			
74					<i>Trachurus japonicus</i>	マアジ											129.3	524.1		19.0						424.8	88.6	166.4	248.7	48.9	68.5					
75					<i>Decapterus maruodai</i>	マルアジ																														
76				ヒイラギ	<i>Leiognathus nuchalis</i>	ヒイラギ										993.9	243.1		48.4				765.2	9.7	277.3	149.4	1,108.4	354.0	123.0							
77				クロサギ	<i>Gerrus equulus</i>	クロサギ																														
78				イサキ	<i>Plectrohinchus cinctus</i>	コショウダイ																														
79				タイ	<i>Fagus major</i>	マダイ																					10.2		40.1							
80					<i>Sparus sarba</i>	ヘダイ																							318.9							
81					<i>Acanthopagrus sutchii</i>	クロダイ																			180.0											
82				キス	<i>Sillago japonica</i>	シロギス																							36.6							
83				ウミタナゴ	<i>Ditrema viride</i>	アオタナゴ											372.7	476.6		328.1				875.4	100.5		60.7	38.8	135.5							
84					<i>Ditrema temmincki</i>	ウミタナゴ											55.0		46.3				157.3		387.0	2,422.9	255.8						476.4			
85				シマイサキ	<i>Rhynopelates oxyrinchus</i>	シマイサキ																		1,662.5	226.2											
86				インダイ	<i>Olegrathus fasciatus</i>	インダイ																					356.9	178.4								
87				メジナ	<i>Girella punctata</i>	メジナ																														
88				イボダイ	<i>Hyporhamphys japonica</i>	メダイ																														
89					<i>Psenopsis anomala</i>	イボダイ																														
90				スズキ目	ゲンゲ	ゲンゲ	<i>Zaorchias neglectus</i>	コモンイトギンボ																												
91							<i>Eugrammus hexagrammus</i>	ムスジガジ																												
92							ニシキギンボ	<i>Pholis nebrose</i>	ギンボ			8.4																								
93							ハタハタ	<i>Arctoscopus japonicus</i>	ハタハタ																											
94							イカナゴ	<i>Ammodytes personatus</i>	イカナゴ																											
95							イソギンボ	<i>Ombbranchus fascioloceps</i>	トサカギンボ																											
96								<i>Ombbranchus punctatus</i>	イダテンギンボ																											
97								<i>Ombbranchus sp.</i>	ナベカ属の1種																											
98							ネズミゴチ	<i>Riponucerus curvicornis</i>	ネズミゴチ																											
99							ハゼ	<i>Leucoposaron petersii</i>	シロウオ																											
100								<i>Luciogobius guttatus</i>	ミズハゼ																											
101								<i>Ohaenogobius annularis</i>	アゴハゼ																											
102								<i>Chasmichthys fulvous</i>	ドロメ																											
103								<i>Gymnogobius petaschlerensis</i>	スマウキゴリ																											
104								<i>Gymnogobius urotaenia</i>	ウキゴリ																											
105	<i>Gymnogobius sp.</i>	ウキゴリ属の1種(ウキゴリ類幼体)																																		
106	<i>Gymnogobius heptacanthus</i>	ニクハゼ																																		
107	<i>Gymnogobius breunigii</i>	ピリンゴ																																		
108	<i>Gymnogobius taranetzii</i>	シンジコハゼ																																		
109	<i>Glossogobius olivaceus</i>	ウロハゼ																																		
110	<i>Acanthogobius flavimanus</i>	マハゼ																																		
111	<i>Acanthogobius lactipes</i>	アシシロハゼ																																		
112	<i>Favonigobius gymnauchen</i>	ヒメハゼ																																		
113	<i>Mugilogobius abei</i>	アベハゼ																																		
114	<i>Acanthogobius pflaumii</i>	スジハゼ																																		
115	<i>Rhinogobius giurinus</i>	ゴクラクハゼ																																		
116	<i>Tridentiger trigonocephalus</i>	アカオビシマハゼ																																		
117	<i>Tridentiger bifasciatus</i>	シモフリシマハゼ																																		
118	<i>Tridentiger brevispinis</i>	ヌマチチブ																																		
119	<i>Tridentiger obscurus</i>	チチブ																																		
120	アイゴ	<i>Siganus fuscescens</i>	アイゴ																25.2																	
121	カマス	<i>Sahydraena pinguis</i>	アカカマス															170.0											2,233.4	413.5	112.4					
122	サバ	<i>Scomber japonicus</i>	マサバ																																	
123	タイワンドジョウ	<i>Channa argus</i>	カムルチー																																	

1.4.8 河川水辺の国勢調査

当該年に実施した調査項目の「様式」を提示する。調査項目毎の必要様式は表 1.4.38 のとおりである。

表 1.4.38 参考資料とする河川水辺の国勢調査の様式一覧

調査項目	様式番号	様式名
魚類	整理様式 1	重要種経年確認状況一覧表
	整理様式 3	経年確認状況一覧表
	整理様式 4	縦断確認状況一覧表
底生動物	整理様式 1	重要種経年確認状況一覧表
	整理様式 4	経年確認状況一覧表
植物相	整理様式 1	重要種経年確認状況一覧表
	整理様式 3	経年確認状況一覧表
鳥類	整理様式 1-1	重要種経年確認状況一覧表
	整理様式 3	経年確認状況一覧表
	整理様式 5-1	縦断確認状況一覧表
両生類・爬虫類・哺乳類	整理様式 1	重要種経年確認状況一覧表
	整理様式 3	経年確認状況一覧表
陸上昆虫類	整理様式 1	重要種経年確認状況一覧表
	整理様式 3	経年確認状況一覧表

表 1.4.39 (1) 魚類 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2009

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1995	2000	2005	2009		
1	スナヤツメ	○	○	○	○	島根危惧II、危惧II	
2	アカエイ				○		
3	ウナギ	○	○	○	○	不足	
4	ウルメイワシ				○		
5	サッバ	○	○	○	○		
6	コノシロ	○	○	○	○		
7	カタクチイワシ	○		○	○		
8	コイ	○	○	○	○		
9	ゲンゴロウブナ		○				
10	ギンブナ	○	○	○			
11	フナ類				○		
12	ヤリタナゴ	○	○	○	○	準絶滅	
13	タイリクバラタナゴ	○		○	○		
14	ワタカ	○		○	○		
15	ハス			○			
16	オイカワ	○	○	○	○		
17	カワムツ	○	○	○	○		
18	ウグイ	○	○	○	○		
19	モツゴ	○	○	○	○		

重要種

- 島根危惧I 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 県共通
- 島根危惧II 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 県共通
- 島根準絶滅 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 県共通
- 島根不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 県共通
- 自然: 「第1回緑の国勢調査」における「すぐれた自然の調査」対象種 環境庁指定種
- 重要: 「第2回緑の国勢調査」における「日本の重要な淡水魚類」環境庁指定種
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)
- 地域: 環境省NRL 地域個体群(Lp)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.39 (2) 魚類 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2009

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1995	2000	2005	2009		
20	カワヒガイ	○	○	○	○	準絶滅	
21	ビワヒガイ		○				
22	ムギツク		○	○	○		
23	タモロコ	○	○	○	○	島根不足	
24	ホンモロコ			○			
25	カマツカ	○	○	○	○		
26	イトモロコ		○				
27	コウライモロコ			○	○		
28	ドジョウ	○	○	○	○		
29	シマドジョウ		○	○	○		
30	スジシマドジョウ小型種点小型	○	○	○	○	島根不足、危機IB	
31	チャネルキョットフイッシュ	○					特定
32	ナマズ		○	○			
33	アカザ		○	○	○	危機II	
34	ゴンズイ		○	○	○		
35	ワカサギ		○	○	○		
36	アユ	○	○	○	○		
37	シラウオ		○	○	○		
38	トウゴロウイワシ	○		○	○		

重要種

- 島根危機Ⅰ 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 県共通
- 島根危機Ⅱ 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 県共通
- 島根準絶滅 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 県共通
- 島根不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 県共通
- 自然: 「第1回緑の国勢調査」における「すぐれた自然の調査」対象種 環境庁指定種
- 重要: 「第2回緑の国勢調査」における「日本の重要な淡水魚類」環境庁指定種
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危機Ⅰ: 環境省NRL 絶滅危機Ⅰ類(CR+EN)
- 危機ⅠA: 環境省NRL 絶滅危機ⅠA類(CR)
- 危機ⅠB: 環境省NRL 絶滅危機ⅠB類(EN)
- 危機Ⅱ: 環境省NRL 絶滅危機Ⅱ類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危機(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)
- 地域: 環境省NRL 地域個体群(Lp)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.39 (3) 魚類 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2009

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1995	2000	2005	2009		
39	メダカ	○	○	○	○	危惧II	
40	クルマサヨリ				○	島根危惧II、準絶滅	
41	サヨリ	○	○	○	○		
42	ヨウジウオ		○	○			
43	ガンテンイシヨウジ	○	○	○	○		
44	サンゴタツ			○	○		
45	オオウミウマ	○	○				
46	タツノオトシゴ		○	○	○		
47	メバル			○			
48	クロソイ		○				
49	ムラソイ	○		○			
50	オニオコゼ		○		○		
51	ハオコゼ	○	○	○	○		
52	マゴチ	○					
53	クジメ		○	○	○		
54	アイナメ	○		○			
55	カジカ中卵型				○	島根危惧II、危惧IB	
56	ウツセミカジカ(回遊型)	○	○	○		危惧IB	
57	キヌカジカ	○	○	○			

重要種

- 島根危惧I 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 県共通
- 島根危惧II 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 県共通
- 島根準絶滅 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 県共通
- 島根不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 県共通
- 自然: 「第1回緑の国勢調査」における「すぐれた自然の調査」対象種 環境庁指定種
- 重要: 「第2回緑の国勢調査」における「日本の重要な淡水魚類」環境庁指定種
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)
- 地域: 環境省NRL 地域個体群(Lp)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.39 (4) 魚類 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2009

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1995	2000	2005	2009		
58	サラサカジカ			○			
59	オビアナハゼ			○			
60	アナハゼ			○	○		
61	ハクセンアナハゼ			○	○		
62	ヒラスズキ			○	○		
63	スズキ	○	○	○	○		
64	シマイサキ	○	○				
65	ブルーギル		○		○		特定
66	オオクチバス(ブラックバス)		○	○			特定
67	シロギス		○				
68	マアジ	○		○	○		
69	ヒイラギ		○	○	○		
70	クロサギ		○	○			
71	クロダイ		○				
72	マダイ		○		○		
73	メジナ	○		○	○		
74	ウミタナゴ	○	○	○	○		
75	タカノハダイ				○		
76	ボラ	○	○	○	○		

重要種

- 島根危惧Ⅰ 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 県共通
- 島根危惧Ⅱ 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 県共通
- 島根準絶滅 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 県共通
- 島根不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 県共通
- 自然: 「第1回緑の国勢調査」における「すぐれた自然の調査」対象種 環境庁指定種
- 重要: 「第2回緑の国勢調査」における「日本の重要な淡水魚類」環境庁指定種
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)
- 地域: 環境省NRL 地域個体群(Lp)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.39 (5) 魚類 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2009

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1995	2000	2005	2009		
77	セスジボラ	○	○	○	○		
78	メナダ	○	○	○			
79	オハグロベラ			○	○		
80	カミナリベラ		○				
81	キュウセン	○	○	○	○		
82	ホンベラ			○	○		
83	トビイトギンボ				○		
84	コモンイトギンボ				○		
85	ダイナンギンボ	○	○	○	○		
86	ムスジガジ		○	○	○		
87	コケギンボ				○		
88	イソギンボ	○		○	○		
89	トサカギンボ	○	○	○	○		
90	イダテンギンボ	○	○	○	○		
91	ナベカ		○				
92	ネズミゴチ	○	○		○		
93	ドンコ	○	○	○	○		
94	ミズハゼ				○		
95	アゴハゼ	○	○	○	○		

重要種

- 島根危惧Ⅰ 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 県共通
- 島根危惧Ⅱ 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 県共通
- 島根準絶滅 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 県共通
- 島根不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 県共通
- 自然: 「第1回緑の国勢調査」における「すぐれた自然の調査」対象種 環境庁指定種
- 重要: 「第2回緑の国勢調査」における「日本の重要な淡水魚類」環境庁指定種
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)
- 地域: 環境省NRL 地域個体群(Lp)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.39 (6) 魚類 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2009

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1995	2000	2005	2009		
96	ドロメ			○	○		
97	ウキゴリ	○	○	○	○		
98	ニクハゼ			○	○		
99	ピリンゴ	○	○	○	○		
100	シンジコハゼ	○	○	○	○	島根危惧II、危惧II	
101	ジュズカケハゼ	○				危惧IB	
102	ウロハゼ	○	○	○	○		
103	マハゼ	○	○	○	○		
104	アシシロハゼ		○	○	○		
105	キヌバリ		○				
106	ヒメハゼ			○	○		
107	アベハゼ	○	○	○	○		
108	スジハゼB				○		
109	ゴクラクハゼ	○	○	○	○		
110	シマヨシノボリ				○		
111	トウヨシノボリ(型不明)	○	○	○	○		
112	カワヨシノボリ		○	○	○		
113	アカオビシマハゼ		○	○	○		
114	シモフリシマハゼ	○	○	○	○		

重要種

- 島根危惧I 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 県共通
- 島根危惧II 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 県共通
- 島根準絶滅 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 県共通
- 島根不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 県共通
- 自然: 「第1回緑の国勢調査」における「すぐれた自然の調査」対象種 環境庁指定種
- 重要: 「第2回緑の国勢調査」における「日本の重要な淡水魚類」環境庁指定種
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)
- 地域: 環境省NRL 地域個体群(Lp)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.39 (7) 魚類 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2009

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1995	2000	2005	2009		
115	ヌマチチブ	○	○	○	○		
116	チチブ			○	○		
117	アイゴ	○	○	○	○		
118	アカカマス			○			
119	カムルチー			○	○		
120	ヒラメ			○	○		
121	イシガレイ		○				
122	マコガレイ	○		○			
123	アミメハギ	○	○	○	○		
124	カワハギ	○		○	○		
125	ヒガンフグ	○	○				
126	コモンフグ	○	○	○	○		
127	クサフグ	○	○	○	○		
種数		66	82	95	94	13	3

重要種

- 島根危惧Ⅰ 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 県共通
- 島根危惧Ⅱ 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 県共通
- 島根準絶滅 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 県共通
- 島根不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 県共通
- 自然: 「第1回緑の国勢調査」における「すぐれた自然の調査」対象種 環境庁指定種
- 重要: 「第2回緑の国勢調査」における「日本の重要な淡水魚類」環境庁指定種
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)
- 地域: 環境省NRL 地域個体群(Lp)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.40 (1) 底生動物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2010

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1995	2000	2005	2010		
1	ミユラーカイメンモドキ				○		
	タンスイカイメン科		○	○			
2	ナミウズムシ	○					
	Dugesia属	○					
	三岐腸目				○		
3	渦虫綱		○	○			
	ハリヒモムシ目				○		
4	紐形動物門		○	○	○		
	線形動物門			○			
5	ウスヒザラガイ				○		
6	Acanthochitona属				○		
7	ベッコウカサガイ				○		
8	カサガイ				○		
9	ヨメガカサガイ				○		
10	コモレビコガモガイ				○		
11	クサイロアオガイ				○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 島根EX: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅EX)
- 島根CR+EN: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧I類CR+EN)
- 島根VU: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧II類VU)
- 島根NT: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧NT)
- 島根DD: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足DD)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)
- 地域: 環境省NRL 地域個体群(Lp)
- WWF絶滅: 全国共通(WWF絶滅)
- WWF危険: 全国共通(WWF危険)
- WWF希少: 全国共通(WWF希少)
- WWF絶滅寸前: 全国共通(WWF絶滅寸前)
- WWF現状不明: 全国共通(WWF現状不明)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.40 (2) 底生動物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2010

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1995	2000	2005	2010		
12	イシダタミガイ				○		
13	クビレクロゾケ				○		
14	コシダカガングラ				○		
15	イシマキガイ	○	○	○	○		
16	オオタニシ				○	準絶滅	
17	ヒメタニシ	○					
18	シマハマツボ				○		
19	タケノコカワニナ			○		危惧II	
20	カワニナ	○		○	○		
21	チリメンカワニナ	○		○	○		
	Semisulcospira属		○				
22	アラレタマキビガイ				○		
23	カワグチツボ		○	○	○	準絶滅、WWF危険	
24	ダテカワザンショウガイ				○		
25	カワザンショウガイ	○	○		○		
26	ムシヤドリカワザンショウガイ				○	WWF危険	

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動物植物種
- 島根EX: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅EX)
- 島根CR+EN: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧I類CR+EN)
- 島根VU: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧II類VU)
- 島根NT: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧NT)
- 島根DD: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足DD)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)
- 地域: 環境省NRL 地域個体群(Lp)
- WWF絶滅: 全国共通(WWF絶滅)
- WWF危険: 全国共通(WWF危険)
- WWF希少: 全国共通(WWF希少)
- WWF絶滅寸前: 全国共通(WWF絶滅寸前)
- WWF現状不明: 全国共通(WWF現状不明)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.40 (3) 底生動物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2010

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1995	2000	2005	2010		
	Assimineae属				○		
27	ヘソカドガイ				○		
	カワザンショウガイ科			○			
28	ウミゴマツボ			○		WWF希少	
29	ミズゴマツボ		○	○	○	準絶滅、島根NT、WWF絶滅寸前	
30	ヤマトクビキレガイ				○		
	盤足目		○	○			
31	クレハガイ				○	WWF希少	
32	イボニシ				○		
33	アラムシロガイ		○		○		
34	ヒメムシロガイ				○		
	Reticunassa属				○		
35	Leucotina属				○		
	トウガタガイ科			○			
36	ブドウガイ				○		
37	キクノハナガイ				○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動物植物種
- 島根EX: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅EX)
- 島根CR+EN: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧I類CR+EN)
- 島根VU: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧II類VU)
- 島根NT: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧NT)
- 島根DD: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足DD)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)
- 地域: 環境省NRL 地域個体群(Lp)
- WWF絶滅: 全国共通(WWF絶滅)
- WWF危険: 全国共通(WWF危険)
- WWF希少: 全国共通(WWF希少)
- WWF絶滅寸前: 全国共通(WWF絶滅寸前)
- WWF現状不明: 全国共通(WWF現状不明)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.40 (4) 底生動物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2010

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1995	2000	2005	2010		
38	カワコサザガイ		○	○	○		
39	ヒメモノアラガイ		○	○			
40	モノアラガイ		○	○	○	準絶滅	
	モノアラガイ科		○	○			
41	サカマキガイ	○	○	○	○		
42	ヒラマキミズマイマイ	○	○	○		不足	
43	クルマヒラマキガイ				○	危惧II	
44	ヒラマキガイモドキ			○		準絶滅	
45	ホトギスガイ		○	○	○		
46	タマエガイ				○		
47	ムラサキイガイ				○		要注意
48	クジャクガイ				○		
49	ムラサキインコガイ				○		
50	コウロエンカワヒバリガイ		○	○	○		要注意
51	ナミマガシワガイ		○		○		
52	マガキ		○	○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動物植物種
- 島根EX: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅EX)
- 島根CR+EN: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧I類CR+EN)
- 島根VU: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧II類VU)
- 島根NT: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧NT)
- 島根DD: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足DD)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)
- 地域: 環境省NRL 地域個体群(Lp)
- WWF絶滅: 全国共通(WWF絶滅)
- WWF危険: 全国共通(WWF危険)
- WWF希少: 全国共通(WWF希少)
- WWF絶滅寸前: 全国共通(WWF絶滅寸前)
- WWF現状不明: 全国共通(WWF現状不明)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.40 (5) 底生動物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2010

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1995	2000	2005	2010		
53	ケガキ				○		
54	ドブガイ			○			
55	バカガイ				○		
56	シオフキガイ		○	○	○		
57	ユウシオガイ		○			WWF危険	
58	シズクガイ		○				
59	イソシジミ		○				
60	ウネナシトマヤガイ	○	○	○	○	準絶滅、WWF危険	
61	ヤマトシジミ	○	○	○	○	準絶滅	
62	マシジミ	○	○			準絶滅	
	Corbicula属			○	○		
63	マメシジミ科			○			
64	アサリ		○	○	○		
65	オオノガイ			○		WWF危険	
66	オキナガイ		○			WWF危険	
67	ソトオリガイ			○	○	WWF危険	

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動物植物種
- 島根EX: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅EX)
- 島根CR+EN: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧I類CR+EN)
- 島根VU: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧II類VU)
- 島根NT: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧NT)
- 島根DD: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足DD)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)
- 地域: 環境省NRL 地域個体群(Lp)
- WWF絶滅: 全国共通(WWF絶滅)
- WWF危険: 全国共通(WWF危険)
- WWF希少: 全国共通(WWF希少)
- WWF絶滅寸前: 全国共通(WWF絶滅寸前)
- WWF現状不明: 全国共通(WWF現状不明)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.40 (6) 底生動物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2010

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1995	2000	2005	2010		
68	ミロクウロコムシ				○		
69	Harmothoe属				○		
70	Anaitides sp.				○		
71	Eteone属		○	○	○		
72	サミドリサシバ				○		
73	マキントシチロリ				○		
74	Glycera nicobarica		○				
	Glycera属			○	○		
75	クシカギゴカイ				○		
76	Exogone属				○		
77	ヒトゲシリス				○		
78	Typosyllis属				○		
79	コケゴカイ		○	○	○		
80	Hediste属	○	○	○	○		
81	オイワケゴカイ				○		
82	アシナガゴカイ		○	○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 島根EX: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅EX)
- 島根CR+EN: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧I類CR+EN)
- 島根VU: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧II類VU)
- 島根NT: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧NT)
- 島根DD: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足DD)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)
- 地域: 環境省NRL 地域個体群(Lp)
- WWF絶滅: 全国共通(WWF絶滅)
- WWF危険: 全国共通(WWF危険)
- WWF希少: 全国共通(WWF希少)
- WWF絶滅寸前: 全国共通(WWF絶滅寸前)
- WWF現状不明: 全国共通(WWF現状不明)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.40 (7) 底生動物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2010

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1995	2000	2005	2010		
83	Nereis属				○		
84	クマドリゴカイ				○		
85	ヒトツブゴカイ				○		
86	スナインゴカイ				○		
87	イシイソゴカイ				○		
88	イトメ			○			
89	ミナミシロガネゴカイ				○		
	Nephtys属		○				
90	シボリイソメ				○		
91	ケンサキスピオ				○		
92	Carazziella属			○			
93	Polydora属		○	○	○		
94	ヤマトスピオ	○	○	○	○		
95	Pseudopolydora属		○	○	○		
96	Rhynchospio属				○		
97	Scolelepis属			○			

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 島根EX: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅EX)
- 島根CR+EN: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧I類CR+EN)
- 島根VU: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧II類VU)
- 島根NT: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧NT)
- 島根DD: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足DD)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)
- 地域: 環境省NRL 地域個体群(Lp)
- WWF絶滅: 全国共通(WWF絶滅)
- WWF危険: 全国共通(WWF危険)
- WWF希少: 全国共通(WWF希少)
- WWF絶滅寸前: 全国共通(WWF絶滅寸前)
- WWF現状不明: 全国共通(WWF現状不明)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.40 (8) 底生動物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2010

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1995	2000	2005	2010		
98	ミズヒキゴカイ		○		○		
	ミズヒキゴカイ科			○			
99	イトゴカイ	○	○				
	Capitella属	○					
100	Notomastus属		○		○		
	イトゴカイ科			○	○		
101	ツツオオフエリア				○		
	Armandia属		○	○			
102	カスリオフエリア				○		
103	Saccocirrus属		○				
104	ウミイサゴムシ		○				
105	Chone属		○				
106	Laonome属				○		
	ケヤリムシ科		○	○			
107	エゾカサネカンザシゴカイ				○		
108	ヤッコカンザシゴカイ				○		

重要種

国天:	文化財保護法 国指定天然記念物
保存:	種の保存に関する法律 国内希少野生動物植物種
島根EX:	地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅EX)
島根CR+EN:	地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧I類CR+EN)
島根VU:	地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧II類VU)
島根NT:	地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧NT)
島根DD:	地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足DD)
絶滅:	環境省NRL 絶滅種(Ex)
野絶滅:	環境省NRL 野生絶滅(EW)
危惧I:	環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
危惧IA:	環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
危惧IB:	環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
危惧II:	環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
準絶滅:	環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
不足:	環境省NRL 情報不足(DD)
地域:	環境省NRL 地域個体群(Lp)
WWF絶滅:	全国共通(WWF絶滅)
WWF危険:	全国共通(WWF危険)
WWF希少:	全国共通(WWF希少)
WWF絶滅寸前:	全国共通(WWF絶滅寸前)
WWF現状不明:	全国共通(WWF現状不明)

外来種

特定:	「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
要注意:	「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
国外:	おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.40 (9) 底生動物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2010

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1995	2000	2005	2010		
109	ウスマキゴカイ科				○		
110	ナガミミズ科		○				
111	オヨギミミズ科		○	○	○		
112	ヒメミミズ科		○	○	○		
113	エラオイミズミミズ		○				
	Branchiodrilus属			○			
114	エラミミズ	○	○	○	○		
115	Dero属			○			
116	モトムラユリミミズ				○		
117	フトゲユリミミズ			○			
118	ユリミミズ				○		
	Limnodrilus属		○				
119	カワリミズミミズ				○		
120	Stylaria属			○			
121	イトミミズ	○					
	Tubifex属	○	○				

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 島根EX: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅EX)
- 島根CR+EN: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧I類CR+EN)
- 島根VU: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧II類VU)
- 島根NT: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧NT)
- 島根DD: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足DD)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)
- 地域: 環境省NRL 地域個体群(Lp)
- WWF絶滅: 全国共通(WWF絶滅)
- WWF危険: 全国共通(WWF危険)
- WWF希少: 全国共通(WWF希少)
- WWF絶滅寸前: 全国共通(WWF絶滅寸前)
- WWF現状不明: 全国共通(WWF現状不明)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.40 (10) 底生動物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2010

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1995	2000	2005	2010		
	イトミズ科		○	○	○		
122	ツリミズ科		○	○	○		
	ミズ綱			○			
123	ヒラタビル	○					
124	ヌマビル		○	○	○		
125	イボビル	○				不足	
126	アタマビル			○	○		
	グロシフオニ科		○	○			
127	ナミウオビル				○		
	ウオビル科		○	○			
128	シマイシビル		○	○	○		
129	ナミイシビル				○		
130	ビロウドイシビル	○					
	イシビル科		○	○	○		
131	カメノテ				○		
132	シロスジフジツボ				○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動物植物種
- 島根EX: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅EX)
- 島根CR+EN: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧I類CR+EN)
- 島根VU: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧II類VU)
- 島根NT: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧NT)
- 島根DD: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足DD)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)
- 地域: 環境省NRL 地域個体群(Lp)
- WWF絶滅: 全国共通(WWF絶滅)
- WWF危険: 全国共通(WWF危険)
- WWF希少: 全国共通(WWF希少)
- WWF絶滅寸前: 全国共通(WWF絶滅寸前)
- WWF現状不明: 全国共通(WWF現状不明)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.40 (11) 底生動物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2010

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1995	2000	2005	2010		
133	タデジマフジツボ				○		要注意
134	アメリカフジツボ				○		
135	ヨーロッパフジツボ		○	○	○		
136	サンカクフジツボ				○		
137	キスイタナイス		○	○	○		
138	Leucon属			○			
139	Dimorphostylis属		○	○	○		
140	ニッポンスガメ				○		
141	ニッポンモバヨコエビ		○				
142	モズミヨコエビ		○		○		
	Ampithoe属		○	○	○		
143	ニッポンドロソコエビ	○	○		○		
	Grandierella属			○			
144	アリアケドロクダムシ				○		
145	ウエノドロクダムシ				○		
	Corophium属		○	○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動物植物種
- 島根EX: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅EX)
- 島根CR+EN: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧I類CR+EN)
- 島根VU: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧II類VU)
- 島根NT: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧NT)
- 島根DD: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足DD)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)
- 地域: 環境省NRL 地域個体群(Lp)
- WWF絶滅: 全国共通(WWF絶滅)
- WWF危険: 全国共通(WWF危険)
- WWF希少: 全国共通(WWF希少)
- WWF絶滅寸前: 全国共通(WWF絶滅寸前)
- WWF現状不明: 全国共通(WWF現状不明)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.40 (12) 底生動物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2010

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1995	2000	2005	2010		
146	ホソヨコエビ				○		
147	Kamaka属			○	○		
148	Jassa属				○		
	カマギリヨコエビ科				○		
149	Podocerus属				○		
150	Paradexamine属				○		
151	アゴナガヨコエビ				○		
	Pontogeneia属			○	○		
	アゴナガヨコエビ科		○				
152	ボシエットゲオヨコエビ				○		
	Eogammarus属		○		○		
153	アンナンデルヨコエビ	○					
	Jesogammarus属				○		
	キタヨコエビ科			○			
154	ニッポンヨコエビ	○					
155	イソヨコエビ	○					

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動物植物種
- 島根EX: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅EX)
- 島根CR+EN: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧I類CR+EN)
- 島根VU: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧II類VU)
- 島根NT: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧NT)
- 島根DD: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足DD)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)
- 地域: 環境省NRL 地域個体群(Lp)
- WWF絶滅: 全国共通(WWF絶滅)
- WWF危険: 全国共通(WWF危険)
- WWF希少: 全国共通(WWF希少)
- WWF絶滅寸前: 全国共通(WWF絶滅寸前)
- WWF現状不明: 全国共通(WWF現状不明)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.40 (13) 底生動物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2010

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1995	2000	2005	2010		
156	フトメタヨコエビ				○		
157	ヒゲツノメタヨコエビ				○		
158	シミズメタヨコエビ				○		
	Melita属		○	○	○		
159	Stenothoe属				○		
160	Allorchestis属				○		
161	Hyale属				○		
162	Platorchestia joi		○				
163	ヒメハマトビムシ				○		
	Platorchestia属				○		
164	Talorchestia属				○		
	ハマトビムシ科		○	○			
165	マルエラワレカラ				○		
166	トゲワレカラ				○		
	Caprella属			○			
167	Cyathura属		○	○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動物植物種
- 島根EX: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅EX)
- 島根CR+EN: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧I類CR+EN)
- 島根VU: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧II類VU)
- 島根NT: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧NT)
- 島根DD: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足DD)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)
- 地域: 環境省NRL 地域個体群(Lp)
- WWF絶滅: 全国共通(WWF絶滅)
- WWF危険: 全国共通(WWF危険)
- WWF希少: 全国共通(WWF希少)
- WWF絶滅寸前: 全国共通(WWF絶滅寸前)
- WWF現状不明: 全国共通(WWF現状不明)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.40 (14) 底生動物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2010

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1995	2000	2005	2010		
168	ヤマトウミナナフシ	○					
	Paranthura属				○		
169	ミズムシ	○	○	○	○		
170	Janiropsis属				○		
171	Idotea属				○		
172	Synidotea属		○	○	○		
173	Eurydice属		○				
174	エビノコパン		○				
175	ハバヒロコツブムシ		○	○	○		
176	ニホンコツブムシ				○		
177	イソコツブムシ	○					
	Gnorimosphaeroma属		○	○	○		
178	チビウミセミ				○		
179	ヒラタウミセミ				○		
180	ツノオウミセミ				○		
181	ヨツバコツブムシ		○				

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動物植物種
- 島根EX: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅EX)
- 島根CR+EN: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧I類CR+EN)
- 島根VU: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧II類VU)
- 島根NT: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧NT)
- 島根DD: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足DD)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)
- 地域: 環境省NRL 地域個体群(Lp)
- WWF絶滅: 全国共通(WWF絶滅)
- WWF危険: 全国共通(WWF危険)
- WWF希少: 全国共通(WWF希少)
- WWF絶滅寸前: 全国共通(WWF絶滅寸前)
- WWF現状不明: 全国共通(WWF現状不明)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.40 (15) 底生動物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2010

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1995	2000	2005	2010		
	Sphaeroma属			○			
182	フナムシ		○	○	○		
183	ニホンハマワラジムシ				○	島根NT	
184	クロイサザアミ		○		○		
185	イサザアミ		○				
186	ニホンイサザアミ		○		○		
	Neomysis属	○	○				
	アミ科			○			
187	ヤマトヌマエビ	○	○				
188	ミゾレヌマエビ		○	○	○		
189	ミナミヌマエビ	○	○	○	○		
190	ヌマエビ		○	○	○		
191	シラタエビ		○	○	○		
192	テナガエビ	○	○	○	○		
193	ユビナガスジエビ		○	○	○		
194	イソスジエビ				○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動物植物種
- 島根EX: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅EX)
- 島根CR+EN: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧I類CR+EN)
- 島根VU: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧II類VU)
- 島根NT: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧NT)
- 島根DD: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足DD)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)
- 地域: 環境省NRL 地域個体群(Lp)
- WWF絶滅: 全国共通(WWF絶滅)
- WWF危険: 全国共通(WWF危険)
- WWF希少: 全国共通(WWF希少)
- WWF絶滅寸前: 全国共通(WWF絶滅寸前)
- WWF現状不明: 全国共通(WWF現状不明)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.40 (16) 底生動物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2010

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1995	2000	2005	2010		
195	スジエビ	○	○	○	○		
196	スジエビモドキ		○		○		
	Palaemon属			○	○		
	テナガエビ科			○			
197	テッポウエビ				○		
	Alpheus属				○		
198	イノモエビ				○		
199	エビジャコ		○				
	Crangon属			○	○		
200	アメリカザリガニ	○	○	○	○		要注意
201	ケブカヒメヨコバサミ				○		
202	ユビナガホンヤドカリ			○	○		
203	ホンヤドカリ				○		
204	Upogebia属				○		
205	マメコブシガニ		○	○			
206	Thalamita属				○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動物植物種
- 島根EX: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅EX)
- 島根CR+EN: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧I類CR+EN)
- 島根VU: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧II類VU)
- 島根NT: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧NT)
- 島根DD: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足DD)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)
- 地域: 環境省NRL 地域個体群(Lp)
- WWF絶滅: 全国共通(WWF絶滅)
- WWF危険: 全国共通(WWF危険)
- WWF希少: 全国共通(WWF希少)
- WWF絶滅寸前: 全国共通(WWF絶滅寸前)
- WWF現状不明: 全国共通(WWF現状不明)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.40 (17) 底生動物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2010

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1995	2000	2005	2010		
207	シワオウギガニ				○		
208	クロベンケイガニ		○	○	○		
209	アカイソガニ				○		
210	ベンケイガニ	○					
	ベンケイガニ科				○		
211	トリウミアカイソモドキ				○	WWF危険	
212	モクスガニ	○					
213	ヒライソガニ				○		
214	ケフサイソガニ				○		
215	イソガニ				○		
	Hemigrapsus属			○	○		
216	イワガニ科				○		
217	イソカニダマシ				○		
218	マエグロヒメフタオカゲロウ	○					
	Ameletus属		○	○	○		
219	ミツオミジカオフトバコカゲロウ			○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動物植物種
- 島根EX: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅EX)
- 島根CR+EN: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧I類CR+EN)
- 島根VU: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧II類VU)
- 島根NT: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧NT)
- 島根DD: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足DD)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)
- 地域: 環境省NRL 地域個体群(Lp)
- WWF絶滅: 全国共通(WWF絶滅)
- WWF危険: 全国共通(WWF危険)
- WWF希少: 全国共通(WWF希少)
- WWF絶滅寸前: 全国共通(WWF絶滅寸前)
- WWF現状不明: 全国共通(WWF現状不明)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.40 (18) 底生動物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2010

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1995	2000	2005	2010		
220	ミジカオフタバコカゲロウ			○	○		
221	ヨシノコカゲロウ			○			
222	フタバコカゲロウ	○	○	○	○		
	Baetiella属		○				
223	サホコカゲロウ	○	○		○		
224	フタモンコカゲロウ			○			
225	シロハラコカゲロウ		○	○	○		
226	Jコカゲロウ		○	○	○		
	Baetis属	○					
227	フタバカゲロウ	○					
	Cloeon属		○	○	○		
228	ウスイロフトヒゲコカゲロウ		○	○	○		
229	クロフトヒゲコカゲロウ		○		○		
230	トビイロコカゲロウ	○	○	○	○		
231	Dコカゲロウ		○	○	○		
232	Procloeon属			○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動物植物種
- 島根EX: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅EX)
- 島根CR+EN: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧I類CR+EN)
- 島根VU: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧II類VU)
- 島根NT: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧NT)
- 島根DD: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足DD)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)
- 地域: 環境省NRL 地域個体群(Lp)
- WWF絶滅: 全国共通(WWF絶滅)
- WWF危険: 全国共通(WWF危険)
- WWF希少: 全国共通(WWF希少)
- WWF絶滅寸前: 全国共通(WWF絶滅寸前)
- WWF現状不明: 全国共通(WWF現状不明)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.40 (19) 底生動物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2010

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1995	2000	2005	2010		
233	Eコカゲロウ		○				
234	Hコカゲロウ		○	○	○		
235	ガガンボカゲロウ	○					
236	キブネタニガワカゲロウ		○				
237	クロタニガワカゲロウ	○		○			
238	シロタニガワカゲロウ	○	○	○	○		
239	ウエノヒラタカゲロウ		○	○	○		
240	ナミヒラタカゲロウ		○	○			
241	エルモンヒラタカゲロウ	○	○				
242	ユミモンヒラタカゲロウ	○					
	Epeorus属			○	○		
243	キョウトキハダヒラタカゲロウ		○	○			
	Heptagenia属		○				
244	ヒメヒラタカゲロウ		○		○		
245	サツキヒメヒラタカゲロウ		○	○	○		
	ヒラタカゲロウ科		○				

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動物植物種
- 島根EX: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅EX)
- 島根CR+EN: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧I類CR+EN)
- 島根VU: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧II類VU)
- 島根NT: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧NT)
- 島根DD: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足DD)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)
- 地域: 環境省NRL 地域個体群(Lp)
- WWF絶滅: 全国共通(WWF絶滅)
- WWF危険: 全国共通(WWF危険)
- WWF希少: 全国共通(WWF希少)
- WWF絶滅寸前: 全国共通(WWF絶滅寸前)
- WWF現状不明: 全国共通(WWF現状不明)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.40 (20) 底生動物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2010

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1995	2000	2005	2010		
246	チラカゲロウ	○	○	○	○		
247	オオフタオカゲロウ	○					
	Siphonurus属		○	○			
248	ヒメトビイロカゲロウ	○	○	○	○		
249	トゲトビイロカゲロウ	○					
	Paraleptophlebia属		○	○			
	トビイロカゲロウ科		○	○			
250	フタスジモンカゲロウ		○				
251	トウヨウモンカゲロウ	○	○	○	○		
252	モンカゲロウ	○	○	○	○		
253	オオシロカゲロウ	○	○	○	○		
254	キイロカワカゲロウ	○	○	○	○		
255	オオクママダラカゲロウ		○	○	○		
256	カスターネアマダラカゲロウ	○					
257	クロマダラカゲロウ	○	○				
258	オオマダラカゲロウ		○	○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動物植物種
- 島根EX: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅EX)
- 島根CR+EN: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧I類CR+EN)
- 島根VU: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧II類VU)
- 島根NT: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧NT)
- 島根DD: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足DD)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)
- 地域: 環境省NRL 地域個体群(Lp)
- WWF絶滅: 全国共通(WWF絶滅)
- WWF危険: 全国共通(WWF危険)
- WWF希少: 全国共通(WWF希少)
- WWF絶滅寸前: 全国共通(WWF絶滅寸前)
- WWF現状不明: 全国共通(WWF現状不明)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.40 (21) 底生動物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2010

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1995	2000	2005	2010		
259	ヨシノマダラカゲロウ	○	○				
260	コウノマダラカゲロウ		○	○			
261	ミツゲマダラカゲロウ	○					
	Drunella属		○				
262	シリナガマダラカゲロウ	○	○	○	○		
263	ホソバマダラカゲロウ		○	○			
264	キタマダラカゲロウ		○				
265	クシゲマダラカゲロウ	○		○	○		
	Ephemerella属		○	○			
266	エラブタマダラカゲロウ		○	○	○		
267	チノマダラカゲロウ		○	○	○		
268	アカマダラカゲロウ	○	○	○	○		
269	ミツゲヒメシロカゲロウ		○	○	○		
270	Caenis属		○	○	○		
271	アオモンイトトンボ	○					
	Ischnura属		○	○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動物植物種
- 島根EX: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅EX)
- 島根CR+EN: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧I類CR+EN)
- 島根VU: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧II類VU)
- 島根NT: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧NT)
- 島根DD: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足DD)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)
- 地域: 環境省NRL 地域個体群(Lp)
- WWF絶滅: 全国共通(WWF絶滅)
- WWF危険: 全国共通(WWF危険)
- WWF希少: 全国共通(WWF希少)
- WWF絶滅寸前: 全国共通(WWF絶滅寸前)
- WWF現状不明: 全国共通(WWF現状不明)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.40 (22) 底生動物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2010

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1995	2000	2005	2010		
272	モートンイトトンボ		○			準絶滅、島根NT	
273	クロイトトンボ	○					
	Paracercion属		○	○	○		
	イトトンボ科			○			
274	モノサシトンボ		○	○			
275	ハグロトンボ	○	○	○			
	Calopteryx属				○		
276	ニホンカワトンボ		○	○		島根NT	
	Mnais属			○			
277	オオルリボシヤンマ				○	島根NT	
278	クロスジギンヤンマ		○	○	○		
279	ギンヤンマ	○	○	○			
	Anax属				○		
280	コシボソヤンマ	○	○	○	○		
281	ミヤマサナエ		○		○		
282	ヤマサナエ	○	○	○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動物植物種
- 島根EX: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅EX)
- 島根CR+EN: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧I類CR+EN)
- 島根VU: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧II類VU)
- 島根NT: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧NT)
- 島根DD: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足DD)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)
- 地域: 環境省NRL 地域個体群(Lp)
- WWF絶滅: 全国共通(WWF絶滅)
- WWF危険: 全国共通(WWF危険)
- WWF希少: 全国共通(WWF希少)
- WWF絶滅寸前: 全国共通(WWF絶滅寸前)
- WWF現状不明: 全国共通(WWF現状不明)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.40 (23) 底生動物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2010

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1995	2000	2005	2010		
283	キイロサナエ	○	○	○	○	島根NT	
284	Davidius属		○	○	○		
285	ホンサナエ	○	○	○			
286	アオサナエ	○	○	○		島根NT	
287	オナガサナエ	○	○	○	○		
288	コオニヤンマ	○	○	○	○		
289	ウチワヤンマ		○				
290	オジロサナエ		○	○			
291	ナゴヤサナエ	○	○	○	○	準絶滅、島根VU	
	Stylurus属		○				
292	フタスジサナエ		○			準絶滅	
	サナエトンボ科		○	○			
293	オニヤンマ	○	○				
294	トラフトンボ		○			島根NT	
295	オオヤマトンボ		○	○			
296	コヤマトンボ	○	○	○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 島根EX: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅EX)
- 島根CR+EN: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧I類CR+EN)
- 島根VU: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧II類VU)
- 島根NT: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧NT)
- 島根DD: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足DD)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)
- 地域: 環境省NRL 地域個体群(Lp)
- WWF絶滅: 全国共通(WWF絶滅)
- WWF危険: 全国共通(WWF危険)
- WWF希少: 全国共通(WWF希少)
- WWF絶滅寸前: 全国共通(WWF絶滅寸前)
- WWF現状不明: 全国共通(WWF現状不明)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.40 (24) 底生動物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2010

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1995	2000	2005	2010		
297	キイロヤマトンボ	○	○	○	○	準絶滅、島根VU	
298	Somatochlora属		○				
299	ショウジョウトンボ		○	○			
300	コフキトンボ		○	○	○		
301	シオカラトンボ	○	○	○	○		
302	ウスバキトンボ	○					
303	コシアキトンボ		○		○		
304	マユタテアカネ				○		
	トンボ科		○	○			
305	Apteropepla属	○					
	クロカワゲラ科		○	○	○		
306	ホソカワゲラ科		○				
307	Amphinemura属	○	○	○	○		
308	Nemoura属	○	○	○			
309	Protonemura属		○				
310	シタカワゲラ科		○	○			

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動物植物種
- 島根EX: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅EX)
- 島根CR+EN: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧I類CR+EN)
- 島根VU: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧II類VU)
- 島根NT: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧NT)
- 島根DD: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足DD)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)
- 地域: 環境省NRL 地域個体群(Lp)
- WWF絶滅: 全国共通(WWF絶滅)
- WWF危険: 全国共通(WWF危険)
- WWF希少: 全国共通(WWF希少)
- WWF絶滅寸前: 全国共通(WWF絶滅寸前)
- WWF現状不明: 全国共通(WWF現状不明)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.40 (25) 底生動物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2010

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1995	2000	2005	2010		
311	ミドリカワゲラ科		○	○			
312	エダオカワゲラ		○				
313	Kamimuria属		○	○	○		
314	ヤマトフタツメカワゲラ	○					
	Neoperla属		○	○	○		
315	ヒトホシクラカケカワゲラ	○			○		
316	オオクラカケカワゲラ	○					
	Paragnetina属		○	○	○		
317	Isoperla属	○	○	○	○		
318	Ostrovus属		○				
319	フライソニアミメカワゲラ		○			準絶滅	
	Periodes属	○					
320	ヒメカワゲラ	○	○				
	Stavsolus属			○	○		
	アミメカワゲラ科			○	○		
321	アメンボ	○	○	○			

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 島根EX: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅EX)
- 島根CR+EN: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧I類CR+EN)
- 島根VU: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧II類VU)
- 島根NT: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧NT)
- 島根DD: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足DD)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)
- 地域: 環境省NRL 地域個体群(Lp)
- WWF絶滅: 全国共通(WWF絶滅)
- WWF危険: 全国共通(WWF危険)
- WWF希少: 全国共通(WWF希少)
- WWF絶滅寸前: 全国共通(WWF絶滅寸前)
- WWF現状不明: 全国共通(WWF現状不明)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.40 (26) 底生動物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2010

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1995	2000	2005	2010		
322	アメンボ				○		
323	ヒメアメンボ	○					
	Gerris属		○	○			
324	シマアメンボ				○		
	アメンボ科			○	○		
325	ヒメイトアメンボ				○		
326	Microvelia属				○		
327	ナガレカタビロアメンボ				○		
328	クロチビズムシ				○		
329	ハイイロチビズムシ				○		
330	チビズムシ	○					
	Micronecta属		○	○			
331	コムズムシ	○					
	ズムシ科 sp.		○				
332	コオイムシ	○				島根NT、準絶滅	
333	オオコオイムシ				○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動物植物種
- 島根EX: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅EX)
- 島根CR+EN: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧I類CR+EN)
- 島根VU: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧II類VU)
- 島根NT: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧NT)
- 島根DD: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足DD)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)
- 地域: 環境省NRL 地域個体群(Lp)
- WWF絶滅: 全国共通(WWF絶滅)
- WWF危険: 全国共通(WWF危険)
- WWF希少: 全国共通(WWF希少)
- WWF絶滅寸前: 全国共通(WWF絶滅寸前)
- WWF現状不明: 全国共通(WWF現状不明)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.40 (27) 底生動物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2010

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1995	2000	2005	2010		
334	Diplonychus属		○				
335	タイコウチ				○		
336	ミズカマキリ		○				
337	ナベブタムシ	○	○				
338	マツモムシ			○			
339	ヘビトンボ	○	○				
340	ネグロセンブリ	○					
341	ムネカクトビケラ		○				
	Ecnomus属			○			
342	コガタシマトビケラ	○					
343	ナミコガタシマトビケラ				○		
	Cheumatopsyche属		○	○	○		
344	ギフシマトビケラ				○		
345	ウルマーシマトビケラ	○	○	○	○		
346	ナカハラシマトビケラ		○	○	○		
347	オオシマトビケラ	○	○	○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動物植物種
- 島根EX: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅EX)
- 島根CR+EN: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧I類CR+EN)
- 島根VU: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧II類VU)
- 島根NT: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧NT)
- 島根DD: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足DD)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)
- 地域: 環境省NRL 地域個体群(Lp)
- WWF絶滅: 全国共通(WWF絶滅)
- WWF危険: 全国共通(WWF危険)
- WWF希少: 全国共通(WWF希少)
- WWF絶滅寸前: 全国共通(WWF絶滅寸前)
- WWF現状不明: 全国共通(WWF現状不明)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.40 (28) 底生動物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2010

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1995	2000	2005	2010		
348	エチゴシマトビケラ		○	○	○		
	シマトビケラ科		○	○			
349	Plectrocnemia属	○	○				
	イフトビケラ科		○				
350	Psychomyia属	○	○	○	○		
351	ヒゲナガカワトビケラ	○	○	○	○		
352	チャバネヒゲナガカワトビケラ	○	○		○		
	Stenopsyche属			○			
	ヒゲナガカワトビケラ科		○				
353	Agapetus属		○		○		
354	イノブスヤマトビケラ	○			○		
	Glossosoma属		○	○			
355	ツメナガナガレトビケラ	○					
356	Hydroptila属			○	○		
357	Oxyethira属		○				
	ヒメトビケラ科		○				

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動物植物種
- 島根EX: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅EX)
- 島根CR+EN: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧I類CR+EN)
- 島根VU: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧II類VU)
- 島根NT: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧NT)
- 島根DD: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足DD)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)
- 地域: 環境省NRL 地域個体群(Lp)
- WWF絶滅: 全国共通(WWF絶滅)
- WWF危険: 全国共通(WWF危険)
- WWF希少: 全国共通(WWF希少)
- WWF絶滅寸前: 全国共通(WWF絶滅寸前)
- WWF現状不明: 全国共通(WWF現状不明)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.40 (29) 底生動物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2010

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1995	2000	2005	2010		
358	ヒロアタマナガレトビケラ	○	○				
359	キノナガレトビケラ		○				
360	ムナグロナガレトビケラ	○	○	○			
361	トランスクイラナガレトビケラ		○				
362	ヤマナカナガレトビケラ	○	○	○	○		
	Rhyacophila属		○		○		
363	Apatania属	○	○	○	○		
364	Brachycentrus属			○	○		
365	Micrasema属		○	○			
366	コバントビケラ	○	○				
367	ニンギョウトビケラ	○	○	○	○		
368	キョウトニンギョウトビケラ	○					
	Goera属		○				
369	コカクツツトビケラ	○					
	Lepidostoma属		○	○	○		
370	Ceraclea属		○	○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 島根EX: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅EX)
- 島根CR+EN: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧I類CR+EN)
- 島根VU: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧II類VU)
- 島根NT: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧NT)
- 島根DD: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足DD)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)
- 地域: 環境省NRL 地域個体群(Lp)
- WWF絶滅: 全国共通(WWF絶滅)
- WWF危険: 全国共通(WWF危険)
- WWF希少: 全国共通(WWF希少)
- WWF絶滅寸前: 全国共通(WWF絶滅寸前)
- WWF現状不明: 全国共通(WWF現状不明)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.40 (30) 底生動物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2010

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1995	2000	2005	2010		
371	Leptocerus属			○	○		
372	アオヒゲナガトビケラ	○					
	Mystacides属		○	○	○		
373	Oecetis属		○	○	○		
374	Setodes属		○	○			
375	Trienodes属			○	○		
376	Trichosetodes属		○	○			
	ヒゲナガトビケラ科		○				
377	Asynarchus属		○				
378	セグロトビケラ	○					
	Limnephilus属		○	○	○		
379	Nemotaulius属		○	○			
380	Nothopsyche属		○	○			
381	ホソバトビケラ	○	○	○	○		
382	ヨツメトビケラ	○					
383	Agrypnia属				○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動物植物種
- 島根EX: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅EX)
- 島根CR+EN: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧I類CR+EN)
- 島根VU: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧II類VU)
- 島根NT: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧NT)
- 島根DD: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足DD)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)
- 地域: 環境省NRL 地域個体群(Lp)
- WWF絶滅: 全国共通(WWF絶滅)
- WWF危険: 全国共通(WWF危険)
- WWF希少: 全国共通(WWF希少)
- WWF絶滅寸前: 全国共通(WWF絶滅寸前)
- WWF現状不明: 全国共通(WWF現状不明)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.40 (31) 底生動物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2010

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1995	2000	2005	2010		
384	ムラサキトビケラ	○					
385	Oligotricha属		○				
386	マルバネトビケラ	○	○				
387	Gumaga属	○	○	○	○		
388	キオビミズメイガ				○		
	ツトガ科		○				
389	Antocha bifida	○					
	Antocha属		○	○	○		
390	Dicranota属	○	○	○			
391	Erioptera属				○		
392	Hexatoma属	○	○	○	○		
393	Ormosia属		○				
394	Tipula属	○	○	○	○		
	ガガンボ科		○	○			
395	クロバアミカ		○				
396	コクロバアミカ		○				

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 島根EX: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅EX)
- 島根CR+EN: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧I類CR+EN)
- 島根VU: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧II類VU)
- 島根NT: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧NT)
- 島根DD: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足DD)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)
- 地域: 環境省NRL 地域個体群(Lp)
- WWF絶滅: 全国共通(WWF絶滅)
- WWF危険: 全国共通(WWF危険)
- WWF希少: 全国共通(WWF希少)
- WWF絶滅寸前: 全国共通(WWF絶滅寸前)
- WWF現状不明: 全国共通(WWF現状不明)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.40 (32) 底生動物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2010

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1995	2000	2005	2010		
397	スカシミアカ			○	○		
398	シラキスカシミアカ		○	○			
399	Philorus属			○			
400	Psychoda属				○		
401	Protoplasa属			○			
402	Atrichopogon属			○			
	ヌカカ科	○	○	○			
403	ケヨソイカ科		○	○			
404	Ablabesmyia属				○		
405	Anatopynia属		○				
406	Brillia属			○	○		
407	Cardiocladius属				○		
408	オオユスリカ	○					
409	セスジユスリカ	○					
	Chironomus属	○	○	○	○		
410	Cladopelma属				○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動物植物種
- 島根EX: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅EX)
- 島根CR+EN: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧I類CR+EN)
- 島根VU: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧II類VU)
- 島根NT: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧NT)
- 島根DD: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足DD)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)
- 地域: 環境省NRL 地域個体群(Lp)
- WWF絶滅: 全国共通(WWF絶滅)
- WWF危険: 全国共通(WWF危険)
- WWF希少: 全国共通(WWF希少)
- WWF絶滅寸前: 全国共通(WWF絶滅寸前)
- WWF現状不明: 全国共通(WWF現状不明)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.40 (33) 底生動物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2010

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1995	2000	2005	2010		
411	Cladotanytarsus属				○		
412	Clinotanypus属				○		
413	Conchapelopia属				○		
414	Cricotopus属				○		
415	Cryptochironomus属		○	○	○		
416	Dicrotendipes属				○		
417	Einfeldia属		○	○	○		
418	Eukiefferiella属				○		
419	Glyptotendipes属			○	○		
420	Hydrobaenus属				○		
421	Macropelopia属				○		
422	Micropsectra属				○		
423	Microtendipes属		○	○			
424	Monodiamesa属			○			
425	Orthocladius属				○		
426	Pagastia属			○			

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動物植物種
- 島根EX: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅EX)
- 島根CR+EN: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧I類CR+EN)
- 島根VU: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧II類VU)
- 島根NT: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧NT)
- 島根DD: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足DD)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)
- 地域: 環境省NRL 地域個体群(Lp)
- WWF絶滅: 全国共通(WWF絶滅)
- WWF危険: 全国共通(WWF危険)
- WWF希少: 全国共通(WWF希少)
- WWF絶滅寸前: 全国共通(WWF絶滅寸前)
- WWF現状不明: 全国共通(WWF現状不明)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.40 (34) 底生動物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2010

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1995	2000	2005	2010		
427	Parachironomus属		○				
428	Paracladopelma属				○		
429	Paramerina属				○		
430	Paraphaenocladus属				○		
431	Paratendipes属		○	○			
432	Pentaneura属		○				
433	Polypedilum属		○	○	○		
434	Potthastia属			○	○		
435	Procladius属		○	○	○		
436	アカムシユスリカ		○	○	○		
437	Pseudosmittia属				○		
438	Rheopelopia属				○		
439	Robackia属			○	○		
440	Saetheria sp.				○		
441	Stenochironomus属		○	○	○		
442	Stictochironomus属		○	○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動物植物種
- 島根EX: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅EX)
- 島根CR+EN: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧I類CR+EN)
- 島根VU: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧II類VU)
- 島根NT: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧NT)
- 島根DD: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足DD)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)
- 地域: 環境省NRL 地域個体群(Lp)
- WWF絶滅: 全国共通(WWF絶滅)
- WWF危険: 全国共通(WWF危険)
- WWF希少: 全国共通(WWF希少)
- WWF絶滅寸前: 全国共通(WWF絶滅寸前)
- WWF現状不明: 全国共通(WWF現状不明)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.40 (35) 底生動物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2010

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1995	2000	2005	2010		
443	Sympotthastia属				○		
444	カスリモンユスリカ		○	○			
	Tanypus属				○		
445	Tanytarsus属				○		
446	Tvetenia属				○		
	ユスリカ科		○	○	○		
447	Culex属				○		
	カ科		○	○			
448	キアシツメダゲブ				○		
	Simulium属	○	○	○	○		
	ブユ科	○					
449	ヒメモンナガレアブ		○	○			
450	コモンナガレアブ	○	○				
451	Suragina属			○			
452	Beris属				○		
453	Chorisops属			○			

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動物植物種
- 島根EX: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅EX)
- 島根CR+EN: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧I類CR+EN)
- 島根VU: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧II類VU)
- 島根NT: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧NT)
- 島根DD: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足DD)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)
- 地域: 環境省NRL 地域個体群(Lp)
- WWF絶滅: 全国共通(WWF絶滅)
- WWF危険: 全国共通(WWF危険)
- WWF希少: 全国共通(WWF希少)
- WWF絶滅寸前: 全国共通(WWF絶滅寸前)
- WWF現状不明: 全国共通(WWF現状不明)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.40 (36) 底生動物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2010

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1995	2000	2005	2010		
454	Odontomyia属		○				
455	Oplodontha属			○			
456	ミズアブ	○					
	ミズアブ科		○				
457	アシナガバエ科		○	○	○		
458	オドリバエ科		○	○			
459	ミギワバエ科			○			
	ハエ目(双翅目)		○				
460	マメゲンゴロウ	○					
461	Copelatus属		○				
462	ハイイロゲンゴロウ				○		
463	コシマゲンゴロウ			○			
464	ウスイロシマゲンゴロウ				○		
465	チビゲンゴロウ				○		
466	キベリクロヒメゲンゴロウ		○				
467	ルイスツブゲンゴロウ		○				

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 島根EX: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅EX)
- 島根CR+EN: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧I類CR+EN)
- 島根VU: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧II類VU)
- 島根NT: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧NT)
- 島根DD: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足DD)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)
- 地域: 環境省NRL 地域個体群(Lp)
- WWF絶滅: 全国共通(WWF絶滅)
- WWF危険: 全国共通(WWF危険)
- WWF希少: 全国共通(WWF希少)
- WWF絶滅寸前: 全国共通(WWF絶滅寸前)
- WWF現状不明: 全国共通(WWF現状不明)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.40 (37) 底生動物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2010

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1995	2000	2005	2010		
468	モンキマメゲンゴロウ	○	○				
469	ヒメゲンゴロウ	○	○		○		
	ゲンゴロウ科		○	○			
470	オオミズスマシ		○				
471	オナガミズスマシ	○					
	ミズスマシ科		○				
472	ヒメコガシラミズムシ				○		
473	コガシラミズムシ			○			
474	ゴマフガムシ	○					
	Berosus属		○				
475	キイロヒラタガムシ				○		
476	ガムシ		○				
477	シジミガムシ	○					
478	ヒメシジミガムシ				○		
	Laccobius属		○				
479	ヒメガムシ	○	○	○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 島根EX: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅EX)
- 島根CR+EN: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧I類CR+EN)
- 島根VU: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧II類VU)
- 島根NT: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧NT)
- 島根DD: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足DD)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)
- 地域: 環境省NRL 地域個体群(Lp)
- WWF絶滅: 全国共通(WWF絶滅)
- WWF危険: 全国共通(WWF危険)
- WWF希少: 全国共通(WWF希少)
- WWF絶滅寸前: 全国共通(WWF絶滅寸前)
- WWF現状不明: 全国共通(WWF現状不明)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.40 (38) 底生動物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2010

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1995	2000	2005	2010		
	ガムシ科		○	○			
480	Cyphon属				○		
481	ムナビロツヤドロムシ				○		
482	Dryopomorphus属			○			
483	キベリナガアシドロムシ				○		
	Grouvellinus属		○				
484	ヨコミゾドロムシ				○	危惧II	
485	ミヤモトアシナガミドロムシ				○		
486	イブシアシナガドロムシ				○		
	Stenelmis属		○				
487	アワツヤドロムシ	○			○		
488	ツヤドロムシ	○					
	Zaitzevia属	○	○	○			
489	ヒメツヤドロムシ				○		
	Zaitzeviaria属		○	○			
	ヒメドロムシ科		○	○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動物植物種
- 島根EX: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅EX)
- 島根CR+EN: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧I類CR+EN)
- 島根VU: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧II類VU)
- 島根NT: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧NT)
- 島根DD: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足DD)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)
- 地域: 環境省NRL 地域個体群(Lp)
- WWF絶滅: 全国共通(WWF絶滅)
- WWF危険: 全国共通(WWF危険)
- WWF希少: 全国共通(WWF希少)
- WWF絶滅寸前: 全国共通(WWF絶滅寸前)
- WWF現状不明: 全国共通(WWF現状不明)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.40 (39) 底生動物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2010

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1995	2000	2005	2010		
490	チビヒゲナガハナノミ	○					
	Ectopria属		○	○			
491	Eubrianax属		○	○	○		
492	ヒラタドロムシ	○			○		
	Mataeopsephus属		○	○			
493	マスダドロムシ			○	○		
	Malacopsephenoides属		○				
494	ゲンジボタル	○	○	○			
495	ヘイケボタル		○	○			
496	Celleporaria属				○		
497	ウスコケムシ科				○		
498	シロボヤ				○		
種数		139	273	244	334	33	4

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動物種
- 島根EX: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅EX)
- 島根CR+EN: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧I類CR+EN)
- 島根VU: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧II類VU)
- 島根NT: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧NT)
- 島根DD: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足DD)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)
- 地域: 環境省NRL 地域個体群(Lp)
- WWF絶滅: 全国共通(WWF絶滅)
- WWF危険: 全国共通(WWF危険)
- WWF希少: 全国共通(WWF希少)
- WWF絶滅寸前: 全国共通(WWF絶滅寸前)
- WWF現状不明: 全国共通(WWF現状不明)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.41 (1) 植物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2006

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1991	1996	2001	2006		
1	クラマゴケ			○	○		
2	スギナ			○	○		
3	オオハナワラビ			○			
4	フユノハナワラビ			○	○		
5	ゼンマイ			○	○		
6	キジノオシダ				○		
7	カニクサ			○	○		
8	フモトシダ			○	○		
9	ワラビ			○	○		
10	ホラシノブ			○			
11	クジャクシダ				○		
12	ミズワラビ				○	島根準絶滅	
13	イワガネゼンマイ			○	○		
14	イワガネソウ				○		
15	タチシノブ			○	○		
16	オオバノイノモトソウ			○	○		
17	イノモトソウ			○	○		
18	トラノオシダ			○	○		
19	リョウメンシダ			○	○		
20	オニヤブソテツ			○	○		
21	ヤブソテツ			○	○		
22	ヤマヤブソテツ				○		
23	オシダ			○	○		
24	ベニシダ			○	○		

重要種

島根危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 絶滅危惧II類 島根県
 島根準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 準絶滅危惧 島根県
 危惧IB: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧IB類(EN)
 危惧II: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧II類(VU)
 準絶滅: 環境省(庁)NRDB 準絶滅危惧(NT)
 不足: 環境省(庁)NRDB 情報不足(DD)

外来種

特定: 外来生物法で指定された特定外来生物
 要注意: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き特定外来生物等への指定の適否について検討する外来生物
 国外: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き情報の集積に努める外来生物

表 1.4.41 (2) 植物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2006

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1991	1996	2001	2006		
25	トウゴクシダ			○			
26	クマワラビ			○	○		
27	オクマワラビ			○	○		
28	ヤマイタチシダ			○			
29	イノデ			○	○		
30	サカゲイノデ			○			
31	ゲジゲジシダ			○	○		
32	ミゾシダ			○	○		
33	ホシダ		ホシダ	○	○		
34	イブキシダ			○			
35	ヒメワラビ			○	○		
36	ホソバイヌワラビ				○		
37	イヌワラビ			○			
38	ヤマイヌワラビ			○			
39	シケチシダ			○			
40	シケシダ			○	○		
41	クサソテツ			○	○		
42	コウヤワラビ			○	○		
43	ノキシノブ			○			
44	アカマツ			○	○		
45	クロマツ			○	○		
46	スギ				○		
47	ヒノキ				○		
48	イヌマキ				○		

重要種

島根危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 絶滅危惧II類 島根県
 島根準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 準絶滅危惧 島根県
 危惧IB: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧IB類(EN)
 危惧II: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧II類(VU)
 準絶滅: 環境省(庁)NRDB 準絶滅危惧(NT)
 不足: 環境省(庁)NRDB 情報不足(DD)

外来種

特定: 外来生物法で指定された特定外来生物
 要注意: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き特定外来生物等への指定の適否について検討する外来生物
 国外: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き情報の集積に努める外来生物

表 1.4.41 (3) 植物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2006

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1991	1996	2001	2006		
49	ヤマモモ				○		
50	オニグルミ			○	○		
51	ノグルミ			○			
52	ウラジロハコヤナギ			○			
53	ヤマナラシ				○		
54	シダレヤナギ			○	○		
55	アカメヤナギ			○	○		
56	カワヤナギ			○	○		
57	ネコヤナギ			○	○		
58	イヌコリヤナギ			○	○		
59	コリヤナギ			○			
60	ウンリュウヤナギ			○			
61	オオタチヤナギ			○	○		
62	オノエヤナギ			○	○		
63	タチヤナギ			○	○		
64	カワラハンノキ			○	○		
65	クリ				○		
66	スダジイ				○		
67	クヌギ				○		
68	ナラガシワ			○	○		
69	カシワ			○			
70	アラカシ				○		
71	ウバメガシ			○			
72	コナラ			○			

重要種

島根危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 絶滅危惧II類 島根県
 島根準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 準絶滅危惧 島根県
 危惧IB: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧IB類(EN)
 危惧II: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧II類(VU)
 準絶滅: 環境省(庁)NRDB 準絶滅危惧(NT)
 不足: 環境省(庁)NRDB 情報不足(DD)

外来種

特定: 外来生物法で指定された特定外来生物
 要注意: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き特定外来生物等への指定の適否について検討する外来生物
 国外: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き情報の集積に努める外来生物

表 1.4.41 (4) 植物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2006

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1991	1996	2001	2006		
73	ムクノキ			○	○		
74	エノキ			○	○		
75	アキノレ			○	○		
76	ケヤキ			○	○		
77	ヒメコウゾ			○	○		
78	クワクサ			○	○		
79	イチジク			○	○		
80	イヌビワ			○	○		
81	カナムグラ			○	○		
82	トウグワ			○	○		
83	ヤマグワ			○	○		
84	ヤブマオ			○	○		
85	カラムシ			○	○		
86	メヤブマオ				○		
87	コアカソ			○			
88	アカソ			○	○		
89	カテンソウ			○	○		
90	ミズ			○			
91	アオミズ			○	○		
92	イラクサ			○			
93	カナビキソウ			○			
94	ミズヒキ			○	○		
95	ソバ			○			
96	サクラタデ			○			

重要種

島根危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 絶滅危惧II類 島根県
 島根準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 準絶滅危惧 島根県
 危惧IB: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧IB類(EN)
 危惧II: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧II類(VU)
 準絶滅: 環境省(庁)NRDB 準絶滅危惧(NT)
 不足: 環境省(庁)NRDB 情報不足(DD)

外来種

特定: 外来生物法で指定された特定外来生物
 要注意: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き特定外来生物等への指定の適否について検討する外来生物
 国外: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き情報の集積に努める外来生物

表 1.4.41 (5) 植物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2006

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1991	1996	2001	2006		
97	ヤナギタデ			○	○		
98	シロバナサクラタデ			○	○		
99	オオイヌタデ			○	○		
100	イヌタデ			○	○		
101	ヤノネグサ			○	○		
102	イシミカワ			○	○		
103	オオケタデ			○			
104	ハナタデ			○			
105	ボントクタデ			○	○		
106	サナエタデ			○			
107	ママコノシリヌグイ			○	○		
108	アキノウナギツカミ			○	○		
109	ミゾソバ			○	○		
110	ハルタデ			○			
111	ミチヤナギ			○			
112	アキノミチヤナギ			○	○		
113	イタドリ			○	○		
114	スイバ			○	○		
115	ヒメスイバ			○	○		
116	アレチギンギン			○	○		
117	ナガバギンギン			○	○		
118	ギンギン			○	○		
119	エゾノギンギン			○	○		国外
120	ヨウシュヤマゴボウ			○	○		

重要種

島根危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 絶滅危惧II類 島根県
 島根準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 準絶滅危惧 島根県
 危惧IB: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧IB類(EN)
 危惧II: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧II類(VU)
 準絶滅: 環境省(庁)NRDB 準絶滅危惧(NT)
 不足: 環境省(庁)NRDB 情報不足(DD)

外来種

特定: 外来生物法で指定された特定外来生物
 要注意: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き特定外来生物等への指定の適否について検討する外来生物
 国外: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き情報の集積に努める外来生物

表 1.4.41 (6) 植物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2006

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1991	1996	2001	2006		
121	ザクロソウ			○	○		
122	クルマバザクロソウ			○	○		
123	ツルナ			○	○		
124	スベリヒユ			○	○		
125	ノミノツツリ			○	○		
126	オランダミミナグサ			○	○		
127	ミミナグサ				○		
128	カワラナデシコ			○	○		
129	イヌコモチナデシコ			○			
130	ヨツバハコベ			○			
131	ツメクサ			○	○		
132	ハマツメクサ				○		
133	ムシトリナデシコ			○	○		
134	シロバナマンテマ			○			
135	マンテマ			○	○		
136	ノハラツメクサ			○			
137	ノミノフスマ			○	○		
138	ウシハコベ			○	○		
139	コハコベ			○	○		
140	ミドリハコベ			○	○		
141	ホソバナハマアカザ			○	○		
142	マルバアカザ			○			
143	シロザ			○	○		
144	アカザ				○		

重要種

島根危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 絶滅危惧II類 島根県
 島根準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 準絶滅危惧 島根県
 危惧IB: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧IB類(EN)
 危惧II: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧II類(VU)
 準絶滅: 環境省(庁)NRDB 準絶滅危惧(NT)
 不足: 環境省(庁)NRDB 情報不足(DD)

外来種

特定: 外来生物法で指定された特定外来生物
 要注意: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き特定外来生物等への指定の適否について検討する外来生物
 国外: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き情報の集積に努める外来生物

表 1.4.41 (7) 植物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2006

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1991	1996	2001	2006		
145	ケアリタソウ			○	○		
146	アメリカアリタソウ			○			
147	コアカザ			○	○		
148	オカヒジキ				○		
149	ヒカゲイノコズチ			○	○		
150	ヒナタイノコズチ			○	○		
151	ヤナギイノコズチ		○	○			
152	イヌビユ			○	○		
153	ホソアオゲイトウ			○	○		
154	アオビユ			○	○		
155	ノゲイトウ			○			
156	ケイトウ				○		
157	タイサンボク				○		
158	サネカズラ				○		
159	シキミ				○		
160	カゴノキ				○		
161	クスノキ				○		
162	ヤブニッケイ			○	○		
163	ニッケイ				○	準絶滅	
164	タブノキ			○	○		
165	シロダモ				○		
166	ヒメウズ			○	○		
167	ポタンヅル			○	○		
168	センニンソウ			○	○		

重要種

島根危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 絶滅危惧II類 島根県
 島根準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 準絶滅危惧 島根県
 危惧IB: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧IB類(EN)
 危惧II: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧II類(VU)
 準絶滅: 環境省(庁)NRDB 準絶滅危惧(NT)
 不足: 環境省(庁)NRDB 情報不足(DD)

外来種

特定: 外来生物法で指定された特定外来生物
 要注意: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き特定外来生物等への指定の適否について検討する外来生物
 国外: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き情報の集積に努める外来生物

表 1.4.41 (8) 植物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2006

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1991	1996	2001	2006		
169	ケキツネノボタン			○	○		
170	ウマノアシガタ			○	○		
171	タガラシ			○	○		
172	キツネノボタン			○	○		
173	アキカラマツ			○	○		
174	ホソバヒイラギナンテン				○		
175	ヒイラギナンテン				○		
176	ナンテン				○		
177	アケビ			○	○		
178	ミツバアケビ			○	○		
179	ムベ				○		
180	アオツツラフジ			○	○		
181	ツツラフジ			○			
182	ハスノハカズラ			○	○		
183	フサジュンサイ			○			
184	マツモ			○	○		
185	ドクダミ			○	○		
186	ハンゲショウ			○	○	島根準絶滅	
187	センリョウ				○		
188	ウマノスズクサ			○	○		
189	ヤブツバキ			○	○		
190	サザンカ				○		
191	サカキ			○			
192	ヒサカキ			○	○		

重要種

島根危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 絶滅危惧II類 島根県
 島根準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 準絶滅危惧 島根県
 危惧IB: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧IB類(EN)
 危惧II: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧II類(VU)
 準絶滅: 環境省(庁)NRDB 準絶滅危惧(NT)
 不足: 環境省(庁)NRDB 情報不足(DD)

外来種

特定: 外来生物法で指定された特定外来生物
 要注意: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き特定外来生物等への指定の適否について検討する外来生物
 国外: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き情報の集積に努める外来生物

表 1.4.41 (9) 植物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2006

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1991	1996	2001	2006		
193	モッコク			○			
194	チャノキ				○		
195	オトギリソウ			○	○		
196	ヒメオトギリ			○			
197	コケオトギリ			○	○		
198	サワオトギリ			○			
199	クサノオウ			○	○		
200	ムラサキケマン			○	○		
201	ナガミノツルキケマン	○	○	○	○	準絶滅	
202	ナガミヒナゲシ			○	○		
203	ヒナゲシ			○			
204	ハタザオ			○			
205	ハマハタザオ			○	○		
206	セイヨウカラシナ			○	○		
207	セイヨウアブラナ			○	○		
208	ナズナ			○			
209	タネツケバナ			○	○		
210	ジャニンジン			○			
211	コンロンソウ			○	○		
212	ミズタガラシ			○			
213	オオバタネツケバナ			○			
214	マメグンバイナズナ			○	○		
215	オランダガラシ			○	○		国外
216	ダイコン			○			

重要種

島根危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 絶滅危惧II類 島根県
 島根準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 準絶滅危惧 島根県
 危惧IB: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧IB類(EN)
 危惧II: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧II類(VU)
 準絶滅: 環境省(庁)NRDB 準絶滅危惧(NT)
 不足: 環境省(庁)NRDB 情報不足(DD)

外来種

特定: 外来生物法で指定された特定外来生物
 要注意: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き特定外来生物等への指定の適否について検討する外来生物
 国外: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き情報の集積に努める外来生物

表 1.4.41 (10) 植物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2006

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1991	1996	2001	2006		
217	ハマダイコン			○	○		
218	イヌガラシ			○	○		
219	スカシタゴボウ			○	○		
220	コモチマンネングサ			○	○		
221	オノマンネングサ			○			
222	タイトゴメ			○	○		
223	ツルマンネングサ			○	○		
224	ネコノメソウ			○			
225	ウツギ			○	○		
226	タコノアシ	○	○	○	○	島根危惧II、危惧II	
227	ユキノシタ			○			
228	トベラ			○	○		
229	キンミズヒキ			○	○		
230	クサボケ			○			
231	ヘビイチゴ			○	○		
232	ヤブヘビイチゴ			○	○		
233	ビワ			○	○		
234	ダイコンソウ			○			
235	ヤマブキ				○		
236	ズミ			○			
237	ミツバツチグリ			○			
238	オヘビイチゴ			○	○		
239	ヤマザクラ			○	○		
240	ウメ			○			

重要種

島根危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 絶滅危惧II類 島根県
 島根準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 準絶滅危惧 島根県
 危惧IB: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧IB類(EN)
 危惧II: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧II類(VU)
 準絶滅: 環境省(庁)NRDB 準絶滅危惧(NT)
 不足: 環境省(庁)NRDB 情報不足(DD)

外来種

特定: 外来生物法で指定された特定外来生物
 要注意: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き特定外来生物等への指定の適否について検討する外来生物
 国外: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き情報の集積に努める外来生物

表 1.4.41 (11) 植物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2006

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1991	1996	2001	2006		
241	エドヒガン			○			
242	ソメイヨシノ			○	○		
243	タチバナモドキ				○		
244	ヤマナシ			○			
245	シャリンバイ			○	○		
246	マルバノシャリンバイ				○		
247	ノイバラ			○	○		
248	ミヤコイバラ			○			
249	テリハノイバラ			○	○		
250	フユイチゴ			○	○		
251	クマイチゴ			○			
252	クサイチゴ			○	○		
253	ナワシロイチゴ			○	○		
254	ワレモコウ			○	○		
255	ナナカマド			○			
256	クサネム			○	○		
257	ネムノキ			○	○		
258	イタチハギ			○	○		
259	ヤブマメ			○	○		
260	ゲンゲ			○	○		
261	カワラケツメイ			○			
262	タヌキマメ				○	島根危惧II	
263	エニシダ			○	○		
264	ヌスビトハギ				○		

重要種

島根危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 絶滅危惧II類 島根県
 島根準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 準絶滅危惧 島根県
 危惧IB: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧IB類(EN)
 危惧II: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧II類(VU)
 準絶滅: 環境省(庁)NRDB 準絶滅危惧(NT)
 不足: 環境省(庁)NRDB 情報不足(DD)

外来種

特定: 外来生物法で指定された特定外来生物
 要注意: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き特定外来生物等への指定の適否について検討する外来生物
 国外: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き情報の集積に努める外来生物

表 1.4.41 (12) 植物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2006

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1991	1996	2001	2006		
265	ノアズキ			○	○		
266	ツルマメ			○	○		
267	コマツナギ			○	○		
268	マルバヤハズソウ				○		
269	ヤハズソウ			○	○		
270	ハマエンドウ			○	○		
271	ヤマハギ			○			
272	メドハギ			○	○		
273	ハイメドハギ			○			
274	ツクシハギ				○		
275	ネコハギ			○	○		
276	セイヨウミヤコグサ			○			
277	ミヤコグサ			○	○		
278	ハネミイヌエンジュ			○			
279	コメツブウマゴヤシ			○			
280	ウマゴヤシ			○	○		
281	クズ			○	○		
282	タンキリマメ				○		
283	ハリエンジュ			○			
284	クララ			○	○		
285	クスダマツメクサ			○			
286	コメツブツメクサ			○	○		
287	ムラサキツメクサ			○	○		
288	シロツメクサ			○	○		

重要種

島根危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 絶滅危惧II類 島根県
 島根準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 準絶滅危惧 島根県
 危惧IB: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧IB類(EN)
 危惧II: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧II類(VU)
 準絶滅: 環境省(庁)NRDB 準絶滅危惧(NT)
 不足: 環境省(庁)NRDB 情報不足(DD)

外来種

特定: 外来生物法で指定された特定外来生物
 要注意: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き特定外来生物等への指定の適否について検討する外来生物
 国外: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き情報の集積に努める外来生物

表 1.4.41 (13) 植物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2006

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1991	1996	2001	2006		
289	ツルフジバカマ			○			
290	ヤハズエンドウ			○	○		
291	クサフジ				○		
292	ナヨクサフジ			○			
293	スズメノエンドウ			○	○		
294	カスマグサ			○	○		
295	ナンテンハギ			○			
296	ヤブツルアズキ			○	○		
297	フジ			○	○		
298	イモカタバミ				○		
299	カタバミ			○	○		
300	ウスアカカタバミ				○		
301	ムラサキカタバミ			○	○		国外
302	オッタチカタバミ			○	○		
303	アメリカフウロ			○			
304	ゲンノショウコ			○	○		
305	エノキグサ			○	○		
306	アブラギリ			○			
307	オオニシキソウ			○	○		
308	コニシキソウ			○	○		
309	アカメガシラ			○	○		
310	ヒメカンソウ			○			
311	ナンキンハゼ			○	○		
312	ユズリハ				○		

重要種

島根危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 絶滅危惧II類 島根県
 島根準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 準絶滅危惧 島根県
 危惧IB: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧IB類(EN)
 危惧II: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧II類(VU)
 準絶滅: 環境省(庁)NRDB 準絶滅危惧(NT)
 不足: 環境省(庁)NRDB 情報不足(DD)

外来種

特定: 外来生物法で指定された特定外来生物
 要注意: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き特定外来生物等への指定の適否について検討する外来生物
 国外: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き情報の集積に努める外来生物

表 1.4.41 (14) 植物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2006

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1991	1996	2001	2006		
313	カラスザンショウ			○			
314	サンショウ			○	○		
315	アサクラザンショウ			○			
316	イヌザンショウ			○			
317	シンジュ			○	○		
318	ニガキ			○			
319	チャンチン			○			
320	センダン			○	○		
321	ヌルデ			○	○		
322	ハゼノキ			○	○		
323	ヤマハゼ			○	○		
324	ヤマウルシ			○			
325	イロハモミジ				○		
326	ツリフネソウ			○	○		
327	イヌツゲ				○		
328	アオハダ			○			
329	クロガネモチ				○		
330	ウメモドキ			○			
331	ツルウメモドキ			○	○		
332	コマユミ			○	○		
333	マサキ			○	○		
334	ツリバナ			○			
335	マユミ				○		
336	ノブドウ			○	○		

重要種

島根危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 絶滅危惧II類 島根県
 島根準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 準絶滅危惧 島根県
 危惧IB: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧IB類(EN)
 危惧II: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧II類(VU)
 準絶滅: 環境省(庁)NRDB 準絶滅危惧(NT)
 不足: 環境省(庁)NRDB 情報不足(DD)

外来種

特定: 外来生物法で指定された特定外来生物
 要注意: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き特定外来生物等への指定の適否について検討する外来生物
 国外: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き情報の集積に努める外来生物

表 1.4.41 (15) 植物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2006

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1991	1996	2001	2006		
337	キレバノブドウ			○			
338	ヤブガラシ			○	○		
339	ツタ			○	○		
340	ヤマブドウ			○			
341	エビヅル			○	○		
342	カラスノゴマ			○			
343	フヨウ			○			
344	ムクゲ			○			
345	ゼニバアオイ			○			
346	アオギリ				○		
347	ツルグミ			○			
348	マルバグミ			○			
349	ナワシログミ				○		
350	アキグミ			○	○		
351	Elaeagnus属の一種			○			
352	タチツボスミレ			○	○		
353	アオイスミレ			○	○		
354	オオタチツボスミレ			○	○		
355	スミレ			○	○		
356	ヒメスミレ			○			
357	ツボスミレ			○	○		
358	アギスミレ			○			
359	ミゾハコベ			○	○		
360	ゴキヅル			○	○		

重要種

島根危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 絶滅危惧II類 島根県
 島根準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 準絶滅危惧 島根県
 危惧IB: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧IB類(EN)
 危惧II: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧II類(VU)
 準絶滅: 環境省(庁)NRDB 準絶滅危惧(NT)
 不足: 環境省(庁)NRDB 情報不足(DD)

外来種

特定: 外来生物法で指定された特定外来生物
 要注意: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き特定外来生物等への指定の適否について検討する外来生物
 国外: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き情報の集積に努める外来生物

表 1.4.41 (16) 植物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2006

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1991	1996	2001	2006		
361	アマチャヅル			○	○		
362	スズメウリ			○	○		
363	アレチウリ			○	○		特定
364	カラスウリ			○	○		
365	キカラスウリ			○	○		
366	ヒメソハギ				○		
367	サルスベリ			○			
368	ミソハギ			○			
369	キカシグサ			○	○		
370	ヒシ			○	○		
371	ミズタマソウ			○	○		
372	アカバナ			○			
373	チョウジタデ			○	○		
374	ミズユキノシタ			○	○		
375	メマツヨイグサ			○	○		国外
376	オオマツヨイグサ			○			
377	コマツヨイグサ			○	○		国外
378	ヒルザキツキミノソウ			○			
379	マツヨイグサ			○	○		
380	アリノトウグサ			○			
381	オオフサモ			○			特定
382	ホザキノフサモ			○	○	島根準絶滅	
383	アオキ			○	○		
384	ミズキ			○			

重要種

島根危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 絶滅危惧II類 島根県
 島根準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 準絶滅危惧 島根県
 危惧IB: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧IB類(EN)
 危惧II: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧II類(VU)
 準絶滅: 環境省(庁)NRDB 準絶滅危惧(NT)
 不足: 環境省(庁)NRDB 情報不足(DD)

外来種

特定: 外来生物法で指定された特定外来生物
 要注意: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き特定外来生物等への指定の適否について検討する外来生物
 国外: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き情報の集積に努める外来生物

表 1.4.41 (17) 植物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2006

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1991	1996	2001	2006		
385	クマノミズキ			○	○		
386	オカウコギ			○			
387	ヤマウコギ			○			
388	タラノキ			○			
389	ヤツデ			○	○		
390	キツタ			○	○		
391	シシウド			○			
392	シャク			○	○		
393	ツボクサ			○	○		
394	セントウソウ			○			
395	ハマゼリ			○	○		
396	ミツバ			○	○		
397	ハナウド			○	○		
398	ノチドメ			○	○		
399	オオチドメ			○	○		
400	チドメグサ			○	○		
401	セリ			○	○		
402	ヤブニンジン			○			
403	ウマノミツバ			○			
404	ヤブジラミ			○	○		
405	オヤブジラミ			○	○		
406	アセビ			○			
407	マンリョウ				○		
408	カラタチバナ			○			

重要種

島根危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 絶滅危惧II類 島根県
 島根準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 準絶滅危惧 島根県
 危惧IB: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧IB類(EN)
 危惧II: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧II類(VU)
 準絶滅: 環境省(庁)NRDB 準絶滅危惧(NT)
 不足: 環境省(庁)NRDB 情報不足(DD)

外来種

特定: 外来生物法で指定された特定外来生物
 要注意: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き特定外来生物等への指定の適否について検討する外来生物
 国外: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き情報の集積に努める外来生物

表 1.4.41 (18) 植物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2006

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1991	1996	2001	2006		
409	ヤブコウジ				○		
410	オオトラノオ			○			
411	ヌマトラノオ			○	○		
412	コナスビ			○	○		
413	ハマボッス			○	○		
414	カキノキ			○	○		
415	エゴノキ			○			
416	クロキ			○			
417	ネズミモチ			○	○		
418	トウネズミモチ			○	○		
419	イボタノキ			○	○		
420	ヒイラギ				○		
421	ガガブタ			○		危惧II	
422	テイカカズラ			○	○		
423	ツルニチニチソウ			○	○		
424	スズサイコ		○			危惧II	
425	コイケマ			○			
426	ガガイモ			○	○		
427	ココモメヅル			○			
428	オオフタバムグラ			○			国外
429	メリケンムグラ			○	○		
430	ヒメツバムグラ			○	○		
431	キクムグラ			○	○		
432	オオバノヤエムグラ				○		

重要種

島根危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 絶滅危惧II類 島根県
 島根準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 準絶滅危惧 島根県
 危惧IB: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧IB類(EN)
 危惧II: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧II類(VU)
 準絶滅: 環境省(庁)NRDB 準絶滅危惧(NT)
 不足: 環境省(庁)NRDB 情報不足(DD)

外来種

特定: 外来生物法で指定された特定外来生物
 要注意: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き特定外来生物等への指定の適否について検討する外来生物
 国外: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き情報の集積に努める外来生物

表 1.4.41 (19) 植物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2006

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1991	1996	2001	2006		
433	ヤエムグラ			○	○		
434	ヨツバムグラ			○	○		
435	ホソバノヨツバムグラ			○	○		
436	カワラマツバ				○		
437	フタバムグラ				○		
438	ハシカグサ			○	○		
439	ヘクソカズラ			○	○		
440	アカネ			○	○		
441	コヒルガオ			○	○		
442	ヒルガオ			○	○		
443	ハマヒルガオ			○	○		
444	アメリカネナシカズラ			○	○		国外
445	マルバルコウ			○			
446	アメリカアサガオ			○			
447	マメアサガオ			○	○		
448	ハナイバナ			○	○		
449	キュウリグサ			○	○		
450	ムラサキシキブ			○			
451	クサギ			○	○		
452	ヤナギハナガサ			○			
453	アレチハナガサ			○			
454	アワゴケ			○	○		
455	ミズハコベ				○		
456	クルマバナ			○	○		

重要種

島根危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 絶滅危惧II類 島根県
 島根準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 準絶滅危惧 島根県
 危惧IB: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧IB類(EN)
 危惧II: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧II類(VU)
 準絶滅: 環境省(庁)NRDB 準絶滅危惧(NT)
 不足: 環境省(庁)NRDB 情報不足(DD)

外来種

特定: 外来生物法で指定された特定外来生物
 要注意: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き特定外来生物等への指定の適否について検討する外来生物
 国外: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き情報の集積に努める外来生物

表 1.4.41 (20) 植物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2006

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1991	1996	2001	2006		
457	トウバナ			○	○		
458	イヌトウバナ				○		
459	カキドオシ			○	○		
460	ホトケノザ			○	○		
461	ヒメオドリコソウ			○	○		
462	メハジキ			○			
463	シロネ			○	○		
464	ヒメサルダヒコ				○		
465	コシロネ			○	○		
466	ハッカ				○		
467	コショウハッカ			○			
468	ヒメジソ			○	○		
469	イヌコウジュ			○	○		
470	シソ			○	○		
471	ウツボグサ			○	○		
472	ヒキオコシ			○			
473	アキノタムラソウ			○	○		
474	ナミキソウ			○			
475	ニガクサ			○	○		
476	クコ			○	○		
477	アメリカイヌホオズキ			○	○		
478	ワルナスビ			○			国外
479	ヒヨドリジョウゴ			○	○		
480	イヌホオズキ			○	○		

重要種

島根危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 絶滅危惧II類 島根県
 島根準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 準絶滅危惧 島根県
 危惧IB: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧IB類(EN)
 危惧II: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧II類(VU)
 準絶滅: 環境省(庁)NRDB 準絶滅危惧(NT)
 不足: 環境省(庁)NRDB 情報不足(DD)

外来種

特定: 外来生物法で指定された特定外来生物
 要注意: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き特定外来生物等への指定の適否について検討する外来生物
 国外: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き情報の集積に努める外来生物

表 1.4.41 (21) 植物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2006

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1991	1996	2001	2006		
481	テリミノイヌホオズキ			○	○		
482	ジャガイモ			○			
483	ヒメキンギョソウ			○			
484	マツバウンラン			○	○		
485	スズメノトウガラシ				○		
486	ウリクサ				○		
487	アメリカアゼナ			○	○		
488	アゼトウガラシ			○	○		
489	アゼナ			○	○		
490	ムラサキサギゴケ			○	○		
491	トキワハゼ			○	○		
492	ミゾホオズキ			○			
493	コシオガマ			○			
494	タチイヌノフグリ			○	○		
495	ムシクサ				○		
496	ケムシクサ				○		
497	オオイヌノフグリ			○	○		
498	カワヂシャ		○	○	○	島根準絶滅、準絶滅	
499	キツネノマゴ			○	○		
500	ナンバンギセル			○	○		
501	ヤセウツボ			○	○		国外
502	オオバコ			○	○		
503	ヘラオオバコ			○	○		国外
504	タチオオバコ			○			

重要種

島根危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 絶滅危惧II類 島根県
 島根準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 準絶滅危惧 島根県
 危惧IB: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧IB類(EN)
 危惧II: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧II類(VU)
 準絶滅: 環境省(庁)NRDB 準絶滅危惧(NT)
 不足: 環境省(庁)NRDB 情報不足(DD)

外来種

特定: 外来生物法で指定された特定外来生物
 要注意: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き特定外来生物等への指定の適否について検討する外来生物
 国外: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き情報の集積に努める外来生物

表 1.4.41 (22) 植物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2006

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1991	1996	2001	2006		
505	ウグイスカグラ			○			
506	スイカズラ			○	○		
507	ニワトコ			○	○		
508	ガマズミ			○			
509	コバノガマズミ			○			
510	タニウツギ				○		
511	ノヂシャ			○	○		
512	ツリガネニンジン			○	○		
513	ホタルブクロ			○	○		
514	ミゾカクシ			○	○		
515	キキョウソウ			○	○		
516	ヒナギキョウ			○	○		
517	ブタクサ			○	○		国外
518	オオブタクサ			○	○		要注意
519	カワラヨモギ			○	○		
520	ヨモギ			○	○		
521	ノコンギク				○		
522	ヒロハホウキギク			○	○		
523	ホウキギク			○	○		
524	ウラギク			○	○	危惧II	
525	センダングサ			○			
526	アメリカセンダングサ			○	○		国外
527	タウコギ			○			
528	ヒレアザミ			○			

重要種

島根危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 絶滅危惧II類 島根県
 島根準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 準絶滅危惧 島根県
 危惧IB: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧IB類(EN)
 危惧II: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧II類(VU)
 準絶滅: 環境省(庁)NRDB 準絶滅危惧(NT)
 不足: 環境省(庁)NRDB 情報不足(DD)

外来種

特定: 外来生物法で指定された特定外来生物
 要注意: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き特定外来生物等への指定の適否について検討する外来生物
 国外: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き情報の集積に努める外来生物

表 1.4.41 (23) 植物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2006

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1991	1996	2001	2006		
529	トキンソウ			○	○		
530	フランスギク			○	○		
531	ノアザミ			○	○		
532	ヨシノアザミ			○			
533	アレチノギク			○			
534	オオアレチノギク			○	○		国外
535	オオキンケイギク			○	○		特定
536	コスモス			○			
537	ベニバナボロギク			○	○		
538	アメリカタカサブロウ			○	○		
539	タカサブロウ			○	○		
540	ダントボロギク			○			
541	ヒメムカシヨモギ			○	○		国外
542	ハルジオン			○	○		国外
543	ヒヨドリバナ			○			
544	ツワブキ			○	○		
545	ハハコグサ			○	○		
546	タチチチコグサ			○	○		
547	チチコグサ			○	○		
548	チチコグサモドキ			○	○		
549	ウスベニチチコグサ			○	○		
550	ウラジロチチコグサ			○	○		
551	イヌキクイモ			○			
552	キクイモ			○			国外

重要種

島根危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 絶滅危惧II類 島根県
 島根準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 準絶滅危惧 島根県
 危惧IB: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧IB類(EN)
 危惧II: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧II類(VU)
 準絶滅: 環境省(庁)NRDB 準絶滅危惧(NT)
 不足: 環境省(庁)NRDB 情報不足(DD)

外来種

特定: 外来生物法で指定された特定外来生物
 要注意: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き特定外来生物等への指定の適否について検討する外来生物
 国外: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き情報の集積に努める外来生物

表 1.4.41 (24) 植物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2006

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1991	1996	2001	2006		
553	キツネアザミ			○			
554	ブタナ			○	○		国外
555	オオヂシバリ			○	○		
556	ニガナ			○	○		
557	ハナニガナ			○	○		
558	イワニガナ			○	○		
559	ヨメナ			○	○		
560	アキノノゲシ			○	○		
561	ホソバアキノノゲシ			○			
562	コオニタバコ			○	○		
563	ヤブタバコ			○	○		
564	カミツレ			○			
565	オロシヤギク			○			
566	フキ			○	○		
567	コウゾリナ			○	○		
568	ノボロギク			○	○		
569	コメナモミ			○			
570	メナモミ			○			
571	セイトカアワダチソウ			○	○		要注意
572	オオアワダチソウ			○			国外
573	アキノキリンソウ			○	○		
574	オニノゲシ			○	○		
575	ノゲシ			○	○		
576	ヒメジョオン			○	○		国外

重要種

島根危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 絶滅危惧II類 島根県
 島根準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 準絶滅危惧 島根県
 危惧IB: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧IB類(EN)
 危惧II: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧II類(VU)
 準絶滅: 環境省(庁)NRDB 準絶滅危惧(NT)
 不足: 環境省(庁)NRDB 情報不足(DD)

外来種

特定: 外来生物法で指定された特定外来生物
 要注意: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き特定外来生物等への指定の適否について検討する外来生物
 国外: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き情報の集積に努める外来生物

表 1.4.41 (25) 植物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2006

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1991	1996	2001	2006		
577	ヘラバヒメジョオン				○		
578	セイヨウタンポポ			○	○		国外
579	オオオナモミ			○	○		国外
580	オニタビラコ			○	○		
581	ヘラオモダカ			○			
582	オモダカ				○		
583	オオカナダモ			○	○		要注意
584	コカナダモ			○	○		要注意
585	トチカガミ			○			
586	エビモ			○	○		
587	センニンモ			○			
588	ササバモ			○			
589	ササエビモ	○				危惧IB	
590	ホソバミズヒキモ			○			
591	ヤナギモ				○		
592	カワツルモ	○	○	○	○	島根危惧II、危惧IB	
593	イトクズモ		○	○		危惧II	
594	コアママモ	○	○	○	○	不足	
595	ノビル			○	○		
596	ハラン				○		
597	ハナニラ			○			
598	ヤブカンゾウ			○	○		
599	ウバユリ			○	○		
600	タカサゴユリ				○		

重要種

島根危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 絶滅危惧II類 島根県
 島根準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 準絶滅危惧 島根県
 危惧IB: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧IB類(EN)
 危惧II: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧II類(VU)
 準絶滅: 環境省(庁)NRDB 準絶滅危惧(NT)
 不足: 環境省(庁)NRDB 情報不足(DD)

外来種

特定: 外来生物法で指定された特定外来生物
 要注意: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き特定外来生物等への指定の適否について検討する外来生物
 国外: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き情報の集積に努める外来生物

表 1.4.41 (26) 植物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2006

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1991	1996	2001	2006		
601	オニユリ			○			
602	ヒメヤブラン				○		
603	ヤブラン			○	○		
604	ジャノヒゲ			○	○		
605	ナガバジャノヒゲ				○		
606	キチジョウソウ				○		
607	オモト			○	○		
608	ツルボ			○	○		
609	サルトリイバラ			○	○		
610	シオデ			○			
611	ヒガンバナ			○	○		
612	キツネノカミソリ			○			
613	ナガイモ			○			
614	ニガカシュウ			○	○		
615	タチドコロ			○			
616	ヤマノイモ			○	○		
617	カエデドコロ			○	○		
618	オニドコロ			○	○		
619	コナギ			○	○		
620	シャガ				○		
621	キシウブ			○	○		国外
622	ニワゼキショウ			○	○		
623	オオニワゼキショウ			○	○		
624	ヒメヒオウギズイセン			○	○		

重要種

島根危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 絶滅危惧II類 島根県
 島根準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 準絶滅危惧 島根県
 危惧IB: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧IB類(EN)
 危惧II: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧II類(VU)
 準絶滅: 環境省(庁)NRDB 準絶滅危惧(NT)
 不足: 環境省(庁)NRDB 情報不足(DD)

外来種

特定: 外来生物法で指定された特定外来生物
 要注意: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き特定外来生物等への指定の適否について検討する外来生物
 国外: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き情報の集積に努める外来生物

表 1.4.41 (27) 植物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2006

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1991	1996	2001	2006		
625	ヒメコウガイゼキショウ			○	○		
626	イ			○	○		
627	コウガイゼキショウ			○	○		
628	アオコウガイゼキショウ			○	○		
629	ホソイ			○	○		
630	クサイ			○	○		
631	スズメノヤリ			○	○		
632	ヤマスズメノヒエ			○			
633	ヌカボシソウ				○		
634	ツユクサ			○	○		
635	イボクサ			○	○		
636	ヤブミョウガ			○	○		
637	ノハカタカラクサ				○		国外
638	ムラサキツユクサ			○			
639	ホシクサ			○			
640	アオカモジグサ			○	○		
641	タチカモジグサ			○			
642	カモジグサ			○	○		
643	コヌカグサ			○			
644	ヤマヌカボ			○			
645	ヌカボ			○	○		
646	ヌカススキ			○	○		
647	ハナヌカススキ			○	○		
648	スズメノテッポウ			○	○		

重要種

島根危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 絶滅危惧II類 島根県
 島根準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 準絶滅危惧 島根県
 危惧IB: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧IB類(EN)
 危惧II: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧II類(VU)
 準絶滅: 環境省(庁)NRDB 準絶滅危惧(NT)
 不足: 環境省(庁)NRDB 情報不足(DD)

外来種

特定: 外来生物法で指定された特定外来生物
 要注意: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き特定外来生物等への指定の適否について検討する外来生物
 国外: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き情報の集積に努める外来生物

表 1.4.41 (28) 植物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2006

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1991	1996	2001	2006		
649	ノハラスズメノテッポウ			○			
650	メリケンカルカヤ			○	○		国外
651	ハルガヤ			○	○		
652	コブナグサ			○	○		
653	トダシバ			○	○		
654	ダンチク			○	○		
655	カラスムギ			○			
656	ミノゴメ			○	○		
657	ヤマカモジグサ			○			
658	コバンソウ			○	○		
659	ヒメコバンソウ			○	○		
660	イヌムギ			○	○		
661	スズメノチャヒキ			○	○		
662	キツネガヤ			○			
663	ノガリヤス				○		
664	ヤマアワ			○	○		
665	チョウセンガリヤス				○		
666	ジュズダマ			○	○		
667	オガルカヤ			○			
668	ギョウギシバ			○	○		
669	カモガヤ			○	○		
670	メヒシバ			○	○		
671	アキメヒシバ			○	○		
672	アブラススキ			○			

重要種

島根危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 絶滅危惧II類 島根県
 島根準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 準絶滅危惧 島根県
 危惧IB: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧IB類(EN)
 危惧II: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧II類(VU)
 準絶滅: 環境省(庁)NRDB 準絶滅危惧(NT)
 不足: 環境省(庁)NRDB 情報不足(DD)

外来種

特定: 外来生物法で指定された特定外来生物
 要注意: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き特定外来生物等への指定の適否について検討する外来生物
 国外: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き情報の集積に努める外来生物

表 1.4.41 (29) 植物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2006

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1991	1996	2001	2006		
673	イヌビエ			○	○		
674	ケイヌビエ			○	○		
675	オヒシバ			○	○		
676	シナダレスズメガヤ			○	○		
677	カゼクサ			○	○		
678	ニワホコリ				○		
679	オニウシノケグサ			○	○		
680	トボシガラ			○	○		
681	ヒロハノウシノケグサ			○			
682	ドジョウツナギ			○	○		
683	コバノウシノシッペイ		○	○	○		
684	ウシノシッペイ			○	○		
685	シラゲガヤ			○	○		
686	チガヤ			○	○		
687	チゴザサ			○	○		
688	カモノハシ			○	○		
689	アシカキ				○		
690	エゾノサヤヌカグサ			○	○		
691	サヤヌカグサ				○		
692	アゼガヤ				○		
693	ネズミムギ			○	○		
694	ホソムギ			○	○		
695	ドクムギ			○			
696	コメガヤ			○			

重要種

島根危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 絶滅危惧II類 島根県
 島根準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 準絶滅危惧 島根県
 危惧IB: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧IB類(EN)
 危惧II: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧II類(VU)
 準絶滅: 環境省(庁)NRDB 準絶滅危惧(NT)
 不足: 環境省(庁)NRDB 情報不足(DD)

外来種

特定: 外来生物法で指定された特定外来生物
 要注意: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き特定外来生物等への指定の適否について検討する外来生物
 国外: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き情報の集積に努める外来生物

表 1.4.41 (30) 植物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2006

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1991	1996	2001	2006		
697	ササガヤ				○		
698	ヒメアシボソ			○			
699	アシボソ			○	○		
700	オギ			○	○		
701	ススキ			○	○		
702	ヌマガヤ			○			
703	ケチヂミザサ			○	○		
704	コチヂミザサ			○	○		
705	ヌカキビ			○	○		
706	オオクサキビ			○	○		
707	シマスズメノヒエ			○	○		
708	キシウスズメノヒエ			○	○		
709	アメリカスズメノヒエ				○		
710	スズメノヒエ			○	○		
711	タチスズメノヒエ			○	○		
712	チカラシバ			○	○		
713	クサヨシ			○	○		
714	ヨシ			○	○		
715	ツルヨシ			○	○		
716	セイタカヨシ			○	○		
717	マダケ			○	○		
718	オキナダケ			○			
719	ゴキダケ				○		
720	メダケ			○	○		

重要種

島根危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 絶滅危惧II類 島根県
 島根準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 準絶滅危惧 島根県
 危惧IB: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧IB類(EN)
 危惧II: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧II類(VU)
 準絶滅: 環境省(庁)NRDB 準絶滅危惧(NT)
 不足: 環境省(庁)NRDB 情報不足(DD)

外来種

特定: 外来生物法で指定された特定外来生物
 要注意: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き特定外来生物等への指定の適否について検討する外来生物
 国外: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き情報の集積に努める外来生物

表 1.4.41 (31) 植物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2006

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1991	1996	2001	2006		
721	ミゾイチゴツナギ			○	○		
722	スズメノカタビラ			○	○		
723	ナガハグサ			○	○		
724	イチゴツナギ			○	○		
725	オオスズメノカタビラ			○	○		
726	ヒエガエリ			○	○		
727	ハマヒエガエリ			○	○		
728	ヤダケ			○	○		
729	アズマザサ			○			
730	ナリヒラダケ			○	○		
731	アキノエノコログサ			○	○		
732	コツブキンエノコロ			○	○		
733	キンエノコロ			○	○		
734	エノコログサ			○	○		
735	ムラサキエノコロ			○	○		
736	オオエノコロ			○			
737	オカメザサ				○		
738	セイバンモロコシ			○	○		
739	ネズミノオ			○	○		
740	カニツリグサ			○	○		
741	ナギナタガヤ			○	○		
742	ムラサキナギナタガヤ			○			
743	マコモ			○	○		
744	シバ			○	○		

重要種

島根危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 絶滅危惧II類 島根県
 島根準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 準絶滅危惧 島根県
 危惧IB: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧IB類(EN)
 危惧II: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧II類(VU)
 準絶滅: 環境省(庁)NRDB 準絶滅危惧(NT)
 不足: 環境省(庁)NRDB 情報不足(DD)

外来種

特定: 外来生物法で指定された特定外来生物
 要注意: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き特定外来生物等への指定の適否について検討する外来生物
 国外: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き情報の集積に努める外来生物

表 1.4.41 (32) 植物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2006

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1991	1996	2001	2006		
745	シュロ				○		
746	ショウブ			○			
747	サトイモ			○			
748	カラスビシャク			○			
749	オランダカイウ			○			
750	アオウキクサ			○			
751	ヒナウキクサ			○			
752	コウキクサ			○	○		
753	ウキクサ			○	○		
754	ナガエミクリ	○	○			準絶滅	
755	ヒメガマ			○	○		
756	ガマ			○	○		
757	ハタガヤ			○	○		
758	マツバスゲ			○			
759	アオスゲ			○	○		
760	アゼナルコ			○	○		
761	カサスゲ			○	○		
762	シラスゲ			○	○		
763	ビロードスゲ			○	○		
764	マスクサ			○			
765	ヤマアゼスゲ			○	○		
766	カワラスゲ			○			
767	ジュズスゲ			○	○		
768	ナキリスゲ				○		

重要種

島根危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 絶滅危惧II類 島根県
 島根準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 準絶滅危惧 島根県
 危惧IB: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧IB類(EN)
 危惧II: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧II類(VU)
 準絶滅: 環境省(庁)NRDB 準絶滅危惧(NT)
 不足: 環境省(庁)NRDB 情報不足(DD)

外来種

特定: 外来生物法で指定された特定外来生物
 要注意: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き特定外来生物等への指定の適否について検討する外来生物
 国外: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き情報の集積に努める外来生物

表 1.4.41 (33) 植物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2006

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1991	1996	2001	2006		
769	タチスゲ				○		
770	ゴウソ			○			
771	ツクシミノボロスゲ			○			
772	キンキカサスゲ			○	○		
773	コウボウシバ			○	○		
774	オオクグ	○	○	○	○	島根準絶滅、危惧II	
775	シオクグ			○	○		
776	ニシノホンモンジスゲ			○			
777	アゼスゲ			○	○		
778	ヤワラスゲ			○	○		
779	ヒトモトスキ	○	○	○	○	島根準絶滅	
780	シュロガヤツリ			○			
781	アイダクグ				○		
782	ヒメクグ			○	○		
783	クグガヤツリ			○	○		
784	タマガヤツリ			○	○		
785	メリケンガヤツリ			○	○		国外
786	ヒナガヤツリ			○	○		
787	アゼガヤツリ			○	○		
788	ヌマガヤツリ			○			
789	コアゼガヤツリ			○			
790	コゴメガヤツリ			○	○		
791	カヤツリグサ			○	○		
792	ウシクグ			○	○		

重要種

島根危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 絶滅危惧II類 島根県
 島根準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 準絶滅危惧 島根県
 危惧IB: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧IB類(EN)
 危惧II: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧II類(VU)
 準絶滅: 環境省(庁)NRDB 準絶滅危惧(NT)
 不足: 環境省(庁)NRDB 情報不足(DD)

外来種

特定: 外来生物法で指定された特定外来生物
 要注意: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き特定外来生物等への指定の適否について検討する外来生物
 国外: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き情報の集積に努める外来生物

表 1.4.41 (34) 植物 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2006

No.	和名	河川水辺の国勢調査実施年度				重要種	外来種
		1991	1996	2001	2006		
793	イガガヤツリ			○	○		
794	ハマスゲ			○	○		
795	カワラスガナ			○	○		
796	ミズガヤツリ				○		
797	マツバイ			○	○		
798	ハリイ				○		
799	ヒメヒラテンツキ			○			
800	テンツキ			○	○		
801	イノヤマテンツキ			○	○		
802	ヒデリコ			○	○		
803	アゼテンツキ			○	○		
804	ヒンジガヤツリ			○	○		
805	ホタルイ			○			
806	イヌホタルイ			○	○		
807	エゾウキヤガラ			○			
808	フトイ			○	○		
809	カンガレイ			○	○		
810	サンカクイ			○	○		
811	アブラガヤ			○			
812	ウキヤガラ			○	○		
813	バショウ				○		
814	ミヨウガ				○		
815	サイハイラン			○	○		
816	ネジバナ			○			
種数		8	12	714	605	18	3

重要種

島根危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 絶滅危惧II類 島根県
 島根準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 準絶滅危惧 島根県
 危惧IB: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧IB類(EN)
 危惧II: 環境省(庁)NRDB 絶滅危惧II類(VU)
 準絶滅: 環境省(庁)NRDB 準絶滅危惧(NT)
 不足: 環境省(庁)NRDB 情報不足(DD)

外来種

特定: 外来生物法で指定された特定外来生物
 要注意: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き特定外来生物等への指定の適否について検討する外来生物
 国外: 外来生物法の要注意外来生物リスト掲載種のうち、引き続き情報の集積に努める外来生物

表 1.4.42 (1) 鳥類集団分布地一覧

地整・都道府県	事務所・部局名	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2004

箇所番号	調査対象	河川名	距離	情報源			文献・聞き取り先調査者	概況		
				聞き取り	文献	現地調査				
						1994			1999	2004
	カワウの集団ねぐら	斐伊川					○			
	カワウの集団ねぐら	斐伊川						○		
	サギ類の集団繁殖地	斐伊川				○				
	サギ類の集団繁殖地	斐伊川						○		
	カモ類の集団越冬地	中海						○		
	カモ類の集団越冬地	中海			○					
	カモ類の集団越冬地	中海			○					
	カモ類の集団越冬地	中海			○					
	カモ類の集団越冬地	中海			○					
	カモ類の集団越冬地	中海			○					
	カモ類の集団越冬地	中海				○				
	カモ類の集団越冬地	大橋川				○				
	カモ類の集団越冬地	大橋川						○		
	カモ類の集団越冬地	宍道湖				○				
	カモ類の集団越冬地	宍道湖			○					
	カモ類の集団越冬地	宍道湖						○		
	カモ類の集団越冬地	宍道湖						○		
	カモ類の集団越冬地	斐伊川				○				
	カモ類の集団越冬地	斐伊川						○		
	コハクチョウの集団ねぐら	中海			○					
	コハクチョウの集団ねぐら	中海			○					
	コハクチョウの集団ねぐら	中海			○					
	コハクチョウの集団ねぐら	中海			○					
	コハクチョウの集団ねぐら	中海			○					
	コハクチョウの集団ねぐら	中海			○					
	コハクチョウの集団ねぐら	中海			○					
	コハクチョウの集団ねぐら	中海					○			
	コハクチョウの集団ねぐら	中海						○		
	コハクチョウの集団ねぐら	中海				○				
	コハクチョウの集団ねぐら	中海						○		
	コハクチョウの集団ねぐら	大橋川						○		
	コハクチョウの集団ねぐら	宍道湖						○		
	コハクチョウの集団ねぐら	宍道湖						○		
	コハクチョウの集団ねぐら	斐伊川						○		

表 1.4.42 (2) 鳥類集団分布地一覧

地整・都道府県	事務所・部局名	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2004

箇所番号	調査対象	河川名	距離	情報源			文献・聞き取り先調査者	概況		
				聞き取り	文献	現地調査				
						1994			1999	2004
	コハクチョウの集団ねぐら	斐伊川					○			
	コハクチョウの集団ねぐら	斐伊川					○			
	コハクチョウの集団ねぐら	斐伊川					○			
	コハクチョウの集団ねぐら	斐伊川					○			
	コハクチョウの集団休息地	斐伊川				○				
	コハクチョウの集団休息地	斐伊川				○				
	コハクチョウの集団休息地	斐伊川				○				
	コハクチョウの集団休息地	斐伊川				○				
	コハクチョウの集団越冬地	斐伊川				○				
	コハクチョウの集団越冬地	斐伊川				○				
	コハクチョウの集団越冬地	斐伊川				○				
	コハクチョウの集団越冬地	斐伊川				○				
	ヒシクイの集団越冬	斐伊川			○					
	ヒシクイの集団休息	斐伊川				○				
	ヒシクイの集団休息	斐伊川				○				
	ヒシクイの集団ねぐら	斐伊川					○			
	ヒシクイの集団越冬	斐伊川				○				
	ヒシクイの集団休息	斐伊川				○				
	ヒシクイの集団ねぐら	斐伊川			○					
	ヒシクイの集団越冬	斐伊川				○				
	ヒシクイの集団ねぐら	斐伊川					○			
	マガンの集団越冬地	中海		○						
	マガンの集団越冬地	中海		○						
	マガンの集団越冬地	中海		○						
	マガンの集団越冬地	中海		○						
	マガンの集団越冬地	中海			○					
	マガンの集団越冬地	宍道湖				○				
	マガンの集団越冬地	斐伊川			○					
	マガンの集団休息地	斐伊川			○					
	マガンの集団ねぐら	斐伊川				○				
	マガンの集団休息地	斐伊川			○					
	マガンの集団越冬地	斐伊川			○					
	マガンの集団ねぐら	斐伊川				○				
	マガンの集団休息地	斐伊川			○					
	シギ・チドリ類の渡りの中継地	中海		○						
	シギ・チドリ類の渡りの中継地	中海		○						
	シギ・チドリ類の渡りの中継地	中海		○						
	シギ・チドリ類の渡りの中継地	中海		○						
	シギ・チドリ類の渡りの中継地	中海		○						
	シギ・チドリ類の渡りの中継地	中海		○						

表 1.4.42 (3) 鳥類集団分布地一覧

地整・都道府県	事務所・部局名	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2004

箇所番号	調査対象	河川名	距離	情報源			文献・聞き取り先調査者	概況		
				聞き取り	文献	現地調査				
						1994			1999	2004
	シギ・チドリ類の渡りの中継地	中海			○					
	シギ・チドリ類の渡りの中継地	中海			○					
	シギ・チドリ類の渡りの中継地	中海			○					
	シギ・チドリ類の渡りの中継地	中海			○					
	シギ・チドリ類の渡りの中継地	中海			○					
	シギ・チドリ類の渡りの中継地	中海			○					
	シギ・チドリ類の渡りの中継地	中海			○					
	シギ・チドリ類の渡りの中継地	中海					○			
	シギ・チドリ類の渡りの中継地	斐伊川					○			
	ツバメの集団ねぐら	中海				○				
	ツバメの集団ねぐら	斐伊川				○				
	ツバメの集団ねぐら	斐伊川					○			
	イワツバメの集団繁殖地	斐伊川				○				
	ハクセキレイの集団ねぐら	中海				○				
	セグロセキレイの集団ねぐら	中海				○				
	セグロセキレイの集団ねぐら	斐伊川				○				
	オオヨシキリの集団繁殖地	中海				○				
	オオヨシキリの集団繁殖地	中海					○			
	オオヨシキリの集団繁殖地	大橋川				○				
	オオヨシキリの集団繁殖地	大橋川					○			
	オオヨシキリの集団繁殖地	斐伊川				○				
	オオヨシキリの集団繁殖地	斐伊川				○				
	スズメの集団ねぐら	中海					○			
	スズメの集団ねぐら	宍道湖					○			
	スズメの集団ねぐら	斐伊川				○				
	スズメの集団ねぐら	斐伊川					○			
	ムクドリ	中海				○				

表 1.4.43 両生類 経年確認状況一覧表

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2008

両生類

No.	和名	確認内容				重要種	外来種
		河川水辺の国勢調査実施年度					
		1993	1998	2003	2008		
1	カスミサンショウウオ	捕獲-成体			捕獲-成体	国危惧II	
2	イモリ		捕獲-成体, 目撃-成体, 死体-不明	捕獲-成体	死体-成体	国準絶滅	
3	アマガエル	捕獲-不明, 目撃-不明	捕獲-成体, 目撃-成体, 鳴き声-成体	捕獲-成体・幼生, 目撃-成体, 鳴き声-成体・不明	捕獲-成体・幼体, 目撃-成体・幼体, 鳴き声-成体		
4	ニホンアカガエル	捕獲-成体, 目撃-不明	捕獲-成体・幼生・卵	捕獲-成体・卵	捕獲-成体		
5	ヤマアカガエル				捕獲-成体		
6	トノサマガエル	捕獲-不明, 目撃-不明	捕獲-成体・幼生・卵, 目撃-成体, その他-卵	捕獲-成体・幼生, 目撃-成体, 鳴き声-成体・不明	捕獲-成体・幼生, 目撃-成体・幼体・幼生		
7	ヌマガエル	目撃-不明	捕獲-成体, 目撃-成体	捕獲-成体, 目撃-成体	捕獲-成体, 目撃-成体・幼体		
8	ウシガエル	捕獲-不明, 目撃-不明	捕獲-成体, 目撃-成体		捕獲-幼生, 目撃-成体, 鳴き声-成体		特定
9	ツチガエル		捕獲-成体	捕獲-成体・幼体・幼生, 目撃-成体, 鳴き声-成体	捕獲-成体, 目撃-成体		
10	シュレーゲルアオガエル		鳴き声-成体	捕獲-成体・幼生・卵, 目撃-成体, 鳴き声-不明	捕獲-幼生		
11	カジカガエル				鳴き声-成体	県準絶滅	
種数		6	8	6	11	3	1

※2: 2003年は平成15年度調査の夏季・秋季・冬季と平成16年度調査の春季・初夏季を含んだ結果。

表 1.4.44 爬虫類 経年確認状況一覧表

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2008

爬虫類

No.	和名	確認内容				重要種	外来種
		河川水辺の国勢調査実施年度					
		1993	1998	2003	2008		
1	クサガメ	目撃-不明	捕獲-成体		捕獲-成体,目撃-成体		
2	ミシシッピアカミミガメ				捕獲-成体,目撃-成体		
3	イシガメ	捕獲-成体・不明,目撃-不明,その他-不明	捕獲-成体,目撃-成体,死体-不明	捕獲-成体・幼体,目撃-成体	捕獲-成体,死体-成体	国不足	
	イシガメ科				目撃-卵		
4	スッポン	捕獲-成体,目撃-不明		捕獲-成体,その他-卵	目撃-成体・卵	国不足	
	カメ目	目撃-卵,その他-不明	その他-不明	目撃-成体・不明,その他-不明・卵			
5	トカゲ	捕獲-成体,目撃-成体・不明		目撃-成体			
6	カナヘビ	捕獲-成体・不明,目撃-成体・不明	捕獲-成体,目撃-成体	捕獲-成体・幼体,目撃-成体	捕獲-成体・幼体,目撃-成体・幼体・不明		
7	シマヘビ	目撃-成体・不明,死体-成体,ぬけがら-成体	捕獲-成体,目撃-成体,死体-不明,ぬけがら-成体	捕獲-成体・幼体,ぬけがら-成体	捕獲-成体,目撃-成体,死体-幼体,ぬけがら-成体		
8	ジムグリ	目撃-不明	目撃-成体		捕獲-幼体	県準絶滅	
9	アオダイショウ	目撃-成体・不明,ぬけがら-成体	捕獲-成体,死体-不明,ぬけがら-成体	捕獲-成体,目撃-成体,ぬけがら-成体	目撃-成体,ぬけがら-成体		
10	ヒバカリ	目撃-成体	捕獲-成体	捕獲-幼体		県準絶滅	
11	ヤマカガシ	捕獲-成体・幼体,目撃-不明	死体-不明	目撃-成体,ぬけがら-成体	目撃-成体		
12	マムシ	目撃-不明	捕獲-成体	死体-幼体	目撃-幼体		
種数		11	9	8	10	4	0

※2: 2003年は平成15年度調査の夏季・秋季・冬季と平成16年度調査の春季・初夏を含んだ結果。

表 1.4.45 (1) 哺乳類 経年確認状況一覧表

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2008

哺乳類

No.	和名	確認内容				重要種	外来種
		河川水辺の国勢調査実施年度					
		1993	1998	2003	2008		
1	ジネズミ		捕獲-成体	捕獲-成体	捕獲-成体		
2	ヒミズ	巣-不明					
3	コウバモグラ	その他-不明	死体-不明,その他-不明	死体-不明			
	Mogera属			その他-不明	その他-成体・不明		
4	アブラコウモリ	目撃-不明					
	ヒナコウモリ科			バットディテクター-不明	バットディテクター-不明		
	コウモリ目(翼手目)		目撃-不明		バットディテクター-不明		
5	スミスネズミ	捕獲-成体・不明,足跡-不明	捕獲-成体				
6	ハタネズミ	食痕-不明,巣-不明					
7	アカネズミ	捕獲-成体,足跡-不明,糞-不明	捕獲-成体・不明,死体-不明	捕獲-成体,死体-不明,食痕-不明,抜け毛-不明	捕獲-成体,無人撮影-成体		
8	カヤネズミ	巣-不明	捕獲-幼体・不明,巣-不明	捕獲-成体・幼体,巣-不明	捕獲-成体,目撃-幼体,巣-成体・不明		
9	ハツカネズミ				捕獲-成体		
10	クマネズミ				死体-不明		
11	ドブネズミ	足跡-不明	足跡-不明	捕獲-成体,足跡-不明	無人撮影-成体		
	Rattus属			足跡-不明			
	ネズミ科	食痕-不明,巣-不明,足跡-不明	目撃-不明,足跡-不明,糞-不明,その他-不明	足跡-不明	目撃-成体,死体-成体,その他-不明,食痕-不明,巣-不明,足跡-成体,糞-不明		
12	ヌートリア	死体-成体,足跡-不明	食痕-不明,足跡-不明,糞-不明	死体-不明,食痕-不明,巣-不明,足跡-不明,糞-不明	けもの道-不明,足跡-成体・不明,糞-不明,無人撮影-成体,目撃-成体		特定
13	タヌキ	死体-成体,足跡-不明,抜け毛-不明,糞-不明	死体-不明,足跡-不明	死体-不明,足跡-不明,糞-不明	目撃-成体,足跡-成体・不明,糞-成体・不明,無人撮影-成体		
14	キツネ	巣-不明,足跡-不明,糞-不明	目撃-不明,足跡-不明,糞-不明,その他-不明	掘り返し-不明,巣-不明,足跡-不明,糞-不明	糞-不明,無人撮影-成体		
15	イヌ		足跡-不明,糞-不明	足跡-不明			
16	テン	足跡-不明,糞-不明	糞-不明	死体-不明,足跡-不明,糞-不明	足跡-成体,糞-不明		
17	チョウセンイタチ	死体-成体					
18	イタチ	糞-不明				県準絶滅	

表 1.4.45 (2) 哺乳類 経年確認状況一覧表

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2008

哺乳類

No.	和名	確認内容				重要種	外来種
		河川水辺の国勢調査実施年度					
		1993	1998	2003	2008		
	Mustela属			足跡-不明,糞-不明	足跡-成体・不明,糞-不明,無人撮影-成体		
	イタチ科	足跡-不明,糞-不明	足跡-不明,糞-不明		糞-不明		
19	ネコ		目撃-成体				
20	イノシシ		足跡-不明		足跡-不明		
21	ホンドジカ			足跡-不明,糞-不明		県準絶滅	
種数		14	14	13	14	3	1

※2: 2003年は平成15年度調査の夏季・秋季・冬季と平成16年度調査の春季・初夏季を含んだ結果。

表 1.4.46 (1) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1	クモ目	ジグモ科	ジグモ		○	○			
2		ユウレイグモ科	ユウレイグモ				○		
3		エンマグモ科	ミヤグモ				○		
4		センシヨウグモ科	センシヨウグモ			○			
5			オオセンシヨウグモ		○				
			Mimetus属		○				
6		ウズグモ科	オウギグモ				○		
7			マネキグモ			○	○		
8		ホラヒメグモ科	コホラヒメグモ		○	○			
9			チビホラヒメグモ		○	○			
10			Nesticus属		○				
11		ヒメグモ科	ヒメグモ			○			
12			コンピラヒメグモ		○				
13			キヨヒメグモ			○	○		
14			オオヒメグモ		○	○			

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (2) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
	クモ目	ヒメグモ科	Achaearanea属		○	○			
15			アシブトヒメグモ		○	○	○		
16			シロカネイソウロウグモ		○	○	○		
17			チリイソウロウグモ		○	○			
18			オナガグモ				○		
19			ギボシヒメグモ			○	○		
20			オダカグモ		○				
21			ミナミオダカグモ		○				
			Chryssso属		○				
22			サヤヒメグモ			○	○		
23			ヤホシサヤヒメグモ			○	○		
24			シモフリミジグモ		○	○			
25			カレハヒメグモ			○			
26			ヤマトコノハグモ		○	○	○		
			Enoplognatha属		○				

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (3) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
27	クモ目	ヒメグモ科	ムラクモヒシガタグモ			○		県不足	
			Episinus属		○				
28			クロヒラタヒメグモ				○		
29			ムナボシヒメグモ		○	○	○		
30			アイチミジグモ			○			
31			ハラナガヒシガタグモ				○		
32			ハイロヒメグモ			○	○		
33			ヤリグモ		○				
34			ハンゲツオスナキグモ		○	○			
35			スネグロオチバヒメグモ		○	○	○		
36			バラギヒメグモ			○			
37			シモフリヒメグモ		○	○	○		
38			タカユヒメグモ			○		県不足	
39			ムネグロヒメグモ			○			
			Theridion属		○				

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (4) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
40	クモ目	ヒメグモ科	キベリミジングモ			○			
41			カニミジングモ		○				
			ヒメグモ科		○				
42		カラカラグモ科	Wendilgarda属				○		
43		サラグモ科	タテヤマテナガグモ			○			
44			ヨドテナガグモ			○	○		
			Bathyphantes属			○			
45			マルサラグモ			○			
46			アリスアラグモ	○					
47			ハラジロムナキグモ		○	○	○		
48			Doenitzius属			○			
49			カワリノコギリグモ			○			
50			ノコギリヒザグモ		○	○	○		
			Erigone属			○			
51			ニセアカムネグモ			○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (5) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
52	クモ目	サラグモ科	セムシアカムネグモ			○	○		
			Gnathonarium属		○				
53			クロナンキングモ		○	○	○		
54			アシヨレグモ			○			
55			チビアカサラグモ	○	○	○	○		
56			ズダカサラグモ			○	○		
57			ヘリジロサラグモ			○	○		
58			マダラナンキングモ			○			
59			イマダテテングヌカグモ			○			
60			スソグロサラグモ		○	○			
61			コテングヌカグモ		○	○	○		
62			アトグロアカムネグモ		○	○	○		
63			セスジアカムネグモ		○	○	○		
			サラグモ科		○	○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧I類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧II類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (6) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
64	クモ目	アシナガグモ科	ヨツボシヒメアシナガグモ		○	○	○		
65			ヒメアシナガグモ	○	○	○	○		
66			オオシロカネグモ		○		○		
67			コシロカネグモ			○	○		
68			キララシロカネグモ		○	○	○		
69			キンヨウグモ				○		
70			メガネトヨウグモ	○					
71			ジョロウグモ	○	○	○	○		
72			トガリアシナガグモ	○	○	○	○		
73			ハラビロアシナガグモ			○			
74			ヤサガタアシナガグモ	○	○	○	○		
75			ヒカリアシナガグモ			○	○		
76			アシナガグモ	○	○	○	○		
77			ウロコアシナガグモ		○	○	○		
78			シコクアシナガグモ	○	○	○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (7) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
	クモ目	アシナガグモ科	Tetragnatha属		○	○	○		
			アシナガグモ科		○				
79		コガネグモ科	キザハシオニグモ	○	○	○	○		
80			ビジョオニグモ			○			
81			アオオニグモ			○			
82			オニグモ	○	○	○	○		
			Araneus属		○				
83			ムツボシオニグモ			○			
84			コガネグモ	○	○	○	○		
85			ナガコガネグモ	○	○	○	○		
86			コガタコガネグモ		○	○			
			Argiope属		○				
87			ギンメッキゴミグモ		○				
88			カラスゴミグモ				○		
89			ゴミグモ		○	○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (8) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
90	クモ目	コガネグモ科	オノゴミグモ			○	○		
91			ヨツデゴミグモ		○	○	○		
92			マルゴミグモ			○			
			Cyclosa属		○				
93			トリノフンダマシ			○			
94			シロオビトリノフンダマシ	○		○	○		
95			アカイトトリノフンダマシ		○				
96			ヨツボシショウジョウグモ	○	○	○	○		
97			シロスジショウジョウグモ		○				
98			コガネグモダマシ	○	○	○	○		
99			ムネグロコガネグモダマシ			○	○		
			Larinia属		○				
100			ドヨウオニグモ	○	○	○	○		
101			ワキグロサツマノミダマシ		○	○	○		
102			イエオニグモ			○			

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧I類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧II類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (9) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
103	クモ目	コガネグモ科	コゲチャオニグモ	○	○	○	○		
104			ヤマシロオニグモ	○	○	○	○		
105			サツマノミダマシ		○	○	○		
106			ヘリジロオニグモ				○		
			Neoscona属		○				
107			ズグロオニグモ	○		○	○		
			コガネグモ科		○				
108		コモリグモ科	ハタチコモリグモ				○		
109			スジプトコモリグモ	○		○	○		
110			カガリビコモリグモ		○	○	○		
111			エビチャコモリグモ		○	○	○		
112			ヒノマルコモリグモ		○	○	○		
113			クロココモリグモ	○	○	○	○		
			Arctosa属		○				
114			シッチコモリグモ			○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (10) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
115	クモ目	コモリグモ科	ハラクロコモリグモ		○	○	○		
116			イナダハリグモ		○	○	○		
117			ウジキコモリグモ	○	○	○	○		
118			カコウコモリグモ			○	○		
119			キクヅキコモリグモ	○	○	○	○		
			Pardosa属		○	○	○		
120			ミナミコモリグモ		○	○	○		
121			イモコモリグモ		○	○	○		
122			チビコモリグモ		○	○	○		
123			キバラコモリグモ		○	○	○		
124			ナミコモリグモ		○	○	○		
			Pirata属		○		○		
125			アライトコモリグモ				○		
			コモリグモ科		○				
126		キシダグモ科	スジプトハシリグモ	○	○	○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (11) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
127	クモ目	キシダグモ科	アオグロハシリグモ		○				
128			キクメハシリグモ				○		
129			イオウヒロハシリグモ	○	○	○	○		
130			アズマキシダグモ	○	○	○	○		
			キシダグモ科		○				
131		ササグモ科	ササグモ	○	○	○	○		
132		シボグモ科	シボグモ	○	○	○	○		
133		タナグモ科	クサグモ		○	○	○		
134			コクサグモ	○	○	○	○		
135		ナミハグモ科	Cybaeus属			○	○		
136		ウシオグモ科	イソタナグモ				○		
137		ハタケグモ科	ハタケグモ			○			
138		ハグモ科	ネコハグモ		○				
139			ヒナハグモ		○	○	○		
140		ガケジグモ科	ヒメシモフリヤチグモ				○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (12) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
141	クモ目	ガケジグモ科	カミガタヤチグモ			○			
			Coelotes属	○			○		
142		ヤマトガケジグモ科	ヤマトガケジグモ		○				
143		ウエムラグモ科	イタチグモ		○	○			
144			オトヒメグモ		○	○			
145			キレオビウラシマグモ		○	○	○		
146			ウラシマグモ			○			
147		フクログモ科	アシナガコマチグモ			○	○		
148			カバキコマチグモ	○					
149			ヤマトコマチグモ		○	○	○		
150			ヤサコマチグモ			○			
			Cheiracanthium属		○				
151			コフクログモ		○	○	○		
152			マダラフクログモ				○		
153			ミチノクフクログモ		○	○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (13) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
154	クモ目	フクログモ科	ヒイカワフクログモ				○		
155			ヤマトフクログモ			○			
156			ハマキフクログモ		○	○	○		
157			ヤハズフクログモ			○	○		
158			ヒメフクログモ	○	○	○	○		
159			トビイロフクログモ	○	○				
160			マイコフクログモ		○				
161			ムナアカフクログモ		○	○	○		
			Clubiona属		○		○		
			フクログモ科	○	○				
162		ネコグモ科	ネコグモ		○	○	○		
163		ワシグモ科	ヒメチャワシグモ			○			
164			ムナキワシグモ		○	○	○		
			Cladotela属		○				
165			トラフワシグモ	○	○	○			

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (14) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
166	クモ目	ワシグモ科	エビチャヨリメケムリグモ		○				
167			ヒメヨリメケムリグモ		○	○	○		
			Drassyllus属		○				
168			メキリグモ		○	○	○		
			Gnaphosa属		○				
169			ヒトオビトンビグモ		○	○	○		
170			ヤマトフトバワシグモ		○		○		
171			クロチャケムリグモ		○				
172			クロケムリグモ		○	○	○		
			Zelotes属		○				
			ワシグモ科				○		
173		アシダカガモ科	カマスグモ	○					
174		エビグモ科	キンイロエビグモ		○	○			
175			シロエビグモ		○	○			
176			アサヒエビグモ		○	○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (15) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
	クモ目	エビグモ科	Philodromus属		○				
177			ヤドカリグモ			○			
178			シャコグモ	○	○	○			
179		カニグモ科	キハダカニグモ		○	○	○		
180			コハナグモ	○	○	○	○		
181			アシナガカニグモ				○		
182			ヒメハナグモ	○					
183			クマダハナグモ	○	○				
184			ハナグモ	○	○	○	○		
185			ワカバグモ		○	○	○		
186			クロスジオチバカニグモ			○	○		
187			ガザミグモ		○	○			
188			シロスジグモ			○			
189			アズチグモ		○	○	○		
190			セマルトラフカニグモ				○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (16) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
191	クモ目	カニグモ科	ヤミイロカニグモ	○	○	○	○		
192			クロボシカニグモ		○	○	○		
193			アズマカニグモ		○	○	○		
194			チシマカニグモ			○			
195			オオヤミイロカニグモ	○	○	○	○		
196			ヨコフカニグモ			○			
			Xysticus属		○	○	○		
			カニグモ科		○				
197		ハエトリグモ科	ヤマジハエトリ	○	○	○	○		
198			マツモトハエトリ			○	○		
199			ネコハエトリ		○	○	○		
200			カタオカハエトリ		○				
201			マミジロハエトリ	○	○	○	○		
202			アシブトハエトリ		○	○			
203			マミクロハエトリ		○	○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (17) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
	クモ目	ハエトリグモ科	Evarcha属		○	○			
204			ウデプトハエトリ	○					
205			タカノハエトリ				○		
206			オオハエトリ				○		
207			ヨダンハエトリ		○	○	○		
			Marpissa属	○	○				
208			オスクロハエトリ	○	○	○	○		
209			ヤハズハエトリ	○	○	○	○		
210			シラヒゲハエトリ	○	○	○			
211			タイリクアリグモ		○	○	○		
212			ヤサアリグモ	○		○	○		
213			アリグモ	○	○	○	○		
			Myrmarachne属		○	○			
214			マガネアサヒハエトリ	○	○	○	○		
215			キアシハエトリ		○		○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (18) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
216	クモ目	ハエトリグモ科	メガネアサヒハエトリ		○	○	○		
217			メスジロハエトリ	○	○	○			
			Phintella属		○				
218			デーニツツハエトリ		○	○			
219			ミスジハエトリ		○	○	○		
220			イナズマハエトリ		○	○	○		
221			ヒメカラスハエトリ		○	○			
222			カラスハエトリ		○	○	○		
223			クロツヤハエトリ				○		
224			キレワハエトリ		○	○	○		
225			アオオビハエトリ		○	○	○		
226			シラホシコゲチャハエトリ		○	○	○		
			Sitticus属			○			
227			ムツバハエトリ			○			
			ハエトリグモ科		○	○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (19) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
228	カゲロウ目(蜉蝣目)	コカゲロウ科	フタバコカゲロウ			○			
229			Baetis属	○	○	○			
230			Cloeon属		○				
			コカゲロウ科			○			
231		ヒラタカゲロウ科	シロタニガワカゲロウ	○					
			Ecdyonurus属			○			
232			ウエノヒラタカゲロウ		○				
233			エルモンヒラタカゲロウ		○	○			
234			キョウトキハダヒラタカゲロウ		○				
			ヒラタカゲロウ科		○	○	○		
235		チラカゲロウ科	チラカゲロウ	○	○	○			
236		トビイロカゲロウ科	Choroterpes属			○			
237			ナミトビイロカゲロウ	○					
			トビイロカゲロウ科				○		
238		モンカゲロウ科	トウヨウモンカゲロウ	○	○	○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (20) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
239	カゲロウ目(蜻蛉目)	モンカゲロウ科	モンカゲロウ	○					
240		シロイロカゲロウ科	オオシロカゲロウ		○				
241		カワカゲロウ科	キイロカワカゲロウ	○	○	○			
242		マダラカゲロウ科	クロマダラカゲロウ		○				
243			ヨシノマダラカゲロウ		○				
244			アカマダラカゲロウ	○	○	○			
			マダラカゲロウ科		○	○	○		
245	トンボ目(蜻蛉目)	アオイトトンボ科	ホソミオツネイトンボ	○		○	○		
246			アオイトトンボ		○				
247			オオアオイトトンボ	○	○		○		
248		イトトンボ科	ホソミイトトンボ			○		県準絶滅	
249			クロイトトンボ	○	○	○	○		
250			セスジイトトンボ	○	○	○	○		
251			ムスジイトトンボ			○	○	県準絶滅	
252			オオイトトンボ	○	○	○	○		

重要種

国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧I類)
 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧II類)
 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (21) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
253	トンボ目(蜻蛉目)	イトトンボ科	キイトトンボ	○	○				
254			アジアイトトンボ	○	○	○	○		
255			アオモンイトトンボ	○	○	○	○		
256		モノサシトンボ科	モノサシトンボ	○	○	○	○		
257		カワトンボ科	ハグロトンボ	○	○	○	○		
258			アオハダトンボ		○	○	○	県準絶滅	
259			オオカワトンボ		○	○		県準絶滅	
260			カワトンボ				○		
261		ヤンマ科	クロスジギンヤンマ		○	○	○		
262			ギンヤンマ		○	○	○		
263			コシボソヤンマ			○	○		
264			カトリヤンマ			○		県準絶滅	
265		サナエトンボ科	ミヤマサナエ				○		
266			ヤマサナエ			○			
267			キイロサナエ		○	○	○	県準絶滅	

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (22) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
268	トンボ目(蜻蛉目)	サナエトンボ科	ホンサナエ	○	○	○	○		
269			アオサナエ	○	○		○	県準絶滅	
270			オナガサナエ		○	○	○		
271			コオニヤンマ		○	○	○		
272			ウチワヤンマ	○	○	○	○		
273			オジロサナエ			○			
274			ナゴヤサナエ	○	○	○	○	県危惧II、 準絶滅	
275			タバサナエ			○		県準絶滅	
276			オグマサナエ	○		○		危惧II	
277		オニヤンマ科	オニヤンマ				○		
278		エゾトンボ科	トラフトンボ		○			県準絶滅	
279			オオヤマトンボ			○	○		
280			コヤマトンボ	○	○	○	○		
281			キイロヤマトンボ				○	県危惧II、 準絶滅	
282		トンボ科	シヨウジョウトンボ	○	○	○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (23) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
283	トンボ目(蜻蛉目)	トンボ科	コフキトンボ	○	○	○	○		
284			ヨツボシトンボ		○				
285			ハラビロトンボ	○	○	○	○		
286			シオカラトンボ	○	○	○	○		
287			シオヤトンボ		○		○		
288			オオシオカラトンボ	○	○	○	○		
289			ウスバキトンボ	○	○	○	○		
290			コシアキトンボ	○	○	○	○		
291			チョウトンボ		○	○	○		
292			オナガアカネ	○					
293			ナツアカネ	○	○	○	○		
294			タイリクアキアカネ	○		○			
295			マユタテアカネ	○	○	○	○		
296			アキアカネ	○	○	○	○		
297			ノシメトンボ	○	○	○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (24) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
298	トンボ目(蜻蛉目)	トンボ科	タイリクアカネ			○		県準絶滅	
299	ゴキブリ目(網翅目)	チャバネゴキブリ科	モリチャバネゴキブリ	○	○	○	○		
300			ツチゴキブリ			○	○		
301			ウスヒラタゴキブリ	○					
302	カマキリ目(蟷螂目)	ヒメカマキリ科	ヒメカマキリ		○				
303		カマキリ科	ハラビロカマキリ	○	○	○	○		
304			ウスバカマキリ		○			県不足	
305			コカマキリ	○	○	○	○		
306			チョウセンカマキリ	○	○		○		
307			オオカマキリ	○	○	○	○		
			カマキリ科		○				
308	ハサミムシ目(革翅目)	マルムネハサミムシ科	ハマバハサミムシ	○	○	○	○		
309			キアシハサミムシ			○	○		
310			ヒゲジロハサミムシ		○	○	○		
			マルムネハサミムシ科	○	○				

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧I類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧II類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (25) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
				311	ハサミムシ目(革翅目)	クロハサミムシ科	ミジンハサミムシ		
312		クギヌキハサミムシ科	コブハサミムシ				○		
			クギヌキハサミムシ科	○					
313		オオハサミムシ科	オオハサミムシ	○	○	○	○		
314	カワゲラ目(セキ翅目)	オナシカワゲラ科	Amphinemura属			○			
315			オナシカワゲラ			○			
316		ミドリカワゲラ科	ミドリカワゲラ科		○				
317		カワゲラ科	Caroperla属		○				
318			キコナガカワゲラ			○			
319			オオメコナガカワゲラ		○				
320			ツダコナガカワゲラ		○				
321			カミムラカワゲラ	○	○				
322			コカワゲラ		○				県危惧I、危惧II
323			フタツメカワゲラ		○	○			
324			ヒメフタツメカワゲラ		○	○			

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (26) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
325	カワゲラ目(セキ翅目)	カワゲラ科	ヤマトフタツメカワゲラ	○					
			Neoperla属		○				
326			ヒトホシクラカケカワゲラ		○	○			
327			スズキクラカケカワゲラ		○				
328			オオクラカケカワゲラ	○					
			Paragnetina属			○			
329		アミメカワゲラ科	アイズクサカワゲラ		○				
			Isoperla属	○					
330			アサカワヒメカワゲラ		○				
331	バッタ目(直翅目)	クツワムシ科	クツワムシ	○	○	○	○	県準絶滅	
332		ツユムシ科	セスジツユムシ	○	○	○	○		
333			サトクダマキモドキ		○				
334			エゾツユムシ	○	○	○	○		
335			ツユムシ	○	○	○	○		
336		キリギリス科	ツユムシ亜科		○				

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (27) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
337	バッタ目(直翅目)	キリギリス科	ウスイロササキリ	○	○	○	○		
338			オナガササキリ	○	○	○	○		
339			コバネササキリ	○			○		
340			ホシササキリ	○	○		○		
			Conocephalus属		○				
341			ヒメギス	○	○	○	○		
342			クビキリギス	○	○	○	○		
343			キリギリス	○	○	○	○		
344			ハタケノウマオイ				○	県不足	
			Hexacentrus属	○	○				
345			コバネヒメギス	○	○	○	○		
346			カヤキリ	○	○		○	県不足	
347			クサキリ	○	○		○		
348			Tettigonia属	○	○		○		
349			シブイロカヤキリモドキ				○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (28) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
350	バッタ目(直翅目)	ケラ科	ケラ	○	○	○	○		
351		マツムシ科	スズムシ	○	○	○	○		
352			カンタン	○	○	○	○		国外
353			アオマツムシ		○	○	○		国外
354			マツムシ		○	○	○		
355		コオロギ科	ハラオカメコオロギ		○		○		
356			ミツカドコオロギ		○	○			
357			モリオカメコオロギ		○				
			Loxoblemmus属	○			○		
358			クマコオロギ	○	○	○	○		
359			クマスズムシ	○	○	○	○		
360			エンマコオロギ	○	○	○	○		
361			ツツレサセコオロギ	○	○	○	○		
362		カネタタキ科	カネタタキ	○	○	○	○		
363		ヒバリモドキ科	ウミコオロギ				○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (29) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
364	バッタ目(直翅目)	ヒバリモドキ科	マダラスズ	○	○	○	○		
365			キンヒバリ		○	○	○		
366			ヒゲシロスズ				○		
367			シバズズ	○	○		○		
368			ヤチズズ	○	○		○		
369			エゾズズ				○		
			Pteronemobius属	○					
370			クサヒバリ		○	○	○		
371			キアシヒバリモドキ	○	○	○	○		
372			ウスグモズズ				○		国外
373		バッタ科	ショウリョウバッタ	○	○	○	○		
374			マダラバッタ		○	○	○		
375			ヒナバッタ		○	○	○		
376			トノサマバッタ	○	○	○	○		
377			ヒロバネヒナバッタ	○					

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (30) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
378	バッタ目(直翅目)	バッタ科	ナキイナゴ		○		○		
379			クルマバッタモドキ	○	○	○	○		
380			ツマグロイナゴモドキ	○	○	○	○		
381			イボバッタ	○	○	○	○		
382		イナゴ科	イナゴ亜科		○				
383			フキバッタ亜科		○				
384			ハネナガイナゴ				○		
385			コバネイナゴ	○	○	○	○		
386			セトウチフキバッタ		○		○		
387			ツチイナゴ	○	○	○	○		
388		オンブバッタ科	オンブバッタ	○	○	○	○		
389		ヒシバッタ科	トゲヒシバッタ	○	○	○	○		
390			ニセハネナガヒシバッタ	○	○	○	○		
391			ハネナガヒシバッタ	○	○	○	○		
392			ハラヒシバッタ	○	○	○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (31) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
393	バッタ目(直翅目)	ヒシバッタ科	ヤセヒシバッタ	○	○				
394			ヒメヒシバッタ				○		
			Tetrix属			○			
			ヒシバッタ科		○				
395		ノミバッタ科	ノミバッタ		○	○	○		
396	ナナフシ目(竹節虫目)	ナナフシ科	ナナフシモドキ			○			
397			ナナフシ		○				
398	カメムシ目(半翅目)	ヒシウンカ科	ヤナギカワウンカ	○					
399			Cixius属			○			
400			キガシラヒシウンカ	○	○				
			Kuvera属			○			
401			オオヒシウンカ	○					
			Oliarus属				○		
402			ヒシウンカ	○		○			
403			ヨスジヒシウンカ	○	○	○			

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (32) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
	カメムシ目(半翅目)	ヒシウンカ科	ヒシウンカ科	○	○		○		
404		ウンカ科	ゴマフウンカ		○		○		
405			タテヤマヨシウンカ				○		
406			ヒゲブトウンカ			○			
407			ナガラガワウンカ		○				
			Garaga属				○		
408			ヒロズウンカ				○		
409			ヒメビウンカ		○		○		
410			トビイロウンカ		○		○		
411			エゾトビウンカ			○			
412			ホソミドリウンカ	○			○		
413			セジロウンカ	○	○		○		
414			ハリマナガウンカ			○			
415			エゾナガウンカ			○			
416			タマガワナガウンカ	○	○	○			

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (33) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
	カメムシ目(半翅目)	ウンカ科	Stenocranus属				○		
417			セスジウンカ		○				
418			コブウンカ	○		○	○		
419			クロコブウンカ	○		○	○		
			ウンカ科		○		○		
420		ハネナガウンカ科	アカメガシワハネビロウンカ		○				
421		テングスケバ科	テングスケバ	○		○			
422			ツマグロスケバ	○	○	○			
423		アオバハゴロモ科	アオバハゴロモ	○	○	○	○		
424			トビイロハゴロモ	○	○	○	○		
425		シマウンカ科	シマウンカ				○		
426		ハゴロモ科	スケバハゴロモ			○		県不足	
427			ベッコウハゴロモ	○	○	○	○		
428			アミガサハゴロモ	○	○				
429			ヒメベッコウハゴロモ	○			○	県不足	

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (34) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
430	カメムシ目(半翅目)	ゲンバイウンカ科	ミドリゲンバイウンカ				○		
431			オヌキゲンバイウンカ			○			
432			ヒラタゲンバイウンカ	○	○	○	○		
433		セミ科	アブラゼミ	○	○	○	○		
434			ツクツクボウシ				○		
435			ニイニイゼミ	○	○	○	○		
436			ヒグラシ	○	○	○			
437		ツノゼミ科	トビイロツノゼミ		○				
438		アワフキムシ科	マツアワフキ	○	○				
439			シロオビアワフキ	○	○		○		
440			インダアワフキ				○		
441			モンキアワフキ	○	○	○	○		
442			ハマバアワフキ	○	○	○	○		
443			マエキアワフキ		○	○	○		
444			ヒメモンキアワフキ	○	○				

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (35) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
445	カメムシ目(半翅目)	アワフキムシ科	ホシアワフキ	○	○		○		
446			コミヤマアワフキ		○				
447		コガシラアワフキムシ科	コガシラアワフキ	○	○	○	○		
448		トゲアワフキムシ科	ムネアカアワフキ			○		県不足	
449		ヨコバイ科	ヒロズヨコバイ亜科				○		
450			アオズキンヨコバイ亜科		○	○			
451			ヨコバイ亜科				○		
452			ヒメヨコバイ亜科		○		○		
453			トバヨコバイ				○		
454			カンキツヒメヨコバイ		○	○	○		
455			ヤノヒメヨコバイ				○		
456			クサビヨコバイ	○	○	○	○		
457			キスジミドリヒメヨコバイ				○		
458			カスリヨコバイ	○	○				
459			アカカスリヨコバイ				○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (36) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
460	カメムシ目(半翅目)	ヨコバイ科	ヒメカスリヨコバイ				○		
			Balclutha属				○		
461			ヒメアオズキンヨコバイ		○	○	○		
462			アオズキンヨコバイ	○	○		○		
463			ツماغロオオヨコバイ	○	○	○	○		
464			オオヨコバイ	○	○	○	○		
465			オオトガリヨコバイ	○					
466			トガリヨコバイ				○		
467			コブチミヤクヨコバイ		○				
468			ブチミヤクヨコバイ		○				
469			ミドリヒメヨコバイ	○	○	○			
470			ヨツモンヒメヨコバイ	○			○		
471			フタテンオオヨコバイ		○				
			Epiacanthus属				○		
472			キスジカンムリヨコバイ		○		○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (37) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
473	カメムシ目(半翅目)	ヨコバイ科	フタスジトガリヨコバイ	○					
474			ウスイロヒロヨコバイ	○					
475			サジヨコバイ		○		○		
476			ヒシモンヨコバイ	○	○	○	○		
477			ハリマズキンヨコバイ				○		
478			ヒトツメヒメヨコバイ	○			○		
479			ミスジトガリヨコバイ		○				
480			マエジロオオヨコバイ	○	○	○	○		
481			ミドリヒロヨコバイ			○	○		
482			ミミズク	○	○	○			
483			マエジロハトムネヨコバイ				○		
484			ヒシヨコバイ				○		
485			フタテンヨコバイ		○				
486			ヨツテンヨコバイ		○		○		
487			ヒメフタテンヨコバイ	○	○		○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (38) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
488	カメムシ目(半翅目)	ヨコバイ科	チャイロヨコバイ		○				
489			ムナグロスキンヨコバイ	○	○		○		
490			オビヒメヨコバイ				○		
491			ツマグロヨコバイ	○	○	○	○		
492			ホソサジヨコバイ	○			○		
493			Pagaronia属				○		
494			タマガワワシヨコバイ				○		
495			シロミヤクイチモンジヨコバイ			○	○		
496			クロヒラタヨコバイ	○	○	○	○		
497			ヒツメヨコバイ	○	○		○		
498			クロサジヨコバイ		○	○	○		
499			ズキンヨコバイ	○	○		○		
500			マダラヨコバイ				○		
501			イナズマヨコバイ		○	○			
502			シロセスジヨコバイ		○				

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (39) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
503	カメムシ目(半翅目)	ヨコバイ科	シラホシスカシヨコバイ	○	○	○	○		
504			イネヒラタヨコバイ				○		
505			ホシヨコバイ	○	○		○		
506			ヤノガリヨコバイ				○		
			ヨコバイ科	○	○	○	○		
507		サシガメ科	ヨコヅナサシガメ	○	○	○	○		国外
508			アカサシガメ				○		
509			ヒロウドサシガメ		○		○		
510			マダラカモドキサシガメ		○			県不足	
511			Endochus属	○					
512			セスジアシナガサシガメ				○		
513			クビグロアカサシガメ			○			
514			アカシマサシガメ		○		○		
515			ウストビサシガメ			○			
516			トビイロサシガメ	○		○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (40) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
517	カメムシ目(半翅目)	サンガメ科	クロトビイロサンガメ				○		
518			モモトビイロサンガメ	○	○				
519			クロサンガメ				○		
520			クロモンサンガメ	○	○	○	○		
521			トゲサンガメ	○	○	○	○		
522			ウデワユミアシサンガメ			○	○	県不足	
523			キベリユミアシサンガメ				○		
			Polytoxus属			○			
524			ホソサンガメ	○					
525			キイロサンガメ	○	○				
526			ヒメトビイロサンガメ		○				
527		グンバイムシ科	オオウチワグンバイ				○		
528			ウチワグンバイ			○			
529			アワダチソウグンバイ				○	国外	
530			ヤブガラシグンバイ				○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (41) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
531	カメムシ目(半翅目)	ゲンバウムシ科	コアサソゲンバイ			○			
532			キクゲンバイ	○		○	○		
533			ヤナギゲンバイ	○	○	○	○		
534			ナシゲンバイ		○	○			
535			ツツジゲンバイ				○		
536			シキミゲンバイ		○				
537			トサカゲンバイ		○		○		
538			ヒメゲンバイ	○		○	○		
539		ヒラタカメムシ科	ノコギリヒラタカメムシ	○					
540		ハナカメムシ科	ヤサハナカメムシ		○	○	○		
541			チビクロハナカメムシ	○					
542			クロハナカメムシ		○				
543			キモンクロハナカメムシ				○		
544			ケシハナカメムシ	○		○			
545			ズイムシハナカメムシ			○		県危惧II、 危惧II	

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (42) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
				546	カメムシ目(半翅目)	ハナカメムシ科	コヒメハナカメムシ		
547			ツヤヒメハナカメムシ			○			
548			ナミヒメハナカメムシ	○	○		○		
549			タイリクヒメハナカメムシ				○		
			Orius属				○		
			ハナカメムシ科	○					
550		カスミカメムシ科	ウスモンカスミカメ		○	○			
551			ナカグロカスミカメ	○	○	○	○		
552			ブチヒゲクロカスミカメ	○	○	○	○		
553			マツノヒゲボソカスミカメ	○		○			
554			フタモンアカカスミカメ	○	○	○			
555			コアオカスミカメ	○	○	○			
556			モモアカハギカスミカメ			○	○		
557			ズアカツヤマルカスミカメ				○		
558			ツマグロアオカスミカメ	○	○	○			

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (43) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
559	カメムシ目(半翅目)	カスミカメムシ科	ツماغロハギカスミカメ		○	○	○		
			Apolygus属				○		
560			ツヤクロカスミカメ				○		
561			チャイロホシチビカスミカメ			○			
562			ヨツボシカスミカメ			○			
563			コムドリチビトビカスミカメ			○	○		
564			ミナミチビトビカスミカメ		○				
565			クヌギカスミカメ			○			
566			ヒメセダカカスミカメ	○	○	○	○		
567			カイガラツヤカスミカメ			○			
568			アカホシカスミカメ				○		
569			マダラカスミカメ			○	○		
570			カタグロミドリカスミカメ		○				
571			カワヤナギツヤカスミカメ			○	○		
572			ケヤキツヤカスミカメ				○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (44) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
	カメムシ目(半翅目)	カスミカメムシ科	Deraeocoris属	○	○				
573			ノイバラホソカスミカメ				○		
574			ケブカキベリナガカスミカメ			○			
575			オオクロトビカスミカメ		○	○	○		
576			コブヒゲカスミカメ			○			
577			ナガミドリカスミカメ			○			
578			コモンミドリカスミカメ			○			
			Lygocoris属	○	○	○			
579			タバコカスミカメ			○			
580			Opuna属		○				
581			テンサイカスミカメ	○			○		
582			クロヒサゴカスミカメ			○			
583			マツトビカスミカメ	○					
584			Phytocoris属	○					

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (45) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
585	カメムシ目(半翅目)	カスミカメムシ科	ヨモギヒョウタンカスミカメ			○			
586			ヒョウタンカスミカメ	○	○	○	○		
587			クロヒョウタンカスミカメ		○	○	○		
588			ヒメヨモギカスミカメ	○	○	○	○		
			Plagiognathus属		○				
589			オオクロセダカカスミカメ	○	○	○	○		
590			クスギトビカスミカメ			○			
591			クリトビカスミカメ			○			
			Psallus属			○			
592			ヒメクロツヤチビカスミカメ				○		
593			フタトゲムギカスミカメ	○	○	○	○		
594			アカミヤクカスミカメ	○					
595			ミツトゲムギカスミカメ			○			
596			アカスジカスミカメ	○	○	○	○		
597			グンバイカスミカメ			○			

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (46) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
598	カメムシ目(半翅目)	カスミカメムシ科	ウスモンミドリカスミカメ			○	○		
599			イネホソミドリカスミカメ	○	○	○	○		
600			ヒメホソミドリカスミカメ			○			
601			ムナグロキイロカスミカメ			○			
			カスミカメムシ科	○	○		○		
602		マキバサンガメ科	ハネナガマキバサンガメ	○	○	○	○		
603			アシプトマキバサンガメ		○	○			
604			キバネアシプトマキバサンガメ			○		県不足	
605		オオホシカメムシ科	ヒメホシカメムシ	○	○	○	○		
606			オオホシカメムシ	○	○	○	○		
607		ホシカメムシ科	フタモンホシカメムシ	○			○		
608			クロホシカメムシ	○	○	○	○		
609		ホソヘリカメムシ科	クモヘリカメムシ	○	○	○	○		
610			ホソヘリカメムシ	○	○	○	○		
611		ヘリカメムシ科	ホオズキカメムシ	○	○	○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (47) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
612	カメムシ目(半翅目)	ヘリカメムシ科	オオクモヘリカメムシ			○	○		
613			ホソハリカメムシ	○	○	○	○		
614			ハリカメムシ	○		○	○		
615			ホシハラビロヘリカメムシ	○	○	○	○		
616			ツマキヘリカメムシ	○	○	○	○		
617			キバラヘリカメムシ			○	○		
618		ヒメヘリカメムシ科	スカシヒメヘリカメムシ				○		
619			アカヒメヘリカメムシ	○	○	○	○		
620			ブチヒゲヒメヘリカメムシ	○	○	○	○		
621		イトカメムシ科	イトカメムシ			○	○		
622		ナガカメムシ科	ヨツボンチビナガカメムシ			○			
623			チビヒメヒラタナガカメムシ			○			
624			ウスイロヒメヒラタナガカメムシ	○	○				
625			ヒメヒラタナガカメムシ	○	○	○			
			Cymus属				○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (48) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
626	カメムシ目(半翅目)	ナガカメムシ科	ニッポンコバネナガカメムシ		○	○	○		
627			コバネナガカメムシ	○	○	○	○		
628			ヒメネジロツヤナガカメムシ				○		
629			ヒメオオメナガカメムシ	○	○	○	○		
630			サビヒョウタンナガカメムシ	○	○	○	○		
631			ホソコバネナガカメムシ	○		○	○		
632			オオモンシロナガカメムシ		○		○		
633			オオチャイロナガカメムシ		○				
634			チャイロナガカメムシ	○	○	○			
635			ヒメナガカメムシ	○	○	○			
			Nysius属			○	○		
636			ヒラタヒョウタンナガカメムシ	○			○		
637			ヒゲナガカメムシ	○	○	○	○		
638			スコットヒョウタンナガカメムシ	○					
639			モンシロナガカメムシ	○	○	○			

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (49) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
640	カメムシ目(半翅目)	ナガカメムシ科	アムールシロヘリナガカメムシ				○		
641			シロヘリナガカメムシ			○			
642			キベリヒョウタンナガカメムシ	○	○	○	○		
643			ミナミホソナガカメムシ			○	○		
644			アカアシホソナガカメムシ				○		
645			クロアシホソナガカメムシ	○	○	○	○		
646			ハマバナガカメムシ			○		準絶滅	
647			オオメナガカメムシ	○	○	○	○		
648			Pylorgus属			○			
649			ウスチャヒョウタンナガカメムシ		○	○			
650			イチゴチビナガカメムシ	○	○	○	○		
651			チビナガカメムシ	○	○	○	○		
652			コバネヒョウタンナガカメムシ	○	○	○	○		
653			ジュウジナガカメムシ			○			

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (50) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
654	カメムシ目(半翅目)	ナガカメムシ科	ヒメジュウジナガカメムシ				○		
			ナガカメムシ科	○	○		○		
655		メダカナガカメムシ科	メダカナガカメムシ	○	○	○	○		
656		ツノカメムシ科	アオモンツノカメムシ	○	○	○			
657			エサキモンキツノカメムシ	○		○			
658		ツチカメムシ科	フタボンツチカメムシ		○				
659			ヒメツチカメムシ	○	○	○	○		
660			ツチカメムシ	○	○	○	○		
661			マルツチカメムシ	○		○	○		
662		ノコギリカメムシ科	ノコギリカメムシ		○	○		県不足	
663		カメムシ科	ウズラカメムシ	○	○	○	○		
664			シロヘリカメムシ			○	○		
665			シロヘリクチプトカメムシ			○	○		
666			ブチヒゲカメムシ	○	○	○	○		
667			ハナダカカメムシ	○		○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (51) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
668	カメムシ目(半翅目)	カメムシ科	ナガメ	○	○	○	○		
669			トゲシラホシカメムシ	○	○	○	○		
670			ムラサキシラホシカメムシ	○	○				
671			マルシラホシカメムシ		○	○	○		
672			オオトゲシラホシカメムシ		○				
673			シラホシカメムシ	○	○	○	○		
674			ツヤアオカメムシ	○	○	○			
675			エビイロカメムシ		○	○	○		
676			アカスジカメムシ	○	○	○	○		
677			クサギカメムシ	○	○	○	○		
678			アオクサカメムシ	○	○	○	○		
679			イチモンジカメムシ	○	○	○	○		
680			チャバナアオカメムシ	○	○	○	○		
681			オオクロカメムシ	○	○	○	○		
682			クロカメムシ	○	○	○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (52) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
683	カメムシ目(半翅目)	カメムシ科	ヒメクロカメムシ		○	○	○		
684			タマカメムシ	○					
685			ルリクチブトカメムシ		○	○	○		
686		マルカメムシ科	ヒメマルカメムシ	○	○	○			
687			タデマルカメムシ			○	○		
688			マルカメムシ	○	○	○	○		
689		キンカメムシ科	チャイロカメムシ	○		○	○		
690		アメンボ科	オオアメンボ				○		
691			アメンボ	○	○	○	○		
692			ヒメアメンボ	○	○	○	○		
693			エサキアメンボ			○	○	県準絶滅、 準絶滅	
694			シマアメンボ				○		
695		イトアメンボ科	イトアメンボ	○				県不足、危 惧II	
696			オキナワイトアメンボ				○		
697			ヒメイトアメンボ	○	○	○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (53) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
	カメムシ目(半翅目)	イトアメンボ科	Hydrometra属				○		
698		ミズカメムシ科	ミズカメムシ				○		
699			ウミミズカメムシ				○	県準絶滅	
700		カタビロアメンボ科	ケシカタビロアメンボ	○			○		
701			ホルバートケシカタビロアメンボ				○		
702			ナガレカタビロアメンボ				○		
703		ミズギワカメムシ科	コミズギワカメムシ		○				
704			ウスイロミズギワカメムシ		○	○	○		
705			エゾミズギワカメムシ				○		
706			ミズギワカメムシ	○			○		
707		ミズムシ科	コチビミズムシ	○	○		○		
708			ハイロチビミズムシ				○		
709			チビミズムシ	○		○			
			Micronecta属				○		
710			アサヒナコミズムシ				○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (54) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
711	カメムシ目(半翅目)	ミズムシ科	ヒメコミズムシ			○			
712			ハラグロコミズムシ			○			
713			ユサキコミズムシ			○	○		
714			コミズムシ	○	○		○		
			Sigara属		○		○		
715		メミズムシ科	メミズムシ	○	○	○	○		
716		コオイムシ科	コオイムシ			○	○	県危惧I、準絶滅	
717			オオコオイムシ		○	○	○		
718			タガメ	○				県危惧II、危惧II	
719		タイコウチ科	タイコウチ		○		○		
720			ミズカマキリ		○	○	○		
721		マツモムシ科	コマツモムシ	○		○	○		
722			マツモムシ	○			○		
723		マルミズムシ科	マルミズムシ				○		
724	ヘビトンボ目	ヘビトンボ科	ヘビトンボ	○	○				

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (55) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
725	ラクダムシ目	ラクダムシ科	ラクダムシ		○				
726	アミメカゲロウ目(脈翅目)	ミズカゲロウ科	ミズカゲロウ				○		
727		ツノトンボ科	ツノトンボ	○	○	○			
728			オオツノトンボ	○					
729		ウスバカゲロウ科	カスリウスバカゲロウ				○		
730	シリアゲムシ目(長翅目)	シリアゲムシ科	ヤマトシリアゲ	○	○	○	○		
731			マルバネシリアゲ	○					
732	トビケラ目(毛翅目)	ムネカクトビケラ科	Ecnomus kososimensis				○		
733			ムネカクトビケラ			○	○		
			Ecnomus属				○		
734		シマトビケラ科	コガタシマトビケラ	○	○				
			Cheumatopsyche属			○	○		
735			シロズシマトビケラ			○			
736			オオヤマシマトビケラ				○		
737			ギフシマトビケラ	○		○			

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (56) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
738	トビケラ目(毛翅目)	シマトビケラ科	ウルマーシマトビケラ	○	○	○	○		
739			ナカハラシマトビケラ	○		○	○		
			Hydropsyche属			○			
740			オオシマトビケラ	○	○	○	○		
741		クダトビケラ科	ウルマークダトビケラ			○			
742			ミヤコクダトビケラ			○			
			クダトビケラ科			○	○		
743		ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ	○	○	○	○		
744			チャバネヒゲナガカワトビケラ	○	○				
745		ヤマトビケラ科	ヤマトコヤマトビケラ	○			○		
			Agapetus属			○			
746			イノブスヤマトビケラ	○		○	○		
			Glossosoma属			○	○		
			ヤマトビケラ科			○			
747		ヒメトビケラ科	ヌマヒメトビケラ			○			

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (57) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
748	トビケラ目(毛翅目)	ヒメトビケラ科	マツイヒメトビケラ			○			
			Hydroptila属	○		○			
749		ナガレトビケラ科	ヒロアタマナガレトビケラ		○				
750			クワヤマナガレトビケラ			○			
751			ムナグロナガレトビケラ				○		
752			トランスクイラナガレトビケラ	○	○				
753			ヤマナカナガレトビケラ			○			
			Rhyacophila属	○	○	○	○		
754		ニンギョウトビケラ科	ニンギョウトビケラ	○	○	○	○		
755			カワモトニンギョウトビケラ	○		○	○		
			Goera属				○		
756		カクツツトビケラ科	ヒロオカクツツトビケラ			○			
757			トウヨウカクツツトビケラ	○	○				
758		ヒゲナガトビケラ科	Athripsodes miyakonis		○				

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧I類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧II類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (58) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
759	トビケラ目(毛翅目)	ヒゲナガトビケラ科	トゲモチヒゲナガトビケラ			○			
760			ナガツノヒゲナガトビケラ				○		
761			ミヤコヒゲナガトビケラ				○		
			Ceraclea属			○			
762			アオヒゲナガトビケラ	○	○	○	○		
763			ゴマダラヒゲナガトビケラ	○		○			
			Oecetis属	○					
764			チビセトビケラ			○			
765			ギンボシツツトビケラ	○	○			準絶滅	
766			ヤマモトセンカイトビケラ	○					
			Triadenodes属			○			
767		エグリトビケラ科	ニッポンウスバキトビケラ			○			
768			ウスバキトビケラ	○	○	○			
769			スジトビケラ	○					
770		ホソバトビケラ科	ホソバトビケラ	○	○	○			

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (59) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
771	トビケラ目(毛翅目)	トビケラ科	アミトビケラ		○				
772			ツマグロトビケラ		○	○			
773		ケトビケラ科	Gumaga属			○			
774	チョウ目(鱗翅目)	コウモリガ科	コウモリガ	○		○			
775		ミノガ科	チャミノガ			○			
776		スカシバガ科	コスカシバ	○					
777		ボクトウガ科	ボクトウガ	○	○				
778		ハマキガ科	ハマキガ亜科				○		
779			ヒメハマキガ亜科				○		
780			チャノコカクモンハマキ	○	○	○			
781			グミウスツマヒメハマキ		○				
782			オオアトキハマキ		○				
783			マツアトキハマキ	○		○			
784			クロシオハマキ		○				
785			ウスアトキハマキ	○	○		○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (60) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
	チョウ目(鱗翅目)	ハマキガ科	Archips属	○					
786			イグサヒメハマキ			○			
787			フタモントガリバヒメハマキ				○		
788			ウスクリイロヒメハマキ	○					
789			コウスクリイロヒメハマキ			○	○		
790			ヒノキカワモグリガ		○	○			
791			アシプトヒメハマキ	○	○				
792			オオアシプトヒメハマキ		○				
793			クリミガ		○				
794			トビモンコハマキ	○					
795			ヨモギネムシガ	○	○	○			
796			ヒロオビヒメハマキ		○				
797			ハナウドモグリガ	○					
			Epinotia属	○					
798			トビモンシロヒメハマキ	○	○	○			

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (61) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
799	チョウ目(鱗翅目)	ハマキガ科	ヤマモモヒメハマキ		○				
800			Gypsonoma属	○					
801			シロモンヒメハマキ		○				
802			チャハマキ	○	○				
803			アトボシハマキ		○				
804			コシロアシヒメハマキ		○				
805			ホソバチビヒメハマキ	○		○			
806			センダンヒメハマキ		○				
807			コホソシハマキ	○					
808			フタモンコハマキ		○				
809			バラシロヒメハマキ			○			
810			クローバヒメハマキ		○				
811			ウツギヒメハマキ		○				
812			クロネハイイロヒメハマキ	○					

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (62) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
813	チョウ目(鱗翅目)	ハマキガ科	ヤナギサザナミヒメハマキ	○	○		○		
814			オオヤナギサザナミヒメハマキ			○	○		
815		イラガ科	ムラサキイラガ		○	○			
816			テングイラガ	○	○	○			
817			イラガ	○	○				
818			台湾イラガ	○	○	○			
819		マダラガ科	ウスバツバメガ		○				
820			ホタルガ			○			
			マダラガ科				○		
821		セセリチョウ科	ダイミョウセセリ	○	○	○			
822			ギンイチモンジセセリ	○			○	県危惧II、 準絶滅	
823			イチモンジセセリ	○	○	○	○		
824			チャバネセセリ	○	○	○	○		
825			オオチャバネセセリ	○	○	○	○	県不足	
826			キマダラセセリ		○				

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (63) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
827	チョウ目(鱗翅目)	セセリチョウ科	コチャバネセセリ			○			
828		マダラチョウ科	テングチョウ本土亜種				○		
829			アサギマダラ				○		
830		シジミチョウ科	ルリシジミ	○	○	○	○		
831			ウラギンシジミ		○	○	○		
832			ツパメシジミ	○	○	○	○		
833			ウラナミシジミ	○	○	○	○		
834			ベニシジミ	○	○	○	○		
835			ムラサキシジミ	○					
836			ヤマトシジミ本土亜種	○	○	○	○		
837		タテハチョウ科	コムラサキ		○	○	○		
838			サカハチチョウ		○	○			
839			ミドリヒョウモン	○		○			
840			ツماغロヒョウモン			○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (64) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
841	チョウ目(鱗翅目)	タテハチョウ科	オオウラギンスジヒョウモン	○	○	○		県不足	
842			ヒメアカタテハ	○	○	○	○		
843			イシガケチョウ			○			
844			スミナガシ本土亜種			○			
845			ゴマダラチョウ	○	○	○	○		
846			ルリタテハ本土亜種			○			
847			アサマイチモンジ			○	○		
848			コムスジ	○	○	○	○		
849			ヒオドシチョウ	○					
850			キタテハ	○	○	○	○		
851			アカタテハ		○	○	○		
852		アゲハチョウ科	ジャコウアゲハ本土亜種			○		県危惧II	
853			アオスジアゲハ	○	○	○	○		
854			モンキアゲハ	○	○	○	○		
855			ミヤマカラスアゲハ	○					

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (65) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
856	チョウ目(鱗翅目)	アゲハチョウ科	キアゲハ	○	○	○	○		
857			ナガサキアゲハ			○			
858			クロアゲハ本土亜種	○		○			
859			ナミアゲハ	○	○	○	○		
860		シロチョウ科	モンキチョウ	○		○	○		
861			キチョウ	○	○	○	○		
862			ツマグロキチョウ			○	○	県危惧II、 危惧II	
863			スジグロシロチョウ	○	○	○	○		
864			エゾスジグロシロチョウ本州以南 亜種	○					
865			モンシロチョウ	○	○	○	○		国外
866		ジャノメチョウ科	クロヒカゲ本土亜種	○	○				
867			ヒカゲチョウ		○		○		
868			ジャノメチョウ	○	○	○	○		
869			コジャノメ		○				
870			ヒメジャノメ		○	○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (66) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
871	チョウ目(鱗翅目)	ジャノメチョウ科	サトキマダラヒカゲ			○	○		
872			オオヒカゲ			○	○		
873			ヒメウラナミジャノメ	○	○	○	○		
874		ツトガ科	ウスムラサキノメイガ	○	○				
875			クロウスムラサキノメイガ		○				
876			シロヒトモンノメイガ		○				
877			ヒメガリノメイガ	○	○	○			
878			ツトガ	○	○	○			
879			ホソトガリノメイガ	○					
880			Aripa属	○					
881			フチムラサキノメイガ			○			
882			シロモンノメイガ	○	○	○	○		
883			タイワンウスキノメイガ		○				
884			アカウスグロノメイガ			○			

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (67) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
885	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	シロテンウスグロノメイガ	○	○	○			
886			モンウスグロノメイガ			○			
			Bradina属	○	○				
887			シロツトガ	○		○			
888			Catoptria属	○					
889			オオシロモンノメイガ		○				
890			ヨシツトガ	○	○	○			
891			ニカメイガモドキ	○					
892			ニカメイガ	○	○	○			
893			クロマダラツトガ		○				
894			テンスジツトガ	○					
895			ナカモンツトガ	○					
896			キベリハネボソノメイガ		○				
897			モンキシロノメイガ	○					

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧I類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧II類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (68) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
898	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	ウスムラサキクルマメイガ		○				
899			コブノメイガ	○	○	○	○		
900			モモノゴマダラノメイガ		○	○			
901			シロスジツトガ		○				
902			ナカグロツトガ	○	○				
903			ワタヘクロノメイガ	○	○	○			
904			キアヤヒメノメイガ	○	○	○			
905			シロテンノメイガ	○		○			
906			エグリノメイガ	○					
907			ハイロホソバノメイガ		○				
908			マダラミズメイガ	○	○	○			
909			ヒメマダラミズメイガ	○	○	○			
910			アヤナミノメイガ	○	○	○			
911			ナニセノメイガ			○			

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (69) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
912	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	ヘリジロカラスニセノメイガ		○				
913			シロエグリツトガ	○	○				
914			ツゲノメイガ		○				
915			スカシノメイガ		○		○		
916			クワノメイガ		○	○			
917			シロマダラノメイガ		○				
918			クロヘリキノメイガ	○	○	○			
919			ワタノメイガ		○	○			
920			ハイマダラノメイガ			○			
921			ウスオビクロノメイガ		○				
922			クロオビクロノメイガ		○				
923			モンキクロノメイガ	○	○	○			
924			コキモンウスグロノメイガ	○					
925			マエキノメイガ	○	○	○	○		
			Herpetogramma属	○					

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (70) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
926	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	ミツテンノメイガ	○	○				
927			マメノメイガ	○	○	○			
928			ウスオビキノメイガ	○					
929			シロテンキノメイガ	○	○	○			
930			クロフタオビツトガ			○			
931			ホシオビホソノメイガ	○	○	○			
932			ワモンノメイガ	○		○	○		
933			アトモンミズメイガ	○					
934			キバラノメイガ	○	○				
935			クロミスジノメイガ		○				
936			シロアシクロノメイガ	○					
937			アワノメイガ	○	○	○			
938			ユウゴモノメイガ	○					
939			フキノメイガ	○		○			
			Ostrinia属		○	○			

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧I類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧II類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (71) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
940	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	ヨスジノメイガ	○					
941			マタスジノメイガ	○					
942			ヘリジロキンノメイガ			○			
943			マエウスモンキノメイガ	○					
944			ヒメシロノメイガ	○	○	○			
945			マエアカスカシノメイガ	○	○	○			
946			スジグロミズメイガ		○				
947			ゼニガサミズメイガ	○					
948			ヒロバウスグロノメイガ		○				
949			シバツトガ	○	○	○		国外	
950			イネコミズメイガ	○	○	○			
951			クビシロノメイガ			○			
952			コガタシロモンノメイガ	○	○	○			
953			ナガハマツトガ		○				
954			クロスジキンノメイガ	○	○				

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (72) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
955	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	ホソミスジノメイガ	○		○			
956			ウスイロキンノメイガ		○				
957			ウコンノメイガ	○	○	○			
			Pleuroptya属	○					
958			ツマグロシロノメイガ		○				
959			キオビミズメイガ	○	○	○			
960			マエキツトガ		○				
961			トモンノメイガ	○		○	○		
962			ベニフキノメイガ			○			
963			ナカキノメイガ	○	○				
964			クロフキオオメイガ	○	○		○		
			Schoenobius属	○					
965			イッテンオオメイガ	○					
966			ヒトスジオオメイガ	○	○				
			Scirpophaga属	○					

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (73) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
967	チョウ目(鱗翅目)	ツトガ科	タテシマノメイガ	○	○	○			
968			セスジノメイガ		○				
969			シロオビノメイガ	○	○	○	○		
970			ツチイロノメイガ		○				
971			ヨツボシノメイガ		○				
972			フタオビノメイガ	○					
973			トビモンシロノメイガ		○	○			
974			クロスジノメイガ			○			
975			チビマルモンノメイガ	○					
976			チャモンノメイガ	○					
977			クロモンキノメイガ	○	○	○			
978			オオモンシロリノメイガ		○				
979			ウラジロキノメイガ	○					
980			モンシロリノメイガ	○					
981		メイガ科	Acrobasis属	○					

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (74) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
982	チョウ目(鱗翅目)	メイガ科	ツマグロシマメイガ	○	○	○	○		
983			コクロモンマダラメイガ		○				
984			ヒメアカシマメイガ		○				
985			ウスアカムラサキマダラメイガ	○	○				
986			ナシモンクロマダラメイガ	○					
987			アカフマダラメイガ		○				
988			マツノシンマダラメイガ		○				
989			オオマエジロホソメイガ			○			
990			ウスオビトガリメイガ	○	○				
991			キオビトガリメイガ		○				
992			キモントガリメイガ	○	○	○	○		
993			ウスベントガリメイガ	○	○	○			
994			カバイロトガリメイガ		○	○			
			Endotricha属			○			
995			ハスジフトメイガ	○	○				

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (75) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
996	チョウ目(鱗翅目)	メイガ科	フタスジツツリガ	○					
997			ハチノスツツリガ			○			
998			アカシマメイガ	○	○	○			
999			モモイロシマメイガ		○				
1000			トビイロシマメイガ	○					
1001			ヒトホシホソメイガ	○					
1002			コネアオフトメイガ		○				
1003			ナカムラサキフトメイガ	○	○	○			
1004			トサカフトメイガ		○	○	○		
1005			オオツツリガ		○				
1006			ナカアカスジマダラメイガ		○				
1007			ヤマトマダラメイガ	○	○	○			
1008			ミカドマダラメイガ	○					
1009			アカマダラメイガ	○		○			
1010			ナカトビフトメイガ		○				

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (76) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1011	チョウ目(鱗翅目)	メイガ科	クロモンフトメイガ		○	○			
1012			フタスジシマメイガ	○	○	○			
1013			ツマキシマメイガ		○				
1014			トビスジマダラメイガ	○					
1015			マエジロホソマダラメイガ		○				
1016			ギンモンシマメイガ		○	○			
1017			オオフトメイガ	○	○	○			
1018			トビマダラメイガ		○				
1019			ハラウスキマダラメイガ		○				
1020			ネグロフトメイガ		○				
1021			ナカアカシマメイガ	○	○				
1022			マエモンシマメイガ	○					
1023			ナカアオフトメイガ		○				
1024			クロフトメイガ	○					
1025		マドガ科	ウスマダラマドガ		○				

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (77) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1026	チョウ目(鱗翅目)	マドガ科	マダラマドガ		○				
1027			アカジママドガ		○	○			
1028			マドガ			○			
1029		カギバガ科	マエキカギバ	○	○				
1030			スカシカギバ		○				
1031			ヤマトカギバ	○	○				
1032			アシベニカギバ	○	○				
1033			ヒメハイロカギバ		○				
1034			ウコンカギバ	○					
1035		トガリバガ科	オオアヤトガリバ	○					
1036			モントガリバ		○				
			トガリバガ科				○		
1037		シャクガ科	ヒメシャク亜科				○		
1038			ユウマダラエダシャク		○		○		
			Abraxas属	○	○	○			

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (78) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1039	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	チズモンアオシャク			○			
1040			ナカウスエダシャク	○	○	○			
1041			ゴマダラシロエダシャク	○					
1042			クロクモエダシャク	○	○	○			
1043			ヒョウモンエダシャク		○				
1044			ヨモギエダシャク	○	○				
1045			ツマトビキエダシャク		○				
1046			コスジシロエダシャク	○					
1047			ギンスジエダシャク			○	○		
1048			フタテンオエダシャク	○	○	○	○		
1049			ウスオエダシャク	○	○	○	○		
1050			ホソバハラアカアオシャク	○					
1051			コウスアオシャク	○	○	○			
1052			フトスジエダシャク	○	○				

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (79) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1053	チョウ目(鱗翅目)	シヤクガ科	ヘリジロヨツメアオシヤク	○					
1054			ギンスジアオシヤク		○	○			
1055			クロモンアオシヤク		○	○			
1056			ヨツモンマエジロアオシヤク	○	○	○			
1057			アカホシヒメアオシヤク		○				
1058			コヨツメアオシヤク		○				
1059			ツマキエダシヤク	○	○				
1060			セプトエダシヤク本州亜種	○					
1061			ツマキナカジロナミシヤク	○					
1062			アオスジナミシヤク		○				
1063			オオハガタナミシヤク	○	○				
1064			シロフアオシヤク		○	○			
1065			ヒメシロフアオシヤク		○				
1066			ハコベナミシヤク	○	○				
1067			ウスアカチビナミシヤク	○					

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (80) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
				1068	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	ナカアオナミシャク		
1069			ハガタナミシャク	○	○				
1070			エグリエダシャク		○				
1071			クロカバズジナミシャク	○					
1072			ケブカチビナミシャク		○				
1073			コシロスジアオシャク		○				
1074			ウラベニエダシャク	○	○	○			
1075			ミツボシナミシャク	○					
1076			サザナミオビエダシャク		○				
1077			ウラキトガリエダシャク		○				
1078			フトオビエダシャク	○	○	○			
1079			ウスバミスジエダシャク	○	○				
1080			ハミスジエダシャク		○				
1081			クロテントビヒメシャク	○					
1082			ベニヒメシャク		○				

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (81) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1083	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	ミジンキヒメシャク	○					
			Idaea属	○					
1084			チャノウンモンエダシャク		○				
1085			ナミガタウスキアオシャク	○					
1086			マルモンヒメアオシャク		○				
1087			スカシエダシャク		○				
1088			ウスフタスジシロエダシャク		○	○			
1089			シャンハイオエダシャク	○		○	○		
1090			ウスクモエダシャク		○				
1091			フタモンクロナミシャク	○	○	○			
1092			キマエアオシャク		○	○			
1093			マエキトビエダシャク	○	○				
1094			オオマエキトビエダシャク			○			
1095			エグリゾマエダシャク	○		○			
1096			ヨツメエダシャク		○				

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (82) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1097	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	トビスジヒメナミシャク	○	○	○	○		
1098			ウスキツバメエダシャク	○	○				
1099			ウスキオエダシャク		○				
1100			ヘリアカトガリアオシャク			○			
1101			フタスジウスキエダシャク		○				
1102			ウスアオエダシャク	○					
1103			ツマキリウスキエダシャク		○				
1104			リンゴアオナミシャク	○					
1105			クスアオシャク	○					
1106			ヤマトエダシャク		○				
1107			ウスグロナミエダシャク	○	○	○			
1108			マエキオエダシャク		○	○			
1109			クロフオオシロエダシャク	○		○			
1110			フタナミトビヒメシャク	○	○	○			
1111			フタスジオエダシャク	○					

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (83) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1112	チョウ目(鱗翅目)	シャクガ科	ミスジハイロヒメシャク	○	○				
1113			キトガリヒメシャク	○					
1114			ギンバナネヒメシャク		○				
1115			ウスキクロテンヒメシャク	○	○	○			
1116			ハイロヒメシャク		○	○			
1117			マエキヒメシャク		○				
1118			キナミノヒメシャク	○	○	○			
			Scopula属	○					
1119			ウンモンオオシロヒメシャク	○	○				
1120			クロハグルマエダシャク	○	○				
1121			ハグルマエダシャク	○	○				
1122			ヨツメアオシャク	○					
1123			フトベニスジヒメシャク	○					
1124			コベニスジヒメシャク	○					
1125			ベニスジヒメシャク	○		○			

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (84) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
	チョウ目(鱗翅目)	シヤクガ科	Timandra属	○	○	○			
1126			ホソバナミシヤク		○				
1127			ナカシロスジナミシヤク	○					
1128			フタトビスジナミシヤク	○					
1129			ツマグロナミシヤク		○	○			
1130			フトジマナミシヤク	○					
1131			トガリエダシヤク	○	○				
1132		ツバメガ科	ギンツバメ	○				県不足	
1133			クロホシフタオ	○	○				
1134		カイコガ科	クワコ	○	○	○			
1135		オビガ科	オビガ		○				
1136		カレハガ科	マツカレハ		○				
1137			ツガカレハ	○					
1138			タケカレハ	○	○				
1139			ヨシカレハ			○			

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (85) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1140	チョウ目(鱗翅目)	カレハガ科	ホシカレハ		○				
1141		ヤママユガ科	オオミズアオ本州亜種		○				
1142			クスサン		○	○			
1143		スズメガ科	ブドウスズメ	○	○	○			
1144			エビガラスズメ	○		○			
1145			ホソバスズメ	○		○			
1146			アジアホソバスズメ		○				
1147			クルマスズメ	○	○				
1148			ウンモンズズメ	○					
1149			トビイロスズメ			○			
1150			ベニスズメ	○	○	○			
1151			ヒメクロホウジャク		○				
1152			ホシホウジャク			○			
1153			クロホウジャク		○				
1154			ホウジャク				○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (86) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
				1155	チョウ目(鱗翅目)	スズメガ科	ホシヒメホウジャク		
1156			エゾスズメ		○		○		
1157			シモフリスズメ	○	○				
1158			ビロードスズメ		○				
1159			ミスジビロードスズメ	○					
1160			ウチスズメ	○	○		○		
1161			コスズメ	○	○	○	○		
1162			セスジスズメ	○					
1163		シャチホコガ科	セグロシャチホコ	○	○		○		
1164			パイバラシロシャチホコ	○	○				
1165			ホソバシャチホコ		○				
1166			ナカグロモクメシャチホコ		○				
1167			クワゴモドキシャチホコ	○	○	○			
1168			タカオシャチホコ		○				

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (87) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1169	チョウ目(鱗翅目)	シャチホコガ科	プライヤエグリシャチホコ		○				
1170			ヒナシャチホコ			○			
1171			ヒメシャチホコ			○			
1172			ナカスジシャチホコ			○	県不足		
1173			ゴマダラシャチホコ	○					
1174			ナカキシヤチホコ		○				
1175			モンクロシャチホコ	○					
1176			オオエグリシャチホコ		○				
1177			セダカシャチホコ		○				
1178			ウスイロギンモンシャチホコ		○				
1179			アオシャチホコ	○	○				
1180			ムラサキシヤチホコ		○				
1181			モンクロギンシャチホコ		○				
1182			アオバシヤチホコ	○					
1183		トラガ科	トビイロトラガ		○				

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (88) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1184	チョウ目(鱗翅目)	ヒトリガ科	ハガタベニコケガ		○				
1185			ゴマダラベニコケガ		○				
1186			スジベニコケガ		○	○			
1187			マエグロホソバ		○				
1188			キンタホソバ	○	○	○	○		
1189			ヒメキホソバ	○	○	○			
1190			キマエホソバ	○					
1191			クロテンハイイロコケガ			○			
1192			アカヒトリ		○				
1193			カクモンヒトリ	○					
1194			オオベニヘリコケガ		○	○			
1195			ベニヘリコケガ		○				
1196			ウスバフタホシコケガ	○	○	○			
1197			スカシコケガ	○					
1198			ホシホソバ		○	○			

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (89) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
	チョウ目(鱗翅目)	ヒトリガ科	Pelosia属	○					
1199			チャオビチビコケガ		○				
1200			スジモンヒトリ	○	○				
1201			オビヒトリ	○	○	○			
1202			キハラゴマダラヒトリ	○	○	○			
1203			アカハラゴマダラヒトリ			○			
1204			ゴマダラキコケガ			○			
1205		カノコガ科	キハダカノコ				○		
1206		ドクガ科	チャドクガ			○			
1207			ドクガ	○	○	○			
1208			リンゴドクガ	○					
1209			マメドクガ			○			
1210			マイマイガ	○	○	○			
1211			カシワマイマイ		○				
1212			ヒメシロモンドクガ	○		○			

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (90) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1213	チョウ目(鱗翅目)	ドクガ科	ウチジロマイマイ		○				
1214			クロモンドクガ			○			
1215			ゴマフリドクガ	○	○				
1216		ヤガ科	クルマアツバ亜科				○		
1217			コモクメヨトウ		○				
1218			ナカジロシタバ	○	○	○			
1219			タマナヤガ	○	○	○	○		
1220			カブラヤガ	○	○	○			
1221			カラスヨトウ	○					
1222			オオシマカラスヨトウ	○					
1223			サビイロコヤガ		○				
1224			クロテンカバアツバ		○		○		
1225			コウスベリケンモン	○	○	○			
1226			ウスベリケンモン		○				
1227			カバマダラヨトウ		○	○			

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (91) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1228	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	オオアカキリバ	○					
1229			アカキリバ		○				
1230			クロオビアツバ			○			
1231			アカモクメトウ	○	○				
1232			ネスジシラクモトウ			○			
1233			アヤホソコヤガ		○				
1234			マダラホソコヤガ	○					
1235			ハガタウスキヨトウ		○				
1236			ギンボシリンガ	○					
1237			ソトジロツマキクチバ	○		○			
1238			シロテンウスグロヨトウ	○	○	○			
1239			エゾウスイロヨトウ	○					
1240			テンウスイロヨトウ	○	○	○			
1241			シロモンオビヨトウ	○	○	○			
1242			ヒメサビスジヨトウ	○	○	○			

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (92) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1243	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ギンギシトウ		○				
1244			ベニミスジコヤガ	○					
1245			オオムラサキキンウワバ	○					
1246			ガマキンウワバ		○				
1247			タマナギンウワバ	○					
1248			モクメトウ	○	○	○			
1249			ハジマヨトウ	○	○	○			
1250			コウンモンクチバ	○	○				
1251			キノカワガ			○			
1252			ホシムラサキアツバ	○					
1253			ウスヅマアツバ		○				
1254			ハングロアツバ		○				
1255			ヤマガタアツバ		○				
1256			シラクモアツバ		○				
1257			イチモジキノコトウ	○	○				

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (93) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1258	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ウスアオモンコヤガ		○				
1259			マルモンキノコトウ		○				
1260			アミツマキリトウ	○					
1261			ムラサキツマキリトウ	○	○	○			
1262			アヤナミツマキリトウ		○				
1263			コガタツマキリトウ		○				
1264			マダラツマキリトウ		○				
1265			オオエグリバ	○	○	○			
1266			マメキシタバ	○					
1267			ベニシタバ				○		
1268			アミキシタバ			○		県準絶滅	
1269			キシタバ			○			
1270			ショウブオオトウ		○				
1271			ネスジキノカワガ		○				
1272			イチジクキンウワバ		○	○			

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (94) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1273	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	キンイロキリガ	○					
1274			キンスジアツバ		○	○	○		
1275			ハイロシマコヤガ		○				
1276			ベニシマコヤガ		○				
1277			キノコヨトウ	○	○	○			
1278			ミツモンキンウワバ	○	○	○			
1279			エゾギクキンウワバ	○	○	○			
1280			ニシキキンウワバ		○				
1281			クシヒゲウスキヨトウ	○			○		
1282			リョクモンオオキンウワバ			○			
1283			コヒサゴキンウワバ		○				
1284			オオバコヤガ	○	○	○			
1285			ウスイロアカフヤガ	○	○				
1286			ヨツモンムラサキアツバ			○			
1287			クロモクメヨトウ			○			

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (95) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1288	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ホソオビアシブトクチバ		○				
1289			モンオビヒメトウ		○				
1290			アカマエアオリング	○	○	○	○		
1291			ベニモンアオリング	○					
1292			オオシラホシアツバ	○	○				
1293			モンムラサキクチバ		○				
1294			アカテングチバ	○	○	○			
1295			ギンスジキンウワバ	○		○			
1296			アカガネトウ	○		○			
1297			ムギヤガ	○					
1298			クロオビリング		○	○			
1299			ナカグロクチバ				○		
1300			フタキボシアツバ			○			
1301			ソトウスアツバ		○				
1302			フタデンヒメトウ	○	○	○			

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (96) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1303	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ナカジロアツバ	○	○				
			Harita属	○					
1304			オオタバコガ	○	○		○		国外
1305			タバコガ		○	○			
1306			ツメクサガ	○					
1307			アトヘリヒトホシアツバ		○				
1308			ウスキミスジアツバ	○	○	○			
1309			クロスジアツバ		○				
1310			シラナミアツバ	○	○	○			
1311			トビスジアツバ	○	○	○			
1312			クロクモヤガ	○	○	○			
1313			オオシラナミアツバ	○	○	○	○		
1314			フタホシヨトウ		○				
1315			ソトウスグロアツバ	○	○	○	○		
1316			ヒロオビウスグロアツバ	○					

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (97) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1317	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	クロキシタアツバ				○		
1318			キシタアツバ		○				
1319			トビモンアツバ		○				
1320			タイワンキシタアツバ	○	○	○			
1321			ミジンアツバ	○					
1322			モンキコヤガ	○	○	○			
1323			オオシロテンクチバ	○					
1324			マエジロアツバ		○				
1325			アミメヒメヨトウ		○				
1326			ムクゲコノハ		○				
1327			マエアカシロヨトウ		○				
1328			ニセミカドアツバ		○				
1329			チビアツバ		○				
1330			クビグロクチバ		○				
1331			ギンモンシロウワバ	○	○				

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (98) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1332	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ヒメネジロコヤガ	○	○	○			
1333			ヨトウガ	○	○				
1334			ムラサキヒメクチバ	○					
1335			ホシミミヨトウ		○				
1336			シロスジトモエ		○				
1337			シロヒシモンコヤガ		○				
1338			スジモンアツバ	○	○	○			
1339			ニセウンモンクチバ	○	○	○	○		
1340			ウンモンクチバ	○					
1341			オオウンモンクチバ	○	○	○			
1342			フサキバアツバ		○				
1343			ナカスジキョトウ	○		○			
1344			マダラキョトウ	○	○	○			
1345			ウラギンキョトウ	○	○				
1346			クサンロキョトウ		○				

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (99) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1347	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ノヒラキヨトウ	○	○	○	○		
1348			アワヨトウ		○	○			
1349			マメチャイロキヨトウ	○	○	○	○		
1350			スジシロキヨトウ	○	○	○			
1351			フタオビキヨトウ	○	○	○			
1352			クロギンギシヤガ		○				
1353			フタオビコヤガ	○	○		○		
1354			フタテンチビアツバ	○					
1355			チャオビヨトウ		○	○	○		
1356			ヒゲブトクロアツバ	○	○	○			
1357			ミヤマクロスジキノカワガ		○				
1358			マエジロヤガ	○	○	○			
1359			セアカヨトウ		○				
1360			ベニモンヨトウ	○	○		○		
			Oligonyx属	○					

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (100) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1361	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ヒメエグリバ	○		○			
1362			アカエグリバ	○					
1363			アカバキリガ	○					
1364			モンシロクルマコヤガ		○				
1365			アトキスジクルマコヤガ	○		○			
1366			ウンモンツマキリアツバ		○				
1367			ホソナミアツバ	○					
1368			ミスジアツバ		○				
1369			ウスアオリンガ		○				
1370			キボシアツバ	○	○	○			
1371			ウスグロセニジモンアツバ		○				
1372			シロモンフサヤガ	○	○				
1373			ヨモギコヤガ	○	○	○			
1374			イネキンウワバ	○	○	○			
1375			ギンモンアカヨトウ		○	○			

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (101) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1376	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	マダラエグリバ		○	○			
1377			シロマダラコヤガ	○	○	○			
1378			シロフコヤガ		○	○			
1379			フタスジヨトウ	○	○	○			
1380			アオスジアオリンガ	○					
1381			アカスジアオリンガ		○				
1382			ウスオビヤガ		○				
1383			マエホシヨトウ	○	○	○			
1384			マエテンアツバ	○	○				
1385			リュウキュウキノカワガ		○				
1386			テンクロアツバ	○	○	○			
			Rivula属		○				
1387			シロシタヨトウ	○	○	○			
1388			クロスジヒメアツバ	○	○				
1389			ウスオビヒメアツバ	○	○	○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (102) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1390	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ワイギンモンウワバ		○				
1391			イネヨトウ	○	○	○			
1392			オオアカマエアツバ	○	○	○	○		
1393			ニセアカマエアツバ	○	○	○			
1394			ミツオビキンアツバ		○				
1395			ウスイロカバスジヤガ			○			
1396			カバスジヤガ	○					
1397			オオカバスジヤガ	○	○				
1398			アミレシロガ			○			
1399			テンモンシマコヤガ	○					
1400			ウスベニコヤガ	○					
1401			コマルモンシロガ	○	○				
1402			マルモンシロガ		○				
1403			ハグルマトモエ	○	○		○		
1404			オスグロトモエ	○	○	○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (103) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1405	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	スジキリヨトウ	○	○	○			
1406			シロイチモジヨトウ	○	○	○			
1407			ハスモンヨトウ		○	○			
1408			シロナヨトウ			○			
1409			ムモンキイロアツバ	○		○	○		
1410			ホソツマキリアツバ	○					
1411			シロスジキノコトウ		○				
1412			ウンモンキノコトウ	○	○				
1413			ニセシロフコヤガ	○					
1414			ネモンシロフコヤガ		○				
1415			ウスシロフコヤガ	○	○				
1416			ウスベニツマキリアツバ		○				
1417			キクキンウワバ		○				
1418			シロスジアオトウ	○	○	○			
1419			シロホシキシタヨトウ	○					

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (104) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1420	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ナシケンモン	○	○	○			
1421			マダラヨトウ	○					
1422			ウスチャヤガ	○					
1423			キシタミドリヤガ		○	○			
1424			ハイロキシタヤガ			○			
1425			マエキヤガ	○	○				
1426			ツマオビアツバ		○	○			
1427			ヒメコブヒゲアツバ	○					
1428			ウラジロアツバ		○	○			
1429			アヤナミアツバ	○					
1430		コブガ科	クロスジシロコブガ	○	○	○			
1431			トビモンシロコブガ			○			
1432			モトグロコブガ本州亜種		○				
1433			ソトジロコブガ	○					
1434			クロスジコブガ		○				

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (105) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1435	ハエ目(双翅目)	ガガンボ科	ガガンボ亜科		○		○		
1436			シリプトガガンボ亜科		○				
1437			ヒメガガンボ亜科		○		○		
1438			セダカガガンボ				○		
1439			スネプトクシヒゲガガンボ	○					
1440			ベッコウガガンボ		○				
1441			ハネナガヒメガガンボ	○					
1442			ヒメユウレイガガンボ	○					
1443			クロバネヒメガガンボ	○					
1444			オオキマダラヒメガガンボ	○	○				
1445			コマダラヒメガガンボ	○	○				
1446			クチバシガガンボ	○					
1447			カスリヒメガガンボ	○	○				
			Limnophila sp.	○					
1448			ホソバネヒメガガンボ	○					

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (106) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1449	ハエ目(双翅目)	ガガンボ科	マダラヒメガガンボ	○					
1450			ウスキバネヒメガガンボ	○					
1451			オオマキバガガンボ	○					
1452			キイロホソガガンボ	○	○				
1453			ホソヒメガガンボ	○	○				
1454			キリウジガガンボ	○	○				
1455			マダラガガンボ		○				
1456			キアシガガンボ	○					
1457			ニッポンガガンボ	○					
1458			マドガガンボ		○		○		
1459			クロキリウジガガンボ	○	○				
			ガガンボ科		○	○			
1460		アミカ科	アミカ科	○					
1461		ニセヒメガガンボ科	エサキニセヒメガガンボ		○			不足	
			ニセヒメガガンボ科		○				

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (107) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1462	ハエ目(双翅目)	ユスリカ科	モンユスリカ亜科				○		
1463			ユスリカ亜科				○		
1464			オオユスリカ		○				
1465			セスジユスリカ		○				
			Chironomus属	○	○				
1466			スカシモンユスリカ		○				
			ユスリカ科	○	○	○			
1467		ハルカ科	ハルカ科		○				
1468		ケバエ科	ケバエ科	○		○	○		
1469		ミズアブ科	アメリカミズアブ	○	○	○	○	国外	
1470			ハラキンミズアブ	○	○	○	○		
1471			コガタミズアブ		○		○		
1472			キヒロコウカアブ			○			
1473			コウカアブ	○	○	○	○		
1474			ハキナガミズアブ			○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (108) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
	ハエ目(双翅目)	ミズアブ科	ミズアブ科		○				
1475		アブ科	アカウシアブ				○		
1476			キスジアブ				○		
1477			シコクアブ	○					
1478			シロフアブ		○				
1479			ウシアブ			○			
			Tabanus属		○				
1480		ムシヒキアブ科	ムシヒキアブ亜科				○		
1481			トラフムシヒキ				○		
1482			イッシキイシアブ	○					
1483			アオメアブ	○	○	○	○		
1484			オオイシアブ	○					
1485			チャイロオオイシアブ	○					
1486			アシナガムシヒキ			○			
1487			マガリケムシヒキ	○	○	○			

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (109) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1488	ハエ目(双翅目)	ムシヒキアブ科	シロズヒメムシヒキ	○	○		○		
1489			シオヤアブ	○	○	○	○		
			ムシヒキアブ科			○			
1490		ツリアブ科	コウヤツリアブ		○				
1491			クロバネツリアブ		○	○	○		
1492			スキバツリアブ		○	○	○		
			ツリアブ科			○			
1493		ハナアブ科	ハナアブ亜科		○				
1494			オオヒメヒラタアブ				○		
1495			クロヒラタアブ			○			
1496			ハラアカハラナガハナアブ	○					
1497			Cheilosia albipes		○				
1498			ニッポンクロハナアブ		○				
			Cheilosia属				○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (110) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1499	ハエ目(双翅目)	ハナアブ科	サツポロヒゲナガハナアブ				○		
			Chrysotoxum属	○					
1500			ヘリヒラタアブ	○					
1501			ヨコジマオオヒラタアブ	○	○				
1502			アイノオビヒラタアブ	○					
1503			ホソヒラタアブ	○	○	○	○		
1504			キゴシハナアブ			○	○		
1505			タデジマクロハナアブ		○	○			
1506			ホシメハナアブ			○			
1507			シマハナアブ	○	○	○	○		
1508			キョウコシマハナアブ				○		
1509			ナミハナアブ	○	○	○	○		
1510			マドヒラタアブ	○	○				
1511			ナミホシヒラタアブ		○		○		
1512			フタホシヒラタアブ		○	○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (111) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1513	ハエ目(双翅目)	ハナアブ科	キベリアシプトハナアブ		○				
1514			アシプトハナアブ	○		○	○		
1515			ヨコモンヒラタアブ	○	○				
1516			ムツモンホソヒラタアブ	○					
1517			ホソツヤヒラタアブ		○				
1518			ホシツヤヒラタアブ		○	○	○		
1519			カオグロオビホソヒラタアブ	○					
1520			シマアシプトハナアブ	○		○			
1521			シママメヒラタアブ		○				
1522			キアシママメヒラタアブ	○	○	○	○		
1523			ノヒラママメヒラタアブ			○			
1524			オオハナアブ	○	○	○	○		
1525			Platycheirus属			○	○		
1526			ホソヒメヒラタアブ		○	○	○		
1527			ヒメヒラタアブ		○				

重要種

- 国定: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (112) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1528	ハエ目(双翅目)	ハナアブ科	キタヒメヒラタアブ	○		○	○		
1529			カオスジヒメヒラタアブ			○			
			Sphaerophoria属			○			
1530			モモブトチビハナアブ				○		
			Syritta属				○		
1531			オオフタホシヒラタアブ			○			
1532			ベッコウハナアブ	○					
1533			ミヤマルリイロハラナガハナアブ		○				
			ハナアブ科	○					
1534		ホソショウジョウバエ科	ホソショウジョウバエ科		○		○		
1535		ショウジョウバエ科	Drosophila属				○		
1536			ナカジロコガネショウジョウバエ				○		
1537			Microdrosophila属				○		
			ショウジョウバエ科		○				
1538		ミギワバエ科	Brachydeutera ibari				○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (113) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1539	ハエ目(双翅目)	ミギワバエ科	Hyadina pulchella				○		
1540			ミナミカマバエ				○		
1541			Setacera breviventris				○		
			ミギワバエ科		○		○		
1542		ナガズヤセバエ科	ホシアシナガヤセバエ				○		
1543		デガシラバエ科	フトハチモドキバエ	○			○		
			デガシラバエ科			○			
1544		ヤチバエ科	ヒゲナガヤチバエ	○	○	○	○		
1545		ツヤホソバエ科	ヒトテンツヤホソバエ		○	○	○		
1546			オスアカツヤホソバエ				○		
1547		ミバエ科	チャイロハススジハマダラミバエ			○			
1548			ヒラヤマアミメケブカミバエ	○	○	○	○		
1549			イヌビワハマダラミバエ				○		
1550			ヨモギマルフシミバエ	○	○		○		
1551			ミカドハマダラミバエ		○				

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (114) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1552	ハエ目(双翅目)	ミバエ科	ツマホシケブカミバエ	○					
1553			アザミオナガミバエ				○		
1554			ミスジミバエ	○					
			ミバエ科		○	○			
1555		クロバエ科	ケブカクロバエ	○					
1556			オオクロバエ		○				
1557			オビキンバエ			○	○		
1558			ホホグロオビキンバエ			○	○		
1559			トウキョウキンバエ			○			
1560			コガネキンバエ			○	○		
1561			キンバエ	○	○		○		
1562			ミドリキンバエ		○	○	○		
1563			ヒロズキンバエ				○		
			Lucilia属			○			
1564			コチビクロバエ				○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (115) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1565	ハエ目(双翅目)	クロバエ科	クロキンバエ		○				国外
1566			ツマグロキンバエ		○	○	○		
			クロバエ科		○	○			
1567		イエバエ科	イネクキイエバエ				○		
1568			Coenosia属				○		
1569			セマダライエバエ			○			
1570			ヒメクロバエ	○		○			
1571			Limnophora属				○		
1572			トウヨウカトリバエ				○		
1573			シナホソカトリバエ				○		
1574			Morellia属	○					
1575			ノイエバエ				○		
1576			ウスホシマキバイエバエ		○				
1577			ミドリイエバエ	○			○		
1578			Phaonia属				○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (116) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
	ハエ目(双翅目)	イエバエ科	イエバエ科		○				
1579		ニクバエ科	フィールドニクバエ				○		
1580			Blaesoxipha属	○					
1581			センチニクバエ		○	○	○		
1582			ホンシュウホソニクバエ		○	○	○		
1583			シリグロニクバエ		○	○	○		
1584			シリアカニクバエ	○					
1585			カワユニクバエ			○			
1586			ミセラニクバエ			○			
1587			ペキンニクバエ			○			
1588			ナミニクバエ			○	○		
1589			ツシマニクバエ			○			
			Parasarcophaga属				○		
1590			コニクバエ			○	○		
1591			Sarcophaga属			○			

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (117) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1592	ハエ目(双翅目)	ニクバエ科	トリオニクバエ				○		
			ニクバエ科		○	○			
1593	コウチュウ目(鞘翅目)	ホソクビゴミムシ科	オオホソクビゴミムシ		○	○	○		
1594			コホソクビゴミムシ	○					
1595			ミイデラゴミムシ	○	○	○	○		
1596		オサムシ科	チビゴミムシ亜科		○	○			
1597			ミズギワゴミムシ亜科		○	○			
1598			ナガゴミムシ亜科			○			
1599			ゴモクムシ亜科			○			
1600			ヨツボシツヤナガゴミムシ	○	○	○	○		
1601			クロズアカチビゴモクムシ		○				
1602			キイロチビゴモクムシ	○	○	○	○		
1603			トゲアトキリゴミムシ			○	○		
1604			アオグロヒラタゴミムシ			○	○		
1605			セスジヒラタゴミムシ		○				

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (118) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1606	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	タンゴヒラタゴミムシ	○	○	○	○		
1607			ヒメセボシヒラタゴミムシ	○					
1608			キアシマルガタゴミムシ	○	○	○	○		
1609			マルガタゴミムシ		○	○	○		
1610			コアオマルガタゴミムシ			○	○		
1611			ニセマルガタゴミムシ	○		○	○		
1612			アカアシマルガタゴミムシ			○			
1613			オオマルガタゴミムシ	○	○	○	○		
1614			ナガマルガタゴミムシ	○					
1615			イグチマルガタゴミムシ	○			○		
1616			ヒメツヤマルガタゴミムシ		○		○		
1617			ツヤマルガタゴミムシ		○				
1618			コマルガタゴミムシ	○	○	○	○		
			Amara属	○		○	○		
1619			ホシボシゴミムシ			○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (119) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1620	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	オオホシボシゴミムシ	○	○	○	○		
1621			ゴミムシ	○	○	○	○		
1622			ヒメゴミムシ	○					
			Anisodactylus属			○			
1623			キベリゴモクムシ	○	○	○	○		
1624			チビミズアトキリゴミムシ	○	○	○	○		
1625			スジミズアトキリゴミムシ	○	○	○	○		
1626			ミズアトキリゴミムシ		○				
1627			フタモンクビナガゴミムシ	○	○	○	○		
1628			キアンヌレチゴミムシ	○		○	○		
1629			クロスカタキバゴミムシ	○					
1630			オオフタモンミズギワゴミムシ		○	○	○		
1631			ウスモンミズギワゴミムシ				○		
1632			アトキミズギワゴミムシ	○					
1633			マルミズギワゴミムシ	○					

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (120) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1634	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ヨツボシミズギワゴミムシ	○	○	○	○		
1635			アトモンミズギワゴミムシ	○		○	○		
1636			オオヨツアナミズギワゴミムシ	○					
1637			ヨツボシケシミズギワゴミムシ		○				
1638			ヒメスジミズギワゴミムシ	○	○				
1639			キモンナガミズギワゴミムシ		○				
1640			フタモンミズギワゴミムシ		○	○			
1641			ドウイロミズギワゴミムシ	○	○	○	○		
1642			キアシルリミズギワゴミムシ	○			○		
			Bembidion属			○	○		
1643			フタバシチビゴミムシ		○	○	○		
1644			マルヒメゴモクムシ				○		
1645			アカクビヒメゴモクムシ	○			○		
1646			チビヒメゴモクムシ		○				

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (121) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1647	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	キガシラアオアトキリゴミムシ				○		
1648			エゾカタビロオサムシ	○	○	○			
1649			フタホシツヤナガゴミムシ		○				
1650			アカガネアオゴミムシ	○					
1651			コキベリアオゴミムシ	○	○	○	○		
1652			キベリアオゴミムシ	○					
1653			コアトワアオゴミムシ		○				
1654			ヒメキベリアオゴミムシ	○	○		○		
1655			ニセコガシラアオゴミムシ				○		
1656			オオアトボシアオゴミムシ	○	○	○	○		
1657			アトボシアオゴミムシ			○	○		
1658			アオゴミムシ	○	○	○	○		
1659			キボシアオゴミムシ		○	○	○		
1660			アオヘリアオゴミムシ		○			危惧I	

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (122) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1661	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	クビナガキベリアオゴミムシ		○				
1662			ムナビロアオゴミムシ	○					
1663			コガシラアオゴミムシ	○	○	○			
1664			アトワアオゴミムシ	○	○	○	○		
1665			ツヤヒメヒョウタンゴミムシ		○	○			
1666			ヒメヒョウタンゴミムシ				○		
1667			チャヒメヒョウタンゴミムシ				○		
1668			オオアオモリヒラタゴミムシ	○	○	○	○		
1669			ハラアカモリヒラタゴミムシ	○	○		○		
1670			コハラアカモリヒラタゴミムシ	○					
1671			ホソモリヒラタゴミムシ	○					
1672			キンモリヒラタゴミムシ			○			
1673			マイマイカブリ	○	○	○	○		
1674			ヒメミズギワアトキリゴミムシ			○			
1675			ミズギワアトキリゴミムシ	○	○	○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (123) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1676	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ルリヒラタゴミムシ	○					
1677			オオスナハラゴミムシ	○			○		
1678			カワチゴミムシ			○	○		
1679			セアカヒラタゴミムシ	○	○	○	○		
1680			キタホソアトキリゴミムシ				○		
1681			アオヘリホソゴミムシ	○	○	○	○		
1682			アオホソゴミムシ		○				
1683			ムネアカチビヒョウタンゴミムシ			○	○		
1684			チビヒョウタンゴミムシ		○	○	○		
1685			ダイミョウチビヒョウタンゴミムシ	○	○				
1686			オオキベリアオゴミムシ		○				
1687			クビボソゴミムシ	○	○	○	○		
1688			スジアオゴミムシ	○	○	○			
1689			トゲアシゴモクムシ	○					
1690			オオゴモクムシ	○	○	○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (124) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1691	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ツヤアオゴモクムシ	○		○	○		
1692			オオズケゴモクムシ			○	○		
1693			ケウスゴモクムシ	○	○	○	○		
1694			ヒメケゴモクムシ	○	○	○	○		
1695			クロゴモクムシ	○	○		○		
1696			ヒラタゴモクムシ		○	○	○		
1697			ニセケゴモクムシ			○			
1698			ミカゲゴモクムシ	○		○			
1699			ニセクロゴモクムシ			○			
1700			ウスアカクロゴモクムシ		○	○	○		
1701			アカアシマルガタゴモクムシ	○		○	○		
1702			コゴモクムシ	○	○	○	○		
1703			ケゴモクムシ	○	○	○	○		
			Harpalus属			○			
1704			ヤマトツクリゴミムシ	○		○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (125) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1705	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	トクリゴミムシ		○				
1706			キクビアオアトキリゴミムシ		○	○	○		
1707			ホシハネビロアトキリゴミムシ			○			
1708			チュウゴクロナガオサムシ		○		○		
1709			クロナガオサムシ	○					
1710			オオゴミムシ		○	○	○		
1711			ノグチアオゴミムシ		○	○			
1712			ヤノホソコムズギワゴミムシ	○					
1713			アトオビコムズギワゴミムシ		○				
1714			イマイチビアトキリゴミムシ	○					
1715			マルクビゴミムシ			○	○		
1716			カワチマルクビゴミムシ				○		
1717			キベリマルクビゴミムシ	○		○		準絶滅	
1718			チャバネクビナガゴミムシ	○	○	○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (126) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1719	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ブロンズクビナガゴミムシ				○		
1720			ナカグロキバネクビナガゴミムシ	○		○	○		
			Odacantha属			○			
1721			ダイセンオサムシ		○				
1722			オオオサムシ	○	○				
1723			ヒメオサムシ		○				
1724			チュウゴクヤコンオサムシ	○	○	○	○		
1725			オオトックリゴミムシ				○		
1726			クビナガゴモクムシ	○			○		
1727			ヨツボシゴミムシ				○		
1728			クロオビコムズギワゴミムシ				○		
1729			ウスイロコムズギワゴミムシ			○			
1730			ウスオビコムズギワゴミムシ	○		○	○		
1731			ヒラタアトキリゴミムシ		○				
1732			クロヘリアトキリゴミムシ			○			

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (127) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1733	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ホソチビゴミムシ	○	○	○	○		
1734			イグチケブカゴミムシ	○					
1735			クロケブカゴミムシ	○	○				
1736			キイロアトキリゴミムシ				○		
1737			フタホシスジバネゴミムシ		○	○	○		
1738			カラカネゴモクムシ	○	○	○	○		
1739			オオヒラタゴミムシ	○	○	○	○		
			Platynus属	○	○				
1740			ハマベゴミムシ		○				
1741			ホソヒラタゴミムシ	○					
1742			オオナガゴミムシ		○		○		
1743			トクリナガゴミムシ			○			
1744			コホソナガゴミムシ	○		○	○		
1745			コガシラナガゴミムシ	○		○	○		
1746			ノグチナガゴミムシ	○			○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (128) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1747	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	キンナガゴミムシ	○	○	○	○		
1748			オオクロナガゴミムシ				○		
1749			ヒメホソナガゴミムシ				○		
1750			オオキンナガゴミムシ			○			
1751			アシミヅナガゴミムシ	○	○	○	○		
			Pterostichus属	○		○			
1752			ナガヒョウタンゴミムシ	○		○	○		
1753			セグロマメゴモクムシ		○		○		
1754			ミドリマメゴモクムシ	○	○	○	○		
1755			マメゴモクムシ	○	○		○		
1756			ツヤマメゴモクムシ	○	○	○	○		
1757			ムネアカマメゴモクムシ	○	○	○			
1758			タオマメゴモクムシ				○		
1759			マルガタツヤヒラタゴミムシ	○		○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (129) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1760	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	キアシツヤヒラタゴミムシ		○	○	○		
1761			クロツヤヒラタゴミムシ			○			
1762			ヒメツヤヒラタゴミムシ	○		○	○		
1763			オオクロツヤヒラタゴミムシ	○		○	○		
1764			ナガクロツヤヒラタゴミムシ	○	○				
			Synuchus属			○			
1765			ヒラタコムズギワゴミムシ				○		
1766			クリイロコムズギワゴミムシ	○	○	○	○		
1767			ウスモンコムズギワゴミムシ	○		○	○		
1768			ヨツモンコムズギワゴミムシ	○	○	○	○		
1769			ヒラタキイロチビゴミムシ			○	○		
1770			ヒメツヤゴモクムシ	○					
1771			クビアカツヤゴモクムシ			○			
1772			オオイクビツヤゴモクムシ	○					
1773			ムラサキオオゴミムシ			○			

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (130) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1774	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	アカガネオオゴミムシ				○		
1775			ルイスオオゴミムシ		○	○	○		
			オサムシ科	○	○				
1776		ハンミョウ科	アイヌハンミョウ	○		○			
1777			ニワハンミョウ		○	○	○		
1778			ハンミョウ		○				
1779			コニワハンミョウ	○	○	○	○		
1780			エリザハンミョウ	○	○	○	○		
1781			コハンミョウ	○	○				
1782		ゲンゴロウ科	マメゲンゴロウ	○		○			
1783			セスジゲンゴロウ		○	○			
1784			ホソセスジゲンゴロウ			○	○		
			Copelatus属				○		
1785			クロゲンゴロウ			○			
1786			ゲンゴロウ		○			県危惧II、 準絶滅	

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (131) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1787	コウチュウ目(鞘翅目)	ゲンゴロウ科	ハイロゲンゴロウ	○		○	○		
1788			マルガタゲンゴロウ			○	○	準絶滅	
1789			シマゲンゴロウ	○					
1790			コシマゲンゴロウ	○	○	○	○		
1791			ウスイロシマゲンゴロウ				○		
1792			チビゲンゴロウ	○	○	○	○		
1793			マルケシゲンゴロウ	○		○	○	県不足	
1794			ケシゲンゴロウ	○	○				
1795			キベリクロヒメゲンゴロウ			○			
1796			ツブゲンゴロウ	○	○	○			
1797			マルチビゲンゴロウ			○			
1798			キベリマメゲンゴロウ		○				
1799			モンキマメゲンゴロウ			○			
1800			ヒメゲンゴロウ	○	○	○	○		
			ゲンゴロウ科	○					

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (132) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1801	コウチュウ目(鞘翅目)	ミズスマシ科	ミズスマシ		○			県不足	
1802		コガシラミズムシ科	クビボソコガシラミズムシ	○			○		
1803			コガシラミズムシ	○	○	○	○		
1804		コツブゲンゴロウ科	コツブゲンゴロウ			○	○		
1805		マルドロムシ科	ヤマトマルドロムシ	○					
1806		ガムシ科	タマガムシ	○					
1807			ヤマトゴマフガムシ	○	○	○	○		
1808			トゲバゴマフガムシ	○		○	○		
1809			ゴマフガムシ	○	○	○	○		
			Berosus属	○					
1810			セスジケンシガムシ				○		
1811			コケンシガムシ				○		
1812			フチトリケンシガムシ				○		
1813			ウスモンケンシガムシ	○	○	○	○		
1814			キバネケンシガムシ	○	○	○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (133) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
	コウチュウ目(鞘翅目)	ガムシ科	Cercyon属	○		○	○		
1815			セマルガムシ	○	○	○	○		
1816			セマルケシガムシ				○		
1817			キベリヒラタガムシ		○	○			
1818			キヒロヒラタガムシ	○		○	○		
1819			スジヒラタガムシ			○	○		
			Helochaeres属			○			
1820			コガムシ	○	○	○	○		
1821			ガムシ	○	○	○			
1822			シジミガムシ	○	○				
1823			ヒメシジミガムシ	○		○	○		
1824			コモンシジミガムシ			○	○		
			Laccobius属				○		
1825			マグソガムシ			○			
1826			マメガムシ	○		○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (134) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1827	コウチュウ目(鞘翅目)	ガムシ科	ヒメガムシ	○	○	○	○		
			ガムシ科	○	○	○			
1828		エンマムシ科	ツヤマルエンマムシ			○	○		
1829			ヤマハマベエンマムシ				○		
1830			エンマムシ			○			
			エンマムシ科			○			
1831		タマキノコムシ科	ヒゲプトチビシデムシ亜科		○				
1832			チビシデムシ亜科			○			
1833			Catops属			○			
			タマキノコムシ科			○			
1834		コケムシ科	Euconnus属			○			
1835		シデムシ科	ベッコウヒラタシデムシ			○			
1836			オオヒラタシデムシ	○	○	○	○		
1837			オオモモトシデムシ	○	○	○			
1838			モモトシデムシ	○	○	○			

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (135) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1839	コウチュウ目(鞘翅目)	シデムシ科	クロシデムシ	○	○	○			
1840			ヤマトモンシデムシ	○			○	準絶滅	
1841			ヨツボンモンシデムシ	○					
1842			コクロシデムシ		○				
1843			ヒメヒラタシデムシ			○			
1844		ハネカクシ科	アリヅカムシ亜科		○		○		
1845			シリホソハネカクシ亜科				○		
1846			ヒゲブトハネカクシ亜科			○	○		
1847			セスジハネカクシ亜科			○	○		
1848			Aleochara属	○			○		
1849			ムネビロハネカクシ		○		○		
1850			セスジハネカクシ	○	○				
1851			チビクロセスジハネカクシ	○					
1852			ルイスセスジハネカクシ	○					

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (136) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1853	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	シワバネセズジハネカクシ			○			
1854			トビイロセズジハネカクシ	○					
			Anotylus属		○		○		
1855			ヒメシリグロハネカクシ			○			
1856			ヤマトシリグロハネカクシ			○			
1857			フタホシシリグロハネカクシ				○		
1858			オオシリグロハネカクシ		○	○			
			Astenus属				○		
1859			ズグロアカチビハネカクシ	○					
			Atheta属			○	○		
1860			キベリカワベハネカクシ	○		○	○		
1861			ホソウミベハネカクシ			○			
1862			アカウミベハネカクシ			○			
1863			アバタウミベハネカクシ			○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (137) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1864	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	チビニセユミセミゾハネカクシ	○					
1865			ニセユミセミゾハネカクシ	○					
			Carpelimus属			○			
1866			オオハネカクシ			○			
1867			Falagria属			○			
1868			Gabronthus属			○			
1869			ツマグロアカバハネカクシ			○			
1870			チビトガリハネカクシ			○	○		
1871			ヤマトイクビハネカクシ	○					
1872			アカバナガハネカクシ	○	○				
1873			ヒゲトナガハネカクシ		○				
1874			キアシナガハネカクシ	○		○	○		
1875			ツマグロナガハネカクシ	○		○	○		
			Lathrobium属	○		○	○		
1876			Lesteva japonica			○			

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (138) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1877	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	クロズトガリハネカクシ	○	○	○	○		
			Lithocharis属			○			
1878			ヨコモントガリハネカクシ		○				
1879			セスジチビハネカクシ	○					
1880			スソアカヒメホソハネカクシ			○			
1881			アカバヒメホソハネカクシ			○	○		
1882			ツマキツヤナガハネカクシ		○				
1883			クロナガエハネカクシ			○	○		
1884			ヤマトナガエハネカクシ			○			
1885			ツマアカナガエハネカクシ		○	○	○		
1886			アカバナガエハネカクシ	○		○	○		
1887			キンボシハネカクシ			○			
1888			クロバネアリガタハネカクシ			○			
1889			サビハネカクシ		○				

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧I類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧II類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (139) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1890	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	ウスアカバホソハネカクシ		○	○	○		
1891			ヒメアカセスジハネカクシ	○			○		
1892			アカセスジハネカクシ			○	○		
1893			アオバアリガタハネカクシ	○	○	○	○		
1894			ウスバヒメナガハネカクシ			○			
1895			ドウバネコガシラハネカクシ			○			
1896			チビカクコガシラハネカクシ			○			
1897			ツヤアカバコガシラハネカクシ	○					
1898			クロコガシラハネカクシ		○				
1899			オオドウガネコガシラハネカクシ			○	○		
1900			キアシチビコガシラハネカクシ	○	○	○	○		
1901			カクコガシラハネカクシ			○			
1902			ヘリアカバコガシラハネカクシ	○					
1903			キヌコガシラハネカクシ			○			

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (140) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1904	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	ヒメホソコガシラハネカクシ	○		○			
			Philonthus属	○	○	○	○		
1905			ウミベアカバハネカクシ	○	○	○	○		
1906			アカバクビトハネカクシ	○	○	○			
1907			Pseudobironium属				○		
1908			トゲアシツヤムネハネカクシ		○				
1909			アカバツヤムネハネカクシ			○			
1910			ホソチャバネコガシラハネカクシ	○		○	○		
1911			ツマキクビボソハネカクシ	○					
1912			ハネナガクビボソハネカクシ			○			
1913			クビボソハネカクシ	○	○	○	○		
			Rugilus属	○					
1914			Scaphisoma属	○					
1915			チビクビボソハネカクシ			○	○		
			Scopaeus属			○			

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (141) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1916	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	Sepedophilus属			○			
1917			キバネセミゾハネカクシ				○		
1918			ホソフタホシメダカハネカクシ	○			○		
1919			スジグロメダカハネカクシ	○					
1920			アシマダラメダカハネカクシ		○	○	○		
1921			ココロメダカハネカクシ	○					
1922			キアンホソメダカハネカクシ	○					
1923			チンメルマンメダカハネカクシ	○					
			Stenus属		○	○	○		
1924			アカアシユミセミゾハネカクシ	○		○	○		
1925			ヤマトニセユミセミゾハネカクシ			○			
1926			ユミセミゾハネカクシ			○	○		
1927			Trissemus属			○			
1928			コクシヒゲハネカクシ			○			
1929			Zyras属			○			

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (142) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1930	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	アリガタハネカクシ亜科				○		
1931			ハネカクシ亜科				○		
			ハネカクシ科	○	○		○		
1932		マルハナノミダマシ科	ツマアカマルハナノミダマシ			○			
1933		マルハナノミ科	Cyphon属				○		
1934			トビイロマルハナノミ	○	○	○	○		
			マルハナノミ科		○	○			
1935		クワガタムシ科	コクワガタ	○	○	○	○		
1936			アカアシクワガタ			○			
1937			ヒラタクワガタ本土亜種	○	○	○	○		
1938			ミヤマクワガタ		○				
1939			ノギリクワガタ	○	○	○			
1940		コガネムシ科	コフキコガネ亜科			○			
1941			コイチャコガネ	○	○	○	○		
1942			アオドウガネ	○	○	○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (143) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1943	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	オオスジコガネ	○					
1944			ドウガネブイブイ	○	○	○	○		
1945			サクラコガネ	○	○	○	○		
1946			ヒメサクラコガネ		○	○	○		
1947			ヤマトアオドウガネ	○					
1948			ツヤコガネ	○					
1949			ハンノヒメコガネ		○	○	○		
1950			ヒメコガネ	○	○	○	○		
1951			スジコガネ	○		○			
1952			マグソコガネ	○					
1953			ウスイロマグソコガネ			○	○		
1954			フチケマグソコガネ	○		○			
			Aphodius属	○					
1955			カタモンコガネ				○		
1956			セマダラコガネ	○	○	○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (144) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1957	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	ナミハナムグリ		○				
1958			コカブトムシ		○				
1959			コアオハナムグリ	○	○	○	○		
1960			ナガチャコガネ				○		
1961			クロコガネ	○	○	○	○		
1962			オオクロコガネ	○		○	○		
1963			ヤマトケシマグソコガネ		○				
1964			アカビロウドコガネ	○	○		○		
1965			ビロウドコガネ	○	○	○	○		
1966			カミヤビロウドコガネ				○		
1967			マルガタビロウドコガネ	○			○		
1968			オオコフキコガネ	○	○	○	○		
1969			コフキコガネ	○	○	○	○		
1970			ツヤスジコガネ	○					
1971			ヒメスジコガネ	○					

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (145) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
1972	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	コガネムシ	○	○	○	○		
1973			Nipponoserica属			○			
1974			ヒラタハナムグリ	○	○	○	○		
1975			クロマルエンマコガネ		○				
1976			コブマルエンマコガネ	○		○			
1977			カドマルエンマコガネ	○		○			
1978			ツヤエンマコガネ				○		
1979			ウスチャコガネ	○	○	○			
1980			シロスジコガネ	○	○	○			
1981			マメコガネ	○	○	○	○		
1982			シロテンハナムグリ		○	○	○		国外
1983			セマルケシマグソコガネ	○	○	○	○		
1984			カナブン		○	○	○		
1985			クロツツマグソコガネ			○			
1986			ヒゲナガヒロウドコガネ	○	○				

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (146) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
				1987	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	Sericania属		
1988			ホソケシマグソコガネ				○		
1989			トラハナムグリ			○			
1990			カブトムシ	○	○	○	○		
			コガネムシ科		○				
1991		マルトゲムシ科	シラフチビマルトゲムシ	○	○	○	○		
1992		ドロムシ科	ムナビロツヤドロムシ			○	○		
1993		ヒメドロムシ科	ツヤナガアシドロムシ		○				
1994			キスジミゾドロムシ	○	○	○	○		
1995			ケスジドロムシ				○	準絶滅	
1996			イブシアシナガドロムシ	○					
1997			アシナガミゾドロムシ	○	○	○	○		
1998			ツヤドロムシ		○				
1999		ナガドロムシ科	タテスジナガドロムシ	○		○			
2000			タマガワナガドロムシ				○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (147) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
2001	コウチュウ目(鞘翅目)	チビドロムシ科	チビドロムシ				○		
2002		ヒラタドロムシ科	チビヒゲナガハナノミ			○	○		
2003			マルヒラタドロムシ	○		○			
2004			ヒラタドロムシ	○	○	○	○		
2005			マスダチビヒラタドロムシ			○	○		
2006		ナガハナノミ科	Ptilodactyla属			○			
2007		タママシ科	ナガタママシ亜科			○			
2008			クロナガタママシ		○				
2009			ウグイスナガタママシ		○				
			Agrius属			○	○		
2010			ヒメヒラタタママシ		○				
2011			クロケンタママシ			○			
2012			ウバタママシ	○					
2013			キンイロエグリタママシ	○					

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (148) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
2014	コウチュウ目(鞘翅目)	タマムシ科	ムネアカチビナカボソタマムシ		○	○			
2015			クリタマムシ			○			
2016			クズノチビタマムシ		○		○		
2017			コウゾチビタマムシ	○	○				
2018			ウメチビタマムシ			○	○		
2019			ヤナギチビタマムシ			○	○		
2020			ソーンダーズチビタマムシ			○			
2021			ズミチビタマムシ	○	○	○			
2022			アカガネチビタマムシ	○					
2023			ダンダラチビタマムシ			○			
2024			ヤノナミガタチビタマムシ			○			
			Trachys属				○		
2025		コムソキムシ科	ミズギワコムソキ亜科				○		
2026			シロオビチビサビキコリ	○					

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (149) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
2027	コウチュウ目(鞘翅目)	コムツキムシ科	チャイロムナボソコムツキ				○		
2028			サビキコリ	○	○	○	○		
2029			ムナビロサビキコリ	○	○				
2030			ホソサビキコリ	○	○	○	○		
2031			ハマベヒメサビキコリ		○				
2032			ヒメサビキコリ	○	○	○	○		
			Agrypnus属		○				
2033			アカハラクロコムツキ			○			
2034			ホソハナコムツキ	○					
2035			クロハナコムツキ	○		○			
2036			ウバタマコムツキ		○				
2037			フタモンウバタマコムツキ	○					
2038			クロスジヒメコムツキ		○				
			Dalopius属			○			
2039			オオハナコムツキ	○			○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (150) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
				2040	コウチュウ目(鞘翅目)	コムツキムシ科	キバネホソコムツキ		
2041			カタモンミズギワコムツキ		○				
2042			ヨツモンミズギワコムツキ	○	○	○	○		
2043			キアシミズギワコムツキ	○	○				
2044			ヨツボシミズギワコムツキ				○		
2045			チャイロコムツキ	○			○		
2046			クロツヤハダコムツキ				○		
2047			クロツヤクシコムツキ	○	○		○		
2048			クシコムツキ	○	○		○		
2049			チャバネクシコムツキ	○					
2050			クロクシコムツキ				○		
			Melanotus属			○			
2051			スナサビキコリ	○	○				
2052			オオナガコムツキ		○				
2053			クロツヤミズギワコムツキ				○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (151) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
				2054	コウチュウ目(鞘翅目)	コムツキムシ科	Paracardiophorus属		
2055			オオヒラタコムツキ			○			
2056			ヒゲコムツキ			○			
2057			マダラチビコムツキ	○	○	○	○		
2058			シリプトヒラタコムツキ	○					
2059			ウストラフコムツキ	○					
2060			Silesis属			○			
2061			アカアシオオクシコムツキ		○				
2062			ヒラタクシコムツキ	○					
2063			オオクシヒゲコムツキ		○				
2064			ヘリマメコムツキ	○					
2065			シラケチビミズギワコムツキ				○		
2066			カタモンチビコムツキ	○	○		○		
2067			オオサワチビミズギワコムツキ	○		○			
			コムツキムシ科	○	○	○			

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (152) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
				2068	コウチュウ目(鞘翅目)	コムツキダマシ科	コムツキダマシ科		
2069		ヒゲプトコムツキ科	ミカドヒゲプトコムツキ				○		
2070		ジョウカイボン科	ウスイロクビボンジョウカイ	○					
2071			ムネアカクロジョウカイ	○					
2072			ヒメジョウカイ	○					
2073			セスジジョウカイ	○		○			
2074			ジョウカイボン	○	○	○	○		
2075			セボシジョウカイ	○	○	○	○		
2076			ホツカイジョウカイ				○		
			Cantharis属	○					
2077			クビボンジョウカイ			○			
2078			クロスジツマキジョウカイ			○			
2079			Podabrus属	○					
2080			マルムネジョウカイ		○				
2081			クロヒメジョウカイ	○					

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (153) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
					コウチュウ目(鞘翅目)	ジョウカイボン科	ジョウカイボン科		
2082		ホタル科	オハボタル	○	○	○	○		
2083			ゲンジボタル		○	○	○		
2084			ヘイケボタル	○	○		○		
2085		ベニボタル科	クロハナボタル	○					
			Plateros属			○			
			ベニボタル科		○				
2086		カツオブシムシ科	ミヤママルカツオブシムシ			○			
2087			ヒメマルカツオブシムシ	○	○	○	○		
2088			カドムネカツオブシムシ			○			
2089			カドマルカツオブシムシ			○		国外	
2090			ベニモンチビカツオブシムシ			○			
2091			カマキリタマゴカツオブシムシ	○	○	○	○		
2092			チビケカツオブシムシ				○		
			カツオブシムシ科			○			

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (154) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
2093	コウチュウ目(鞘翅目)	シバンムシ科	ジンサンシバンムシ	○					国外
			シバンムシ科		○				
2094		ナガシクイムシ科	セマダラナガシクイ	○					
2095		カッコウムシ科	ヤマトヒメダカカッコウムシ	○	○	○	○		
2096			ツマグロツツカッコウムシ	○	○	○			
2097		ジョウカイモドキ科	ヒロオビジョウカイモドキ	○	○	○	○		
2098			ベニオビジョウカイモドキ				○		
2099			キアシオビジョウカイモドキ			○	○		
2100			ルリキオビジョウカイモドキ				○		
			Intybia属				○		
2101			ツマキアオジョウカイモドキ	○	○	○			
2102		コクヌスト科	オオコクヌスト				○		
2103		ツツシクイ科	ツマグロツツシクイ		○				
2104		ツツキノコムシ科	ツツキノコムシ科		○	○			
2105		テントウムシ科	カメノコテントウ	○	○	○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (155) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
				2106	コウチュウ目(鞘翅目)	テントウムシ科	アマダテントウ		
2107			ジュウホシテントウ			○			
2108			ミスジキイロテントウ				○	国外	
2109			ムーアシロホシテントウ	○	○	○	○		
2110			ヒメアカホシテントウ	○		○	○		
2111			アカホシテントウ			○			
2112			ナナホシテントウ	○	○	○	○		
2113			マクガタテントウ	○	○	○	○	県準絶滅	
2114			フタモンクロテントウ		○	○	○		
2115			ナミテントウ	○	○	○	○		
2116			ニジュウヤホシテントウ	○	○		○		
2117			ジュウサンホシテントウ	○	○	○	○		
2118			ツマフタホシテントウ	○					
2119			フタホシテントウ	○	○	○	○		
2120			キイロテントウ	○	○				

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (156) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
2121	コウチュウ目(鞘翅目)	テントウムシ科	ダンダラテントウ			○	○		
2122			オシマヒメテントウ	○					
2123			セスジヒメテントウ	○	○	○	○		
2124			アトホシヒメテントウ	○	○	○	○		
			Nephus属			○			
2125			ヨツボシテントウ			○			
2126			ヒメカメノコテントウ	○	○	○	○		
2127			ハレヤヒメテントウ		○				
2128			クビアカヒメテントウ			○			
2129			ババヒメテントウ	○		○	○		
2130			カパイロヒメテントウ			○			
2131			クロハリヒメテントウ	○	○	○	○		
2132			カワムラヒメテントウ	○		○	○		
2133			クロスジヒメテントウ		○				
2134			コクロヒメテントウ	○	○	○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (157) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
2135	コウチュウ目(鞘翅目)	テントウムシ科	オオタツマアカヒメテントウ				○		
2136			ヤマトヒメテントウ			○			
			Scymnus属			○			
2137			クロツヤテントウ	○		○	○		
2138			エグリクロヒメテントウ	○					
2139			キアシクロヒメテントウ	○					
2140			クロテントウ	○		○	○		
			テントウムシ科			○	○		
2141		ミジンムシ科	ナカグロミジンムシ			○			
2142			マエキミジンムシ	○	○				
			ミジンムシ科				○		
2143		キシムシ科	ケナガセマルキシイ	○		○	○		
2144			キヒロセマルキシイ		○		○		
			Atomaria属			○			
2145			ウスバキシイ	○				国外	

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (158) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
2146	コウチュウ目(鞘翅目)	キスイムシ科	ノコバクスイ				○		
2147			マルガタクスイ	○			○		
2148			ダエンクスイ		○				
2149			クロノコムネクスイ	○					
			キスイムシ科			○	○		
2150		ヒラタムシ科	オオキバチビヒラタムシ	○					
2151		テントウムシダマシ科	ヨツボシテントウダマシ	○	○	○	○		
2152			セグロツヤテントウダマシ			○			
2153			イカリモンテントウダマシ	○					
2154		オオキノコムシ科	カタモンオオキノコムシ			○			
2155			ヒメオビオオキノコムシ				○		
2156			アカハバビロオオキノコムシ		○				
2157		オオキスイムシ科	ヨツボシオオキスイ		○	○	○		
2158		コムツキモドキ科	キムネヒメコムツキモドキ	○	○	○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (159) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
2159	コウチュウ目(鞘翅目)	コムツキモドキ科	ツماغロヒメコムツキモドキ	○	○		○		
2160			ケシコムツキモドキ		○	○			
2161			ケナガマルキスイ	○		○	○		
			コムツキモドキ科			○			
2162		ヒメマキムシ科	ケシマキムシ亜科				○		
2163			ウスケシマキムシ				○		
2164			ウスチャケシマキムシ	○	○	○	○		
2165			ヤマトケシマキムシ				○		
			ヒメマキムシ科			○	○		
2166		ネスイムシ科	ホソデオネスイ			○			
2167			オバケデオネスイ			○	○		
			ネスイムシ科		○				
2168		マルテントウダマシ科	ヒメマルガタテントウダマシ	○					
2169		ケシキスイ科	クロモンムクゲケシキスイ		○	○	○		
2170			ムネカドデオキスイ	○					

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (160) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
2171	コウチュウ目(鞘翅目)	ケシキスイ科	クロハナケシキスイ	○	○	○	○		
2172			クリイロデオキシイ				○		国外
2173			トデオキシイ	○					
2174			クロヘリヒラタケシキスイ		○				
2175			キバナガヒラタケシキスイ				○		
2176			ホソキヒラタケシキスイ				○		
2177			エグリヒラタケシキスイ		○				
2178			マメヒラタケシキスイ	○					
2179			ツヤチビヒラタケシキスイ	○					
2180			ニセアカマダラケシキスイ			○			
2181			アカマダラケシキスイ		○	○			
2182			ヨツボンケシキスイ	○	○	○	○		
2183			キムネチビケシキスイ	○					
2184			オドリコソウチビケシキスイ				○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (161) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
2185	コウチュウ目(鞘翅目)	ケシキスイ科	モンクロアカマルケシキスイ			○			
			ケシキスイ科	○	○	○	○		
2186		ミジンムシモドキ科	ミジンムシモドキ				○		
2187		ヒメハナムシ科	キイロアシナガヒメハナムシ			○	○		
2188			トビイロヒメハナムシ	○					
2189			フタスジヒメハナムシ	○		○	○		
			Olibrus属				○		
2190			アカボシチビヒメハナムシ			○	○		
2191			エムモンチビヒメハナムシ				○		
			Stilbus属				○		
			ヒメハナムシ科		○	○			
2192		ホソヒラタムシ科	カドコブホソヒラタムシ			○			国外
2193			クロオビセマルヒラタムシ	○					
2194			ミツモンセマルヒラタムシ	○	○	○	○		
2195			ホソムネホソヒラタムシ		○		○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (162) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
				2196	コウチュウ目(鞘翅目)	ホソヒラタムシ科	ホソヒラタキスイ		
			Silvanoprus属			○			
2197			ヒメフタゲホソヒラタムシ	○		○			国外
2198			カクムネホソヒラタムシ			○			
			ホソヒラタムシ科	○		○			
2199		アリモドキ科	ケオビアリモドキ			○	○		
2200			クロチビアリモドキ			○			
2201			クロホソアリモドキ	○	○	○	○		
2202			アトグロホソアリモドキ	○		○			国外
2203			ツヤチビホソアリモドキ			○			
2204			ヒラタホソアリモドキ	○		○	○		
2205			コクロホソアリモドキ	○					
2206			ホソクビアリモドキ	○	○	○	○		
2207			コクビボソムシ			○	○		
2208			キアシクビボソムシ	○		○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (163) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
2209	コウチュウ目(鞘翅目)	アリモドキ科	アカクビボソムシ	○			○		
2210			チビイッカク	○			○		
2211			ツノボソチビイッカク	○					
2212			ホソアシチビイッカク				○		
2213			クロスジイッカク	○	○	○	○		
2214			ウスモンホソアリモドキ	○		○	○		
2215			ミツヒダアリモドキ			○			
2216			ムナグロホソアリモドキ		○	○	○		
2217			クロホソアリモドキ			○			
2218			ホソクビボソムシ		○				
2219			タナカホソアリモドキ			○			
2220			ヨツボシホソアリモドキ	○	○	○	○		
			アリモドキ科	○		○			
2221		ニセクビボソムシ科	ヤマトニセクビボソムシ				○		
2222		ツチハンミョウ科	マメハンミョウ			○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (164) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
2223	コウチュウ目(鞘翅目)	ツチハンミョウ科	ツマグロキゲンセイ	○					
2224			キイロゲンセイ	○	○				
2225		ハナノミ科	チャイロヒメハナノミ	○					
2226			シズオカヒメハナノミ			○			
			Glipostenoda属		○				
2227			アマヒメハナノミ			○			
2228			フタオビヒメハナノミ				○		
2229			クロヒメハナノミ	○	○	○			
2230			セグロヒメハナノミ	○					
			Mordellistena属			○			
			ハナノミ科		○	○	○		
2231		コキノコムシ科	フタオビヒメコキノコムシ			○			
2232			チャイロコキノコムシ			○		国外	
2233		カミキリモドキ科	ズグロカミキリモドキ		○				
2234			ハイロカミキリモドキ	○	○	○			

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (165) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
2235	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリモドキ科	ハラグロランブカミキリモドキ			○			
2236			キイロカミキリモドキ	○	○	○	○		
2237			キバナカミキリモドキ	○	○	○			
2238			アオカミキリモドキ	○	○	○	○		
2239			モモブトカミキリモドキ	○	○	○	○		
2240			キアンカミキリモドキ	○	○				
2241			フタイロカミキリモドキ	○		○	○		
2242		チビキカワムシ科	モンシロハネカクシダマシ		○				
2243			フタオビチビキカワムシ	○					
2244		ハナノミダマシ科	クロフナガタハナノミ		○		○		
2245			Pentaria属			○			
			ハナノミダマシ科			○			
2246		ゴミムシダマシ科	オオクチキムシ		○				
2247			クチキムシ			○			
2248			ガイマイゴミムシダマシ	○					国外

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (166) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
2249	コウチュウ目(鞘翅目)	ゴミムシダマシ科	クイロクチキムシ		○	○	○		
2250			マルチビゴミムシダマシ	○			○		
2251			ナガノジゴミムシダマシ				○		
2252			モンキゴミムシダマシ		○				
2253			コマルキマワリ		○				
2254			ズビロキマワリモドキ			○	○		
2255			ヤマトスナゴミムシダマシ	○			○		
2256			コスナゴミムシダマシ	○	○		○		
2257			スナゴミムシダマシ	○					
2258			ヒメスナゴミムシダマシ	○	○		○		
2259			オオスナゴミムシダマシ		○				
2260			カクスナゴミムシダマシ	○					
2261			ヒメカクスナゴミムシダマシ				○		
			Gonocephalum属			○			

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧I類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧II類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (167) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
2262	コウチュウ目(鞘翅目)	ゴミムシダマシ科	スジコガシラゴミムシダマシ	○	○	○	○		
2263			アカバナツヤクチキムシ		○	○			
2264			ハムシダマシ		○				
2265			コゴメゴミムシダマシ	○					国外
2266			ヒゲブトゴミムシダマシ	○	○	○	○		
2267			ヒメホソハマベゴミムシダマシ	○	○	○			
2268			キマワリ		○				
2269			シワナガキマワリ				○		
2270			コマルムネゴミムシダマシ	○			○		
2271			ニジゴミムシダマシ	○	○	○	○		
2272			ヨツコブゴミムシダマシ	○		○			
2273			エグリゴミムシダマシ		○	○			
			ゴミムシダマシ科	○		○			
2274		カミキリムシ科	ツヤケシハナカミキリ		○	○			
2275			ゴマダラカミキリ	○	○	○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (168) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
2276	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	クワカミキリ	○	○	○			
2277			フタオビアラゲカミキリ				○		
2278			キクスイモドキカミキリ	○					
2279			コブスジサビカミキリ		○	○	○		
2280			ルリカミキリ				○		
2281			シロスジカミキリ	○		○	○		
2282			ツシمامナクボカミキリ	○				国外	
2283			ミドリカミキリ	○		○			
2284			タケトラカミキリ			○			
2285			エグリトラカミキリ		○		○		
2286			ヨツスジトラカミキリ				○		
2287			アカハナカミキリ	○	○	○			
2288			キスジトラカミキリ				○		
2289			ホタルカミキリ	○					
2290			ニイジマチビカミキリ				○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (169) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
				2291	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	ヨツキボシカミキリ		
2292			クロニセリンゴカミキリ			○			
2293			ホシベニカミキリ			○			
2294			クモガタケシカミキリ		○	○			
2295			アトモンマルケシカミキリ			○	○		
2296			クロハナカミキリ	○	○	○			
2297			ムネアカクロハナカミキリ				○		
2298			ヤツボシハナカミキリ	○	○	○			
2299			ツماغロハナカミキリ				○		
2300			ミヤマカミキリ	○		○			
2301			イタヤカミキリ				○		
2302			オニグルミノキモンカミキリ				○		
2303			ゴマフカミキリ				○		
2304			ナガゴマフカミキリ			○	○		
2305			ヒメヒゲナガカミキリ				○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (170) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
2306	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	ハイイロヤハズカミキリ			○	○		
2307			ヘリグロリンゴカミキリ		○				
2308			ホソキリンゴカミキリ	○					
2309			リンゴカミキリ				○		
2310			タカサゴシロカミキリ	○					
2311			ラミーカミキリ		○	○	○		国外
2312			キクスイカミキリ	○	○	○			
2313			ノギリカミキリ	○	○				
2314			ニセノギリカミキリ	○		○	○		
2315			キボシカミキリ	○	○	○	○		
2316			ワモンサビカミキリ	○		○			
2317			トガリシロオビサビカミキリ	○			○		
2318			アトモンサビカミキリ	○	○	○	○		
2319			ナカジロサビカミキリ		○				
2320			アトジロサビカミキリ		○	○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (171) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
2321	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	ベニカミキリ			○			
2322			ヒメクロトラカミキリ	○		○			
2323			ヒトオビアラゲカミキリ			○			
2324			クロカミキリ	○	○	○			
2325			アメイロカミキリ		○				
2326			ヤハズカミキリ			○			
2327			トラフカミキリ			○			
2328			ズマルトラカミキリ	○					
2329			アオスジカミキリ	○	○				
2330		ハムシ科	アカガネサルハムシ	○	○	○	○		
2331			ヒメカミナリハムシ			○	○		
2332			カミナリハムシ		○	○	○		
2333			スジカミナリハムシ本州以南亜種	○		○	○		
2334			アカバナカミナリハムシ				○		
			Altica属	○		○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (172) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
2335	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	キイロツブノミハムシ	○					
2336			クロアラハダトビハムシ		○				
2337			ツブノミハムシ	○					
2338			サメハダツブノミハムシ	○	○	○	○		
2339			アヤメツブノミハムシ				○		
2340			テントウノミハムシ			○			
2341			ヒメテントウノミハムシ		○	○	○		
2342			オオキイロマルノミハムシ			○			
2343			オオアカマルノミハムシ				○		
2344			アカイロマルノミハムシ		○	○			
2345			ムナグロツヤハムシ			○	○		
2346			ジンガサハムシ		○	○			
2347			スキバジンガサハムシ			○	○		
2348			ウリハムシモドキ	○	○	○	○		
2349			ウリハムシ	○	○	○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (173) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
2350	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	クロウリハムシ	○	○	○	○		
2351			アオバネサルハムシ	○	○	○	○		
2352			ムナゲクロサルハムシ	○					
2353			ウスイロサルハムシ		○				
2354			ハネナシトビハムシ				○		
2355			サムライマメゾウムシ				○		
2356			ネムノキマメゾウムシ		○				
2357			ソラマメゾウムシ		○	○			国外
2358			アズキマメゾウムシ	○	○	○	○		
2359			ハラグロヒメハムシ	○		○			
2360			ヒメジンガサハムシ				○		
2361			カメノコハムシ		○				
2362			イノコズチカメノコハムシ				○		
2363			オカボトビハムシ	○		○			

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (174) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
2364	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	フタイロヒサゴトビハムシ	○			○		
2365			テンサイトビハムシ	○		○			
2366			ヒメドウガネトビハムシ	○	○	○	○		
2367			ヒサゴトビハムシ	○	○				
2368			アオバドウガネトビハムシ	○					
			Chaetocnema属			○			
2369			ムシクソハムシ			○			
2370			ヨモギハムシ	○	○	○	○		
2371			ハッカハムシ			○	○		
2372			ヤナギハムシ	○	○	○	○		
2373			サクラサルハムシ	○		○	○		
2374			ミドリサルハムシ		○				
2375			イモサルハムシ			○	○		
2376			ミドリトビハムシ	○	○				
2377			アオバミドリトビハムシ			○			

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (175) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
				2378	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	スズキミドリトビハムシ		
2379			バラリツツハムシ	○	○	○	○		
2380			キアシリツツハムシ	○					
2381			ヤツボシツツハムシ	○	○				
2382			キスジツツハムシ		○				
2383			タテスジキツツハムシ				○		
2384			クロボシツツハムシ	○	○	○	○		
2385			カタビロトゲハムシ		○				
2386			マダラアラゲサルハムシ	○	○				
2387			カサハラハムシ			○			
			Demotina属			○			
2388			イネネクイハムシ	○					
2389			ニセキバラヒメハムシ				○		
			Exosoma属				○		
2390			クワハムシ	○	○	○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (176) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
2391	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	イチゴハムシ	○		○	○		
2392			ジュンサイハムシ			○			
2393			イタドリハムシ	○	○	○	○		
2394			クルミハムシ	○	○	○			
2395			コガタルリハムシ			○	○		
2396			ヤツボシハムシ	○		○			
2397			フジハムシ	○		○	○		
2398			キバネマルノミハムシ			○			
2399			クロトゲハムシ		○	○	○		
2400			クロオビカサハラハムシ			○			
2401			ルリクビボソハムシ	○					
2402			トゲアシクビボソハムシ		○	○			
2403			トホシクビボソハムシ	○		○	○		
2404			アカクビボソハムシ	○	○	○	○		
2405			ヤマイモハムシ			○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (177) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
2406	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	セアカクビボソハムシ	○	○	○			
2407			ルリバナナガハムシ	○					
2408			クロボシトビハムシ			○	○		
2409			イヌノフグリトビハムシ			○	○		
2410			オオアシナガトビハムシ			○	○		
2411			ヨモギトビハムシ	○	○	○	○		
			Longitarsus属			○			
2412			キアシノミハムシ	○					
2413			コフキササルハムシ		○	○	○		
2414			スイバトビハムシ		○	○	○		
2415			カタハミトビハムシ				○		
2416			ニホンハモグリトビハムシ		○				
2417			フタスジヒメハムシ	○	○	○	○		
2418			ホタルハムシ	○	○	○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧I類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧II類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (178) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
2419	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	Neocrepidodera acuminata				○		
2420			セダカカクムネトビハムシ			○			
2421			カクムネトビハムシ		○				
2422			オオキイロノミハムシ				○		
2423			カクムネチビトビハムシ	○					
2424			アオガネヒメサルハムシ			○			
2425			コマルノミハムシ	○			○		
2426			ドウガネツヤハムシ		○				
2427			ブタクサハムシ			○	○		国外
2428			ムギクビボソハムシ				○		
2429			イネクビボソハムシ		○				
2430			ヒメキバナサルハムシ	○	○	○	○		
2431			アトボシハムシ			○	○		
2432			ヨツボシハムシ	○	○	○	○		
2433			ダイコンサルハムシ	○		○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (179) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
2434	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	タマアシトビハムシ			○			
2435			チャバナツヤハムシ	○	○	○	○		
2436			チュウジョウキスジノミハムシ		○		○		
2437			ムモンキスジノミハムシ	○					
2438			キスジノミハムシ	○	○	○	○		
2439			ヤナギルリハムシ	○	○	○	○		
2440			ナスナガスネトビハムシ			○			
2441			アサトビハムシ				○		
2442			ルリナガスネトビハムシ		○				
2443			ナトビハムシ			○	○		
2444			ダイコンナガスネトビハムシ			○	○		
			Psylliodes属				○		
2445			ニレハムシ			○			
2446			アカタデハムシ		○				
2447			エノキハムシ		○	○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (180) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
2448	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	クロルリゲハムシ			○			
2449			ドウガネサルハムシ	○		○	○		
2450			キイロナガツツハムシ	○		○			
2451			ムナキルリハムシ	○	○	○	○		
2452			ツマキタマノミハムシ		○				
2453			ムネアカタマノミハムシ				○		
2454			キイロタマノミハムシ		○	○			
			Sphaeroderma属	○					
2455			ヒゲナガウスバハムシ		○				
2456			キカサハラハムシ	○	○	○			
2457			アラハダトビハムシ	○			○		
			ハムシ科		○				
2458		ヒゲナガゾウムシ科	ワタミヒゲナガゾウムシ	○		○			国外
2459			アカアシヒゲナガゾウムシ		○				

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (181) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
2460	コウチュウ目(鞘翅目)	ヒゲナガゾウムシ科	スネアカヒゲナガゾウムシ			○			
2461			ウスモンツツヒゲナガゾウムシ			○			
2462			セマルヒゲナガゾウムシ		○				
2463			ミツモンヒゲナガゾウムシ			○			
2464			キアシチビヒゲナガゾウムシ				○		
			ヒゲナガゾウムシ科			○			
2465		ホソクチゾウムシ科	サキブトホソクチゾウムシ	○					
2466			ギシギシホソクチゾウムシ	○	○	○	○		
2467			ヒゲナガホソクチゾウムシ		○	○			
2468			マメホソクチゾウムシ				○		
2469			ケブカホソクチゾウムシ			○			
2470			ヒレルホソクチゾウムシ	○			○		
2471			ヒメケブカホソクチゾウムシ			○			
			ホソクチゾウムシ科			○	○		
2472		オトシブミ科	ヒメクロオトシブミ	○					

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (182) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
2473	コウチュウ目(鞘翅目)	オトシブミ科	チャイロケシツブチョッキリ			○	○		
2474			クロケシツブチョッキリ	○	○	○	○		
2475			ファウストハマキチョッキリ		○				
2476			ブドウハマキチョッキリ		○	○			
2477			ハイイロチョッキリ	○					
2478			チビイクビチョッキリ	○					
			Deporaus属			○			
2479			ハギルリオトシブミ			○	○		
2480			ルリオトシブミ	○	○				
2481			カシルリオトシブミ	○	○	○			
2482			ヒメケブカチョッキリ	○					
2483			グミチョッキリ			○			
2484			アシナガオトシブミ		○	○			
2485			モモチョッキリ		○	○	○		
2486		ゾウムシ科	クチブゾウムシ亜科		○				

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (183) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
2487	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	ヒメゾウムシ亜科		○				
2488			サルゾウムシ亜科		○				
2489			チビデオゾウムシ			○	○		
2490			オビデオゾウムシ			○	○		
			Acalyptus属				○		
2491			ウスモンカレキゾウムシ			○			
2492			トゲアシゾウムシ	○		○			
2493			イチゴハナゾウムシ	○	○	○	○		
2494			カギアシゾウムシ	○		○			
2495			フタホシカギアシゾウムシ	○					
			Bagous属				○		
2496			エゾヒメゾウムシ		○	○	○		
2497			マダラヒメゾウムシ				○		
2498			カナムグラサルゾウムシ	○		○	○		
2499			ムネミゾサルゾウムシ			○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (184) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
2500	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	ダイコンサルゾウムシ	○		○	○		
2501			アササルゾウムシ	○					
2502			ハスジゾウムシ	○		○			
2503			ヤナギシリジロゾウムシ		○		○		
2504			シロオビチビシギゾウムシ	○					
2505			コナラシギゾウムシ	○		○			
2506			クロサワシギゾウムシ			○			
2507			クリシギゾウムシ		○				
2508			ミドリクチプトゾウムシ				○		
2509			ヒメシロコブゾウムシ			○			
2510			ケナガイネゾウモドキ	○					
2511			モンイネゾウモドキ	○					
2512			アカイネゾウモドキ	○		○			
			Dorytomus属		○				
2513			ハマベキクイゾウムシ				○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (185) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
2514	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	マダラアシゾウムシ			○			
2515			ハモグリゾウムシ	○					
			Ellescus属				○		
2516			シロコブゾウムシ				○		
2517			コフキゾウムシ		○	○	○		
2518			アオバネサルゾウムシ			○			
2519			タデサルゾウムシ		○	○	○		
2520			クロトゲサルゾウムシ		○				
			Homorosoma属			○			
2521			マツアナアキゾウムシ	○	○	○			
2522			ハコベタコゾウムシ		○	○	○		
2523			アルファルファタコゾウムシ			○	○		国外
2524			オオタコゾウムシ			○	○		国外
2525			コブノギゾウムシ				○		
2526			チャバネキクイゾウムシ	○		○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (186) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
2527	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	ゴボウゾウムシ	○		○	○		
2528			フタキボシゾウムシ		○	○	○		
2529			スゲノハラジロヒメゾウムシ			○			
2530			ヤサイゾウムシ			○			国外
2531			ハスジカツオゾウムシ	○	○	○	○		
2532			ナガカツオゾウムシ		○				
2533			カツオゾウムシ			○	○		
2534			アイノカツオゾウムシ				○		
2535			Mecysmoderes属				○		
2536			Metialma属				○		
2537			クワヒメゾウムシ	○		○	○		
2538			カシワクチプトゾウムシ	○	○				
2539			オオツカクチプトゾウムシ			○			
2540			チビヒョウタンゾウムシ	○		○			
2541			ムネスジノミゾウムシ	○	○	○			

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (187) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
2542	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	ムモンノミゾウムシ			○			
2543			ガロアノミゾウムシ	○					
2544			エノキノミゾウムシ			○	○		
2545			Orchestes jota			○	○		
2546			マダラノミゾウムシ		○				
2547			アカアシノミゾウムシ	○	○	○			
2548			オジロアシナガゾウムシ	○		○			
2549			オオミスジマルゾウムシ			○	○		
2550			ミスジマルゾウムシ			○	○		
2551			ワシバナヒメキクイゾウムシ	○					
2552			クリアナアキノウムシ				○		
2553			マツキボシゾウムシ		○				
2554			スグリゾウムシ		○		○		
2555			カキノウムシ		○				

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (188) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
2556	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	チビカグヤヒメキクイゾウムシ	○		○			
2557			カナムグラヒメゾウムシ			○	○		
2558			Rhadinopus属				○		
2559			クロクチプトサルゾウムシ		○	○			
			Rhinoncomimus属			○			
2560			アカアシクチプトサルゾウムシ	○	○				
2561			ギンギシクチプトサルゾウムシ	○		○	○		
2562			コブナシクチプトサルゾウムシ			○	○		
2563			タデノクチプトサルゾウムシ		○	○	○		
2564			Rhynchaenus属		○				
2565			サビヒョウタンゾウムシ				○		
2566			キイチゴトゲサルゾウムシ	○					
2567			マツノシラホシゾウムシ	○	○				
2568			ニセマツノシラホシゾウムシ			○			

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (189) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
2569	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	アラハダシラホシゾウムシ			○			
2570			ヒサゴクチカクシゾウムシ			○			
2571			チビコフキゾウムシ			○	○		
2572			マダラケシツブゾウムシ				○		
2573			クロツブゾウムシ	○					
2574			クロノミゾウムシ	○	○	○	○		
2575			Trachyphilus属	○					
2576			ツメクサタネコバンゾウムシ			○			
2577			クロツヤサルゾウムシ	○					
			ゾウムシ科		○				
2578		オサゾウムシ科	ササコクゾウムシ			○			
2579			スギキクイサビゾウムシ			○	○		
2580			キクイサビゾウムシ	○		○			
			Dryophthorus属				○		
2581			オオゾウムシ		○				

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (190) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
2582	コウチュウ目(鞘翅目)	オサゾウムシ科	コクゾウムシ	○					
2583		イネゾウムシ科	イネゾウムシ			○			
2584			イネミズゾウムシ	○	○	○	○		国外
2585			オオミズゾウムシ	○	○	○			
2586		チビゾウムシ科	ハナコブチビゾウムシ			○			
2587			Nanophyes属				○		
2588		キクイムシ科	マツノツノキクイムシ	○					
			キクイムシ科	○	○		○		
2589	ハチ目(膜翅目)	ミフシハバチ科	アカスジチュウレンジ		○		○		
2590			ルリチュウレンジ		○				
2591		ハバチ科	ハグロハバチ				○		
2592			オオシロオビクロハバチ				○		
2593			タデハバチ				○		
2594			セグロカブラハバチ		○		○		
2595			ニホンカブラハバチ		○				

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (191) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
2596	ハチ目(膜翅目)	ハバチ科	イヌノフグリハバチ		○		○		
2597			カブラハバチ		○		○		
2598			タツナミソウハバチ		○				
2599			クシヒゲハバチ	○					
2600			オオムネアカハバチ	○					
2601			オスグロハバチ				○		
2602			クロムネハバチ	○					
2603			キイロハバチ				○		
2604			ルイスアカマルハバチ	○					
2605			Pachyprotasis属				○		
			ハバチ科	○	○		○		
2606		キバチ科	キバチ科		○				
2607		クキバチ科	クロバクキバチ	○			○		
			クキバチ科		○				
2608		アシプトコバチ科	ツヤアシプトコバチ				○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (192) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
2609	ハチ目(膜翅目)	アシプトコバチ科	キアシプトコバチ				○		
2610			アカアシプトコバチ	○					
			アシプトコバチ科	○	○				
2611		シリアゲコバチ科	オキナワシリアゲコバチ		○		○		
2612		アリガタバチ科	Acrepyris属		○				
2613			ハゴロモアリガタバチ				○		
2614			ヤマトヒメアリガタバチ				○		
			Epyris属		○				
2615			ハマキアリガタバチ				○		
			アリガタバチ科	○	○				
2616		セイボウ科	ナミハセイボウ		○				
2617			ツムムラサキセイボウ	○					
2618			ミドリセイボウ			○			
2619		カマバチ科	ナカガワカマバチ		○				
2620		アリ科	ハリアリ亜科			○			

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (193) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
2621	ハチ目(膜翅目)	アリ科	フタフシアリ亜科			○			
2622			ヤマアリ亜科		○	○			
2623			ノコギリハリアリ				○		
2624			アシナガアリ		○		○		
2625			ヤマトアシナガアリ		○				
2626			ニシムネアカオオアリ		○				
2627			クロオオアリ	○	○	○	○		
2628			ミカドオオアリ		○				
2629			ヒラズオオアリ			○	○		
2630			ムネアカオオアリ	○					
2631			ウメマツオオアリ	○	○	○	○		
2632			ヤマヨツボシオオアリ				○		
			Camponotus属			○	○		
2633			ハリプトシリアゲアリ		○	○	○		
2634			ツヤシリアゲアリ	○					

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (194) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
2635	ハチ目(膜翅目)	アリ科	キイロシリアゲアリ	○	○	○	○		
2636			テラニシリアゲアリ		○		○		
2637			クボミシリアゲアリ				○		
2638			シベリアカタアリ	○	○	○	○		
2639			ハヤシクロヤマアリ		○	○			
2640			クロヤマアリ	○	○	○	○		
			Formica属			○			
2641			ハヤシケアリ			○			
2642			トビイロケアリ	○	○	○			
2643			ヒゲナガケアリ	○					
2644			カワラケアリ	○		○			
2645			クサアリモドキ	○	○	○	○		
			Lasius属			○	○		
2646			ヒメアリ	○	○	○	○		
2647			ルリアリ	○	○	○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (195) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
2648	ハチ目(膜翅目)	アリ科	オオハリアリ		○	○	○		
			Pachycondyla属		○				
2649			アメイロアリ	○	○	○	○		
2650			サクラアリ		○	○	○		
			Paratrechina属			○			
2651			アズマオオズアリ		○	○	○		
2652			ヒメオオズアリ				○		
2653			Polyrhachis属			○			
2654			Ponera属			○	○		
2655			アミメアリ		○	○	○		
2656			Strumigenys属			○	○		
2657			ヒメムネボソアリ				○		
2658			ムネボソアリ		○	○	○		
2659			ハリナガムネボソアリ			○	○		
2660			トビイロシワアリ		○	○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (196) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
2661	ハチ目(膜翅目)	アリ科	ウメマツアリ		○	○	○		
			アリ科	○					
2662		ドロバチ科	アトボシキタドロバチ	○	○				
2663			オオフタオビドロバチ	○	○	○	○		
2664			ヤマトフタスジズバチ	○		○			
2665			キボシトックリバチ	○	○	○			
2666			ミカドトックリバチ	○	○	○	○		
2667			キアシトックリバチ	○					
2668			ムモントックリバチ	○	○		○		
			Eumenes属	○					
2669			カバオビドロバチ	○					
2670			ミカドドロバチ	○		○			
2671			エントツドロバチ		○		○		
2672			ズバチ	○		○	○		
2673			カタグロチビドロバチ	○	○		○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (197) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
2674	ハチ目(膜翅目)	ドロバチ科	フトカギチビドロバチ	○	○	○	○		
2675			キオビチビドロバチ	○	○				
2676			ムナグロチビドロバチ	○					
2677			サイジョウハムシドロバチ			○			
2678		スズメバチ科	ムモンホソアシナガバチ	○					
2679			フタモンアシナガバチ	○	○	○	○		
2680			ヤマトアシナガバチ	○	○	○	○		
2681			セグロアシナガバチ	○	○	○	○		
2682			キボシアシナガバチ	○	○	○	○		
2683			キアシナガバチ	○	○	○			
2684			コアシナガバチ	○	○	○	○		
2685			コガタスズメバチ	○	○	○	○		
2686			モンスズメバチ	○	○	○	○		
2687			ヒメスズメバチ	○		○	○		
2688			オオスズメバチ	○	○	○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (198) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
2689	ハチ目(膜翅目)	スズメバチ科	キイロスズメバチ	○	○	○	○		
2690			クロスズメバチ	○			○		
2691			シダクロスズメバチ	○					
2692		ベッコウバチ科	ベッコウバチ亜科		○				
2693			ミカドクロベッコウ				○		
2694			アカゴシベッコウ				○		
2695			オオモンクロベッコウ	○	○	○	○		
			Anoplius属		○				
2696			シロハヒメベッコウ		○				
			Auplopus属	○	○				
2697			キオビベッコウ	○		○			
2698			ナミモンベッコウ				○		
2699			キバネオオベッコウ			○			
2700			Dipogon属		○				
2701			ヤマトツツベッコウ	○					

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (199) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
2702	ハチ目(膜翅目)	ベッコウバチ科	ヤマトアオスジベッコウ			○	○		
2703			トゲアシオオベッコウ		○				
			Priocnemis属	○		○			
			ベッコウバチ科		○				
2704		アリバチ科	フタホシアリバチ				○		
2705		コツチバチ科	マメコツチバチ				○		
2706			マメコガネコツチバチ				○		
2707			アカハコツチバチ				○		
			Tiphia属		○				
			コツチバチ科	○					
2708		ツチバチ科	ヒメハラナガツチバチ	○	○	○	○		
2709			オオハラナガツチバチ	○					
2710			キンケハラナガツチバチ	○	○				
2711			シロオビハラナガツチバチ	○		○	○		
2712			コモンツチバチ	○			○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (200) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
2713	ハチ目(膜翅目)	ツチバチ科	アカスジツチバチ				○		
2714			オオモンツチバチ	○	○	○	○		
2715			キオビツチバチ				○		
2716		ギングチバチ科	ギングチバチ亜科		○				
2717			アカオビケラトリバチ	○					
2718			ヒメコオロギバチ		○		○		
2719			ヤマトコトガタバチ		○				
2720			クロタビギングチ				○		
2721			ヤマトヌカダカバチ		○				
2722			オオハヤバチ	○					
			Tachytes属			○			
2723			ヤマトジガバチモドキ		○				
2724			オオジガバチモドキ		○				
2725		ドロバチモドキ科	ニッポンハナダカバチ	○				県危惧II、 準絶滅	
2726		アリマキバチ科	サメシマヨコバイバチ				○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (201) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
2727	ハチ目(膜翅目)	アリマキバチ科	アシジロヨコバイバチ		○		○		
2728			ヒメスカバチ				○		
			Passaloecus属		○				
2729			Psen属	○					
2730			キアシマエダテバチ		○		○		
			Psenulus属	○					
2731		フシダカバチ科	アカアシツチスガリ	○	○	○			
2732			マルモンツチスガリ	○	○	○			
2733		アナバチ科	サトジガバチ	○	○	○	○		
2734			ヤマトルリジガバチ			○	○		
2735			クロアナバチ	○	○	○	○		
2736			アメリカジガバチ			○	○		国外
2737			クロアナバチ	○	○	○			
2738		ヒメハナバチ科	ミツクリフシダカヒメハナバチ	○					
2739			キバナヒメハナバチ	○	○				

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (202) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
2740	ハチ目(膜翅目)	ヒメハナバチ科	コマチマメヒメハナバチ	○	○				
2741			ムネアカハラビロヒメハナバチ	○					
2742			ウツギヒメハナバチ				○		
2743			コガタウツギヒメハナバチ		○		○		
2744			ワタセヒメハナバチ	○					
2745		ミツバチ科	ニホンミツバチ	○	○		○		
2746			セイヨウミツバチ	○	○	○	○	国外	
2747			コマルハナバチ	○					
2748			トラマルハナバチ		○	○	○		
2749			クロマルハナバチ	○		○			
2750			キオビツヤハナバチ	○	○	○			
2751			サトウチビツヤハナバチ	○	○	○			
2752			シロスジヤドリハナバチ				○		
2753			ニッポンヒゲナガハナバチ	○		○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (203) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
2754	ハチ目(膜翅目)	ミツバチ科	シロスジヒゲナガハナバチ	○	○	○	○		
2755			ギンランキマダラハナバチ		○				
2756			ミツクリヒゲナガハナバチ				○		
2757			キムネクマバチ	○	○	○	○		
2758		ムカシハナバチ科	オオムカシハナバチ		○		○		
2759			アシブトムカシハナバチ	○	○		○		
2760			スミスメンハナバチ	○	○				
2761			ホソメンハナバチ	○	○	○	○		
2762			マツムラメンハナバチ	○	○	○	○		
2763		コハナバチ科	アカガネコハナバチ	○	○	○	○		
2764			アトジマコハナバチ			○	○		
2765			ズマルコハナバチ	○	○		○		
2766			シモフリチビハナバチ				○		
2767			ニッポンチビハナバチ			○	○		

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 I 類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧 II 類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

表 1.4.46 (204) 陸上昆虫類等 経年確認状況一覧

地方整備局等	事務所等	水系名	河川名	調査年度
中国地方整備局	出雲河川事務所	斐伊川	斐伊川	2007

No.	目名	科名	和名	河川水辺の国勢調査 実施年度				重要種	外来種
				1992	1997	2002	2007		
2768	ハチ目(膜翅目)	コハナバチ科	サビイロカタコハナバチ	○	○	○	○		
2769			ニッポンカタコハナバチ		○				
2770			シロスジカタコハナバチ	○	○		○		
2771			オオエチビハナバチ	○			○		
2772			オバケチビハナバチ			○			
2773			フタモンカタコハナバチ	○		○	○		
2774			シマチビハナバチ			○	○		
2775			ヒラタチビハナバチ				○		
2776			ニセキオビコハナバチ		○				
			Lasioglossum属		○				
			コハナバチ科	○					
2777		ハキリバチ科	ハラアカヤドリハキリバチ		○				
2778			ネジロハキリバチ			○		県準絶滅	
2779			バラハキリバチ	○	○	○	○		
2780			サカガミハキリバチ	○	○				

重要種

- 国天: 文化財保護法 国指定天然記念物
- 保存: 種の保存に関する法律 国内希少野生動植物種
- 県絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅)
- 県野絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(野生絶滅)
- 県危惧I: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧I類)
- 県危惧II: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(絶滅危惧II類)
- 県準絶滅: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(準絶滅危惧)
- 県不足: 地方において特筆すべき文献等(地方版レッドデータブック) 島根県(情報不足)
- 絶滅: 環境省NRL 絶滅種(Ex)
- 野絶滅: 環境省NRL 野生絶滅(EW)
- 危惧I: 環境省NRL 絶滅危惧I類(CR+EN)
- 危惧IA: 環境省NRL 絶滅危惧IA類(CR)
- 危惧IB: 環境省NRL 絶滅危惧IB類(EN)
- 危惧II: 環境省NRL 絶滅危惧II類(VU)
- 準絶滅: 環境省NRL 準絶滅危惧(NT)
- 不足: 環境省NRL 情報不足(DD)

外来種

- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 要注意: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

1.4.9 シジミ資源量調査（島根県）

【島根県水産技術センター提供】

宍道湖・中海水産振興対策検討調査事業

－ 有用水産動物生態調査（ヤマトシジミ） －

I 宍道湖におけるシジミ資源量調査

中村幹雄・三浦常廣・山根恭道・重本欣史・常盤保

1997年夏季に宍道湖においてヤマトシジミの大量へい死が起こった。大量へい死の被害状況を把握すると共に、原因の究明を行うため、「宍道湖におけるシジミ大量へい死緊急対策調査」を行った。その結果、へい死直前のシジミ資源量とへい死後の資源量の比較から、へい死率は85.8%であり、大量へい死による資源量の減少は甚大なものであることが明らかとなった。今後の漁業資源対策を立てる上でも、大量へい死により激減した資源量のその後の推移を把握する必要がある。そこで季節ごとにシジミの資源量調査を行った。

方 法

1. 調査時期と調査地点

調査は、1998年6月5日～9日（6月調査）、9月6日～9日（9月調査）および11月9日～12日（11月調査）の季節ごとに、6月調査では107地点、9月調査と11月調査では、地点番号11を除く106地点で行った（図1）。

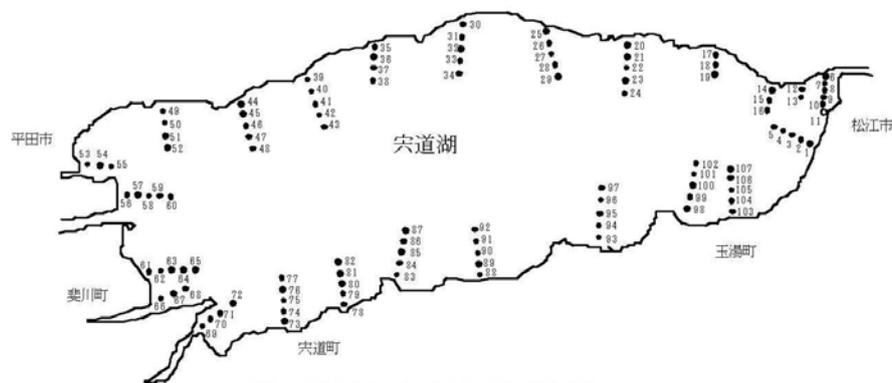


図1 宍道湖シジミ資源量調査地点図。

ただし、調査地点11 (○) は1998年8月調査でのみ採集。

2. 調査方法

各調査地点において、ヤマトシジミの採集および底層水の水質測定を行った。

シジミの採集は、スミス・マッキンタイヤ型採泥器を用い各地点2回、採集面積0.1㎡の採泥を行った。採集した底泥は試験場に持ち帰り、0.5mmの篩を用いてソーティングを行い、調査地点ごとに、ヤマトシジミの個体数を計数し、湿重量を測定した。

H10年 (1)

図 1.4.9 (1) 島根県シジミ資源量調査結果（平成10年度）

【島根県水産技術センター提供】

水質は、塩分、DO、水温をYSI社の現場型水質計model 3800で測定し、透明度、水深も同時に調べた。

3. 資源量の推定方法

資源量は、以下の手順で算出した。

- (1) 各調査地点のシジミの重量を1㎡当たり（シジミ重量密度）に換算する。
- (2) 水深別（1m間隔：0～1m、1～2m、2～3m、3～4m）にシジミ重量密度の平均値を求める。
- (3) 水深別のシジミ重量密度の平均値に各水深の面積をかけ、水深別のシジミ総重量を求める。
- (4) 水深別のシジミ総重量に補正係数*（=1.2）をかけて、水深別の推定資源量を求める。
- (5) 水深別の推定資源量を合計し、宍道湖全体のシジミ資源量とする。

*補正係数は、底質に深く潜り、採泥器で採集されないシジミ個体を補正する値であり、求め方は以下の通りである。

採泥器の採泥面積（22.5×22.5センチ）と同じ大きさの鉄枠を用意し、採泥器で底泥を採ったその場所に鉄枠をはめ込み、その場所のさらに深いところに残存するシジミの個体数を調べ（3地点10回、計30回）、以下の式①でまず採集効率を求め、式②により補正係数を求めた。

$$\text{採集効率} = \text{採集数} / (\text{採集数} + \text{残存数}) \times 100 \quad \text{--- ①}$$

$$\text{補正係数} = 100 / \text{採集効率} \quad \text{--- ②}$$

結果と考察

1997年の大量へい死直前の水深別のシジミ資源量を表1に、へい死後の資源量を表2に、1998年長さにおける資源量を表3、4、5に示した。

表1 1997年8月調査から推定した水深別のヤマトシジミ資源量。

水深(m)	面積(㎡)	重量(g/㎡)	総重量(t)	推定資源量(t)
0～1m	1.5	1,732.0	2,650.0	3,180.0
1～2m	5.5	3,504.0	19,166.9	23,000.3
2～3m	6.6	3,548.6	23,349.6	28,019.5
3～4m	11.3	1,805.0	20,342.4	24,410.8
合計	24.9		65,508.8	78,610.5

表2 1997年11月調査から推定した水深別のヤマトシジミ資源量。

水深(m)	面積(㎡)	重量(g/㎡)	総重量(t)	推定資源量(t)
0～1m	1.5	464.8	711.2	853.4
1～2m	5.5	353.4	1,932.8	2,319.4
2～3m	6.6	420.2	2,764.7	3,317.6
3～4m	11.3	345.7	3,896.1	4,675.3
合計	24.9		9,304.8	11,165.8

H10年 (2)

図 1.4.9 (2) 島根県シジミ資源量調査結果（平成10年度）

【島根県水産技術センター提供】

表3 1998年6月調査から推定した水深別のヤマトシジミ資源量。

水深(m)	面積(・)	重量(g/m ²)	総重量(t)	推定資源量(t)
0～1m	1.5	1,424.2	2,179.0	2,614.7
1～2m	5.5	882.3	4,826.1	5,791.4
2～3m	6.6	725.7	4,775.2	5,730.2
3～4m	11.3	447.1	5,039.0	6,046.7
合計	24.9		16,819.2	20,183.1

表4 1998年9月調査から推定した水深別のヤマトシジミ資源量。

水深(m)	面積(・)	重量(g/m ²)	総重量(t)	推定資源量(t)
0～1m	1.5	2,546.2	3,895.6	4,674.8
1～2m	5.5	1,703.5	9,318.1	11,181.7
2～3m	6.6	858.9	5,651.3	6,781.5
3～4m	11.3	537.2	6,054.7	7,265.7
合計	24.9		24,919.7	29,903.7

表5 1998年11月調査から推定した水深別のヤマトシジミ資源量。

水深(m)	面積(・)	重量(g/m ²)	総重量(t)	推定資源量(t)
0～1m	1.5	1,680.8	2,571.7	3,086.0
1～2m	5.5	1,629.7	8,914.7	10,697.6
2～3m	6.6	827.3	5,443.7	6,532.4
3～4m	11.3	377.1	4,250.3	5,100.3
合計	80.3		21,180.3	25,416.4

1997年の大量へい死直前からの資源量の変化を図2に示した。

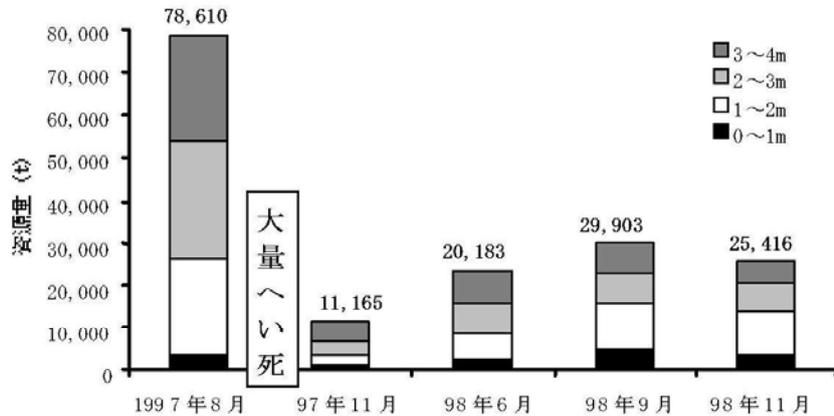


図2. 各調査から推定したシジミ資源量の比較。

大量へい死直前からの水深別シジミ資源量の変化を図3に、水深別シジミ重量密度の変化を図4に示した。

H10年 (3)

図 1.4.9 (3) 島根県シジミ資源量調査結果 (平成10年度)

【島根県水産技術センター提供】

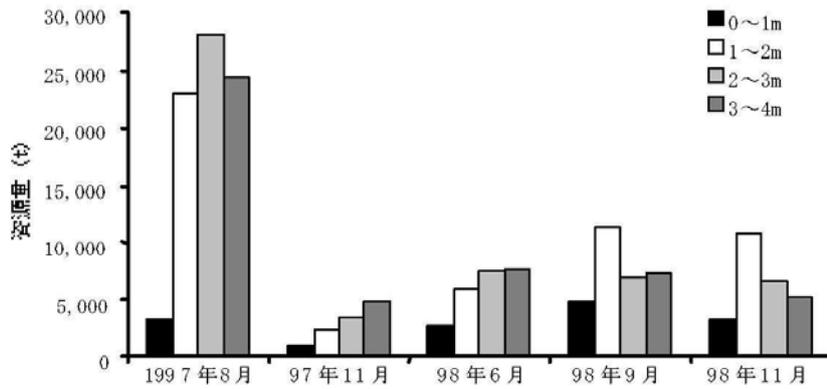


図3. 各調査から推定した水深別のシジミ資源量の比較.

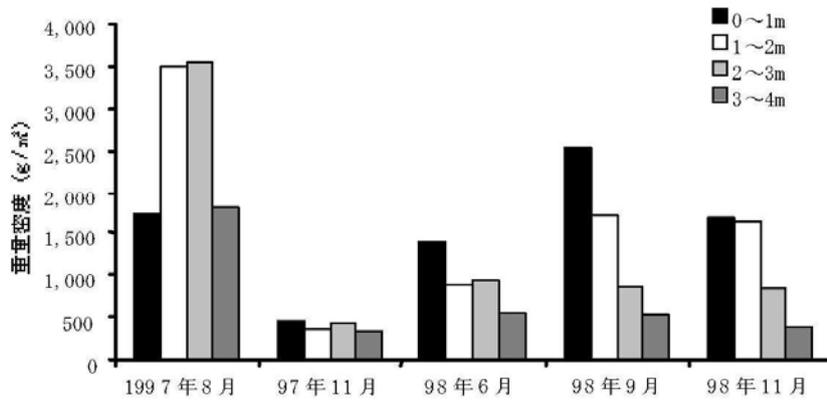


図4. 各調査から推定した水深別のシジミ重量密度 (g/m²) の比較.

H10年 (4)

図 1.4.9 (4) 島根県シジミ資源量調査結果 (平成10年度)

【島根県水産技術センター提供】

宍道湖・中海水産振興対策検討調査事業

— 有用水産動物生態調査（ヤマトシジミ） —

I 宍道湖におけるシジミ資源量調査

中村幹雄・三浦常廣・常盤保・大北晋也・原田茂樹

1997年夏季に宍道湖で起きたヤマトシジミの大量へい死により激減した資源量のその後の推移を把握するために、1998年に季節ごとに（春、夏、秋の3回）シジミの資源量調査を行った。

その結果、宍道湖のシジミ資源は、緩やかながらも回復傾向が見られた。しかし、1998年の夏にも、1997年ほど大量ではないが、シジミのへい死が見られ、宍道湖のシジミ資源は不安定な状態にあると考えられる。

そこで、漁業管理を行う上でその時その時の資源量を把握しておく必要があると考え、本年（1999年）も引き続き資源量調査を行った。

方 法

1. 調査時期と調査地点

調査は、1999年5月26日～27日（春季調査）、8月25日～26日（夏季調査）、11月8日（秋季調査）の各季節ごとに、90地点で行った（図1）。

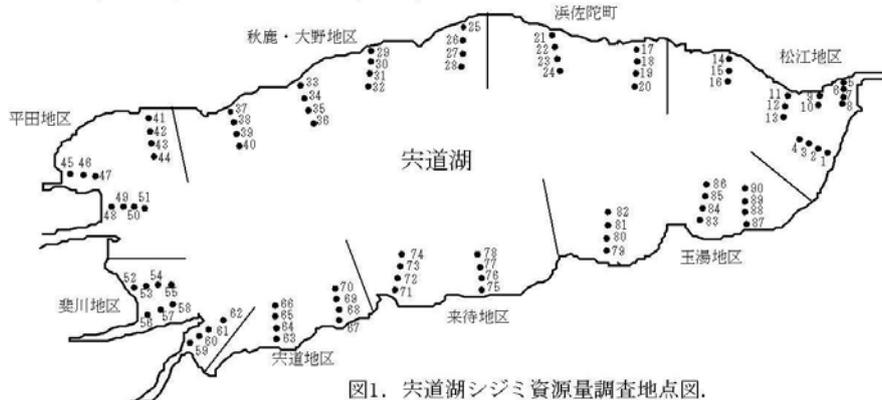


図1. 宍道湖シジミ資源量調査地点図.

2. 調査方法

各調査地点において、ヤマトシジミの採集および底層水の水質の測定を行った。

シジミの採集は、スミス・マッキンタイヤ型採泥器を用い各地点2回、採集面積0.1m²の採泥を行った。採集した底泥は試験場に持ち帰り、0.5mm目合いのフルイを用いてソーティングを行い、調査地点ごとにヤマトシジミの個体数を計数し湿重量を測定した。

また、夏季および秋季の調査では湖北4地点（地点番号25、26、27、28）、湖南4地点（地点番号75、76、77、78）の計8地点でシジミ殻長を測定した。比較データとして、1998年のシジミ資源量調査の夏季と秋季の同一地点（地点番号30、31、32、33、88、89、90、91）のシジミ殻長も測定した。

H11年 (1)

図 1.4.10 (1) 島根県シジミ資源量調査結果（平成11年度）

【島根県水産技術センター提供】

水質は、塩分、D0、水温を YSI 社現場型水質計 model 3800 で測定し、透明度、水深も同時に調べた。
底質は、夏季調査でのみ粒度組成と強熱減量を分析した。粒度組成はフルイ分け法を用い、泥、細砂、中砂、粗砂、礫の 5 段階に分け、強熱減量は 800℃で 12 時間の条件で行った。

3. 資源量の推定方法

資源量は、以下の手順で算出した。

- (1) 各調査地点のシジミの重量を 1m² 当たり (シジミ重量密度) に換算する。
- (2) 水深別 (0~2m、2~3m、3~4m) にシジミ重量密度の平均値を求める。
- (3) 水深別のシジミ重量密度の平均値に各水深の面積をかけ、水深別のシジミ総重量を求める。
- (4) 水深別のシジミ総重量に補正係数* (=1.2) をかけて、水深別の推定資源量を求める。
- (5) 水深別の推定資源量を合計し、宍道湖全体のシジミ資源量とする。

*補正係数は、底質に深く潜り、採泥器で採集されないシジミ個体を補正する値で求め方は以下の通りである。

採泥器の採泥面積 (22.5×22.5 センチ) と同じ大きさの鉄枠を用意し、採泥器で底泥を採ったその場所に鉄枠をはめ込み、その場所のさらに深いところに残存するシジミの個体数を調べ (3 地点 10 回、計 30 回)、以下の式①でまず採集効率を求め、式②により補正係数を求めた。

$$\text{採集効率} = \text{採集数} / (\text{採集数} + \text{残存数}) \times 100 \quad \text{--- ①}$$

$$\text{補正係数} = 100 / \text{採集効率} \quad \text{--- ②}$$

結果と考察

1. 1999 年資源量調査

(1) 個体数密度、重量密度、推定資源量

季節ごとに、シジミの水深別個体数および重量を表 1、2、3 にまとめた。

表 1 1999 年 5 月 (春季) 調査から推定した水深別シジミ資源量

a) 個体数					b) 重量				
水深 (m)	面積 (km ²)	個体数密度 (個/m ²)	総個体数 (10 ⁶ 個)	推定個体数 (10 ⁶ 個)	水深 (m)	面積 (km ²)	重量密度 (g/m ²)	総重量 (t)	推定資源量 (t)
0~2	7.00	2,871	20,096	24,115	0~2	7.00	1,479	10,351	12,422
2~3	6.58	2,290	15,068	18,082	2~3	6.58	1,143	7,521	9,025
3~4	11.27	1,783	20,093	24,111	3~4	11.27	679	7,653	9,184
合計	24.85	6,944	55,257	66,308	合計	24.85	3,300	25,525	30,630

表 2 1999 年 8 月 (夏季) 調査から推定した水深別シジミ資源量

a) 個体数					b) 重量				
水深 (m)	面積 (km ²)	個体数密度 (個/m ²)	総個体数 (10 ⁶ 個)	推定個体数 (10 ⁶ 個)	水深 (m)	面積 (km ²)	重量密度 (g/m ²)	総重量 (t)	推定資源量 (t)
0~2	7.00	5,481	38,369	46,043	0~2	7.00	2,227	15,589	18,707
2~3	6.58	4,871	32,053	38,464	2~3	6.58	1,678	11,041	13,249
3~4	11.27	2,230	25,127	30,152	3~4	11.27	937	10,557	12,669
合計	24.85	12,582	95,549	114,659	合計	24.85	4,842	37,187	44,625

H11年 (2)

図 1.4.10 (2) 島根県シジミ資源量調査結果 (平成 11 年度)

【島根県水産技術センター提供】

表3 1999年11月(秋季)調査から推定した水深別シジミ資源量

a) 個体数					b) 重量				
水深 (m)	面積 (km ²)	個体数密度 (個/m ²)	総個体数 (10 ⁶ 個)	推定個体数 (10 ⁶ 個)	水深 (m)	面積 (km ²)	重量密度 (g/m ²)	総重量 (t)	推定資源量 (t)
0~2	7.00	2,568	17,975	21,571	0~2	7.00	1,650	11,551	13,861
2~3	6.58	2,240	14,739	17,687	2~3	6.58	1,741	11,458	13,750
3~4	11.27	1,858	20,938	25,125	3~4	11.27	1,469	16,550	19,860
合計	24.85	6,666	53,652	64,383	合計	24.85	4,860	39,559	47,471

各季節ごとの水深別シジミ個体数密度(個/m²)を図2に、水深別シジミ重量密度を図3に示した。個体数密度、重量密度ともに、全体的に見ると水深が浅いほど多くなっており、季節的に見ると春から夏にかけて増え、秋になると春と同じくらいに減少している。

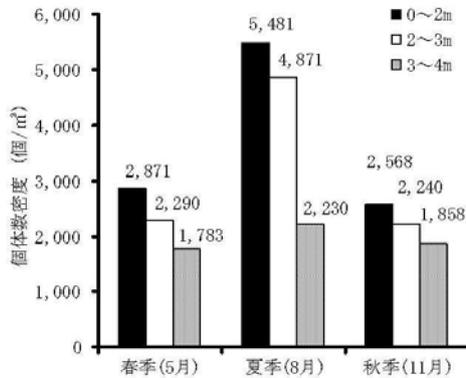


図2 各季節における水深別シジミ個体数密度

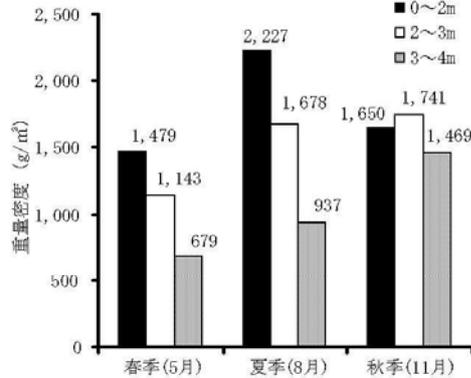


図3 各季節における水深別シジミ重量密度

各季節における水深別の推定総個体数を図4に、推定資源量を図5に示した。

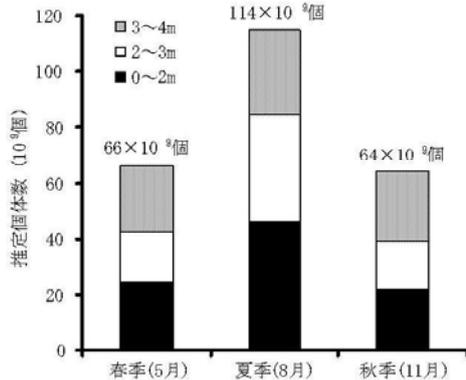


図4 各季節におけるシジミの推定総個体数

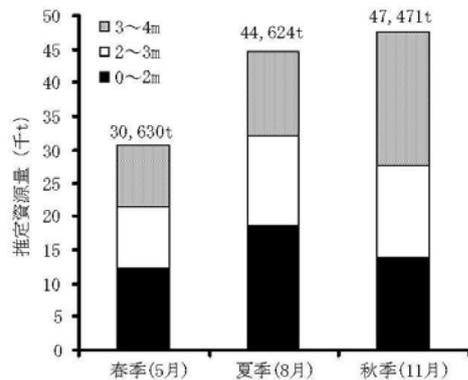


図5 各季節におけるシジミ推定資源量

H11年 (3)

図 1.4.10 (3) 島根県シジミ資源量調査結果 (平成11年度)

【島根県水産技術センター提供】

推定総個体数も個体数密度、重量密度と同様に春から夏にかけて増え、秋になると春と同じくらいに減少している。

推定資源量も春から夏にかけて増えているが、総個体数や密度と異なり、秋になっても夏の資源量が維持されていた。

(2) 地区別比較

次にシジミの生息量を地区ごとにみるために、地区別のシジミ個体数密度と重量密度を表4、図6、7にまとめた。

表4 1999年シジミ資源量調査における地区別シジミ個体数密度および重量密度

a) 個体数密度 (個/m ²)				b) 重量密度 (g/m ²)			
地区	1999春季	1999夏季	1999秋季	地区	1999春季	1999夏季	1999秋季
松江	3,605	4,670	3,161	松江	2,423	2,440	2,469
浜佐陀	1,727	4,077	1,307	浜佐陀	1,029	1,100	914
秋鹿・大野	2,312	4,605	1,498	秋鹿・大野	649	1,373	930
平田	181	563	512	平田	119	308	665
斐川	320	1,306	942	斐川	124	400	613
宍道	2,133	3,883	2,317	宍道	1,068	2,117	1,878
来待	5,762	8,835	5,062	来待	1,536	2,655	2,640
玉湯	1,974	6,241	3,238	玉湯	1,167	2,568	2,666

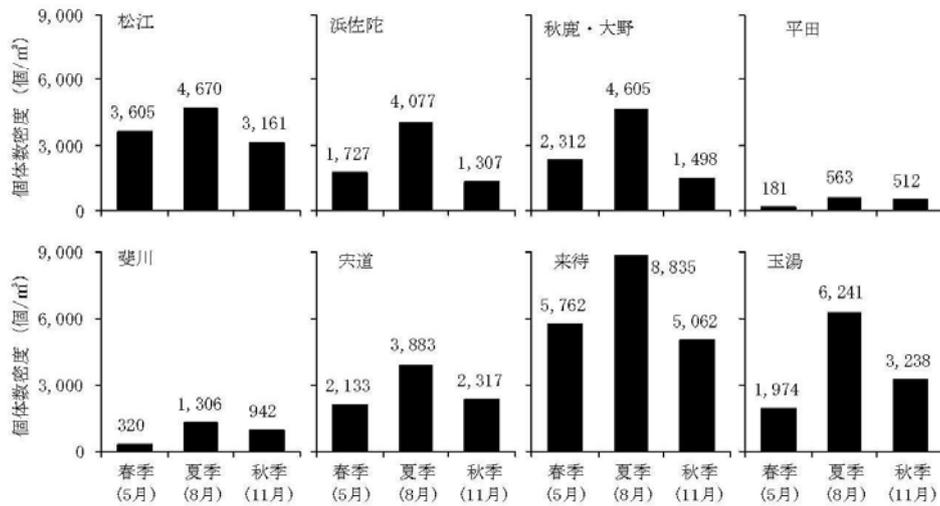


図6 1999年シジミ資源量調査における地区別シジミ個体数密度

シジミの個体数密度、重量密度は、地区によって大きく異なっていることがわかる。

個体数密度は、宍道湖西部（平田、斐川）で低くなっている。

重量密度は、宍道湖東部（松江）や湖南（宍道、来待、玉湯）では、高くなっているが、湖北（浜佐陀、秋鹿・大野）、西部（平田、斐川）では低い。

H11年 (4)

図 1.4.10 (4) 島根県シジミ資源量調査結果 (平成11年度)

【島根県水産技術センター提供】

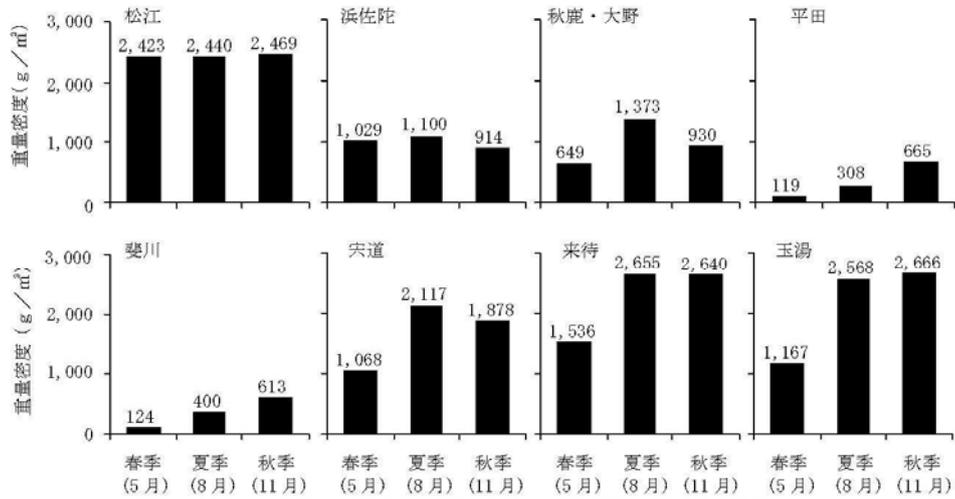


図7 1999年シジミ資源量調査における地区別シジミ重量密度

(3) 殻長組成

1999年夏季および秋季におけるシジミの殻長組成を1998年と比較し、それぞれ図8、9に示した。

夏季の殻長組成は、1998年、1999年ともに、双山のヒストグラムとなっており、1998年では、殻長3mmと15mm、1999年では6mmと15mmにピークがみられる。15mmのピークでは1998年と1999年であまり差はみられないが、1998年に比べ1999年では、殻長10mm以下のシジミが非常に増えていることがわかる。

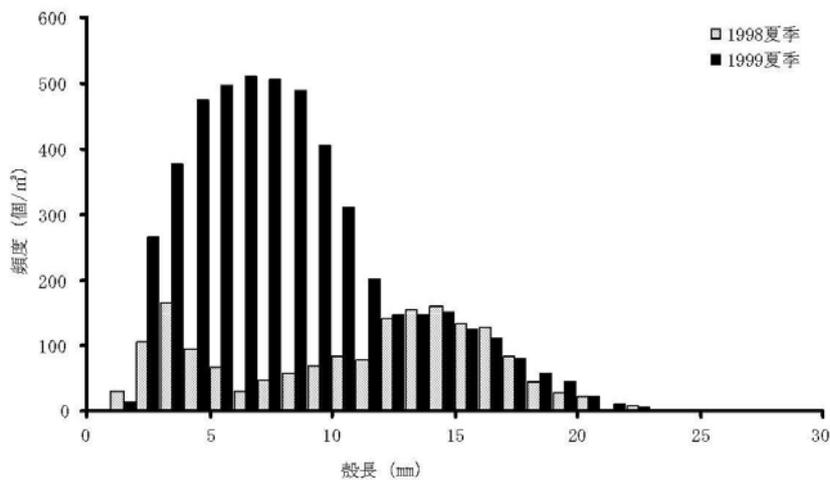


図8 1998年夏季と1999年夏季におけるシジミの殻長組成の比較

H11年 (5)

図 1.4.10 (5) 島根県シジミ資源量調査結果 (平成11年度)

【島根県水産技術センター提供】

秋季でも夏季と同様に、1998年より1999年の方が殻長10mm以下のシジミが多くなっているが、殻長15mm前後のシジミは、1998年に比べ、1999年の方が少なくなっていた。

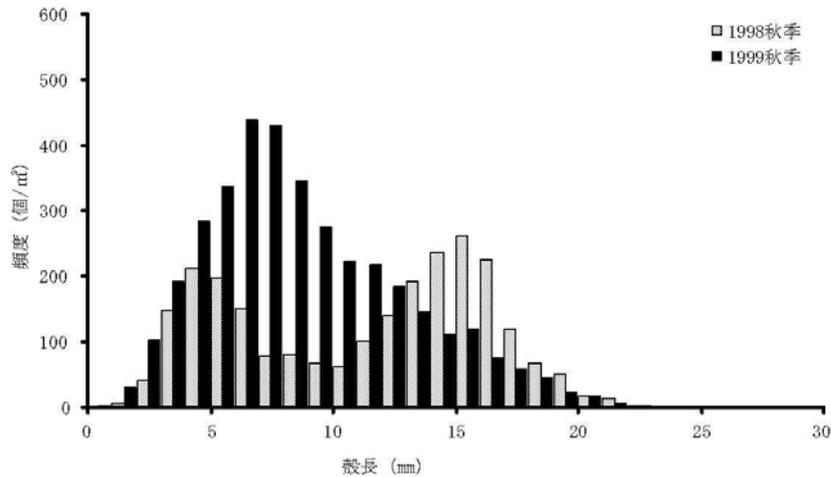


図9 1998年秋季と1999年秋季におけるシジミの殻長組成の比較

2. 大量へい死後のシジミ資源量の変化

大量へい死直前からのシジミ資源量の推移を図10に示した。

大量へい死により11,165トンと激減した資源量は、その後緩やかに回復し、2年後の1999年秋季(11月)には47,471トンまで増えている。

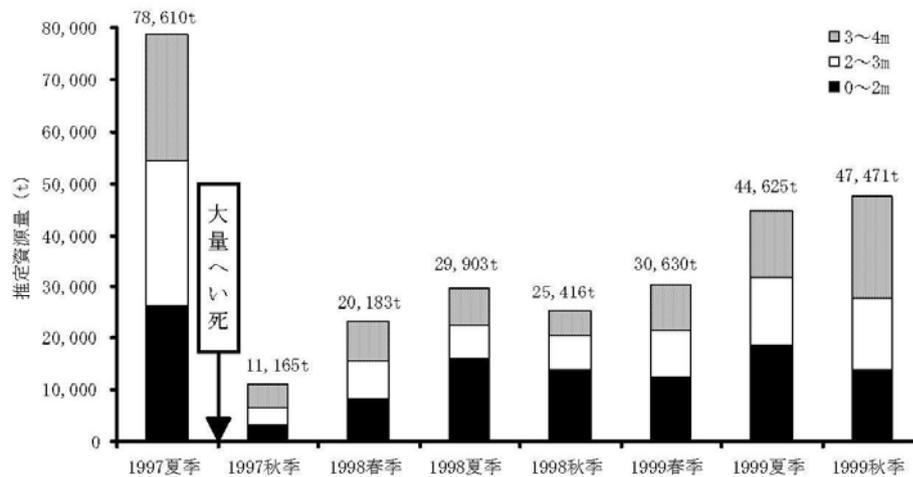


図10 大量へい死直前からのシジミ資源量の変化

H11年 (6)

図 1.4.10 (6) 島根県シジミ資源量調査結果 (平成11年度)

【島根県水産技術センター提供】

次に大量へい死後のシジミ資源の状況を地区別に見るために、シジミの個体数密度と重量密度をそれぞれ地区別に図 11、12 にまとめた。

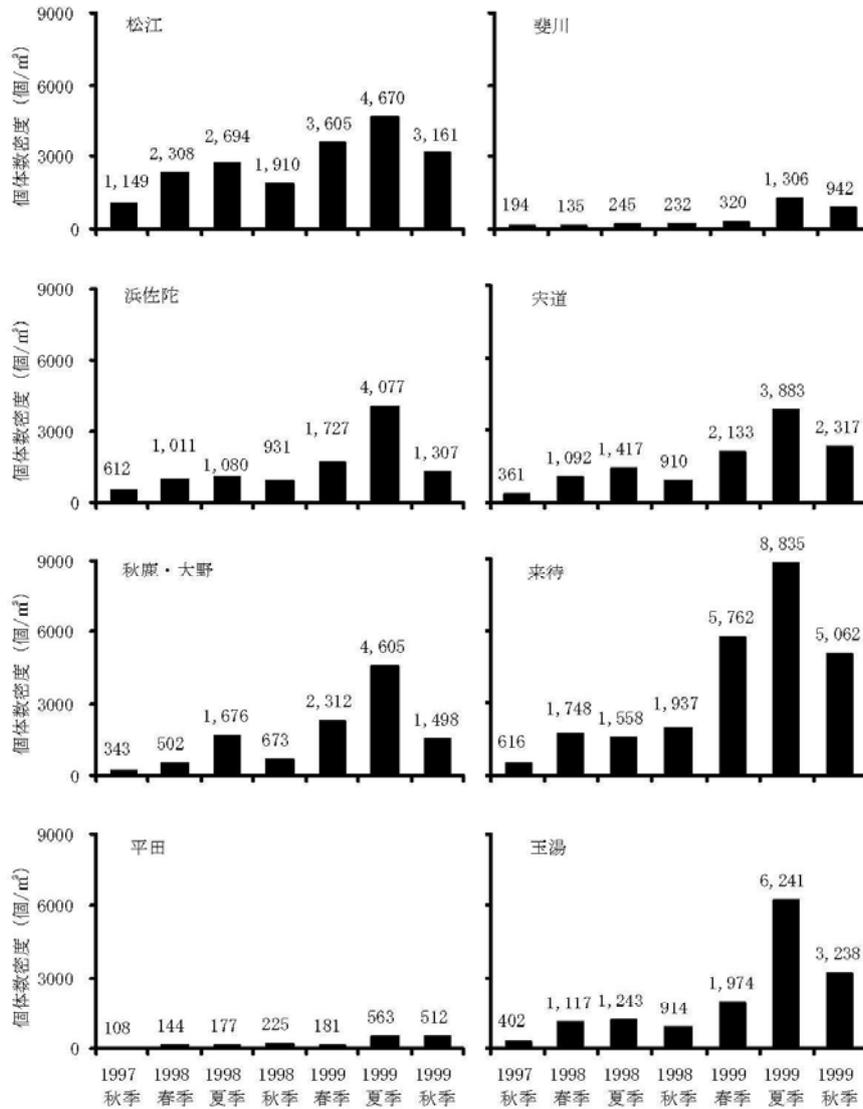


図 11 大量へい死後のシジミ個体数密度の変化の地区別比較

シジミの個体数密度は、各地区で大量へい死直後に比べ増えているが、地区により大きな差があり、西部（平田、斐川）では、他の地区ほど多くはなっていない。

H11年 (7)

図 1.4.10 (7) 島根県シジミ資源量調査結果（平成 11 年度）

【島根県水産技術センター提供】

重量密度も、各地区で大量へい死直後に比べ増えているが、地区により大きな差があり、東部（松江）や湖南（来待、玉湯）では大きく増えているのに対し、西部（平田、斐川）や湖北（浜佐陀、秋鹿・大野）ではあまり増えていない。

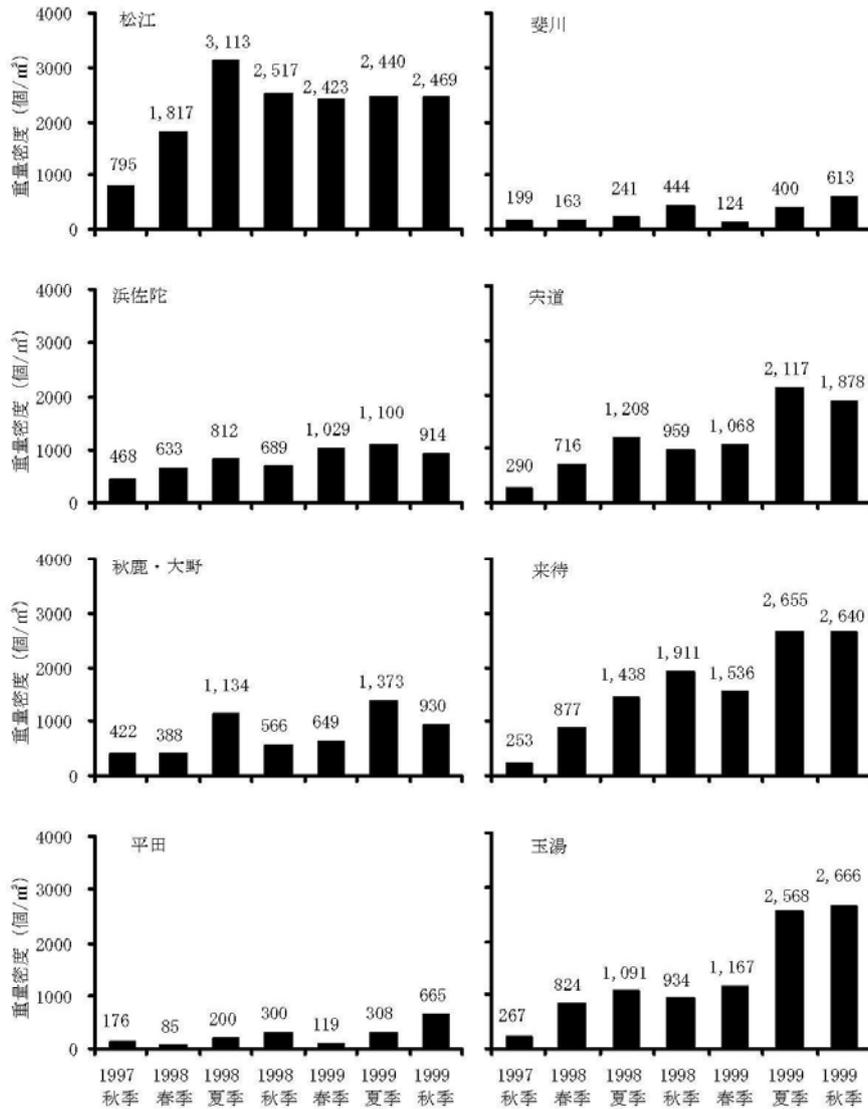


図 12 大量へい死後のシジミ重量密度の変化の地区別比

H11年 (8)

図 1.4.10 (8) 島根県シジミ資源量調査結果 (平成 11 年度)

【島根県水産技術センター提供】

宍道湖・中海水産振興対策検討調査事業

一有用水産動物生態調査（ヤマトシジミ）一

I 宍道湖におけるシジミ資源量調査

中村幹雄・三浦常廣・常盤保・大北晋也・原田茂樹

昨年度までの継続した資源量調査により、1997年夏季に宍道湖で起きたヤマトシジミの大量への死により激減した宍道湖のシジミ資源は、回復傾向が見られた。しかし、1998年の夏にも、1997年ほど大量ではないが、シジミのへの死が見られ、宍道湖のシジミ資源は不安定な状態にあると考えられる。

そこで、漁業管理を行う上でその時その時の資源量を把握しておく必要があると考え、本年（2000年）も引き続き資源量調査を行った。

方法

1. 調査時期と調査地点

調査は、2000年5月23・24・26日（春季調査）、8月20日～22日（夏季調査）、11月14・15日（秋季調査）の各季節ごとに、100地点で行った（図1）。なお夏季は1地点（St.5）、秋季は12地点（St.5、18、23、28、58、59、62、70、90、95、99、100）調査を行わなかった。

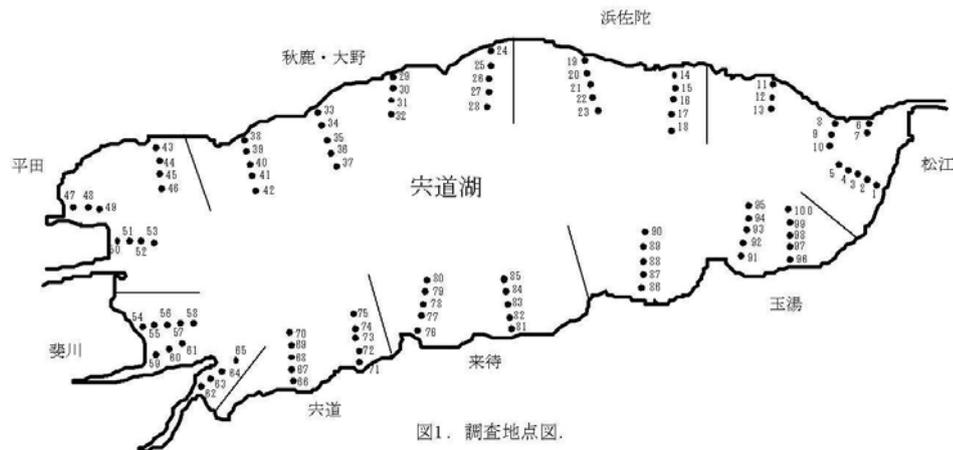


図1. 調査地点図.

2. 調査方法

各調査地点において、ヤマトシジミの採集および底層水の水質の測定を行った。

シジミの採集は、スミス・マッキンタイヤ型採泥器を用い各地点2回、採集面積0.1m²の採泥を行った。採集した底泥は試験場に持ち帰り、0.5mm目合いのフルイを用いてソーティングを行い、調査地点ごとに、ヤマトシジミの個体数を計数し、湿重量を測定した。さらにシジミの殻長も測定した。

水質は、塩分、DO、水温をHydroLab社の現場型水質計Quantaで測定し、透明度、水深も同時に調べた。

H12年 (1)

図 1.4.11 (1) 島根県シジミ資源量調査結果（平成12年度）

【島根県水産技術センター提供】

底質は、夏季調査でのみ粒度組成、強熱減量およびCODを分析した。粒度組成はフルイ分け法を用い、泥、細砂、中砂、粗砂、礫の5段階に分け、強熱減量は800℃で12時間の条件で行い、CODはアルカリ性過マンガン酸カリウム-ヨウ素滴定法によって行った。

3. 資源量の推定方法

資源量は、以下の手順で算出した。

- (1) 各調査地点のシジミの重量を1㎡当たり（シジミ重量密度）に換算する。
- (2) 水深別（0～2m、2～3m、3～4m）にシジミ重量密度の平均値を求める。
- (3) 水深別のシジミ重量密度の平均値に各水深の面積をかけ、水深別のシジミ総重量を求める。
- (4) 水深別のシジミ総重量に補正係数*（夏季=1.2、春季・秋季=1.4）をかけて、水深別の推定資源量を求める。
- (5) 水深別の推定資源量を合計し、宍道湖全体のシジミ資源量とする。

*補正係数は、底質に深く潜り、採泥器で採集されないシジミ個体を補正する値であり、求め方は以下の通りである。

採泥器の採泥面積（22.5×22.5センチ）と同じ大きさの鉄枠を用意し、採泥器で底泥を採ったその場所に鉄枠をはめ込み、その場所のさらに深いところに残存するシジミの個体数を調べ（3地点10回、計30回）、以下の式①でまず採集効率を求め、式②により補正係数を求めた。

$$\text{採集効率} = \frac{\text{採集数}}{\text{採集数} + \text{残存数}} \times 100 \quad \text{--- ①}$$

$$\text{補正係数} = 100 / \text{採集効率} \quad \text{--- ②}$$

結果と考察

1. 2000年資源量調査

(1) 個体数密度、重量密度、推定資源量

季節ごとに、シジミの水深別個体数および重量を表1、2にまとめた。

表1 2000年5月（春季）調査から推定した水深別シジミ資源量。

a) 個体数					b) 重量				
水深 (m)	面積 (k㎡)	個体数密度 (個/㎡)	総個体数 (10 ⁶ 個)	推定個体数 (10 ⁶ 個)	水深 (m)	面積 (k㎡)	重量密度 (g/㎡)	総重量 (t)	推定資源量 (t)
0～1	1.5	2,305	3,458	4,841	0～1	1.5	1,441	2,162	3,026
1～2	5.5	2,292	12,607	17,650	1～2	5.5	1,330	7,315	10,241
2～3	6.6	1,855	12,243	17,140	2～3	6.6	1,106	7,303	10,225
3～4	11.3	1,403	15,848	22,188	3～4	11.3	734	8,298	11,617
合計	24.9		44,156	61,819	合計	24.9		25,080	35,112

表2 2000年8月（夏季）調査から推定した水深別シジミ資源量。

a) 個体数					b) 重量				
水深 (m)	面積 (k㎡)	個体数密度 (個/㎡)	総個体数 (10 ⁶ 個)	推定個体数 (10 ⁶ 個)	水深 (m)	面積 (k㎡)	重量密度 (g/㎡)	総重量 (t)	推定資源量 (t)
0～1	1.5	4,063	6,095	7,314	0～1	1.5	2,488	3,732	4,479
1～2	5.5	3,363	18,499	22,199	1～2	5.5	2,033	11,185	13,422
2～3	6.6	2,238	14,772	17,726	2～3	6.6	1,463	9,659	11,591
3～4	11.3	376	4,243	5,092	3～4	11.3	258.9	2,926	3,511
合計	24.9		43,609	52,331	合計	24.9		27,504	33,005

H12年 (2)

図 1.4.11 (2) 島根県シジミ資源量調査結果（平成12年度）

【島根県水産技術センター提供】

表3 2000年11月(秋季)調査から推定した水深別シジミ資源量。

a) 個体数					b) 重量				
水深 (m)	面積 (k㎡)	個体数密度 (個/㎡)	総個体数 (10 ⁹ 個)	推定個体数 (10 ⁹ 個)	水深 (m)	面積 (k㎡)	重量密度 (g/㎡)	総重量 (t)	推定資源量 (t)
0~1	1.5	3,073	4,610	6,454	0~1	1.5	2,292	3,439	4,814
1~2	5.5	2,488	13,682	19,155	1~2	5.5	1,744	9,592	13,429
2~3	6.6	2,476	16,341	22,877	2~3	6.6	1,655	10,928	15,300
3~4	11.3	317	3,580	5,012	3~4	11.3	323	3,657	5,120
合計	24.9		38,213	53,498	合計	24.9		27,617	38,664

各季節ごとの水深別シジミ個体数密度(個/㎡)を図2に、水深別シジミ重量密度を図3に示した。

個体数密度、重量密度ともに、全体的に見ると水深が浅いほど多くなっている。季節的に見ると水深3mまでは春から夏にかけて増え、秋になるとわずかに減少しているが、水深3~4mでは春から夏にかけて減少し、そのまま秋になっている。

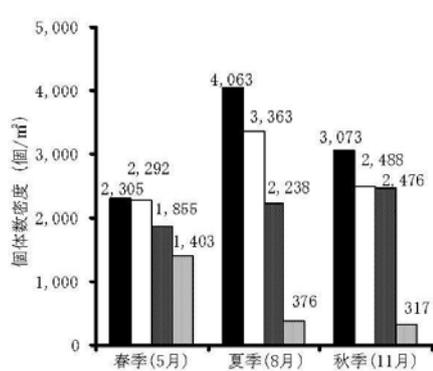


図2 各季節における水深別シジミ個体数密度。

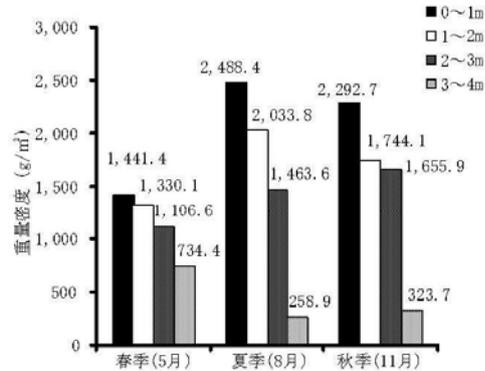


図3 各季節における水深別シジミ重量密度。

各季節における水深別の推定総個体数を図4に、推定資源量を図5に示した。

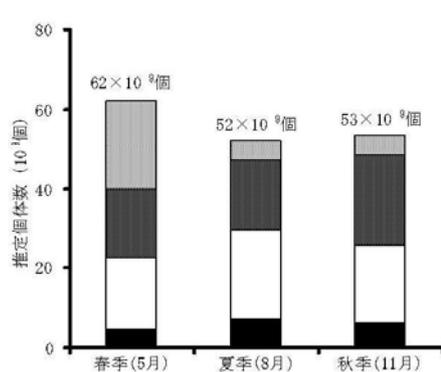


図4 各季節におけるシジミの推定総個体数。

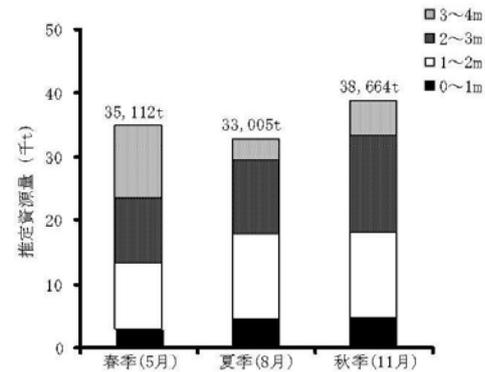


図5 各季節におけるシジミ推定資源量。

【島根県水産技術センター提供】

推定総個体数と推定資源量は季節的にあまり大きな変化は見られなかったが、水深3~4mでは個体数密度、重量密度と同様に春より夏・秋で減少していた。

(2) 地区別比較

次にシジミの生息量を地区ごとにみるために、地区別のシジミ個体数密度と重量密度を表4、図6、7にまとめた。

表4 2000年シジミ資源量調査における地区別シジミ個体数密度および重量密度

a) 個体数密度 (個/㎡)				b) 重量密度 (g/㎡)			
地区	2000春季	2000夏季	2000秋季	地区	2000春季	2000夏季	2000秋季
松江	1,962	2,979	3,856	松江	1,254	2,083	2,104
浜佐陀	942	1,782	1,724	浜佐陀	607	1,118	1,123
秋鹿・大野	1,776	1,789	1,454	秋鹿・大野	998	1,074	958
平田	146	411	811	平田	113	364	986
斐川	510	781	1,197	斐川	368	750	943
宍道	2,426	3,299	1,860	宍道	1,030	1,699	1,313
来待	3,690	3,998	2,441	来待	1,646	2,149	1,544
玉湯	1,922	2,349	2,297	玉湯	1,683	1,517	2,337

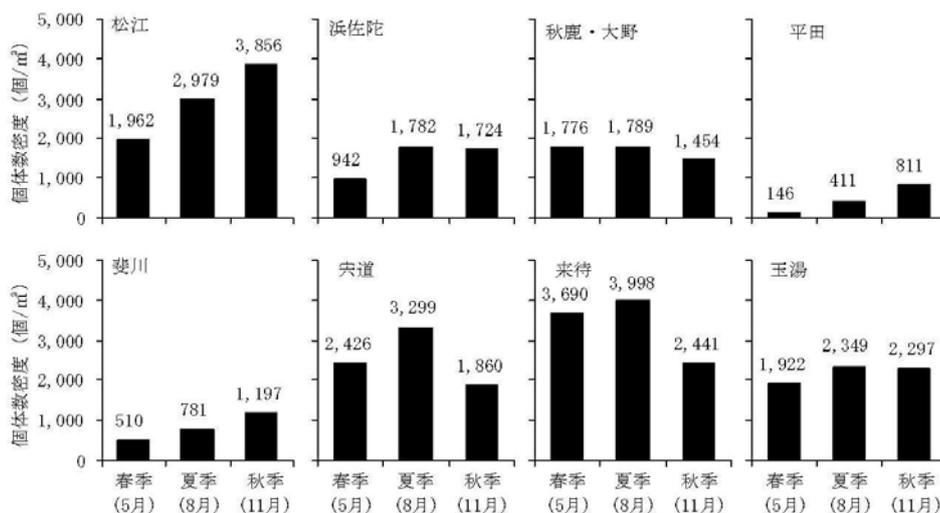


図6 1999年シジミ資源量調査における地区別シジミ個体数密度

シジミの個体数密度、重量密度は、地区によって大きく異なっていることがわかる。

個体数密度は、宍道湖東部（松江）や湖南（宍道、来待、玉湯）では、高くなっているが、湖北（浜佐陀、秋鹿・大野）、西部（平田、斐川）では低い。

重量密度は、宍道湖西部（平田、斐川）で低くなっている。

【島根県水産技術センター提供】

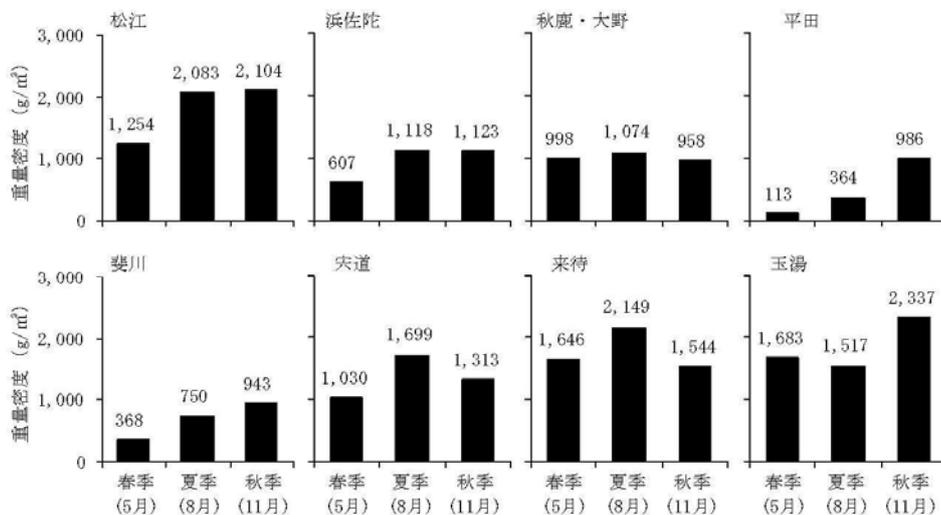


図7 1999年シジミ資源量調査における地区別シジミ重量密度

2. 大量へい死後のシジミ資源量の変化

大量へい死直前からのシジミ資源量の推移を図8に示した。

大量へい死により11,165トンと激減した資源量は、その後緩やかに回復し、2年後の1999年秋季(11月)には47,471トンまで増えているが、やや減少し2000年秋季(11月)には38,644トンになっていた。

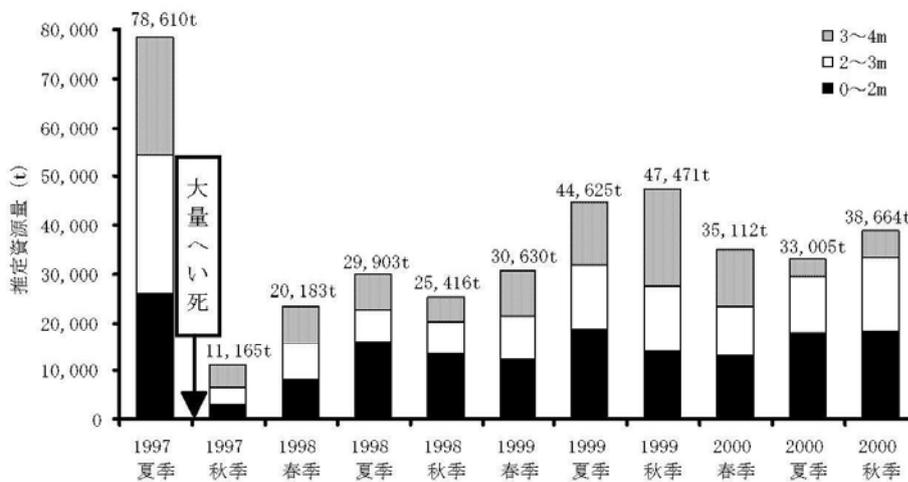


図8 大量へい死直前からのシジミ資源量の変化

次に大量へい死後のシジミ資源の状況を地区別に見るために、シジミの個体数密度と重量密度をそれぞれを地区

別に図9、10にまとめた。

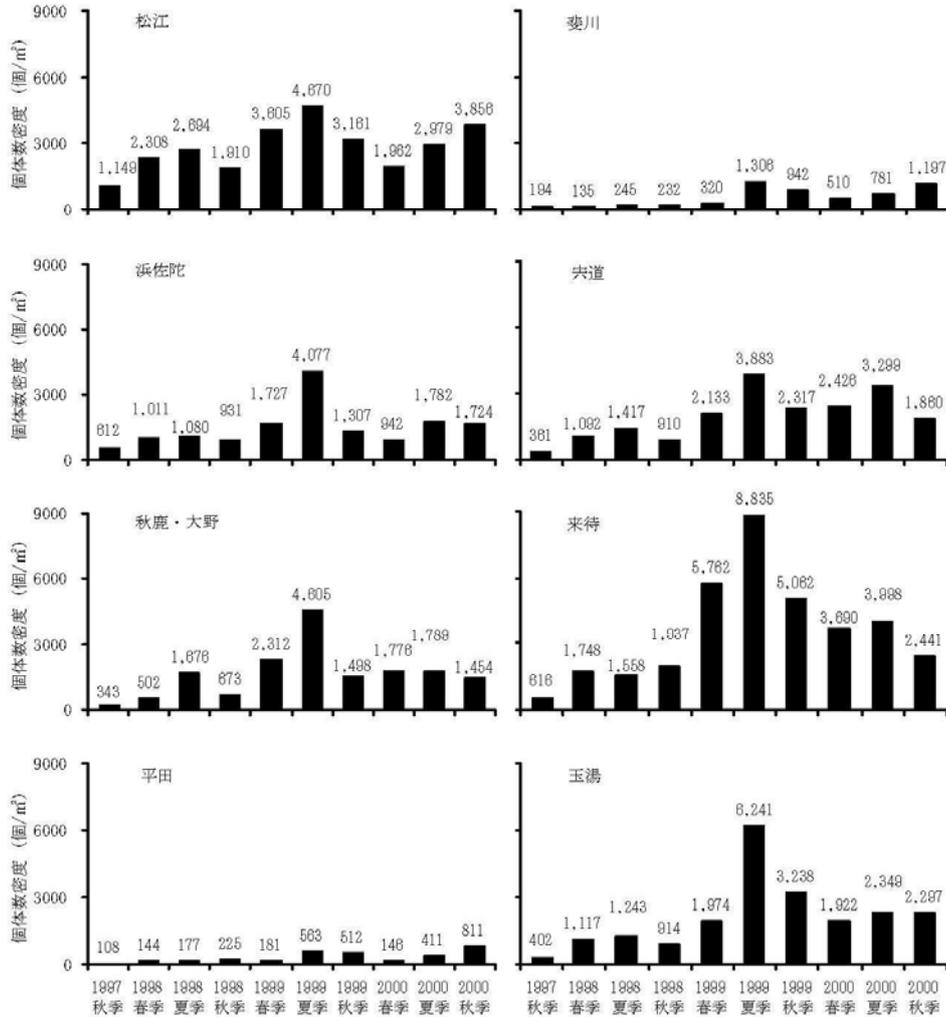


図9 大量へい死後のシジミ個体数密度の変化の地区別比較

シジミの個体数密度は、各地区で大量へい死直後に比べ増えているが、地区により大きな差があり、西部（平田、斐川）では、他の地区ほど多くはなっていない。

重量密度も、各地区で大量へい死直後に比べ増えているが、地区により大きな差があり、東部（松江）や湖南（来待、玉湯）では大きく増えているのに対し、西部（平田、斐川）や湖北（浜佐陀、秋鹿・大野）ではあまり増えていない。

【島根県水産技術センター提供】

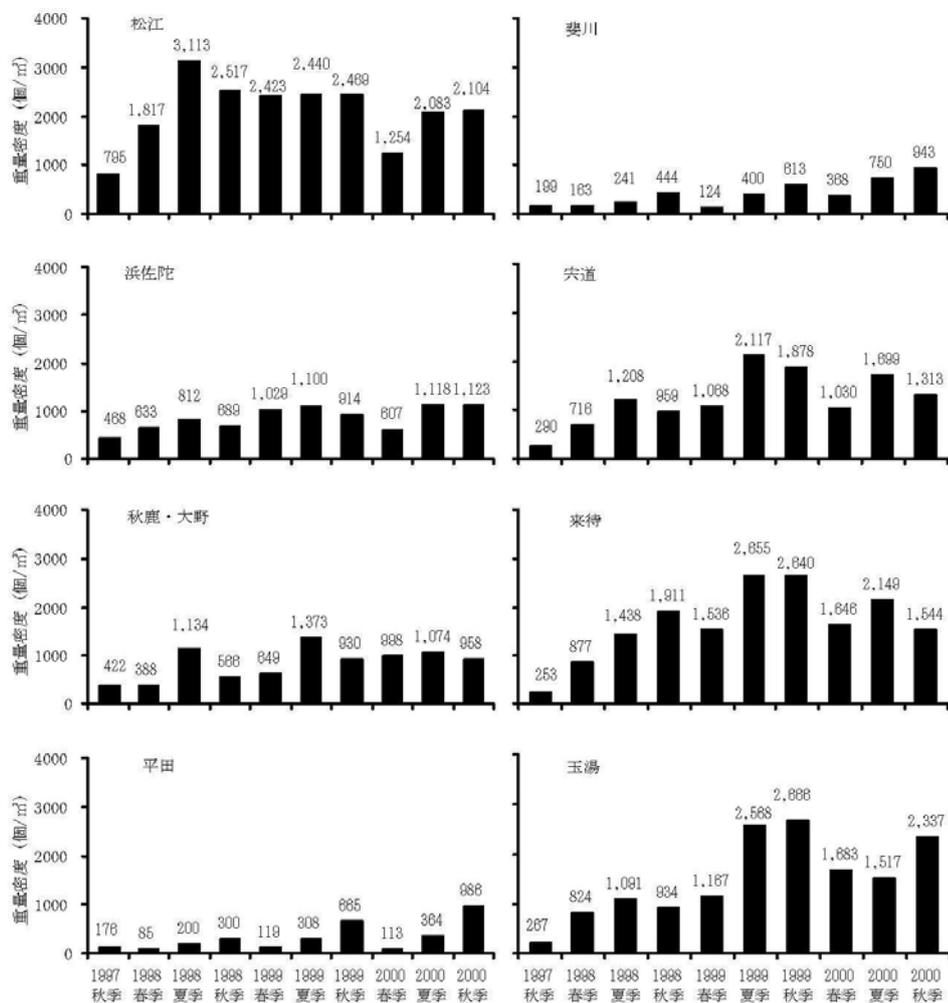


図10 大量へい死後のシジミ重量密度の変化の地区別比較

H12年 (7)

図 1.4.11 (7) 島根県シジミ資源量調査結果 (平成12年度)

【島根県水産技術センター提供】

宍道湖・中海水産振興対策検討調査事業

－有用水産動物生態調査（ヤマトシジミ）－

I 宍道湖におけるシジミ資源量調査

中村幹雄・大北晋也・原田茂樹

資源の動態を把握することは、漁業管理を行う上で基礎となることであり、動態を把握するためには、継続して調査を行う必要がある。そこで、本年（2001年）も引き続き資源量調査を行った。

方法

1. 調査時期と調査地点

調査は、2001年8月28・29日に、90地点で行った（図1）。ただしst.14、st.29の2地点は、底質条件が悪く、採泥できなかった。

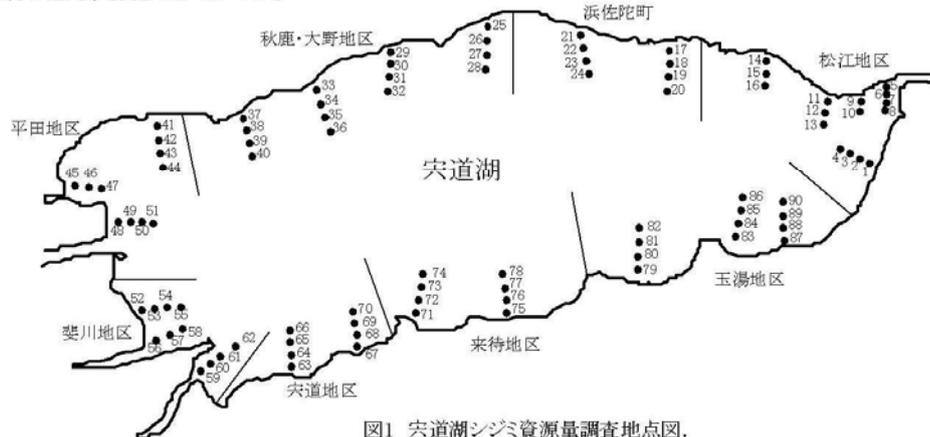


図1 宍道湖シジミ資源量調査地点図。

2. 調査方法

各調査地点において、ヤマトシジミの採集および底層水の水質の測定を行った。

シジミの採集は、スミス・マッキンタイヤ型採泥器を用い各地点2回、採集面積0.1m²の採泥を行った。このサンプル（スミスサンプルとする）からさらに着底稚貝用にコアサンプル（5×5cm）を2回とった。採集した底泥は試験場に持ち帰り、スミスサンプルは1mm目合いのフルイ、コアサンプルは0.063mm目合いのフルイを用いてソーティングを行った。コアサンプル内の殻長1mm以上の個体は、スミスサンプルに加えた。スミスサンプルは調査地点ごとに、ヤマトシジミの生貝、二枚（左右の殻がつながった貝殻で、最近死亡した個体と考えられるもの）、ガボ（殻が閉じているが、中に泥がつままったもの）を計数し、生貝の湿重量を測定した。コアサンプルは調査地点ごとに、生貝の個体数のみを計数した。

水質は、各地点の表層と底層の塩分、D₀、水温をhydrolabo社の水質計QUANTAで測定し、透明度、水深も同時に調べた。

H13年（1）

図 1.4.12（1） 島根県シジミ資源量調査結果（平成13年度）

3. 資源量の推定方法

資源量は、以下の手順で算出した。

- (1) 各調査地点のシジミの重量を1m²当たり（シジミ重量密度）に換算する。
- (2) 水深別*1（0～1m、1～2m、2～3m、3～4m）にシジミ重量密度の平均値を求める。
- (3) 水深別のシジミ重量密度の平均値に各水深の面積をかけ、水深別のシジミ総重量を求める。
- (4) 水深別のシジミ総重量に補正係数*2（1.2）をかけて、水深別の推定資源量を求める。
- (5) 水深別の推定資源量を合計し、宍道湖全体のシジミ資源量とする。

*1 調査は宍道湖の水位が高くなる8月に行っているため水深の補正のため、水深1.0～1.9mを1m級、2.0～2.9mを2m級、3.0～3.9mを3m級、4.0～4.9mを4m級とし、資源量の推定を行うときは、1m級のデータは水深0～1mのデータ、2m級のデータは水深1～2mのデータ、3m級のデータは水深2～3mのデータ、4m級のデータは水深3～4mのデータ、として扱った。

*2 補正係数は、底質に深く潜り、採泥器で採集されないシジミ個体を補正する値であり、求め方は以下の通りである。

採泥器の採泥面積（22.5×22.5センチ）と同じ大きさの鉄棒を用意し、採泥器で底泥を採ったその場所に鉄棒をはめ込み、その場所のさらに深いところに残存するシジミの個体数を調べ（3地点10回、計30回）、以下の式①でまず採集効率を求め、式②により補正係数を求めた。

$$\text{採集効率} = \text{採集数} / (\text{採集数} + \text{残存数}) \times 100 \quad \text{--- ①}$$

$$\text{補正係数} = 100 / \text{採集効率} \quad \text{--- ②}$$

結果と考察

1. 2001年資源量調査

(1) 個体数密度、重量密度、推定資源量

シジミの水深別個体数および重量を表1にまとめた。この表を元にグラフを作成し、各項目について結果を述べる。

表1 2001年調査から推定した水深別シジミ資源量。

a) 個体数					b) 重量				
水深 (m)	面積 (k m ²)	個体数密度 (個/m ²)	総個体数 (10 ³ 個)	推定個体数 (10 ³ 個)	水深 (m)	面積 (k m ²)	重量密度 (g/m ²)	総重量 (t)	推定資源量 (t)
0～1	1.5	4,591	6,886	8,263	0～1	1.5	2,456.5	3,684.8	4,421.8
1～2	5.5	5,810	31,953	38,344	1～2	5.5	2,611.7	14,364.3	17,237.2
2～3	6.6	5,085	33,560	40,272	2～3	6.6	1,811.5	12,418.0	14,901.6
3～4	11.3	1,311	14,814	17,777	3～4	11.3	533.5	6,028.5	7,234.2
合計	24.9		87,213	104,656	合計	24.9		36,496	43,795

水深別シジミ個体数密度（個/m²）を図2に、水深別シジミ重量密度を図3に示した。

個体数密度、重量密度ともに、全体的に見ると水深0～3mまでは大きな差はなく、3～4mだけ他より少なく1/5～1/4くらいの値になっている。水深0～3mまでは、1m²当たり約5,000個体、平均2kgを越えるシジミが生息していたが、水深3～4mでは1m²当たり1311個体、約0.5kgしか生息していなかった。

【島根県水産技術センター提供】

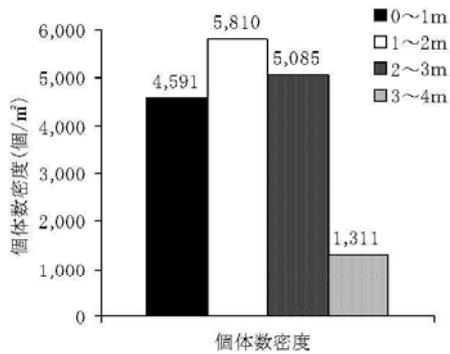


図2 水深別シジミ個体数密度。

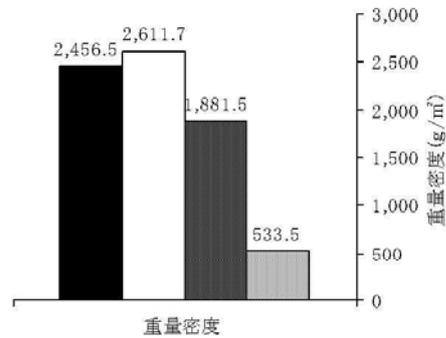


図3 水深別シジミ重量密度。

水深別の推定総個体数を図4に、推定資源量を図5に示した。

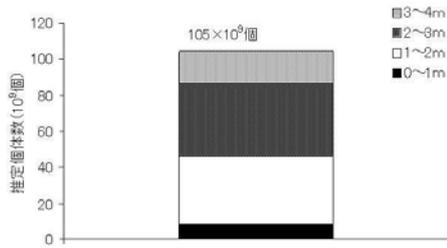


図4 シジミの推定総個体数。

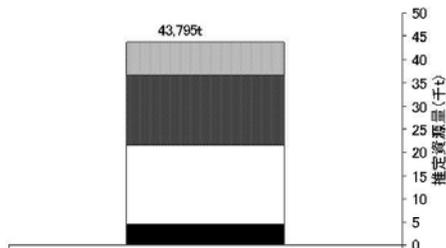


図5 シジミ推定資源量。

宍道湖に生息するシジミの推定総個体数は、約1,047億個体、推定資源量は43,795tであった。個体数・資源量ともに、水深0~1mが最も少なくなっているが、この差はその水深の面積の差を反映したものであり、図2、3で見たように密度では水深1~2mおよび2~3mと大きな差はなかった。

(2) 地区別比較

次にシジミの生息量を地区ごとにみるために、地区別のシジミ個体数密度と重量密度を表2、図6にまとめた。

シジミの個体数密度、重量密度は、地区によって大きく異なっていることがわかる。

個体数密度は、宍道湖東部（松江）、湖南（宍道、来待、玉湯）や湖北の秋鹿・大野では、高くなっているが、西部（平田、斐川）では低いになっている。湖北の浜佐陀はその中間くらいの値を示した。

重量密度は、東部、湖南で高く、西部で低くなっており、湖北はその中間くらいであった。

表4 2001年シジミ資源量調査における地区別シジミ個体数密度および重量密度。

地区	個体数密度 (個/m ²)	重量密度 (g/m ²)
松江	5,537	2,882
浜佐陀	3,359	1,404
秋鹿・大野	5,711	1,723
平田	1,192	716
斐川	1,749	917
宍道	4,600	2,003
来待	6,880	2,511
玉湯	4,313	2,533

H13年 (3)

図 1.4.12 (3) 島根県シジミ資源量調査結果 (平成13年度)

【島根県水産技術センター提供】

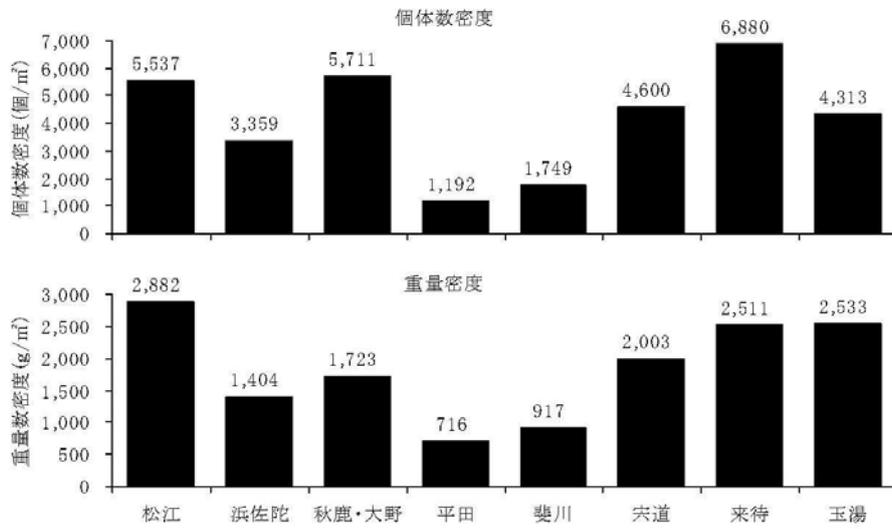


図6 1999年シジミ資源量調査における地区別シジミ個体数密度（上図）と重量密度（下図）。

(3) 稚貝

水深別の稚貝数密度および総稚貝数を表5にまとめ、図7、8に示した。

稚貝は水深1~2mで最も多く、1m²当たり95692個体生息していた。ついで0~1mで多く、水深2m以深ではかなり少なくなっていた。

表5. 水深別稚貝数密度および総稚貝数。

水深 (m)	面積 (k m ²)	稚貝数密度 (個/m ²)	総稚貝数 (10 ⁹ 個)
0~1	1.5	57,295	85.943
1~2	5.5	95,692	526.304
2~3	6.6	22,061	145.602
3~4	11.3	7,290	82.377
合計	24.9		840.226

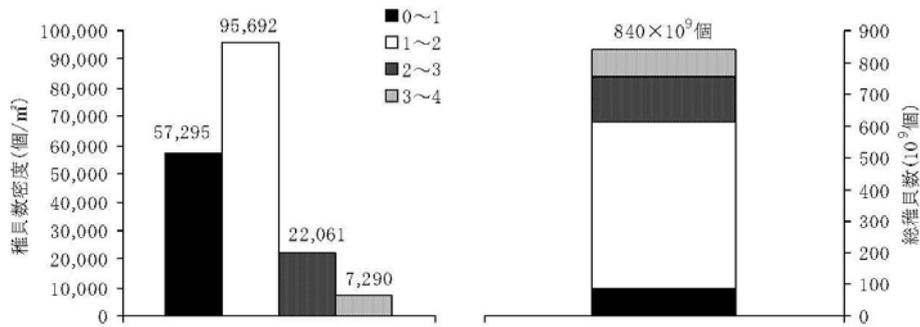


図7. 2001年シジミ資源量調査における水深別稚貝数密度（左図）および総稚貝数（右図）。

地区別の稚貝数密度を図8に示した。稚貝数が最も多かったのは、シジミの個体数および重量密度が平田に次いで低かった斐川であった。斐川から宍道湖を反時計回りに回るように、宍道、来待、玉湯、

H13年 (4)

図 1.4.12 (4) 島根県シジミ資源量調査結果（平成13年度）

【島根県水産技術センター提供】

松江、浜佐陀、秋鹿・大野、平田の順に稚貝数は減っていく。

宍道湖に大橋川を經由して遡上してきた中海の水は、湖南側へ流れていく。シジミの生息量が多い、東部・湖南で生まれた浮遊幼生が、この流れにのって、斐川で着底したと考えられる。斐川はシジミの生息量が少ないことから（図6）、着底後の減耗が非常に大きいことが伺える。

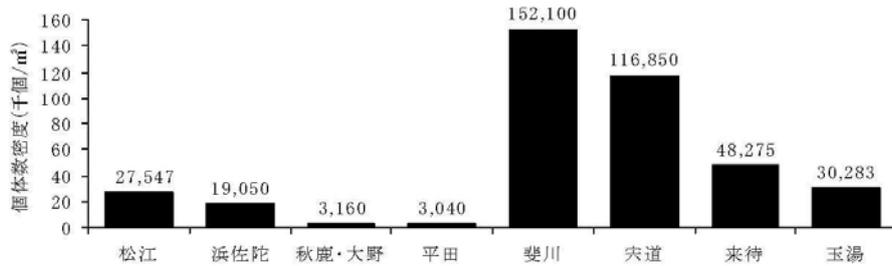


図8. 2001年シジミ資源量調査における地区別稚貝数密度。

2. 大量へい死後のシジミ資源量の変化

大量へい死直前からのシジミ資源量の推移を図9に示した。

大量へい死により11,165トンと激減した資源量は、その後緩やかに回復し、1999年秋季には47,471トンになった。2000年にはやや減少したが、それでも3万トン以上の資源量があり、2001年には43,795トンとまた増加している。

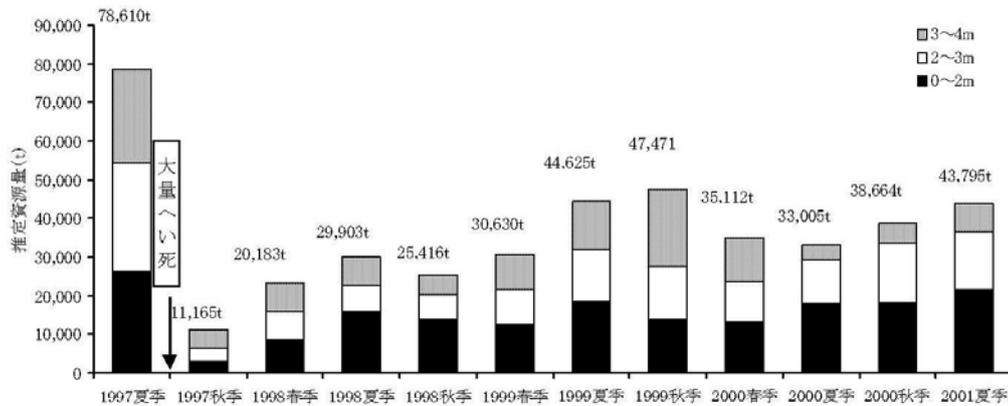


図9 大量へい死直前からのシジミ資源量の変化。

資源量は大量へい死後、増えてきてはいるが、増減の波がみられる。この増減が何に起因しているかは分からないが、この様に資源量に変化しているため、資源管理上そのときそのときの資源量を把握する必要があり、今後も継続して調査する必要がある。

H13年 (5)

図 1.4.12 (5) 島根県シジミ資源量調査結果 (平成13年度)

【島根県水産技術センター提供】

宍道湖・中海水産振興対策検討調査事業

—ヤマトシジミ資源量調査—

後藤悦郎・三浦常廣・大島和浩*・江角陽司・大北晋也

ヤマトシジミの漁業管理を行う上で、資源量及びその動態を把握することは不可欠である。また、より正確な資源動態を把握するためには、継続的な調査を行う必要がある。そこで、平成9年度より継続実施している資源量調査を本年も実施した。

方 法

1. 調査時期とサンプル採集地点

調査は、春季—6月4～5日及び秋季—11月11～12日の年2回実施した。

調査実施地点を図1に示す。

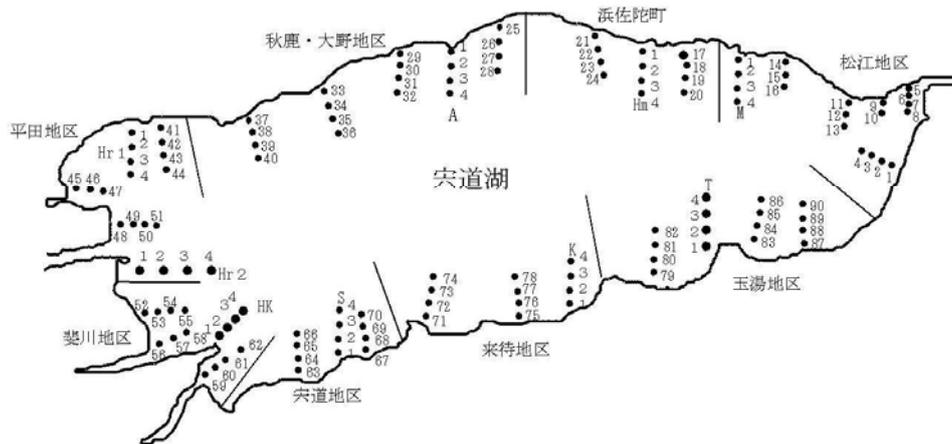


図1 資源量調査地点

宍道湖を松江地区、浜佐陀地区、秋鹿大野地区、平田地区、斐川地区、宍道地区、来待地区及び玉湯地区の8地区に区割し、各々の地区について岸から沖に向けて調査ラインを3～5本設定し、各々の調査ラインに沿って水深1m間隔で調査地点を4点づつ設定した。ただし、春季のSt52、Hm-1、Hm-2、Hk-1、M-1、秋季のHm-1、Hm-2、Hk-1、M-1、M-2は水深が浅すぎて調査船が進入できないなどで採泥不能であったため調査地点から除いた。

* 東京水産大学

H14年 (1)

図 1.4.13 (1) 島根県シジミ資源量調査結果 (平成14年度)

【島根県水産技術センター提供】

2. 調査方法

図1の各調査地点において、ヤマトシジミの採集および水質の測定を行った。

シジミの採集は、スミス・マッキンタイヤ型採泥器（開口部22.5 cm×22.5 cm）を用い各地点2回、採集面積で0.1m²の採泥を行い、次に泥中からソーティングにより抽出した。ソーティング作業は調査船上で行う1次ソーティングと1次ソーティングした試料を試験場に持ち帰って行う2次ソーティングに分けられる。1次ソーティングについては、春季は目合1mmのフルイを、秋季は目合2mmのフルイを使用した。2次ソーティングについては春季、秋季とも目合2mmと4mmの2種類のフルイを重ねて使用し実施した。得られた最終的な試料は直ちに10%中性ホルマリンを使用して固定した。

上述により採集された試料は調査地点ごとに、春季はシジミの生貝、二枚殻（蝶番が未分離で左右の殻が繋がった貝—比較的近時に死亡した個体と推定される）、ガボ（殻が閉じているが、中に水または泥が詰まったもの—比較的近時に死亡した個体と推定される）を計数し、生貝の湿重量、殻長を測定した。秋季はシジミ生貝のみについて個体数、湿重量、殻長を測定した。また、St6、St22、St34、St42、St56、St64、St76、St84の8地点（各地区につき1地点）のシジミは殻長、体重以外に殻高及び殻幅も測定を行った。

水質は、各地点の表層と底層の塩分、D₀、水温についてhydroLabo社の多項目水質計QUANTAで測定し、同時にセッキ透明度板を用いて透明度を調べた。

3. 資源量推定方法

資源量の動態を正確に把握するためには、統一された調査方法でデータ処理を続けていくことが求められるが、平成9年度からの本調査は年度によって調査方法やデータの解析方法がまちまちなところのみられた。このため、より正確な資源量を把握するために最適と思われる手法を検討した結果、平成11年度の方法をベースとしながら、それに改良を加えることとした。

資源量の推定手順を下記に示した。

- (1) 各調査地点を水深層別に区分する。水深層としては0.0~2.0m、2.1~3.0m、3.1~4.0mの3層とした。調査地点の水深は、調査日毎の水位の変動の影響をなくするため、魚探水深の生データを東京湾標準水位（TP補正水深）を用いて補正して資源量推定計算に使用した。なお、4.1m以深の水深については、シジミ生息量が非常に少ないので計算に入れないこととした。（*1）
- (2) 各調査地点のシジミ重量を1m²あたりに換算した。（0.1m²×10）
- (3) 水深層別にシジミ重量密度の平均値を求めた。
- (4) シジミ重量密度の平均値に各水深層の面積（*2）を乗じて水深層別のシジミ重量を求めた。なお、今年度は面積値を計算し直したので、昨年度以前に使用した面積値とは若干異なっている。
- (5) 各水深層のシジミ重量を採泥器の採集効率（*3）で除して水深層別の資源量を求めた。
- (6) 各水深層の資源量を合計して宍道湖全体のシジミ資源量とした。

*1 水深層別に区分した地点数は表1のようになる。TP補正後に水深4.1m以深を資源量の計算から除いた結果、実際に計算に用いた合計地点数は春季が113点、秋季が92点となった。

*2 資源量計算に使用した各水深層の面積は表1の面積値を使用した。

*3 スミス・マッキンタイヤ型採泥器による採泥ではシジミの潜砂等により採泥範囲内に生息している全数を完全に採集することが出来ないため、より正確な生息密度を求めるにはどのくらいの割合で採集されているかを調べ補正する必要がある。採集したシジミ個体数及び重量をこの値で除すと実際の採泥範囲内に生息している個体数及び重量を推定することが出来る。調査方法は採泥器の採泥面積（22.5×22.5cm）と同じ大きさの高

H14年（2）

図 1.4.13 (2) 島根県シジミ資源量調査結果（平成14年度）

【島根県水産技術センター提供】

さ 50 cmの鉄棒を用意し、採泥器で底泥を採取した後の同一場所にこの鉄棒を差し込み、採泥器で取り残した鉄棒内のシジミを全てエアークリフトにより採集した。この作業を1地点につき10回行い、各回の採泥器で採集したシジミとエアークリフトで採集したシジミの合計個数に対する採泥器で採集したシジミ個数の割合の平均値を算出して求めた。

表1 平成14年度調査地点

地 区	水深層 (m)	春季調査		秋季調査		現存量計算 面積 (k m ²)
		調査実施 地点数	現存量計算 対象地点数	調査実施 地点数	現存量計算 対象地点数	
松江地区	0.0～2.0	10	10	5	5	
	2.1～3.0	6	6	5	5	
	3.1～4.0	2	2	5	5	
	4.1～	1	0	3	0	
浜佐陀地区	0.0～2.0	4	4	2	2	
	2.1～3.0	2	2	2	2	
	3.1～4.0	4	4	3	3	
	4.1～	0	0	3	0	
秋鹿大野地区	0.0～2.0	8	8	5	5	
	2.1～3.0	5	5	5	5	
	3.1～4.0	6	6	5	5	
	4.1～	1	0	5	0	
平田地区	0.0～2.0	9	9	5	5	
	2.1～3.0	6	6	5	5	
	3.1～4.0	4	4	5	5	
	4.1～	0	0	4	0	
斐川地区	0.0～2.0	5	5	2	2	
	2.1～3.0	2	2	4	4	
	3.1～4.0	4	4	4	4	
	4.1～	2	0	4	0	
宍道地区	0.0～2.0	4	4	3	3	
	2.1～3.0	5	5	3	3	
	3.1～4.0	1	1	3	3	
	4.1～	2	0	3	0	
来待地区	0.0～2.0	4	4	3	3	
	2.1～3.0	4	4	3	3	
	3.1～4.0	3	3	3	3	
	4.1～	1	0	3	0	
玉湯地区	0.0～2.0	7	7	4	4	
	2.1～3.0	4	4	4	4	
	3.1～4.0	4	4	4	4	
	4.1～	1	0	4	0	
宍道湖全体	0.0～2.0	51	51	29	29	7.1
	2.1～3.0	34	34	31	31	6.7
	3.1～4.0	28	28	32	32	10.3
	4.1～	8	0	29	0	-
	合計	121	113	121	92	24.1

H14年 (3)

図 1.4.13 (3) 島根県シジミ資源量調査結果 (平成14年度)

【島根県水産技術センター提供】

結果及び考察

春季調査の結果を表2に、秋季調査の結果を表3に示した。春季の資源量は重量41,769トン、個体数569億個体となった。また、秋季の資源量は重量76,875トン、個体数752億個体となり、春季から秋季にかけて重量で184%、個体数で132%増加した。

表2 春季調査結果

資源重量					資源個体数						
深度	標本数	平均密度 (g/m ²)	面積 (km ²)	総重量 (t)	推定重量 (t)	深度	標本数	平均密度 (ind./m ²)	面積 (km ²)	総個体数 (10 ⁸ ind.)	推定個体数 (10 ⁸ ind.)
0~2m	51	2,049.5	7.1	14,551.6	20,372.2	0~2m	51	2,394	7.1	16,995	23,794
2~3m	34	1,363.4	6.7	9,134.8	12,788.7	2~3m	34	2,110	6.7	14,137	19,792
3~4m	28	597.0	10.3	6,149.0	8,608.5	3~4m	28	925	10.3	9,531	13,344
計	113	1,238.0	24.1	29,835.3	41,769.4	計	113	1,687	24.1	40,664	56,929

表3 秋季調査結果

資源重量					資源個体数				
深度	平均密度 (g/m ²)	面積 (km ²)	総重量 (t)	推定重量 (t)	深度	平均密度 (ind./m ²)	面積 (km ²)	総個体数 (10 ⁸ ind.)	推定個体数 (10 ⁸ ind.)
0~2m	2,524.6	7.1	17,924.6	25,094.5	0~2m	2,590	7.1	18,387	25,741
2~3m	2,596.1	6.7	17,393.7	24,351.1	2~3m	2,466	6.7	16,525	23,135
3~4m	1,902.2	10.3	19,592.4	27,429.4	3~4m	1,826	10.3	18,807	26,330
計	2,278.5	24.1	54,910.7	76,875.0	計	2,229	24.1	53,719	75,207

水深層別の重量密度を図2、水深層別の重量を図3、水深層別の個体数密度を図4、水深層別の個体数を図5に示した。

まず、春季の1nfあたりの平均生息重量密度は、0.0~2.0mで2050g、2.1~3.0mで1363g、3.1~4.0mで597gとなり、0.0~4.0m全体では1238gであった。同じく1nfあたり平均生息個体数密度は0.0~2.0mで2394個体、2.1~3.0mで2110個体、3.1~4.0mで925個体となり、0.0~4.0m全体で1687個体ではあった。

一方、秋季の重量密度は、0.0~2.0mで2525g、2.1~3.0mで2596g、3.1~4.0mで1902g、0.0~4.0m全体で2279gであった。同じく個体数密度は0.0~2.0mで2590個体、2.1~3.0mで2466個体、3.1~4.0mで1826個体、0.0~4.0m全体で2229個体となった。

次に、春季の全体の資源量に占める水深層別重量は、0.0~2.0mに20,372トンと全体の41.8%が生息し、次いで2.1~3.0mが12,789トン(30.6%)、3.1~4.0mが8,609トン(20.6%)の順であった。個体数は、0.0~2.0mが237億個(41.8%)、2.1~3.0mが198億個(34.7%)、3.1~4.0mが133億個(23.4%)の順であった。

一方、秋季の重量は、0.0~2.0mが25,094トン(32.6%)、2.1~3.0mが24,351トン(31.7%)、3.1~4.0mが27,429トン(35.7%)となった。個体数は、0.0~2.0mが257億個(34.2%)、2.1~3.0mが231億個(30.8%)、3.1~4.0mが263億個(35.0%)となり、秋季は3層とも同程度の生息重量、生息個体数となった。

次に、春季から秋季にかけての重量増加率は、0.0~2.0mで123%、2.1~3.0mが190%、3.1~4.0mが319%、0.0~4.0m全体で184%であった。また、個体数増加率は0.0~2.0mで108%、2.1~3.0mが117%、3.1~4.0mが197%、0.0~4.0m全体で132%であった。重量、個体数ともに春季から秋季にかけて特に3.1~4.0m層での増加が著しい結果となった。

H14年(4)

図 1.4.13 (4) 島根県シジミ資源量調査結果(平成14年度)

【島根県水産技術センター提供】

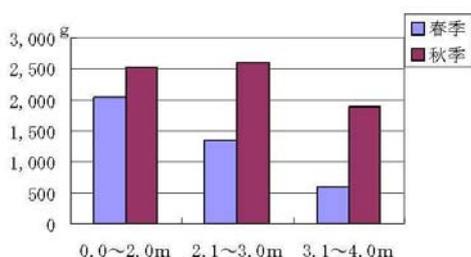


図2 水深層別重量密度

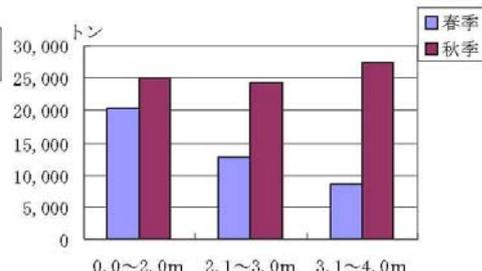


図3 水深層別重量

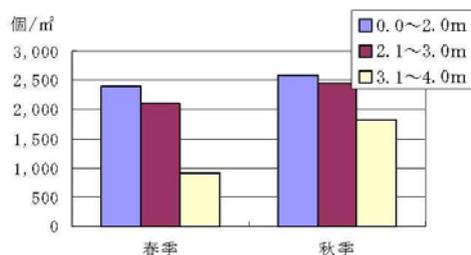


図4 水深層別個体数密度

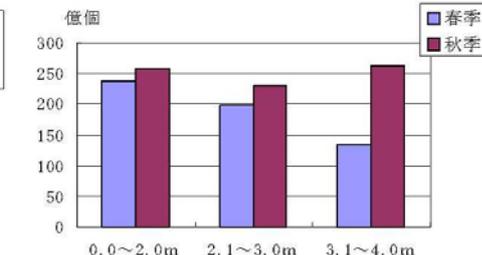
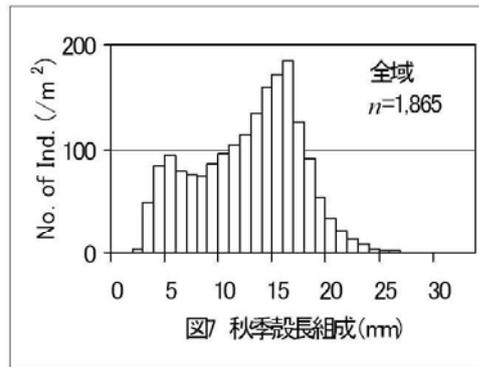
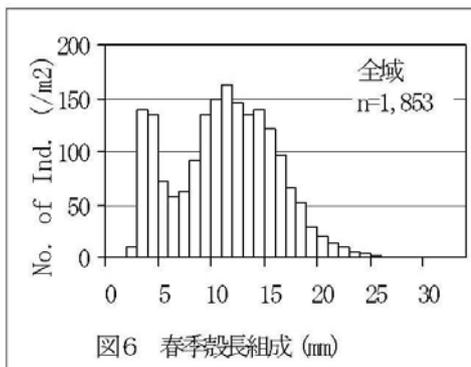


図5 水深層別個体数

春季の全域の1㎡あたり平均殻長組成を図6に、また、秋季の全域の1㎡あたり平均殻長組成を図7に示した。春季には殻長4mm付近と12mm付近をモードとした2つの峰が認められた。一方、秋季には6mm付近に低く漁獲サイズである殻長17mm付近に高く2つの峰が認められたが、これは春季の2つの峰が成長により移行したものと思われる。漁獲サイズとなる殻長17mm以上の貝が全体に占める比率は、春季では全域平均で10.8%、秋季では全域平均で19.1%と春季の2倍近くに増加した。



H14年 (5)

図 1.4.13 (5) 島根県シジミ資源量調査結果 (平成14年度)

【島根県水産技術センター提供】

春季の地区別の殻長組成を図8に示した。

春季の地区別では8地域とも全域と同様に殻長4mm付近と12mm付近をモードとした2つの峰が認められたが、生息密度の高い松江地区、来待地区、玉湯地区、宍道地区においてよりはっきりとした傾向が認められた。漁獲サイズである殻長17mm以上の貝が全体に占める比率は高い順に、玉湯地区15.1%、松江地区13.6%、斐川地区10.4%、浜佐陀地区9.1%、秋鹿・大野地区8.0%、平田地区8.0%、宍道地区8.0%、来待地区7.9%であった。

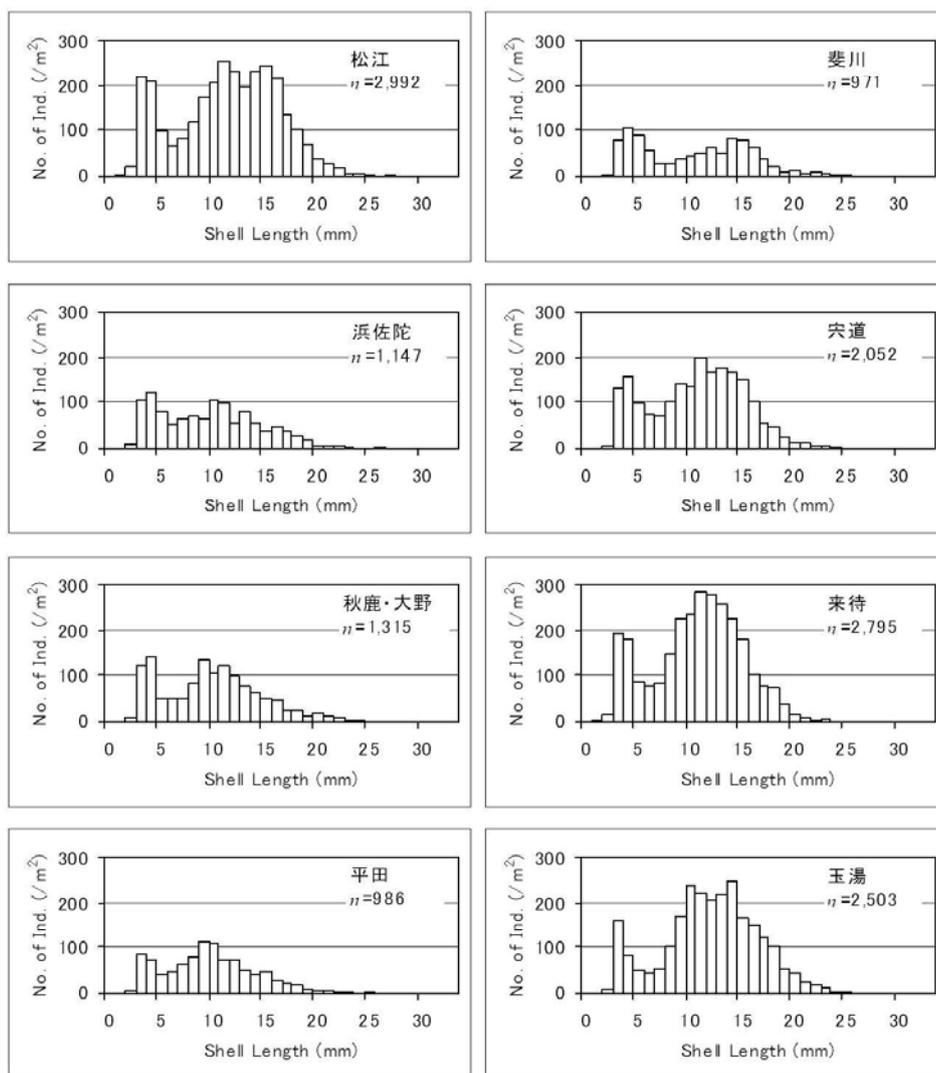


図8 地区別殻長組成 (春季)

H14年 (6)

図 1.4.13 (6) 島根県シジミ資源量調査結果 (平成14年度)

【島根県水産技術センター提供】

秋季調査の地区別の殻長組成を図9に示した。

秋季調査の漁獲サイズの殻長 17mm以上の貝が全体に占める比率は地区別の高い順に、斐川地区 44.6%、玉湯地区26.1%、松江地区 19.8%、来待地区 17.2%、宍道地区 16.6%、秋鹿・大野地区 14.8%、平田地区 14.8%、浜佐陀地区 12.8%となった。

8 地区とも春季に比較して漁獲サイズの殻長 17mm以上の貝の占める比率が増加しているが、特に斐川地区が4倍以上の増加を示した。この地区は春季に認められた殻長 5mm以下の峰が消滅し、殻長 10mm以下の比率が非常に低くなったことが他の地区と異なっていた。

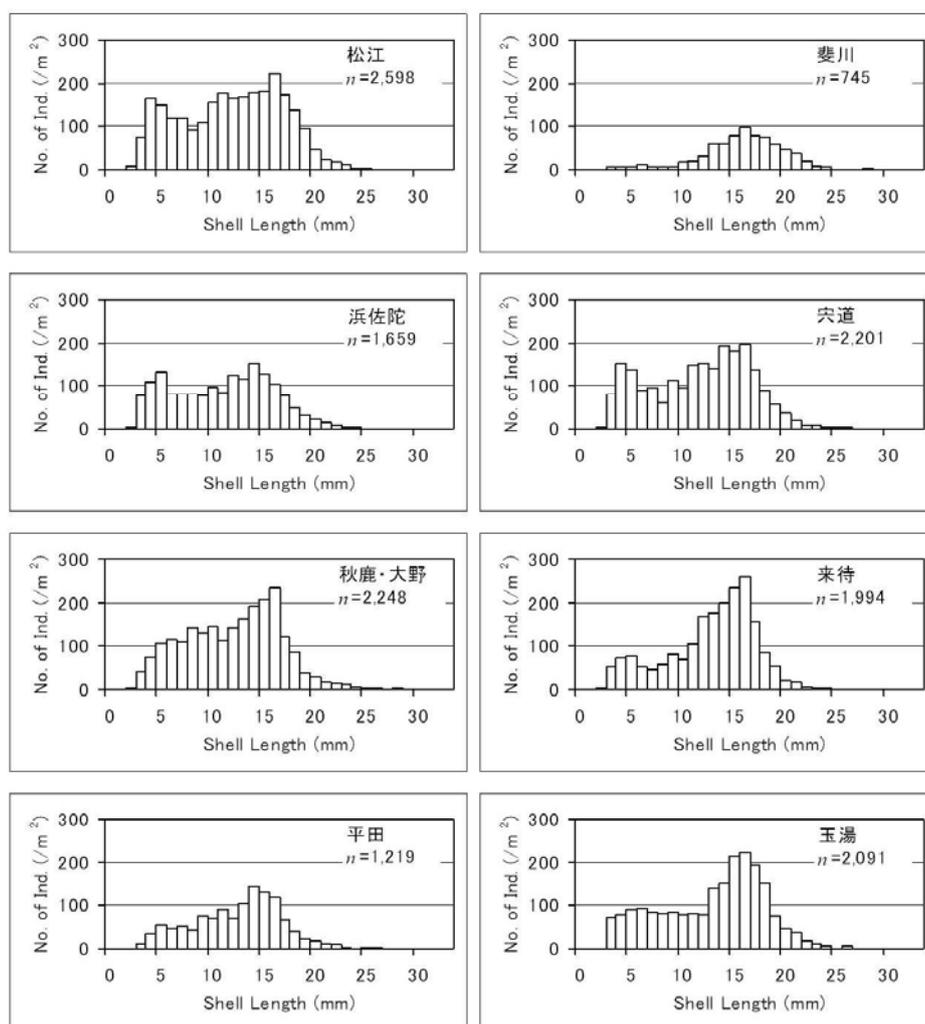


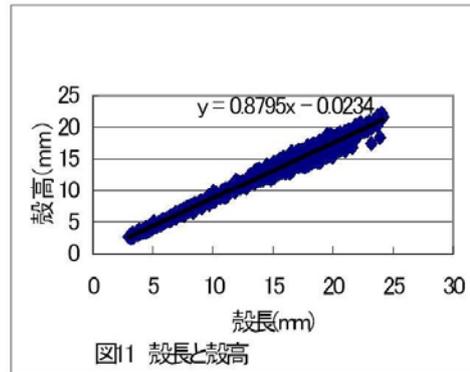
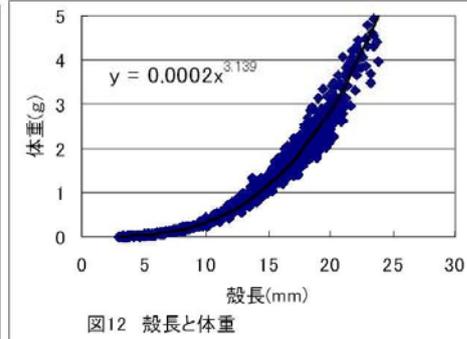
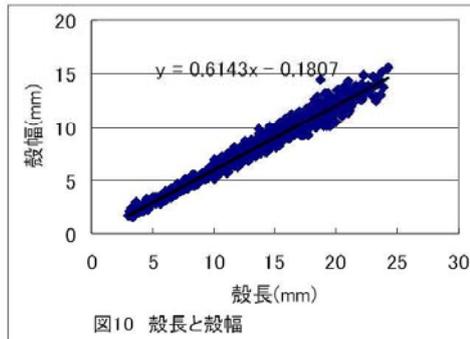
図9 地区別殻長組成 (秋季)

H14年 (7)

図 1.4.13 (7) 島根県シジミ資源量調査結果 (平成 14 年度)

【島根県水産技術センター提供】

秋季調査における、St6、St22、St34、St42、St56、St64、St76、St84の8地点（各地区につき1地点）で測定した殻長、体重、殻高及び殻幅の結果をまとめて殻長と殻幅の関係を図10に、殻長と殻高の関係を図11に、殻長と体重の関係を図12に記した。



殻長と殻幅については $Y=0.6143X-0.1807$ の関係式が得られた。殻長と殻高については $Y=0.8795X-0.0234$ の関係式が得られた。殻長と体重については $Y=0.0002X^{3.139}$ の関係式が得られた。

また、春季調査で実施した生貝と二枚殻（蝶番が未分離で左右の殻がつながった貝—比較的近時に死亡した個体と推定される）、ガボ（殻が閉じているが、中に水または泥がたまつたもの—比較的近時に死亡した個体と推定される）の計数を行い、生貝の比率（=生貝数/（生貝数+二枚殻数+ガボ数） $\times 100\%$ ）を算出した。結果を図13に示した。ガボは生貝と一緒に採集されるため出荷前に手で選別して除去する必要がある。この比率が多くなると選別に時間を相当浪費することとなり、はなはだしい場合は魚場としての利用価値がなくなることがある。また、二枚殻を含む死殻が湖底に多数累積されると操業も困難になる上、シジミの潜砂が阻害されるなど生息環境上も好ましくないことが予想される。

生貝の比率は全域で88%、地区別では、秋鹿・大野80%、平田84%、浜佐陀85%と湖北側での生貝比率が低い傾向であった。

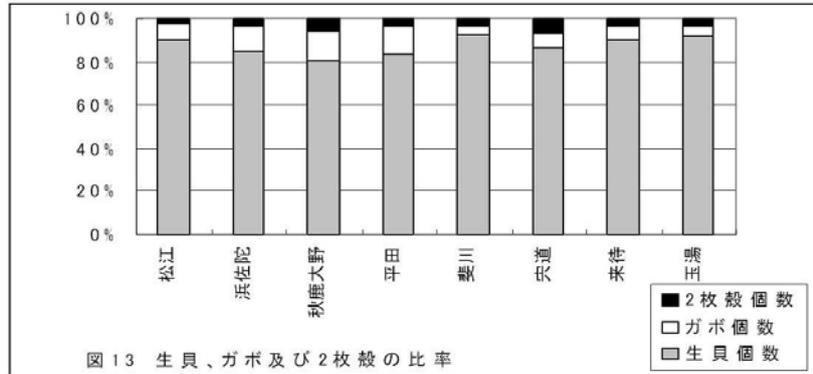
ガボの比率は全域で8%、地区別では、秋鹿・大野13%、平田13%、浜佐陀11%と生貝とは逆に湖北側で比率が高い傾向にあった。比率の低い地区は斐川4%、来待5%、玉湯5%等であった。

H14年 (8)

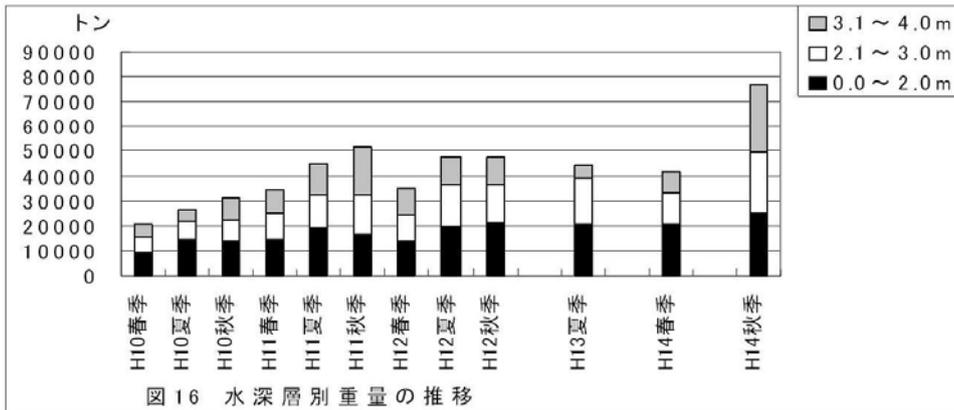
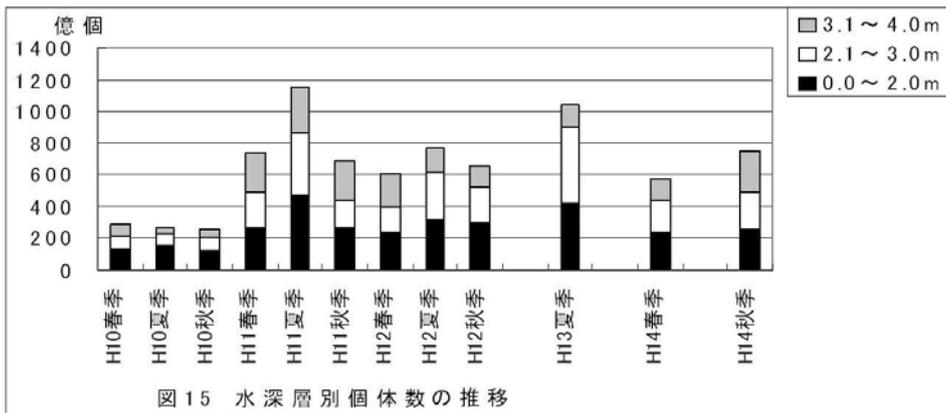
図 1.4.13 (8) 島根県シジミ資源量調査結果（平成14年度）

【島根県水産技術センター提供】

2枚殻の比率は全域で4%であった。高い地区は、秋鹿・大野6%、宍道6%、低い地区は、松江2%、平田3%、玉湯3%であった。



資源量の水深層別経年変化を示した。図15が個体数の推移、図16が重量の推移である。



H14年 (9)

図 1.4.13 (9) 島根県シジミ資源量調査結果 (平成14年度)

【島根県水産技術センター提供】

水深層別に見るとどの水深層でも過去の調査と比較して最も多い結果となっているが、2.1m～3.0mと3.1～4.0m層で他の年と比較して特に多くなっていたのが特徴的であった

最後に、宍道湖全体の資源量の経年変化について述べる。図14は平成9年度からの調査結果を、3の項で記載した資源量推定方法によって再度計算直して表示したものである。

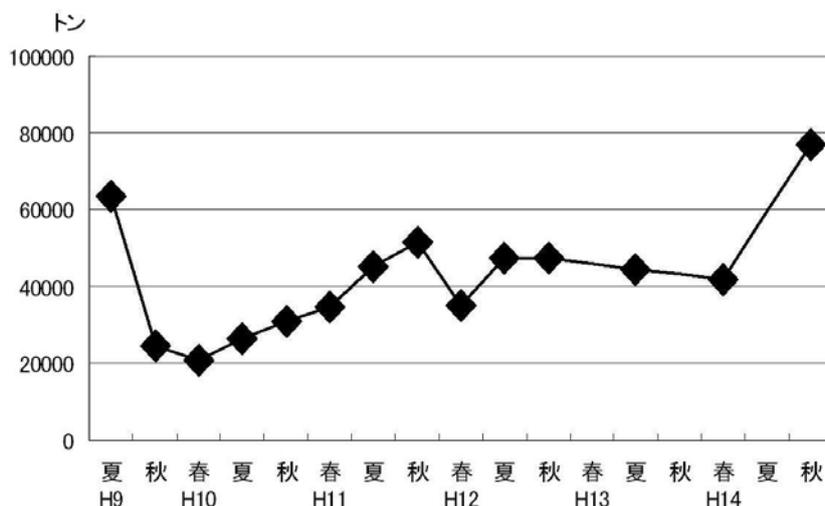


図14 推定現存量の経年変化

平成9年夏季の資源量は6万3千トンと高い水準にあったが、7月から9月に発生した大量のへい死によって平成10年の春季には約2万トンに激減した。その後回復傾向を示し、平成10年秋季には3万1千トン、平成11年秋季には5万1千トンとなった。その後平成12年度、13年度は横ばいで推移していたが、平成14年度は急増し7万7千トンになった。資源量増加の原因は、シジミの成育環境が良好で成長、生残率も良く、春季12mmにあった高いモードが秋季に16mmまで移行したことが主因と思われる。

今後の課題及び取り組み

1. より正確に資源量を把握するために、採集効率調査を資源量調査の直前に実施する。また、採集地点の水深の偏りを防ぐために乱数表の利用を図る。
2. これらの調査研究結果が実際の漁業管理のなかで有効に活用されるためには、迅速に結果を出し提供することが求められる。このため、まずは、粗計算ではあるが、全体重量に占める比率が低い小型貝を除いて大型貝だけで計算を行い、この結果をできるだけ早く公表するように努める。
3. 資源量が平成9年の大量のへい死以前のレベル以上に回復したことから、ヤマトシジミのへい死が再び起こりうる可能性が考えられるため、シジミや生息環境の現状把握や監視体制の強化を図る。

H14年 (10)

図 1.4.13 (10) 島根県シジミ資源量調査結果 (平成14年度)

【島根県水産技術センター提供】

ヤマトシジミ資源量調査

(宍道湖・中海水産振興対策検討調査事業)

後藤悦郎・三浦常廣・江角陽司・大北晋也

1. 研究目的

ヤマトシジミ（以下「シジミ」という）の漁業管理を行う上で、資源量及びその動態を把握することは不可欠である。また、より正確な資源動態を把握するためには、継続的な調査を行う必要がある。そこで、平成9年度より実施している資源量調査を本年も継続実施した。

2. 調査方法

調査は、春季（6月4～5日）及び秋季（10月8～9日）の年2回実施した。調査実施地点を図1に示す。

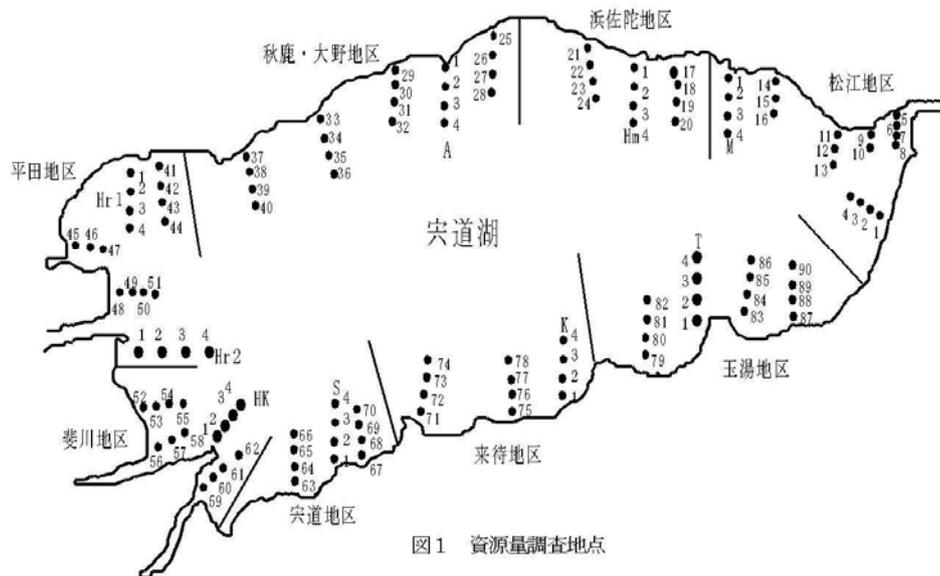


図1 資源量調査地点

宍道湖を松江地区、浜佐陀地区、秋鹿・大野地区、平田地区、斐川地区、宍道地区、来待地区及び玉湯地区の8地区に区割り、各々の地区について岸から沖に向けて調査ラインを3～5本設定し、各々の調査ラインに沿って水深1m間隔で調査地点を4点ずつ、湖全体で126点設定した。ただし、春季のSt. M-1、Hm-1、秋季のSt. 59、Hm-1、M-1は水深が浅すぎて調査船が進入できなかったため調査できなかった。

シジミの採取は、スミス・マッキンタイヤ型採泥器（開口部22.5cm×22.5cm）を用い、各地点2回、採取面積で0.1㎡の採泥を行い、次に泥中からソーティングにより抽出した。ソーティング作業は調査船上で行う1次ソーティングと1次ソーティングした試料を試験場に持ち帰って行う2次ソーティングに分けられる。春季及び秋季とも1次ソーティングについては目合2mmのフルイを使用し、2次ソーティングについては目合2mm、4mm、8mmの3種類のフルイを使用して行った。

H15年（1）

図 1.4.14（1） 島根県シジミ資源量調査結果（平成15年度）

【島根県水産技術センター提供】

ソーティング方法で昨年度と変えた点は、今年度から資源量の概算値速報を得るために8mmフルイを加えた点である。昨年度までは、1次、2次ソーティングとも1~2mmの小さい目合のフルイのみを使用して全てのシジミを計測した後に重量も含めた資源量を計算していた。しかし、小型のシジミは資源量に占める重量割合が小さい反面、個体数が多くて測定に非常に時間を要し、調査実施後3ヶ月以上経過してから漁業者に資源量の概要を報告していた。そこで今年度から8mmフルイを使用して地点毎に残存した大型シジミ(殻長約12mm以上)の個体数と重量を優先的に測定することとした。これにより大まかな資源量を調査実施後2~3週間程度で漁業者に速報し、資源管理等に役立ててもらうことが可能となった。8mmフルイを通過した小型のシジミは10%中性ホルマリンで固定し、後日、個体数・重量・殻長の測定を行い、詳細な資源量の推定に用いた。

また、St. 6、St. 22、St. 34、St. 42、St. 56、St. 64、St. 76、St. 84の8地点(各地区につき1地点)のシジミは殻長、体重以外に殻高及び殻幅も加え詳細な測定を行った。

水質はシジミ採取にあわせ、各調査地点の表層と底層の塩分・DO・水温についてHydrolab社の多項目水質計QUANTAで測定し、同時にセッキ透明度板を用いて透明度を調べた。

資源量の推定手順をまとめて下記に示した。

- (1) 各調査地点を水深層別に区分する。水深層としては0.0~2.0m、2.1~3.0m、3.1~4.0mの3層とした。
調査地点の水深は、調査日毎の水位の変動の影響をなくするため、魚探水深の生データを東京湾標準水位(TP補正水深)を用いて補正して資源量推定計算に使用した。なお、実際には4.1m以深にもシジミは生息しているが、生息量は非常に少ないので計算に入れないこととした。(※1)
- (2) 各調査地点のシジミ個体数・重量を1㎡(0.1㎡×10)あたりに換算した。
- (3) 水深層別にシジミ個体数・重量密度/㎡の平均値を求めた。
- (4) シジミ個体数・重量密度/㎡の平均値に各水深層の面積(※2)を乗じて水深層別のシジミ個体数・重量を求めた。
- (5) 各水深層のシジミ個体数・重量を採泥器の採取効率(※3)で除して水深層別の資源量(個体数・重量)を求めた。
- (6) 各水深層の資源量を合計して宍道湖全体のシジミ資源量とした。

※1 水深層別に区分した地点数は表1のようになる。

※2 資源量計算に使用した各水深層の面積は表1の面積値を使用した。

※3 6月3日にスミス・マッキンタイヤ型採泥器で採泥範囲内に生息するシジミをどのくらいの効率でサンプリングしているか調査した。調査場所は松江(St. 3)、秋鹿・大野(St. 31)、斐川(St. 57)、来待(St. 76)である。調査方法は採泥器の採泥面積(22.5cm×22.5cm)と同じ大きさの高さ50cmのステンレス枠を用意し、採泥器で底泥を採取した後の同一場所に差し込み、採泥器で取り残したステンレス枠内のシジミを全てエアリーフトにより採取した。この作業を1地点につき10回行い、各回の採泥器で採取したシジミとエアリーフトで採取したシジミの合計個数に対する採泥器で採取したシジミ個数の割合の平均値を算出して求めた。

H15年(2)

図 1.4.14 (2) 島根県シジミ資源量調査結果(平成15年度)

表1 調査地点

地区	水深層 (m)	春季調査 地点数	秋季調査 地点数	面積 (km ²)
松江	0.0~2.0	4	5	1.6
	2.1~3.0	6	6	1.1
	3.1~4.0	9	8	2.7
浜佐陀	0.0~2.0	2	2	0.6
	2.1~3.0	3	3	0.4
	3.1~4.0	6	6	0.8
秋鹿大野	0.0~2.0	5	4	1.3
	2.1~3.0	5	6	1.3
	3.1~4.0	10	10	1
平田	0.0~2.0	5	5	1.6
	2.1~3.0	5	5	1.3
	3.1~4.0	9	9	2.3
斐川	0.0~2.0	4	3	0.3
	2.1~3.0	4	4	0.2
	3.1~4.0	7	7	1.5
宍道	0.0~2.0	3	3	0.4
	2.1~3.0	3	3	0.6
	3.1~4.0	6	6	0.2
来待	0.0~2.0	3	3	0.6
	2.1~3.0	3	3	0.9
	3.1~4.0	6	6	0.5
玉湯	0.0~2.0	4	4	0.7
	2.1~3.0	4	4	0.9
	3.1~4.0	8	8	1.3
合計	0.0~2.0	30	29	7.1
	2.1~3.0	33	34	6.7
	3.1~4.0	61	60	10.3
	0.0~4.0	124	123	24.1

3. 研究結果と考察

6月3日に湖内4ヶ所で行った採取効率試験の結果、St.3が59.5%、St.31が71.4%、St.57が78.7%、St.76が74.1%で生息量の平均69.9%を採泥器で採取していることが判明し、取り残しも含めた資源推定のための補正係数を1.4 ($1 \div 0.699 = 1.4$)とした。秋季は採取効率試験を行わなかったが、春季とはほぼ同じであると仮定して同値で計算を行った。

春季調査結果を図2、表2に、秋季調査結果を図3、表3に示した。

総重量を補正係数でかけて資源量を推定した結果、春季が61,250トン、秋季が44,035トンとなり、春季から秋季にかけては28%の減少を示した。春季の水深層別資源量と全体の資源量に占める割合は、0.0~2.0mに26,777トンと全体の43.7%が生息し、2.1~3.0mが18,355トン(全体の30.0%)、3.1~4.0mが16,118トン(全体の26.3%)であった。秋季の水深層別資源量と全体の資源量に占める割合は、0.0~2.0mに17,422トン(全体の39.6%)、次いで2.1~3.0mが13,934トン(全体の31.6%)、3.1~4.0mが12,680トン(全体の28.8%)であった。

また、個体数を補正係数でかけて資源総個体数を推定した結果、春季が995億個体、秋季が1,027億個体となり、春季から秋季にかけてわずかに増加した。春季の水深層別個体数と全体の個体数に占める割合は、0.0~2.0mが298億個体と全体の30.0%で、2.1~3.0mが346億個体(全体の34.8%)、3.1~4.0mが351億個体(全体の35.2%)であった。秋季の水深層別個体数と全体の個体数に占める割合は、0.0~2.0mが295億個体(全体の28.7%)、次いで2.1~3.0mが357億個体(全体の34.8%)、3.1~4.0mが375億個体(全体の36.5%)であった。

H15年 (3)

図 1.4.14 (3) 島根県シジミ資源量調査結果 (平成15年度)

【島根県水産技術センター提供】

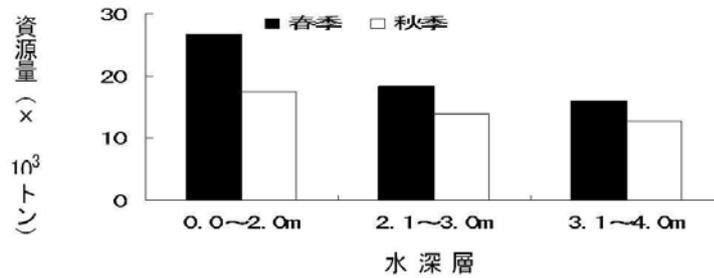


図2 水深層別推定資源

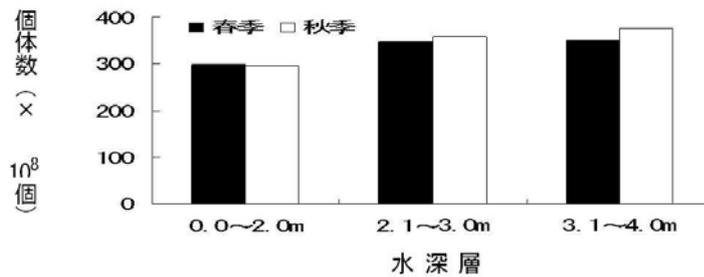


図3 水深層別推定個体数

表2 春季調査結果

資源量						個体数					
深度	標本数	平均密度 (g/m ²)	面積 (km ²)	総重量 (t)	推定資源量 (t)	深度	標本数	平均密度 (個/m ²)	面積 (km ²)	総個体数 (×10 ⁶)	推定個体数 (×10 ⁶)
0.0~2.0m	30	2,693.9	7.1	19,126.7	26,777.4	0.0~2.0m	30	3,001	7.1	21,307	29,830
2.1~3.0m	33	1,956.8	6.7	13,110.6	18,354.8	2.1~3.0m	33	3,693	6.7	24,743	34,640
3.1~4.0m	61	1,117.8	10.3	11,513.3	16,118.7	3.1~4.0m	61	2,432	10.3	25,050	35,069
計	124	1,815.4	24.1	43,750.6	61,250.8	計	124	2,950	24.1	71,100	99,540

表3 秋季調査結果

資源量						個体数					
深度	標本数	平均密度 (g/m ²)	面積 (km ²)	総重量 (t)	推定資源量 (t)	深度	標本数	平均密度 (個/m ²)	面積 (km ²)	総個体数 (×10 ⁶)	推定個体数 (×10 ⁶)
0.0~2.0m	29	1,752.7	7.1	12,444.0	17,421.6	0.0~2.0m	29	2,968	7.1	21,075	29,505
2.1~3.0m	34	1,485.5	6.7	9,952.6	13,933.6	2.1~3.0m	34	3,810	6.7	25,525	35,735
3.1~4.0m	60	879.3	10.3	9,056.8	12,679.6	3.1~4.0m	60	2,599	10.3	26,771	37,480
計	123	1,305.1	24.1	31,453.4	44,034.8	計	123	3,044	24.1	73,371	102,720

水深層別に春季から秋季にかけての資源重量の減耗状況をみると 0.0~2.0mが 26,777 t→17,422 tで減耗率は 34.9%、2.1~3.0mが 18,355 t→13,934 tで減耗率は 24.1%、3.1~4.0mが 16,118 t→12,680 tで減耗率は 21.3%となり、水深が浅いほど減耗率が大きかった。一方、春季におけるシジミの生息重量密度は、0.0~2.0mが 2,694 g/m²、2.1~3.0mが 1,957 g/m²、3.1~4.0mが 1,118 g/m²で水深が浅いほど生息重量密度が高く、春季から秋季にかけての資源重量の減少率との相関が伺われた。

H15年 (4)

図 1.4.14 (4) 島根県シジミ資源量調査結果 (平成 15 年度)

【島根県水産技術センター提供】

資源重量が減少したのは、夏期を中心として特に産卵サイズ以上の中・大型シジミが大量へい死を起こしたことによると推測されるが、へい死の原因については、次項のへい死要因調査で詳細に記述する。

春季から秋季にかけての生息個体数の変動状況を見ると0.0~2.0mが298.3億個体→295.1億個体で1.1%の減少、2.1~3.0mが346.4億個体→357.4億個体で3.2%の増加、3.1~4.0mが350.7億個体→374.8億個体で6.9%の増加で全体としては3.2%の微増であった。

次に春季から秋季にかけての平均個体重量の変動を図4に示した。全体としては0.62g→0.43gと小型化した。水深層別では0.0~2.0mが0.90g→0.59g、2.1~3.0mが0.53g→0.39g、3.1~4.0mが0.46g→0.34gであった。

春季から秋季にかけての水深層別の小型化の状況は資源量と非常によく似た傾向を示した。

春季の1㎡あたり生息個体数を殻長別に図5に、また、そのうち大型の殻長11mm以上のものについて図6に示した。秋季の1㎡あたり生息個体数を殻長別に図7に、また、そのうち大型の殻長11mm以上の

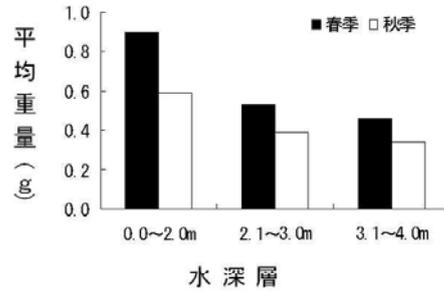


図4 水深層別平均個体重量

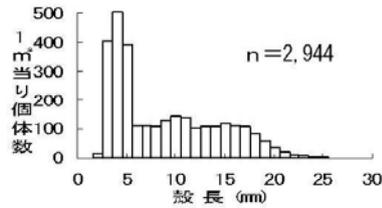


図5 春季殻長組成 (全体)

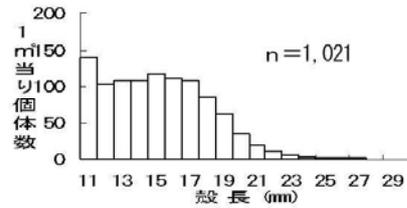


図6 春季殻長組成 (11mm以上)

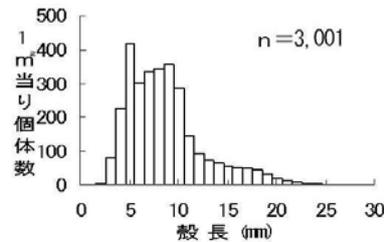


図7 秋季殻長組成 (全体)

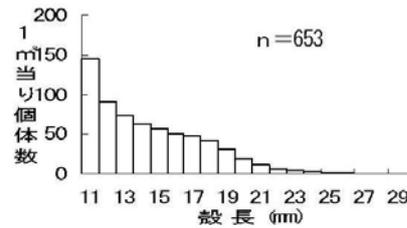


図8 秋季殻長組成 (11mm以上)

ものについて図8に示した。

小型稚貝を含めた全体の殻長組成については、春季(図5)に3~6mmの範囲で大きな峰が認められた。0~3mmの範囲のものはほとんど確認されなかったが、これは採泥後のソーティングに2mm目のフルイを使用したことで、この目合以下のシジミがふるい落とされてしまったためで、実際には多数の稚貝が生息していた可能性がある。3~6mmの峰の稚貝は、昨年度に生まれたもので、環境条件が良好であったために多数の稚貝が生き残ったものと思われる。秋季(図7)になると4~11mmの範囲に多数認められたが、春季に殻長6mm以下

H15年 (5)

図 1.4.14 (5) 島根県シジミ資源量調査結果 (平成15年度)

【島根県水産技術センター提供】

であった稚貝が成長したものと推測された。0～3 mmの範囲のものはほとんど確認されなかったが、春季と同じ理由であると考えられる。

殻長11 mm以上の大型のシジミについて、個体数で1 m²あたり春季は1,000 個体いたものが秋季は650 個体に減少した。殻長11 mm以上個体数の全体個体数に占める割合では、春季が34.7%であったものが、秋季には21.6%に減少した。また、漁獲サイズである殻長17 mm以上についてみると、1 m²あたり春季は334 個体いたものが秋季は172 個体に半減した。殻長17 mm以上個体数の全体個体数に占める割合は、春季が11.3%であったものが、秋季には5.7%に減少した。これは前述したように産卵サイズ以上の中・大型個体を中心に大量への死が起こったためであると推察された。

以上総合的にとりまとめると、春季から秋季にかけての資源重量と資源数量の変動は、殻長が大きく、重量が重いものが減少する一方で殻長が小さく重量が軽いものが多く出現したことによると推定された。

次に、地区別の殻長組成として図9（春季）及び図10（秋季）に示した。

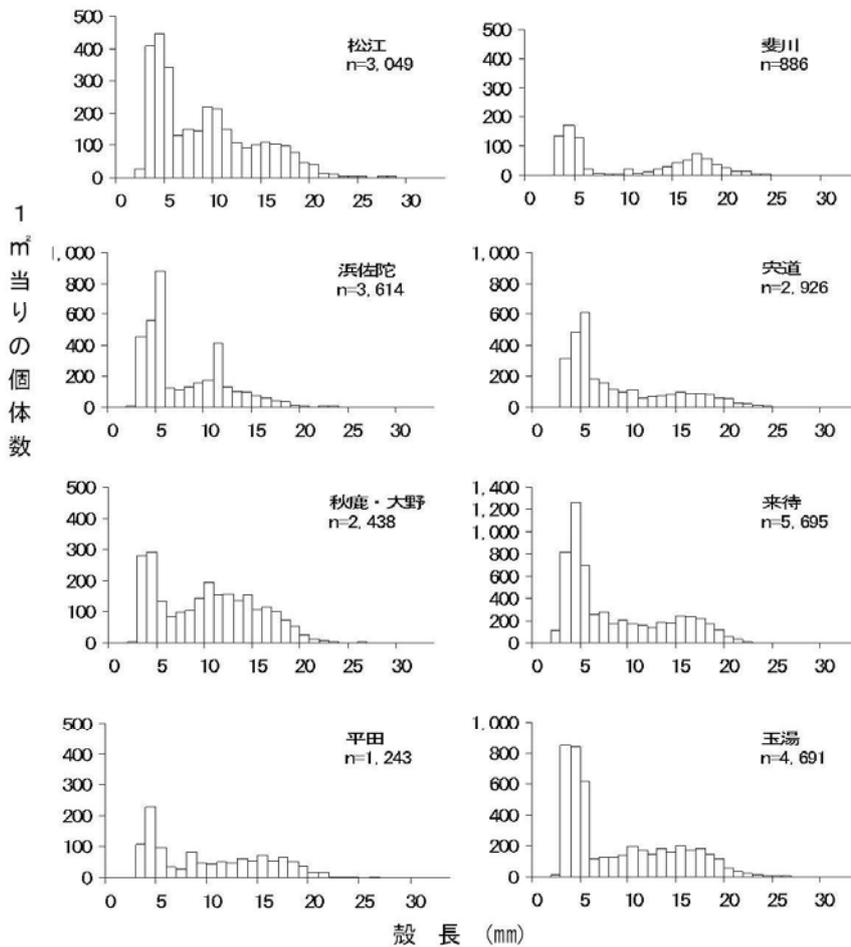


図9 地区別殻長組成（春季）

H15年（6）

図 1.4.14（6） 島根県シジミ資源量調査結果（平成15年度）

【島根県水産技術センター提供】

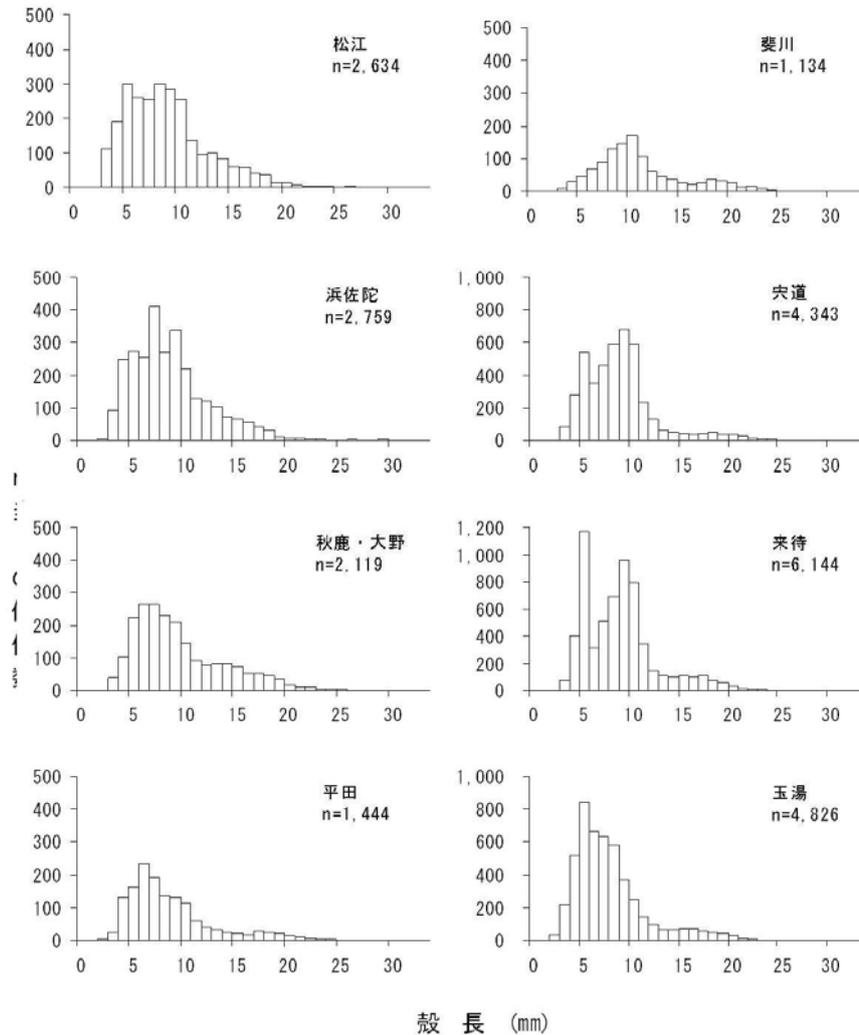


図10 地区別殻長組成（秋季）

全域の殻長組成を表した図5において多数認められた昨年生まれの小型稚貝の出現は、どの地区でも同様に認められた。特に多かったのは、来待、浜佐陀、玉湯、宍道などであった。

漁獲サイズである殻長17mm以上の大型貝が占める割合は、春季では高い順に斐川25.4%、平田17.2%、玉湯12.6%、宍道12.5%、秋鹿大野11.5%、来待10.2%、松江10.0%、浜佐陀3.1%であった。秋季では斐川13.7%、秋鹿大野8.7%、平田8.0%、宍道及び来待5.1%、松江4.7%、玉湯4.1%、浜佐陀3.8%の順であった。

各地区とも春季から秋季にかけて、中・大型サイズのシジミ個体数が全域で述べた同様にその全体に占める割合が減少した。特に春季に17mm以上の生息数量が最も多かった来待は48%減少、次に多かった玉湯は66%の減少であった。逆に春季の生息数量が最も少なかった浜佐陀は5%の減少率にとどまった。これらは、各地

H15年（7）

図 1.4.14（7） 島根県シジミ資源量調査結果（平成15年度）

【島根県水産技術センター提供】

先毎の漁獲実態やへい死発生状況等によって減耗率が異なっていたものと推察された。

最後に、宍道湖全体の資源量の経年変化について平成9年度からの調査結果を図11に示した。

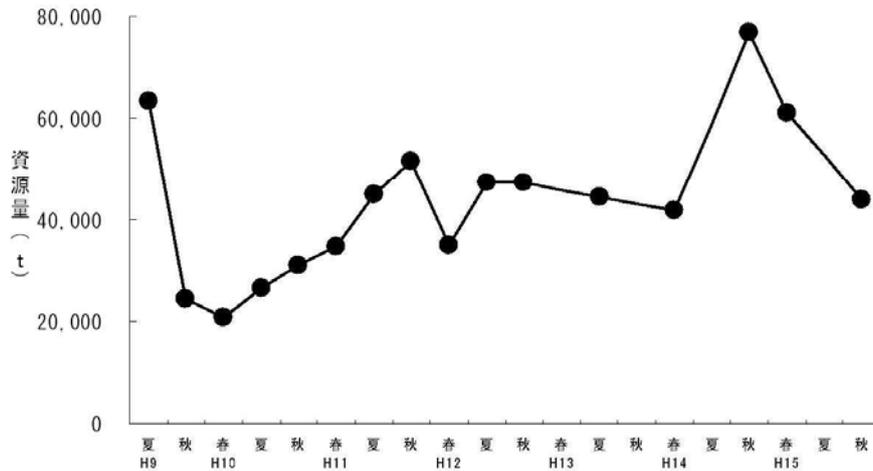


図11 資源量の経年変化

平成9年夏季の資源量は63,000トンと高い水準にあったが、7月から9月に発生した大量へい死によって平成10年の春季には約20,000トンに激減した。その後回復傾向を示し、平成10年秋季には31,000トン、平成11年秋季には51,000トンとなった。その後平成12年度、13年度はほぼ横ばい状態で推移していたが、平成14年度は急増して秋季には77,000トンになった¹⁾。しかし、平成15年度には夏を中心に大量へい死を起こして秋季には44,000トンまで減少した。

しかしながら、平成15年度調査で平成14年度生まれの漁獲サイズに満たない小型のシジミが比較的多く生息していることが確認されていることから、平成16年度において、これらが潮陽圏に成長すれば資源量は再度増加傾向に向かうと推測される。一方で、平成15年度生まれのその後の生息状況によっては、平成17年度以降の資源造成への影響が心配される。

宍道湖沿岸部全域にわたる100点以上で継続的な資源量調査が開始された平成9年から今回で2回目の大量へい死事象が起こったが、何れも資源量が60,000トン以上の高いレベルの時に起こったことは、今後の宍道湖内におけるシジミ資源の管理を行うにあたって重要なポイントであるように思われた。

4. 研究成果

- 調査で得られた結果は、宍道湖・中海水産振興対策委員会及び内水面調査研究協議会で報告された。

5. 文献

- 1) 後藤悦郎 他、ヤマトシジミ資源量調査、島根県内水面水産試験場事業報告(平成14年度)2002; 43-52.

H15年 (8)

図 1.4.14 (8) 島根県シジミ資源量調査結果 (平成15年度)

ヤマトシジミ資源量調査

(宍道湖・中海水産振興事業)

安木 茂・三浦常廣・江角陽司・大北晋也

1. 研究目的

ヤマトシジミ（以下「シジミ」という）の漁業管理を行う上で、資源量およびその動態を把握することは不可欠である。また、より正確な資源動態を把握するためには、継続的な調査を行う必要がある。そこで、平成9年度より実施している資源量調査を継続実施した。

2. 研究方法

調査は、春季（6月4、8日）及び秋季（10月12～13日）の年2回実施した。調査地点を図1に示す。

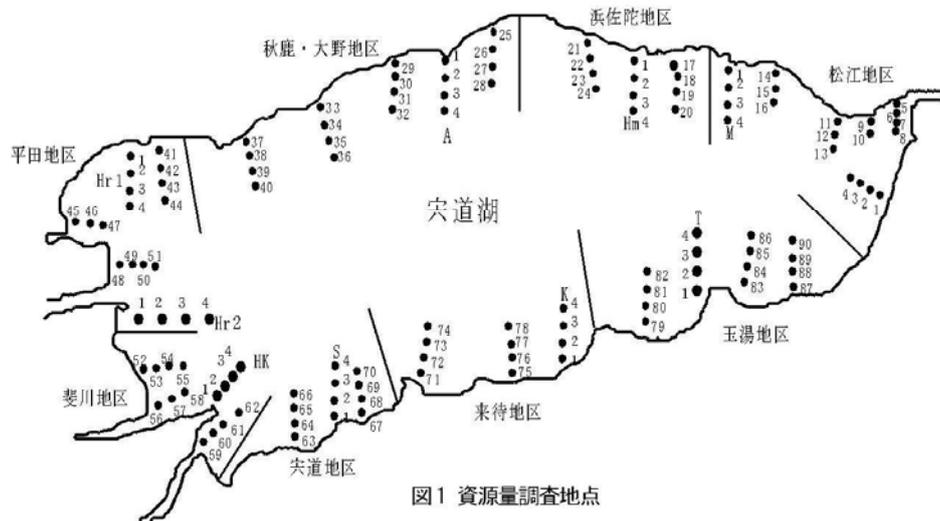


図1 資源量調査地点

(1) 調査の設計

調査ラインは宍道湖全体をカバーすることや漁場区分ごとの評価も考慮し、松江地区、浜佐陀地区、秋鹿・大野地区、平田地区、斐川地区、宍道地区、来待地区および玉湯地区の8地区についてそれぞれの面積に応じ3～5本設定した。また、調査地点は、最終的な資源量算出のための引き延ばし作業を考慮し、水深帯を0.0～2.0m、2.0～3.0m、3.0～3.5m、3.5～4.0mという4区分に設定し、各調査ラインを岸から沖に向けて引き、水深帯ごとに調査地点を1点ずつ、計126点設定した。なお、地点の設定に当たっては水深帯ごとの偏りが出ないように、乱数表を用いて決定した。ただし、春季のSt. 17、St. 29、St. Hr-1、St. Hr-2、St. Hr1-1、秋季のSt. 17、St. 37、St. 88、St. Hr-1は水深が浅すぎて調査船が進入できなかったため調査していない。

シジミの採取は、スミス・マッキンタイヤ型採泥器（開口部22.5cm×22.5cm）を用い、各地点2回、採取面積で0.1m²の採泥を行い、次に泥中からソーティングにより抽出した。ソーティングについては目合2mm、4mm、8mmの3種類のフルイを使用して行った。また、8mmフルイ残存個体（殻長約12mm以上）については個

H16年 (1)

図 1.4.15 (1) 島根県シジミ資源量調査結果（平成16年度）

【島根県水産技術センター提供】

体数と重量を優先的に計測し、調査実施後1ヶ月以内に漁業者に速報値として提供した。

8mmフルイを通過した小型のシジミは10%中性ホルマリンで固定し、後日、個体数・重量・殻長の測定を行い、詳細な資源量の推定に用いた。

また、St.6、St.22、St.34、St.42、St.56、St.64、St.76、St.84の8地点（各地区につき1地点）については殻長、体重以外に殻高および殻幅の測定を行った。

水質はシジミ採取にあわせ、各調査地点の表層と底層の塩分・DO・水温についてHydrolab社の多項目水質計QUANTAで測定し、同時にセッキ透明度板を用いて透明度を調べた。

(2)資源量の推定手順

- A. 各調査地点を水深層別に区分する。水深層としては0.0~2.0m、2.1~3.0m、3.1~3.5m、3.6~4.0mの4層とした。調査地点の水深は、水位の影響を考慮し、魚探水深の生データを東京湾標準水位（IP補正水深）を用いて補正し、資源量推定計算に使用した。なお、4.1m以深については、生息量が極めて少ないため計算に入れていない（※1）。
- B. 各調査地点のシジミ個体数・重量を1㎡あたりに換算した。
- C. 水深層別にシジミ個体数・重量密度/㎡の平均値を求めた。
- D. シジミ個体数・重量密度/㎡の平均値に各水深層の面積（※2）を乗じて水深層別のシジミ個体数・重量を求めた。
- E. 採泥器での取り残しを考慮し、個体数・重量を採泥器の採取効率で除して水深層別の個体数・重量を求めた。
- F. 各水深層の資源量を合計して宍道湖全体のシジミ資源量とした。

※1 地区別・水深層別の面積と調査地点を表1および表2に示した。水深別の面積は再検討をしたため、H15年に計算した値と若干異なる。

※2 資源量計算に使用した各水深層の面積は表1の面積値を使用した。

表1 地区別・水深層別の面積

	単位：km ²								合計
	松江	秋鹿・大野	斐川	来待	浜佐蛇	平田	宍道	玉湯	
0~2.0m	1.47	1.26	0.33	0.6	0.63	1.59	0.78	1.03	7.69
2.1~3.0m	1.1	1.28	0.29	0.72	0.48	1.39	0.26	0.66	6.18
3.1~3.5m	1.19	0.38	0.77	0.45	0.37	0.93	0.14	0.53	4.76
3.6~4.0m	1.56	0.59	0.5	0.18	0.47	1.39	0.12	0.52	5.33
合計	5.32	3.51	1.89	1.95	1.95	5.3	1.3	2.74	23.96

表2 地区別・水深層別の調査点数

春季	松江	秋鹿・大野	斐川	来待	浜佐蛇	平田	宍道	玉湯	合計
0~2.0m	4	4	4	3	1	3	2	4	25
2.1~3.0m	6	5	4	3	2	6	4	4	34
3.1~3.5m	5	5	4	3	3	5	3	4	32
3.6~4.0m	4	5	3	3	3	4	3	4	29
合計	19	19	15	12	9	18	12	16	120
秋季	松江	秋鹿・大野	斐川	来待	浜佐蛇	平田	宍道	玉湯	合計
0~2.0m	6	5	4	3	1	5	3	4	31
2.1~3.0m	6	5	4	3	3	5	3	3	32
3.1~3.5m	5	5	4	3	3	5	3	4	32
3.6~4.0m	3	5	3	3	3	4	3	4	28
合計	20	20	15	12	10	19	12	15	123

H16年 (2)

図 1.4.15 (2) 島根県シジミ資源量調査結果（平成16年度）

(3) 採取効率の算出

2004年6月7日(春季)および2004年10月25日(秋季)に宍道湖内数地点において、スミス・マッキンタイヤ型採泥器の採取効率を算出するため、潜水調査を実施した。調査場所は、春季が松江地区、来待地区、斐川地区、秋鹿・大野地区とし(図1)、各地区で湖底の底質を目視で3段階(砂、細砂、砂泥)に分け、水深を変化させながら目的とする底質を探索し、各底質2回ずつを目安にサンプリングを実施した。秋季調査は、来待地区(砂)、宍道地区(砂泥・泥)に調査地点を絞り(図2)、各底質5回ずつサンプリングを実施した。

調査方法は採泥器の採泥面積(22.5cm×22.5cm)と同じ面積の高さ50cmのステンレス枠を用意し、採泥器で底泥を採取した後、ダイバーがステンレス枠を同一場所に差し込み、採泥器で取り残したステンレス枠内のシジミを全てエアールフトにより採取し、シジミの個体数と重量について計測した。採取効率は以下の式により算出した。

$$\text{採取効率} = \frac{\text{採泥器で採取したシジミ重量 (g)}}{\text{採泥器で採取したシジミ重量 (g)} + \text{エアールフトで採取したシジミ重量 (g)}}$$



図2 春季採取効率調査地点



図3 秋季採取効率調査地点

3. 研究結果と考察

(1) 採取効率

春季調査の結果を表3に示す。底質ごとの平均採取効率は、「砂」が個体数で73%、重量で78%、「砂泥」が個体数で79%、重量で85%、「泥」が個体数で47%、重量で44%となり、2003年春季の数値(個体数で69.9%)と比較すると、「砂」と「砂泥」では高く、「泥」では低い値を示した。採取効率はシジミの生息深度に大きく影響を受けるが、低い値を示した泥場では、砂や砂泥に比べ粒子が細かいため、湖水の循環が十分に行われず、深度が増加するに従い、底質の硬化や溶存酸素濃度の減少、硫化水素の増加などシジミの生息に不適な条件が増加するのが一般的である。従って、春季調査のように「泥」において採取効率が

表3 スミス・マッキンタイヤ型採泥器による底質別のシジミ採取効率(春)

底質	採取個体数			採取重量(g)		
	スミス	エアールフト	採取効率	スミス	エアールフト	採取効率
砂	108	85	0.56	45.6	22.2	0.67
	89	38	0.70	39.4	12.0	0.77
	156	102	0.60	146.6	51.4	0.74
	131	51	0.72	101.7	30.7	0.77
	189	66	0.74	188.9	51.6	0.79
	181	51	0.78	145.6	35.4	0.80
	132	28	0.83	86.7	15.6	0.85
	17	13	0.57	7.3	0.5	0.94
	24	12	0.67	9.1	6.3	0.59
	27	9	0.75	19.0	7.4	0.72
計	1549	584	0.73	1039.2	284.7	0.78
砂泥	50	26	0.66	35.8	10.4	0.78
	111	15	0.88	98.7	6.6	0.94
	124	27	0.82	54.3	9.9	0.85
	254	28	0.90	66.0	7.3	0.90
	291	86	0.77	139.4	23.6	0.85
	230	71	0.76	86.0	24.9	0.78
	214	58	0.79	122.0	17.9	0.87
計	1496	389	0.79	701.2	127.7	0.85
泥	13	29	0.31	10.2	31.8	0.24
	12	26	0.32	9.9	23.6	0.29
	25	7	0.78	26.9	7.0	0.79
	22	19	0.54	14.5	14.6	0.50
計	72	81	0.47	61.4	77.0	0.44
合計	3117	1054	0.75	1801.8	489.3	0.79

※: スミスはスミス・マッキンタイヤ型採泥器、エアールフトはエアールフトを示す

【島根県水産技術センター提供】

小さくなることは、何らかのノイズが発生している可能性があるため、春季の資源量の補正值としては用いず、2003年春季の数値69.9%を用いた。

秋季の採取効率調査の結果を表4に示す。底質ごとの平均採取効率は、「砂」が個体数で62%、重量で63%、「砂泥」が個体数で73%、重量で73%、「泥」が個体数で64%、重量で67%、全体の平均値も個体数で64%、重量で67%と底質ごとの違いも見られなかった。

秋季調査については、春季に見られたような底質の違いによる違いが見られなかった。また、2003年春季の数値（個体数で69.9%）とほぼ同様の値を示した。このことから、資源量の補正值としては、過去からのデータの継続性を重視し、2003年と同じ69.9%を用いた。

(2) 資源量の計算

春季および秋季調査結果を表5、6に示した。

春季は45,139トン（個体数844億個）、秋季は55,977トン（個体数948億個）となり、春季から秋季にかけて重量で24%、個体数で12%増加した。春季から秋季にかけての増減を見ると、重量、個体数ともに増加しており水深層別では、深場になるにつれ増加割合も大きかった。

水深層別に資源量、個体数、1個体当たりの重量を春季と秋季と比較した（図2～4）。

水深層別の重量割合は、0.0～2.0m（39～42%）、2.1～3.0m（32.0%）、3.1～3.5m（16～18%）、3.6～4.0m（9～12%）で、水深層が浅いほど重量割合が高く、深場になるに従い減少していく傾向で、春季および秋季とも同様な傾向であった（図2）。

水深層別個体数割合は、0.0～2.0m（29～31%）、2.1～3.0m（36.0%）、3.1～3.5m（20～21%）、3.6～4.0m（13～15%）で、2.1～3.0mが最も高い割合を示し、次いで0.0～2.0m、3.1～3.5m（20～21%）、3.6～

表4 スミス・マッキンタイヤ型採泥器による底質別のシジミ採取効率（秋

底質	採取個体数			採取重量(g)		
	スミス	エアー	採取効率	スミス	エアー	採取効率
砂	396	341	0.54	126.5	111.1	0.53
	412	279	0.60	172.6	99.8	0.63
	499	238	0.68	173.1	74.8	0.70
	510	228	0.69	157.0	64.9	0.71
	496	360	0.58	152.0	104.9	0.59
計	2313	1446	0.62	781.1	455.4	0.63
砂泥	131	47	0.74	116.6	41.3	0.74
	35	9	0.80	27.7	7.2	0.79
	31	15	0.67	38.2	17.5	0.69
	60	31	0.66	58.0	29.9	0.66
	95	31	0.75	99.8	30.2	0.77
計	352	133	0.73	340.2	126.1	0.73
泥	16	18	0.47	13.6	13.4	0.50
	114	28	0.80	79.7	27.4	0.74
	21	12	0.64	20.2	5.6	0.78
	81	29	0.74	49.4	16.8	0.75
	77	35	0.69	58.5	24.5	0.70
計	309	122	0.72	221.5	87.7	0.72
合計	2974	1701	0.64	1342.8	669.2	0.67

※：スミスはスミス・マッキンタイヤ型採泥器、エアーはエアーリフトを示

表5 春季調査結果

深度	面積 (km ²)	標本数	個体数密度 (個/m ²)	推定個体数 (億個)	重量密度 (g/m ²)	推定重量 (トン)
0～2.0m	7.7	26	3,350	258	2,477	19,048
2.1～3.0m	6.2	34	4,873	301	2,347	14,502
3.1～3.5m	4.8	32	3,670	175	1,554	7,398
3.6～4.0m	5.3	29	2,070	110	786	4,191
計	24.0	121	3,522	844	1,884	45,139

表6 秋季調査結果

深度	面積 (km ²)	標本数	個体数密度 (個/m ²)	推定個体数 (億個)	重量密度 (g/m ²)	推定重量 (トン)
0～2.0m	7.7	32	3,567	274	2,806	21,581
2.1～3.0m	6.2	33	5,494	340	2,892	17,873
3.1～3.5m	4.8	32	4,076	194	2,071	9,859
3.6～4.0m	5.3	28	2,628	140	1,250	6,665
計	24.0	125	3,956	948	2,336	55,977

H16年 (4)

図 1.4.15 (4) 島根県シジミ資源量調査結果（平成16年度）

【島根県水産技術センター提供】

4.0mという順序であった(図3)。

水深別に1個体当たりの平均重量を比較してみると、0.0~2.0m(0.74~0.79g)、2.1~3.0m(0.48~0.53g)、3.1~3.5m(0.42~0.51g)、3.6~4.0m(0.38~0.48g)で、0.0~2.0mで大型個体が多く生息していると推察された。また、その他の水深層では1個体当たりの平均重量に差異は見られなかった。各層とも春季~秋季にかけて重量の増加が見られた。

水深層別重量および1個体当たりの平均重量から、春から秋にかけてのシジミの成長を主因とする内的増加があったものと推察される。一方、個体数もすべての水深層において増加がみられたことから、新規加入群の存在が示唆された。

(3) 殻長組成

春季および秋季の殻長ごとの1㎡あたり生息個体数を図5、図7に、また、そのうち大型の殻長11mm以上のものについて図6および図8に示した。

春季の全体の殻長組成を見ると4mmおよび10mmの階級にモードが認められた。0~3mmの範囲のものはほとんど確認されなかったが、これは採泥後のソーティ

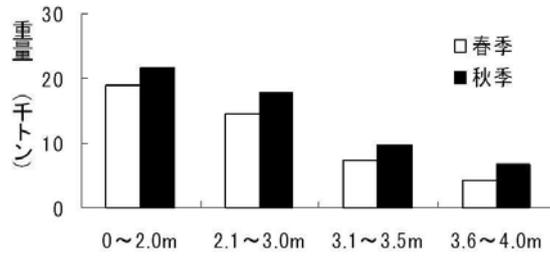


図4 水深別重量

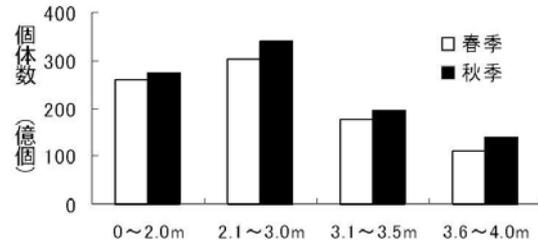


図5 水深別個体数

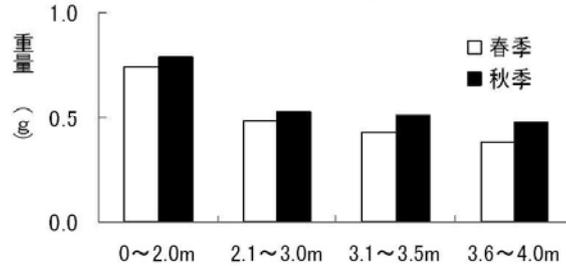


図6 水深別平均個体重量

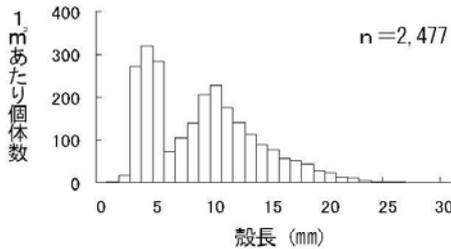


図7 春季殻長組成(全体)

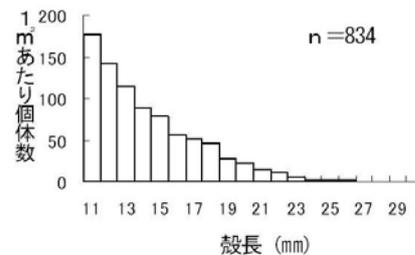


図8 春季殻長組成(11mm以上)

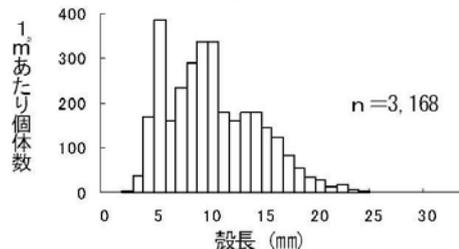


図9 秋季殻長組成(全体)

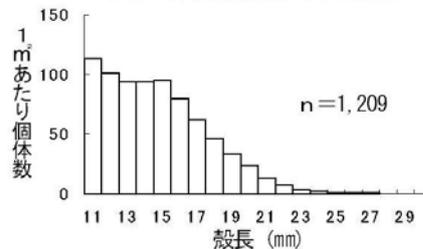


図10 秋季殻長組成(11mm以上)

H16年 (5)

図 1.4.15 (5) 島根県シジミ資源量調査結果 (平成16年度)

【島根県水産技術センター提供】

ングに2mm目のフルイを使用したことで、この目合以下のシジミがふるい落とされてしまったため、実際には多数の稚貝が生息していた可能性がある。4mmモードの峰の稚貝は、前年に生まれたもので、満1歳かそれに満たないものが主体と考えられる(図5)。殻長11mm以上の大型個体についてみると、一番小型の11mmの個体数をもっとも多く大型貝にならねばなるほど個体数が減少していく傾向であった(図6)。

(4) 地区別殻長組成

地区別の殻長組成を示す。(図9、10)

春季の地区別殻長組成を見ると各地区の1㎡あたりの生息個体数は来待(4,904個)、玉湯(4,228個)、宍道(3,861個)、松江(2,758個)、秋鹿・大野(2,474個)、斐川(1,153個)、浜佐陀(629個)、平田(297個)の順となっており、底質が砂の場所において生息密度が高い傾向がうかがえた。

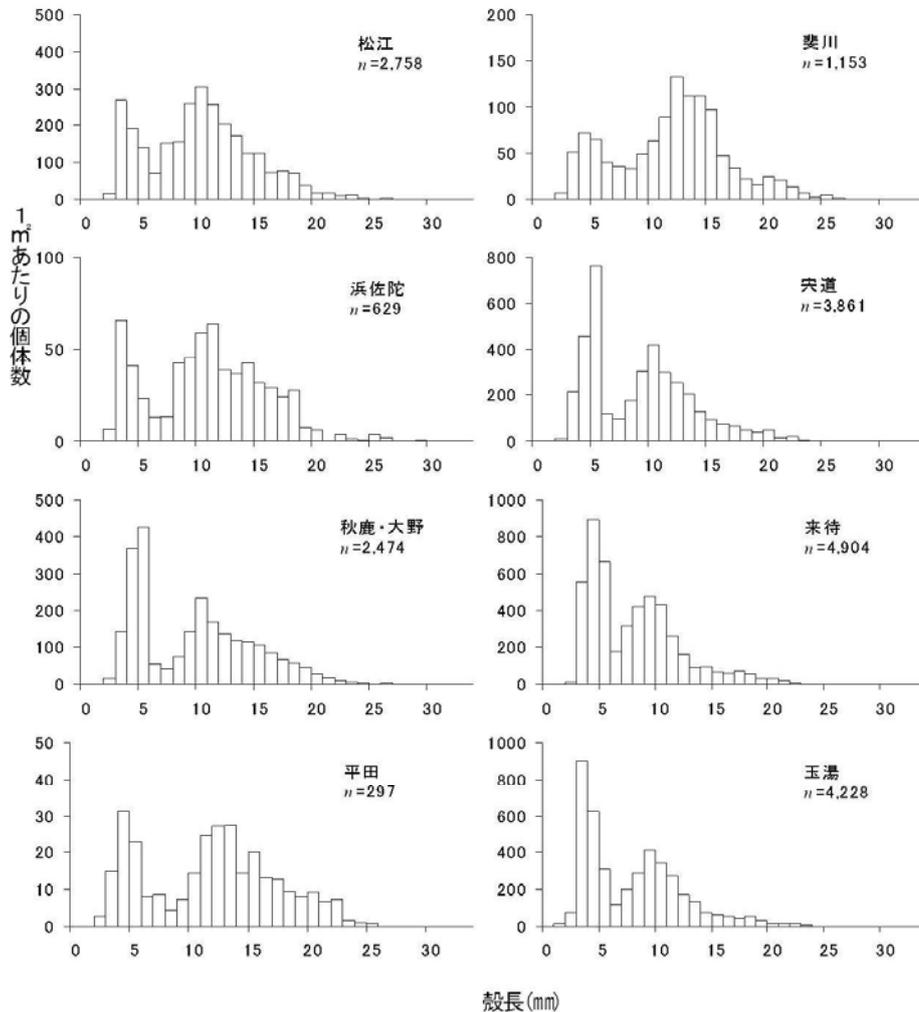


図11 地区別殻長組成(春季)

H16年(6)

図 1.4.15 (6) 島根県シジミ資源量調査結果(平成16年度)

【島根県水産技術センター提供】

殻長組成のパターンは来待、玉湯、宍道、松江、秋鹿・大野、浜佐蛇の6地区では3~5mmおよび7~10mm程度のところにモードが出現しており、宍道湖全体の殻長組成パターンと一致していた。一方、斐川、平田地区では、5mmおよび13~14mmにモードが見られ、宍道湖全体のパターンとは異なる分布様式を示した。

秋季の殻長組成を見ると生息密度は玉湯(6,781個)、来待(6,659個)、松江(3,482個)、宍道(2,964個)、秋鹿・大野(2,916個)、浜佐蛇(1,728個)、斐川(975個)、平田(386個)と湖南地区および松江地区で高く湖北~湖西にかけて低めである傾向は春季と同様であった。殻長組成のパターンは春季に見られたモードがそのまま成長し、新規の加入も加わった形になっていた。やはり、来待、玉湯、宍道、松江、秋鹿・大野、浜佐蛇の6地区と平田、斐川地区では異なるパターンとなり、前者では小型貝が、後者では大型貝が中心となっていた。

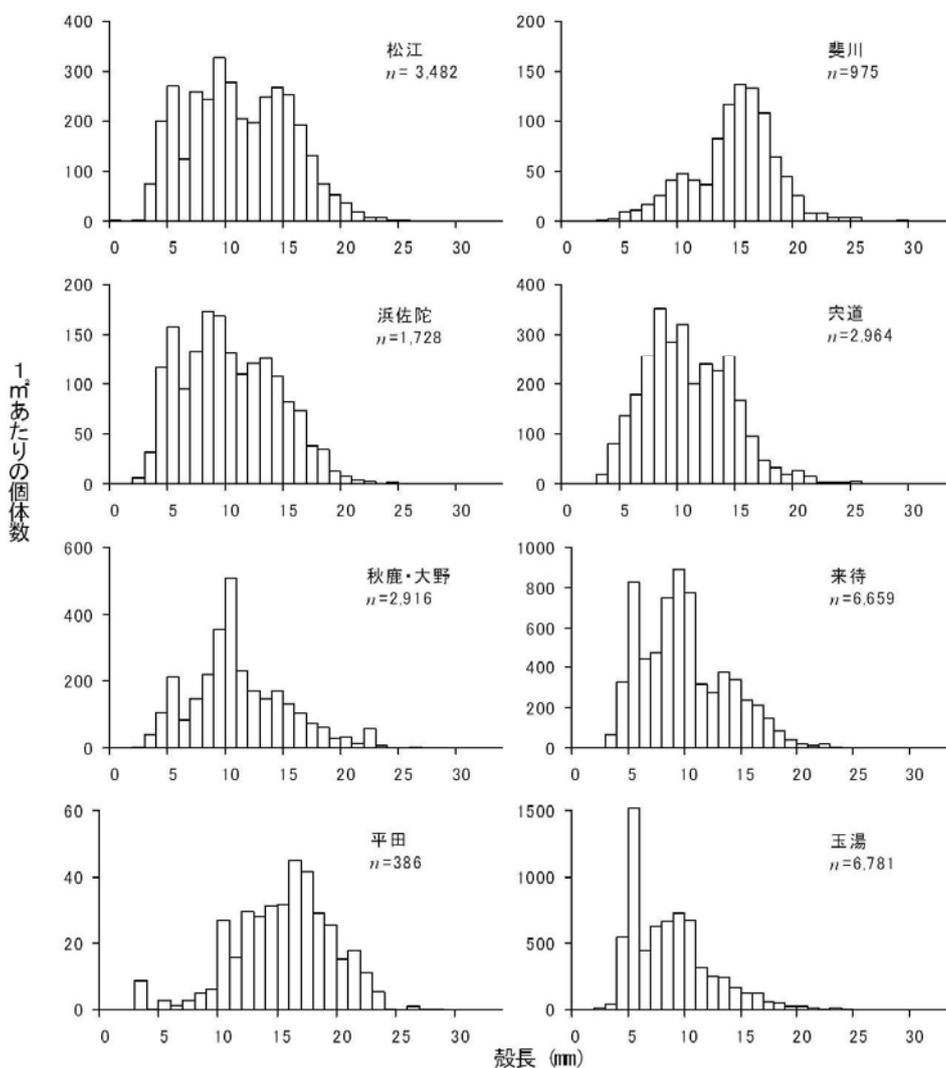


図12 地区別殻長組成(秋季)

H16年(7)

図1.4.15(7) 島根県シジミ資源量調査結果(平成16年度)

漁獲サイズである殻長 17 mm 以上の大型貝が占める割合を表 7 に示す。

春季、秋季ともに平田、斐川、秋鹿・大野が高く、宍道、来待、玉湯といった湖南地区は低い傾向が見られた。春季から秋季にかけての変化を見ると、平田、斐川地区での増加率がその他の地区に比べて大きく、殻長組成の違いが反映された形となった。

表 7 殻長 17 mm 以上の個体が占める割合

	春季	秋季
松江	9%	10%
浜佐蛇	12%	6%
秋鹿・大野	10%	10%
平田	19%	39%
斐川	13%	28%
宍道	6%	5%
来待	4%	5%
玉湯	4%	3%

(5) 殻長・殻高・重量の関係

St. 6、St. 22、St. 34、St. 42、St. 56、St. 64、St. 76、St. 84 の 8 地点 (各地区につき 1 地点) で測定した、殻長、体重、

殻高および殻幅の結果をまとめて殻長と殻高、殻長と殻幅、殻長と重量を図 11、図 12 に示す。

殻長と殻高については $Y=0.922X-0.2801$ (春季)、 $Y=0.8879X-0.0581$ (秋季)、殻長-殻幅関係は $Y=0.6312X-0.2594$ (春季)、 $Y=0.6109X-0.2039$ (秋季)、殻長-重量関係は $Y=0.0002x^{3.168}$ (春季)、 $Y=0.0003x^{3.1175}$ (秋季)、という関係式を得た。春季と秋季ではほとんど違いは無かった。

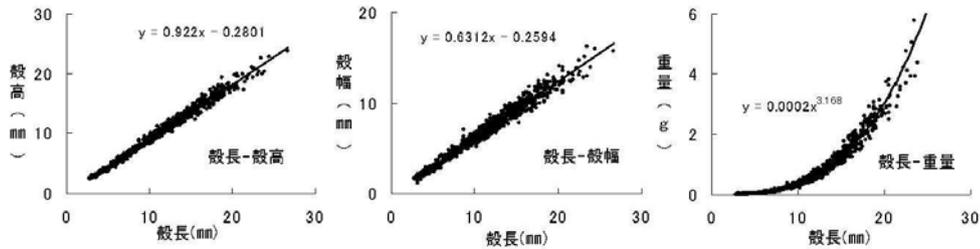


図 13 殻長、殻幅、重量の関係 (春季)

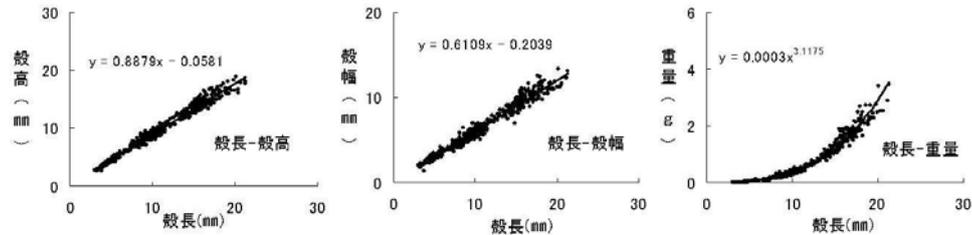


図 14 殻長、殻幅、重量の関係 (秋季)

(6) 資源量の経年変化

宍道湖全体の資源量の経年変化を図 13 に示した。平成 9 年夏季の資源量は 6 万 3 千トンと高い水準であったが、7 月から 9 月に発生した大量への死によって平成 10 年の春季には約 2 万トンに激減した。その後回復傾向を示し、平成 12 年の春にいったん減少するものの、平成 14 年秋季には 7 万トンになった¹⁾。しかしながら、平成 15 年度には夏を中心に大量への死が見られ、秋季には 4 万 4 千トンまで減少した²⁾。平成 16 年は春季が 4 万 5 千トン、秋季が 5 万 6 千トンと平成 15 年に減少した資源も増加傾向にある。

H16年 (8)

図 1.4.15 (8) 島根県シジミ資源量調査結果 (平成 16 年度)

【島根県水産技術センター提供】

昨年度までは、平成14年の秋季の資源量を約7万7千トンとしていたが、データを再検討したところ、各水深帯での引き伸ばしが適切に行われていなかったため、今回補正した値を掲載した。

(7) 殻貝の重量

図14に春季および秋季における生貝重量と殻重量を地区別に示した。

殻重量とは生貝（生きている貝）以外の貝殻の重量で、二枚殻：（蝶番が未分離で左右の殻がつながっているもの）、ガボ：（殻が閉じているが、中に水または泥が詰まったもの）、一枚殻：（蝶番が分離した個体）を合計したものである。また、殻重量の算出方法は生貝重量の算出方法に準じて行った。

殻重量の割合（殻重量/（生貝+殻重量））は春季が62%、秋季が49%で、春季に比べ秋季は殻貝の割合が減少した。

地区別見ると、松江、浜佐蛇、秋鹿・大野、玉湯、来待地区では春季に殻重量の割合が高く、秋季になると減少するパターンであった。平田、斐川、宍道地区は春季と秋季の割合はほぼ同じであった。

4. 研究成果

- 調査で得られた結果は、宍道湖漁協へ速報値として提供し、詳細な結果は宍道湖・中海水産振興対策委員会及び内水面調査研究協議会で報告された。

5. 文献

- 1) 後藤悦郎 他、ヤマトシジミ資源量調査、島根県内水面水産試験場事業報告（平成14年度）2002；43-52.
- 2) 後藤悦郎 他、ヤマトシジミ資源量調査、島根県内水面水産試験場事業報告（平成15年度）2002；14.

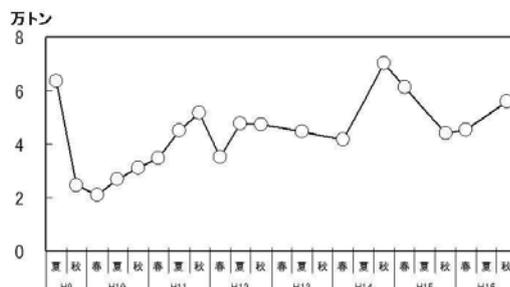


図15 資源量の経年変化

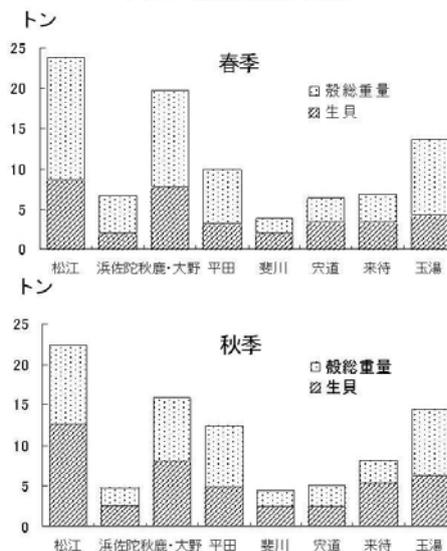


図16 平成16年度資源量調査による地区別の生貝重量と殻重量

ヤマトシジミ資源量調査

(宍道湖・中海水産振興事業)

安木 茂・三浦常廣

1. 研究目的

ヤマトシジミ（以下「シジミ」という）の漁業管理を行う上で、資源量およびその動態を把握することは不可欠である。また、より正確な資源動態を把握するためには、継続的な調査を行う必要がある。そこで、平成9年度より実施している資源量調査を継続実施した。

2. 研究方法

調査は調査船「ごず：8.5トン」を使用して図1に示す調査地点で、春季（6月7～8日）および秋季（10月5～6日）の年2回実施した。

(1) 調査の設計

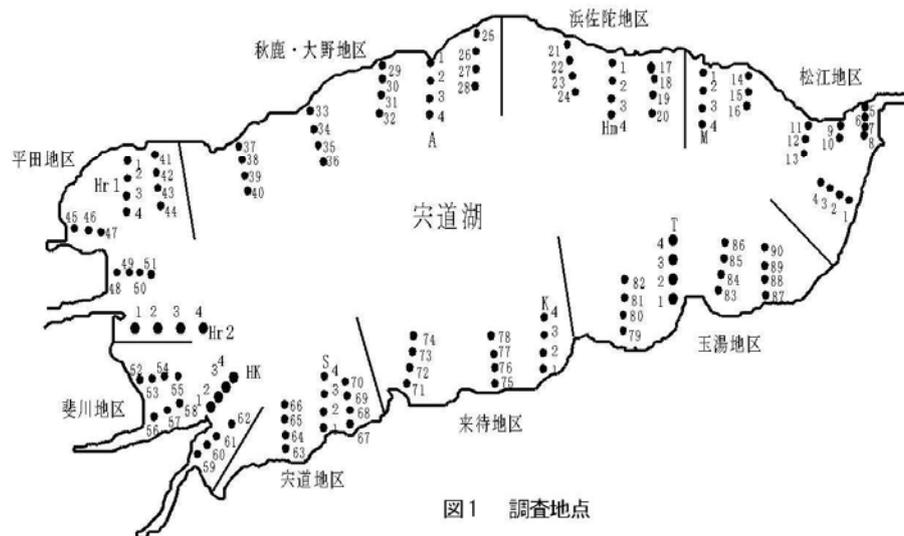


図1 調査地点

調査ラインは宍道湖全体をカバーすることや漁場区分ごとの評価も考慮し、松江地区、浜佐陀地区、秋鹿・大野地区、平田地区、斐川地区、宍道地区、来待地区および玉湯地区の計8地区についてそれぞれの面積に占む3～5本を設定した。また、調査地点は、最終的な資源量算出のための引き延ばし作業を考慮し、水深帯を0.0～2.0m、2.1～3.0m、3.1～3.5m、3.6～4.0mの4区分に設定し、各調査ラインを岸から沖に向けて引き、水深帯ごとに調査地点を1点ずつ、計126点を設定した。なお、地点の設定に当たっては水深帯ごとの偏りが出ないように、乱数表を用いて決定した。ただし、春季、秋季ともSt. Hm-1は水深が浅すぎて調査船が進入できなかったため調査しなかった。

シジミの採取は、スミス・マッキンタイヤ型採泥器（開口部22.5cm×22.5cm）を用い、各地点2回、採取

図 1.4.16 (1) 島根県シジミ資源量調査結果（平成17年度）

【島根県水産技術センター提供】

面積で0.1m²の採泥を行い、船上で泥中からソーティングにより抽出した。ソーティングについては目合2mm、4mm、8mmの3種類のフルイを使用して行った。また、8mmフルイ残存個体（殻長約12mm以上）については個体数と重量を優先的に計測し、調査実施後1ヶ月以内に漁業者に速報値として提供した。

8mmフルイを通過した小型のシジミは10%中性ホルマリンで固定し、後日、実験室で個体数・重量・殻長の測定を行い、詳細な資源量の推定に用いた。

また、St. 6、St. 22、St. 34（春季はSt. 35）、St. 42、St. 56、St. 64、St. 76、St. 84の8地点（各地区につき1地点）については殻長、体重以外に殻高および殻幅の測定を行った。

水質はシジミ採取にあわせ、各調査地点の表層と底層の塩分・DO・水温についてHydrolab社の多項目水質計QUANTAで測定し、同時にセッキ透明度板を用いて透明度を調べた。

(2) 資源量の推定手順

- A. 各調査地点を水深層別に区分する。水深層としては0.0～2.0m、2.1～3.0m、3.1～3.5m、3.6～4.0mの4層とした。調査地点の水深は、水位の影響を考慮し、魚探水深の生データを東京湾標準水位（IP補正水深）を用いて補正し、資源量推定計算に使用した。なお、4.1m以深については、生息量が極めて少ないため計算に入れていない（※1）。
- B. 各調査地点のシジミ個体数・重量を1m²あたりに換算した。
- C. 水深層別にシジミ個体数・重量密度/m²の平均値を求めた。
- D. シジミ個体数・重量密度/m²の平均値に各水深層の面積（※2）を乗じて水深層別のシジミ個体数・重量を求めた。
- E. 採泥器での取り残しを考慮し、個体数・重量を採泥器の採取効率で除して水深層別の個体数・重量を求めた。
- F. 各水深層の資源量を合計して宍道湖全体のシジミ資源量とした。

※1 地区別・水深層別の面積と調査地点を表1および表2に示した。

※2 資源量計算に使用した各水深層の面積は表1の面積値を使用した。

表1 地区別・水深層別の面積 単位：km²

	松江	秋鹿・大野	斐川	来待	浜佐蛇	平田	宍道	玉湯	合計
0～2.0m	1.47	1.26	0.33	0.6	0.63	1.59	0.78	1.03	7.69
2.1～3.0m	1.1	1.28	0.29	0.72	0.48	1.39	0.26	0.66	6.18
3.1～3.5m	1.19	0.38	0.77	0.45	0.37	0.93	0.14	0.53	4.76
3.6～4.0m	1.56	0.59	0.5	0.18	0.47	1.39	0.12	0.52	5.33
合計	5.32	3.51	1.89	1.95	1.95	5.3	1.3	2.74	23.96

表2 地区別・水深層別の調査地点数

春季	松江	秋鹿・大野	斐川	来待	浜佐蛇	平田	宍道	玉湯	合計
0～2.0m	6	5	4	3	2	5	3	4	32
2.1～3.0m	6	5	4	3	3	5	3	4	33
3.1～3.5m	5	5	4	3	3	5	3	4	32
3.6～4.0m	3	5	3	3	3	4	3	4	28
合計	20	20	15	12	11	19	12	16	125

秋季	松江	秋鹿・大野	斐川	来待	浜佐蛇	平田	宍道	玉湯	合計
0～2.0m	6	5	3	4	2	5	3	4	32
2.1～3.0m	6	6	4	2	3	5	3	5	34
3.1～3.5m	5	4	4	3	3	5	3	3	30
3.6～4.0m	3	5	4	3	3	4	3	4	29
合計	20	20	15	12	11	19	12	16	125

図 1.4.16 (2) 島根県シジミ資源量調査結果（平成17年度）

(3) 採取効率の設定

採取効率については昨年度に引き続き 0.699 (重量および個体数) とし、採泥器による取り残しの補正に用いた。

3. 研究結果と考察

(1) 資源量の計算結果

春季および秋季調査結果を、表3、表4に示した。

春季は44,032トン(個体数741億個)、秋季は76,230トン(個体数1,042億個)となり、春季から秋季にかけて重量で73%、個体数で41%と大きく増加した。

水深層別に資源量、個体数、1個体当たりの重量を春季と秋季と比較した(図2~図4)。

水深層別の重量割合は、0.0~2.0m(春季45%、秋季40%)、2.1~3.0m(春季29%、秋季35%)、3.1~3.5m(春季15%、秋季14%)、3.6~4.0m(春季11%、秋季12%)で、春季、秋季ともに水深層が浅いほど重量割合が高く、深場になるに従い減少していく傾向であったが、秋季は春季に比べ、0.0~2.0mの割合が減少し、2.1~3.0mの割合が増加していた。(図2)。

水深層別個体数割合は、0.0~2.0m(春季39%、秋季40%)、2.1~3.0m(春季32%、秋季34%)、3.1~3.5m(春季16%、秋季15%)、3.6~4.0m(春季12%、秋季11%)で、重量割合と同様、水深が浅いほど割合が高い傾向であった。また、春季と秋季の水深層別の割合についてはほとんど変化は見られなかった(図3)。

水深層に1個体当たりの平均重量を比較してみると、0.0~2.0m(春季0.68、秋季0.74g)、2.1~3.0m(春季0.54、秋季0.74g)、3.1~3.5m(春季0.55、秋季0.68g)、3.6~4.0m(春季0.50、秋季0.75g)で、春季は0.0~2.0mで大型個体が多い傾向が見られたが、秋季は水深層ごとの違いは見られなかった。また、各層とも春季~秋季にかけて重量の増加が見られた。

表3 春季調査結果

深度	面積 (km ²)	標本数	個体数密度 (個/m ²)	推定個体数 (億個)	重量密度 (g/m ²)	推定重量 (トン)
0~2.0m	7.7	32	3,801	292	2,594	19,950
2.1~3.0m	6.2	33	3,788	234	2,048	12,659
3.1~3.5m	4.8	32	2,565	122	1,420	6,757
3.6~4.0m	5.3	28	1,735	92	875	4,666
計	24.0	125	3,092	741	1,838	44,032

表4 秋季調査結果

深度	面積 (km ²)	標本数	個体数密度 (個/m ²)	推定個体数 (億個)	重量密度 (g/m ²)	推定重量 (トン)
0~2.0m	7.7	32	5,354	412	3,944	30,329
2.1~3.0m	6.2	33	5,743	355	4,270	26,388
3.1~3.5m	4.8	32	3,292	157	2,243	10,678
3.6~4.0m	5.3	28	2,223	118	1,657	8,834
計	24.0	125	4,348	1,042	3,182	76,230

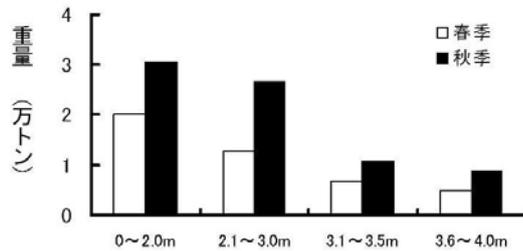


図2 水深別重量

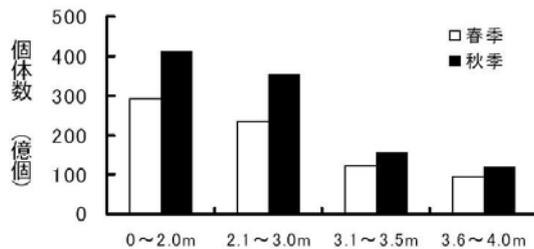


図3 水深別個体数

水深層別重量および1個体当たりの平均重量から、春から秋にかけてのシジミの成長を主因とする内的増加があったものと推察された。一方、個体数もすべての水深層において増加がみられたことから、新規加入群の存在が示唆された。

(2) 殻長組成

春季および秋季の殻長ごとの1㎡あたりの生息個体数を図5、図7に、また、そのうち大型の殻長11mm以上のものについて図6および図8に示した。

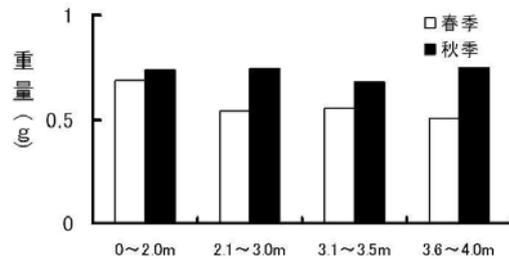


図4 水深別平均個体重量

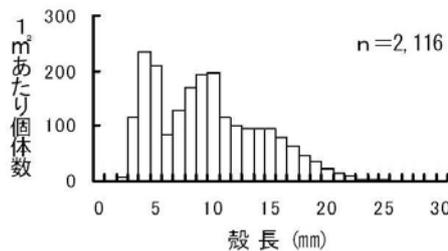


図5 春季殻長組成 (全体)

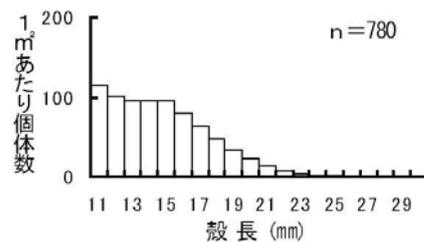


図6 春季殻長組成 (11mm以上)

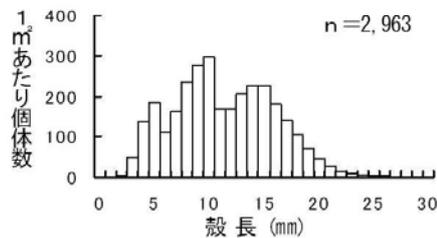


図7 秋季殻長組成 (全体)

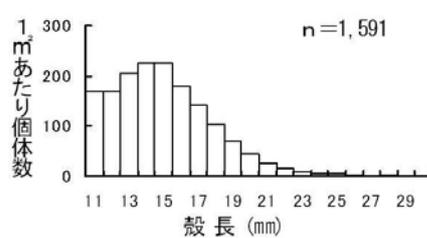


図8 秋季殻長組成 (11mm以上)

春季の全体の殻長組成を見ると4mmおよび10mmの階級にモードが認められた。0~3mmの範囲のものはほとんど確認されなかったが、これは採泥後のソーティングに2mm目のフルイを使用したことで、この目合以下のシジミがふるい落とされてしまったためで、実際には多数の稚貝が生息していた可能性がある。4mmモードの稚貝は、前年に生まれたもので、満1歳がそれに満たないものが主体と考えられた(図5)。殻長11mm以上の大型個体についてみると、一番小型の11mmの個体数をもっとも多く、15mmまでは幅広いであるが、16mm以上の個体については急激な減少傾向が見られた。(図6)。秋季の全体の殻長組成を見ると、5mm、10mm、15mmにそれぞれモードが見られ、4mmのものは新規加入群、10mm、15mmのものはそれぞれ春季の4mm、10mmの個体群が成長したものと思われる。殻長11mm以上の大型個体についてみると、15mmにモードがあり漁獲加入直前の個体群の資源豊度が春季に比べ高かった。

(3) 地区別殻長組成 (図9、10)

春季の地区別殻長組成を見ると各地区の1㎡あたりの生息個体数は来待(4,460個)、玉湯(3,798個)、秋鹿・大野(2,540個)、宍道(2,040個)、松江(1,886個)、浜佐蛇(1,459個)、斐川(992個)、平田(311個)の順となっており、底質が砂の来待、玉湯、秋鹿・大野、宍道、松江において生息密度が高い傾向がうかがえた。

図 1.4.16 (4) 島根県シジミ資源量調査結果 (平成17年度)

【島根県水産技術センター提供】

殻長組成のパターンは来待、玉湯、宍道、松江、秋鹿・大野、浜佐陀の6地区では3~5mm、8~10mmおよび14~16mm程度のところにモードが出現しており、宍道湖全体の殻長組成パターンと一致していた。一方、斐川、平田地区では、4~5mmおよび16~18mmにモードが見られ、宍道湖全体のパターンとは異なる分布様式を示した。

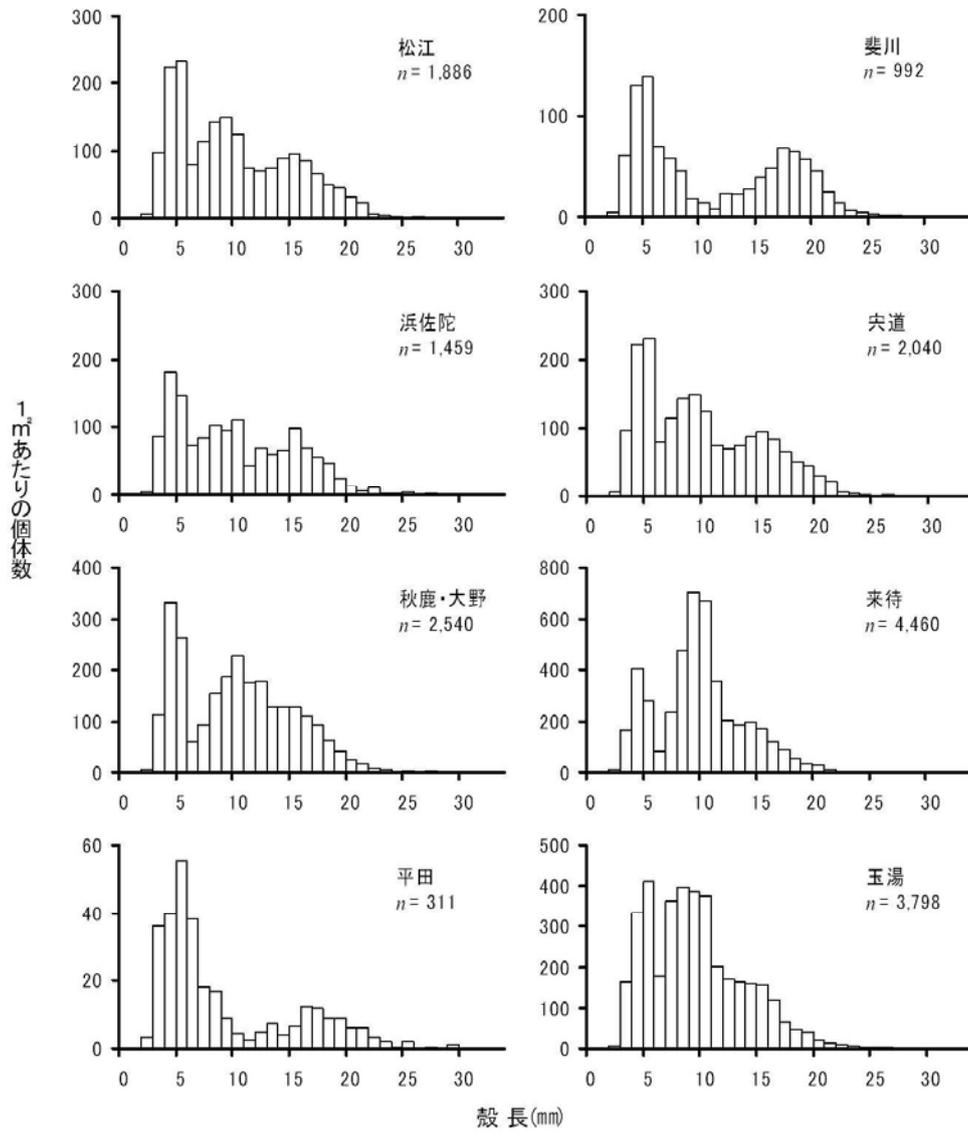


図9 地区別殻長組成(春季)

図 1.4.16 (5) 島根県シジミ資源量調査結果 (平成17年度)

【島根県水産技術センター提供】

秋季の殻長組成を見ると生息密度は玉湯 (5,099 個)、来待 (5,853 個)、松江 (3,005 個)、宍道 (3,112 個)、秋鹿・大野 (3,776 個)、浜佐蛇 (2,447 個)、斐川 (593 個)、平田 (642 個) と湖南地区および松江地区で高く湖北～湖西にかけて低めである傾向は春季と同様であった。殻長組成のパターンは春季に見られたモードがそのまま成長し、新規の加入も加わった形になっていた。やはり、来待、玉湯、宍道、松江、秋鹿・大野、浜佐蛇の6地区は同じようなサイズでモードが見られたが、斐川では15～17と平田、斐川地区では異なるパターンとなり、前者では小型貝が、後者では大型貝が中心となっていた。

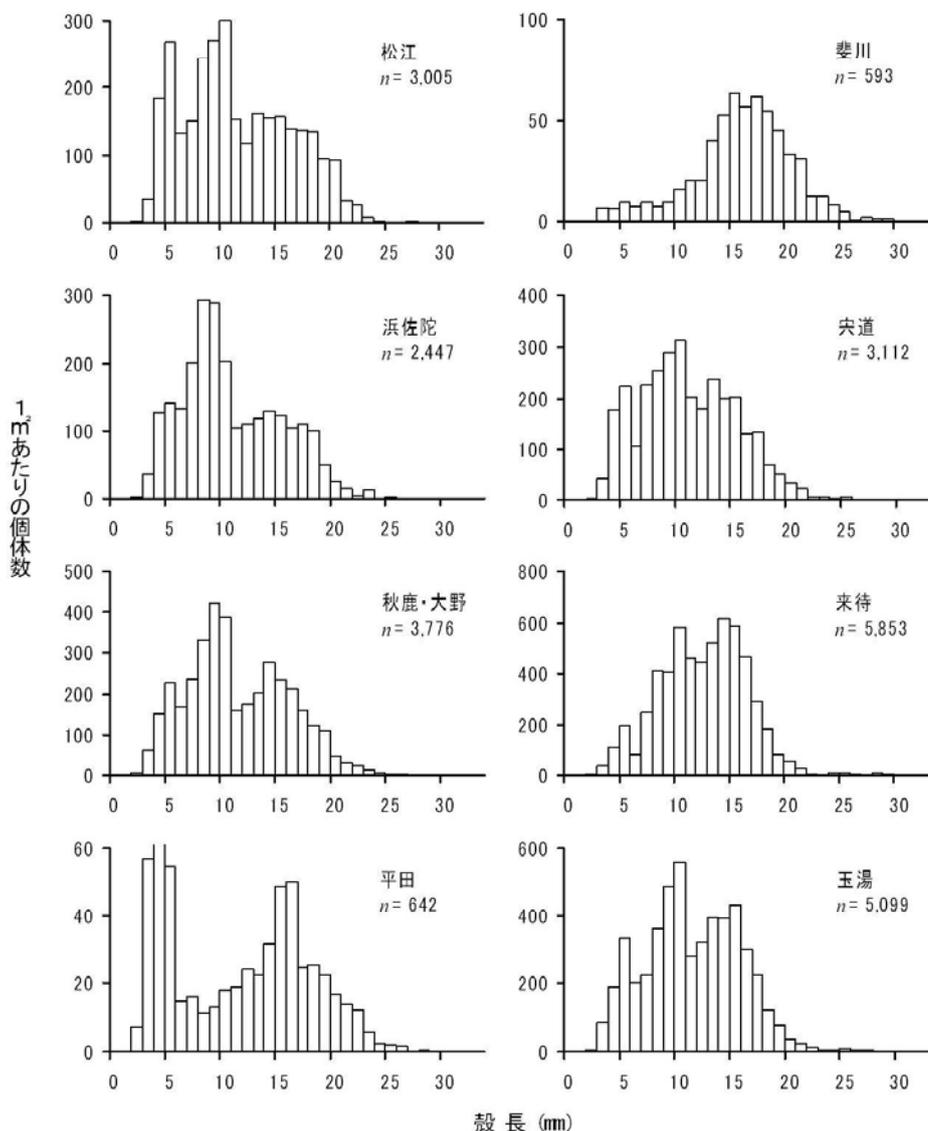


図10 地区別殻長組成 (秋季)

図 1.4.16 (6) 島根県シジミ資源量調査結果 (平成 17 年度)

【島根県水産技術センター提供】

漁獲サイズである殻長17mm以上の大型貝が占める割合を表5に示す。

春季、秋季ともに平田、斐川、秋鹿・大野が高く、宍道、来待、玉湯といった湖南地区は低い傾向が見られた。春季から秋季にかけての変化を見ると、平田、斐川地区での増加率がその他の地区に比べ大きく、殻長組成の違いが反映された形となった。

(4) 殻長・殻高・重量の関係

St. 6、St. 22、St. 34、St. 42、St. 56、St. 64、St. 76、St. 84の8地点（各地区につき1地点）で測定した、殻長、体重、殻高および殻幅の結果をまとめて殻長と殻高、殻長と殻幅、殻長と重量を図11、図12に示す。

殻長と殻高については $Y=0.922X-0.2801$ （春季）、 $Y=0.8879X-0.0581$ （秋季）、殻長-殻幅関係は $Y=0.6312X-0.2594$ （春季）、 $Y=0.8879X-0.2039$ （秋季）、殻長-重量関係は $Y=0.0002X^{3.188}$ （春季）、 $Y=0.0003X^{3.176}$ （秋季）、という関係式を得た。春季と秋季ではほとんど違いは無かった。

表5 殻長17mm以上の個体が占める個体数割合

	春季	秋季
松江	12%	18%
浜佐蛇	11%	13%
秋鹿・大野	10%	14%
平田	17%	20%
斐川	29%	45%
宍道	8%	11%
来待	5%	12%
玉湯	6%	10%

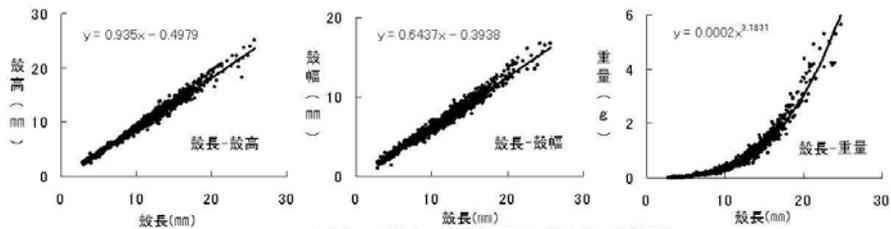


図11 殻長、殻幅、重量の関係（春季）

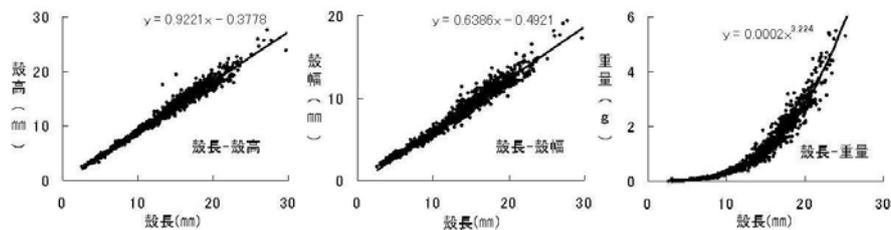


図12 殻長、殻幅、重量の関係（秋季）

(5) 資源量の経年変化

宍道湖全体の資源量の経年変化を図13に示した。平成9年夏季の資源量は6万3千トンと高い水準にあったが、7月から9月に発生した大量へい死によって平成10年の春季には約2万トンに激減した。その後回復傾向を示し、平成12年の春にいったん減少す

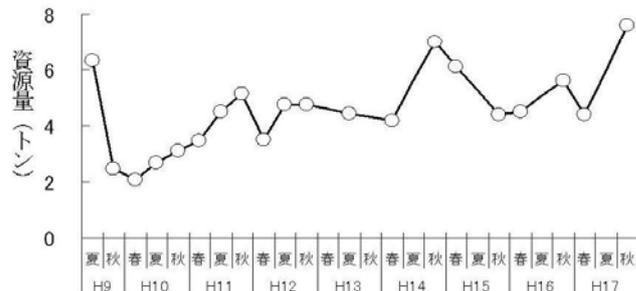


図13 資源量の経年変化

図 1.4.16 (7) 島根県シジミ資源量調査結果（平成17年度）

【島根県水産技術センター提供】

るものの、平成14年秋季には7万トンになった¹⁾。その後、平成15年夏季の大量への死により、平成15年秋季には4万4千トンまで減少した²⁾。平成17年春季までは5万トン前後で横ばい状態であったが、平成17年秋季には7万6千トンと調査開始以来最も高い値となった。

(6) 殻貝の重量

図14に春季および秋季における生貝重量と殻重量を地区別に示した。

殻重量とは生貝（生きている貝）以外の貝殻の重量で、二枚殻：（蝶番が未分離で左右の殻がつながっているもの）、ガボ：（殻が閉じているが、中に水または泥が詰まったもの）、一枚殻：（蝶番が分離した個体）を合計したものである。また、殻重量の算出方法は生貝重量の算出方法に準じて行った。

殻重量の割合（殻重量/（生貝+殻重量））は春季が60%、秋季が42%で、春季に比べ秋季は殻貝の割合が減少した。

地区別見ると、松江、浜佐蛇、秋鹿・大野、玉湯、来待地区では春季に殻重量の割合が高く、秋季になると減少するパターンであった。平田、斐川、宍道地区は春季と秋季の割合はほぼ同じであった。

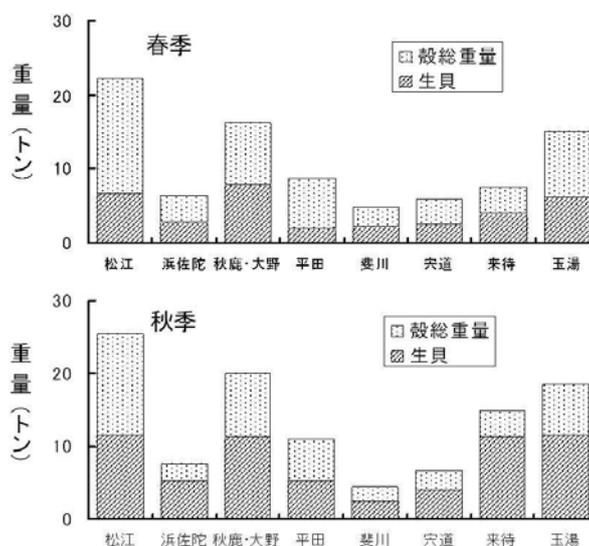


図14 平成17年度資源量調査による地区別の生貝重量と殻重量

4. 研究成果

- 調査で得られた結果は、宍道湖漁協へ速報値として提供し、詳細な結果は内水面漁業関係者等に報告するとともに宍道湖・中海水産資源維持再生構想の資料に使用された。

5. 文献

- 1) 後藤亮郎 他、ヤマトシジミ資源量調査、島根県内水面水産試験場事業報告（平成14年度）2002；43-52.
- 2) 後藤亮郎 他、ヤマトシジミ資源量調査、島根県内水面水産試験場事業報告（平成15年度）2002；14.

平成18年度の宍道湖のヤマトシジミ

安木 茂・三浦常廣・品川 明*

宍道湖のヤマトシジミ（以下「シジミ」という）について、宍道湖全体の資源量推定調査と、毎月一回実施する定期調査および漁場利用実態調査を基に、平成18年度の宍道湖におけるシジミ資源およびシジミ漁業の概要を報告する。

1. 資源量調査

(1) 調査目的

宍道湖のヤマトシジミ漁業は漁業者による自主的な漁業管理による資源管理がなされており、漁獲統計上の漁獲量は、必ずしも資源の状態を正確に反映していない。したがって、正確な資源量およびその動態を把握することにより、漁業者が実践する自主的な資源管理を行う上での一助とすることを目的に実施している。

(2) 調査方法

調査は調査船「ござ：8.5トン」を使用し、図1に示す調査地点で、春季（6月7～8日）および秋季（10月11～12日）の2回実施した。



図1 調査地点

調査ラインは、松江地区、浜佐陀地区、秋鹿・大野地区、平田地区、斐川地区、宍道地区、来待地区および玉湯地区の計8地区についてそれぞれの面積に応じ3～5本調査ラインを設定し、0.0～2.0m、2.1～3.0m、3.1～3.5m、3.6～4.0mの4つの水深帯ごとに調査地点を1点ずつ、計126点設定した。

シジミの採取は、スミス・マッキンタイヤ型採泥器（開口部22.5cm×22.5cm）を用い、各地

点2回、採取面積で0.1㎡の採泥を行い、船上で泥中からソーティングにより抽出した。ソーティングについては目合2mm、4mm、8mmの3種類のフルイを使用して行った。また、8mmフルイ残存個体（殻長約12mm以上）については個体数と重量を優先的に計測し、調査実施後1ヶ月以内に漁業者に速報値として提供した。

(2) 調査結果

①資源量の計算結果

春季および秋季調査結果を、表1に示した。

春季は54,251トン（個体数1,249億個）、秋季は41,369トン（個体数1,260億個）となり、春季から秋季にかけて重量で24%、個体数で28%と大きく減少した。

表1 平成18年度春季および秋季資源量調査結果

平成18年度春季調査						
水深	面積 (ha)	標本数	個体数密度 (個/m ²)	推定個体数 (億個)	重量密度 (g/m ²)	推定重量 (トン)
0～2.0m	7.7	32	6,971	451	3,194	24,489
2.1～3.0m	6.2	33	6,995	432	2,857	17,655
3.1～3.5m	4.8	32	4,375	208	1,531	7,289
3.6～4.0m	5.3	28	2,942	157	595	4,825
計	24.0	125	5,213	1,249	2,264	54,251

平成18年度秋季調査						
水深	面積 (ha)	標本数	個体数密度 (個/m ²)	推定個体数 (億個)	重量密度 (g/m ²)	推定重量 (トン)
0～2.0m	7.7	32	3,722	286	1,926	14,813
2.1～3.0m	6.2	33	5,127	317	2,553	14,728
3.1～3.5m	4.8	32	3,925	187	1,522	7,244
3.6～4.0m	5.3	28	2,070	110	860	4,534
計	24.0	125	3,787	900	1,727	41,369

水深層別の春から秋にかけての重量の増減は、0.0～2.0m（-39%）、2.1～3.0m（-17%）、3.1～3.5m（-1%）、3.6～4.0m（-5%）で、いずれの水深層でも資源重量は減少し、水深層が浅いほど減少率が高かった。

②殻長組成

春季および秋季の宍道湖全域における殻長別の生息個体数および重量を図2に示した。

平成18年秋季は漁獲対象となる貝の個体数割合が大きく減少し（全体の4%）、平成15年以降最低の値となった。また、前期（平成18春季）との比較では64%の減少となり、全体の減少幅（28%減）を大きく上回ったことから、大型

図 1.4.17 (1) 島根県シジミ資源量調査結果（平成18年度）

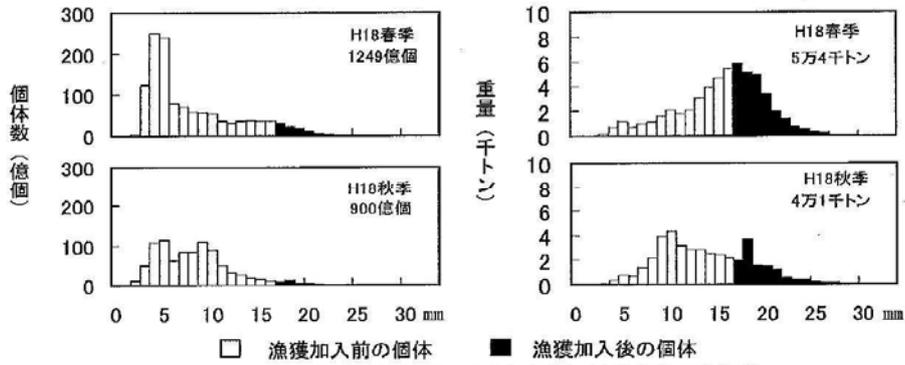


図2 殻長別の個体数組成(左)と重量組成(右) (上段春季、下段秋季)

貝を中心に大量へい死が起きたことが推察された。また、重量組成を見ると、春季の組成が漁獲加入ラインである殻長17mm前後にモードが見られるのに対し、秋季の組成はモードが10mm前後に見られ、極めて小型貝に偏った組成となった。

③資源量の経年変化

宍道湖全体の資源量の経年変化を図3に示した。平成17年秋季には過去最高の76,230トンの資源量であったが、平成18年春季および秋季はそれぞれ54,251トン、41,369トンと2季連続での減少となった。

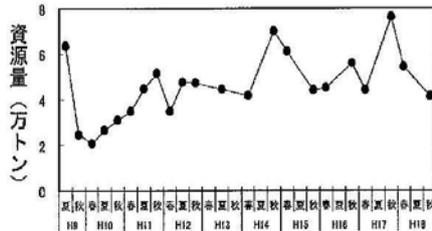


図3 資源量の経年変化

2. 定期調査

(1) 調査目的

シジミの生息状況や生息環境を定期的に把握し、へい死等の変化があった場合の速やかな状況把握および原因究明を行うとともに、対応策の検討や資源管理等に活用する。

(2) 調査方法

図4に示す4定点で、調査船「ござ:8.5トン」により、生息環境・生息状況・産卵状況・健康度等の調査を、毎月1回の頻度で実施した。



図4 定期調査地点

①生息環境調査

水質(水温、溶存酸素、塩分、pH、酸化還元電位、透明度)を測定し、生息環境の変化を把握した。なお、水温、溶存酸素、塩分、pHについては、HYDROLAB社製Quanta多項目水質計、酸化還元電位は東亜ディーケーケー(株)製ポータブルORP計(RM-20P)、透明度はセッキ盤(透明度板)を使用した。

②生息状況調査

調査地点ごとに、スミス・マッキンタイヤ型採泥器を用い原則5回採泥し、8mmふるいを用いてソーティングを行い、生貝、ガボ貝、口開け貝、二枚殻、一枚殻に分別し、1㎡当たりの生息個数、生息重量、へい死率等を計算した。

図 1.4.17 (2) 島根県シジミ資源量調査結果(平成18年度)

ただし、へい死率 = 二枚殻数 / (二枚殻数 + 生貝数) とした。

③産卵状況調査

産卵可能なサイズのできるだけ大きな貝20個を選別し、殻長・重量・軟体部重量を計測し、軟体部指数を求め産卵期を推定した。軟体部指数 = 軟体部湿重量 ÷ (軟体部湿重量 + 殻重量) × 100 とした。

④健康度調査

体液中の代謝産物(有機酸:コハク酸・プロピオン酸等)を測定し、健康度を把握した。船上で体液を採取固定した後、学習院女子大学(品川 明 教授)へ送付して液体クロマトグラフィー法により分析を行った。

(2) 調査結果

①生息環境

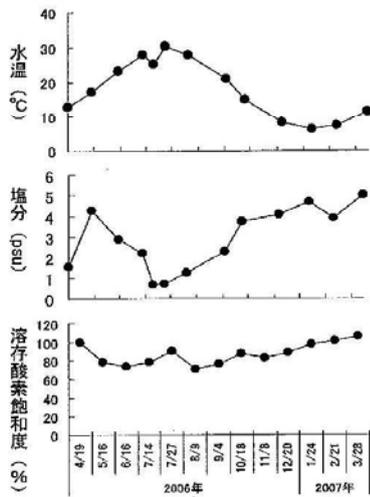


図5 調査地点底層における水温(上段)、塩分(中段)、溶存酸素飽和度(下段)の季節変化

全調査地点(4点)の底層における水温、塩分、水温は6~30℃の範囲で変動した。7月27日の観測では大雨による淡水の流入による影響で7月14日に28℃前後あったものが25℃程度まで急激に低下した。

塩分濃度は0.7~5.1psuの範囲で変動した。

夏季の大雨の影響で、7月下旬~10月中旬にかけて2psu以下の低塩分状態が継続した。特に7月27日と8月9日の観測では1psuを下回るほぼ淡水の状態であった。

溶存酸素濃度は70~106%の範囲で変動し、特に貧酸素状態に陥る状況は観測されなかった。

②生息状況

全調査地点(4点)の1㎡当りの生息密度およびへい死率の推移を図6、7に示した。

生息密度は各地点ともに4月以降漸減傾向にあり、特に西岸では5月に急激に生息密度が減少した。大雨直後の7月下旬から8月にかけては北岸で生息密度が低下したものの、その他の地区ではそれほど大きな減少は見られなかった。また、12月にはそれまで生息密度の高かった南岸域において急激な減少が見られている(図6)。

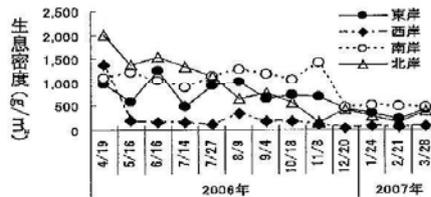


図6 宍道湖におけるシジミ生息密度

へい死率は短期間に起きたへい死現象の指標となるもので、二枚殻個数を生貝と二枚殻の合計個数で除した値で表される。通常年は2~3%程度で推移しているが、平成18年は夏季と冬季に30%以上の高い値を示しており、へい死現象が長期間にわたり起きていたことが示唆された(図7)。

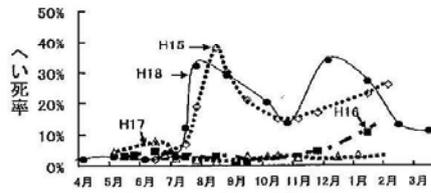


図7 へい死率の季節変動

へい死率 = 二枚殻個数 / (生貝個数 + 二枚殻個数)

③産卵状況

図8にシジミ軟体部指数の季節変化を示す。軟体部指数は全体重量に占める軟体部の重量比で表され、シジミの産卵・放精の目安となる。6月20日以降軟体部指数は減少傾向にあり、この頃から産卵が開始されたと推定された。

地点別には東岸、南岸、北岸がほぼ同時期に開始され、西岸は8月以降に産卵が開始したものと推察された。例年に比べやや産卵開始は遅れた。軟体部指数の減少は10月20日まで継続し、その後回復した。

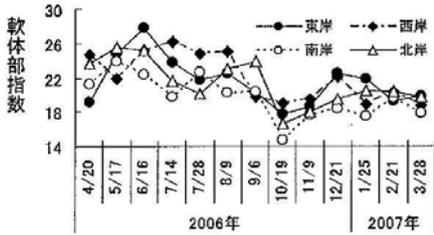


図8 シジミ軟体部指数の季節変化

$$\text{軟体部指数} = \frac{\text{軟体部重量}}{\text{軟体部重量} + \text{殻重量}} \times 100$$

④健康度調査

シジミの体腔液の代謝産物が生息環境の変化に対応して変動することを利用し、シジミの健康度を評価した。体腔液中に産出される有機酸のうちもっとも顕著に変化の現れるコハク酸の季節変化を示す(図9)。コハク酸含量は6~8月および12月に高い数値を示し、夏季と冬季の二度健康度の低下が見られた。この減少はへい死率の変化とよく似たパターンを示した。

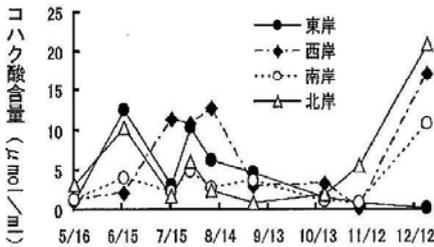


図9 シジミ体液中のコハク酸量の季節変化

3. 漁場利用実態調査

(1) 調査目的

シジミ船の操業位置情報を細かく収集し、水深、底質、水質、気象条件などの環境要因とを複合的に検証し、漁場形成要因を明らかにするとともに、未利用漁場のあぶり出しを行うことを目的とした。

(2) 調査方法

毎月1回、調査船「ござ:8.5トン」によりシジミ操業開始時刻に合わせて出港し、レーダー(FURUNO社 NAVnet)を稼働させながら宍道湖を一周し、漁場ごとにレーダーの映像をカラープロッターに保存し、持ち帰った映像データを画像処理ソフト「MapInfo Professional: MapInfo社」を用いて宍道湖の白地図データに重ね合わせ、調査日ごとの操業位置データを作成した。

(3) 調査結果

調査は平成18年4月6日、5月18日、6月9日、7月14日、8月10日、9月19日、10月17日、11月9日、12月21日、平成19年1月26日、2月21日、3月20日の計12回調査を実施した。

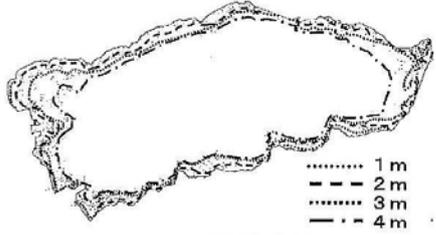


図10 シジミ漁場位置

12回分のシジミ漁船の操業位置を図10に示す。河川を除いた宍道湖内におけるシジミ船の延べ操業隻数は2,466隻で、1日平均206隻となった。ただし、冬季には大橋川や佐陀川など河川での操業が増加するため、河川も含めた実際のシジミ操業隻数はもう少し増加するはずである。シジミ漁場は、年間を通じて沿岸部に形成されており、大半は4m以浅であった。ただし、東部では4m以浅でも操業頻度の濃淡が激

しく、大橋川に近い水深2m程度の砂地の漁場に集中し、その他の漁場は比較的まばらに形成されていた。この要因は、操業形態の違い（東部は手掻き中心）によるものなのか底質の違いによるものなのかは不明である。夏季の大量へい死が起きた後、シジミの取れ方が鈍くなり、冬季に保護区の開放を行ったが、保護区の中でも宍道地区および十四間川河口の保護区での操業が集中し、保護区間での生息密度の違いが示唆された。

4. 研究成果

調査で得られた結果は、内水面漁業関係者等に報告するとともに宍道湖・中海水産資源維持再生構想の資料に使用された。

* 学習院女子大学
国際文化交流学部 日本文化学科
環境教育センター

図 1.4.17 (5) 島根県シジミ資源量調査結果 (平成18年度)

平成19年度の宍道湖のヤマトシジミ

安木 茂・三浦常廣・品川 明*

宍道湖のヤマトシジミ（以下「シジミ」という）について、宍道湖全体の資源量推定調査と、毎月一回実施する定期調査および漁場利用実態調査を基に、平成19年度の宍道湖におけるシジミ資源およびシジミ漁業の概要を報告する。

1. 資源量調査

(1) 調査目的

宍道湖のヤマトシジミ漁業は漁業者による自主的な漁業管理による資源管理がなされており、漁獲統計上の漁獲量は、必ずしも資源の状態を正確に反映していない。したがって、正確な資源量およびその動態を把握することにより、漁業者が実践する自主的な資源管理を行う上での一助とすることを目的に実施している。

(2) 調査方法

調査は調査船「ごず：8.5トン」を使用し、図1に示す調査地点で、春季（6月6～12日）および秋季（10月17～18日）の2回実施した。



調査ラインは、松江地区、浜佐陀地区、秋鹿・大野地区、平田地区、斐川地区、宍道地区、来待地区および玉湯地区の計8地区についてそれぞれの面積に応じ3～5本調査ラインを設定し、0.0～2.0m、2.1～3.0m、3.1～3.5m、3.6～4.0mの4つの水深帯ごとに調査地点を1点ずつ、計126点設定した。

シジミの採取は、スミス・マッキンタイヤ型採泥器（開口部22.5cm×22.5cm）を用い、各地

点2回、採取面積で0.1㎡の採泥を行い、船上で泥中からソーティングにより抽出した。ソーティングについては目合2mm、4mm、8mmの3種類のフルイを使用して行った。また、8mmフルイ残存個体（殻長約12mm以上）については個体数と重量を優先的に計測し、調査実施後1ヶ月以内に漁業者に速報値として提供した。

(3) 調査結果

①資源量の計算結果

春季および秋季調査結果を、表1に示した。

表1 平成19年度春季および秋季資源量調査結果

平成19年春季調査						
深度	面積 (km ²)	標本数	個体数密度 (個/m ²)	推定個体数 (億個)	重量密度 (g/m ²)	推定重量 (トン)
0～2.0m	7.7	32	5,077	380	1,603	12,327
2.1～3.0m	6.2	33	6,940	429	1,628	10,059
3.1～3.5m	4.8	32	5,549	264	1,235	5,898
3.6～4.0m	5.3	28	3,530	188	696	3,711
計	24.0	125	5,307	1,272	1,335	31,994
平成19年秋季調査						
深度	面積 (km ²)	標本数	個体数密度 (個/m ²)	推定個体数 (億個)	重量密度 (g/m ²)	推定重量 (トン)
0～2.0m	7.7	32	5,941	457	2,665	20,726
2.1～3.0m	6.2	32	9,412	582	3,548	21,929
3.1～3.5m	4.8	32	7,465	356	2,832	13,461
3.6～4.0m	5.3	28	5,173	276	2,029	10,813
計	24.0	124	6,972	1,670	2,794	66,949

春季は31,994トン（個体数1,272億個）、秋季は66,949トン（個体数1,670億個）となり、春季から秋季にかけて重量で約2.1倍、個体数で1.3倍の増加となった。

水深層別の春から秋にかけての重量の増減は、0.0～2.0m（+68%）、2.1～3.0m（+118%）、3.1～3.5m（+129%）、3.6～4.0m（+191%）で、いずれの水深層でも資源重量は増加し、水深層が深いほど増加率が高かった。

②殻長組成

春季および秋季の宍道湖全域における殻長別の生息個体数および重量を図2に示した。

漁獲対象となる貝の個体数割合は春が2%、秋が3%と、平成15年以降最低であった平成18年の秋（4%）をさらに下回った。一方、漁獲

図 1.4.18 (1) 島根県シジミ資源量調査結果（平成19年度）

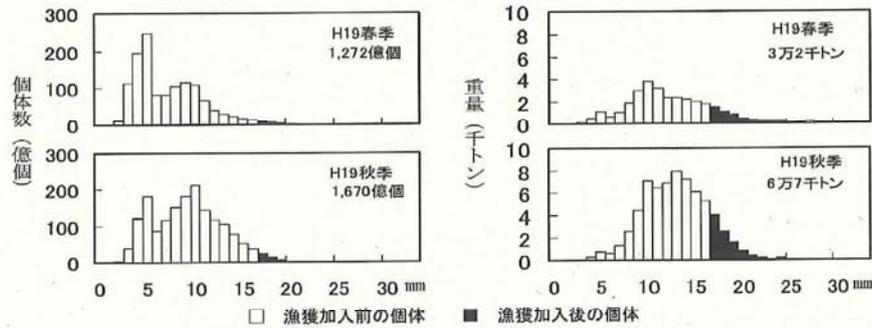


図2 殻長別の個体数組成(左)と重量組成(右) (上段春季、下段秋季)

加入前の小型貝(殻長10mm程度)は、春から秋にかけて大きく増加しており、資源の回復傾向が示唆された。

また、重量組成を見ると、春季の組成が殻長10mm前後にモードが見られるのに対し、秋季の組成はモードが13mm前後に見られ、春から秋にかけてシジミが成長し、大型貝の割合が増加した。

③資源量の経年変化

宍道湖全体の資源量の経年変化を図3に示した。平成19年春季には31,994トンと、きわめて低い水準にまで資源量は落ち込んだものの、平成19年秋季には66,949トンと大きく回復した。

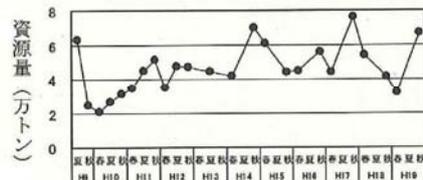


図3 資源量の経年変化

しかし、その内訳は漁獲加入前の小型貝が中心であり、漁獲対象となる殻長17mm以上の個体の重量割合は15% (平成15年以降の平均値: 37%) と依然として低いことから、漁獲対象資源の回復にはもう少し時間を要するものと思われる。

2. 定期調査

(1) 調査目的

シジミの生息状況や生息環境を定期的に把握し、へい死等の変化があった場合の速やかな状況把握および原因究明を行うとともに、対応策の検討や資源管理等に活用する。

(2) 調査方法

図4に示す4定点で、調査船「ごず」;8.5トンにより、生息環境・生息状況・産卵状況・健康度等の調査を、毎月1回の頻度で実施した。



図4 定期調査地点

①生息環境調査

水質(水温、溶存酸素、塩分、pH、酸化還元電位、透明度)を測定し、生息環境の変化を把握した。なお、水温、溶存酸素、塩分、pHについては、HYDROLAB社製Quanta多項目水質計、酸化還元電位は東亜ディーケーケー(株)製ポータブルORP計(RM-20P)、透明度はセッキ盤(透明度板)を使用した。

図 1.4.18 (2) 島根県シジミ資源量調査結果 (平成19年度)

②生息状況調査

調査地点ごとに、スミス・マッキンタイヤ型採泥器を用い原則5回採泥し、8mmふるいを用いてソーティングを行い、生貝、ガボ貝、口開け貝、二枚殻、一枚殻に分別した。1㎡当たりの生息個数、生息重量、へい死率等を計算した。ただし、へい死率=二枚殻数/(二枚殻数+生貝数)とした。

③産卵状況調査

産卵可能なサイズのできるだけ大きな貝20個を選別し、殻長・重量・軟体部重量を計測し、軟体部指数を求め産卵期を推定した。軟体部指数=軟体部湿重量×100÷(軟体部湿重量+殻重量)とした。

④健康度調査

体液中の代謝産物(有機酸:コハク酸・プロピオン酸等)を測定し、健康度を把握した。船上で体液を採取固定した後、学習院女子大学(品川 明 教授)へ送付して液体クロマトグラフィー法により分析を行った。

(3) 調査結果

①生息環境

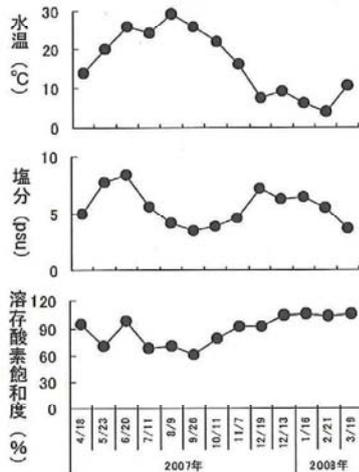


図5 調査地点底層における水温(上段)、塩分(中段)、溶存酸素飽和度(下段)の季節変化

全調査地点(4点)の底層における水温、塩分、溶存酸素飽和度の平均値を図5に示す。水温は3~30℃の範囲で変動した。

塩分濃度は2.8~8.8psuの範囲で変動した。5月、6月は7psu以上の高塩分状態となったが、7月~11月にかけては4~5psu程度で安定していたが、12月~翌年2月にかけては再び6psu以上に上昇した。

溶存酸素濃度は34~116%の範囲で変動し、8月に西部域でやや貧酸素状態に陥る状況が確認されたが、宍道湖全域での溶存酸素飽和度は概ねに推移した。

②生息状況

全調査地点(4点)の1㎡当りの生息密度およびへい死率の推移を図6、7に示した。

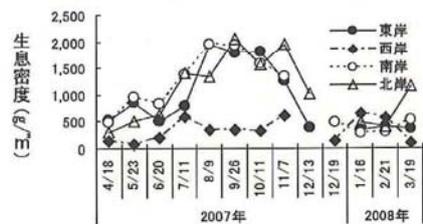


図6 宍道湖におけるシジミ生息密度

生息密度は西岸を除き4月以降増加傾向にあり、6月と10月に実施した資源量調査結果とも一致する結果となった。しかし、12月になると生息密度が急激に減少した(図6)。

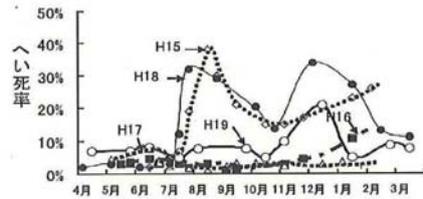


図7 へい死率の季節変動

へい死率=二枚殻個数/(生貝個数+二枚殻個数)
へい死率は短期間に起きたへい死現象の指標となるもので、二枚殻個数を生貝と二枚殻の合計個数で除した値で表される。通常年は2~

図 1.4.18 (3) 島根県シジミ資源量調査結果(平成19年度)

3%程度で推移しているが、平成19年は4月以降5~10%の比較的高い値を示し、12月には21%にまでへい死率は上昇し、平成15年、平成18年と同様、冬季におけるへい死が確認された(図7)。

③ 産卵状況

図8にシジミ軟体部指数の季節変化を示す。軟体部指数は全体重量に占める軟体部の重量比で表され、シジミの産卵・放精の目安となる。5月24日から6月21日にかけて東岸および北岸で一度軟体部指数が減少するが、その後7月11日以降は南岸および西岸でも減少し始めており、本格的な産卵時期は7月11日以降であったと推察された。

地点別には東岸、南岸、北岸がほぼ同時期に開始され、西岸は8月以降に産卵が開始したものと推察された。例年に比べやや産卵開始は遅れた。軟体部指数の減少は10月11日まで継続し、その後回復に向かった。

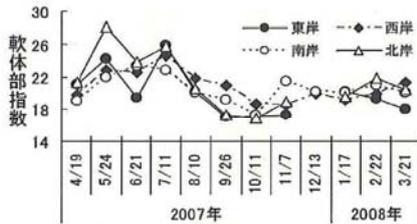


図8 シジミ軟体部指数の季節変化

$$\text{軟体部指数} = \frac{\text{軟体部重量}}{\text{軟体部重量} + \text{殻重量}} \times 100$$

④ 健康度調査

シジミの体腔液の代謝産物が生息環境の変化に対応して変動することを利用し、シジミの健康度を評価した。体腔液中に産出される有機酸のうちもっとも顕著に変化の現れるコハク酸の季節変化を示す(図9)。コハク酸含量は12月以降に高い数値を示しており、冬季にシジミの活性が低下していたことが示された。昨年のように、夏季のコハク酸上昇は見られなかった。

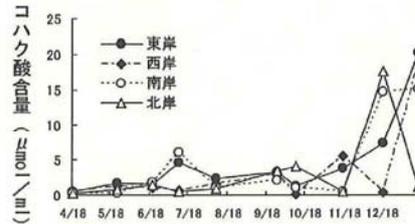


図9 シジミ体液中のコハク酸量の季節変化

3. 漁場利用実態調査

(1) 調査目的

シジミ船の操業位置情報を細かく収集し、水深、底質、水質、気象条件などの環境要因とを複合的に検証し、漁場形成要因を明らかにするとともに、未利用漁場のあぶり出しを行うことを目的とした。

(2) 調査方法

毎月1回、調査船「ごず：8.5トン」によりシジミ操業開始時刻に合わせて出港し、レーダー(FURUNO社 NAVnet)を稼働させながら宍道湖を一周し、漁場ごとにレーダーの映像をカラープロッターに保存し、持ち帰った映像データを画像処理ソフト「MapInfo Professional: MapInfo社」を用いて宍道湖の白地図データに重ね合わせ、調査日ごとの操業位置データを作成した。

(3) 調査結果

調査は平成19年4月16日、5月14日、6月19日、7月12日、8月7日、9月25日、10月15日、11月8日、12月20日、平成20年1月15日、2月15日、3月18日の計12回調査を実施した。

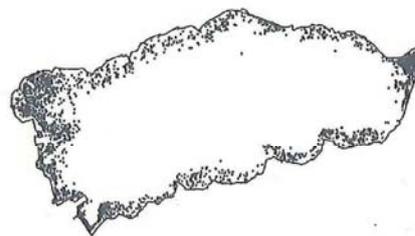


図10 シジミ漁場位置

12回分のシジミ漁船の操業位置を図10に示す。

河川を除いた宍道湖内におけるシジミ船の延べ操業隻数は2,391隻（前年2,466隻）で、1日平均199隻（前年206隻）となった。シジミ漁場は、年間を通じて沿岸部に形成されており、大半は4m以浅であった。ただし、東部では4m以浅でも操業頻度の濃淡が激しく、大橋川に近い水深2m程度の砂地の漁場に集中し、その他の漁場は比較的まばらに形成されていた。昨年の大量へい死が起きた後、漁獲対象となるシジミが少ない中、1月以降保護区が開放されたが、漁場形成は、平田地区（小境地先）、斐伊

川河口周辺、十四間川河口沖合、宍道地区、秋鹿沖、長江沖といった宍道湖の西部および北部に集中した。一方、宍道湖南東部の保護区では活発な漁場形成は見られなかった。

4. 研究成果

- 調査で得られた結果は、内水面漁業関係者等に報告された。

*学習院女子大学
国際文化交流学部 日本文化学科
環境教育センター

図 1.4.18（5） 島根県シジミ資源量調査結果（平成19年度）

平成 20 年度の宍道湖のヤマトシジミ

若林英人・三浦常廣

宍道湖のヤマトシジミ（以下「シジミ」という）について、宍道湖全体の資源量推定調査と、毎月一回実施する定期調査および漁場利用実態調査を基に、平成 20 年度の宍道湖におけるシジミ資源およびシジミ漁業の概要を報告する。

1. 資源量調査

(1) 調査目的

宍道湖のヤマトシジミ漁業は漁業者による自主的な漁業管理（漁獲規制等）がなされており、漁獲統計上の漁獲量は、必ずしも資源の状態を正確に反映していない。そのため正確な資源量を推定し、その動態を把握することは漁業者の自主的な資源管理を実施する上で重要な情報となる。本調査はその情報源と資源管理方策の提言を目的に実施している。

(2) 調査方法

調査は調査船「ごず：8.5 トン」を使用し、図 1 に示す調査地点で、春季（6 月 11～12 日）および秋季（10 月 8～9 日）の 2 回実施した。



図 1 調査地点

調査ラインは、松江地区、浜佐陀地区、秋鹿・大野地区、平田地区、斐川地区、宍道地区、来待地区および玉湯地区の計 8 地区についてそれぞれの面積に応じ 3～5 本調査ラインを設定し、0.0～2.0m、2.1～3.0m、3.1～3.5m、3.6～4.0m の 4 つの水深帯ごとに調査地点を

1 点ずつ、計 126 点設定した。

シジミの採取は、スミス・マッキンタイヤ型採泥器（開口部 22.5 cm×22.5 cm）を用い、各地点 2 回、採取面積で 0.1m²の採泥を行い、船上で泥中からソーティングにより抽出した。ソーティングについては目合 2 mm、4 mm、8 mm の 3 種類のフルイを使用して行った。また、8 mm フルイ残存個体（殻長約 12 mm 以上）については個体数と重量を速やかに計測し、調査実施後 1 ヶ月以内に漁業者に速報値として提供した。

(3) 調査結果

①資源量の計算結果

春季および秋季調査結果を表 1 に示した。

表 1 平成 20 年度春季および秋季資源量調査結果

平成20年春季調査						
深度	面積 (km ²)	標本数	個体数密度 (個/m ²)	推定個体数 (億個)	重量密度 (g/m ²)	推定重量 (トン)
0～2.0m	7.7	31	4,859	361	2,157	16,588
2.1～3.0m	6.2	33	5,390	333	1,673	11,575
3.1～3.5m	4.8	32	3,988	171	1,108	5,561
3.6～4.0m	5.3	28	2,144	114	674	3,594
計	24.0	124	4,080	980	1,557	37,317

平成20年秋季調査						
深度	面積 (km ²)	標本数	個体数密度 (個/m ²)	推定個体数 (億個)	重量密度 (g/m ²)	推定重量 (トン)
0～2.0m	7.7	31	6,410	493	2,849	21,906
2.1～3.0m	6.2	33	7,390	457	2,653	16,396
3.1～3.5m	4.8	32	4,766	227	1,780	8,473
3.6～4.0m	5.3	28	3,057	163	1,236	5,996
計	24.0	124	5,590	1,339	2,228	53,374

春季の資源量は 37,317 トン（個体数 980 億個）、秋季の資源量は 53,374 トン（個体数 1,339 億個）となり、春季から秋季にかけて重量、個体数ともに約 1.4 倍の増加となった。

水深層別の春から秋にかけての重量の増減は、0.0～2.0m（+32%）、2.1～3.0m（+42%）、3.1～3.5m（+52%）、3.6～4.0m（+84%）で、いずれの水深層でも資源重量は増加し、水深層が深いほど増加率が高かった。

②殻長組成

春季および秋季の宍道湖全域における殻長別の生息個体数および重量を図2に示した。

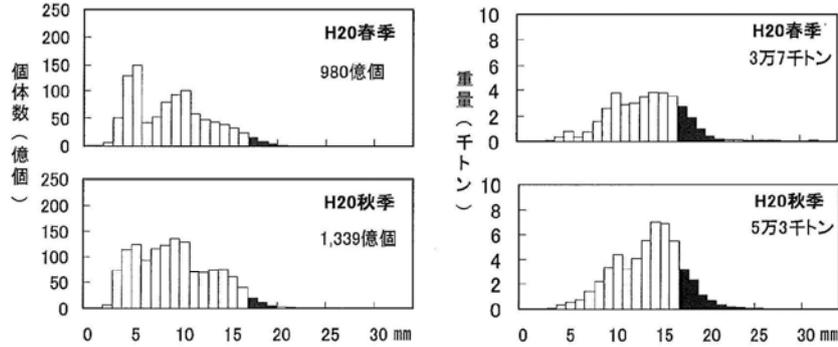


図2 殻長別の個体数組成（左）と重量組成（右）（上段春季、下段秋季）

□ 未加入資源 ■ 漁獲対象資源

漁獲対象資源（殻長 17 mm以上の個体）の個体数割合は春、秋ともに約3%と、平成19年以降横ばいの状況となっている。一方、漁獲未加入資源（殻長 10 mm程度）は、春から秋にかけて増加しており、資源の回復傾向が示唆された。

また、重量組成を見ると、春季から秋季にかけての殻長 15 mm前後の個体重量の増加が見られ、春から秋にかけてシジミが成長し、大型貝の割合が増加した。

③資源量の経年変化

宍道湖のシジミ資源は平成19年秋の66,949トンから平成20年春には37,317トンまで減少したが、平成20年秋には53,374トンと増加に転じ、平成15・16年並みの資源量

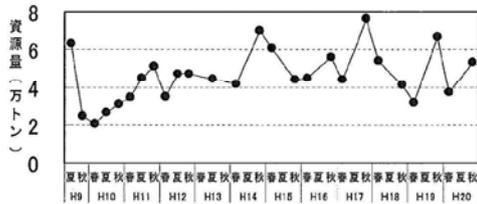


図3 資源量の経年変化

となっている。

しかし、その内訳は未加入資源が中心であり、漁獲対象資源の重量割合は15%（平成

15年以降の平均値：37%）と依然として低いことから、漁獲対象資源の回復にはもう少し時間を要するものと思われた。

2. 定期調査

(1) 調査目的

シジミの生息状況や生息環境を定期的に把握し、へい死等の変化があった場合の速やかな状況把握および原因究明を行うとともに、対応策の検討や資源管理等に活用する。

(2) 調査方法

図4に示す4定点で、調査船「ござ：8.5トン」により、生息環境・生息状況・産卵状況等の調査を、毎月1回の頻度で実施した。



図4 定期調査地点

①生息環境調査

水質（水温、溶存酸素、塩分、pH、酸化還元電位、透明度）を測定し、生息環境の変化を把握した。なお、水温、溶存酸素、塩分、pHについては、HYDROLAB社製 Quanta 多項目水質計、酸化還元電位は東亜ディーケーケー（株）社製ポータブル ORP 計（RM-20P）、透明度はセッキ盤（透明度板）を使用した。

②生息状況調査

調査地点ごとに、スミス・マッキンタイヤ型採泥器を用い原則 5 回採泥し、8mmふるいを用いてソーティングを行った。生貝・ガボ貝・口開け貝・二枚殻・一枚殻に分別し、1㎡当たりの生息個数、生息重量、へい死率等を計算した。ただし、へい死率＝二枚殻数／（二枚殻数＋生貝数）とした。

③産卵状況調査

産卵可能なサイズのできるだけ大きな貝

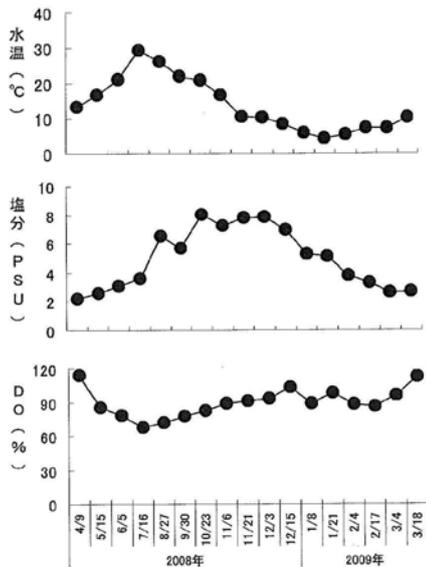


図5 調査地点底層における水温（上段）、塩分（中段）、溶存酸素飽和度（下段）の季節変化

20 個を選別し、殻長・重量・軟体部重量を計測し、軟体部指数を求め産卵期を推定した。軟体部指数＝軟体部湿重量÷（軟体部湿重量＋殻重量）×100 とした。

(3) 調査結果

①生息環境

底層における水温、塩分、溶存酸素飽和度について 4 定点の平均値を図 5 に示す。

水温は 4～30℃の範囲で変動し、7月中旬から 8月中旬の約 1ヶ月間は 30℃近くの高水温で推移した。

塩分濃度は 0.3～11.9psu の範囲で変動した。7月までは 4 psu 以下の低塩分状態であったが、8月以降塩分濃度が 6 psu を超え、その状態が 12月まで続いた。

溶存酸素濃度は 57～122%の範囲で変動し、8月に溶存酸素濃度が低下する状況が確認されたが、宍道湖全域での溶存酸素飽和度は概ね平年並みに推移した。

②生息状況

全調査地点（4 点）のへい死率の推移を図 6 に示した。

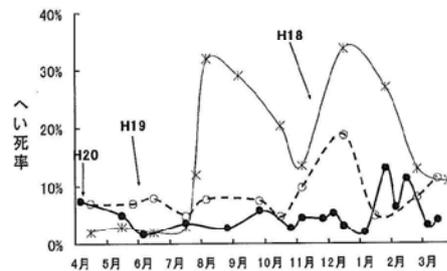


図6 へい死率の季節変動

$$\text{へい死率} = \frac{\text{二枚殻個数}}{\text{生貝個数} + \text{二枚殻個数}} \times 100$$

へい死率は短期間に起きたへい死現象の指標となるもので、二枚殻個数を生貝と二枚殻の合計個数で除した値で表される。通常年は 2～3%程度で推移しているが、平成 20 年は 4月に 8%の比較的高い値を示し、それ以降は 4%前後で推移していたが、1月と 2月に

は10%を越えるへい死が確認された。

③ 産卵状況

図7にシジミ軟体部指数の季節変化を示す。軟体部指数は全体重量に占める軟体部の重量比で表され、シジミの産卵・放精の目安となる。例年5月の段階で軟体部指数は22以上となり産卵開始の判断基準としているが、平成20年は6月5日に南岸が、7月16日に西岸で22を上回ったがその他の地点では22を上回ることにはなかった。

東岸、南岸、北岸では6月5日を、西岸では7月16日をピークに8月27日にかけて軟体部指数は減少しており、平成20年の産卵期間は例年に比べ短かったものと思われる。その後、東岸と北岸は3月上旬にかけ徐々に回復したが、西岸と南岸はほぼ横ばいで推移した。3月上旬から下旬にかけては4地点とも軟体部指数は増加した。

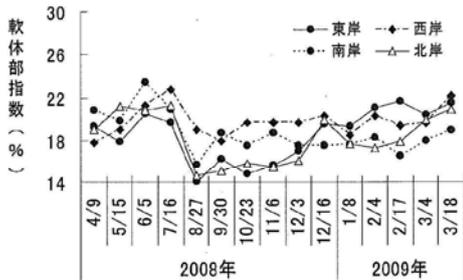


図7 シジミ軟体部指数の季節変化

$$\text{軟体部指数} = \frac{\text{軟体部重}}{\text{軟体部重量} + \text{殻重}} \times 100$$

3. 漁場利用実態調査

(1) 調査目的

シジミ船の操業位置情報を細かく収集し、水深、底質、水質、気象条件などの環境要因とを複合的に検証し、漁場形成要因を明らかにするとともに、未利用漁場を把握することを目的とした。

(2) 調査方法

毎月1回、調査船「ごず：8.5トン」によりシジミ操業開始時刻に合わせて出港し、レーダー (FURUNO社 NAVnet) を稼働させながら宍道湖を一周し、漁場ごとにレーダーの映像をカラープロッターに保存し、持ち帰った映像データを画像処理ソフト「MapInfo Professional : MapInfo社」を用いて宍道湖の白地図データに重ね合わせ、調査日ごとの操業位置データを作成した。

(3) 調査結果

12回の調査で確認したシジミ船の全操業位置を図8に示す。



図8 シジミ漁場位置

河川を除いた宍道湖内におけるシジミ船の延べ操業隻数は2,354隻(前年2,391隻)で、1日平均196隻(前年199隻)となった。シジミ漁場は、年間を通じて沿岸部に形成されており、大半は4m以浅であった。ただし、東部では4m以浅でも操業頻度の濃淡が激しく、大橋川に近い水深2m程度の砂地の漁場に集中し、その他の漁場は比較的まばらに形成されていた。1月以降すべての1年保護区が開放されたが、漁場形成は平田地区(小境地先)、斐伊川河口周辺、十四間川河口沖合、宍道地区、秋鹿沖、長江沖といった宍道湖の西部および北部に集中した。東部では大橋川内に主漁場が移り、宍道湖南東部の1年保護区では活発な漁場形成は見られなかった。

4. 研究成果

調査で得られた結果は、宍道湖漁業協同組合を中心とした内水面漁業関係者等に報告した。

平成 21 年度の宍道湖のヤマトシジミ

若林英人・藤川裕司・山根恭道・向井哲也・松本洋典

宍道湖のヤマトシジミについて、宍道湖全体の資源量推定調査と、毎月一回実施する定期調査および漁場利用実態調査を基に、平成 21 年度の宍道湖におけるシジミ資源およびシジミ漁業の概要を報告する。

1. 資源量調査

(1) 調査目的

宍道湖のヤマトシジミ漁業は漁業者による自主的な漁業管理がなされており、正確な資源量を推定しその動態を把握することは、漁業者の自主的な資源管理を実施する上で重要となっている。本調査は資源量情報の提供と資源管理方策の提言を目的に実施している。

(2) 調査方法

調査は調査船「ごず」：8.5 トンを使用し、図 1 に示す調査地点で、春季（6 月 10・12・15 日）および秋季（10 月 13・15・16 日）の 2 回実施し、ヤマトシジミ（春季：4 万 8 千個、15 kg、秋季：6 万 5 千個、24 kg）を採取した。



図 1 調査地点

調査ラインは、松江地区、浜佐陀地区、秋鹿・大野地区、平田地区、斐川地区、宍道地区、来待地区および玉湯地区の計 8 地区についてそれぞれの面積に応じ 3～5 本調査ラインを設定し、0.0～2.0m、2.1～3.0m、3.1～3.5m、3.6～4.0m の 4 つの水深帯ごとに調査地点を 1 点ずつ、計 126 点設定した。

シジミの採取は、スミス・マッキンタイヤ型採泥器（開口部 22.5 cm×22.5 cm）を用い、各地点 2 回、採取面積で 0.1m² の採泥を行い、船上でフルイを用いて貝を選別した。選別は目合 2mm、4mm、8mm の 3 種類のフルイを使用して行った。また、8mmフルイ残存個体（殻長約 12mm 以上）については個体数と重量を迅速に計測し、調査実施後 1 ヶ月以内に漁業者に速報値として提供した。

(3) 調査結果

①資源量の計算結果

表 1 平成 21 年度春季および秋季資源量調査結果
平成 21 年春季調査

深度	面積 (m ²)	標本数	個体数密度 (個/m ²)	推定個体数 (億個)	重量密度 (g/m ²)	推定重量 (トン)
0～2.0m	7.7	33	5,541	426	2,078	15,984
2.1～3.0m	6.2	33	7,607	470	2,185	13,506
3.1～3.5m	4.8	32	5,004	267	1,446	6,884
3.6～4.0m	5.3	28	2,182	116	671	3,577
計	24.0	126	5,339	1,279	1,667	39,930

平成 21 年秋季調査

深度	面積 (m ²)	標本数	個体数密度 (個/m ²)	推定個体数 (億個)	重量密度 (g/m ²)	推定重量 (トン)
0～2.0m	7.7	32	6,165	474	2,524	19,407
2.1～3.0m	6.2	33	9,733	601	3,510	21,694
3.1～3.5m	4.8	32	8,256	393	2,946	14,021
3.6～4.0m	5.3	28	4,611	246	1,577	8,406
計	24.0	125	7,155	1,714	2,651	63,528

春季および秋季調査結果を、表 1 に示した。

春季は 39,930 トン（個体数 1,279 億個）、秋季は 63,528 トン（個体数 1,714 億個）となり、春季から秋季にかけて重量で約 1.6 倍、個体数で約 1.3 倍の増加となった。

水深層別の春から秋にかけての重量の増減は、0.0～2.0m（+22%）、2.1～3.0m（+61%）、3.1～3.5m（+104%）、3.6～4.0m（+135%）で、いずれの水深層でも資源重量は増加し、深いほど増加率が高かった。

②殻長組成

春季および秋季の宍道湖全域における殻長別の生息個体数および重量を図 2 に示した。

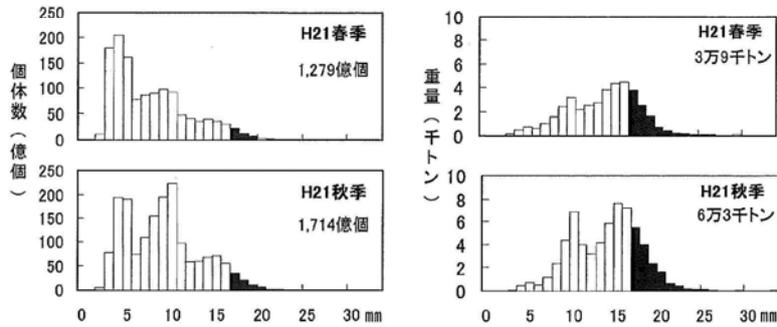


図2 殻長別の個体数組成(左)と重量組成(右)(上段春季、下段秋季)
□ 未加入資源 ■ 漁獲対象資源

春季から秋季にかけてシジミが成長し、殻長10mmおよび15mm前後の個体数、個体重量の増加が見られた。漁獲対象資源(殻長17mm以上の個体)については、秋季が78億個と春季の46億個の約1.7倍となった。

③資源量の経年変化

秋季の宍道湖におけるヤマトシジミ全体の資源量は1,714億個、63,528トンと算出され、前年秋季(平成20年10月:53,374トン)を約2割上回った。また、漁獲対象資源量も15,100トンと前年より増加した。宍道湖におけるヤマトシジミ全体の資源量は平成18年、19年にへい死があり減少していたが、その後は僅かながら増加の傾向にあり、資源回復の兆しが見え始めた。

これまで漁業者は自ら漁獲量制限を行い率先して資源管理に取り組んでおり、資源状態

の悪化に対して、平成19年6月からはそれまで約150kgだった1日の漁獲上限を約120kg(平成20年8月からは約90kg)に削減した。平成20年以降、漁獲対象資源が僅かながら増加傾向にあり、平成21年秋の漁獲対象資源量が約15,000トンとなったのは、その効果の一つと考えられる。

2. 定期調査

(1) 調査目的

ヤマトシジミの生息状況や生息環境を定期的に調査し、へい死等の状況の把握を行い、対応策の検討や資源管理等の基礎資料として活用する。

(2) 調査方法

図4に示す4定点で、調査船「ごず:8.5トン」により、生息環境・生息状況・産卵状況等の調査を、毎月1回の頻度で実施した。

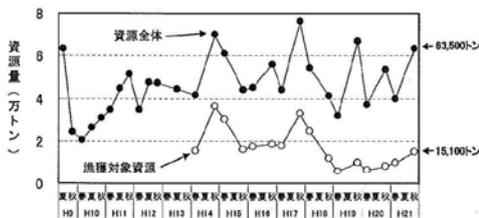


図3 資源量の経年変化

資源全体 : 殻長2mm以上のヤマトシジミ
漁獲対象資源 : 殻長17mm以上のヤマトシジミ



図4 定期調査地点

図 1.4.20 (2) 島根県シジミ資源量調査結果(平成21年度)

①生息環境調査

水質（水温、溶存酸素、塩分、pH、酸化還元電位、透明度）を測定し、生息環境の変化を把握した。なお、水温、溶存酸素、塩分、pHについては、HYDROLAB社製Quanta多項目水質計、酸化還元電位は東亜ディーケーケー（株）社製ポータブルORP計（RM-20P）、透明度はセッキ盤（透明度板）を使用した。

②生息状況調査

調査地点ごとに、スミス・マッキンタイヤ型採泥器を用い原則5回採泥し、8mmふるいを用いてソーティングを行った。生貝・ガボ貝・口開け貝・二枚殻・一枚殻に分別し、1㎡当たりの生息個数、生息重量、へい死率等を計算した。ただし、へい死率＝二枚殻数÷（二枚殻数＋生貝数）×100とした。

③産卵状況調査

産卵可能なサイズのできるだけ大きな貝20個を選別し、殻長・重量・軟体部重量を計測し、軟体部指数を求め産卵期を推定した。軟体部指数＝軟体部湿重量÷（軟体部湿重量＋殻重量）×100とした。

(3) 調査結果

①生息環境調査

全調査地点（4点）の底層における水温、塩分、溶存酸素飽和度の平均値を図5に示す。

底層の水温は昨年、一昨年とも夏場に30℃近くまで上昇したが、今年は26℃前後で推移した。

底層の塩分濃度は昨年は7月まで4psu以下の低塩分状態で、その後6psuを超える状態が12月まで続いた。今年は一昨年同様に春先から塩分濃度の上昇が見られたが、7月の大雨により湖内全体の塩分濃度が低下し、その状態が9月上旬まで続いた。

底層の溶存酸素は67～114%の範囲で変動し、昨年、一昨年と同様8月に溶存酸素が低下した。

②生息状況調査

全調査地点（4点）のへい死率の推移を図6に示した。

へい死率は短期間に起きたへい死現象の指

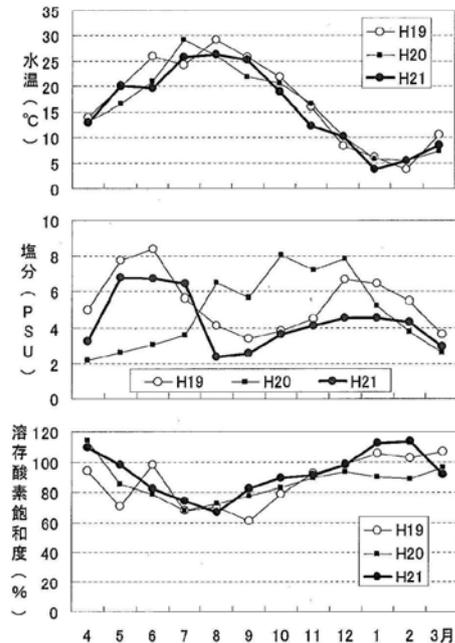


図5 調査地点底層における水温（上段）、塩分（中段）、溶存酸素飽和度（下段）の季節変化

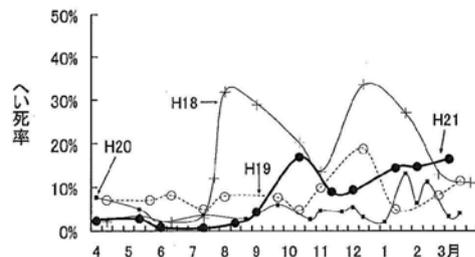


図6 へい死率の季節変動

へい死率＝へい死貝個数÷（生貝個数＋へい死貝個数）×100

標となるもので、へい死貝（二枚殻と口開け貝）の個数を生貝とへい死貝の合計個数で除した値で表される。平成18年は大雨等の影響により夏と冬にヤマトシジミの大量へい死が発生した。それ以後の平成19、20年度では夏場には大きなへい死は見られなかったが冬場（平成19年12月、平成21年1月）にへい死率が高くなった。今年は9月まで目立ったへ

い死はなかったが、10月に17%のへい死が見られ、その後減少したものの1月以降10%を越えるへい死率となった。

③ 産卵状況

図7にシジミ軟体部指数の季節変化を示す。

軟体部指数は全体重量に占める軟体部の重量比で表され、例年5月の段階で軟体部指数は22以上となり産卵開始の判断基準としてい。今年度は春先から軟体部指数の増加が見られ西岸では23～24で推移し、その他の地区も22前後で推移した。7月に入り東岸と南岸で軟体部指数が22を下回った。8月には西岸と北岸で軟体部指数は減少したが、東岸と南岸では再び軟体部指数が22を超えたため8月以降、10月にかけても産卵が行われたものと推測された。

その後、南岸では軟体部指数の増加が見られず17～18前後で推移し、1月には16まで減少した。その他の地区は19～20前後に回復した。

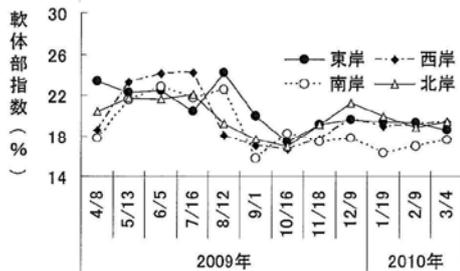


図7 シジミ軟体部指数の季節変化

$$\text{軟体部指数} = \frac{\text{軟体部重量}}{\text{軟体部重量} + \text{殻重量}} \times 100$$

3. 漁場利用実態調査

(1) 調査目的

漁場利用実態を明らかにするため、シジミ船の位置情報を把握し、適正な資源管理を実施するための基礎資料とする。

(2) 調査方法

毎月1回、調査船「ごず」：8.5トンによりシジミ操業開始時刻に合わせて出港し、レーダー（FURUNO社 NAVnet）を稼働させながら宍道湖を一周し、漁場ごとにレーダーの映

像をカラープロッターに保存し、持ち帰った映像データを画像処理ソフト「MapInfo Professional：MapInfo社」を用いて宍道湖の白地図データに重ね合わせ、調査日ごとの操業位置データを作成した。

(3) 調査結果

調査は平成21年4月14日、5月12日、6月9日、7月8日、8月10日、9月17日、10月26日、11月27日、12月17日、平成22年1月25日、2月23日、3月23日の計12回調査を実施した。

図8にシジミ漁船の操業位置を示す。

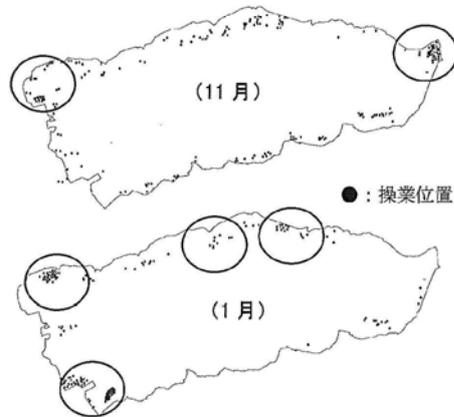


図8 シジミ漁場位置

河川を除いた宍道湖内におけるシジミ船の延べ操業隻数は2,410隻(前年2,354隻)で、1日平均201隻(前年196隻)となった。4月から12月までは宍道湖全域で漁場が形成され、特に宍道湖の東西で漁船の集中する水域が見られた(図8：11月)。1月にすべての1年保護区が開放された後では、宍道湖の西部(平田小境地先、斐伊川河口周辺、十四間川河口沖合、宍道地区)や北部(秋鹿沖、長江沖)に漁船が集中した。

4. 研究成果

調査で得られた結果は、資源管理(漁獲制限)の資料として利用されている。また、宍道湖漁協青年部勉強会、宍道湖・中海水産資源維持再生事業検討会で報告した。

島根県水産技術センター 川と湖の情報誌 平成 22 年 8 月 12 日発行

かわこ 川っ湖通信 第4号



(本誌はホームページでもご覧いただけます。 <http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/naisuimen>)

平成22年度春季 シジミ資源量調査結果

島根県水産技術センターでは平成 22 年 6 月 9・10 日に“調査船ごず”により宍道湖のヤマトシジミ資源量調査を実施しました。

春季資源量調査結果

宍道湖におけるヤマトシジミ全体の資源量を計算したところ、949 億個、41,429 トンと算出され、前年春季(平成 21 年 6 月:1,279 億個・39,930 トン)に比べ、資源個体数は下回りましたが、資源重量は上回っています(表 1)。

宍道湖におけるヤマトシジミ全体の資源量は平成 18 年、19 年にへい死があり減少していましたが、その後は僅かながら増加の傾向にあります(図 1)。

表 1 平成 22 年度春季ヤマトシジミ資源量調査結果

深度	面積 (km ²)	標本数	個体数密度 (個/m ³)	推定個体数 (億個)	重量密度 (g/m ³)	推定重量 (トン)
0~2.0m	7.7	33	3,420	263	1,721	13,235
2.1~3.0m	6.2	33	5,616	347	2,256	13,939
3.1~3.5m	4.8	32	4,678	223	1,897	9,031
3.6~4.0m	5.3	28	2,183	116	980	5,224
計	24.0	126	3,961	949	1,729	41,429

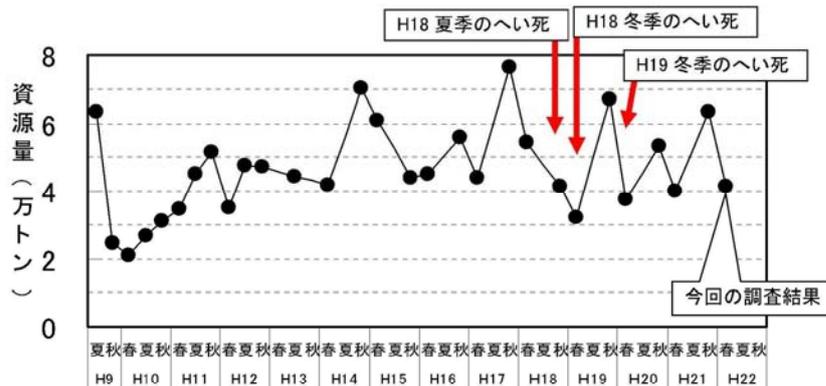


図1 宍道湖におけるヤマトシジミ資源量の変化

1

H22年 (1.1)

図 1.4.21 (1) 島根県シジミ資源量調査結果 (平成 22 年度)

図2に平成21年春季と平成22年春季のヤマトシジミ資源の殻長組成を示します。殻長17mm以上のヤマトシジミが漁獲対象資源です。

ヤマトシジミの全体の資源個体数は1,279億個（H21）から949億個（H22）と減少しており、特に殻長5mm前後の小型個体の減少が目立ちます。このサイズの個体は平成21年生まれの子体となりますが、漁協が毎年行っている天然採苗でも昨年はここ数年で最低の採取量となっています。平成21年は7月の大雨により湖内全体の塩分濃度が低下し、その状態が9月上旬まで続きましたが、そのことが幼生の発生等に影響を与えたものと思われます。

一方、漁獲対象資源については46億個から60億個と増加の傾向にあります。図3に漁獲対象資源の資源重量の動向を示します。平成16年春以降、漁獲対象資源は2万トン程度で推移していましたが、平成18年の秋に1万トン、平成19年の春に5,800トンにまで減少しました。それ以降は僅かずつですが増加の傾向が見られ平成22年春の漁獲対象資源は約12,700トンとなっています。

これから秋にかけて殻長11mm以上の個体が成長とともに順次漁獲対象として加入してくるものと思われませんが、来年度以降に漁獲対象となる殻長5mm前後の個体の減少が見られることから漁獲規制の継続は必要と思われれます。

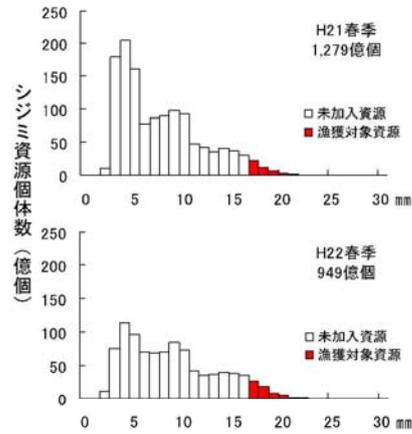


図2 殻長ごとの個体数組成

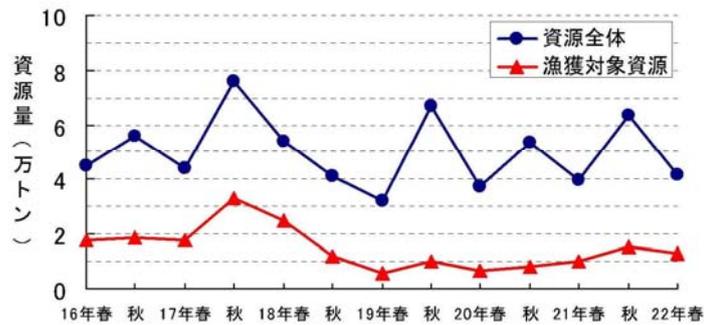


図3 漁獲対象資源重量の動向

- ◎ 水産技術センター内水面浅海部では漁業関係者や県民の皆様からの情報をお待ちしています。珍しい魚が捕れたり、川や湖で変わった現象などありましたら、是非下記までご連絡ください。
- ◎ 本誌はカラーの写真や図を使用しています。FAXでご覧の方は是非インターネットで内水面グループが運営するホームページ「島根の川と湖」にアクセスして本誌をカラーでご覧ください。

島根県水産技術センター 内水面浅海部 内水面グループ
 住所：島根県出雲市園町沖の島 1659-1
 TEL：0853-63-5101 FAX：0853-63-5108
 ホームページ： <http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/naisuimen/>
 E-mail： suigi-naisuimen@pref.shimane.lg.jp

島根県水産技術センター 川と湖の情報誌 平成 23 年 1 月 12 日発行

かわ 湖
川つ湖通信 第6号



(本誌はホームページでもご覧いただけます。http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/naisuimen)

平成22年度秋季 シジミ資源量調査結果

島根県水産技術センターでは平成 22 年 10 月 6・7 日に“調査船ごず”により宍道湖のヤマトシジミ資源量調査を実施しました。

秋季資源量調査結果

宍道湖におけるヤマトシジミ全体の資源量を計算したところ、944 億個、41,403 トンと算出され、前年秋季（平成 22 年 10 月：1,714 億個・63,528 トン）に比べ、資源個体数・資源重量ともに大幅に減少しました（表 1）。

宍道湖におけるヤマトシジミ全体の資源量は平成 18 年、19 年にへい死後、僅かながら増加の傾向にありましたが、平成 22 年は春から秋にかけての資源量の増加が見られませんでした（図 1）。

表 1 平成 22 年度秋季ヤマトシジミ資源量調査結果

深度	面積 (km ²)	標本数	個体数密度 (個/m ³)	推定個体数 (億個)	重量密度 (g/m ³)	推定重量 (トン)
0~2.0m	7.7	33	4,536	349	2,079	15,987
2.1~3.0m	6.2	33	5,562	344	2,226	13,754
3.1~3.5m	4.8	32	3,895	185	1,718	8,177
3.6~4.0m	5.3	28	1,239	66	654	3,484
計	24.0	126	3,940	944	1,728	41,403

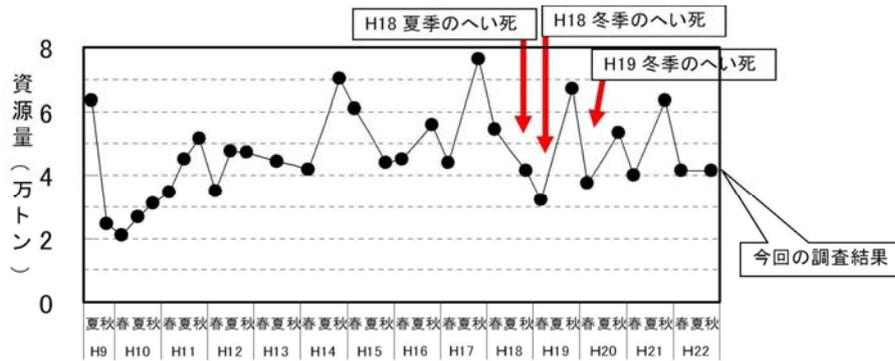


図1 宍道湖におけるヤマトシジミ資源量の変化

1

H22年 (2. 1)

図 1. 4. 21 (3) 島根県シジミ資源量調査結果 (平成 22 年度)

【島根県水産技術センター提供】

図2に平成21年と平成22年のヤマトシジミ資源の殻長組成を示します。ヤマトシジミは夏から秋にかけてもっとも成長する時期で、平成21年では春季から秋季にかけて殻長10mmおよび15mm前後の個体数の増加が見られました。

一方、平成22年についてはヤマトシジミの成長が思わしくなく、殻長10mm前後の個体が僅かに増加したものの、15mm以上の個体数は減少しています。それにより平成22年のヤマトシジミ全体の資源個体数は949億個（春季）から944億個（秋季）と減少し、漁獲対象資源についても60億個から44億個へと減少しています。

今年は宍道湖で夏期の高水温やアオコの発生といった例年にない現象が起こっており、このことがヤマトシジミの成長に何らかの影響を与えたのではないかと考えられます。

図3に漁獲対象資源（殻長17mm以上）の資源重量の動向を示します。漁獲対象資源は平成18年の秋に1万トン、平成19年の春には5,800トンにまで減少しました。その後、漁業者が率先して資源管理に取り組んできたことにより僅かずつですが増加の傾向が見られていましたが、平成22年秋の漁獲対象資源量は約9,800トンまで減少しています。

今後もモニタリング調査等を継続実施し、資源動向を注視していきます。

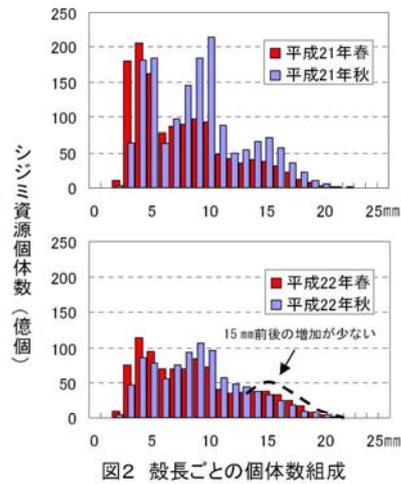


図2 殻長ごとの個体数組成

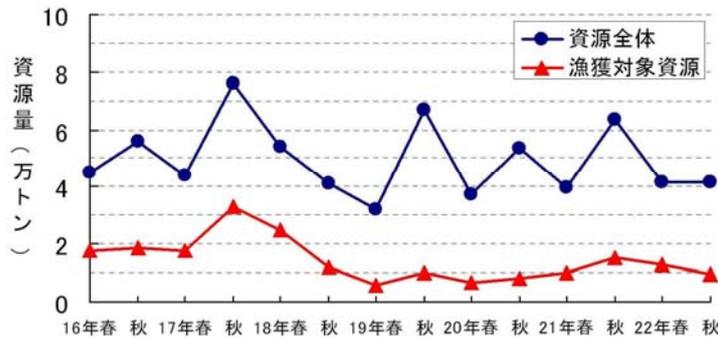


図3 漁獲対象資源重量の動向

- ◎ 水産技術センター内水面浅海部では漁業関係者や県民の皆様からの情報をお待ちしています。珍しい魚が捕れたり、川や湖で変わった現象などありましたら、是非下記までご連絡ください。
- ◎ 本誌はカラーの写真や図を使用しています。FAXでご覧の方は是非インターネットで内水面グループが運営するホームページ「島根の川と湖」にアクセスして本誌をカラーでご覧ください。

島根県水産技術センター 内水面浅海部 内水面グループ
 住所：島根県出雲市園町沖の島 1659-1
 TEL: 0853-63-5101 FAX: 0853-63-5108
 ホームページ：<http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/naisuimen/>
 E-mail：suigi-naisuimen@pref.shimane.lg.jp

1.4.10 マス網・刺網調査（島根県）

【島根県水産課より提供】

（10）漁業（漁獲）実態調査（平成18年度～22年度）

研究目的

中海の代表的な漁業で、ほぼすべての魚種の周年的な出現動向を把握しやすいマス網と成魚を積極的に漁獲している刺網の魚種や漁獲量の詳細を把握し、中海の有効活用を図るための基礎資料を収集する。

研究方法

① 標本船野帳調査

漁業実態および有用魚介類の季節変動を把握するために、マス網3地区（東出雲町意東、松江市本庄、美保関町万原（以下、それぞれ東出雲、本庄、美保関と略す）、刺網1地区（八束町江島（以下、江島と略す））において漁業者（各1名）に操業日誌の記帳を依頼した（図1）。

② 漁獲物買取り調査

マス網2地区（東出雲、本庄、いずれも標本船調査と同じ）において、月1回の頻度で全漁獲物の買取りを行い、出現魚種や体長組成についての調査を実施した。

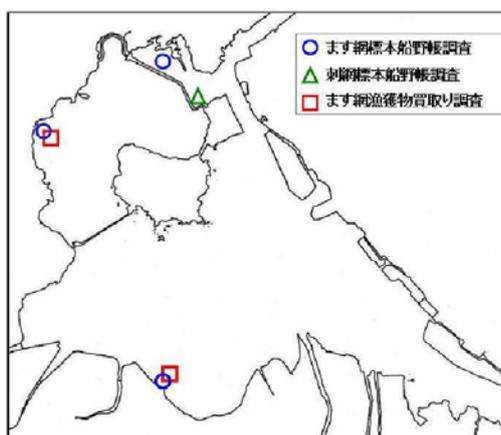


図1 調査位置図

研究結果と考察

① 標本船野帳調査

ア. マス網調査

図2に地区別の平成18年度から平成22年度までの魚種別漁獲動向を示した（※平成22年度は11月分までのデータ）。

東出雲では、周年的に漁獲されるスズキと春～秋季にかけて漁獲されるサッパ・ヒイラギの漁獲量が多く、この3魚種で全漁獲量の1/2以上を占めた。この3種の次には、主に春～夏季に漁獲されるコノシロ、秋～冬季に漁獲されるマハゼやアカエイが年によって多く漁獲された。その他の魚種では、冬季にモクズガニ・ウグイが、春季にはアユが特徴的に漁獲された。

本庄では、主に夏季に漁獲されるアカエイを主体に、周年的に漁獲されるスズキや春季に漁獲されるコノシロが多く漁獲された。夏～冬季にかけて漁獲されるマハゼは近年減少傾向にあった。

美保関では、スズキが周年的に多く漁獲されるが、平成21年の春季にはコ

【島根県水産課より提供】

ノシロが多獲された。この他、ガザミ類が夏季を主体に、ウナギが秋季に漁獲された。

3地区における魚種組成を比較するとそれぞれ特徴的な魚種がいくつか見られたが、スズキについては3地区とも共通的に周年多獲されていた。

平成21年度までの4カ年の漁獲量を見ると、東出雲、本庄で減少傾向が認められた。特に、本庄の減少幅が大きい。これは西部承水路の撤去工事に伴う漁具の設置場所の変更等の影響が考えられた。

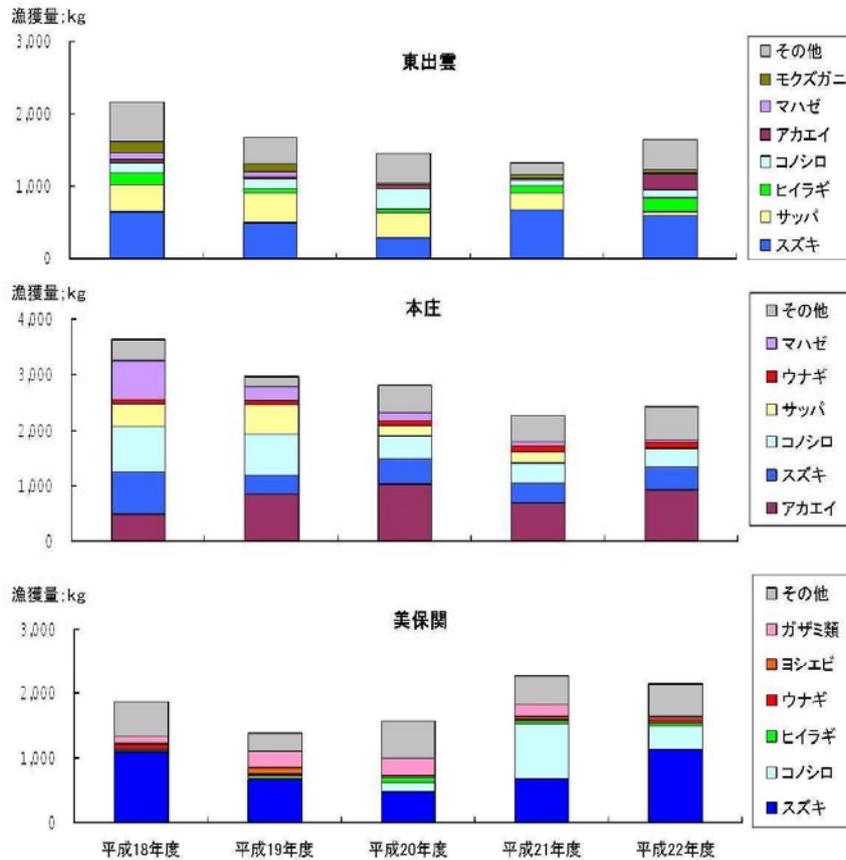


図2 ます網標本船調査魚種別漁獲動向

島根県水産課提供データ

図 1.4.22 (2) 島根県漁業実態調査 (平成18年度～平成22年度)

イ. 刺網調査

図3に年度別の魚種別漁獲動向を示した(※平成22年度は11月分までのデータ)。平成21年度までの漁獲量を見ると減少傾向が認められた。いずれの年もボラとスズキが周期的に漁獲され、この2種で全漁獲量の約8割を占めている。この2種以外では春季にコノシロ、春から秋にかけてヒイラギの漁獲が見られ、平成20・21年度以降ではクロダイも夏から秋にかけて比較的まとまって漁獲されていた。

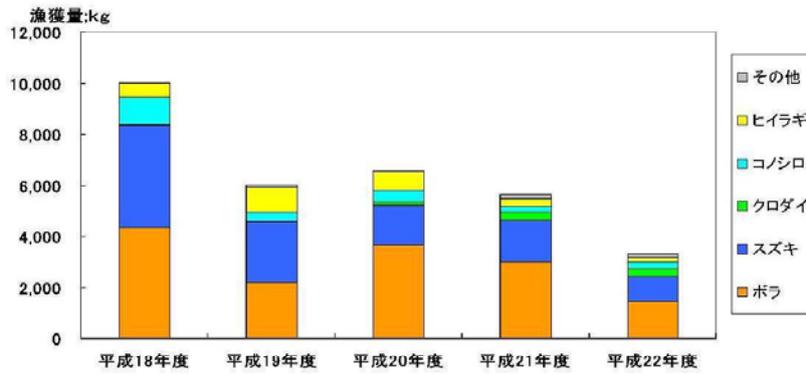


図3 刺網の魚種別漁獲動向

図4に年度別の漁場利用頻度(漁具の設置回数から算出)の推移を示した。刺網の漁場は、中海本湖(東側、西側)を主体に中浦水門付近や中海北部(森山堤防西側～境水道)など中海全域を利用し、漁場毎の利用頻度は年度でやや異なった。本庄水域においては14～21%(平成22年度を除く)の頻度で漁場として利用されているが、森山堤防の一部が開削された平成21年度以降の利用頻度は今のところ特に大きな変化は見られていない。

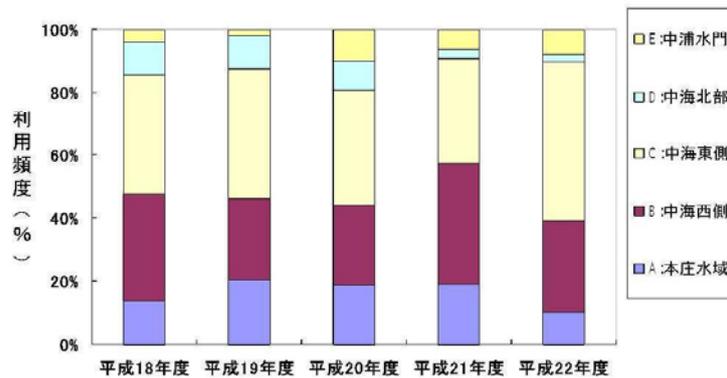


図4 刺網の漁場利用頻度

② 買取り調査（ます網）

ア) 魚種別出現数

東出雲の買取り調査における平成18年度から平成22年度の出現上位5種の尾数割合を図5に示した（※平成22年度は1月分までのデータ）。標本船調査で漁獲量の多かった魚種（スズキ、サツバ、ヒイラギ）の他には、平成18年度はハゼ類やマアジが、平成21年度はモクズガニ・アユ、平成22年度にはコノシロが多いなど、年度により出現種組成が大きく異なった。

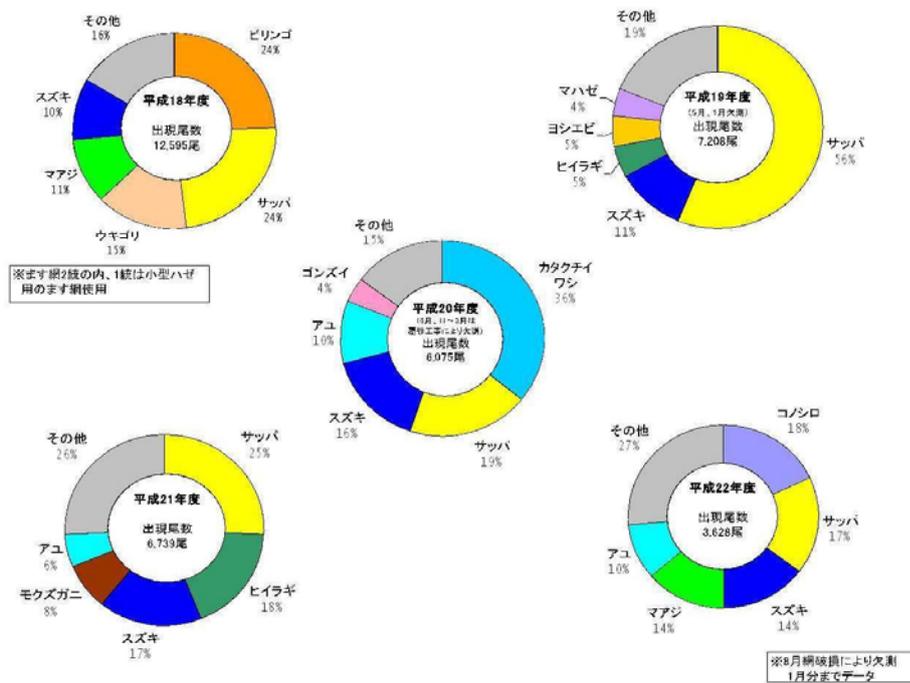


図5 東出雲におけるます網買取り調査の魚種別出現尾数の割合

本庄における平成18年度から平成22年度までの年度別・種別の出現上位5種の尾数割合を図6に示した（※平成22年度は1月分までのデータ）。東出雲と同様に年度ごとに出現種の組成は大きく異なり、平成18・19年度はサツバ、平成20年度はヒイラギの割合が高く、平成21・22年度はサツバの他、カタクチイワシ・マアジ等の外洋性魚種の割合が高い傾向が見られた。平成21・22年度のマアジについては、日本海において稚魚の発生量が多かったことから、このことが

影響している可能性が考えられた。

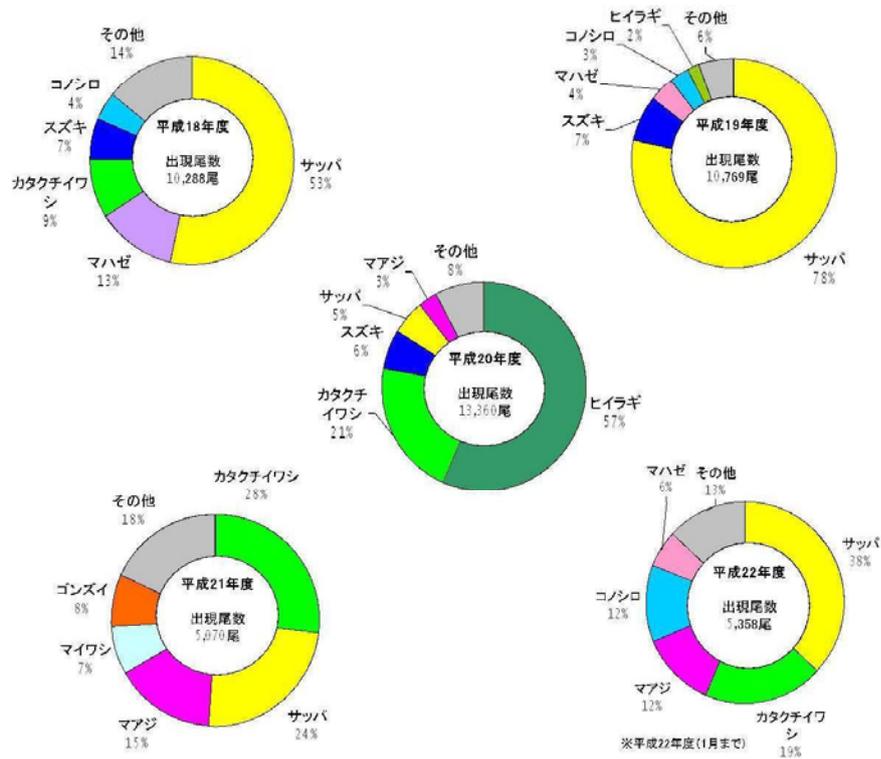


図6 本庄におけるます網買い取り調査の魚種別出現尾数の割合

イ) 体長組成

東出雲、本庄ともにます網で出現頻度の高かったスズキについて、季節別の体長組成の推移を図7に示した（※本庄のデータ使用）。

スズキは、冬季（1～3月）以外の春～秋季に体長30cm未満の未成魚のみが出現した。春季に発生時期が異なるとみられる群が2～3群出現し、その後、秋季にかけて順次体長が大きくなる傾向が認められた。

【島根県水産課より提供】

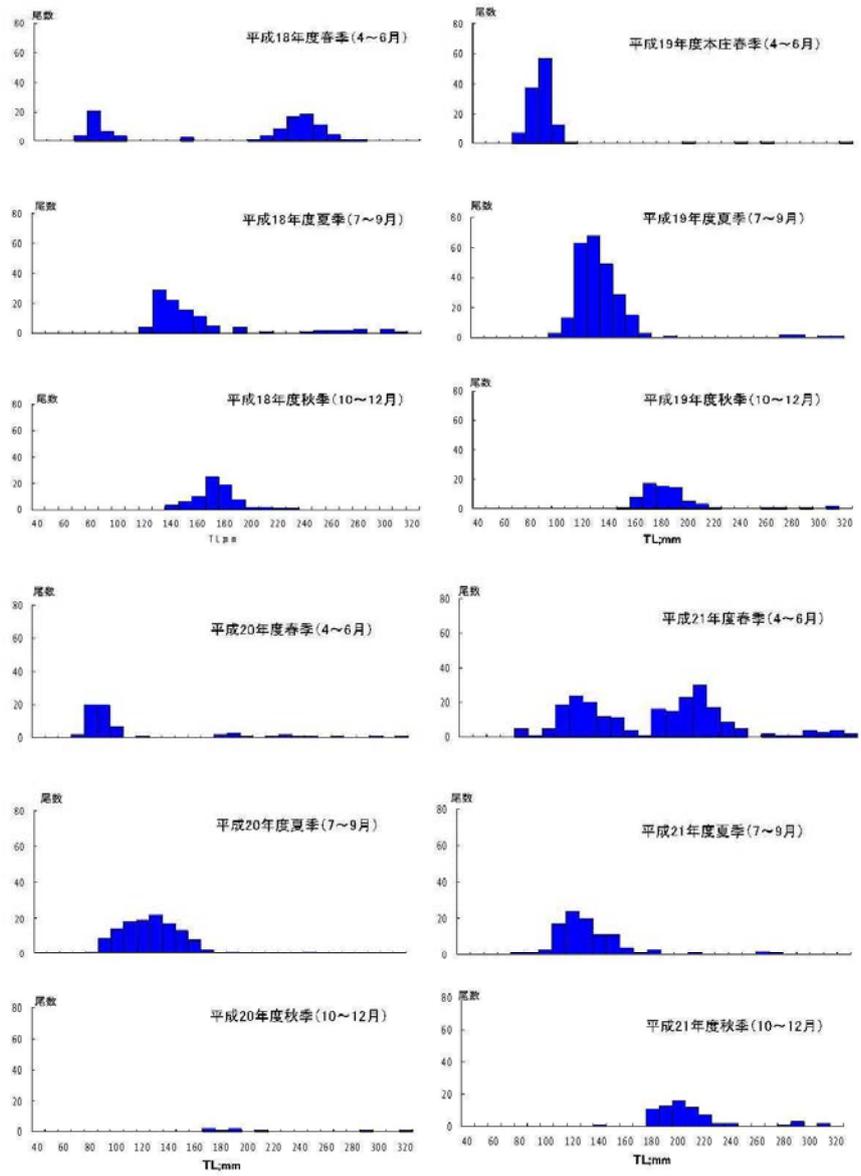


図7 本庄のます網取り調査におけるスズキの季節別の体長組成推移

島根県水産課提供データ

図 1.4.22 (6) 島根県漁業実態調査 (平成 18 年度～平成 22 年度)

【島根県水産課より提供】

本庄及び東出雲でスズキと同様に出現頻度の高かったサツパの体長組成の季節別の推移を図8に示した（※東出雲のデータ使用）。

サツパは春季に体長 100mm 以上の群が出現し、夏季以降は小型サイズのもの
が加わり 2 群となった。

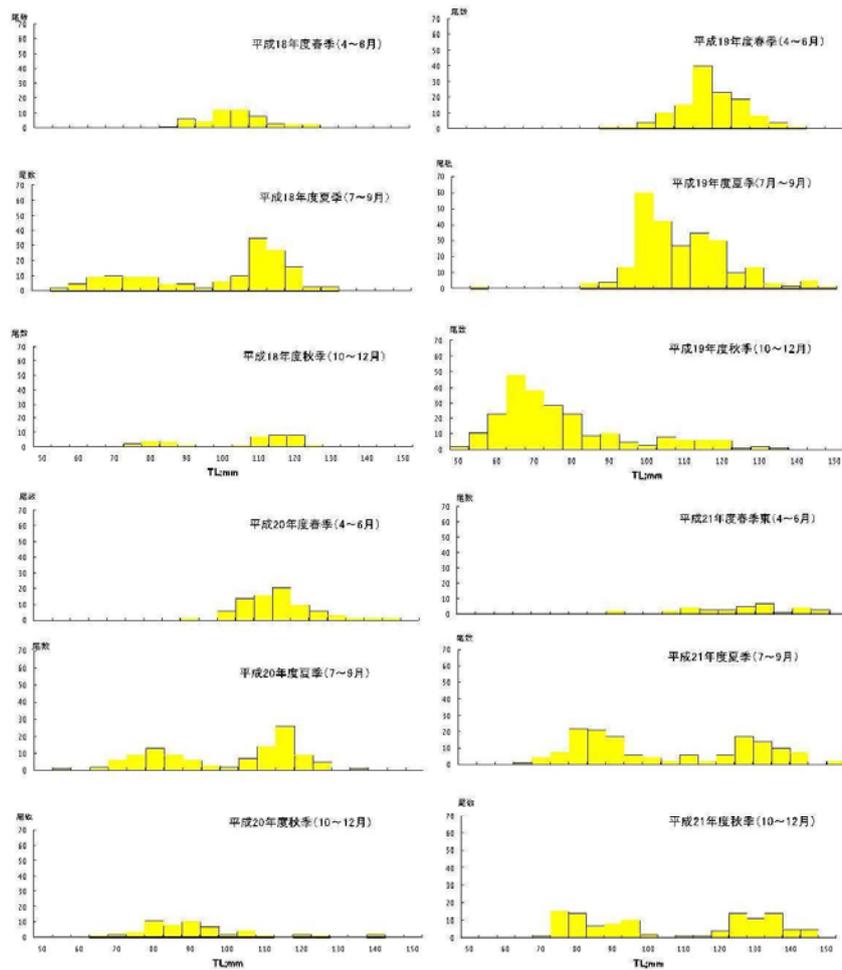


図8 本庄のます網買取り調査におけるサツパの季節別の体長組成推移

本庄で出現頻度の高かったコノシロの季節別体長組成の推移を図9に示した。

コノシロは、各年度とも春季に 220～240mm 付近にモードを持つ大型サイズ群が主体であった。その後、夏季には大型サイズのものに加えて、70～90mm および 130～140mm 付近にモードを持つ小型サイズの群の2群が出現したが、秋季以降はいずれの年度もほとんど出現しなかった。

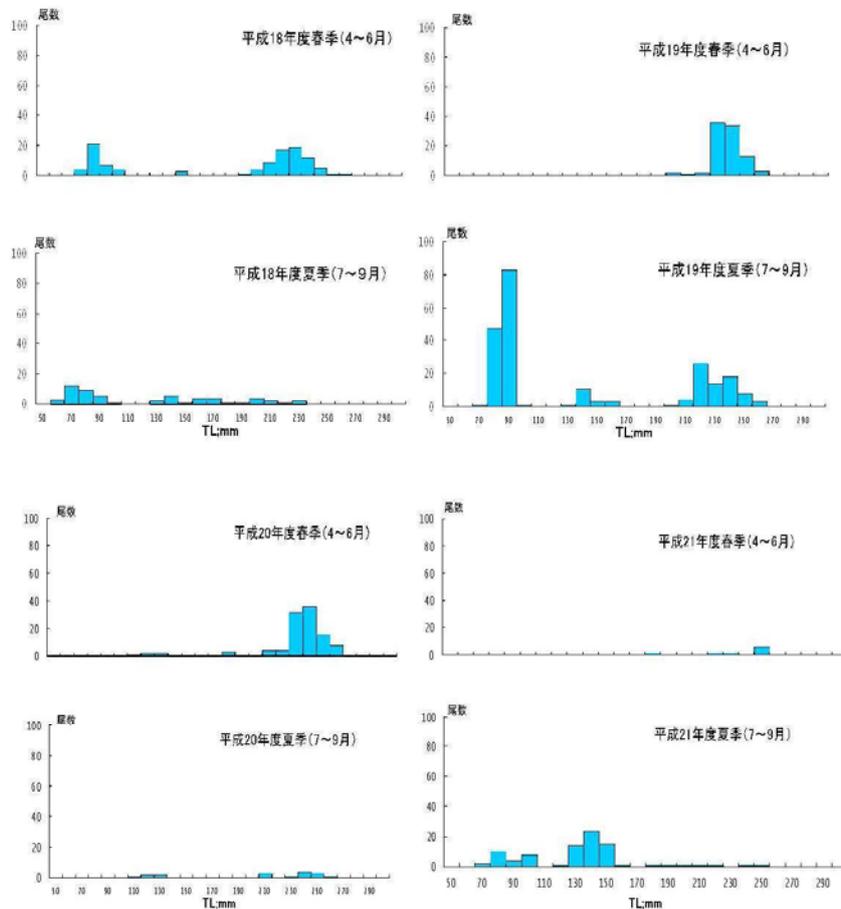


図9 本庄のます網買取り調査におけるコノシロの季節別の体長組成推移

【島根県水産課より提供】

残された課題

中浦水門および西部承水路の撤去や森山堤防の一部開削等に伴う潮流や高塩分水の流入等の物理的環境変化は、本庄水域をはじめ中海全体の魚類相にも大きな影響を及ぼしていると考えられる。しかしながら、元来、漁獲物の量や種組成は年変動が大きいことから、これらの環境変化との因果関係を明確にするためには、今後も継続的な調査を実施していく必要がある。

施策への展開

西部承水路撤去や森山堤防一部開削により、漁場環境が急変する可能性のある本庄水域や、中海本湖における有用魚介類の種組成や漁場形成の変化を明らかにすることで、今後の中海浅場域における漁業振興策の策定の際の基礎資料として有効に活用する。

島根県水産課提供データ

図 1.4.22 (9) 島根県漁業実態調査（平成 18 年度～平成 22 年度）

1.4.11 ガンカモ調査（環境省）

表 1.4.47 (1) ガンガモ調査結果一覧

年	都道府県	調査地点番号	調査地点名	調査地域番号	調査地域名称	市町村名	オオハク チョウ	コハクチョ ウ	アメリカコ ハクチョ ウ	コブハク チョウ	ハクチョ ウ類種不 明	シジュウ カラガン	シジュウ カラガン (外来亜 種)	コクガン	ハイロ ガン	マガン	カリガネ	ヒシクイ	ハクガン	サカツラ ガン	ガン類種 不明	オシドリ	マガモ	カルガモ	コガモ	ヨシガモ
2.010	32	140	伯太川河口	3	伯太川	安来市																				
2.009	32	140	伯太川河口	3	伯太川	安来市																		46		
2.008	32	140	伯太川河口	3	伯太川	安来市																	34	24		
2.007	32	140	伯太川河口			安来市																	8			
2.006	32	140	伯太川河口			安来市																	7	2		
2.005	32	140	伯太川河口			安来市																				
2.004	32	140	伯太川河口			安来市																				
2.003	32	140	伯太川河口			安来市																				
2.002	32	140	伯太川河口			安来市																				
2.001	32	140	伯太川河口			安来市																0	0	0	11	0

年	都道府県	調査地点番号	調査地点名	調査地域番号	調査地域名称	市町村名	オオハク チョウ	コハクチョ ウ	アメリカコ ハクチョ ウ	コブハク チョウ	ハクチョ ウ類種不 明	シジュウ カラガン	シジュウ カラガン (外来亜 種)	コクガン	ハイロ ガン	マガン	カリガネ	ヒシクイ	ハクガン	サカツラ ガン	ガン類種 不明	オシドリ	マガモ	カルガモ	コガモ	ヨシガモ
2.010	32	129	大橋川			松江市																	25	41	68	
2.009	32	129	大橋川			松江市																	8	16		
2.008	32	129	大橋川			松江市																	65			
2.007	32	129	大橋川			松江市																	48	12		
2.006	32	129	大橋川			松江市																	66	12		
2.005	32	129	大橋川			松江市																	75			
2.004	32	129	大橋川			松江市																	15	30		
2.003	32	129	大橋川			松江市																	15	125		
2.002	32	129	大橋川			松江市																	0	33	0	0
2.001	32	129	大橋川			松江市																	0	45	24	0
2.000	32	129	大橋川			松江市																	0	16	0	8
1.999	32	129	大橋川			松江市																	0	5	2	0
1.998	32	129	大橋川			松江市																	0	0	0	5

年	都道府県	調査地点番号	調査地点名	調査地域番号	調査地域名称	市町村名	オオハク チョウ	コハクチョ ウ	アメリカコ ハクチョ ウ	コブハク チョウ	ハクチョ ウ類種不 明	シジュウ カラガン	シジュウ カラガン (外来亜 種)	コクガン	ハイロ ガン	マガン	カリガネ	ヒシクイ	ハクガン	サカツラ ガン	ガン類種 不明	オシドリ	マガモ	カルガモ	コガモ	ヨシガモ	
2.010	32	101	彦宇川河口	2	彦宇川	東出雲町																	8	88			
2.009	32	101	彦宇川河口	2	彦宇川	東出雲町																		13	55		
2.008	32	101	彦宇川河口	2	彦宇川	東出雲町																		24	52		
2.007	32	101	彦宇川河口			東出雲町																		27	42	16	
2.006	32	101	彦宇川河口			東出雲町																		11	24		
2.005	32	101	彦宇川河口			東出雲町																		22	81		
2.004	32	101	彦宇川河口			東出雲町																		27	78	3	
2.003	32	101	彦宇川河口			東出雲町																		30	29		
2.002	32	101	彦宇川河口			東出雲町																	0	32	45	4	
2.001	32	101	彦宇川河口			東出雲町																	0	71	52	0	
2.000	32	101	彦宇川河口			東出雲町																	0	77	79	0	
1.999	32	101	彦宇川河口			東出雲町																	0	371	58	0	
1.998	32	101	彦宇川河口			東出雲町																	0	101	59	0	
1.997	32	101	下意東			東出雲町																	26	35	34	3	
1.996	32	101	下意東			東出雲町																	0	152	59	0	

年	都道府県	調査地点番号	調査地点名	調査地域番号	調査地域名称	市町村名	オオハク チョウ	コハクチョ ウ	アメリカコ ハクチョ ウ	コブハク チョウ	ハクチョ ウ類種不 明	シジュウ カラガン	シジュウ カラガン (外来亜 種)	コクガン	ハイロ ガン	マガン	カリガネ	ヒシクイ	ハクガン	サカツラ ガン	ガン類種 不明	オシドリ	マガモ	カルガモ	コガモ	ヨシガモ	
2.010	32	116	朝酌川			松江市		36															150	189	96	3	
2.009	32	116	朝酌川			松江市																		219	397	107	
2.008	32	116	朝酌川			松江市		36																144	214	101	
2.007	32	116	朝酌川			松江市																		223	345		
2.006	32	116	朝酌川			松江市		30																229	339		
2.005	32	116	朝酌川			松江市																		193	186	47	
2.004	32	116	朝酌川			松江市																		183	408	45	
2.003	32	116	朝酌川			松江市																		168	262		
2.002	32	116	朝酌川			松江市																	0	333	323	0	0

年	都道府県	調査地点番号	調査地点名	調査地域番号	調査地域名称	市町村名	オオハク チョウ	コハクチョ ウ	アメリカコ ハクチョ ウ	コブハク チョウ	ハクチョ ウ類種不 明	シジュウ カラガン	シジュウ カラガン (外来亜 種)	コクガン	ハイロ ガン	マガン	カリガネ	ヒシクイ	ハクガン	サカツラ ガン	ガン類種 不明	オシドリ	マガモ	カルガモ	コガモ	ヨシガモ	
2.010	32	127	中海北部			松江市																	26	2			
2.009	32	127	中海北部			松江市																	13	6			
2.008	32	127	中海北部			松江市																		1	7		
2.007	32	127	中海北部			松江市																		61	15	37	1
2.006	32	127	中海北部			松江市																				12	
2.005	32	127	中海北部			八東町																					
2.004	32	127	中海北部			八東町																				15	
2.003	32	127	中海北部			八東町																		2		12	
2.002	32	127	中海北部			八東町		2															0	7	0	0	0
2.001	32	127	中海北部			八東町																	0	24	0	0	0
2.000	32	127	中海北部			八東町																	0		0	0	0
1.999	32	127	中海北部			八東町																	0	0	0	0	0
1.998	32	127	中海北部			八東町	0	3	0	0	0												0	0	0	0	0
1.997	32	127	中海北部			八東町																	0	57	0	0	0

表 1.4.47 (2) ガンガモ調査結果一覧

年	都道府県	調査地点番号	調査地点名	調査地域番号	調査地域名称	市町村名	オカヨシガモ	ヒドリガモ	オナガガモ	ハシビロガモ	ホシハジロ	キンクロハジロ	スズガモ	クロガモ	カモ種類不明	トモエガモ	ピロードキンクロ	シノリガモ	コオリガモ	ホオジロガモ	ウミアイサ	カワアイサ	ミコアイサ	ツクシガモ	リュウキュウガモ	アカツクシガモ
2.010	32	140	伯太川河口	3	伯太川	安来市						7														
2.009	32	140	伯太川河口	3	伯太川	安来市			72		16	40														
2.008	32	140	伯太川河口	3	伯太川	安来市			44		26	40														
2.007	32	140	伯太川河口			安来市																				
2.006	32	140	伯太川河口			安来市																				
2.005	32	140	伯太川河口			安来市																				
2.004	32	140	伯太川河口			安来市																				
2.003	32	140	伯太川河口			安来市																				
2.002	32	140	伯太川河口			安来市																				
2.001	32	140	伯太川河口			安来市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

年	都道府県	調査地点番号	調査地点名	調査地域番号	調査地域名称	市町村名	オカヨシガモ	ヒドリガモ	オナガガモ	ハシビロガモ	ホシハジロ	キンクロハジロ	スズガモ	クロガモ	カモ種類不明	トモエガモ	ピロードキンクロ	シノリガモ	コオリガモ	ホオジロガモ	ウミアイサ	カワアイサ	ミコアイサ	ツクシガモ	リュウキュウガモ	アカツクシガモ
2.010	32	129	大橋川			松江市					76															
2.009	32	129	大橋川			松江市					56	126														
2.008	32	129	大橋川			松江市					47	18														
2.007	32	129	大橋川			松江市					7	13			6											
2.006	32	129	大橋川			松江市					25				4											
2.005	32	129	大橋川			松江市					35															
2.004	32	129	大橋川			松江市					32	11														
2.003	32	129	大橋川			松江市					0	40														
2.002	32	129	大橋川			松江市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2.001	32	129	大橋川			松江市	0	0	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2.000	32	129	大橋川			松江市	0	0	12	0	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1.999	32	129	大橋川			松江市	0	0	0	0	67	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1.998	32	129	大橋川			松江市	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

年	都道府県	調査地点番号	調査地点名	調査地域番号	調査地域名称	市町村名	オカヨシガモ	ヒドリガモ	オナガガモ	ハシビロガモ	ホシハジロ	キンクロハジロ	スズガモ	クロガモ	カモ種類不明	トモエガモ	ピロードキンクロ	シノリガモ	コオリガモ	ホオジロガモ	ウミアイサ	カワアイサ	ミコアイサ	ツクシガモ	リュウキュウガモ	アカツクシガモ
2.010	32	101	彦宇川河口	2	彦宇川	東出雲町	18	30	14	37	34															
2.009	32	101	彦宇川河口	2	彦宇川	東出雲町	18	21		17	11				82											
2.008	32	101	彦宇川河口	2	彦宇川	東出雲町	18	36		49					380											
2.007	32	101	彦宇川河口			東出雲町	8			11					280											
2.006	32	101	彦宇川河口			東出雲町				6					62											
2.005	32	101	彦宇川河口			東出雲町	21			106	45		18													
2.004	32	101	彦宇川河口			東出雲町	12	33	15	20	72			186												
2.003	32	101	彦宇川河口			東出雲町		16	7	7	8															
2.002	32	101	彦宇川河口			東出雲町	0	38	34	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2.001	32	101	彦宇川河口			東出雲町	0	0	33	0	0	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2.000	32	101	彦宇川河口			東出雲町	23	0	0	5	29	7	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1.999	32	101	彦宇川河口			東出雲町	0	344	89	26	0	59	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1.998	32	101	彦宇川河口			東出雲町	0	23	1	0	23	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1.997	32	101	下意東			東出雲町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1.996	32	101	下意東			東出雲町	0	36	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0

年	都道府県	調査地点番号	調査地点名	調査地域番号	調査地域名称	市町村名	オカヨシガモ	ヒドリガモ	オナガガモ	ハシビロガモ	ホシハジロ	キンクロハジロ	スズガモ	クロガモ	カモ種類不明	トモエガモ	ピロードキンクロ	シノリガモ	コオリガモ	ホオジロガモ	ウミアイサ	カワアイサ	ミコアイサ	ツクシガモ	リュウキュウガモ	アカツクシガモ
2.010	32	116	朝酌川			松江市		30	122	4	105	359														
2.009	32	116	朝酌川			松江市			128		456	637														
2.008	32	116	朝酌川			松江市			98		662	1,770														
2.007	32	116	朝酌川			松江市					64	213														
2.006	32	116	朝酌川			松江市	21					33														
2.005	32	116	朝酌川			松江市					25	608	18													
2.004	32	116	朝酌川			松江市					92	33														
2.003	32	116	朝酌川			松江市					43	56														
2.002	32	116	朝酌川			松江市	0	0	51	0	37	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

年	都道府県	調査地点番号	調査地点名	調査地域番号	調査地域名称	市町村名	オカヨシガモ	ヒドリガモ	オナガガモ	ハシビロガモ	ホシハジロ	キンクロハジロ	スズガモ	クロガモ	カモ種類不明	トモエガモ	ピロードキンクロ	シノリガモ	コオリガモ	ホオジロガモ	ウミアイサ	カワアイサ	ミコアイサ	ツクシガモ	リュウキュウガモ	アカツクシガモ	
2.010	32	127	中海北部			松江市		6	112		11	501	563														
2.009	32	127	中海北部			松江市			11		22	10	833	158													
2.008	32	127	中海北部			松江市			11		36	18	431	31													
2.007	32	127	中海北部			松江市			31	147	1	789	2,400	107													
2.006	32	127	中海北部			松江市	9		35	33		65	1,343	772													
2.005	32	127	中海北部			八東町														15		10					
2.004	32	127	中海北部			八東町		13	30		2,320	7,869	720														
2.003	32	127	中海北部			八東町			2	4		6	167	118							7		6				
2.002	32	127	中海北部			八東町	0	15	23	0	505	2,655	3,900	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2.001	32	127	中海北部			八東町	1	17	29	0	897	5,824	4,318	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2.000	32	127	中海北部			八東町																					
1.999	32	127	中海北部			八東町	1	0	113	5	3,083	4,991	1,771	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
1.998	32	127	中海北部			八東町																					
1.997	32	127	中海北部			八東町	0	23	8	2	9,324	2,612	9,115	0	0	0	0	0	0	73	0	0	0	0	0	0	

表 1.4.47 (3) ガンガモ調査結果一覧

年	都道府県	調査地点番号	調査地点名	調査地域番号	調査地域名称	市町村名	アメリカヒドリ	シマアジ	アカハシハジロ	オオホシハジロ	メジロガモ	アカハジロ	ケワタガモ	コケワタガモ	アラナミキンクロ	ヒメハジロ	クビウキンクロ	カルガモ×マガモ雑種	コウライアイサ	ハクチョウ類合計	ガン類合計	カモ類合計	総合計	
2010	32	140	伯太川河口	3	伯太川	安来市																7	7	
2009	32	140	伯太川河口		伯太川	安来市																	174	174
2008	32	140	伯太川河口	3	伯太川	安来市																	168	168
2007	32	140	伯太川河口		伯太川	安来市																	8	8
2006	32	140	伯太川河口		伯太川	安来市																	9	9
2005	32	140	伯太川河口		伯太川	安来市																		
2004	32	140	伯太川河口		伯太川	安来市																		
2003	32	140	伯太川河口		伯太川	安来市																		
2002	32	140	伯太川河口		伯太川	安来市																		
2001	32	140	伯太川河口		伯太川	安来市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	11

年	都道府県	調査地点番号	調査地点名	調査地域番号	調査地域名称	市町村名	アメリカヒドリ	シマアジ	アカハシハジロ	オオホシハジロ	メジロガモ	アカハジロ	ケワタガモ	コケワタガモ	アラナミキンクロ	ヒメハジロ	クビウキンクロ	カルガモ×マガモ雑種	コウライアイサ	ハクチョウ類合計	ガン類合計	カモ類合計	総合計		
2010	32	129	大橋川		大橋川	松江市																	210	210	
2009	32	129	大橋川		大橋川	松江市																		206	206
2008	32	129	大橋川		大橋川	松江市																		130	130
2007	32	129	大橋川		大橋川	松江市																		86	86
2006	32	129	大橋川		大橋川	松江市																		107	107
2005	32	129	大橋川		大橋川	松江市																		110	110
2004	32	129	大橋川		大橋川	松江市																		88	88
2003	32	129	大橋川		大橋川	松江市																		180	180
2002	32	129	大橋川		大橋川	松江市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33	33
2001	32	129	大橋川		大橋川	松江市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	76	76
2000	32	129	大橋川		大橋川	松江市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	58	58
1999	32	129	大橋川		大橋川	松江市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	74	74
1998	32	129	大橋川		大橋川	松江市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	12

年	都道府県	調査地点番号	調査地点名	調査地域番号	調査地域名称	市町村名	アメリカヒドリ	シマアジ	アカハシハジロ	オオホシハジロ	メジロガモ	アカハジロ	ケワタガモ	コケワタガモ	アラナミキンクロ	ヒメハジロ	クビウキンクロ	カルガモ×マガモ雑種	コウライアイサ	ハクチョウ類合計	ガン類合計	カモ類合計	総合計		
2010	32	101	意宇川河口	2	意宇川	東出雲町																	229	229	
2009	32	101	意宇川河口	2	意宇川	東出雲町																		217	217
2008	32	101	意宇川河口	2	意宇川	東出雲町																		541	541
2007	32	101	意宇川河口		意宇川	東出雲町																		384	384
2006	32	101	意宇川河口		意宇川	東出雲町																		103	103
2005	32	101	意宇川河口		意宇川	東出雲町																		293	293
2004	32	101	意宇川河口		意宇川	東出雲町																		446	446
2003	32	101	意宇川河口		意宇川	東出雲町																		97	97
2002	32	101	意宇川河口		意宇川	東出雲町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	155	155
2001	32	101	意宇川河口		意宇川	東出雲町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	184	184
2000	32	101	意宇川河口		意宇川	東出雲町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	227	227
1999	32	101	意宇川河口		意宇川	東出雲町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	947	947
1998	32	101	意宇川河口		意宇川	東出雲町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	215	215
1997	32	101	下意東		下意東	東出雲町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	98	98
1996	32	101	下意東		下意東	東出雲町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	253	253

年	都道府県	調査地点番号	調査地点名	調査地域番号	調査地域名称	市町村名	アメリカヒドリ	シマアジ	アカハシハジロ	オオホシハジロ	メジロガモ	アカハジロ	ケワタガモ	コケワタガモ	アラナミキンクロ	ヒメハジロ	クビウキンクロ	カルガモ×マガモ雑種	コウライアイサ	ハクチョウ類合計	ガン類合計	カモ類合計	総合計		
2010	32	116	朝酌川		朝酌川	松江市															36		1,058	1,094	
2009	32	116	朝酌川		朝酌川	松江市																		1,944	1,944
2008	32	116	朝酌川		朝酌川	松江市																36		2,989	3,025
2007	32	116	朝酌川		朝酌川	松江市																30		845	875
2006	32	116	朝酌川		朝酌川	松江市																		622	622
2005	32	116	朝酌川		朝酌川	松江市																		1,090	1,090
2004	32	116	朝酌川		朝酌川	松江市																		761	761
2003	32	116	朝酌川		朝酌川	松江市																		529	529
2002	32	116	朝酌川		朝酌川	松江市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	744	744

年	都道府県	調査地点番号	調査地点名	調査地域番号	調査地域名称	市町村名	アメリカヒドリ	シマアジ	アカハシハジロ	オオホシハジロ	メジロガモ	アカハジロ	ケワタガモ	コケワタガモ	アラナミキンクロ	ヒメハジロ	クビウキンクロ	カルガモ×マガモ雑種	コウライアイサ	ハクチョウ類合計	ガン類合計	カモ類合計	総合計		
2010	32	127	中海北部		中海北部	松江市																	1,223	1,223	
2009	32	127	中海北部		中海北部	松江市																		842	842
2008	32	127	中海北部		中海北部	松江市																		537	537
2007	32	127	中海北部		中海北部	松江市																		3,590	3,590
2006	32	127	中海北部		中海北部	松江市																		2,294	2,294
2005	32	127	中海北部		中海北部	八束町																			
2004	32	127	中海北部		中海北部	八束町																		10,970	10,970
2003	32	127	中海北部		中海北部	八束町																		324	326
2002	32	127	中海北部		中海北部	八束町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2		7,105	7,105	
2001	32	127	中海北部		中海北部	八束町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			11,110	11,110	
2000	32	127	中海北部		中海北部	八束町																			
1999	32	127	中海北部		中海北部	八束町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3		9,964	9,967	
1998	32	127	中海北部		中海北部	八束町																			
1997	32	127	中海北部		中海北部	八束町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			21,214	21,214	

表 1.4.47 (4) ガンガモ調査結果一覧

年	都道府県	調査地点番号	調査地点名	調査地域番号	調査地域名称	市町村名	オオハクチョウ	コハクチョウ	アメリカコハクチョウ	コブハクチョウ	ハクチョウ類種不明	シジュウカラガン	シジュウカラガン(外来種)	コクガン	ハイロガン	マガン	カリガネ	ヒシクイ	ハクガン	サカツラガン	ガン類種不明	オシドリ	マガモ	カルガモ	コガモ	ヨシガモ
2010	32	2	宍道湖			松江市		171								4,210	1	118					3,107	1,633	573	20
2009	32	2	宍道湖			松江市		416			1					4,003	1	120	1				2,045	1,263	41	21
2008	32	2	宍道湖			松江市	4	430								3,938	3	138					2,555	970	156	1
2007	32	2	宍道湖	1	宍道湖	松江市		411		7		1				3,278	2	117					3,341	1,232	173	10
2006	32	2	宍道湖	1	宍道湖	松江市	2	981								3,350	1	123					6,194	2,119	725	54
2005	32	2	宍道湖	1	宍道湖	松江市		724								3,156	2	89					3,697	1,704	395	43
2004	32	2	宍道湖	1	宍道湖	松江市	1	466		7						2,950	4	128					3,244	1,536	315	18
2003	32	2	宍道湖	1	宍道湖	松江市	6	423								2,745	4	85					4,762	1,570	220	13
2002	32	2	宍道湖			松江市	1	347	0	0	0	0		1	0	2,340	2	91	0	0	0	0	5,595	1,828	450	2
2001	32	2	宍道湖			松江市	6	305	1	0	0	0		0	0	2,255	2	85	0	0	0	0	3,968	1,421	90	4
2000	32	2	宍道湖			松江市	1	115	0	0	2	0		0	0	1,824	0	77	0	0	0	0	6,153	2,272	238	4
1999	32	2	宍道湖			松江市	0	198	0	0	0	0		0	0	1,335	0	114	0	0	0	0	4,229	1,134	98	49
1998	32	2	宍道湖			松江市	0	210	0	0	0	0		0	0	1,215		76		1		0	3,196	712	244	1
1997	32	2	宍道湖			松江市	0	224	0	0	0	0		0	0	963	0	65	0	0	0	0	3,497	1,097	132	2
1996	32	2	宍道湖			松江市	1	190	0	0	0	0		0	0	768	0	104	0	0	0	0	2,242	901	80	18
1995	32		宍道湖			松江市		333							1	734		56					4,071	791	46	

年	都道府県	調査地点番号	調査地点名	調査地域番号	調査地域名称	市町村名	オオハクチョウ	コハクチョウ	アメリカコハクチョウ	コブハクチョウ	ハクチョウ類種不明	シジュウカラガン	シジュウカラガン(外来種)	コクガン	ハイロガン	マガン	カリガネ	ヒシクイ	ハクガン	サカツラガン	ガン類種不明	オシドリ	マガモ	カルガモ	コガモ	ヨシガモ	
2010	32	1	中海南部			松江市		54															1,275	936	624	5	
2009	32	1	中海南部			松江市		22		4														1,395	840	670	
2008	32	1	中海南部			八束町		48		1				1										1,395	773	241	4
2007	32	1	中海南部	3	中海南部	八束町		53		2														1,067	463	304	2
2006	32	1	中海南部	3	中海南部	八束町		201																1,822	790	643	3
2005	32	1	中海南部	3	中海南部	八束町		185		6														1,383	605	574	2
2004	32	1	中海南部	3	中海南部	八束町		625																1,940	555	325	2
2003	32	1	中海南部	3	中海南部	八束町		351																1,475	710	264	
2002	32	1	中海南部			八束町	0	31	0	0	0												0	2,816	625	335	0
2001	32	1	中海南部			八束町	0	55	0	0	0												0	2,114	172	283	0
2000	32	1	中海南部			八束町	0	778	0	0	0												0	3,851	507	306	1
1999	32	1	中海南部			八束町	0	413	0	0	0												0	1,891	265	17	2
1998	32	1	中海南部			八束町	0	2	0	0	0												0	2,631	460	183	0
1997	32	1	中海南部			八束町																	0	2,310	477	514	5

年	都道府県	調査地点番号	調査地点名	調査地域番号	調査地域名称	市町村名	オオハクチョウ	コハクチョウ	アメリカコハクチョウ	コブハクチョウ	ハクチョウ類種不明	シジュウカラガン	シジュウカラガン(外来種)	コクガン	ハイロガン	マガン	カリガネ	ヒシクイ	ハクガン	サカツラガン	ガン類種不明	オシドリ	マガモ	カルガモ	コガモ	ヨシガモ		
2010	31	9	中海			米子市外		34								778							523	406	518	2		
2009	31	9	中海			米子市外		110								767								529	413	597		
2008	31	9	中海			米子市外		53		3						592								504	417	251		
2007	31	9	中海	1	(記入なし)	米子市外		72								765								991	540	299		
2006	31	9	中海	1	(記入なし)	米子市外		111		4														814	391	802		
2005	31	9	中海	1	(記入なし)	米子市外		930		2														1,357	570	314	16	
2004	31	9	中海	1	(記入なし)	米子市外	3	749								853			1					938	413	487	13	
2003	31	9	中海			米子市外	0	967	0	0	0	0		0	0	488	0	9	0	0	0	0	0	858	237	314	18	
2002	31	9	中海			米子市外	8	1,124	0	1	0													0	1,602	279	429	10
2001	31	9	中海			米子市外	4	798	0	0	0	0		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	964	301	433	0	
2000	31	9	中海			米子市外	0	68	0	0	0												0	3,919	407	603	19	
1999	31	9	中海			米子市外	1	798	0	0	0	0		0	0	125	0	4	0	0	0	0	0	2,346	422	531	7	
1998	31	9	中海			米子市外	3	733	0	0	0												0	2,080	114	76	30	
1997	31	9	中海			米子市外	1	1,003	0	0	0	0		0	0	83	0	3	0	0	0	0	0	1,721	169	345	6	
1996	31	9	中海			米子市外	0	987	0	0	0	0		0	0	0	0	5	0	1	0	0	0	3,158	248	330	12	
1995	31		中海			米子市外		1,175							3	176								2,262	459	152		

表 1.4.47 (5) ガンガモ調査結果一覧

年	都道府県	調査地点番号	調査地点名	調査地域番号	調査地域名称	市町村名	オカヨシガモ	ヒドリガモ	オナガガモ	ハシビロガモ	ホシハジロ	キンクロハジロ	スズガモ	クロガモ	カモ種類不明	トモエガモ	ビロードキンクロ	シノリガモ	コオリガモ	ホオジロガモ	ウミアイサ	カワアイサ	ミコアイサ	ツクシガモ	リュウキュウガモ	アカツクシガモ
2010	32	2	宍道湖			松江市	229	777	95	47	286	9,492	9,294		3,555	3				105		13	2			4
2009	32	2	宍道湖			松江市	249	663	162	176	128	20,731	17,705		63	119				77	1	1	4	1		1
2008	32	2	宍道湖			松江市	195	427	36	200	394	32,396	16,362		3,695	6,001				21		2	8			
2007	32	2	宍道湖	1	宍道湖	松江市	226	706	65	240	1,980	13,643	11,233		350	6				84	1	35	6	2		
2006	32	2	宍道湖	1	宍道湖	松江市	105	881	88	156	68	21,685	20,113							80	1	22	4			
2005	32	2	宍道湖	1	宍道湖	松江市	105	459	97	217	338	36,189	11,193			2				86	5	90	8			
2004	32	2	宍道湖	1	宍道湖	松江市	251	674	40	78	136	18,870	5,585		7,300	9				123	4	132	3			
2003	32	2	宍道湖	1	宍道湖	松江市	115	287	81	109	510	19,107	8,995		195	2	4			154	4	50	3			
2002	32	2	宍道湖			松江市	134	287	29	47	639	30,726	5,364	0	0	0	0	0	0	129	2	83	7	2	0	1
2001	32	2	宍道湖			松江市	77	138	13	26	1,090	12,098	4,765	0	0	39	0	0	0	75	0	14	4	4	0	0
2000	32	2	宍道湖			松江市	284	434	41	54	265	30,560	6,287	0	0	1	0	0	0	76	0	5	0	0	0	1
1999	32	2	宍道湖			松江市	85	224	15	96	49	12,496	1,147	0	0	0	0	0	0	17	0	79	8	2	0	0
1998	32	2	宍道湖			松江市	46	294	19	8	13	15,146	3,842	0	40	0	0	0	0	53	0	79	9	4	0	0
1997	32	2	宍道湖			松江市	84	298	50	6	137	13,280	5,471	0	0	0	0	0	0	34	12	1	3	0	0	0
1996	32	2	宍道湖			松江市	89	244	29	0	453	4,434	161	0	11,028	0	0	0	0	86	0	0	4	0	0	1
1995	32		宍道湖			松江市		184	38				522		8,752											

年	都道府県	調査地点番号	調査地点名	調査地域番号	調査地域名称	市町村名	オカヨシガモ	ヒドリガモ	オナガガモ	ハシビロガモ	ホシハジロ	キンクロハジロ	スズガモ	クロガモ	カモ種類不明	トモエガモ	ビロードキンクロ	シノリガモ	コオリガモ	ホオジロガモ	ウミアイサ	カワアイサ	ミコアイサ	ツクシガモ	リュウキュウガモ	アカツクシガモ
2010	32	1	中海南部			松江市	84	585	804	113	5,806	7,945	17,712				12			217	28		2	1		
2009	32	1	中海南部			松江市	134	629	668	362	3,237	5,878	4,925		200					79	14					
2008	32	1	中海南部			八束町	172	419	1,362	101	5,245	9,589	10,507				26			96	24	1	1	2		
2007	32	1	中海南部	3	中海南部	八束町	82	551	916	97	9,826	10,750	9,531			8	4			137	7		1	2		
2006	32	1	中海南部	3	中海南部	八束町	99	449	637	53	10,488	12,938	13,125				6	1	1	342	18	2	4	4		
2005	32	1	中海南部	3	中海南部	八束町	41	281	744	155	5,521	3,594	2,152				3			148	17		8	2		
2004	32	1	中海南部	3	中海南部	八束町	65	692	752	210	26,719	16,029	20,881			6	13			184	11	1	2			
2003	32	1	中海南部	3	中海南部	八束町	123	363	414	88	1,755	3,074	1,225				16			150	16	1	8	1		
2002	32	1	中海南部			八束町	49	259	891	98	21,368	11,927	8,835	0	0	0	22	0	0	213	1	0	2	6	0	0
2001	32	1	中海南部			八束町	7	323	928	83	12,569	9,158	6,882	0	0	4	0	0	0	113	4	0	2	6	0	0
2000	32	1	中海南部			八束町	9	327	1,374	148	25,306	13,787	13,140	0	9	0	0	0	0	125	10	2	9	0	0	0
1999	32	1	中海南部			八束町	8	210	1,175	10	18,885	8,424	7,717	0	0	0	8	0	0	140	0	0	4	0	0	0
1998	32	1	中海南部			八束町	3	672	942	73	5,761	11,026	4,133	0	1,050	0	0	0	0	17	0	0	3	0	0	0
1997	32	1	中海南部			八束町	93	800	4,469	148	14,742	19,682	5,825	0	1,200	0	19	0	0	214	11	2	72	10	0	0

年	都道府県	調査地点番号	調査地点名	調査地域番号	調査地域名称	市町村名	オカヨシガモ	ヒドリガモ	オナガガモ	ハシビロガモ	ホシハジロ	キンクロハジロ	スズガモ	クロガモ	カモ種類不明	トモエガモ	ビロードキンクロ	シノリガモ	コオリガモ	ホオジロガモ	ウミアイサ	カワアイサ	ミコアイサ	ツクシガモ	リュウキュウガモ	アカツクシガモ
2010	31	9	中海			米子市外	30	152	1,704	45	1,047	1,665	723		750	41				37	2		2	9		
2009	31	9	中海			米子市外	15	144	1,296	142	336	1,149	372			3				25	4		2	6		
2008	31	9	中海			米子市外	31	334	2,644	30	1,859	3,408	3,696		400	252				56			10			
2007	31	9	中海	1	(記入なし)	米子市外	51	162	1,224	50	1,855	2,923	999		800	86	3			4			10			
2006	31	9	中海	1	(記入なし)	米子市外	16	140	1,051	23	1,542	2,390	1,015		1,320	48				37			6			
2005	31	9	中海	1	(記入なし)	米子市外	48	204	944	48	999	1,948	641		400	5				28	3	1	13			
2004	31	9	中海	1	(記入なし)	米子市外	22	189	1,189	36	2,456	3,472	3,006		2,615	402				53	3		12			
2003	31	9	中海			米子市外	77	180	878	28	286	422	68	0	0	27	17	0	0	13	0	0	2	9	0	2
2002	31	9	中海			米子市外	103	216	1,832	33	1,847	2,290	300	0	0	592	0	0	0	22	0	0	52	1	0	0
2001	31	9	中海			米子市外	29	198	928	0	455	658	244	0	157	18	0	0	0	51	1	0	29	0	0	0
2000	31	9	中海			米子市外	240	469	1,624	18	3,281	2,553	1,239	0	330	7	0	0	0	61	0	0	3	4	0	0
1999	31	9	中海			米子市外	34	294	1,157	42	3,734	3,333	703	0	2	0	0	0	0	25	3	0	26	0	0	0
1998	31	9	中海			米子市外	63	141	789	17	2,946	1,762	502	0	1,630	0	0	0	0	11	0	0	1	0	0	0
1997	31	9	中海			米子市外	84	244	1,626	29	1,351	1,310	402	0	861	14	0	0	0	68	0	0	5	9	0	0
1996	31	9	中海			米子市外	43	221	2,312	117	5,712	6,437	2,683	0	3,800	0	0	0	0	106	1	0	24	8	0	0
1995	31		中海			米子市外		434	3,376				813		13,483											

表 1.4.47 (6) ガンガモ調査結果一覧

年	都道府県	調査地点番号	調査地点名	調査地域番号	調査地域名称	市町村名	アメリカヒドリ	シマアジ	アカハシハジロ	オオホシハジロ	メジロガモ	アカハジロ	ケワタガモ	コケワタガモ	アラナミキンクロ	ヒメハジロ	クビウキンクロ	カルガモ×マガモ雑種	コウライアイサ	ハクチョウ類合計	ガン類合計	カモ類合計	総合計
2010	32	2	宍道湖			松江市														171	4,329	29,235	33,735
2009	32	2	宍道湖			松江市														417	4,125	43,451	47,993
2008	32	2	宍道湖			松江市														434	4,079	63,419	67,932
2007	32	2	宍道湖	1	宍道湖	松江市														418	3,398	33,333	37,149
2006	32	2	宍道湖	1	宍道湖	松江市														983	3,474	52,295	56,752
2005	32	2	宍道湖	1	宍道湖	松江市														724	3,247	54,628	58,599
2004	32	2	宍道湖	1	宍道湖	松江市														474	3,082	38,318	41,874
2003	32	2	宍道湖	1	宍道湖	松江市														429	2,834	36,181	39,444
2002	32	2	宍道湖			松江市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	348	2,434	45,325	48,107
2001	32	2	宍道湖			松江市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	312	2,342	23,826	26,480
2000	32	2	宍道湖			松江市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	118	1,901	46,675	48,694
1999	32	2	宍道湖			松江市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	198	1,449	19,728	21,375
1998	32	2	宍道湖			松江市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	210	1,292	23,706	25,208
1997	32	2	宍道湖			松江市	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	224	1,028	24,105	25,357
1996	32	2	宍道湖			松江市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	191	872	19,770	20,833
1995	32		宍道湖			松江市														333	791	14,404	15,528

年	都道府県	調査地点番号	調査地点名	調査地域番号	調査地域名称	市町村名	アメリカヒドリ	シマアジ	アカハシハジロ	オオホシハジロ	メジロガモ	アカハジロ	ケワタガモ	コケワタガモ	アラナミキンクロ	ヒメハジロ	クビウキンクロ	カルガモ×マガモ雑種	コウライアイサ	ハクチョウ類合計	ガン類合計	カモ類合計	総合計	
2010	32	1	中海南部			松江市	1													54		36,150	36,204	
2009	32	1	中海南部			松江市	1														26		19,040	19,066
2008	32	1	中海南部			八束町	1														49	1	29,959	30,009
2007	32	1	中海南部	3	中海南部	八束町															55		33,748	33,803
2006	32	1	中海南部	3	中海南部	八束町															201		41,425	41,626
2005	32	1	中海南部	3	中海南部	八束町															191		15,230	15,421
2004	32	1	中海南部	3	中海南部	八束町															625		68,387	69,012
2003	32	1	中海南部	3	中海南部	八束町															351		9,683	10,034
2002	32	1	中海南部			八束町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31		47,447	47,478
2001	32	1	中海南部			八束町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55		32,648	32,703
2000	32	1	中海南部			八束町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	778		58,911	59,689
1999	32	1	中海南部			八束町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	413		38,756	39,169
1998	32	1	中海南部			八束町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2		26,954	26,956
1997	32	1	中海南部			八束町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			50,593	50,593

年	都道府県	調査地点番号	調査地点名	調査地域番号	調査地域名称	市町村名	アメリカヒドリ	シマアジ	アカハシハジロ	オオホシハジロ	メジロガモ	アカハジロ	ケワタガモ	コケワタガモ	アラナミキンクロ	ヒメハジロ	クビウキンクロ	カルガモ×マガモ雑種	コウライアイサ	ハクチョウ類合計	ガン類合計	カモ類合計	総合計	
2010	31	9	中海			米子市外														34	778	7,656	8,468	
2009	31	9	中海			米子市外					1										110	767	5,034	5,911
2008	31	9	中海			米子市外															56	592	13,892	14,540
2007	31	9	中海	1	(記入なし)	米子市外	1														72	765	9,998	10,835
2006	31	9	中海	1	(記入なし)	米子市外															115		9,595	9,710
2005	31	9	中海	1	(記入なし)	米子市外															932	14	7,539	8,485
2004	31	9	中海	1	(記入なし)	米子市外	1														752	854	15,307	16,913
2003	31	9	中海			米子市外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	967	497	3,436	4,900
2002	31	9	中海			米子市外	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,133		9,609	10,742
2001	31	9	中海			米子市外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	802	1	4,466	5,269
2000	31	9	中海			米子市外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	68		14,777	14,845
1999	31	9	中海			米子市外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	799	129	12,659	13,587
1998	31	9	中海			米子市外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	736		10,162	10,898
1997	31	9	中海			米子市外	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,004	86	8,249	9,339
1996	31	9	中海			米子市外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	987	6	25,212	26,205
1995	31		中海			米子市外															1,175	179	20,979	22,333

2. 環境監視

2.1 ヤマトシジミとホトトギスガイの分布の環境監視

表 2.1.1 ヤマトシジミとホトトギスガイの分布の環境監視 湿重量経年データ【大橋川】

ヤマトシジミとホトトギスガイの分布の環境監視
湿重量経年データ【大橋川】

■平成22年

湿重量 (g/m ²)	1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月	
	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ
7k4	3,298.05	357.45	2,312.30	51.90	2,852.12	24.15	2,050.74	1.20	2,335.82	4.32	1,619.46	2.48	1,570.14	0.27	1,289.57	0.00	832.37	0.00	2,399.18	0.00	841.77	0.01	546.30	0.00
6k4	3,266.10	260.70	2,874.45	33.35	2,232.10	10.80	901.49	0.00	1,124.10	0.05	1,215.86	0.00	1,909.04	0.00	1,466.01	0.00	1,732.55	0.00	2,546.87	0.00	2,146.50	0.01	1,449.50	0.10
5k4	1,422.05	478.25	1,020.95	71.80	998.45	10.10	210.47	7.88	328.01	14.04	778.68	9.63	783.14	8.80	696.47	1.35	1,143.59	0.00	601.65	7.79	1,580.80	0.01	1,617.62	1.00
4k4	459.50	451.90	201.55	32.90	559.09	18.05	275.63	10.40	273.69	10.35	216.60	10.85	565.16	2.70	579.78	13.95	606.38	6.80	965.30	12.33	865.76	13.20	944.64	21.20
3k4	24.15	1,515.95	2.50	33.70	63.05	23.15	5.99	26.10	41.90	22.32	98.51	38.25	96.35	67.64	357.39	213.12	669.33	129.60	795.38	88.25	1,051.92	107.60	537.12	336.38
2k4	403.50	720.85	345.45	428.35	282.30	127.65	9.81	34.97	10.31	316.58	13.05	683.64	14.58	1,475.69	0.00	1,084.70	5.67	1,683.86	0.00	301.82	0.00	1,239.93	0.00	1,434.56
0k2	2.80	47.95	12.05	211.50	0.00	74.10	6.03	32.18	1.13	525.20	0.00	707.22	0.86	2,430.18	0.05	273.06	0.00	158.94	0.00	87.30	0.00	583.20	0.05	414.18

■平成21年

湿重量 (g/m ²)	1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月	
	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ
7k4							3,953.45	152.40	6,607.65	267.55	9,136.00	288.25	3,551.00	2,392.50	5,391.80	678.50	3,034.30	547.20	7,109.00	26.70	5,285.50	764.40	3,521.30	281.60
6k4							2,722.10	6.00	4,048.50	127.75	3,514.00	281.40	3,159.00	946.60	4,518.50	845.35	4,683.60	533.45	4,442.90	408.45	2,669.15	1,128.30	3,020.35	912.10
5k4							970.45	2.80	1,351.55	451.90	1,762.00	522.25	2,027.50	678.70	1,811.50	774.10	1,827.10	1,396.90	2,642.10	814.75	2,183.30	540.70	1,998.70	666.45
4k4							416.10	75.00	574.00	698.90	530.00	617.00	943.50	1,415.70	264.85	616.00	810.65	1,001.50	528.60	1,926.00	512.95	2,418.75	413.60	2,787.45
3k4							0.00	4.80	136.45	642.50	123.50	3,395.75	145.50	2,307.75	65.50	2,637.45	32.65	4,195.00	38.45	3,353.70	78.70	3,569.20	50.00	2,356.40
2k4							0.00	2.85	12.85	541.65	22.50	347.65	238.00	1,593.55	23.80	2,402.30	1,048.20	1,169.35	577.25	1,681.25	660.43	1,978.65	415.70	2,540.50
0k2							0.00	115.85	0.00	17.85	0.50	849.00	0.20	2,526.90	3.45	671.00	1.45	2,339.15	10.65	843.95	2.40	1,344.50	0.45	1,108.62

■平成20年

湿重量 (g/m ²)	1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月	
	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ
7k4	5,182.86	45.87	909.75	90.33	406.88	37.23																		
6k4	1,601.46	61.60	1,942.05	49.87	196.04	4.78																		
5k4	1,938.75	1,190.18	1,356.38	246.93	803.97	169.35																		
4k4	300.74	2,240.68	847.00	303.15	471.89	145.50																		
3k4	16.21	3,367.36	0.00	291.90	10.11	93.23																		
2k4	0.00	3,818.67	11.57	740.81	0.00	38.45																		
0k2	0.53	62.62	0.09	284.99	21.04	251.37																		

■平成19年

湿重量 (g/m ²)	1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月	
	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ																						
7k4	899.24	1.01	668.23	0.13	1,328.74	0.17	2,266.58	0.06	3,445.21	0.63	5,187.02	6.29	3,624.46	8.85	6,345.34	19.47	9,301.97	21.85	7,359.54	3.19	6,273.66	525.14	2,310.64	21.17
6k4	616.67	0.30	331.23	0.00	1,056.50	0.68	4,800.40	1.56	4,788.88	0.93	6,457.41	2.22	7,171.62	64.37	8,372.75	204.04	7,191.20	60.10	7,682.49	15.17	8,592.81	15.95	4,904.62	40.24
5k4	181.90	2.29	33.54	4.20	787.19	26.53	2,538.79	4.21	2,413.72	14.98	2,666.77	494.62	3,923.60	268.34	4,006.70	959.25	1,918.44	1,927.46	2,739.22	1,082.06	2,967.22	1,266.16	3,344.68	1,077.82
4k4	883.95	7.19	1,239.44	24.47	343.70	25.83	2,922.78	227.35	2,795.53	198.82	3,244.80	802.67	3,200.59	1,357.88	2,682.79	3,037.05	608.46	3,124.77	505.65	2,820.12	875.65	2,640.29	990.95	2,719.51
3k4	1,251.76	571.42	1,692.18	1,404.78	615.51	383.97	1,130.00	1,114.32	226.64	2,304.78	172.11	3,375.94	248.90	3,867.01	0.00	4,433.84	145.91	993.33	67.83	1,019.98	6.96	568.31	0.00	2,417.40
2k4	982.87	2,016.26	1,392.47	1,818.87	334.12	1,270.45	2,164.73	2,467.43	207.57	3,069.50	191.49	4,145.74	14.38	4,702.46	210.06	3,241.06	13.08	3,024.85	14.44	1,540.57	0.00	3,580.59	0.03	2,922.13
0k2	374.44	2,215.12	86.65	1,428.55	144.79	486.52	331.99	3,001.45	31.84	2,071.02	3.54	4,289.60	0.00	3,111.22	0.00	1,776.15	0.00	3,398.18	23.53	2,416.46	0.00	1,797.22	0.00	1,925.80

■平成18年

湿重量 (g/m ²)	1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月	
	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ
7k4			2,923.80	119.60			12,531.72	13.62	9,096.27	67.83	8,636.77	4.33	8,528.46	0.00	3,326.54	1.35	5,237.11	0.00	4,837.81	0.00	2,514.33	0.00	844.53	0.18
6k4			515.20	1,699.30			232.15	8.91	154.56	5.20	894.11	12.68	1,302.69	0.58	1,849.01	0.00	3,842.75	0.00	4,526.03	0.00	5,455.49	0.22	3,101.35	1.46
5k4			78.00	1,868.30			35.62	3.86	135.46	5.40	861.60	169.00	1,207.48	1.47	1,112.51	0.00	2,980.64	0.00	3,276.17	1.70	3,332.80	0.65	1,911.85	0.71
4k4			261.10	344.50			575.54	43.65	68.55	18.97	658.71	47.63	1,202.98	54.47	1,492.54	0.00	3,413.31	0.00	3,353.24	0.16	3,546.83	0.90	2,547.04	38.22
3k4			162.00	370.10			59.02	35.00	39.24	100.82	745.19	855.98	520.18	761.63	152.01	0.00	1,414.83	0.14	3,854.70	56.92	1,145.92	416.36	1,243.66	879.92
2k4			82.70	3,307.10			0.73	501.56	266.52	638.28	199.13	893.89	125.33	2,607.94	271.41	0.00	144.36	7.19	2,043.88	568.47	3,081.95	1,293.86	1,893.97	1,531.97
0k2			10.50	88.10			0.00	63.97	2.25	1,231.83	4.44	2,827.66	62.38	2,994.20	63.27	0.00	748.03	28.09	637.86	1,976.45	1,524.87	953.05	259.21	2,181.78

※平成18年1月・3月、平成20年4月～平成21年3月は、調査未実施。

表 2.1.2 ヤマトシジミとホトトギスガイの分布の環境監視 個体数経年データ【大橋川】

ヤマトシジミとホトトギスガイの分布の環境監視
個体数経年データ【大橋川】

■平成22年

個体数(個/m)	1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月	
	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ																						
7k4	3,305	2,970	2,880	530	2,850	255	3,843	45	9,765	54	8,028	59	11,174	14	4,703	0	1,179	0	9,743	0	2,003	9	2,394	0
6k4	3,140	1,500	2,635	220	1,675	85	2,151	0	5,661	9	4,221	0	5,144	0	4,397	0	4,338	0	5,157	0	4,640	23	1,908	0
5k4	2,190	2,025	1,440	410	1,730	45	2,457	45	5,918	90	3,951	45	9,072	23	5,216	9	5,769	0	5,153	18	6,246	149	5,135	0
4k4	500	1,505	365	150	1,290	70	1,764	90	5,094	338	2,547	239	4,437	59	5,063	203	4,775	95	6,129	149	5,243	1,490	4,194	603
3k4	135	6,545	20	255	65	95	1,845	324	4,959	869	4,572	1,112	7,655	702	3,614	1,517	6,791	1,863	5,045	1,233	5,814	25,574	3,956	3,519
2k4	790	21,525	615	37,190	585	6,930	27	2,444	104	15,710	203	18,468	212	22,244	0	13,455	5	16,997	0	7,862	0	9,131	0	8,744
0k2	5	1,865	20	14,390	0	6,570	122	1,197	158	16,277	0	8,321	135	12,915	9	1,562	0	1,494	0	1,841	0	5,436	68	2,588

■平成21年

個体数(個/m)	1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月	
	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ																						
7k4							9,510	10,240	33,465	18,205	22,580	9,005	25,725	32,890	13,305	6,750	4,015	6,035	10,245	3,655	9,415	6,795	3,565	2,615
6k4							5,200	1,080	8,690	4,475	7,400	4,295	12,290	8,855	8,520	6,045	6,695	3,475	6,125	2,140	2,790	6,120	2,790	5,660
5k4							2,080	600	10,775	8,370	10,665	4,645	9,135	3,035	7,175	3,830	4,985	7,610	6,620	4,305	4,715	2,180	3,000	2,740
4k4							1,300	3,220	3,905	7,055	3,095	3,295	2,880	6,500	465	2,760	2,870	3,780	1,275	8,715	670	9,340	665	10,050
3k4							0	25	2,000	12,375	1,170	34,420	2,330	17,335	195	17,195	145	26,080	200	17,090	95	18,545	110	11,155
2k4							0	15	910	6,765	450	1,850	1,765	7,980	200	10,400	2,160	3,900	1,355	7,065	1,170	52,620	870	21,570
0k2							0	4,390	0	620	35	3,820	15	11,605	45	1,275	10	6,325	25	18,305	5	29,365	10	5,487

■平成20年

個体数(個/m)	1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月	
	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ																						
7k4	10,030	2,470	3,800	3,730	1,210	1,490																		
6k4	2,860	2,700	2,670	2,710	780	290																		
5k4	3,770	6,850	3,030	1,800	1,260	1,320																		
4k4	7,400	23,190	1,000	3,620	570	1,620																		
3k4	30	32,110	0	7,440	20	2,330																		
2k4	0	30,390	20	10,180	0	2,460																		
0k2	80	6,040	80	24,880	80	41,400																		

■平成19年

個体数(個/m)	1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月	
	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ																						
7k4	3,700	60	3,670	40	6,610	50	4,700	10	9,620	120	12,180	290	18,630	1,420	8,900	1,150	25,580	1,160	12,430	220	15,030	2,710	2,390	890
6k4	1,480	70	720	0	1,700	210	9,750	380	11,970	70	8,380	12	14,890	650	15,530	5,100	16,260	3,890	8,670	610	8,550	780	5,730	2,220
5k4	1,020	840	680	490	4,030	12,070	9,760	640	14,030	2,290	16,630	20,460	21,240	3,880	14,200	9,300	3,950	15,820	7,120	7,320	7,880	7,690	8,810	6,490
4k4	2,290	1,340	3,730	5,940	1,790	6,210	12,190	29,300	7,570	18,020	11,500	39,210	9,530	43,170	4,690	56,280	700	48,930	610	37,760	1,620	26,050	1,250	33,740
3k4	6,550	64,460	5,290	154,640	1,800	49,400	4,030	124,750	420	114,450	270	80,170	450	76,400	0	63,250	180	15,980	50	13,260	20	5,900	0	24,170
2k4	4,400	123,110	4,890	105,750	1,850	79,280	3,300	137,740	260	85,650	180	118,460	10	78,080	230	46,150	20	31,480	10	17,480	0	33,540	10	27,630
0k2	1,600	109,590	1,400	103,710	990	64,430	350	126,200	170	64,130	10	63,070	0	44,250	0	17,630	0	24,540	30	16,880	0	41,390	0	35,890

■平成18年

個体数(個/m)	1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月	
	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ																						
7k4			2,290	10,871			10,060	2,860	81,087	5,900	15,930	220	14,810	0	12,240	10	10,240	0	13,120	0	4,700	0	2,950	50
6k4			1,300	9,820			240	410	9,830	510	20,600	520	16,690	50	11,796	0	8,320	0	10,080	0	9,920	20	4,450	50
5k4			30	18,968			40	30	5,660	120	21,280	2,330	15,080	80	11,010	0	12,950	0	11,340	110	11,960	90	5,430	90
4k4			220	1,360			360	660	3,710	520	9,380	1,380	14,620	760	7,680	0	13,320	0	8,400	70	14,500	160	6,210	7,190
3k4			110	28,960			60	1,740	6,240	7,470	12,900	16,600	9,540	9,590	1,140	0	3,950	30	9,640	16,580	5,520	25,240	5,220	84,460
2k4			190	26,145			210	50,670	6,160	26,280	8,250	20,540	4,070	27,280	3,560	0	1,830	1,720	5,150	51,740	11,210	148,340	4,390	144,430
0k2			160	6,900			0	3,530	330	43,040	160	23,870	1,430	18,050	930	0	2,530	2,880	4,760	56,810	3,590	77,190	1,790	112,900

※平成18年1月・3月、平成20年4月～平成21年3月は、調査未実施。

表 2.1.3 ヤマトシジミとホトトギスガイの分布の環境監視 質量経年データ【剣先川】

ヤマトシジミとホトトギスガイの分布の環境監視
質量経年データ【剣先川】

■平成22年																								
湿重量 (g/m ²)	1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月	
	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ																						
6k4	2,419.00	67.90	3,021.15	15.90	677.50	0.40	324.36	1.53	1,024.29	1.17	1,496.03	2.43	502.61	0.00	41.13	0.00	197.55	0.00	753.30	0.00	205.34	0.00	380.97	0.00
5k4	291.12	14.65	597.75	0.70	450.25	0.35	9.36	0.00	145.70	0.77	287.28	0.45	346.77	4.05	695.03	0.00	90.54	0.00	28.89	0.00	533.40	0.00	1.80	0.00
4k4	426.85	8.65	1,022.95	18.90	624.61	0.00	135.86	0.86	562.86	0.23	358.07	0.05	298.53	0.05	874.26	0.05	541.71	0.18	964.53	0.00	1,914.62	0.40	1,226.93	1.40
3k4	414.92	0.30	71.50	0.00	958.60	0.00	37.53	1.71	140.67	24.80	47.25	3.87	0.41	0.41	1.22	0.00	3.96	0.54	13.64	0.00	7.65	0.50	6.93	1.89
■平成21年																								
湿重量 (g/m ²)	1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月	
	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ																						
6k4							1,022.00	0.90	2,341.35	24.00	487.00	15.10	2,507.50	15.05	1,866.70	56.55	2,361.85	25.85	2,058.40	19.95	2,099.80	31.60	915.40	10.95
5k4							375.20	0.00	420.75	0.00	385.50	7.15	233.00	0.00	744.05	8.65	122.85	6.25	556.70	16.40	301.85	1.10	825.20	9.20
4k4							439.25	0.10	876.70	1.90	644.50	3.35	551.00	12.30	837.85	16.80	711.65	13.05	479.25	74.75	444.70	8.40	747.55	6.10
3k4							761.80	2.90	787.00	4.60	722.50	11.90	181.00	9.75	93.85	31.00	127.10	3.65	105.90	21.65	43.40	1.55	179.90	6.20
■平成20年																								
湿重量 (g/m ²)	1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月	
	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ																						
6k4	1,734.28	26.28	3,596.23	5.64	2,454.94	5.57																		
5k4	781.55	3.37	784.22	0.11	1,335.16	2.33																		
4k4	1,499.72	0.00	424.12	5.69	1,468.28	0.00																		
3k4	448.68	8.36	549.27	35.39	815.43	15.86																		
■平成19年																								
湿重量 (g/m ²)	1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月	
	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ																						
6k4	876.31	0.02	1,046.52	2.97	3,013.57	2.42	1,804.88	0.60	1,169.76	0.11	1,634.15	0.61	3,239.88	14.08	4,859.86	13.99	5,664.74	9.91	4,089.28	37.41	2,976.71	20.11	3,804.48	6.12
5k4	1,482.86	0.00	1,157.07	1.64	1,326.10	0.00	676.59	0.16	1,984.26	0.36	812.28	1.48	1,515.17	1.97	3,200.66	0.00	909.38	4.80	1,925.91	5.25	762.06	7.68	2,367.76	10.18
4k4	3,112.05	0.00	730.60	1.09	755.71	0.00	842.01	1.79	631.27	1.75	1,229.09	1.96	2,084.54	20.90	2,359.82	17.54	645.37	1.50	3,453.01	9.98	457.02	3.37	477.03	4.95
3k4	2,065.04	2.58	654.05	0.00	619.57	0.17	844.75	26.44	1,013.79	352.90	1,473.43	66.63	1,461.60	111.88	713.48	883.58	647.27	255.10	295.43	245.05	400.67	544.60	661.24	663.64
■平成18年																								
湿重量 (g/m ²)	1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月	
	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ																						
6k4			1,264.70	71.60			1,862.61	5.66	376.52	1.45	712.82	8.24	1,964.35	2.10	5,703.09	0.00	1,659.11	0.02	2,823.01	0.17	7,230.37	0.31	4,729.51	0.56
5k4			729.30	0.30			660.57	1.08	365.47	1.72	734.23	3.32	416.95	0.00	600.32	0.00	2,114.28	0.00	1,993.91	0.06	2,370.90	0.00	2,822.84	0.02
4k4			2,211.20	42.20			497.27	6.78	361.44	12.32	726.22	4.64	1,026.79	0.24	2,010.30	0.00	2,986.59	0.00	1,849.22	1.83	369.18	0.00	1,484.56	0.00
3k4			67.80	22.80			2.90	2.38	1.86	1.44	52.73	54.99	16.49	0.21	110.52	0.00	1,171.57	0.00	739.03	1.85	1,225.68	0.17	1,803.60	4.42

※平成18年1月・3月、平成20年4月～平成21年3月は、調査未実施。

表 2.1.4 ヤマトシジミとホトトギスガイの分布の環境監視 個体数経年データ【剣先川】

ヤマトシジミとホトトギスガイの分布の環境監視
個体数経年データ【剣先川】

■平成22年

個体数(個/m)	1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月	
	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ																						
6k4	4,225	670	3,750	260	1,385	5	1,188	9	2,016	14	3,429	18	1,242	0	36	0	185	0	1,913	0	4,419	0	432	0
5k4	1,124	60	1,570	10	2,065	15	2,412	0	2,291	18	1,971	5	1,935	36	2,039	0	351	0	72	0	2,111	0	27	0
4k4	1,500	75	2,670	100	1,440	0	486	14	3,326	18	2,259	14	1,548	5	4,253	5	2,907	5	2,277	0	4,091	54	2,678	279
3k4	965	5	115	0	645	0	167	131	572	774	572	324	36	23	41	0	36	32	77	0	104	36	50	176

■平成21年

個体数(個/m)	1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月	
	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ																						
6k4							2,100	70	7,800	1,450	3,225	1,235	7,115	355	4,735	815	3,930	455	4,595	280	4,435	305	2,420	130
5k4							455	0	915	0	2,220	325	1,590	0	4,370	115	450	90	2,695	175	2,490	10	3,295	95
4k4							1,140	5	4,970	110	1,520	60	2,815	120	2,225	120	2,055	95	2,105	430	2,425	40	3,355	50
3k4							1,420	55	2,175	50	900	125	295	100	130	215	285	25	350	150	125	5	350	20

■平成20年

個体数(個/m)	1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月	
	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ																						
6k4	4,760	350	5,380	160	5,690	100																		
5k4	1,900	10	2,180	20	3,760	20																		
4k4	3,500	0	2,160	40	3,210	0																		
3k4	540	100	610	440	890	190																		

■平成19年

個体数(個/m)	1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月	
	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ																						
6k4	1,650	10	2,530	210	3,560	20	4,700	20	4,280	20	4,050	60	8,250	130	12,040	170	14,520	170	11,990	350	10,100	250	6,820	90
5k4	2,580	0	5,750	150	5,010	0	2,980	20	5,250	20	3,060	70	5,680	100	5,860	0	4,730	70	4,840	50	2,790	50	6,150	90
4k4	5,580	0	3,160	170	3,160	0	2,980	390	5,060	260	3,280	40	9,700	280	5,390	90	2,950	30	6,000	100	1,870	20	1,580	40
3k4	5,580	480	1,100	0	1,860	30	3,250	4,020	5,250	4,160	4,530	3,030	3,640	4,120	1,380	13,940	1,240	2,860	300	2,880	510	5,800	900	5,910

■平成18年

個体数(個/m)	1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月	
	ヤマトシジミ	ホトトギスガイ																						
6k4			860	1,530			1,320	360	2,090	270	1,380	630	1,890	40	7,210	0	2,560	20	3,070	30	7,640	50	8,700	110
5k4			750	50			670	50	1,140	70	4,330	120	1,390	0	1,580	0	11,950	0	4,800	10	5,090	0	8,000	40
4k4			210	60			470	320	5,450	560	4,020	150	2,420	10	3,680	0	9,490	0	8,790	40	1,070	0	5,530	0
3k4			20	280			50	140	320	160	1,410	1,240	430	10	1,880	0	4,280	0	2,260	60	3,140	80	4,690	500

※平成18年1月・3月、平成20年4月～平成21年3月は、調査未実施。

2.2 底生魚の稚魚の遡上状況の環境監視

表 2.2.1 底生魚の稚魚の遡上状況の環境監視：確認種・個体数の経年変化

■底生魚の稚魚の遡上状況の環境監視

確認種・個体数の経年変化

個体数(8回/5~7月/年合計値)

綱	目	科	種名	調査地点	7.2k付近			4.2k付近			0.4k付近			備考		
					H20	H21	H22	H20	H21	H22	H20	H21	H22			
	エイ目	アカエイ	<i>Dasyatis akajei</i>	アカエイ							1		1			
	ニシン目	ニシン	<i>Sardinella zunasi</i>	サッパ								70				
	コイ目	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ								4				
	サケ目	シラウオ	<i>Salangichthys microdon</i>	シラウオ	7											
	トゲウオ目	ヨウジウオ	<i>Syngnathus schlegeli</i>	ヨウジウオ				1			1					
	ボラ目	ボラ	<i>Mugil cephalus cephalus</i>	ボラ	1		2	1		3	1					
	カサゴ目	フサカサゴ	<i>Sebastes schlegelii</i>	クロソイ								1				
		コチ	<i>Platycephalus</i> sp.2	マゴチ	1	1		1				1	1			
		カジカ	<i>Cottus pollux</i>	カジカ		1	2			1		1	1			
	スズキ目	スズキ	<i>Lateolabrax japonicus</i>	スズキ		30						62				
		タイ	<i>Acanthopagrus schlegelii</i>	クロダイ				1	1	1		1	1			
		イソギンポ	<i>Omobranchus fasciolatoceps</i>	トサカギンポ	6	2	1	1	7		3	2	4			
		ハゼ		<i>Gymnogobius</i> sp.	ウキゴリ属の1種 (ウキゴリ類幼魚)		6					4	52	25		
				<i>Gymnogobius heptacanthus</i>	ニクハゼ	2			1							
				<i>Gymnogobius breunigii</i>	ピリンゴ	12	61	132	3	12	7	7	8	43		
				<i>Gymnogobius taranetzi</i>	シンジコハゼ	27										
				<i>Glossogobius olivaceus</i>	ウロハゼ	13	6		8	9	2	18	15	3		
				<i>Acanthogobius flavimanus</i>	マハゼ	626	268	268	465	189	189	570	146	146		
				<i>Acanthogobius lactipes</i>	アシシロハゼ	345	711	400	36	311	314	29	92	127		
				<i>Acentrogobius pflaumii</i>	スジハゼ	1	26	1	11	199	11	64	184	78		
			<i>Tridentiger bifasciatus</i>	シモフリシマハゼ	599	1,051	782	347	618	635	333	322	455			
		<i>Tridentiger brevispinis</i>	スマチチブ	4		88			92	2		22				
		<i>Tridentiger obscurus</i>	チチブ							5	2					
	カレイ目	ヒラメ	<i>Paralichthys olivaceus</i>	ヒラメ		1				2	1					
	アミ目	アミ	<i>Neomysis japonica</i>	ニホンイサザアミ	+	+	+			+			+	確認個体多数		
	十脚目	テナガエビ	<i>Palaemon macrodactylus</i>	ユビナガスジエビ	3	7	5	1	2	5	3	12	3			
			<i>Palaemon orientis</i>	シラタエビ	12	6	5				9	1	4			
			<i>Macrobrachium nipponense</i>	テナガエビ	2		1									
	ホンヤドカリ		<i>Pagurus dubius</i>	ユビナガホンヤドカリ							1	2				
	コブシガニ		<i>Philyra pisum</i>	マメコブシガニ	1						1	1	1			
種類数					18	15	13	13	11	13	19	21	17			

表 2.2.2 底生魚の稚魚の遡上状況の環境監視：マハゼの確認個体数（測線別・調査水深別）

■底生魚の稚魚の遡上状況の環境監視

マハゼの確認個体数（測線別・調査水深別）

大橋川0.4k付近 個体数(8回／5～7月／年合計値)

	～0.5m	～1.0m	～2.0m	～3.0m	～4.0m	4.5m～
平成22年	4	10	13	78	37	4
平成21年	8	17	19	145	151	84
平成20年	9	8	38	195	219	101

大橋川4.2k付近 個体数(8回／5～7月／年合計値)

	～0.5m	～1.0m	～2.0m	～3.0m	～4.0m	4.5m～
平成22年	0	0	4	55	42	88
平成21年	0	1	9	78	167	180
平成20年	0	2	38	111	81	233

大橋川7.2k付近 個体数(8回／5～7月／年合計値)

	～0.5m	～1.0m	～2.0m	～3.0m	～4.0m	4.5m～
平成22年	2	0	28	40	154	44
平成21年	19	14	63	59	221	57
平成20年	2	5	48	159	220	192